

九州共立大学

経済学部

2020 年度

講義要項



九州共立大学の建学の精神

《自律処行》

(自らの良心に従い、事に処し善を行なう)

九州共立大学の建学の精神である「自律処行」は、学生と教職員が共に立ち、人による人にまでの教育を行なうことを目指した創立者福原軍造が創造したことばである。

「自律」とは、自己の志向や行為を道に照らし、我情・我欲・我見による不正を制することであり、「処行」とは、事に処するに徳を以てし、知性にかなう道を行なうことである。

この2語を併せた「自律処行」は、自らの良心に従い、事に処し善を行なうことを表している。

【九州共立大学の目的】

本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「自律処行」に基づいて、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的道徳的及び応用的能力を展開し、もって人格の完成をめざし健全な国民を育成することを目的とする。

【学 是】

本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行なうことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自分の判断と責任の下に行動できる人材を育成する。

【経済学部の人材養成及び教育研究上の目的等】

経済学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、少人数制によるキャリア支援教育、総合教養教育、経済学・経営学の専門教育等を通じて、質の高い学士力を有し、多様化し複雑化する現代社会に適応できる、幅広い職業人を養成することを目的とする。

経済・経営学科

経済・経営学科は、経済学領域・経営学領域を広く学び、環境や消費者保護、企業倫理などの公共の視点に立ち、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを目的とする。

地域創造学科

地域創造学科は、経済・経営学の科目を基盤に、地域創造に関する専門的知識を学び、PBL(Problem-Based Learning)やアクティブラーニング型の授業を重視した教育課程により、地域を構成する多様なステークホルダーと協働し地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身につけた人材の養成を目的とする。

【大学全体の三つの方針】

〔卒業認定・学位授与の方針（DP：ディプロマ・ポリシー）〕

本学は、学是「自律処行（自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する）」を体现し、総合的な教養、特定専門分野に関する知識を身につけ、深い考察力を備えることを目指す。

その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（DP）を3つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性）から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

知識・技能
キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。
思考力・判断力・表現力
本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。
主体性・協働性
自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。

〔教育課程編成・実施の方針（CP：カリキュラム・ポリシー）〕

本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針（DP）の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。

教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

教育内容
1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。
教育方法
1. 学生の主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。
教育評価
1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に従い単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。

〔入学者受け入れ方針（AP：アドミッション・ポリシー）〕

本学は、学是「自律処行（自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する）」を体现し、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れる。

また、高等学校もしくは中等教育学校において、基礎学力と基本的な学修習慣を有し、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身につけ、それぞれの学科が必要としている「基礎的な知識・技能の修得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学修に取り組む態度」を有し、さらに教育課程編成・実施の方針（CP）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて真摯に学問修得に励む人を広く求める。

【経済学部 経済・経営学科の三つの方針】

〔卒業認定・学位授与の方針（DP：ディプロマ・ポリシー）〕

経済・経営学科は、総合的な教養、経済分野での多様な専門知識を身につけ、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを目指す。

この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

知識・技能
学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。
思考力・判断力・表現力
実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見いだし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。
主体性・協働性
経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。

〔教育課程編成・実施の方針（CP：カリキュラム・ポリシー）〕

経済・経営学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。

教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

教育内容
<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、6つの領域（生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、ビジネス実務）で求められる幅広い知識を修得する科目を配置する。 専門教育科目は、「経済学関連科目」、「経営学関連科目」、「演習科目」を中心に、ビジネス社会の汎用的科目群を体系的に配置する。 さらに専門教育科目では、社会人として必要とされる能力の可視化として、資格取得を目指す科目を配置する。 これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。
教育方法
<ol style="list-style-type: none"> 主体的な学びの力を高めるためにアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 グループ学修においては、協働性・協調性を身につけ、課題解決能力や実践力が身につけられるよう指導する。 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。
教育評価
<ol style="list-style-type: none"> 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。 4年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。

〔入学者受け入れ方針（AP：アドミッション・ポリシー）〕

経済・経営学科は、卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、経済の仕組みや組織の効率化、効率的な運営・経営戦略などについて修得する。

入学者には次のような学力を有した人を求める。

知識・技能
高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身につけている。
思考力・判断力・表現力
自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられる力があり、経済学・経営学の学問的知識を身につけ、社会で活かしたいという目的意識がある。
主体性・協働性
課外活動やボランティア活動等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけており、国内外における現状・課題を認識し、課題解決に積極的に取り組もうとする意欲がある。

【経済学部 地域創造学科の三つの方針】

〔卒業認定・学位授与の方針（DP：ディプロマ・ポリシー）〕

地域創造学科は、総合的な教養、地域経済・社会貢献分野での多様な専門知識を身につけ、地域を構成する多様なステークホルダーと協働し地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身につけた人材を養成することを目指す。

この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

知識・技能
学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。
思考力・判断力・表現力
実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。
主体性・協働性
地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。

〔教育課程編成・実施の方針（CP：カリキュラム・ポリシー）〕

地域創造学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。

教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

教育内容
<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、社会貢献コース、地域経済コースの2コースで構成し、地域の発展に寄与できる専門知識と実践力を養う科目を配置する。 専門教育科目は、「経済学関連科目」、「経営学関連科目」の基本知識および「社会貢献関連科目」などを中心に、地域社会の汎用の科目群を体系的に配置する。 さらに専門教育科目では、社会貢献、地域経済などの領域で必要とされる能力の可視化として、資格取得科目を配置し、地域におけるさまざまな課題に対して実践的に取り組む科目を配置する。 これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。
教育方法
<ol style="list-style-type: none"> PBLやアクティブラーニングを重視し、主体的な学びを高める教育手法を実施する。 地域と協働し、地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身に付けられるよう指導する。 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。
教育評価
<ol style="list-style-type: none"> 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。 4年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。

〔入学者受け入れ方針（AP：アドミッション・ポリシー）〕

地域創造学科は、卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、経済学・経営学を基盤に、社会貢献・地域経済に関連する専門知識などについて修得する。

入学者には次のような学力を有した人を求める。

知識・技能
高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身につけている。
思考力・判断力・表現力
自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられる力があり、社会貢献・地域経済に関連する学問的知識を身につけ、社会で活かしたいという目的意識がある。
主体性・協働性
課外活動やボランティア活動等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけており、国内外における現状・課題を認識し、人や地域と積極的にかかわろうとする意欲がある。

インデックス

科目名	科目区分	掲載頁	科目名	科目区分	掲載頁
			暮らしと経済	新々) 教養教育	20-21
ア行			経営学概論	経) コア科目群	160-161
イベント論★	経) 領域科目群	198	経営学概論	地) コア科目群	478
医療・福祉マネジメント	経) 領域科目群	273	経営学特講Ⅰ	経) コア科目群	183-186
イングリッシュワークショップ	新々) 言語・異文化理解	50	経営学特講Ⅱ	経) コア科目群	190-191
インターンシップ(企業研修)	新々) キャリア教育	65	経営管理論	経) 領域科目群	264
英語Ⅰ	新々) 言語・異文化理解	33-34	経営史	経) 領域科目群	218
英語Ⅱ	新々) 言語・異文化理解	35-36	経営者論★	経) 領域科目群	250
英語Ⅲ	新) 言語・異文化理解	104	経営戦略論	経) 領域科目群	251
英語Ⅳ	新) 言語・異文化理解	105	経営組織論	経) 領域科目群	253
英語コミュニケーションⅠ	新々) 言語・異文化理解	37	経済学概論	経) コア科目群	158-159
英語コミュニケーションⅡ	新々) 言語・異文化理解	38	経済学概論	地) コア科目群	479
			経済学史	経) 領域科目群	216
			経済学特講Ⅰ	経) コア科目群	180-182
カ行			経済学特講Ⅱ	経) コア科目群	187-189
海外研修	新々) 言語・異文化理解	51	経済史	経) コア科目群	169
海外地域学研修	地) 実践科目群	532	経済史	地) コース科目【地経】	500
会計監査論	経) 領域科目群	272	経済政策	経) 領域科目群	233
会計入門	経) コア科目群	171	経済政策入門	経) 領域科目群	208
会社入門	経) コア科目群	170	経済統計	経) 領域科目群	215
会社法★	経) 領域科目群	192	経済とデータ分析	経) コア科目群	179
会社法	地) コース科目【地経】	499	芸術の世界	新) 教養教育	96-97
科学を考える	新) 教養教育	100-102	KKU北九州学	地) 地域創造基礎科目群	485
環境科学	経) 領域科目群	243	(K-CIP) 教職基礎演習	自由選択) K-CIP	567
環境経済学★	経) 領域科目群	234	(K-CIP) 教職教養(教育原理・教育心理)	自由選択) K-CIP	565
環境経済学入門★	経) 領域科目群	209	(K-CIP) 行政法演習	自由選択) K-CIP	562
環境のビジネス	経) 領域科目群	199	(K-CIP) 憲法演習	自由選択) K-CIP	559
韓国語Ⅰ	新々) 言語・異文化理解	46-47	(K-CIP) 社会科Ⅰ★	自由選択) K-CIP	566
韓国語Ⅱ	新々) 言語・異文化理解	48-49	(K-CIP) マクロ経済学演習	自由選択) K-CIP	564
管理会計論	経) 領域科目群	247	(K-CIP) ミクロ経済学演習	自由選択) K-CIP	563
企業経営入門	経) コア科目群	172	(K-CIP) 民法(債権・親族・相続)演習	自由選択) K-CIP	561
企業と社会	経) 領域科目群	268	(K-CIP) 民法(総則・物権)演習	自由選択) K-CIP	560
北九州の自然と環境	経) 領域科目群	219	ゲーム理論	経) 領域科目群	271
キャリアデザインⅠ	新々) キャリア教育	63-64	研究会A(一部科目★)	経) 実践科目群	294-298
キャリアデザインⅠ(再)	旧) キャリアデザイン	133	研究会B(一部科目★)	経) 実践科目群	299-301
キャリアデザインⅡ	新) キャリア教育	108-113	研究会C(一部科目★)	経) 実践科目群	302-307
キャリアデザインⅡ(再)	旧) キャリアデザイン	134	研究会D(一部科目★)	経) 実践科目群	308-312
キャリアデザインⅢ	新) キャリア教育	114-119	研究会E(一部科目★)	経) 実践科目群	313-317
キャリアデザインⅢ(再)	旧) キャリアデザイン	135	研究会F(一部科目★)	経) 実践科目群	318-323
キャリアデザインⅣ(再)	旧) キャリアデザイン	136	研究会G(一部科目★)	経) 実践科目群	324-331
教育課程論	自由科目) 教職【教職】	589	研究会H(一部科目★)	経) 実践科目群	332-336
教育原論	自由選択) 教職	543	研究会I	経) 実践科目群	337
教育史	自由選択) 教職	574	研究会J	経) 実践科目群	338
教育実習Ⅰ★	自由科目) 教職【教職】	601	健康の科学	新々) 健康教育	58-59
教育実習Ⅱ★	自由科目) 教職【教職】	602	現代国家と法(日本国憲法)	新々) 教養教育	19
教育心理学	自由選択) 教職	544	憲法	経) 領域科目群	202
教育制度論	自由選択) 教職	545	公共経済学	経) 領域科目群	235
教育相談	自由科目) 教職【教職】	594	公共経済学入門	経) 領域科目群	217
教育方法論	自由科目) 教職【教職】	591	公共マネジメント論	経) 領域科目群	220
教職実践演習(中・高)	自由科目) 教職【教職】	604	交通論	経) 領域科目群	270
教職総合講義	自由選択) 教職	547-548	国際・地域特講A	経旧) コース【国】	474
教職発展ゼミナール★	自由選択) 教職	575	国際・地域特講B	経旧) コース【国】	475
教職論	自由選択) 教職	542	国際金融論	経) 領域科目群	258
共生社会を生きる	新々) 教養教育	29	国際経済学	経) 領域科目群	262
行政法(救済法)	経) 領域科目群	274	心の科学★	新々) 教養教育	28
行政法(作用法・組織法)	経) 領域科目群	241	ことばと異文化	新々) 教養教育	13-16
教養基礎答練Ⅰ	自由選択) K-CIP	557	ことばと日本文化	新々) 教養教育	8-11
教養基礎答練Ⅱ	自由選択) K-CIP	558	ことばの世界(留)	新) 教養教育	95
近代日本経済史	経) 領域科目群	239			
金融と会計	経) 領域科目群	193			
金融論★	経) 領域科目群	230			
金融論入門★	経) 領域科目群	206			

★実務経験のある教員による授業科目

科目名	科目区分	掲載	科目名	科目区分	掲載
サ行			数的処理Ⅲ		
サービス実務演習	経) 領域科目群	277	スキルアップ講座A	自由選択) K-CIP	554
サービス実務総論	経) 領域科目群	255	スキルアップ講座B	新) キャリア教育	120
財政学	経) 領域科目群	210	スキルアップ講座C	新々) キャリア教育	66
財政学	地) コース科目【社貢】	497	スキルアップ講座F	新) キャリア教育	67
財政学入門	経) 領域科目群	194	スキルアップ講座G	新) キャリア教育	121
財務管理論	経) 領域科目群	265	スキルアップ講座H	新) キャリア教育	122
産業組織論	経) 領域科目群	269	スキルアップ講座M	新) キャリア教育	123
産業組織論入門	経) 領域科目群	214	スキルアップ講座N	新) 留学生特別	124
事前事後指導	自由科目) 教職【教職】	603	スキルアップ講座O	新) 留学生特別	126-127
自然地理学概論	自由科目) 教職【教科】	581	スキルアップ講座P	新) 留学生特別	128-129
社会科・公民科教育法★	自由科目) 教職【教職】	599-600	スキルアップ講座Q	新) 留学生特別	130
社会科・地理歴史科教育法★	自由科目) 教職【教職】	597-598	スポーツA	新) 留学生特別	131
社会科学【応用Ⅰ】	自由選択) K-CIP	555	スポーツB	新々) 健康教育	56
社会科学【応用Ⅱ】	自由選択) K-CIP	556	スポーツコーチング★	新々) 健康教育	57
社会科学【基礎】	自由選択) K-CIP	550	スポーツ施設管理	経) 領域科目群	227
社会教育演習	自由選択) 社会主事	573	スポーツと法★	経) 領域科目群	238
社会教育計画の立案	自由選択) 社会主事	570	スポーツの文化	経) 領域科目群	267
社会教育施設の経営	自由選択) 社会主事	571	スポーツビジネス★	新々) 教養教育	12
社会教育実習★	自由選択) 社会主事	572	スポーツビジネスインターンシップ★	経) 領域科目群	226
社会調査法演習	地) 地域創造基礎科目群	496	スポーツビジネス実践★	経) 領域科目群	254
社会調査法	地) 地域創造基礎科目群	494	スポーツビジネス入門★	経) 領域科目群	228
社会保障論	経) 領域科目群	261	スポーツマネジメント★	経) 領域科目群	203
生涯学習と社会教育	自由選択) 社会主事	568	生産管理論	経) 領域科目群	237
生涯学習・社会教育の指導者★	自由選択) 社会主事	569	生徒・進路指導論★	自由科目) 教職【教職】	275
上級日本語Ⅰ	新々) 留学生特別	90	税務会計論	経) 領域科目群	593
上級日本語Ⅱ	新々) 留学生特別	91	生命と環境	経) 領域科目群	263
上級簿記	経) 領域科目群	212-213	生命と地球	新) 教養教育	103
商業科教育法	自由科目) 教職【教職】	595-596	西洋経済史	新々) 教養教育	26-27
商業の歴史	経) コア科目群	173	西洋史	経) 領域科目群	231
情報処理演習Ⅰ	新々) 情報教育	52	ゼミナールⅠ	自由科目) 教職【教科】	579
情報処理演習Ⅱ	新々) 情報教育	53	ゼミナールⅡ	経) ゼミナール科目群	356-372
情報処理演習Ⅲ	新々) 情報教育	54	ゼミナールⅢ	経) ゼミナール科目群	373-398
情報処理演習Ⅳ	新々) 情報教育	55	ゼミナールⅣ	経) ゼミナール科目群	399-424
商法総則★	経) 領域科目群	207	ゼミナールⅤ	経) ゼミナール科目群	425-448
情報文化論	新々) 教養教育	17	ゼミナール入門	経) ゼミナール科目群	449-472
初級日本語ⅠA	新々) 留学生特別	68-69	総合科目特殊講義A【環境マネジメント入門】	経) ゼミナール科目群	339-355
初級日本語ⅠB	新々) 留学生特別	70-71	総合教養発展ゼミナールⅠ	旧) 教養コア	140
初級日本語ⅠC	新々) 留学生特別	72-73	総合教養発展ゼミナールⅡ	旧) 教養コア	141
初級日本語ⅠD	新々) 留学生特別	74-75	租税制度	旧) 教養コア	142
初級日本語ⅠE	新々) 留学生特別	76-77		経) 領域科目群	236
初級日本語ⅡA	新々) 留学生特別	78-79			
初級日本語ⅡB	新々) 留学生特別	80-81			
初級日本語ⅡC	新々) 留学生特別	82-83			
初級日本語ⅡD	新々) 留学生特別	84-85			
初級日本語ⅡE	新々) 留学生特別	86-87			
初級簿記	経) コア科目群	163-164	夕行		
初級簿記	地) 地域創造基礎科目群	488	地域経済論★	経) 領域科目群	232
初級簿記演習	地) 地域創造基礎科目群	489	地域貢献概論	地) 地域創造基礎科目群	490
職業研修A	地) 実践科目群	518	地域創造実習Ⅰ★	地) 実践科目群	501-504
職業研修B	地) 実践科目群	519	地域創造実習Ⅱ★	地) 実践科目群	505-508
職業指導	自由科目) 教職【教科】	587-588	地域創造実習Ⅲ★	地) 実践科目群	509-512
職業人入門	経) コア科目群	155-157	地域創造実習Ⅳ★	地) 実践科目群	513-516
職業と経済	経) コア科目群	165	地域創造ゼミナールⅠ	地) ゼミナール科目群	533
職業とコミュニケーション	新々) キャリア教育	60-62	地域創造ゼミナールⅡ	地) ゼミナール科目群	534
人権・同和教育	新々) 教養教育	22-23	地域創造ゼミナールⅢ	地) ゼミナール科目群	535
人口学	経) 領域科目群	200	地域創造ゼミナールⅣ	地) ゼミナール科目群	536
人口学	地) 地域創造基礎科目群	493	地域とスポーツ	経) 領域科目群	266
人的資源管理論	経) 領域科目群	259	地域のまちづくり	地) コース科目【社貢】	498
人文・自然科学【基礎】	自由選択) K-CIP	551	地域のまちづくり入門	地) 地域創造基礎科目群	491
人文地理学概論	自由科目) 教職【教科】	583	地域ワークショップ	地) 実践科目群	517
数的処理Ⅰ	自由選択) K-CIP	552	地誌学	自由科目) 教職【教科】	582
数的処理Ⅱ	自由選択) K-CIP	553	地方自治体の財政	経) 領域科目群	245
			チャレンジA	地) 実践科目群	520-522
			チャレンジB	地) 実践科目群	523-525

★実務経験のある教員による授業科目

科目名	科目区分	掲載	科目名	科目区分	掲載
チャレンジC	地) 実践科目群	526-528	マ行		
チャレンジD	地) 実践科目群	529-531	マーケティング論	経) 領域科目群	252
中級日本語Ⅰ	新々) 留学生特別	88	マクロ経済学	経) コア科目群	176
中級日本語Ⅱ	新々) 留学生特別	89	マクロ経済学	地) コア科目群	482
中級簿記★	経) 領域科目群	196-197	マクロ経済学入門	経) コア科目群	168
中国語Ⅰ	新々) 言語・異文化理解	44	ミクロ経済学	経) コア科目群	177
中国語Ⅱ	新々) 言語・異文化理解	45	ミクロ経済学	地) コア科目群	483
伝わる文章力	新々) 言語・異文化理解	32	ミクロ経済学入門	経) コア科目群	167
哲学概論	自由科目) 教職【教科】	585	民法	地) 地域創造基礎科目群	492
ドイツ語Ⅰ	新々) 言語・異文化理解	40-41	民法(債権)	経) 領域科目群	211
ドイツ語Ⅱ	新々) 言語・異文化理解	42-43	民法(親族・相続)★	経) 領域科目群	244
統計学	経) コア科目群	178	民法(総則・物権)	経) 領域科目群	195
統計学	地) コア科目群	481			
統計学入門	経) コア科目群	166			
統計学入門	地) コア科目群	480			
道徳教育指導法	自由科目) 教職【教職】	590	ラ行		
東洋経済史	経) 領域科目群	240	流通管理論	経) 領域科目群	248
東洋史	自由科目) 教職【教科】	580	倫理学概論	自由科目) 教職【教科】	586
TOEIC入門	新々) 言語・異文化理解	39	歴史と国際情勢	新々) 教養教育	18
特別活動指導法	自由科目) 教職【教職】	592	歴史を考える★	新) 教養教育	98
特別支援教育概論	自由選択) 教職	546	労働と法	経) 領域科目群	242
都市経済学	経) 領域科目群	260			
			ワ行		
ナ行			ワークショップA(一部科目★)	経) 実践科目群	278-281
日本経営史	経) 領域科目群	246	ワークショップB(一部科目★)	経) 実践科目群	282-285
日本経済史	経) コア科目群	175	ワークショップC(一部科目★)	経) 実践科目群	286-289
日本経済史	地) コア科目群	484	ワークショップD(一部科目★)	経) 実践科目群	290-293
日本経済論	経) 領域科目群	205			
日本経済論入門	経) コア科目群	174			
日本語表現法Ⅰ	新々) 言語・異文化理解	30			
日本語表現法Ⅱ	新々) 言語・異文化理解	31			
日本史	自由科目) 教職【教科】	578			
日本文化研修	新) 留学生特別	125			
人間と哲学	新々) 教養教育	24-25			
ハ行					
販売管理論	経) 領域科目群	221			
非営利組織論★	経) 領域科目群	201			
ビジネスコーチング	経) 領域科目群	249			
ビジネス実務演習A	経) 領域科目群	256			
ビジネス実務演習B	経) 領域科目群	276			
ビジネス実務総論A	経) 領域科目群	204			
ビジネス実務総論B	経) 領域科目群	229			
ビジネスとICT(一部科目★)	経) 領域科目群	222-224			
ビジネスとICT	地) 地域創造基礎科目群	495			
ビジネスのデザイン	経) 領域科目群	225			
ビジネス法務	経) 領域科目群	257			
福原学	新々) 総合共通コア	4-7			
フランス語Ⅰ〈再〉	新) 言語・異文化理解	106			
フランス語Ⅱ〈再〉	新) 言語・異文化理解	107			
プログラミング論〈再〉	経旧) コース【会】	473			
文章理解	自由選択) K-CIP	549			
法と生活	新) 教養教育	99			
法律学概論(国際法を含む。)	自由科目) 教職【教科】	584			
簿記入門	経) コア科目群	162			
簿記入門演習	地) 地域創造基礎科目群	487			
簿記入門	地) 地域創造基礎科目群	486			

★実務経験のある教員による授業科目

「科目区分の略号表」

新々カリ (2019～2020年度入学生)	総合共通科目	新々)総合共通コア	
		新々)教養教育	
		新々)言語・異文化理解	
		新々)情報教育	
		新々)健康教育	
		新々)キャリア教育	
		新々)留学生特別	
新カリ (2015～2018年度入学生)	総合共通科目	新)総合共通コア	
		新)教養教育	
		新)言語・異文化理解	
		新)情報教育	
		新)健康教育	
		新)キャリア教育	
		新)留学生特別	
旧カリ (2014年度以前の入学生)	キャリアデザイン科目	旧)キャリアデザイン	
	総合教養科目	旧)教養コア	
		旧)言語教育	
		旧)情報教育	
		旧)健康教育	
新カリ (2015～2020年度入学生)	経済・経営学科 専門教育科目	経)コア科目群	
		経)領域科目群	
		経)実践科目群	
		経)ゼミナール科目群	
(2019～2020年度入学生)	地域創造学科 専門教育科目	地)コア科目群	
		地)地域創造基礎科目群	
		地)コース科目【社貢】	社会貢献コース
		地)コース科目【地経】	地域経済コース
		地)実践科目群	
		地)ゼミナール科目群	
旧カリ (2014年度以前の入学生)	経済・経営学科 専門教育科目	経旧)導入科目	
		経旧)基幹科目	
		経旧)関連科目	
		経旧)コース【経】	経済戦略コース
		経旧)コース【金】	金融コース
		経旧)コース【国】	国際・地域経済コース
		経旧)コース【環】	環境・産業マネジメントコース
		経旧)コース【ビ】	ビジネスコミュニケーションコース
		経旧)コース【ス】	スポーツビジネスコース
		経旧)コース【管】	経営管理コース
		経旧)コース【会】	会計・情報コース
		経旧)コース【起】	起業・後継者コース
		経旧)演習科目	
	自由選択科目	自由選択)社会主事	社会教育主事関連科目
		自由選択)教職	教職課程関連科目
		自由選択)K-CIP	K-CIP関連科目
	自由科目	自由科目)教職【教科】	教科に関する専門教育科目 (教科に関する科目)
		自由科目)教職【教職】	教職に関する専門教育科目 (教職に関する科目)

科目ナンバリングのコード配分規則（経済学部2020年度カリキュラム）

（例）「職業人入門」（経済・経営学科）の場合

E E H 1 1 01

	学部	学科	科目区分	科目水準	開講期	通し番号
（例）	E （経済）	E （経済・経営）	H （コア科目群）	1	1 （前期）	01 （先頭の科目）
詳細		E:経済・経営 R:地域創造	別表 1	別表 2	1:前期 2:後期 3:集中等	01～99

別表 1

コード	科目区分	
	経済・経営学科	地域創造学科
A	総合共通コア科目	総合共通コア科目
B	教養教育科目	教養教育科目
C	言語・異文化理解科目	言語・異文化理解科目
D	情報教育科目	情報教育科目
E	健康教育科目	健康教育科目
F	キャリア教育科目	キャリア教育科目
G	留学生特別科目	留学生特別科目
H	コア科目群	コア科目群
I	総合共通コア科目	地域創造基礎科目群
J	領域科目群	コース科目群
K	実践科目群	実践科目群
L	ゼミナール科目群	ゼミナール科目群
M	教職課程関連科目	総合共通コア科目
N	K-CIP関連科目	K-CIP関連科目
O	教職課程関連科目（自由科目配置）	キャリアコンサルタント養成関連科目（自由科目配置）

別表 2

コード	科目水準
0	・リメディアル科目（高校の補修的科目） ・要卒単位外科目（自由科目）
1	・総合共通科目 ・専門教育科目（基礎・入門的科目） ※初年次導入教育、基礎・入門的科目で特に前提とする基礎知識を必要としない科目 ※主に1年次配当科目
2	・総合共通科目（中・上級） ・専門教育科目（初級） ※基礎から専門的レベルへの橋渡しとなる科目 ※主に2年次配当科目
3	・専門教育科目（中級） ※発展・応用レベルの内容を扱う科目 ※主に3年次配当科目
4	・専門教育科目（上級） ※より高度な実践的・専門的な内容を扱う科目、専門領域演習 ※主に4年次配当科目

科目水準	総合共通コア科目 (EEA)	教養教育科目 (EEB)	言語・異文化理解科目 (EEC)	情報教育科目 (EED)
1	EEA1101 福原学	EEB1101 ことばと日本文化 EEB1102 スポーツの文化 EEB1103 ことばと異文化 EEB1104 情報文化論 EEB1105 歴史と国際情勢 EEB1106 現代国家と法(日本国憲法) EEB1107 暮らしと経済 EEB1108 人権・同和教育 EEB1109 人間と哲学 EEB1110 生命と地球 EEB1111 心の科学 EEB1112 共生社会を生きる	EEC1101 日本語表現法 I EEC1102 英語 I EEC1103 TOEIC入門 EEC1104 ドイツ語 I EEC1105 中国語 I EEC1106 韓国語 I EEC1107 イングリッシュワークショップ EEC1201 英語 II EEC1202 ドイツ語 II EEC1203 中国語 II EEC1204 韓国語 II EEC1301 海外研修	EED1101 情報処理演習 I EED1201 情報処理演習 II
2			EEC2101 日本語表現法 II EEC2102 伝わる文章力 EEC2103 英語コミュニケーション I EEC2201 英語コミュニケーション II	EED2101 情報処理演習 III EED2201 情報処理演習 IV

科目水準	健康教育科目 (EEE)	キャリア教育科目 (EEF)	留学生特別科目 (EEG)	コア科目群 (EEH)
1	EEE1101 スポーツ A EEE1102 健康の科学 EEE1201 スポーツ B	EEF1201 職業とコミュニケーション	EEG1101 初級日本語 I A EEG1102 初級日本語 I B EEG1103 初級日本語 I C EEG1104 初級日本語 I D EEG1105 初級日本語 I E EEG1106 初級日本語 II A EEG1107 初級日本語 II B EEG1108 初級日本語 II C EEG1109 初級日本語 II D EEG1110 初級日本語 II E EEG1111 中級日本語 I EEG1201 中級日本語 II	EEH1101 職業人入門 EEH1102 経済学概論 EEH1103 経営学概論 EEH1104 簿記入門 EEH1201 初級簿記 EEH1202 職業と経済
2		EEF2101 スキルアップ講座 B EEF2201 スキルアップ講座 C EEF2301 キャリアデザイン I EEF2302 インターンシップ (企業研修)	EEG2101 上級日本語 I EEG2201 上級日本語 II	EEH2101 統計学入門 EEH2102 ミクロ経済学入門 EEH2103 マクロ経済学入門 EEH2104 経済史 EEH2105 会社入門 EEH2106 会計入門 EEH2107 企業経営入門 EEH2108 商業の歴史 EEH2109 日本経済論入門 EEH2201 日本経済史 EEH2202 マクロ経済学 EEH2203 ミクロ経済学 EEH2204 統計学
3		EEF3101 キャリアデザイン II EEF3102 スキルアップ講座 G EEF3103 スキルアップ講座 R EEF3201 キャリアデザイン III EEF3202 スキルアップ講座 A EEF3203 スキルアップ講座 H EEF3204 スキルアップ講座 S	EEG3101 スキルアップ講座 N EEG3102 スキルアップ講座 P EEG3201 スキルアップ講座 O EEG3202 スキルアップ講座 Q	EEH3101 経済とデータ分析 EEH3201 経済学特講 I EEH3202 経営学特講 I
4				EEH4101 経済学特講 II EEH4102 経営学特講 II

科目水準	領域科目群(EEJ)		実践科目群(EEK)	
1			EEK1101 研究会 A EEK1102 研究会 B EEK1201 研究会 C EEK1202 研究会 D EEK1301 ワークショップ A EEK1302 研究会 I EEK1303 研究会 J EEK1304 研究会 K EEK1305 研究会 L	
2	EEJ2101 会社法 EEJ2102 金融と会計 EEJ2103 財政学入門 EEJ2104 民法(総則・物権) EEJ2105 中級簿記 EEJ2106 イベント論 EEJ2107 環境のビジネス EEJ2108 人口学 EEJ2109 非営利組織論 EEJ2110 憲法 EEJ2111 スポーツビジネス入門 EEJ2112 ビジネス実務総論 A EEJ2201 日本経済論 EEJ2202 金融論入門 EEJ2203 商法総則 EEJ2204 経済政策入門 EEJ2205 環境経済学入門 EEJ2206 財政学 EEJ2207 民法(債権)	EEJ2208 上級簿記 EEJ2209 産業組織論入門 EEJ2210 経済統計 EEJ2211 経済学史 EEJ2212 公共経済学入門 EEJ2213 経営史 EEJ2214 北九州の自然と環境 EEJ2215 公共マネジメント論 EEJ2216 販売管理論 EEJ2217 ビジネスと ICT EEJ2218 ビジネスのデザイン EEJ2219 スポーツビジネス EEJ2220 スポーツコーチング EEJ2221 スポーツビジネス実践 EEJ2222 ビジネス実務総論 B	EEK2101 研究会 E EEK2102 研究会 F EEK2201 研究会 G EEK2202 研究会 H EEK2301 ワークショップ B	
3	EEJ3101 金融論 EEJ3102 西洋経済史 EEJ3103 地域経済論 EEJ3104 経済政策 EEJ3105 環境経済学 EEJ3106 公共経済学 EEJ3107 租税制度 EEJ3108 スポーツ施設管理 EEJ3109 近代日本経済史 EEJ3110 東洋経済史 EEJ3111 行政法(作用法・組織法) EEJ3112 労働と法 EEJ3113 環境科学 EEJ3114 民法(親族・相続) EEJ3115 地方自治体の財政 EEJ3116 日本経営史 EEJ3117 管理会計論 EEJ3118 流通管理論 EEJ3119 ビジネスコーチング EEJ3120 経営戦略論	EEJ3121 マーケティング論 EEJ3122 経営組織論 EEJ3123 スポーツビジネスインターンシップ EEJ3124 サービス実務総論 EEJ3125 ビジネス実務演習 A EEJ3126 国際経済学 EEJ3201 スポーツマネジメント EEJ3202 経営者論 EEJ3203 ビジネス法務 EEJ3204 国際金融論 EEJ3205 人的資源管理論 EEJ3206 都市経済学 EEJ3207 社会保障論 EEJ3208 税務会計論 EEJ3209 経営管理論 EEJ3210 財務管理論 EEJ3211 地域とスポーツ EEJ3212 スポーツと法 EEJ3213 企業と社会 EEJ3214 産業組織論	EEJ3215 交通論 EEJ3216 ゲーム理論 EEJ3217 会計監査論 EEJ3218 医療・福祉マネジメント EEJ3219 行政法(救済法) EEJ3220 生産管理論 EEJ3221 ビジネス実務演習 B EEJ3222 サービス実務演習	EEK3301 ワークショップ C
4			EEK4301 ワークショップ D EEK4302 卒業研究	

科目水準	ゼミナール科目群(EEL)
1	
2	EEL2101 ゼミナール入門 EEL2201 ゼミナール I
3	EEL3101 ゼミナール II EEL3201 ゼミナール III
4	EEL4101 ゼミナール IV EEL4201 ゼミナール V

科目水準	教職課程関連科目 (EEM)	K-CIP関連科目 (EEN)
1	EEM1101 教職論 EEM1102 教育原論 EEM1201 教育心理学 EEM1202 教育制度論	EEN1101 文章理解 EEN1102 社会科学【基礎】 EEN1103 数の処理 I EEN1201 人文・自然科学【基礎】 EEN1202 数の処理 II
2	EEM2101 特別支援教育概論	EEN2101 数の処理 III EEN2102 社会科学【応用 I】 EEN2103 教養基礎答練 I EEN2104 (K-CIP) 憲法演習 EEN2105 (K-CIP) 民法 (総則、物権) 演習 EEN2106 (K-CIP) ミクロ経済学演習 EEN2107 (K-CIP) 教職教養 (教育原理・教育心理) EEN2108 (K-CIP) 社会科 I EEN2201 社会科学【応用 II】 EEN2202 教養基礎答練 II EEN2203 (K-CIP) 民法 (債権、親族・相続) 演習 EEN2204 (K-CIP) 行政法演習 EEN2205 (K-CIP) マクロ経済学演習 EEN2206 (K-CIP) 教職基礎演習
3	EEM3101 教職総合講義 EEM3102 学校体験活動	EEN3101 (K-CIP) 労働法演習 EEN3102 (K-CIP) 刑法演習 EEN3103 (K-CIP) 財政学・経済事情演習 EEN3104 (K-CIP) 行政学・経営学演習 EEN3105 (K-CIP) 政治学演習 EEN3106 (K-CIP) 国際関係演習 EEN3107 (K-CIP) 社会学・社会事情演習 EEN3108 (K-CIP) 会計学演習 EEN3109 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職 I) EEN3110 (K-CIP) 教養科目演習 (行政職) EEN3111 (K-CIP) SPI演習 (行政職 I) EEN3112 (K-CIP) 教職教養 (教育史・教育法規) EEN3113 (K-CIP) 社会科 II EEN3201 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職 II) EEN3202 (K-CIP) 専門科目演習 (行政職) EEN3203 (K-CIP) SPI演習 (行政職 II) EEN3204 (K-CIP) 専門科目記述式演習 (行政職) EEN3205 (K-CIP) 教職専門演習
4		EEN4101 (K-CIP) 一次対策 (直前模試) EEN4102 (K-CIP) 二次対策 EEN4103 (K-CIP) 総合対策講座

科目水準	教職課程関連科目 (自由科目配置) (EEO)	
0	EE00101 西洋史 EE00102 東洋史 EE00103 人文地理学概論 EE00104 法律学概論 (国際法を含む。) EE00105 哲学概論 EE00106 職業指導 EE00107 道德教育指導法 EE00108 教育方法論 (総合的な学習の時間の指導法を含む。) EE00109 教育相談 EE00110 商業科教育法 EE00111 社会科・地理歴史科教育法	EE00112 教育実習 I EE00113 教育実習 II EE00114 事前事後指導 EE00201 日本史 EE00202 自然地理学概論 EE00203 地誌学 EE00204 倫理学概論 EE00205 教育課程論 EE00206 特別活動指導法 EE00207 生徒・進路指導論 EE00208 社会科・公民科教育法 EE00209 教職実践演習 (中・高)

科目水準	総合共通コア科目 (ERA)	教養教育科目 (ERB)	言語・異文化理解科目 (ERC)	情報教育科目 (ERD)
1	ERA1101 福原学	ERB1101 ことばと日本文化 ERB1102 スポーツの文化 ERB1103 ことばと異文化 ERB1104 情報文化論 ERB1105 歴史と国際情勢 ERB1106 現代国家と法(日本国憲法) ERB1107 暮らしと経済 ERB1108 人権・同和教育 ERB1109 人間と哲学 ERB1110 生命と地球 ERB1111 心の科学 ERB1112 共生社会を生きる	ERC1101 日本語表現法 I ERC1102 英語 I ERC1103 TOEIC入門 ERC1104 ドイツ語 I ERC1105 中国語 I ERC1106 韓国語 I ERC1107 イングリッシュワークショップ ERC1201 英語 II ERC1202 ドイツ語 II ERC1203 中国語 II ERC1204 韓国語 II ERC1301 海外研修	ERD1101 情報処理演習 I ERD1201 情報処理演習 II
2			ERC2101 日本語表現法 II ERC2102 伝わる文章力 ERC2103 英語コミュニケーション I ERC2201 英語コミュニケーション II	ERD2101 情報処理演習 III ERD2201 情報処理演習 IV

科目水準	健康教育科目 (ERE)	キャリア教育科目 (ERF)	留学生特別科目 (ERG)	コア科目群 (ERH)
1	ERE1101 スポーツ A ERE1102 健康の科学 ERE1201 スポーツ B	ERF1201 職業とコミュニケーション	ERG1101 初級日本語 I A ERG1102 初級日本語 I B ERG1103 初級日本語 I C ERG1104 初級日本語 I D ERG1105 初級日本語 I E ERG1106 初級日本語 II A ERG1107 初級日本語 II B ERG1108 初級日本語 II C ERG1109 初級日本語 II D ERG1110 初級日本語 II E ERG1111 中級日本語 I ERG1201 中級日本語 II	ERH1101 経営学概論 ERH1201 経済学概論
2		ERF2101 スキルアップ講座 B ERF2201 スキルアップ講座 C ERF2301 キャリアデザイン I ERF2302 インターンシップ (企業研修)	ERG2101 上級日本語 I ERG2201 上級日本語 II	ERH2101 統計学入門 ERH2201 統計学 ERH2202 マクロ経済学 ERH2203 ミクロ経済学 ERH2204 日本経済史
3		ERF3101 キャリアデザイン II ERF3102 スキルアップ講座 G ERF3103 スキルアップ講座 R ERF3201 キャリアデザイン III ERF3202 スキルアップ講座 A ERF3203 スキルアップ講座 H ERF3204 スキルアップ講座 S	ERG3101 スキルアップ講座 N ERG3102 スキルアップ講座 P ERG3201 スキルアップ講座 O ERG3202 スキルアップ講座 Q	
4				

科目水準	地域創造基礎科目群 (ERI)	コース科目群 (ERJ)	実践科目群 (ERK)	ゼミナール科目群 (ERL)
1	ERI1101 K K U 北九州学 ERI1102 簿記入門 ERI1103 簿記入門演習 ERI1201 初級簿記 ERI1202 初級簿記演習 ERI1203 地域貢献概論		ERK1101 地域創造実習 I ERK1201 地域創造実習 II	ERL1101 地域創造ゼミナール I ERL1201 地域創造ゼミナール II
2	ERI2101 地域のまちづくり入門 ERI2102 民法 ERI2103 人口学 ERI2104 社会調査法 ERI2201 ビジネスと I C T ERI2202 社会調査法演習	ERJ2101 財政学 ERJ2102 会社法 ERJ2201 地域のまちづくり ERJ2202 経済史	ERK2101 地域創造実習 III ERK2102 チャレンジ A ERK2103 チャレンジ B ERK2201 地域創造実習 IV ERK2202 チャレンジ C ERK2203 チャレンジ D ERK2301 地域ワークショップ ERK2302 職業研修 A ERK2303 職業研修 B ERK2304 海外地域学研修	ERL2101 地域創造ゼミナール III ERL2201 地域創造ゼミナール IV
3	ERI3101 おもてなし総論 ERI3102 地域経済論 ERI3103 質的調査法 ERI3201 地域協働論 ERI3202 ソーシャルビジネス論	ERJ3101 地域環境政策論 ERJ3102 行政法 ERJ3103 地方自治体の財政 ERJ3104 公共経済学 ERJ3105 経営管理論 ERJ3106 金融論 ERJ3107 流通管理論 ERJ3108 事業創造論 ERJ3201 地域の教育と文化 ERJ3202 地域リーダー育成演習 ERJ3203 社会保障論 ERJ3204 経営戦略論 ERJ3205 マーケティング論 ERJ3206 事業創造演習	ERK3101 地域創造実習 V ERK3201 地域創造実習 VI	ERL3101 地域創造ゼミナール V ERL3201 地域創造ゼミナール VI
4		ERJ4101 経済政策 ERJ4102 ゲーム理論 ERJ4201 地域の健康福祉 ERJ4202 経営組織論	ERK4101 地域調査実習 I ERK4201 地域調査実習 II	ERL4101 地域創造ゼミナール VII

科目水準	K-CIP関連科目 (ERN)	
1	ERN1101 文章理解	
	ERN1102 社会科学【基礎】	
	ERN1103 数的処理 I	
	ERN1201 人文・自然科学【基礎】	
	ERN1202 数的処理 II	
2	ERN2101 数的処理 III	ERN2201 社会科学【応用 II】
	ERN2102 社会科学【応用 I】	ERN2202 教養基礎答練 II
	ERN2103 教養基礎答練 I	ERN2203 (K-CIP) 民法 (債権、親族・相続) 演習
	ERN2104 (K-CIP) 憲法演習	ERN2204 (K-CIP) 行政法演習
	ERN2105 (K-CIP) 民法 (総則、物権) 演習	ERN2205 (K-CIP) マクロ経済学演習
	ERN2106 (K-CIP) ミクロ経済学演習	
3	ERN3101 (K-CIP) 労働法演習	ERN3109 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職 I)
	ERN3102 (K-CIP) 刑法演習	ERN3110 (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)
	ERN3103 (K-CIP) 財政学・経済事情演習	ERN3111 (K-CIP) SPI演習 (行政職 I)
	ERN3104 (K-CIP) 行政学・経営学演習	ERN3201 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職 II)
	ERN3105 (K-CIP) 政治学演習	ERN3202 (K-CIP) 専門科目演習 (行政職)
	ERN3106 (K-CIP) 国際関係演習	ERN3203 (K-CIP) SPI演習 (行政職 II)
	ERN3107 (K-CIP) 社会学・社会事情演習	ERN3204 (K-CIP) 専門科目記述式演習 (行政職)
	ERN3108 (K-CIP) 会計学演習	
4	ERN4101 (K-CIP) 一次対策 (直前模試)	
	ERN4102 (K-CIP) 二次対策	

科目水準	キャリアコンサルタント養成科目(自由科目配置)(ERO)	
0	ERO0301 キャリアコンサルティング I	
	ERO0302 キャリアコンサルティング II	
	ERO0303 キャリアコンサルティング III	
	ERO0304 キャリアコンサルティング IV	
	ERO0305 キャリアコンサルティング演習 I	
	ERO0306 キャリアコンサルティング演習 II	
	ERO0307 キャリアコンサルティング演習 III	
	ERO0308 キャリアコンサルティング演習 IV	

総合共通科目 (2019~2020年度入学生) 1

シラバス一覧A《総合共通科目》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
シラバス一覧A《留学生特別科目》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

総合共通科目 (2015~2018年度入学生) 92

シラバス一覧B《総合共通科目》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
シラバス一覧B《留学生特別科目》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

キャリアデザイン科目 (2014年度以前入学生) 132

総合教養科目 (2014年度以前入学生) 137

シラバス一覧C《総合教養科目》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138

経済・経営学科 専門教育科目 143

シラバス一覧D《経済・経営学科 専門教育科目》(2015~2020年度入学生) 144
科目順次性を考慮して履修する必要がある科目・・・・・・・・・・・・・・・・ 148
シラバス一覧E《経済・経営学科 専門教育科目》(2014年度以前入学生) 149

地域創造学科 専門教育科目 476

シラバス一覧F《地域創造学科 専門教育科目》・・・・・・・・・・・・・・・・ 477

自由選択科目 537

シラバス一覧G《経済・経営学科 自由選択科目》・・・・・・・・・・・・・・・・ 538
シラバス一覧G《地域創造学科 自由選択科目》・・・・・・・・・・・・・・・・ 540

自由科目 576

シラバス一覧H《自由科目》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 577

総合共通科目(2019～2020年度入学生)

《総合共通科目の教育目標》

【知識・技能】

キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。
また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。

【思考力・判断力・表現力】

本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。

【主体性・協働性】

自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。
また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。

《卒業に要する単位》

2019～2020年度入学生

履修区分		最低修得単位数		要卒単位数
総合共通コア科目		必修1単位		30単位
教養教育科目	文化・芸術領域	2単位以上	6単位以上	
	歴史・社会領域	2単位以上		
	人間・環境領域	2単位以上		
言語・異文化理解科目	日本語	必修2単位	8単位以上	
	英語	必修2単位		
	ドイツ語			
	中国語			
	韓国語			
	イングリッシュワークショップ			
	海外研修			
情報教育科目		必修2単位	2単位以上	
健康教育科目				
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	必修4単位	4単位以上	
	キャリア発展領域			

シラバス一覧 A 《 総合共通科目 》

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載 ページ
総合共通コア科目		1	前	4-7
教養教育科目	文化・芸術領域	ことばと日本文化	1・(2) 前・後	8-11
		スポーツの文化	1・(2) 前・後	12
		ことばと異文化	1・(2) 前・後	13-16
		情報文化論	1・(2) 後	17
	歴史・社会領域	歴史と国際情勢	1・(2) 前・後	18
		現代国家と法(日本国憲法)	1・(2) 前・後	19
		暮らしと経済	1・(2) 前・後	20-21
		人権・同和教育	1・(2) 前・後	22-23
	人間・環境領域	人間と哲学	1・(2) 前・後	24-25
		生命と地球	1・(2) 前・後	26-27
		心の科学	1・(2) 前・後	28
		共生社会を生きる	1・(2) 前・後	29
	言語・異文化理解科目	日本語	日本語表現法	1 前・後
日本語表現法			2 前・後	31
伝わる文章力			2 前・後	32
英語		英語	1 前・(後)	33-34
		英語	1 (前)・後	35-36
		英語コミュニケーション	2 前	37
		英語コミュニケーション	2 後	38
		TOEIC入門	1 前・後	39
ドイツ語		ドイツ語	1 前	40-41
		ドイツ語	1 後	42-43
中国語		中国語	1 前	44
		中国語	1 後	45
韓国語		韓国語	1 前	46-47
		韓国語	1 後	48-49
		イングリッシュワークショップ	1 後	50
	海外研修	1~4 集中	51	

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載 ページ
情報教育科目	情報処理演習	1 前	52	
	情報処理演習	1 後	53	
	情報処理演習	2 前	54	
	情報処理演習	2 後	55	
健康教育科目	スポーツA	1 前	56	
	スポーツB	1 後	57	
	健康の科学	1・(2) 前・後	58-59	
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	職業とコミュニケーション	1 後	60-62
		キャリアデザイン	2 前後	63-64
		キャリアデザイン	3 前	/
		キャリアデザイン	3 後	/
		インターンシップ(企業研修)	2 集中	65
	キャリア発展領域	スキルアップ講座A	3 後	/
		スキルアップ講座B	2・(3) 前	66
		スキルアップ講座C	2・(3) 後	67
		スキルアップ講座G	3・(4) 前	/
		スキルアップ講座H	3・(4) 後	/
	スキルアップ講座R	3・(4) 前	/	
	スキルアップ講座S	3・(4) 後	/	

シラバス一覧A 《 留学生特別科目 》

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載 ページ
留学生特別科目 (外国人留学生のみ履修可能)	初級日本語 A	1	前・(後)	68-69
	初級日本語 B	1	前・(後)	70-71
	初級日本語 C	1	前・(後)	72-73
	初級日本語 D	1	前・(後)	74-75
	初級日本語 E	1	前・(後)	76-77
	初級日本語 A	1	前・(後)	78-79
	初級日本語 B	1	前・(後)	80-81
	初級日本語 C	1	前・(後)	82-83
	初級日本語 D	1	前・(後)	84-85
	初級日本語 E	1	前・(後)	86-87
	中級日本語	1	前	88
	中級日本語	1	後	89
	上級日本語	2	前	90
	上級日本語	2	後	91
	スキルアップ講座N	3・(4)	前	
	スキルアップ講座O	3・(4)	後	
	スキルアップ講座P	3・(4)	前	
	スキルアップ講座Q	3・(4)	後	

授業科目名 (Subject)	福原学 Basic Seminar (Fukuhara-gaku)			単位数	授業内容*	
担当者	中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)		ほか	1	専任	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEA1101		
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部 経済・経営学科	
配当年次	1年生	開講学期	前期			
授業概要	1. 創設者 福原軍造氏が本学園を設立した目的と時代背景を理解する。 2. 我々が属する福原学園とその設置校の一つである九州共立大学の歴史と理念を学ぶ。 3. 学長・学部長・OBの講演を通して共立大生としての自覚と帰属意識を促す。 4. 面談等を通して担任とのコミュニケーションを密にし有意義な学生生活を送ることを促す。 5. 大学の施設と各部署の機能等を理解する。 6. ホームルームを通して大学・学生間の伝達を効果的に行う。			1	ガイダンス、クラス別ホームルーム 【クラス別】授業の概要説明、宿泊研修アンケート記入、プロフィール記入 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
授業到達目標	1. 建学の精神である"自律処行"を理解し、大学生活を通して自ら実践することができる。 2. 共立大生としての自覚と誇りを持つことができる。 3. 社会のしくみや自身のキャリアをより深く考えるきっかけをつくることできる。 4. 効果的に学生生活を送るための修学スキルを身に付けることができる。			2	学長講話 自校史 福原学園と九州共立大学の歴史について(1)、全体ホームルーム 【全体授業】福原学園の学是"自律処行"の講話を聴く 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				3	大学生としての心構えと修学スキルについて(1)、クラス別ホームルーム 【クラス別】高校と大学の違いを理解する(教科書使用) 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				4	大学生基礎力試験(専門業者)、全体ホームルーム 【全体授業】学生の基礎学力、キャリア意識、一般常識の理解度などを計る 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				5	自校史 福原学園と九州共立大学の歴史について(2)、全体ホームルーム 【全体授業】福原記念ホールを見学し、学園史DVDを視聴する 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				6	喫煙防止講演 【全体授業】健康を増進するための考え方と具体的方法について禁煙の観点から学ぶ 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
成績評価の方法(全体で100%)				7	学部長講話 自校史 福原学園と九州共立大学の歴史について(3)、全体ホームルーム 【全体授業】学是"自律処行"を理解する 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
履修における留意事項				8	大学生基礎力試験(専門業者)の解説、全体ホームルーム 【全体授業】各人の基礎学力、キャリア意識、一般常識の理解度などを確認する 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
1) 授業到達目標への到達努力の評価				9	OB講演会(1)、全体ホームルーム 【全体授業】OBの話をお聴きすることにより、キャリア形成のきっかけをつくる 予復修課題：OBの職業について調べてみる	
1. 小テスト、感想文など				10	B講演会(2)、全体ホームルーム 【全体授業】OBの話をお聴きすることにより、キャリア形成のきっかけをつくる 予復修課題：OBの職業について調べてみる	
2. 中間テスト				11	大学生としての心構えと修学スキルについて(2)、クラス別ホームルーム 【クラス別】自己分析を行い、自己の課題と改善策を考える(教科書使用) 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
3. 課題レポートなどの提出物				12	大学生としての心構えと修学スキルについて(3)、クラス別ホームルーム 【クラス別】図書館の利用方法について学ぶ(教科書使用) 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
4. 授業中の発表、討論				13	大学生としての心構えと修学スキルについて(4)、クラス別ホームルーム 【クラス別】効果的なレポートの書き方を学ぶ(教科書使用) 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
5. 授業への参加意欲				14	大学生としての心構えと修学スキルについて(5)、クラス別ホームルーム 【クラス別】大学生活と将来をデザインする(教科書使用) 予復修課題：今日の授業を振り返り、シャトルフォルダに感想文を書く	
6. 自主的学習(予習・復習など)				15	福原学のまとめ、夏休みの注意事項、クラス別ホームルーム 【クラス別】福原学を振り返り、プリントにまとめる 予復修課題：夏休みのスケジュールを立てる	
7.						
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト				アクティブ・ラーニング		
2. 論文、まとめのレポートなど				クラス別授業においてアクティブ・ラーニングを行う場合がある。		
3.						
再評価の実施	する	しない				
教科書	プリントを使用する					
参考書	「スタディスキルズ・トレーニング」吉原・間瀬・富江・小針(実教出版)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		福原学 再履修用 Basic Seminar (Fukuhara-gaku)		単位数	授業内容**	
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		1	1 キャリア基礎演習の必要性と授業の進め方について 予復修課題： 時間割を組む 目安時間:120分	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			2 キャリア基礎演習の内容の紹介 予復修課題： 時間割の確認、プロフィールの作成 目安時間:120分	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部 経済・経営学科	
配当年次	2-3年生	開講学期	前期		3 自己紹介1 予復修課題： プロフィールの確認 目安時間:120分	
授業概要	授業では、大学生活を有意義に過ごすために必要な事柄を学びます。 まず、進路を見据えて時間割を組みます。さらに自己分析をして、将来設計をしましょう。 そして4年間で卒業するために、大学での授業の受け方やレポートの書き方を学びましょう。 同時に、これから経済を学ぶにあたり、興味を持てる経済のテーマを見つけましょう。					
	4 自己紹介2 保健センターの役割について 予復修課題： 3分間で自己紹介をできるように準備する1 目安時間:120分					
授業到達目標	1) 卒業までの学習活動を計画します。 2) 自己分析をしっかりと行い、卒業後に備えます。 3) 社会人として必要な要素を身につけます。					
	5 自己紹介3 予復修課題： 3分間で自己紹介をできるように準備する2 目安時間:120分					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業は、履修指導及び大学生活全般の指導を兼ねていることから、まず出席状況を重視します。 また授業中のコミュニケーション、課題の積極的な取り組みも高く評価します。			
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		60 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	発表、課題レポート			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	詳細は最初の授業時に説明します。			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	なし					
参考書						
					15 予復修課題： 夏休みの過ごし方を考えておく 目安時間:120分	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	福原学 留学生用 Basic Seminar (Fukuhara-gaku)			単位数	授業内容*	
担当者	三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)			1	専任	1 授業方法, 評価方法などの全体説明 自己紹介, 保健センターについて 予復修課題: 【予修】シラバスの熟読 【復修】保健センター利用法
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EAA1101		2 大学を知る(1) : 大学施設を知る(1) 学術情報センター, 図書館について 予復修課題: 【予修】大学施設配置 【復修】IDとパスワード管理
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	3 大学を知る(2) : 大学施設を知る(2) 図書館の利用方法(検索, 閲覧, 貸出) 予復修課題: 【予修】大学施設配置 【復修】図書館利用方法
配当年次	1年生	開講学期	前期		経済・経営学科	4 大学を知る(3) : 大学施設を知る(3) 図書館の利用方法(返却), 学習支援センター 予復修課題: 【予修】大学施設配置 【復修】学習支援センター利用方法
授業概要	留学先として選び, 青春の貴重な時間を過ごす九州共立大学および福原学園の, 建学の精神(学是), 歴史などは, 就学環境という意味で留学生個々の自己形成に大きな影響を及ぼす。留学生個々の最終目標である, 幸せな人生を実現するための第一歩として, 学生生活の充実, 明確な目標設定に必要な基礎的事項について知識を豊かにし, 自分自身のキャリアを考える力を養う。					
授業到達目標	1. 福原学園の歴史や建学の精神について, その概要を説明することができる。 2. 九州共立大学の歴史や設備・施設に関して, その概要を説明することができる。 3. 自分自身の学生生活および卒業後の進路について, 自信を持って主張することができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また, 専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し, 職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき, 自らの考えを組み立て, 人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また, 地域や社会における課題を発見・分析し, 他者の意見も踏まえ, 解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し, 主体的に物事を考え, 責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また, 地域や社会の一員として意識を持ち, 他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・予修・復修の時間の目安は, それぞれ 1時間である。			
1. 小テスト, 感想文など		%				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表, 討論		40 %				
5. 授業への参加意欲		30 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	・ミニッツペーパー【毎回】 ・ディスカッション【10~14回】			
2. 論文, まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	使用しない					
参考書	必要に応じて指示					
						15 授業全体のまとめ 予復修課題: 【予修】授業の到達目標に関する自己評価

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので, 授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	福原学 Basic Seminar (Fukuhara-gaku)			単位数	授業内容*			
担当者	西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		専任	1	ガイダンス 履修、GPAの大切さを知る 予復修課題：シラバスに目を通しておく。	
実務経験のある教員による授業	ナランピング		ERA1101			2	学長講話 建学の精神・ビジョンを学ぶ 日本語力が必要であることを理解する 予復修課題：大学のホーム・ページの建学の精神などを見て、本学の歴史を調べておく。	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部		3	学内ツアー 図書館を中心とした学内施設の利用・活用方法を学ぶ 予復修課題：配布されたレジュメを読む。
配当年次	1年生	開講学期	前期		地域創造学科		4	大学の講義の特徴 授業の受け方、ノートテイキング 予復修課題：配布されたレジュメを読む。
授業概要	本授業は、福原学園および九州共立大学について理解を深めるとともに、大学で学び、よりよい大学生活を送るために必要な知見やスキルを習得することを目的とする。具体的には、福原学園創設者の福原軍造先生の学園創設の動機や創設の過程を知るとともに、学長や学部長、先輩の講話を聞き、学是「自律処行」や福原学園・九州共立大学についての理解を深める。また、クラス別の授業では、レポート作成やプレゼンテーション、グループでディスカッションを行ない、客観的に他者へ自分の考えを表現する力を養うことをめざす。						5	PROGテストの実施 リテラシーとコンピテンシーの観点から、自身の現状を客観的に把握する 予復修課題：リテラシー問題で苦手な分野を把握し、復修をする。
授業到達目標	福原学園および九州共立大学の歴史や建学の精神「自律処行」を理解することができる。大学で学ぶことの意義・特徴を理解することができる。よりよい大学生活を送るために必要なことを理解することができる。客観的に他者へ自分の考えを表現する力を鍛えることができる。レポート作成の基本を身につけることができる。						6	福原学園・九州共立大学の歴史 福原学園・九州共立大学の歴史を学ぶ。先輩の講話を聞く 予復修課題：自校史・九州共立大学の歴史をレポートにまとめる。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							7	モラル教育 飲酒、喫煙、窃盗、詐欺、盗撮など 予復修課題：配布されたレジュメを読む。
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							8	資格取得の魅力 資格を取得することの魅力を知る 予復修課題：配布されたレジュメを読む。
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							9	PROGテストの解説 第5回目に実施したPROGテストの結果を返却して、解説を行なう 予復修課題：自身の現状を客観的に把握した上で、短所の克服や長所の活かし方を考える。
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							10	先輩講話 本学OB (本プロ野球選手) の話を聴く 予復修課題：先輩の話を聴いて、今後の大学生活にどのように活かしていくかを考える。
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				11	課題レポートを書く レポートの書き方について学ぶ 予復修課題：配布されたレジュメを読む。
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・予復修で60分の学修を目安とすること。 ・授業形態は合同とクラス別である。				12	課題レポートを書く 課題レポートの書き方について説明を聴き、レポートを作成する 予復修課題：課題レポートを作成する。
1. 小テスト、感想文など		40 %					13	課題レポートを書く 課題レポートを作成し、添削をうける 予復修課題：課題レポートを作成する。
2. 中間テスト		%					14	プレゼンテーション レポートの内容をレジュメにして口頭発表を行う 予復修課題：面談で相談したいこと、話したいことをまとめておく。
3. 課題レポートなどの提出物		%					15	学部長講話 学部長の話聞く 予復修課題：配布されたレジュメを読む。
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・レポート(11~13回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	・シャトルフォルダーの作成(1~15回)					
3.		%	・プレゼンテーション(14回)					
再評価の実施		する	しない					
教科書	慶應義塾大学教養研究センター(2014)『学生による学生のためのダメラポート脱出法』慶應義塾大学出版会。							
参考書	佐藤望他(2006)『アカデミック・スキルズ』慶應義塾大学出版会。							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ことばと日本文化 Japanese Language and Culture		単位数	授業内容*	
担当者		鈴木 喬 (SUZUKI Takashi)		2	1 オリエンテーション 講義の内容、目的や評価方法等について説明する。 予復修課題： シラバスを見直し予修をする。配布資料を元に復修を行うこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 神話と昔話 「むかし」と「いにしへ」や、神話と昔話、伝説の違いについて説明する。 予復修課題： 出身地域の神話について調べる。配布資料を元に復修すること。	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・法・文学部共通	3 日本文化と禁忌侵犯 神話や昔話における禁忌侵犯（見るなのタブー）について講義する。 予復修課題： 配布資料を元に古事記神話、「青ひげ」について予復修すること。
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			4 古事記神話に見られる「恥」について 古事記神話における「恥」について概観し、講義する。 予復修課題： 配布資料を元に授業内容を予復修すること。
授業概要	本講義では、「ことば」について取り上げ、それらが織りなす日本文化について考えることを目的とする。神話や昔話、万葉集などの古典作品や、マンガやアニメ、テレビドラマを対象とする。言語学的考察はもちろん、民俗学、社会学、国文学など多角的に考察し、日本文化について掘り下げる。グローバル化社会、多文化社会の現代において、他の文化を知ることは勿論のこと、我々の文化について自覚的であればならない。身近な「ことば」や作品を通じ、受講生自身が日本文化とは何かを見つめ直すことを毎回の課題とする。					5 日本人における「恥」 形容詞「やさし」の変容など日本語の側面から「恥」を考察する。 予復修課題： 配布資料を元に「恥」について予復修すること。
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の諸分野に対する造詣を深めることができる。 ・日本文化について説明することができる。 ・作品内部の「ことば」を読み解き、自分で解釈することができる。 ・慣用句を文化の一事象として理解することができる。 					6 「やさしさ」の表現構造 『泣いた赤鬼』等に見る「やさしさ」について講義する。 予復修課題： 配布資料を元に「やさしさ」について予復修すること。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・毎回の授業でミニツツペーパーを全て提出すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	・授業中においては、積極的に参加すること。			
2. 中間テスト		%	・身のまわりの「ことば」や「伝説」について			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	関心を持つこと。			
4. 授業中の発表、討論		%	・授業（教材含む）の予復修を約1時間行うこと。			
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		50 %	・毎回の授業でミニツツペーパーを実施する。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・自分で漢字を創作する(14回目)。			
3.		%	・身のまわりの「ことば」について調査する。			
再評価の実施		する	・クリッカーを用いて授業内容に取り入れる。			
教科書		随時、プリントを配布する。				
参考書		加藤周一『日本文化における時間と空間』をはじめ、授業内で適宜紹介する。				
15		まとめ 総テスト まとめのテストおよび授業の総括を行う。 予復修課題： 配布資料を元に授業全体の復修すること。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ことばと日本文化 Japanese Language and Culture			単位数	授業内容*	
担当者	古浦 修子 (KOURA Shuko)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1101・ERB1101・SSB1101		
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	遠藤周作は、その作品を通して、日本人とキリスト教との関わりを生涯追究した作家です。人生の意味をあたかく誠実に問う作風は、今もなお多くの読者に親しまれています。また遠藤文学は、代表作『沈黙』のハリウッド映画化、長崎・天草の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録などにより、近年ふたたび注目され世界的評価も高まっています。この授業では、人間の弱さや苦しみに共感の眼差しを向ける遠藤文学の特徴やテーマについて学び、作品の現代社会における意義を考えていきます。					
授業到達目標	1)日本文化の諸分野に対する造詣を深めることができる。 2)文学作品を通して「かくれ切支丹(キリシタン)」の歴史を知り、価値観の多様性や異文化との共生に対する視点を養うことができる。 3)ことばによる芸術的表現を通して、現代日本人にとって 信じる こととは何かを考え、理解することができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)授業では毎回ミニツツペーパーを提出すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	2) 授業には積極的に参加すること。			
2. 中間テスト		%	3) 配付資料を活用し、授業の予復修を約1時間おこなうと、より一層理解が深まります。			
3. 課題レポートなどの提出物	30	%	4) 授業理解のため『最後の殉教者』『おバカさん』『沈黙』を読んでおくことをお勧めします。作品の入手方法は授業で説明します。			
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲	10	%				
6. 自主的学習(予習・復習など)	10	%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	50	%	ミニツツペーパー(毎回)			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	授業で取り上げる作品や関連資料をまとめたプリントを毎回配付し、教科書の代わりとする。					
参考書	遠藤周作・佐藤泰正『人生の同伴者』講談社文芸文庫、2006年					
1	イントロダクション 講義の概要、評価方法について説明する。作家・遠藤周作の人物像を紹介する。 予復修課題：配付資料を読み、遠藤周作の生涯や作家としての活動について理解する。					
2	遠藤文学の背景 遠藤周作の幼年期(中国・満州での異国体験～キリスト教の洗礼)について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、幼少期の体験が遠藤の信仰と文学に与えた影響を理解する。					
3	遠藤文学の背景 遠藤周作の少年期(いたずら小僧だった中学時代～浪人・大学時代)について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、無自覚に受けた洗礼による少年期の葛藤について理解する。					
4	遠藤文学の背景 遠藤周作の青年期(フランス留学とその挫折～作家としての出発)について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、西洋との壁にぶつかった遠藤が小説家になるまでを理解する。					
5	『最後の殉教者』を読む 「切支丹(キリシタン)」の歴史を紹介し、遠藤が関心を抱いた理由について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、日本におけるキリスト教の受容と迫害の歴史について理解する。					
6	『最後の殉教者』を読む 作品において、信仰上の強者と弱者が対照的に描写されている意味について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、遠藤文学における弱者像の特徴や役割を理解する。					
7	『最後の殉教者』を読む 人間の弱さへの眼差しを作品から読み解き、信じる 行為の意味について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、遠藤文学における切支丹小説の意義を理解する。					
8	『おバカさん』を読む 遠藤文学におけるユーモア小説やエッセイの試みと、その意義について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、ユーモアという表現方法がもたらす効果について理解する。					
9	『おバカさん』を読む 主人公・ガストンの人物像と、彼を「おバカさん」と呼ぶ遠藤の意図について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、作品の人物設定と互いの関係性に象徴される「愛」を理解する。					
10	『おバカさん』を読む ガストンの生き方を通して描かれる、日本人にも実感できるイエス像について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、作品が表す日常性とそれを越えた世界との関係を理解する。					
11	『沈黙』を読む 遠藤周作の大病による入院・手術体験と、その後の作家としての転機について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、遠藤の「生活」と「人生」に対する考え方の変化を理解する。					
12	『沈黙』を読む 主要人物である宣教師ロドリゴと、切支丹キチジローの人物像と関係について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、人間の裏切りや醜さを受け止めようとするロドリゴの葛藤を理解する。					
13	『沈黙』を読む ロドリゴが烈しい迫害に直面し葛藤する様子を通して描かれる「愛」について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、知識ではなく自身の体験として信仰に向き合う人間像を理解する。					
14	『沈黙』を読む 主要人物の裏切りや挫折の中に、新たな意味を見いだす作品の視点について講義する。 予復修課題：配付資料を読み、ロドリゴが信仰を棄てた後の年月が描かれる意味を理解する。					
15	まとめ これまでの授業を総括し、まとめのテストを実施する。 予復修課題：配付資料を読み、遠藤文学の「人間凝視」に対する自分の考えをまとめる。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ことばと日本文化 Japanese Language and Culture			単位数	授業内容*	
担当者	前田 知津子 (MAEDA Chizuko)			2	オリエンテーション 1 講義の概要や評価方法について説明する。 予復修課題： 配付資料を元に、日本の伝統的短詩形について復修すること。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1101・ERB1101・SSB1101	2 上代の文学 『古事記』を中心に 『古事記』の成立、構成について『日本書紀』を参照しつつ講義する。 予復修課題： 配付資料を元に、『古事記』の成立、構成について予復修すること。	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾞﾙｰﾝ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	上代の文学から『古事記』『万葉集』を取り上げ、日本の伝統的な詩形である歌（歌謡・和歌・短歌）を講読する。上代は、口誦によって伝えられてきた神話や歌謡などが、『古事記』等に定着する時代である。『古事記』は、単に現存するわが国最古の歴史書という位置づけばかりでなく、その後の文学作品に影響を与えた点においても重要である。現存最古の歌集『万葉集』も同様である。本講義では、上代から現在に至るまで行われている歌をとらえて、日本文化を考える視点を提示することを一つの目的とする。					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化に対する造詣を深めることができる。 文学作品に描かれた人物・情景・心情の表現とその効果を読みとることができる。 文学作品と人間・社会・自然との関係性を理解することができる。 上代文学に関する基本的な知識を得ることができる。 小倉百人一首に関する基本的な知識を得ることができる。 					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって授業に参加すること。 予復修の時間を2時間程度取り、理解を深めること。 毎回のミニッツペーパーをすべて提出すること。 11回目には歌一首、14回目には互選用紙を提出すること。 配布するプリント類を整理すること。 			
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ミニッツペーパー〔毎回〕 実践学習〔第11回、第14回〕			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		50 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書						
15		まとめ まとめのテストと授業の総復修をする。互選の結果を発表する。 予復修課題： 配付資料を元に授業全体の復修すること。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ことばと日本文化 Japanese Language and Culture			単位数	授業内容*			
担当者	吉田 宰 (YOSHIDA Tsukasa)			非常勤 講師	1 オリエンテーション 講義の内容や評価方法などについて説明する。「くずし字」について講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、「くずし字」について復修すること。			
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1101・ERB1101・SSB1101	2 日本古典籍の基礎知識 日本古典籍について、写本や版本などに関する基礎事項を講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、日本古典籍について予復修すること。			
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 日本古典籍の基礎知識 日本古典籍について、写本や版本などに関する基礎事項を講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、日本古典籍について予復修すること。		
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期				4 江戸時代の文芸概説 江戸時代の文芸について、「雅」と「俗」という視点から講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、江戸時代の文芸について予復修すること。	
授業概要	本講義では、明治時代以前における日本古典籍について、とくに江戸時代の文学を中心に取り上げる。江戸時代の文学は、『源氏物語』や『伊勢物語』といった伝統的な物語からの影響を大いに受けながら、一方で仮名草子や読本といった、江戸時代になって新たに生まれたジャンルも存する、多種多様なものであった。本講義では、そうした豊潤な江戸時代の文学を通して日本文化に対する学生の理解を深めることを目的とする。また「くずし字」（変体仮名）の読解指導も講義内において行うことで、学生が日本文化を理解する際の一助としたい。						5 「くずし字」でよむ日本古典文学 『伊勢物語』について概要を説明し、該書を「くずし字」でよむ。 予復修課題：配布資料をもとに、『伊勢物語』および「くずし字」について予復修すること。	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の諸分野に対する造詣を深めることができる。 ・日本古典籍や「くずし字」について、基礎的な知識や読解能力を身につけることができる。 ・江戸時代の文学について、その特徴を理解することができる。 						6 「くずし字」でよむ日本古典文学 『仁勢物語』について概要を説明し、該書を「くずし字」でよむ。 予復修課題：配布資料をもとに、『仁勢物語』および「くずし字」について予復修すること。	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							7 江戸時代における河童 江戸時代の百科事典や文学作品などに見られる河童について講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、江戸時代の河童について予復修すること。	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							8 平賀源内の文学 平賀源内が著した近世小説について、『根南志具佐』を中心に講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、平賀源内および『根南志具佐』について予復修すること。	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							9 平賀源内の文学 平賀源内が著した近世小説について、『根南志具佐』を中心に講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、平賀源内および『根南志具佐』について予復修すること。	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							10 平賀源内の文学 平賀源内が著した近世小説について、『風流志道軒伝』を中心に講義する。 予復修課題：配布資料をもとに、平賀源内および『風流志道軒伝』について予復修すること。	
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・毎回のミニッツペーパーをすべて提出すること。 ・授業中においては、積極的に参加すること。 ・授業の予復修を1時間程度行うことが望ましい。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		50 %	・ミニッツペーパー(毎回)。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	随時プリントを配布する。						15 まとめのテストおよび授業の総括を行う。 予復修課題：配布資料をもとに、授業全体の復修をすること。	
参考書	授業中に適宜指示する。							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツの文化 Sports Culture			単位数	授業内容*	
担当者	内田 満 (UCHIDA Mitsuru)			2	1 本授業の目的・概要・評価方法などの説明を行う。 予復修課題：スポーツ振興法と基本法について学んでおく。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			専任	2 グループワークを行うための班分けやワークショップの目的などを説明する。 またスポーツの歴史についての概要を講義する。 予復修課題：古代オリンピックについて調べ、レポートする。	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	3 スポーツの歴史～戦前・戦後期におけるスポーツの歴史について説明する。 またグループで、戦争とスポーツとの関わりについて討議する。 予復修課題：スポーツ種目の発祥について調べ、レポートする。	
配当年度	1-2年生	開講学期	前期	経済学部・スポーツ学部共通	4 スポーツの歴史～戦後期におけるスポーツとコミュニティスポーツについて説明する。 また競技スポーツと生涯スポーツのイメージについてグループ討議をする。 予復修課題：体育指導委員について調べ、レポートする。	
授業概要	2020年の東京オリンピックを契機に、国内でもスポーツの気運が高まっている。平成23年に改正されたスポーツ基本法の前文では文化としてのスポーツも強調されている。しかし一方では、ハラスメントの問題などがメディアなどで取り上げられるようになり、その影響が社会を賑わせてもいる。改めて、スポーツは人間と社会にとってどのような意味を持つのか、理解を深めていくことが問われている。本授業では、スポーツの概念や歴史を踏まえ、現代におけるスポーツのとらえ方(フェアプレイやスポーツマンシップなど)を学ぶ。					
授業到達目標	1. スポーツの歴史的な背景を学び、文化としてのとらえ方を理解する 2. 我が国における、スポーツの歴史を学び、現代におけるスポーツのあり方を議論できる 3. 今後の生涯スポーツのあり方について、提案できる能力を身につける					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業形式は講義形式とグループによるワークショップを基本とする。その中で、自分なりの意見(哲学)をまとめたり、グループとしてのコミュニケーションを深め、組織的な意見集約を行う。課題は10回程度を予定しており、その都度提示する。課題に応じ、授業でフィードバックする。 予復修時間：1時間程度			
1. 小テスト、感想文など		10%	アクティブ・ラーニング ・グループディスカッション[第2~10回] ・グループワーク[第11~14回] ・プレゼンテーション[第15回]			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20%				
4. 授業中の発表、討論		20%				
5. 授業への参加意欲		30%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		20%				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	必要に応じて資料を配付する					
参考書	関春南「戦後日本のスポーツ政策 その構造と展開」大修館書店、1997年					
					11 「スポーツとは何か」について論理的にどう考えるかを説明する。またグループにてワークシートを元に「今後、必要なスポーツのあり方」について討議する。 予復修課題：SNSのスポーツ動画で、現代スポーツの在り方などを考察する。	
					12 「スポーツとは何か」について論理的にどう考えるかを説明する。またグループにてワークシートを元に「今後、必要なスポーツのあり方」について討議する。 予復修課題：ロジカルシンキングについて理解を深めておく。	
					13 我が国のスポーツ文化の課題について論理的思考に基づきまとめる作業をグループ毎に行い、ワークシートにまとめる。 予復修課題：ワークシートのまとめを行い、メールで提出。	
					14 他のグループのスポーツ文化に関するワークシートを評価する。 予復修課題：試験に必要な資料のまとめなどを行っておく。	
					15 本授業のまとめとしての試験を行う(60分)。終了後、試験内容を中心に解説と振り返りを行う。 予復修課題：試験に必要な資料のまとめなどを行っておく。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ことばと異文化 Foreign Languages and Cultures			単位数	授業内容*	
担当者	永松 美保 (NAGAMATSU Miho)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1103・ERB1103・SSB1103		
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期			
授業概要	<p>交通網の発達で海外の国々が身近になった現在、21世紀を生きる皆さんにとって外国の文化を知ることは大切なことです。</p> <p>この講義では、英語圏の国の中でも、特に、イギリスに焦点をあて、イギリス文化を説明して行きます。講義では、イギリス文化関係の専門書を用いて、イギリスの位置、気候からイギリスの繁栄の歴史などまで説明します。</p> <p>時間が許せば、テーマ毎に学生の皆さんにグループ発表をして貰うこともあります。</p>					
授業到達目標	<p>英語圏の文化を学ぶことによって、国際社会で生きて行くことが可能な教養を身につけ、国際情勢に敏感な意識を持つことができるようになる。</p>					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修に際しては、第1回目の講義に必ず出席し、講義概要を把握して受講を決めて下さい。出席状況、受講態度については、厳しく対応します。そのことも念頭に置いて履修を決めて下さい。また、受講学生は必ず教科書を携えて、講義に臨んで下さい。講義に際しては、60分程度を目安に、講義内容の予復修修を行って下さい。			
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		15 %				
5. 授業への参加意欲		15 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		70 %	講義内で、適宜、特定の課題についてグループ学習を行い、発表して貰います。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	概説 イギリス文化史 (佐久間康夫他、ミネルヴァ書房)					
参考書	イギリス文化史入門(昭和堂、井野瀬久美恵編)、英米女性作家(久守和子他、ミネルヴァ書房)					
1	オリエンテーション		講義概要・受講についての説明、及び、諸注意 予復修課題：講義概要で、見聞きした馴染みのない学術用語は調べておく。			
2	イギリスについて全体像の説明、及び、学生個々の持つイメージの発表		予復修課題：イギリスについて抱いているイメージをまとめておく。			
3	イギリス文化について：教科書「はしがき」部分、及び、そのキーワードの説明 イギリス文化紹介		予復修課題：講義内容の復修と共に、「はしがき」に出てくる重要語句を調べてくる。			
4	イギリス文化について：教科書「はしがき」部分、及び、そのキーワードの説明 イギリス文化紹介		予復修課題：講義内容の復修と共に、「はしがき」に出てくる重要語句を調べてくる。			
5	イギリス文化について：教科書「はしがき」部分、及び、そのキーワードの説明 イギリス文化紹介		予復修課題：講義内容の復修と共に、「はしがき」に出てくる重要語句を調べてくる。			
6	イギリスの産業・気候・緯度・正式名称等の説明 イギリス文化紹介		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
7	4つの文化圏について(イングランドについて) イングランドのそれぞれの地域等について		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
8	4つの文化圏について(イングランドについて) 他地域、他国対イングランドの関係		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
9	4つの文化圏について(ウエールズについて) ウエールズの特徴(産業・気候・言語等)		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
10	4つの文化圏について(スコットランドについて) スコットランドの特徴(産業・気候等)		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
11	4つの文化圏について(北アイルランドについて) 北アイルランドの特徴(産業・気候等)		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
12	大英帝国の光と影 イギリスの帝国主義政策とその繁栄		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
13	大英帝国の光と影 ヴィクトリア時代の女性達を中心として		予復修課題：講義内容の復修と共に、次回講義予定箇所まで教科書を読んでくる。			
14	現在のイギリス社会(階級制度、移民問題等) 階級制度と移民問題を中心に		予復修課題：講義内容の復修と共に、イギリスの階級制度を調べてくる。			
15	まとめのテストと総括		予復修課題：講義内容を振り返って、試験勉強を行う。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ことばと異文化 Foreign Languages and Cultures			単位数	授業内容*	
担当者	森田 司 (MORITA Tsukasa)			2	1 オリエンテーション： シラバスの解説を行う。また、授業の進め方、評価方法、授業概要を説明する。 予復修課題：オリエンテーションプリントの再確認。次回のクイズについて事前に考えておく。(120分程度)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1103・ERB1103・SSB1103	2 新しい国アメリカ（植民地時代） 植民地時代から現在のアメリカに続く源流を考察する。 予復修課題：授業内容をプリントで復修する。リンカーン、南北戦争について調べておく。(120分程度)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	アメリカは超大国として今なお軍事や経済など、様々な面で世界に多大な影響を及ぼしている。日本とアメリカの関しても時に協力し合い、時に批判し合っておりその例外ではない。しかし、アメリカは決して建国の当初から強大な国ではなかった。第1～9回目では、時系列順にアメリカ成立以降の道程を文学作品や映画を通して説明する。第10～14回目では、それぞれテーマを絞り、アメリカにおける様々な問題を学ぶ。				3 アメリカらしさってなんだろう？（独立期から南北戦争まで） 新興国アメリカのアイデンティティ追求を考察する。 予復修課題：授業内容をプリントで復修する。「アメリカン・ドリーム」とは何か調べておく。(120分程度)	
授業到達目標	歴史を学ぶことで、アメリカという国を具体的、客観的に知ることができる。文学作品や映画を通してアメリカの文化に触れ、理解することができる。アメリカにおける諸問題を学び、多文化共生に必要な視点を持つことができる。				4 アメリカの金メッキ時代（南北戦争後から第一次世界大戦まで） 華々しい経済成長とその裏にある欺瞞を考察する。 予復修課題：授業内容をプリントで復修する。禁酒法に関して調べておく。(120分程度)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法（全体で100%）			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 履修にあたり、第一回目の講義に参加して講義概要を把握して受講をすかどうか判断して下さい。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	2. 授業はスライドとプリント及び、関連する映画などで行います。			
2. 中間テスト		%	3. 毎回、授業初めに内容に関するクイズを、授業終わりに感想を書いてもらいます。			
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		40 %	毎回授業内容に関するクイズを出します。その際、必要であればグループディスカッションを行います。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	プリントを配布します。参考文献があれば、適宜紹介します。					
参考書	諏訪部浩一他『アメリカ文学入門』三修社、2013年 猿谷要『アメリカ500年の物語』平凡社、2004年					
					15 勉強してきた内容の総括し、まとめのテストを行う。 予復修課題：これまでの授業をプリントで復修する。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ことばと異文化 Foreign Languages and Cultures		単位数	授業内容*		
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)		2	専任		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEB1103・ERB1103・SSB1103			
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通		
配当年度	1-2年生	開講学期	後期				
授業概要	中国の古典小説『三国志演義』は名言の宝庫と言ってもよい。「三顧の礼」をはじめ、世に知られた名句も多い。この講義では、『三国志演義』にまつわる名句を学習しながら、小説における虚実の組み合わせや英雄豪傑の人物像を理解する。 具体的に、「桃園の誓い」や「三顧の礼」「赤壁の戦い」などの名場面を中心に、DVD映像を鑑賞しながら、パワーポイントと配布資料を通して勉強を進めていく。				1	ガイダンス：シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。 予復修課題： 三国志を調べてくこと、配付資料「三国志演義の世界」を復修すること。予復修の目安時間：各120分。	
授業到達目標	中国のことばと文化に興味を持ち、三国志物語の面白さを知る。また、中国の社会や文化、及び人々の考え方をより深く理解できる。さらに、学習を通して得られる世界についての情報を深く理解し、現代の日本社会について広い視野から考えられるようになる。				2	ことばと小説『三国志演義』 パワーポイントで小説『三国志演義』にまつわる名言を紹介する。 予復修課題： 『三国志演義』にまつわる名言を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】		キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】		本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】		自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業に参加し、ノートを取ることを。授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。			3	DVD「桃園の誓い」の鑑賞と配布資料の解説。 予復修課題： 「桃園の誓い」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
1. 小テスト、感想文など		20 %	授業後に、感想文などを提出すること。			4	人物像1：神になった英雄 関羽 パワーポイントで関羽について解説する。 予復修課題： 配付資料を熟読し、関羽について調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。
2. 中間テスト		%				5	名場面2：「官渡の戦い」 DVD「官渡の戦い」の鑑賞と配布資料の解説。 予復修課題： 「官渡の戦い」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				6	人物像2：曹操はなぜ悪役なのか パワーポイントで曹操について解説する。 予復修課題： 配付資料を熟読し、曹操について調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。
4. 授業中の発表、討論		10 %				7	名場面3：「三顧の礼」 DVD「三顧の礼」の鑑賞と配布資料の解説。 予復修課題： 「三顧の礼」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
5. 授業への参加意欲		10 %				8	人物像3：劉備の人徳 パワーポイントで劉備について解説する。 予復修課題： 配付資料を熟読し、劉備について調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。
6. 自主的学習(予習・復習など)						9	名場面4：「赤壁の戦い」 DVD「赤壁の戦い」の鑑賞と配布資料の解説。 予復修課題： 「赤壁の戦い」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
7.						10	人物像4：諸葛孔明の知恵 パワーポイントで諸葛孔明について解説する。 予復修課題： 配付資料を熟読し、諸葛孔明について調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト			・ミニッツペーパー：第1回・第5回・第11回			11	名場面5：「関羽の最期」 DVD「関羽の最期」の鑑賞と配布資料の解説。 予復修課題： 「関羽の最期」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %	・ミニッツレポート：第3回・第7回・第13回			12	人物像5：呉の孫権 パワーポイントで孫権について解説する。 予復修課題： 配付資料を熟読し、孫権について調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。
3.			・グループディスカッション：第6回・第12回			13	名場面6：「秋風五丈原」 DVD「秋風五丈原」の鑑賞と配布資料の解説。 予復修課題： 「秋風五丈原」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
再評価の実施		する	・調査学習：毎回			14	日本における『三国志演義』の受容 パワーポイントで日本における『三国志演義』の受け入れ方について解説する。 予復修課題： 『三国志演義』の受容を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。
教科書		プリント配布					
参考書		羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』 筑摩書房 2002年					
		まとめ 勉強した内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題： 全部の配付資料の整理と復習を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ことばと異文化 Foreign Languages and Cultures		単位数	授業内容*	
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	イントロダクション 授業の進め方と概要説明	
授業形式		講義		科目区分	2	
配当年次		1-2年生		総合共通科目	予復修課題： 最近の報道から「異文化」間の問題が背景となっているものをピックアップ。(約1時間)	
開講学期		後期		履修学部	ドイツ(1) ライン河から見るドイツ	
開講学期		後期		経済学部・スポーツ学部共通	予復修課題： 復修:授業内容をまとめる。予修:フランス革命(1789年)について調べる。(約1時間)	
授業概要		「異文化」がもたらす「外国」や「外国人」との連関で認識されることには一定の批判を向けるとしても、「グローバル化」「ボーダレス化」が一般化した時代を生きる今日の私たちは、日常的に「異文化」の存在を強烈に意識させられています。そうした状況下では多様性の共生が求められる一方で、現実には自らの価値観から外れる他者を排斥する傾向も顕在化しています。本講義では、主にヨーロッパを対象として、歴史、政治、文化的背景などの多様な観点と関連づけながら、「異文化」というテーマに多角的にアプローチします。				
授業到達目標		1. 「異文化」に対する既存のイメージと現実のギャップを客観化することができる。 2. 「文化」を形成する諸要素を認識し分析的に理解することができる。 3. 「異文化」間の相互理解のための有効な切り口を見だし、他者への寛容性につなげることができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義内容のまとめり毎に、内容確認のための小テストを複数回実施します。			
1. 小テスト、感想文など		70 %	板書、スライド、配布プリントさらには口頭で説明した内容はどれも重要ですから、必ずノートを取り、授業外での予復修(各1時間程度)に役立ててください。小テストも、その内容に添って出題されます。			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		5 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	講義内容理解確認のための小テスト			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	レポート執筆			
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		特別な教科書は使用しない				
参考書		特になし				
				15		
				まとめ		
				予復修課題： 授業全体の復修(約1時間)		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		情報文化論 Theory of Information and Culture		単位数	授業内容*	
担当者		福島 宙輝 (FUKUSHIMA Hiroki)		2	1 本講義の目的及び講義の進め方について説明する。 例を挙げながら情報社会について解説する 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		非常勤講師	2 機械はどのように「思考」するかを講義する 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	3 デジタルデータとアナログデータ 情報量とは何か 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
配当年次	1-2年生	開講学期	後期	経済学部・スポーツ学部共通	4 人は世界をどのように観ているのか ～表象とは何か (1) 視覚と聴覚の実験～ 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
授業概要	犬も歩けば人工知能が乱舞する時代に、我々の知的生命体としての存在価値が問われている。本講義は、人工知能と情報技術の基礎を論じ、対比的に人間の思考の特性を論じる。講義の後半においては最先端の人工知能研究を紹介しつつ、人工知能とは何か、今後の知能研究の進む道を紹介する。同時に、アフォーダンスを中心として環境に埋め込まれた知性、身体性の重要性を論じる。				5 人は世界をどのように観ているのか ～表象とは何か (2) 味覚と嗅覚と触覚の実験～ 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
授業到達目標	①記憶とデータを基軸概念として機械の情報処理の特性を、人間の思考と対比的に説明できる ②表象と記号を基軸概念として、人間の思考の特性を機械の情報処理と対比的に説明できる ③人工知能の先端的システムとその内包する課題を理解できる				6 人間と機械とハリネズミの記憶の仕組み ～環境に埋め込まれた知性と身体性～ 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[◎特に関係する ○関係する]						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				◎	7 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度) 8 中間試験と解説	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				○	9 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度) 10 人類史上の天才とその思考に迫る 羽生善治、ひふみん、チャールズ=サンダース=パース、アラン=チューリング 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					11 人工知能の黒歴史と第三次AIブーム 予復修課題： 講義内容のまとめを作成する(180分程度)	
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回の課題も思索的で、ハイレベルです。 毎回、180分程度の予復修を要します。			
1. 小テスト、感想文など		25 %				
2. 中間テスト		25 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		25 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%				
2. 論文、まとめのレポートなど		25 %				
3.		%				
再評価の実施	する	しない	○			
教科書	福島宙輝『あ、これ美味しいの言い換え力』三才ブックス、2018					
参考書	15 予復修課題： 最終課題に向けての予習(180分程度)					

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	歴史と国際情勢 International Affairs and History			単位数	授業内容*		
担当者	鎌田 厚志 (KAMATA Atsushi)			2	1	国際政治とは何か、市民にとっての学問教養としてなぜそれが必要かについて考えてみる。また、今後の授業日程や到達目標について解説する。 予復修課題：国際政治の時事問題に触れる(予復修180分)。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1105・ERB1105・SSB1105	2	国際関係の最も重要な主体である「国家」の主要な三つの要素、特にその中の領域と国民について学ぶ。 予復修課題：領土問題等に関心をもって学ぶ。(予復修180分)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3	近代において「主権国家」が、歴史的にどのようにして誕生したかについて説明する。 予復修課題：主権概念形成の背景となる歴史を学ぶ。(予復修180分)
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			4	封建社会だった江戸期から明治維新を経て、日本が近代主権国家へと変化した歴史を学ぶ。 予復修課題：日本の幕末・明治の歴史を学ぶ。(予復修180分)
授業概要	政治と国際問題を理解するために、国家とは何か、また、それはどのような政治的営みを行うか、国家以外にはどのような国際関係の主体があるかを明らかにする。また、国際関係論の主要な理論(リアリズム、リベラリズム等)に触れ、それらの理論の出現に大きな影響を与えた第一次世界大戦等の歴史について学習する。現代の国際的な課題についても学習する。政治と国際問題に対する基礎的知識と能動的な思考能力を身につけることを目指す。					5	近代における国民国家形成の歴史、ナショナリズムとは何かについて学ぶ。 予復修課題：国民国家について学ぶ。(予復修180分)
	1. 国家をはじめとした国際政治の行為主体(アクター)についての基礎知識を身につけることができる。 2. 国際政治に対する基本的な見方・理論を把握することができる。 3. 国際政治の歴史および現状についての理解を深めることができる。					6	最も主要な国際機関である国際連合について、その歴史や制度について学ぶ。 予復修課題：国連について学ぶ。(予復修180分)
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7	国際経済機関であるIMF・世界銀行や、WTOについて学ぶ。 予復修課題：国際経済機関について学ぶ。(予復修180分)
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					8	グローバル化の時代において大きな力を持つに至った多国籍企業について学ぶ。 予復修課題：多国籍企業について学ぶ。(予復修180分)
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					9	グローバリズムの問題点である、タックス・ヘイブン等の問題について学ぶ。 予復修課題：タックス・ヘイブン等について学ぶ(予復修180分)
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					10	国際政治に対する主要な理論であるリアリズムについて、その特徴やなぜリアリズムの理論が主張されるに至ったか、その課題等について説明する。 予復修課題：リアリズムについて学ぶ。(予復修180分)
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				11	リアリズムと並ぶ主要な国際政治理論であるリベラリズムについて、その歴史や課題や概要について説明する。 予復修課題：リベラリズムについて学ぶ。(予復修180分)
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	該当範囲の現代社会や世界史の予習、または新聞やニュース等に目を通すことに、毎回少なくとも一時間以上は用いて、日ごろから自分の見識や思考力を深めることを求めます。復修も同程度以上の時間をかけることが望ましいです。				12	規範やアイデンティティの観点から国際関係の変化を説明するコンストラクティビズムの理論を説明する。 予復修課題：コンストラクティビズムについて学ぶ。(予復修180分)
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				13	国際社会における貧富の格差の問題に対する構造的アプローチについて学ぶ。 予復修課題：南北問題等について学ぶ。(予復修180分)
1. まとめのテスト	70%	毎回質問用紙を配布します(記入は自由)。				14	国際政治理論に大きな影響を与えた第一次世界大戦について学ぶ。 予復修課題：第一次世界大戦の歴史について(予復修180分)
2. 論文、まとめのレポートなど	20%	質問に答える形で時事問題等を取りあげたいと思いますので、積極的な質問を期待します。				15	授業のまとめ・試験を実施する。 予復修課題：今までの授業内容の復修。(予復修180分)
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	特に使用しない。講義で使用する資料は配付する。						
参考書	村田晃嗣ほか『国際政治学をつかむ 新版』有斐閣(2015年)						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	現代国家と法 (日本国憲法) Law and Contemporary Nations (The Constitution of Japan)			単位数	授業内容*		
担当者	塩盛 俊明 (SHIOMORI Toshiaki)			2	1	人権保障の総論(1) 憲法の基本原理～基本的人権の尊重 教科書p6～p15 予復修課題：教科書巻末(p259～)にある日本国憲法の条文を読んでください。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1106・ERB1106	2	人権保障の総論(2) 公共の福祉、国家と人権 教科書p16～p20、p31～p35 予復修課題：該当範囲を読み、人々の人権を脅かすものは何かを考えてください。	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	3	人権規定 包括的人権(1) 個人の尊重、幸福追求権 教科書p41～p51 予復修課題：該当範囲を読み、自分にとっての「幸福」とは何かを考えてください。
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			4	人権規定 包括的人権(2) 法の下での平等、両性の本質的平等 教科書p52～p57、p64～p69 予復修課題：該当範囲を読み、「平等」とはどういう状態をいうのか考えてください。
授業概要	私たちが生きる現代の日本は、歴史的に見ても、またグローバルな観点から見ても、恐怖と欠乏から免れた最も自由な社会の一つです。では、人々はそのような自由や幸福をどのようにして実現することができるのでしょうか。グローバル化が進展し、さらなる変化を遂げようとしている現代社会において、私たち自身の現在と未来、そして将来の世代の自由をも守っていくことにも繋がるこの問いについて、日本国憲法の基礎的知識を身につけた上で、憲法学的視点から自ら考える力を養うことを目的としています。						
	日本国憲法における基本的人権の保障や日本の統治機構を学び、理解できる。現代国家を形成し、それを守る一定のルールとメカニズムを理解できる。憲法の条文を解釈しつつ、それらと現実社会との関係を自ら考え、理解できる。						
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	講義に臨む前にシラバスに表示されている「予復修課題」に取り組むとともに、講義で配布されたレジュメや板書の復修を毎回行ってください(予復修取組時間：1時間程度)。					
1. 小テスト、感想文など	20 %	不定期にその日の講義内容を踏まえた問いを盛りこんだコメントペーパーの提出を求めることがあります。これを小テストの一種として成績評価に加味します。					
2. 中間テスト	%	アクティブ・ラーニング 上記コメントペーパーを用いて、講義で学んだ知識を自ら考え、アウトプットします。					
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト	70 %						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	井上典之 編『憲法の時間』有斐閣、2017年						
参考書	芦部信喜・高橋和之補訂『憲法(第6版)』岩波書店、2015年						
	11					権利や憲法をまもるしくみ 教科書p206～p220 予復修課題：該当範囲を読み、裁判が誰のためにあるのかを考えてください。	
	12					憲法とはどのような法?(1) 国を形作る法、統治権をしぼる法 教科書p228～p239 予復修課題：該当範囲を読み、憲法が大切と言われるわけを考えてください。	
	13					憲法とはどのような法?(2) 憲法を変えようとは?、平和主義 教科書p246～p256 予復修課題：該当範囲を読み、世界平和のために私たちができることを考えてください。	
	14					現代社会と法とのつながりの俯瞰 第1講から第13講までの範囲 予復修課題：指定範囲を復修しておいてください。配付レジュメを全て持参してください。	
	15					まとめのテストおよび解説 これまでの講義のまとめのテストとその解説をします。 予復修課題：これまでの講義のノートのみを、内容をよく理解してきてください。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	暮らしと経済 The Economy and Daily Life			単位数	授業内容*	
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1107・ERB1107・SSB1107		
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾞﾙ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	インセンティブ、需要と供給、機会費用、消費者物価指数、経済成長率、所得再分配、GDP、量的緩和、マイナス金利、比較優位、消費税率引上げ、デフレーション、自由貿易等といった新聞やビジネス書によく出てくる「わかっているようで、実はわかっていない」用語やわかりにくい経済の理論や概念をやさしい言葉で解説する。また、できるだけ我々の日々の暮らしと生活に関係が深いテーマなどを通じて実社会の仕組みを理解し、より高度な経済学分野の専門知識の習得への橋渡しとすべく、基礎知識(リテラシ-)を固めさせる計画である。					
授業到達目標	テキストにあるイラスト+簡単な説明で、経済の仕組みに明るい学生になることができる。また、「身の回りにこういう事象があったな」と学生諸君の日々の暮らしに身近な事例の経済的背景を理解することができる。さらに、一歩進んで、恋愛、就職、結婚、出産など人生の各ターニングポイントにおいて、どうしたらいいかを考え、最善の選択をするような経済的な知恵を身に付けることができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	日々の日本経済、世界経済の動きを知るために新聞やテレビなどのマスコミを通じ、世の中の経済現象のおよそのトレンドを把握することを求める。			
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		40 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	学習効果を高めるために、中間テスト「第8回」を実施し、翌日に解説する。また、授業内容関連の「homework」を第8回(中間テスト)、第15回(まとめのテスト)を除き毎回導入する。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	花岡幸子『経済用語図鑑』WAVE出版、2016年					
参考書						
1	第1章 経済学ってなんだろう(経済学、希少性、財・サービス、ニーズと欲求、最適化行動、生産要素、インセンティブ、価値、価値の逆説、効用)(テキスト12-18頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
2	第1章 経済学ってなんだろう(富、家計、市場、経済循環、経済主体、自由市場経済、経済成長と生産性、分業、特化、トレード・オフ、費用)(テキスト19-25頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
3	第1章 経済学ってなんだろう(機会費用、株式会社、生産可能性フロンティア、ミクロ経済学、マクロ経済学)(テキスト26-30頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
4	第2章 ミクロ経済学(需要と供給、需要、供給、需要の法則、供給の法則、需要曲線、供給曲線、需給均衡、需要の弾力性、供給の弾力性)(テキスト34-41頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
5	第2章 ミクロ経済学(単位弾力的、限界効用、限界費用逓減の法則、限界費用、所得効果、代替効果、正常財、劣等財、代替材、ギッフェン財)(テキスト35-51頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
6	第2章 ミクロ経済学(補完財、企業、限界生産物、3つの生産段階、限界生産逓減の法則、生産関数、限界分析、費用曲線、総費用、固定費、変動費)(テキスト52-61頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
7	第2章 ミクロ経済学(総収入、限界収入、損益分岐点、可変比率の法則、減価償却費、利潤の最大化、利益最大化生産量、プライステイカー)(テキスト62-69頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
8	中間テスト 予復修課題: これまでの学習内容を振り返り、理解不足箇所を深掘する。復修目安時間:2時間					
9	前回の中間テストの内容を解説した後、第2章ミクロ経済学(完全競争市場、生産者余剰、消費者余剰、社会的余剰、不完全競争、資源配分、パレート最適)(テキスト70-76頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
10	第2章 ミクロ経済学(レント、ローレンと曲線、ジニ係数、プライスメーカー、プライスリーダー、独占度、独占、寡占、独占的競争、カルテル)(テキスト77-88頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
11	第2章 ミクロ経済学(市場の失敗、外部経済、外部不経済、独占禁止法、同質財、差別財、ゲーム理論、ナッシュ均衡、囚人のジレンマ)(テキスト89-97頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
12	第2章 ミクロ経済学(フォークの定理、市場の外部性、生産理論、価格、市場均衡、レッセ・フェール、夜警国家、ピグー税、公共財、私的財)(テキスト98-104頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
13	第2章 ミクロ経済学(コースの定理、モラル・ハザード、割引現在価値、情報の非対称性、サミュエルソンの公式、需給ギャップ)テキスト(105-116頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
14	第2章 ミクロ経済学(価格の自動調整機能、市場価格、均衡価格、市場メカニズム) 第3章 マクロ経済学(GDP、物価、経済成長、所得、課税)(テキスト122-145頁)		予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間			
15	まとめのテストおよび講義の総括(残された課題など) 予復修課題: 1~14回の授業内容を総復修する目安時間:2時間					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	暮らしと経済 The Economy and Daily Life			単位数	授業内容*	
担当者	渡部 忠信 (WATANABE Tadanobu)			2	1 ガイダンス 授業の概要と進め方について 序論 国の経済の大きさはどうやって測るか? 「GDP」概念について整理する。 予復修課題: GDPの定義、GDP概念の限界	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1107・ERB1107・SSB1107	2 雇用の決定 「社会全体の雇用量」は、何を決め手に、どのように決まるのか?を見る。 会社が「雇おう」とし、労働者が「働こう」とするのはどんなときか。 予復修課題: 自発的失業と非自発的失業の違い	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	2つのテーマを扱う。平穏な暮らしを送るためには、経済の安定は欠かせない。中でも日常生活に大きな影響を与えるのは、雇用と所得だから、国は「経済政策」を展開することで、より良い状態に近づけようとしている。そこで、こうした財政・金融政策が、どのような脈絡をたどって、最終的に雇用の創出や収入の増加に結びつくのか、について考察する。 グローバル化と、特に急速な人口減少が、経済と社会にどんな影響をもたらすかを、雇用・税・社会保障の3つの領域を素材に考察する。					
授業到達目標	財政政策と金融政策の意義・効果・特徴を理解する。 財・貨幣・労働の3つの市場の内容・相互関係を説明できるようになる。 人口減少の原因と影響を理解する。 雇用・年金・税等、将来社会人として生活していく上で必要な基本常識を身に付ける。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教材は、配布物(40ページ程度)を使用する。空欄式になっているので、毎回、出席して、キチンと補充すること。 予復修については、配布物中の「小問」から指定する。 UNIVERSAL PASSPORTに「要点」を記載するので、次の授業までに確認すること。 予復修取組時間: 1時間程度			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	小テスト 上記の留意事項 参照。進行に			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	応じて適時実施			
3.		%	レポート 8・14回			
再評価の実施	する	しない				
教科書	なし。講義レジュメを使用する。					
参考書						
	11		金融政策2 金融政策の限界性について見たあと、財政・金融両政策の比較を行う。 不況が深刻化した局面で有用なのは、果たしてどちらの政策か? 予復修課題: 金融政策が無効になるのは、どんな状況か			
	12		人口転換 日本の「人口転換」について考察した上で、人口減少が、我が国の社会・経済にどのような影響を与えるか?について考える。 予復修課題: 戦後～現在までの日本の人口変動についてのまとめ			
	13		雇用保障 日本の雇用の特徴を、労働・社会政策の行政実務をふまえて考察する。 女性・高齢者・外国人の労働市場参加がなぜ求められているか?を考える。 予復修課題: 日本の長期雇用システムの特徴・長所・短所			
	14		社会保障 日本の社会保障の特徴を、労働・社会政策の行政実務をふまえて考察する。 現役世代と高齢者向けの比重の適否、制度の持続可能性について考える。 予復修課題: 日本の年金制度の問題点(雇用者保険と地域保険それぞれについて)			
	15		まとめとテスト これまでの授業の内容を総復修して、理解度の確認を行う。 予復修課題: 授業中に指示した個所のまとめと復修しておくこと。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人権・同和教育 Antidiscrimination and Human-Rights Education		単位数	授業内容*	
担当者		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		専任	1 ガイダンス 講義の進め方、評価方法、提出物等について説明する 予復修課題： シラバスを読み、高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間:2時間)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEB1108・ERB1108・SSB1108	2 人権とは何か 人権の歴史と理念、日本国憲法の自由権と社会権 予復修課題： 人権の理念について高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間:2時間)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期			
授業概要	本授業は人権の歴史と現状を学びながら知識を深めるとともに、主体的に日常生活のなかに潜むさまざまな人権問題に気づき、問題を問題として見抜く感覚を身につけることを目標とする。個人的問題であるように見えるものは社会的問題でもある。差別や偏見などで苦しむ人びとの心の痛みに共感し分かち合い、多様な価値観を受け入れ、互いを尊重する社会の担い手となることをめざす。				3 日本国憲法と人権(1) 日本国憲法制定の背景 予復修課題： 日本国憲法と制定の背景について高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間:2時間)	
授業到達目標	1)人権に関する知識を深めることができる。 2)人権感覚を身につけることができる。 3)社会における事象を人権という視点から考えることができる。 4)自己の考えを文章で表現することができる。 5)批判的・論理的思考力を身につけることができる。				4 日本国憲法と人権(2) 女性の人権の制定と戦後における女性の権利 予復修課題： 憲法に関する新聞記事を収集する(予復修の目安時間:2時間)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)予修・復修を行ない、積極的に授業に参加すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業では、テーマに沿った映像を視聴し理解を深める。			
2. 中間テスト		%	3)普段から新聞に目を通し、人権に関する記事をスクラップすること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	1)予修・復修ミニテストの実施(2~14回)。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	とくに指定しない。適宜レジュメ、プリント等を配付する。					
参考書	網野善彦『歴史を考えるヒント』新潮選書2001年/朴三石『知っていますか朝鮮学校』岩波ブックレット2012年					
					11 部落問題と人権(1) 被差別部落の歴史 予復修課題： これまで被差別部落について学んだことをまとめる(予復修の目安時間:2時間)	
					12 部落問題と人権(2) 同和問題への取り組み 予復修課題： 同和問題に関する国、地方行政の取り組みについて調べる(予復修の目安時間:2時間)	
					13 部落問題と人権(3) 同和問題の現状と課題 予復修課題： 同和問題に関する国、地方行政の取り組みについて調べる(予復修の目安時間:2時間)	
					14 まとめ(1) これまでの授業全体を振り返る 予復修課題： これまで配布されたレジュメを振り返る(予復修の目安時間:2時間)	
					15 まとめ(2) まとめのテストと解説 予復修課題： これまで配布されたレジュメを振り返る(予復修の目安時間:2時間)	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人権・同和教育 Antidiscrimination and Human-Rights Education		単位数	授業内容*	
担当者		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		2	1 ガイダンス 講義の進め方、評価方法、提出物等について説明する 予復修課題： シラバスを読み、高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間：2時間)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 人権とは何か 人権の歴史と理念、日本国憲法の自由権と社会権 予復修課題： 人権の理念について高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間：2時間)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 日本国憲法と人権(1) 日本国憲法制定の背景 予復修課題： 日本国憲法と制定の背景について高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間：2時間)
配当年次	1-2年生	開講学期	後期			4 日本国憲法と人権(2) 女性の人権の制定と戦後における女性の権利 予復修課題： 憲法に関する新聞記事を収集する(予復修の目安時間：2時間)
授業概要	本授業は人権の歴史と現状を学びながら知識を深めるとともに、主体的に日常生活のなかに潜むさまざまな人権問題に気づき、問題を問題として見抜く感覚を身につけることを目標とする。個人的問題であるように見えるものは社会的問題でもある。差別や偏見などで苦しむ人びとの心の痛みに共感し分かち合い、多様な価値観を受け入れ、互いを尊重する社会の担い手となることをめざす。					5 日本国憲法と人権(3) 日本国憲法第9条を考える 予復修課題： 憲法に関する新聞記事を収集する(予復修の目安時間：2時間)
授業到達目標	1)人権に関する知識を深めることができる。 2)人権感覚を身につけることができる。 3)社会における事象を人権という視点から考えることができる。 4)自己の考えを文章で表現することができる。 5)批判的・論理的思考力を身につけることができる。					6 戦争と人権 戦争とプロパガンダ 予復修課題： アジア・太平洋戦争について高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間：2時間)
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)予習・復習を行ない、積極的に授業に参加すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業では、テーマに沿った映像を視聴し理解を深める。			
2. 中間テスト		%	3)普段から新聞に目を通し、人権に関する記事をスクラップすること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	1)予習・復習ミニテストの実施(2~14回)。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	とくに指定しない。適宜レジュメ、プリント等を配付する。					
参考書	網野善彦『歴史を考えるヒント』新潮選書2001年/朴三石『知っていますか朝鮮学校』岩波ブックレット2012年					
				11 部落問題と人権(1) 被差別部落の歴史 予復修課題： これまで被差別部落について学んだことをまとめる(予復修の目安時間：2時間)		12 部落問題と人権(2) 同和問題への取り組み 予復修課題： 同和問題に関する国、地方行政の取り組みについて調べる(予復修の目安時間：2時間)
				13 部落問題と人権(3) 同和問題の現状と課題 予復修課題： 同和問題に関する国、地方行政の取り組みについて調べる(予復修の目安時間：2時間)		14 まとめ(1) これまでの授業全体を振り返る 予復修課題： これまで配布されたレジュメを振り返る(予復修の目安時間：2時間)
				15 まとめ(2) まとめのテストと解説 予復修課題： これまで配布されたレジュメを振り返る(予復修の目安時間：2時間)		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人間と哲学 Humanity and Philosophy		単位数	授業内容*	
担当者		野見山 待子 (NOMIYAMA Machiko)		2	1 認識に関する哲学の歴史を確認する。 予復修課題： 事前に、自分が見ている世界と、他人が見ている世界は同じか、それはなぜか、考えてみる。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEB1109・ERB1109・SSB1109	2 「生得観念説」について理解する。 なぜ私たちは三角形が分かるのか？ 予復修課題： 自筆の講義ノートの作成と整理(分からないところを調べたり、質問を考えたりも含め120分)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期			
授業概要	たとえば、「自分が見ている世界と、他人が見ている世界は同じだろうか」と問われたら、あなたはどのようにこたえるだろうか。世界はすでに存在しているので、同じものを見ているはずだとこたえるだろうか、それとも、すでに存在する世界を感じるのはひとそれぞれなので違うものを見ているとこたえるだろうか、それとも、世界はあらかじめ存在しているのではなく、自分が見たい世界を見ているのだとこたえるだろうか。本講義では、この世界を人はどう捉えているのかを、さまざまな哲学者の考えを学びながら、考えていく。					
授業到達目標	第一に、各哲学者の言葉や文脈を理解し、それを自分の言葉で説明することができる。 第二に、各哲学者の考える世界と人間との関係を自分の問題として引き受け、考えることができる。 第三に、習得した知識を用いて、世界を知るとはどういうことが自分なりに考えることができ、自分や他者の生きる世界を主体的に生きる姿勢を身につけることができる。					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	自筆の講義ノートを作り上げること。 毎講義時にショートライティング(講義内容の振り返りなど)を提出すること。			
1. 小テスト、感想文など		30 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	シンク・ペア・シェア(講義内容の質問に対し個人で考え回答した後、ペアもしくは少人数で議論し、さらにクラスで共有する)毎講義			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	使用しない。					
参考書	授業中に適宜紹介する。					
			11 カントの「コペルニクスの転回」を理解する。その2 同じ大きさの鉄球とビー玉を、同じ高さから同時に落とすとどうなるか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「コペルニクスの転回」について)(120分)			
			12 カントの「理性の限界」について理解する。 宇宙には始まりがあるか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「二律背反」について)(120分)			
			13 現象学について理解する。 悲しい時に見る海と、楽しい時に見る海は、同じ海だろうか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「志向性」について)(120分)			
			14 ハイデガーの「現象は光のうちで視られうる」について理解する。 誰もいない森の中で樹が倒れたら音はするの？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「視覚と光」について)(120分)			
			15 講義の振り返りおよびまとめテストを実施する。 予復修課題： 自筆の講義ノートの見直し(120分)			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人間と哲学 Humanity and Philosophy		単位数	授業内容*			
担当者		野見山 待子 (NOMIYAMA Machiko)		2	1 「私」という存在への問いを投げかける哲学の歴史を確認する。 予復修課題： 事前に、「この私が生きる」とはどういうことか考えてみよう。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEB1109・ERB1109・SSB1109	2 合理性が重視されてきた歴史を理解する。 理性的であることは人間にとって重要か？ 予復修課題： 自筆の講義ノートの作成と整理(分からないところを調べたり、質問を考えたりも含め120分)			
授業形式		講義	科目区分 総合共通科目	履修学部	3 理性に対して感情や意志が優位な哲学の登場について理解する。 理性と感情はどちらが支配者か？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(120分)			
配当年次		1-2年生	開講学期 後期	経済学部・スポーツ学部共通	4 ペシミズムという世界観を理解する。人は苦しくても生きるのか？ 人は苦しくても生きるのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「ペシミズム」について)(120分)			
授業概要		先が不安だといわれる現代社会において、自分らしく生きていくためにはどうすればよいのだろうか。現実と理想のはざま、私が私らしくあるためにはどうすればよいのだろうか。本講義では、「私」への問いを投げかける哲学を学習しながら、自分で自分を見つめ、自分なりに「私」という存在のあり方や意味を問う姿勢を獲得していく。				5 キルケゴールの「絶望」について理解する。絶望するとはどういうことか？ 絶望するとはどういうことか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「絶望」について)(120分)		
授業到達目標		第一に、各哲学者が語る言葉や文脈を理解し、それを自分の言葉で説明することができる。 第二に、各哲学者の抱えている「私」に関する問題を、現代に生きる自分の問題として引き受け、論理的に考えることができる。 第三に、習得した知識を使って、現代の課題を検討し、現代に生きる自分のあり方を見出し、社会の中で主体的に生きる姿勢を身につけることができる。				6 キルケゴールの「実存的苦悩」について理解する。 人はなぜ絶望するのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「実存的苦悩」について)(120分)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】		キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				7 キルケゴールの「宗教的実存」について理解する。 絶望している人を救うものは？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「宗教的実存」について)(120分)		
【思考力・判断力・表現力】		本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				8 ハイデガーにおける「世界内存在」について理解する。 誰かのために生きることは立派なことか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「世界内存在」について)(120分)		
【主体性・協働性】		自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				9 ハイデガーにおける「本来性」・「非本来性」について理解する。 あなたでなければならないのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「本来性・非本来性」について)(120分)		
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				10 「がある」と「である」の違いを理解する。 「人間」と「ハサミ」の違いはなんだろう？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「存在と本質」について)(120分)		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	自筆の講義ノートを作り上げること。 毎講義時にショートライティング(講義内容の振り返りなど)を提出すること。				11 サルトルにおける「人間の自由」について理解する。 自由であることは気楽なことか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「自由」について)(120分)	
1. 小テスト、感想文など		30 %					12 サルトルにおける「私らしさを演じる」について理解する。 「本当の私」なんてあるのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「仮面」について)(120分)	
2. 中間テスト		%					13 サルトルにおける「自己」と「他者」について理解する。 他人は私の自由を奪う存在か？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「他者」について)(120分)	
3. 課題レポートなどの提出物		%					14 人間存在の「本来性」・「非本来性」について理解する。 「この私」が生きてはどのような生き方か？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「生きる」について)(120分)	
4. 授業中の発表、討論		%					15 講義の振り返りおよびまとめテストを実施する。 予復修課題： 自筆の講義ノートの見直し(120分)	
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		60 %	シンク・ペア・シェア(講義内容の質問に対し個人で考え回答した後、ペアもしくは少人数で議論し、さらにクラスで共有する)					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書		使用しない。						
参考書		授業中に適宜紹介する。						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		生命と地球 Life & Earth		単位数	授業内容*	
担当者		中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)		2	1 講義の概略説明。学術的番組「地球大進化」シリーズを視聴しながら、テーマごとに授業を進め、プリントに要点を各自で記入して毎回提出することを説明する 予復修課題：ビッグバンについて調べる	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 テーマ：そして地球は誕生した(46億年前) 地球の46億年にわたる進化カレンダーおよび惑星としての地球誕生について学ぶ 予復修課題：太陽系の誕生について調べる	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 テーマ：直径400kmの隕石の衝突と生物の生存 巨大隕石の衝突がもたらした影響と絶滅を免れた生物について学ぶ 予復修課題：月と地球を構成する岩石の共通点について調べる
配当年度	1-2年生	開講学期	前期/後期			4 テーマ：凍りついた地球(22億年前&6億年前) 地球全体が凍結(全休凍結)した事実とその証拠となる迷い石の発見について学ぶ 予復修課題：氷河期の証拠である迷子石について調べる
授業概要	この講義であなたは壮大な地球の歴史を学ぶことができる。なぜ、ほ乳類は母親のお腹から産まれるようになったのか？なぜ人類は2足歩行を始めたのか？北米大陸の先住民と日本人の顔・姿が似ているのはなぜか？					
	最新の研究によって明らかにされた46億年にわたる地球の歴史とそれに伴う生物の進化を学ぶ。70億人を超える人類は、たった35人の母親から始まったことはあまり知られていない。授業では、美しいコンピュータグラフィックスを駆使した学術的番組を視聴しながら学ぶ。					
授業到達目標	地球環境の激変によって生物の進化が促されたことが説明できる。 地球の自然環境の成り立ちと、現在の自然環境の問題点を理解できる。 進化における必要条件が理解できる。					
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。 各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		35 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		35 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	地球大進化(NHK出版)					
参考書	徹底図解 地球の仕組み(新星出版社)					
						11 テーマ：ほ乳類の眼の進化 恐竜絶滅後の地球環境と生態系に適応するために進化した眼のメカニズムを学ぶ 予復修課題：眼球の構造を調べる
						12 テーマ：チンパンジーとの決別(700万年前) 700万年前にアフリカでチンパンジーの祖先から分離した人類の痕跡をたどる 予復修課題：チンパンジーと人間の違いを調べる
						13 テーマ：ヒト 遙かなる冒険者 我々人類ホモサピエンスが生き残った理由をコミュニケーションの観点から探る 予復修課題：ハワイ、北米、南米の先住民と日本人のルーツの共通点について調べる
						14 まとめ これまでの講義を振り返り、要点を説明する 予復修課題：授業の感想を記述する
						15 まとめのテストおよび解説 予復修課題：まとめのテストの内容を再度、自身で解き疑問点を解消する。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		生命と地球 Life & Earth		単位数	授業内容*	
担当者		水井 雅彦 (MIZUI Masahiko)		2	1 ガイダンス：科学の目的 講義概要の説明と、科学技術の目的について考える 予復修課題：復修：物理・科学・地学・生物など高校科目の学習範囲を調査する。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 生命の誕生 地球の誕生から生命の誕生までの変化を学ぶ 予復修課題：復修：地球の誕生から生命の誕生までを調査	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	3 環境変化と生命の進化 環境の変化などが、生命の進化に与えた影響について学ぶ。 予復修課題：復修：地球の気温は、どのように変化してきたかまとめる。	
配当年次	1-2年生	開講学期	後期	経済学部・スポーツ学部共通	4 人間誕生 人類の誕生と脳の発達について学ぶ。 予復修課題：復修：認知能力とコミュニケーションについてまとめる。	
授業概要	地球で暮らす我々人類は、衣・食・住や病気に対し科学技術を発展させ向き合ってきた。これまで学んできた数学や理科は、人類の科学技術の一部をまとめた（体系化）ものである。この科目では人類を中心に「生命と地球」をテーマに科学技術の歴史と活用を、幅広い教養としての視点で振り返る。同時に、数学や理科の発展を歴史から学び、環境や社会が抱える問題を再認識する。教養として、私たちの生活と自然科学の関わりを学ぶ。					
授業到達目標	生命の進化と人類の発展を中心に、歴史的な関係性を理解する 科学技術と数学や理科の関わりを理解して、普段の問題解決に活用する 自然科学に関する教養を学び、状況判断に活用する					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	これまで学んできた自然科学科目を、各講義のテーマに沿ってふり返ります。数字を使い自然現象を表現する「定量的」な考え方を紹介します。高校入試程度の数学と理科の予修・復修を、各授業ごとに1時間程度行ってください。評価試験は、自筆ノート持込可です。この講義ノートを中心に受講してください。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	11 工業技術の進歩と生活 衣食住の技術から、新たなサービスの創出 予復修課題：復修：人類の欲求と生活。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	12 生命との共存と活用 発酵をはじめとするバイオテクノロジーの概要を学ぶ。 予復修課題：復修：生物と食品の関係をまとめる。			
3.		%	13 産業と環境問題 地球温暖化とビジネス 予復修課題：復修：気候変動と温暖化、環境ビジネスについて調査する。			
再評価の実施	する	しない	14 これまでのまとめ 評価試験に向け、講義内容を振り返る。 予復修課題：復修：講義内容をもとに、試験対策を行う。			
教科書	必要に応じてプリント配布					
参考書	サビエンス全史 上・下 (河出書房新社)					
			15 予復修課題：予修：14回講義内容を基に、テーマに沿った小論文作成準備			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		心の科学 The Science of Mind		単位数	授業内容*	
担当者		乗富 千代 (NORIDOMI Chiyo)		2	1 ガイダンス・心の科学とは 授業内容、講義の進め方、評価方法等の説明 予復修課題： シラバスと配付プリントを確認すること	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEB1111・ERB1111・SSB1111	2 心の発達 授業中に示すテーマについてミニツッペーパーに記述し提出する 心がどのように芽生えて、どのように発達するかについて理解する 予復修課題： 予復修:配付プリントや参考書(第2～3章)を読み愛着理論についてまとめる	
授業形式		講義	科目区分 総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰｯ学部共通	3 ライフサイクルとアイデンティティ 乳幼児期から老年期までの各段階の心理的成長と青年期のアイデンティティを理解する 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第4章)を読み発達段階を理解する
配当年次		1-2年生	開講学期 前期/後期			4 性格 授業中に示すテーマについてミニツッペーパーに記述し提出する 性格の記述と測定法を学び、グループディスカッションによって理解を深める 予復修課題： 予復修:配付プリントや参考書(第6章)を読み性格の記述法を把握する
授業概要		心理学は人間の思考や感情や行動、さらに人間関係などについて科学的に捉えるものである。この授業では心理学全般についての基礎的な知識について概説する。特に日常的なテーマや身近な問題に関して心理学的視点による解説をおこない、自己理解と他者理解を深めるための土台となる知識や考え方についての授業をおこなう。カウンセリングやメンタルヘルスに関して実務経験に基づいて具体的に説明する。				5 感覚と知覚 私たちの持っている感覚と知覚のはたらきを理解する 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第10～11章)を読み、感覚と知覚の相違について知る
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 心理学の基本的な視点について理解し、人間の心や行動について説明することができる 心理学的知見を習得し自己理解や自己決定をするために活用することができる グループディスカッションなどを通して自分の意見を表現するとともに他者の考え方を柔軟に受け入れ尊重することができるようになる 				6 記憶と学習 授業中に示すテーマについてミニツッペーパーに記述し提出する 記憶と学習のメカニズムについて知り、日常に生かす方法を学ぶ 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第12～13章)を読み記憶の過程と種類についてまとめる
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容についての理解度は、中間テストとまとめテストによって成績評価をおこなう ミニツッペーパーの記述内容およびグループディスカッションの参加姿勢は、授業への参加意欲として成績評価に加える 授業の予復修を約1時間おこなうことで、より一層の理解が深まる 			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		30 %	<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッション(第4回、第13回) ミニツッペーパー(第2回、第4回、第6回、第10回、第12回) 			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書						
参考書 長谷川寿一『はじめて出会う心理学 改訂版』有斐閣アルマ、2008年						
						11 知能とは何か 知能の定義や測定法について知り、人間の知能の多面性を理解する 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第7章)を読み、知能の測定についてまとめる
						12 社会のなかの人 授業中に示すテーマについてミニツッペーパーに記述し提出する 個人と社会との関係や影響を様々な角度から考える 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第17～18章)を読み社会的認知、社会的影響について整理する
						13 ストレスとメンタルヘルス ストレスの仕組みと対処、心の健康について学び、グループディスカッションをおこなう 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第8章)を読み、ストレス対処について理解する
						14 カウンセリングと心理療法 カウンセリングの実際と、さまざまな心理療法について知り、特徴を理解する 予復修課題： 予復修:配布プリントや参考書(第9章)を読み、カウンセリングと心理療法についてまとめる
						15 まとめテスト これまでの講義の総括をおこない、まとめのテストを実施、解説をおこなう 予復修課題： 授業開始までに、これまでの配付プリントのキーワードを中心に復修しておく

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		共生社会を生きる Living in an Inclusive Society		単位数	LMSに提示	
担当者	木村 美奈子 (KIMURA Minako)			2	専任	1 ガイダンス (適宜外部講師を招聘予定。講師の都合で予定が前後する場合があります) 授業概要説明 LMSの使い方説明・設定作業 予復修課題：LMSに提示
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEB1112・ERB1112・SSB1112		2 共生社会×協同 「協同とは」 「コミュニケーション 傾聴とミラーリング」 予復修課題：LMSに提示
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて繋がることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指すものである。本講義では、協同教育とSDGsを根幹においた授業デザインで、防災・減災、社会のマイノリティや地域が抱える社会課題をテーマに講義を行い、身近な課題に気づく力、その課題を「自分ごと」として捉え、柔軟な思考力をもって、仲間と一丸となって探求し、解決する力を養う。					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「共生」について理解し、社会の構成員として社会に貢献することができる。 ・他者とコミュニケーションをとり、協調することができる。 ・多種多様な考えを受け入れる姿勢を育て、他人ごとを自分ごととして捉えることができる。 ・柔軟な判断力と決断力をもって、自助・共助・公助のリーダーシップやフォロワーシップをとることができる。 					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	仲間と共に学ぶための講義であるため、グループ活動をしない学生は受講不可。			
1. 小テスト、感想文など		%	・グループ活動のため遅刻は厳禁とする。			
2. 中間テスト		%	・授業の参加意欲 = 出席点ではない。			
3. 課題レポートなどの提出物	20	%	・事前学習、事後学習、リフレクションシートは、LMSを利用する。			
4. 授業中の発表、討論	20	%	・事前事後学習時間は概ね各45分以上の学習を想定している。			
5. 授業への参加意欲	20	%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. ピアアセスメント	10	%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	本講義は個人思考を基本としたグループワークを毎時行う。「学習目的の達成に向け、共に心と力をあわせて自分と仲間のために真剣に学ぶ」ことを学習の軸とする。			
2. 論文、まとめのレポートなど	30	%				
3.		%				
再評価の実施	する		しない			
教科書	資料はLMS等で配布する予定。					
参考書	適宜示す					
						15 共生社会×九共大 「共生社会を創る人材として」 予復修課題：LMSに提示

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本語表現法 Japanese Phraseology			単位数	授業内容*	
担当者		大川内 夏樹 (OKAWACHI Natsuki)	鈴木 喬 (SUZUKI Takashi)	古浦 修子 (KOURA Shuko)	檀澤葉子 (KASHIZAWA Youko)	専任 & 非常勤	1 オリエンテーションおよびEメール Eメール作成方法について説明を行う。 予復修課題：ワークブック第1章を読み、授業の復修を行う。
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEC1101・ERC1101・SSC1101		2 漢字 文章を書く上で必要な漢字に関する基礎知識について説明する。 予復修課題：ワークブック第2章を読み、授業の予復修を行う。
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通		3 ことわざ・四字熟語・慣用句 文章を書く上で必要なことわざ・四字熟語・慣用句について説明する。 予復修課題：ワークブック第3章を読み、授業の予復修を行う。
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期				4 句読点と記号 句読点と記号の使い方について説明する。 予復修課題：ワークブック第4章を読み、授業の予復修を行う。
授業概要	大学生になると、自分の考えを文章で表現する機会が増えます。試験で自分の考えを述べる問題に解答したり、レポートを作成したりします。そのため日本語表現の基礎となる語彙や文法、表記に関する知識を身につける必要があります。また社会では状況に応じた表現能力が求められる、適切な敬語の使い方やEメールの書き方などを知っておくことが必須となります。日本語表現法では、これらの知識・技能の習得を目指します。毎回の授業では、授業内容をふまえたワークシートに取り組み、知識の定着を図ります。						5 接続表現の使い方 接続表現の使い方について説明する。 予復修課題：ワークブック第5章を読み、授業の予復修を行う
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい文章表現に必要な語彙・文法の知識を身につけることができる。 ・授業で得た知識を活かして、説得力のあるレポートを書くことができる。 						6 見やすい表記/小テスト 文章を書く上での見やすい表記について説明する。 予復修課題：ワークブック第6章を読み、授業の予復修を行う。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のワークシートをすべて提出すること。 ・授業中においては、積極的に参加すること。 ・授業の予復修を約1時間おこなうと、より一層理解が深まります。 				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		20 %	・ワークシート [毎回]				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・実践学習を目的とした小テスト [第6回、第11回]				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	『日本語表現法 ワークブック』						
参考書							
						15 まとめのテストおよび授業の総復修を行う。 予復修課題：ワークブックを読み、授業全体の予復修を行う。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	日本語表現法 Japanese Phraseology			単位数	授業内容*		
担当者	大川内 夏樹 (OKAWACHI Natsuki)	古浦 修子 (KOURA Shuko)		専任	1 オリエンテーションおよび資料の検索 レポート等を書く上での資料の検索方法について説明を行う。 予復修課題：ワークブック第1章を読み、授業の復修を行う。		
	鈴木 喬 (SUZUKI Takashi)						
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		EEC2101・ERC2101・SSC2101		2 レジュメを作る レジュメの作成方法について説明する。 予復修課題：ワークブック第2章を読み、授業の予復修を行う。		
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部			経済学部・スポーツ学部共通
配当年次	2年生	開講学期	前期/後期			3 プレゼンテーションを行う プレゼンテーションの方法について説明する。 予復修課題：ワークブック第3章を読み、授業の予復修を行う	
授業概要	日本語表現法では、日本語表現法Iで身につけた基本的な知識を発展させて、書くこと・話すことに関するより実践的な日本語運用能力の習得を目指します。資料の検索の仕方、レジュメの作り方、プレゼンテーションの行い方、またレポートの書き方など大学生活で必要とされる技術について学びます。さらに、小論文やエントリーシートの書き方といった就職活動で求められるスキルを身につけ、敬語でコミュニケーションする力など日本語運用に関する社会人基礎力を養います。毎回の授業では、ワークシートに取り組み、知識の定着を図ります。						
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資料を検索することができる。 レジュメを作成してプレゼンテーションを行うことができる。 レポートを書くことができる。 小論文やエントリーシートなど就職活動に必要な文書を書くことができる。 社会人として適切なコミュニケーションができる。 					4 レポートの作成1 よいレポートのポイントについて説明する。 予復修課題：ワークブック第4章を読み、授業の予復修を行う	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					5 レポートの作成2 レポートの内容と体裁について説明する。 予復修課題：ワークブック第5章を読み、授業の予復修を行う。	
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					6 小論文の作成1 / 小テスト よい小論文のポイントについて説明する。 予復修課題：ワークブック第6章を読み、授業の予復修を行う。	
成績評価の方法 (全体で100%)	履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 毎回のワークシートをすべて提出すること。 授業中においては、積極的に参加すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、より一層理解が深まります。 			11 会話の中での敬語の使い方 / 小テスト 会話の中での敬語の使い方について説明する。 予復修課題：ワークブック第11章を読み、授業の予復修を行う。		
1. 小テスト、感想文など	30 %						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	30 %						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			12 電話の応対 電話の応対方法について説明する。 予復修課題：ワークブック第12章を読み、授業の予復修を行う。		
1. まとめのテスト	20 %	・ワークシート [毎回]					
2. 論文、まとめのレポートなど	%	・実践学習を目的とした小テスト [第6回、第11回]					
3.	%				13 文書の書き方1 勧誘・依頼・応諾・断りの文書の書き方について説明する。 予復修課題：ワークブック第13章を読み、授業の予復修を行う		
再評価の実施	する	しない					
教科書	『日本語表現法 ワークブック』					14 文書の書き方2 感謝・謝罪・説得の文書の書き方について説明する。 予復修課題：ワークブック第14章を読み、授業の予復修を行う。	
参考書							
					15 まとめのテストおよび授業の総復修を行う。 予復修課題：ワークブックを読み、授業全体の予復修を行う。		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	伝わる文章力 Communicative writing skills			単位数	授業内容*	
担当者	鈴木 喬 (SUZUKI Takashi)			1	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEC2102・ERC2102・SSC2102		
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	社会人に必要な文章理解力、文章表現力を身につけることを目的とする。具体的には、資料や文章を正確に理解する力（読解力）、手紙文を作成する力、説得力のあるわかりやすい文章を作成する力（表現力）である。この力を身につけるためには、高校卒業程度の漢字の読み書きはもちろん、熟語を理解し、正しい敬語を使用する力も必要となる。また文章を要約することも求められる。文章検定3級のテキスト等を用いながら授業を進め、社会人としての「文章力」を高めていく。					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定2級レベルの漢字の読み書きができ、基本的な語彙が理解できる。 文章から情報を正しく読み取ることができる。 説得力のあるわかりやすい文章を作成することができる。 手紙文の構成を理解し、正しい敬語を使って、手紙文（お礼状）を作成することができる。 					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 授業の予復修を約1時間行うこと 毎回の確認シートは必ず提出すること 授業中においては、積極的に参加すること 			
1. 小テスト、感想文など		20 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		40 %	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の確認シートの提出 復修を目的としたクリッカーによる回答 手紙文等の作成と提出(添削) 			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	日本漢字能力検定協会『文章検 文章読解・作成能力検定 公式テキスト3級』日本漢字能力検定協会、2017年					
参考書	授業内において随時参考書を紹介していく。					
1	オリエンテーション		予復修課題： シラバスを見直し予修をする。過去問の解き直しを行うこと。			
2	語彙 語句の正しい意味		漢字検定・日本語検定・文章検定を用いながら、語句の正しい意味を理解する。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
3	語彙 語と語の関係		漢字検定・日本語検定・文章検定を用いながら、語句の正しい用法を身に付ける。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
4	文法 動詞		日本語検定・文章検定を用いながら、動詞の正しい用法を身に付ける。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
5	文法 助詞・助動詞		漢字検定・日本語検定・文章検定を用いながら、助詞等の正しい用法を身に付ける。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
6	小テスト/文法		小テストを行い習熟度をはかる/話し言葉書き言葉などの文体について学ぶ。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
7	文法 敬語		日本語検定・文章検定を用いながら、敬語の知識を身に付ける。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
8	作成力 敬語を用いてメールを書く		敬語の知識をもとに、指導教官や上司を想定してメールを作成する。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
9	読解力 要約基本		短い文章から、新聞記事やネット記事、論説文などを要約する。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
10	読解力 クリティカルリーディング		クリティカルリーディングについて学び、文章を実際に読んでみる。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
11	小テスト/読解力 データの読み取り		小テストを行う。/論説文に用いられるデータを正しく読み取り、文章を理解する。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
12	読解力 論説文を読み取る		主張は何かに留意しながら、論説文を正しく読み取る。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
13	作成力 論説文を書く		根拠を用いながら主張を展開し、論説文を書いてみる。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
14	作成力 手紙(お礼状)を書く		手紙の書き方を学び、お礼状を書いてみる。予復修課題： 教科書を一読し予修すること。授業で扱った問題の解き直しを行うこと。			
15	まとめのテスト		まとめのテストおよび授業の総括を行う。予復修課題： 教科書および既習内容を復修すること。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語		単位数		授業内容*	
	English		1			
担当者	高瀬 文広, 山口 晋平, 孫 菁滌, 石垣 恵一	ダニエル・ド・キ, 永松 美保, 永末 温子	専任 & 非常勤		1 イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 英語学習開始のためのアイスブレイキング 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEC1102・ERC1102・SSC1102		2 名詞・代名詞1: 名詞の種類、数えられる名詞、数えられない名詞、格変化等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 1の英文、文法説明を読む、練習問題を解く 復修:読解内容、練習問題の見直し	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1年生	開講学期	前期			
授業概要	将来のキャリア形成に向けて、大学では就職試験やTOEICなどに対応し得る、より質の高い英語力が求められますが、英語力向上のためには基礎固めはいつの時点でも必要不可欠です。本科目では、英語において最も重要な動詞を中心として主要文法項目を復修し、それらの文法項目から成るシンプルな英文を読む、聞く、話す、書くという4技能のバランスのとれた向上を目指します。				3 動詞1 その1: 肯定文・否定文・疑問文 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 2前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し	
授業到達目標	簡単な説明文を理解することができる。 日常生活の簡単な話題や平易な説明・指示を聞いて理解することができる。 日常生活に関する簡単な応答や意思表示をすることができる。 興味・関心のあることについて簡単な英文を書くことができる。 全体として、CEFR-J A1.3程度の到達度を目指す。				4 動詞1 その2: 肯定文・否定文・疑問文 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 2後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)この授業は、プレイスメント・テストの成績に基づき、習熟度に応じたクラス編成で行われます。プレイスメント・テスト後に発表されるクラス分け表で指定されたクラスで受講すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業には教科書と辞書を持参すること。			
2. 中間テスト		%	3)授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 1から6を総合して		40 %				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業[第2回～第14回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	プレイスメント・テスト後に発表されるクラス分け表で指定されたテキストを各自購入すること。					
参考書	『English Learning with Athletes』、『Outstanding Monozukuri in Japan』他					
15 総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語 再履修用 English I		単位数	授業内容*	
担当者	永松 美保 (NAGAMATSU Miho)		1	1 イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 英語学習開始のためのアイスブレイキング 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		専任	2 名詞・代名詞1: 名詞の種類、数えられる名詞、数えられない名詞、格変化等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し	
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	経済学部・法 学 部 共 通	
配当年次	1-2年生	開講学期	後期		
授業概要	本科目では、英語の基礎力を完全に身につけることを目標とします。基礎英文法を徹底的に学習し、様々な練習問題を解いていきます。語彙力の強化と理解度アップのために、毎回予修として、単語の意味調べや練習問題の解答を行って行くこと。また、授業の始めには、前回の学習内容をおさらいする小テストを実施します。その対策をした上で、授業に臨むこと。			3 動詞1 その1: 肯定文・否定文・疑問文 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し	
授業到達目標	テキストに出てくる単語の意味を正しく理解することができる。 テキストに出てくる英文を完全に理解することができる。 テキストに出てくる文法事項を正しく理解し、運用できる。 授業で学習した内容について、60%の正答率をもって答えることができる。			4 動詞1 その2: 肯定文・否定文・疑問文 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。			5 動詞2 その1: 一般動詞(規則動詞)、現在進行形、命令文 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
【思考力・判断力・表現力】本学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。			6 動詞2 その2: 一般動詞の肯定文・否定文・疑問文、その過去形 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。			7 動詞3 その1: 一般動詞(不規則動詞)、現在進行形、命令形 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 授業には教科書と辞書を持参すること。		
1. 小テスト、感想文など		%	2) 授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。意味調べや練習問題の予修、及び、おさらいの小テストのための復修を毎回行ってくること。		
2. 中間テスト		%	3) 課題には自ら取り組み、必ず提出すること。		
3. 課題レポートなどの提出物		%			
4. 授業中の発表、討論		%			
5. 授業への参加意欲		%			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			
7. 1から6を総合して		40 %			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業[第2回~第14回]		
2. 論文、まとめのレポートなど		%			
3.		%			
再評価の実施	する	しない			
教科書	『A Shorter Course in English Grammar Check』 南雲堂				
参考書					
			11 助動詞1 その1: 未来を表わす表現 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
			12 助動詞1 その2: 未来を表わす表現 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
			13 助動詞2 その1: 法助動詞の使い方 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
			14 助動詞2 その2: 法助動詞の使い方 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修:練習問題の見直し		
			15 総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語		単位数	授業内容*		
	English		1			
担当者	高瀬 文広, 山口 晋平, 孫 菁滌, 石垣 恵一 森竹 希望, 作元 裕也, 黒木 隆善, 田中 雅子	ダニエル・ド・キ, 永松 美保, 永末 温子 木村 俊幸, 松下 紗耶, 村田 美和子	専任 & 非常勤	1	イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 1 前期に学習した内容のポイント復修 予復修課題: 予修:前期に学習した箇所を読んでおく 復修:授業で説明されたことの見直し	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEC1201・ERC1201・SSC1201	2	受動態 その1:受動態の作り方、否定文、疑問文、過去形等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 7前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し	
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3	受動態 その2:受動態の作り方、否定文、疑問文、過去形等 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 7後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
配当年次	1年生	開講学期	後期		4	不定詞 その1:不定詞の用法、It is - to...等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 8前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し
授業概要	将来のキャリア形成に向けて、大学では就職試験やTOEICなどに対応し得る、より質の高い英語力が求められますが、英語力向上のためには基礎固めはいつの時点でも必要不可欠です。本科目では、英語において最も重要な動詞を中心として主要文法項目を復修し、それらの文法項目から成るシンプルな英文を読む、聞く、話す、書くという4技能のバランスのとれた向上を目指します。				5	不定詞 その2:不定詞の用法、It is - to...等 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 8後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
授業到達目標	簡単な説明文を理解することができる。 日常生活の簡単な話題や平易な説明・指示を聞いて理解することができる。 日常生活に関する簡単な応答や意思表示をすることができる。 興味・関心のあることについて簡単な英文を書くことができる。 全体として、CEFR-J A1.3程度の到達度を目指す。				6	動名詞 その1:動名詞の用法等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 9前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				7	動名詞 その2:動名詞の用法等 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 9後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				8	分詞 その1:形容詞としての分詞の用法 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 10前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				9	分詞 その2:形容詞としての分詞の用法 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 10後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し	
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)この授業は、プレイスメント・テストの成績に基づき、習熟度に応じたクラス編成で行われます。受講するクラスは、前期と同じクラスを履修すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業には教科書と辞書を持参すること。			
2. 中間テスト		%	3)授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング 事前学習型授業[第2回～第14回]			
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 1から6を総合して		40 %				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		60 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	前期発表のクラス分け表で指定されたテキストを各自購入すること。					
参考書	『English Learning with Athletes』、『Outstanding Monozukuri in Japan』他					
15	総まとめ まとめのテストと総括				予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		英語 再履修用 English		単位数	授業内容*	
担当者		永松 美保 (NAGAMATSU Miho)		川満 潤 (KAWAMITSU Jun)	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				
授業形式		演習		科目区分	総合共通科目	
配当年次		2年生		開講学期	前期	
履修学部		経済学部・法 学 部 共 通				
授業概要		<p>本科目では、英語の基礎力を完全に身につけることを目標とします。基礎英文法を徹底的に学習し、様々な練習問題を解いていきます。語彙力の強化と理解度アップのために、毎回予修として、単語の意味調べや練習問題の解答を行って来ること。また、授業の始めには、前回の学習内容をおさらいする小テストを実施します。その対策をした上で、授業に臨むこと。</p>				
授業到達目標		<p>テキストに出てくる単語の意味を正しく理解することができる。 テキストに出てくる英文を完全に理解することができる。 テキストに出てくる文法事項を正しく理解し、運用できる。 授業で学習した内容について、60%の正答率をもって答えることができる。</p>				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】		キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
【思考力・判断力・表現力】		本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
【主体性・協働性】		自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 授業には教科書と辞書を持参すること。			
1. 小テスト、感想文など		%	2) 授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。意味調べや練習問題の予修、及び、おさらいの小テストのための復修を毎回			
2. 中間テスト		%	行ってくる。こと。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	3) 課題には自ら取り組み、必ず提出すること。			
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%				
7. 1から6を総合して		40 %				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業 [第2回～第14回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		『English Aid』 金星堂				
参考書						
1		イントロダクション (教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 英語学習開始のためのアイスブレイキング 予復修課題: 予修: なし 復修: 授業で説明されたことの見直し				
2		受動態 その1: 受動態の作り方、否定文、疑問文、過去形等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
3		受動態 その2: 受動態の作り方、否定文、疑問文、過去形等 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
4		不定詞 その1: 不定詞の用法、It is - to...等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
5		不定詞 その2: 不定詞の用法、It is - to...等 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
6		動名詞 その1: 動名詞の用法等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
7		動名詞 その2: 動名詞の用法等 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
8		分詞 その1: 形容詞としての分詞の用法 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
9		分詞 その2: 形容詞としての分詞の用法 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
10		比較 その1: 比較、形容詞、副詞 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
11		比較 その2: 比較、形容詞、副詞 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
12		関係詞 その1: 関係代名詞 (who, which等)、関係副詞 (when, where等) 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
13		関係詞 その2: 関係代名詞 (who, which等)、関係副詞 (when, where等) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
14		接続詞: 等位接続詞、従属接続詞等 (仮定法の基本含む)、群前置詞等 英語長文の音読と読解、文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修: 教科書の英文、文法説明を読む 練習問題を解く 復修: 練習問題の見直し				
15		総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修: 第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語コミュニケーション English Communication					単位数	授業内容*	
						1	1 イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認)など 英語学習開始のためのアイスブレイキング 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し	
担当者	ダニエル・ドロークス	永松 美保	木梨 安子	十時 康	シルバーマン・薫・リサ	専任 & 非常勤		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			EEC2103・ERC2103・SSC2103			
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通			
配当年次	2年生		開講学期	前期				
授業概要	英語 および で固めた基礎力を土台にして、日常的に使われる英文や英語表現を、語学学習における4技能を通してバランスよく学習しつつ、リスニングスキルとスピーキングスキルをさらに涵養することを目指します。アクティブ・ラーニングとして、発話練習、テキストで学んだ短会話の実践なども行います。英語圏諸国の基本的な文化理解も、授業時間中に適宜行います。							
授業到達目標	日常的に使われる英文や英語表現をスムーズに発音することができ、基本的な英語での質問に回答でき、テキストで学習した内容・パターンに似た短い英語会話を展開することができる。英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。								
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。								
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)この授業は、習熟度に応じたクラス編成で実施されます。クラス分け表で指定されたクラスで受講すること。					
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業には教科書と辞書を持参すること。					
2. 中間テスト		%	3)授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。					
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7. 1から6を総合して		40 %						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業[第2回~第14回]					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	発話練習[第2回~第14回]					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	指定されたクラスの教科書を各自確認し、購入すること。							
参考書	『Hello New York!』、『Speaking of People』、『First Time Working Abroad』							
							15 総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語コミュニケーション English Communication				単位数	授業内容*	
担当者	ダニエル・ドロークス	永松 美保	木梨 安子	十時 康	シルバーマン・薫・リサ	専任 & 非常勤	1 イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認)など 前期に学習した内容のポイント復修 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し
実務経験のある教員による授業				ナンバリング	EEC2201・ERC2201・SSC2201		2 Scene 7 How Romantic! その2 各対話場面の応答問題、語彙・文章・文法の学習、発音練習、会話練習 予復修課題: 予修:教科書Scene 7後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通		3 Scene 8 I'm Not Feeling Well その1 各対話場面の応答問題、語彙・文章・文法の学習、発音練習、会話練習 予復修課題: 予修:教科書Scene 8前半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
配当年次	2年生	開講学期	後期				4 Scene 8 I'm Not Feeling Well その2 各対話場面の応答問題、語彙・文章・文法の学習、発音練習、会話練習 予復修課題: 予修:教科書Scene 8後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
授業概要	英語 および で固めた基礎力を土台にして、日常的に使われる英文や英語表現を、語学学習における4技能を通してバランスよく学習しつつ、リスニングスキルとスピーキングスキルをさらに涵養することを目指します。アクティブ・ラーニングとして、発話練習、テキストで学んだ短会話の実践なども行います。英語圏諸国の基本的文化理解も、授業時間中に適宜行います。						5 Scene 9 Tickets for a Yankees Game その1 各対話場面の応答問題、語彙・文章・文法の学習、発音練習、会話練習 予復修課題: 予修:教科書Scene 9前半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
授業到達目標	日常的に使われる英文や英語表現をスムーズに発音することができ、基本的な英語での質問に回答でき、テキストで学習した内容・パターンに似た短い英語会話を展開することができる。英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。						6 Scene 9 Tickets for a Yankees Game その2 各対話場面の応答問題、語彙・文章・文法の学習、発音練習、会話練習 予復修課題: 予修:教科書Scene 9後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)この授業は、習熟度に応じたクラス編成で実施されます。クラス分け表で指定されたクラスで受講すること。前期に受講した人は、後期も同じクラスになります。				
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業には教科書と辞書を持参すること。				
2. 中間テスト		%	3)授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。				
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング 事前学習型授業[第2回~第14回] 発話練習[第2回~第14回]				
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7. 1から6を総合して		40 %					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		60 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定されたクラスの教科書を各自確認し、購入すること。						
参考書	『Hello New York!』、『Speaking of People』、『First Time Working Abroad』						
							15 総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	TOEIC入門 Introduction to the TOEIC Test			単位数	授業内容*		
担当者	永末 温子 (NAGASUE Haruko) 木梨 安子 (KINASHI Yasuko)		中島 久代 (NAKASHIMA Hisayo)	1	1 イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) TOEIC Listening & Readingテストの概要説明 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		EEC1103・ERC1103・SSC1103	2 Unit 1 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 1の練習問題を解いておく 復修:Unit 1の練習問題の見直し			
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 Unit 2 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 2の練習問題を解いておく 復修:Unit 2の練習問題の見直し	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4 Unit 3 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 3の練習問題を解いておく 復修:Unit 3の練習問題の見直し	
授業概要	本科目では、英語Iまたは英語IIと同時に進行で、TOEICに挑戦するために必要な基礎英語力を養いながら、TOEIC受験対策を実践的に行います。リスニングではPart 1(写真描写問題)とPart 2(応答問題)に頻出する英語表現とそれらの回答方法に馴れること、リーディングではPart 5(文法)に頻出する基本的な文法事項の回答方法に慣れることに、それぞれ重点を置いて学習します。					5 Unit 4 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 4の練習問題を解いておく 復修:Unit 4の練習問題の見直し	
授業到達目標	学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestおよびTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。TOEIC Listening & Reading IP Testでは350点程度のスコア獲得を目標とする。					6 Unit 5 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 5の練習問題を解いておく 復修:Unit 5の練習問題の見直し	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 受講者は学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestおよびTOEIC Listening & Reading IP Testを受験する必要があります。				
1. 小テスト、感想文など		%	2) 授業には教科書と辞書を持参すること。				
2. 中間テスト		%	3) 授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。				
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7. 1から6を総合して		40 %					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業[第2~7回、第9~13回]				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	TOEIC IP Test受験[第8回、第14回]				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	前期『THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 350』、後期『PRIMARY TRAINER FOR THE TOEIC L&R TEST』					15 総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第13回目までの授業で学んだ教科書の練習問題の総合的な振り返り	
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ドイツ語		単位数	授業内容*	
	German		1		
担当者	山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi) 林 秀彦 (HAYASHI Hidehiko)		専任 & 非常勤	1	
	篠崎 元 (SHINOZAKI Hajime) 島浦 一博 (SHIMAURA Kazuhiro)			2	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEC1104・ERC1104・SSC1104		
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目		
配当年次	1年生	開講学期	前期	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通
授業概要	新しい外国語にチャレンジする皆さんが、基本的なドイツ語の仕組みを理解し、簡単な日常会話ができるようになることを目指します。受講生の皆さんが、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおりませた授業となります。ほとんどがローマ字読みで発音できる、新たに始めるのに最適なドイツ語を、一緒に学んでいきましょう。				
	ドイツ語、では、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語の目標は以下の4点です。 1.ドイツ語の正確な発音ができる。2.主語に従った動詞の現在人称変化ができる。3.名詞の文法上の性別を理解し、定冠詞及び不定冠詞を用いてその区別ができる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、その体験を通して世界情勢にも目を向ける意識を高め、他者を思いやり、他者と共に生きる力を獲得することができる。				
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	受講クラスは年度当初の履修希望調査を経て、確定される。各自指定クラスで受講すること。独和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。独和辞典は初回の授業で紹介(推薦)する。授業内容の理解度を確保するための小テストを数回実施し、その結果を成績に反映させる。各授業の予復修には、平均1時間程度要する。			
1. 小テスト、感想文など	70 %				
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	5 %				
4. 授業中の発表、討論	10 %				
5. 授業への参加意欲	10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	5 %				
7.	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%	タンデムでの会話練習			
2. 論文、まとめのレポートなど	%	ロールプレイ方式での会話実践			
3.	%	授業内容理解度確認のための小テスト			
再評価の実施	する	しない			
教科書	山本 洋一『ドイツ語一步一步』 郁文堂 2015年				
参考書	特になし				
				11	
				12	
				13	
				14	
				15	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ドイツ語 再履修用		単位数	授業内容*	
	German		1	1 インTRODクシヨ ン ドイツ語の挨拶とアルファベットに触れる 予復修課題：復修:テキストp.2～4の練習。予修:テキストp.5～6のポイント確認。	
担当者	島浦 一博 (SHIMAURA Kazuhiro)		非常勤 講師	2 発音になれる(1) ドイツ語発音の基本 基本的な挨拶と数字(0～20) 予復修課題：復修:テキストp.4～6の発音練習。予修:p.7～9のポイント確認。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			3 発音になれる(2) ドイツ語発音の基本 ドイツ語特有の発音 予復修課題：復修:テキストp.7～9の発音練習。予修:p.10～11のポイント確認。	
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	4 主語となる人称代名詞と動詞の現在人称変化(1) 現在人称変化の基本 予復修課題：復修:テキストp.10の発音、会話練習、p.11現在人称変化の基本を練習。	
配当年次	2年生	開講学期 前期	経済学部	5 主語となる人称代名詞と動詞の現在人称変化(2) 現在人称変化の基本とバリエーション 予復修課題：復修:テキストp.11現在人称変化の基本修得。予修:p.12のバリエーション練習。	
授業概要	新しい外国語にチャレンジする皆さんが、基本的なドイツ語の仕組みを理解し、簡単な日常会話ができるようになることを目指します。受講生の皆さんが、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおりませた授業となります。ほとんどがローマ字読みで発音できる、新たに始めるのに最適なドイツ語を、一緒に学んでいきましょう。				
	ドイツ語、では、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語の目標は以下の4点です。 1.ドイツ語の正確な発音ができる。2.主語に従った動詞の現在人称変化ができる。3.名詞の文法上の性別を理解し、定冠詞及び不定冠詞を用いてその区別ができる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、その体験を通して世界情勢にも目を向ける意識を高め、他者を思いやり、他者と共に生きる力を獲得することができる。				
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	2年次生以上のための専用クラスである。履修希望者多数の場合、人数制限の可能性あり。独和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。独和辞典は初回の授業で紹介(推薦)する。授業内容の理解度を確保するための小テストを数回実施し、その結果を成績に反映させる。各授業の予復修には、平均1時間程度要する。			
1. 小テスト、感想文など	70 %				
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	5 %				
4. 授業中の発表、討論	10 %				
5. 授業への参加意欲	10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	5 %				
7.	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%	タンデムでの会話練習			
2. 論文、まとめのレポートなど	%	ロールプレイ方式での会話実践			
3.	%	授業内容理解度確認のための小テスト			
再評価の実施	する	しない			
教科書	山本 洋一『ドイツ語一步一步』 郁文堂 2015年				
参考書	特になし				
	11 名詞の文法上の性と不定冠詞・定冠詞及び人称代名詞(2) 独和辞典の使い方(1) 小テスト2の解説 DIALOG 2aのタンデム練習とロールプレイ 予復修課題：復修:p.18～19練習とDIALOG 2aの練習。予修:p.20練習問題2-1。				12 名詞の文法上の性と不定冠詞・定冠詞、人称代名詞、形容詞(1) 練習問題2-2 問題の解説 予復修課題：復修:名詞の性を定冠詞とともにおぼえる。予修:練習問題2-2を事前に解く。
	13 名詞の文法上の性と不定冠詞・定冠詞、人称代名詞、形容詞(2) 練習問題2-2 解答と解説 予復修課題：復修:形容詞をおぼえる。予修:p.22～23のポイント確認。DIALOG 2bの和訳。				14 名詞の複数形と動詞haben(1) 独和辞典の使い方(2) 小テスト3 名詞の文法上の性、不定冠詞・定冠詞、人称代名詞、形容詞(p.18～21) 予復修課題：復修:p.22～23名詞の複数形をおぼえる。前期の学習事項の全体的復修。
	15 名詞の複数形と動詞haben(2)、前期のまとめ 予復修課題：前期の学習事項の再確認をすること。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ドイツ語 German		単位数	授業内容*	
担当者	山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)	林 秀彦 (HAYASHI Hidehiko)	1	1	名詞の格変化とその用法(1) 名詞の格と不定冠詞・定冠詞 予復修課題: 復修: テキストp.26会話の練習。予修: p.27~29のポイント確認。
	篠崎 元 (SHINOZAKI Hajime)	島浦 一博 (SHIMAURA Kazuhiro)	専任 & 非常勤	2	名詞の格変化とその用法(2) 名詞の格と不定冠詞・定冠詞 予復修課題: 復修: p.27~28格変化形練習。予修: p.29~30ポイント確認。
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEC1202・ERC1202・SSC1202	3	名詞の格変化とその用法(3) 人称代名詞・疑問代名詞の格変化 予復修課題: 復修: p.28~29格変化形練習。予修: p.30~31のポイント確認。
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	4	名詞の格変化とその用法(4) 1~4格の使い方 小テスト1 名詞の格変化の基本形(p.26~29 疑問代名詞まで) 予復修課題: 復修: p.29~31練習。予修: DIALOG 3a, 3b, 練習問題3-2, 3, 4。
配当年度	1年生	開講学期 後期	経済学部・スポーツ学部共通	5	名詞の格変化とその用法(5) 1~4格の使い方 DIALOG 3a, 3b タンデム練習とロールプレイ、練習問題3-2, 3, 4 の解説。 予復修課題: 復修: p.32~33の再確認と練習。予修: p.34会話ポイント確認。
授業概要	大学生になってドイツ語にチャレンジした皆さんは、これまでの授業ですでにドイツ語の基本が身につけ始めているはず。これからも、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおりませた授業となりますが、徐々に難しい事項も学びますので、さらに頑張ってください。				
授業到達目標	ドイツ語、では、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語の目標は以下の4点です。 1. 名詞の格の概念を理解し、冠詞を用いて格変化させ、実際の文中で使用できる。2. 特殊な現在人称変化を理解し、命令文とともに実際に使用できる。3. 基本的な前置詞の意味と格支配を理解し、実際に使用できる。4. 既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、世界情勢に目を向け、他者を思いやり他者と共生する力を獲得することができる。				
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
	成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	受講クラスは年度当初の履修希望調査を経て、確定される。各自指定クラスで受講すること。独和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。独和辞典は初回の授業で紹介(推薦)する。授業内容の理解度を確保するための小テストを数回実施し、その結果を成績に反映させる。各授業の予復修には、平均1時間程度要する。			
1. 小テスト、感想文など	70 %				
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	5 %				
4. 授業中の発表、討論	10 %				
5. 授業への参加意欲	10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	5 %				
7.	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%	タンデムでの会話練習			11
2. 論文、まとめのレポートなど	%	ロールプレイ方式での会話実践			前置詞の意味と格支配(2) 2~4格支配前置詞の意味と使い方 予復修課題: 復修: p.43~44練習。予修: p.45~46練習問題5-1, 3,4格支配前置詞ポイント確認。
3.	%	授業内容理解度確認のための小テスト			12
					前置詞の意味と格支配(3) 3,4格支配前置詞の意味と使い分け方、練習問題5-2 予復修課題: 復修: p.45~46 3,4格支配前置詞練習。予修: p.47~48動詞と定冠詞の融合形。
再評価の実施	する	しない			
教科書	山本 洋一『ドイツ語一步一步』 郁文堂		2015年		
参考書	特になし				
					15
					後期のまとめ 予復修課題: 後期の学習事項の再確認をすること。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ドイツ語 再履修用		単位数	授業内容*	
	German		1	1 名詞の格変化とその用法(1) 名詞の格と不定冠詞・定冠詞	
担当者	島浦 一博 (SHIMAURA Kazuhiro)		非常勤講師	予復修課題: 復修:テキストp.26会話の練習。予修:p.27~29のポイント確認。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			2 名詞の格変化とその用法(2) 名詞の格と不定冠詞・定冠詞	
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	予復修課題: 復修:p.27~28格変化形練習。予修:p.29~30ポイント確認。	
配当年次	2年生	開講学期 後期	経済学部	3 名詞の格変化とその用法(3) 人称代名詞・疑問代名詞の格変化	
授業概要	大学生になってドイツ語にチャレンジした皆さんは、これまでの授業ですでにドイツ語の基本が身につけ始めているはず。これからも、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおりませた授業となりますが、徐々に難しい事項も学びますので、さらに頑張ってください。				
授業到達目標	ドイツ語、では、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語の目標は以下の4点です。 1.名詞の格の概念を理解し、冠詞を用いて格変化させ、実際の文中で使用できる。2.特殊な現在人称変化を理解し、命令文とともに実際に使用できる。3.基本的な前置詞の意味と格支配を理解し、実際に使用できる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、世界情勢に目を向け、他者を思いやり他者と共生する力を獲得することができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	2年次生以上のための専用クラスである。履修希望者多数の場合、人数制限の可能性あり。		
1. 小テスト、感想文など		70 %	独和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。		
2. 中間テスト		%	独和辞典は初回の授業で紹介(推薦)する。		
3. 課題レポートなどの提出物		5 %	授業内容の理解度を確保するための小テストを		
4. 授業中の発表、討論		10 %	数回実施し、その結果を成績に反映させる。		
5. 授業への参加意欲		10 %	各授業の予復修には、平均1時間程度要する。		
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %			
7.		%			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		%	タンデムでの会話練習		
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ロールプレイ方式での会話実践		
3.		%	授業内容理解度確認のための小テスト		
再評価の実施	する	しない			
教科書	山本 洋一『ドイツ語一步一步』 郁文堂 2015年				
参考書	特になし				
				15 予復修課題: 後期の学習事項の再確認をすること。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	中国語 Chinese		単位数	授業内容*	
担当者	黄 冬柏 (HUANG Dongbai)	張 玲 (ZHANG Ling)	1	1	ガイダンス：シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。 予復修課題：中国と中国語について調べ、教科書70頁を復修すること。予復修の目安時間：各30分。
	顧 紅英 (GU Hongying)	陳 振華 (CHEN Zhenhua)	専任 & 非常勤	2	発音(1)：声調と単母音 声調と単母音の発音要領を説明し、練習を行う。(教科書p1-p3) 予復修課題：CD1-CD8を聴くこと。教科書1頁から4頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEC1105・ERC1105・SSC1105	3	発音(2)：子音 子音の発音要領を説明し、練習を行う。(教科書p4-p5) 予復修課題：CD9-CD13を聴くこと。教科書5頁から6頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	4	発音(3)：複合母音 複合母音の発音要領を説明し、練習を行う。(教科書p6-p7) 予復修課題：CD14-CD17を聴くこと。教科書7から8頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
配当年次	1年生	開講学期 前期	経済学部・スポーツ学部共通	5	発音(4)：発音の規則 発音の規則を説明し、挨拶の練習を行う。(教科書p8-p10) 予復修課題：CD18-CD23を聴くこと。教科書9頁から11頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
授業概要	この授業では、日常の表現を中心とした会話教材を使用し、発音と聞き取りの訓練を行うことによって、中国語発音の基礎と初歩的な文法を学習する。 初めて習う外国語なので、あまり難しく考えず、教科書を暗誦できるくらいにじっくり練習する。			6	第1課：お名前は 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p12-p13) 予復修課題：CD24-CD25を聴くこと。教科書12頁から13頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
授業到達目標	中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、挨拶や簡単な日常会話ができる。また、中国語学習を通して、中国の文化をより深く理解できる。			7	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p14-p16) 予復修課題：CD26-CD31を聴くこと。教科書14頁から15頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)			8	復修と中間テスト これまで勉強した内容を復習した後、中間テストを行う。 予復修課題：教科書の単語・会話文・文法、CD1-CD31(教科書p1-p16)を復修すること。復修の目安時間：60分。
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。			9	第2課：私は日本からの留学生 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p17-p18) 予復修課題：CD32-CD33を聴くこと。教科書17頁から18頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。			10	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p19-p21) 予復修課題：CD34-CD39を聴くこと。教科書19頁から20頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。			11	第3課：あなたは毎日何時に大学へ行くの 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p22-p23) 予復修課題：CD40-CD41を聴くこと。教科書22頁から23頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
	成績評価の方法(全体で100%)			12	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p24-p27) 予復修課題：CD42-CD48を聴くこと。教科書24頁から26頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	履修における留意事項		13	第4課：実家は福岡市にある 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p28-p29) 予復修課題：CD49-CD50を聴くこと。教科書28頁から29頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
1. 小テスト、感想文など	10%	朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。 中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。 授業中は積極的に声を出して練習すること。		14	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p30-p32) 予復修課題：CD51-CD56を聴くこと。教科書30頁から31頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
2. 中間テスト	20%	アクティブ・ラーニング		15	復修、まとめ 復修や質疑応答を行った後、まとめのテストを実施し、テストを解説する。 予復修課題：教科書の単語・会話文・文法、CD32-CD56(教科書p17-p32)を復修すること。復修の目安時間：60分。
3. 課題レポートなどの提出物	%			・ミニツツペーパー：第1回・第7回・第13回	
4. 授業中の発表、討論	10%	・小テスト：第5回・第10回			
5. 授業への参加意欲	10%	・中間テスト：第8回			
6. 自主的学習(予習・復習など)	10%	・グループ学習：第2回～第14回			
7.					
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	40%				
2. 論文、まとめのレポートなど					
3.					
再評価の実施	する	しない			
教科書	黄 冬柏 『やさしい中国語10課』 中国書店 2008年				
参考書	芦 益平・黄 冬柏 『漢語生活会話』 白帝社 2004年				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	中国語 Chinese		単位数	授業内容*	
担当者	黄 冬柏 (HUANG Dongbai)	張 玲 (ZHANG Ling)	1	1	ガイダンス：シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。また、中国語 の内容を復修する。 予復修課題：教科書会話文・CD1-CD56(教科書p1-p32)を復修すること。復修の目安時間：60分。
	顧 紅英 (GU Hongying)	陳 振華 (CHEN Zhenhua)	専任 & 非常勤	2	第5課：北九州の気候は 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p33-p34) 予復修課題：CD57-CD58を聴くこと。教科書33頁から34頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEC1203・ERC1203・SSC1203	3	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p35-p37) 予復修課題：CD59-CD65を聴くこと。教科書35頁から36頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	4	第6課：いくら 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p40-p41) 予復修課題：CD67-CD68を聴くこと。教科書40頁から41頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
配当年次	1年生	開講学期 後期	経済学部・スポーツ学部共通	5	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p42-p44) 予復修課題：CD69-CD74を聴くこと。教科書42頁から43頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
授業概要	この授業では、日常の表現を中心とした会話教材を使用し、発音と聞き取りの訓練を行うことによって、中国語発音の基礎と初歩的な文法を学習する。 初めて習う外国語なので、あまり難しく考えず、教科書を暗誦できるくらいにじっくり練習する。			6	第7課：何を食いたい 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p45-p46) 予復修課題：CD75-CD76を聴くこと。教科書45頁から46頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
授業到達目標	中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、挨拶や簡単な日常会話ができる。また、中国語学習を通して、中国の文化をより深く理解できる。			7	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p47-p50) 予復修課題：CD77-CD83を聴くこと。教科書47頁から49頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。		
1. 小テスト、感想文など		10 %	中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。		
2. 中間テスト		20 %	授業中は積極的に声を出して練習すること。		
3. 課題レポートなどの提出物		%			
4. 授業中の発表、討論		10 %			
5. 授業への参加意欲		10 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %			
7.					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		40 %	・ミニツツペーパー：第1回・第7回・第13回		
2. 論文、まとめのレポートなど			・小テスト：第5回・第10回		
3.			・スピーチ・テスト：第14回		
再評価の実施		する	・グループ学習：第2回～第14回		
しない					
教科書	黄 冬柏 『やさしい中国語10課』 中国書店 2008年				
参考書	芦 益平・黄 冬柏 『漢語生活会話』 白帝社 2004年				
			11	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p58-p60) 予復修課題：CD90-CD91を聴くこと。教科書58頁から59頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。	
			12	第10課：私は野球をやるのが好き 単語と本文を説明し、発音を練習する。(教科書p61-p62) 予復修課題：CD92-CD93を聴くこと。教科書61頁から62頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。	
			13	文法の学習と練習問題 文法を解説し、練習問題を解く。(教科書p63-p65) 予復修課題：CD94-CD95を聴くこと。教科書63頁から64頁まで復修すること。予復修の目安時間：各30分。	
			14	スピーチ・テスト(自己紹介) 中国語で自己紹介をする。 予復修課題：付録7:自己紹介(教科書p78)に基づいて作文すること。復修の目安時間：60分。	
			15	復修、まとめ 復修や質疑応答を行った後、まとめのテストを実施し、テストを解説する。 予復修課題：教科書の単語・会話文・文法、CD57-CD95(教科書p33-p67)を復修すること。復修の目安時間：60分。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		韓国語 I Korean I		単位数	授業内容*			
担当者		桂 林春 (KEI Limchun) 洪 鐘ヒ (HONG JongHee)		1	1 ガイダンス 講義の進め方 これからの半期の授業の概要等を説明します。 韓国語の歴史と特徴等について 予復修課題： 筆記用具、ノートの持参			
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEC1106・ERC1106・SSC1106		2	基本母音の学習、基本挨拶 1 基本母音の書き方と発音 日本語にない発音を繰り返し練習 予復修課題： 基本母音の書き方、発音の暗記、基本挨拶の練習	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通		3	基本子音 1、基本挨拶 2 子音字と母音字を組み合わせて、書いて読む練習 予復修課題： 子音+母音 音節の発音の練習、挨拶の練習
配当年次	1年生	開講学期	前期				4	基本子音 2、基本挨拶 3 子音字と母音字を組み合わせて、書いて読む練習 予復修課題： 今日ならった単語の暗記、挨拶の練習
授業概要	本講義では、初めて韓国語を学ぶ受講生を対象に韓国語の「基本文字」と「正確な発音」の習得を目指します。そのためには韓国語の仕組みについての理解も求められます。「韓国語 I」では、文字を覚えて発音ができるまで、つまり文字を正確に読める事、正しく書ける事に重点を置きながらすすめていきます。韓国語と日本語は似ている部分も多いため学習し易いと云われていますが、初学習者にとっては、決して容易であるとは言えません。授業中の繰り返しの練習を通じて、是非「韓国語」を習得してください。						5	複合母音、基本挨拶 4 書き方と発音の学習 挨拶や決まり文句の練習 予復修課題： 複合母音の暗記、挨拶の練習
授業到達目標	1. 韓国語の文字と発音の学習－基本文字が書けて、正確な発音で読める。 2. 単語の発音ができる。 3. 基本的な挨拶が話せる－簡単な決まり文句や挨拶ができる。						6	濃音の学習、基本挨拶 5 書き方と発音の学習 挨拶や決まり文句の練習 予復修課題： 濃音の暗記、挨拶の暗記
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							7	終声 (パッチム받침) について 1 書き方と発音の学習 予復修課題： パッチム付きの単語の暗記、基本挨拶の活用
【知識・技能】				キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えることができる。		◎	8	終声 (パッチム받침) について 2 単語の読み書き 書き方と発音の練習 予復修課題： パッチム付きの単語の暗記、基本挨拶の活用
【思考力・判断力・表現力】				本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。		○	9	中間のまとめ 8回に渡って学習した内容の復修及び中間テスト 予復修課題： 単語の読み書き、挨拶をスラスラ言える
【主体性・協働性】				自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。		○	10	発音の法則 1 発音の法則による単語の読み練習 予復修課題： 連音化・濃音化・激音化の理解と発音の練習
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				11	発音の法則 2 発音の法則による単語の読み練習 予復修課題： 流音化・鼻音化・口蓋音化の理解と発音の練習
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	* 毎回の授業終了時、講義内容を書いたペーパーの提出。 * UNIVERSAL PASSPORTを活用。 * 毎回、60分を目安に予復修をおこなうこと。				12	日本語の韓国語表記 1 日本語の50音の韓国語 - ハングル表記 予復修課題： 各自の名前のハングル表記
1. 小テスト、感想文など		10 %					13	日本語の韓国語表記 2 韓国語の外来語表記 日本語の人名や地名をハングルで表記 予復修課題： 練習問題 課題あり
2. 中間テスト		10 %					14	半期の総復修 今まで学んだ韓国語の基礎を復修し、再度文字と発音の確認と練習 予復修課題： 期末試験に備えて総復修すること！
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					15	総まとめ 試験の実施と解説 予復修課題： 半期の講義内容を確認する
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %	クラスメートと韓国語で挨拶をする。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施		する ○ しない						
教科書	『レッスン韓国語 I』							
参考書	講義の中でその都度紹介します。							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		韓国語 I (再履修用)		単位数	授業内容*	
担当者		桂 林春 (KEI Limchun)		1	1 ガイダンス 講義の進め方 これからの半期の授業の概要等を説明します。 韓国語の歴史と特徴等について 予復修課題： 筆記用具、ノートの持参	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		非常勤講師	2 基本母音の学習 基本母音の書き方と発音 日本語にない発音を繰り返し練習 予復修課題： 基本母音の書き方、発音の暗記	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	
配当年次	2年生	開講学期	前期			
授業概要	本講義では、初めて韓国語を学ぶ受講生が韓国語の仕組みを理解し、韓国語の基本的な「文字」と正確な「発音」を習得し、文字が読めて書けること、簡単な挨拶や決まり文句が言えることで、韓国語の基礎能力を身につけるのがねらいです。韓国語と日本語は似ている部分が多いため、学習し易いと云われています。繰り返しの練習を通じて韓国語を身に付けてほしいです。語学に関する苦手意識をなくしましょう。授業は受講生の理解度に応じたペースで進めていきます。					
	授業到達目標	1. 韓国語の文字と発音の学習－基本文字が書けて、正確な発音で読める。 2. 単語の発音ができる。 3. 基本的な挨拶が話せる－簡単な決まり文句や挨拶ができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えることができる。				◎	
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				○	
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				○	
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	* 毎回の授業終了時、講義内容に関するペーパーの提出。			
1. 小テスト、感想文など		10 %	* UNIVERSAL PASSPORTを活用。			
2. 中間テスト		10 %	* 毎回、60分を目安に予復修をおこなうこと。			
3. 課題レポートなどの提出物		10 %				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		40 %	* クラスメートと韓国語で挨拶。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する ○ しない					
教科書	『レッスン韓国語 I』					
参考書	講義の中でその都度紹介します。					
				15 試験の実施と解説 予復修課題： 半期の講義内容を確認する		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		韓国語Ⅱ Korean Ⅱ		単位数	授業内容*	
担当者		桂 林春 (KEI Limchun) 洪 鐘ヒ (HONG JongHee)		1	1 ガイダンス 講義の進め方 これからの半期の授業の概要を案内します。 前期の復修1 予復修課題： 筆記用具、ノートの持参	
		李 大年 (LI Daian) 朴 明美 (PARK Myoungmi)			2 基本文型「～は・・・です」 前期の復修2 身近な名詞と助詞の使い方 家族関係とその名称 予復修課題： 教科書の文章を書いて音読	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEC1204・ERC1204・SSC1204		3 基本文型「～は・・・ですか」 身近な名詞と助詞の使い方 予復修課題： 教科書の文章を書いて音読
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1年生	開講学期	後期			
授業概要	本授業は、基本的には前期の続きとして進めていきます。 基本文字の正確な発音や単語の読み書きを中心に学習した「韓国語Ⅰ」からレベルアップし、基礎的な文法の学習、短い文章の読み、さらに自己紹介や日常会話など、より実践的な内容を学びます。そのためには、宿題や予修・復修を欠かさずこなすことも必要になります。楽しく学習できるよう受講生皆さんの積極的な参加を求めます。時折、韓国の文化についても触れていきます。本講義を通じて隣国の言葉や文化に関する知識や理解を深めてほしい。					
授業到達目標	1. 文字を正確に書くことができる。 2. 正しい発音で短文をゆっくり読むことができる。 3. 自己紹介と簡単な会話表現ができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えることができる。					◎
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					○
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					○
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	* 毎回の授業終了時、講義内容に関するペーパーを提出すること。				
1. 小テスト、感想文など	10 %	* UNIVERSAL PASSPORTの活用。				
2. 中間テスト	10 %	* 毎回、60分を目安に予復修をおこなうこと。				
3. 課題レポートなどの提出物	10 %	* 授業中の基本マナーを守ること！				
4. 授業中の発表、討論	10 %					
5. 授業への参加意欲	10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %					
7.	%					
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	40 %	ペアー・グループの会話練習				
2. 論文、まとめのレポートなど	%					
3.	%					
再評価の実施	する ○	しない				
教科書	『レッスン韓国語Ⅰ』					
参考書	講義の中でその都度紹介します。					
						15 試験の実施と解説 予復修課題： 半期の講義内容を確認する

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		韓国語Ⅱ〈再履修用〉		単位数	授業内容*	
担当者		桂 林春 (KEI Limchun)		1	ガイダンス 講義の進め方 これからの半期の授業の概要を案内します。 前期の復修1 予復修課題： 筆記用具、ノートの持参	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		非常勤講師	基本文型「～は・・・です」 前期の復修2 身近な名詞と助詞の使い方 家族関係とその名称 予復修課題： 教科書の文章を書いて音読	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	本授業は、基本的には前期の続きとして進めていきます。 基本文字の正確な発音や単語の読み書きを中心に学習した「韓国語Ⅰ」からレベルアップし、基礎的な文法の学習、短い文章の読み、さらに自己紹介や日常会話など、より実践的な内容を学びます。そのためには、宿題や予修・復修を欠かさずこなすことも必要になります。語学に対する苦手意識を捨てて、より楽しく学習できるよう積極的な参加しましょう。時折韓国文化にも触れていきます。本講義を通じて隣国の言葉や文化に関する理解を深めてほしい。					
授業到達目標	1. 文字を正確に書くことができる。 2. 正しい発音で短文をゆっくり読むことができる。 3. 自己紹介と簡単な会話表現ができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えることができる。					◎
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					○
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					○
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	* 毎回の授業終了前、講義内容を書いたペーパーの提出。			
1. 小テスト、感想文など		10 %	* UNIVERSAL PASSPORTの活用。			
2. 中間テスト		10 %	* 毎回、60分を目安に予復修をおこなうこと。			
3. 課題レポートなどの提出物		10 %	* 授業中の基本マナーを守ること!			
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		40 %	ペアー・グループの会話練習			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する ○ しない					
教科書	『レッスン韓国語Ⅰ』					
参考書	講義の中でその都度紹介します。					
1	ガイダンス 講義の進め方 これからの半期の授業の概要を案内します。 前期の復修1 予復修課題： 筆記用具、ノートの持参					
2	基本文型「～は・・・です」 前期の復修2 身近な名詞と助詞の使い方 家族関係とその名称 予復修課題： 教科書の文章を書いて音読					
3	基本文型「～は・・・ですか」 身近な名詞と助詞の使い方 予復修課題： 教科書の文章を書いて音読					
4	基本文型「～ではありません」 名詞の否定形の学習 作文 予復修課題： 教科書の文章を書いて音読 単語の暗記					
5	もう一つの上称形「～です/～ですか」の学習 「へヨ해요」タイプの表現 予復修課題： 練習問題 単語の暗記					
6	存在詞・指定詞の学習 1 いる ある ない いない の表現 予復修課題： 文章の音読 単語の暗記					
7	存在詞・指定詞の学習 2 指示代名詞こそあどの表現 予復修課題： 文章の音読 単語の暗記					
8	方向と位置関係 前後上下中横左右の表現 予復修課題： 文章の音読 単語の暗記 作文					
9	中間のまとめ 8回に渡って学習した内容の復修及び中間テスト 予復修課題： 単語の読み書き					
10	自己紹介の完成 1 氏名 学校名 出身地 干支の表現 予復修課題： 文章の音読 単語の暗記					
11	自己紹介の完成 2 趣味 好み 等の表現 予復修課題： 文章の音読 単語の暗記					
12	完成した自己紹介のテスト 各自暗記した自己紹介の文章を発表 予復修課題： 文章の音読					
13	韓国の文化に触れあう 韓国の映画又は歌の紹介とその学習 予復修課題： 新しい表現や単語の暗記					
14	半期の総復修 今まで学んだ韓国語の基礎を復修し、再度文字と発音、短文の表現を練習 予復修課題： 期末試験に備えて総復修すること!					
15	総まとめ 試験の実施と解説 予復修課題： 半期の講義内容を確認する					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	イングリッシュ・ワークショップ English Workshop			単位数	授業内容*	
担当者	黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)	永松 美保 (NAGAMATSU Miho)		専任	1 [夏期集中講座]オリエンテーション 自己紹介とアイスブレイキングを中心に行います。 予復修課題： 分からなかった単語をピックアップし後で調べる。次回の内容について調べておく。	
	ダニエル・ドロークス (DROUKIS Daniel)				2 [夏期集中講座]発音練習・英語の歌 英語の発音練習と基礎知識を学び、英語の歌を実際に歌ってみる活動を行います。 予復修課題： 発音の繰り返し練習、歌の練習を各自行う。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		EEC1107・ERC1107・SSC1107		3 [夏期集中講座]コミュニケーションの基礎・英検2級面接練習 コミュニケーションの基礎となる時制の訓練と、英検2級の面接練習を行います。 予復修課題： 時制を意識した英文を作る練習をする。	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1年生	開講学期	後期集中			
授業概要	英語でのプレゼンテーション能力はグローバル化する現代社会において必要なスキルの1つです。本科目では、英語のコミュニケーション・プレゼンテーション能力を磨くために、ネイティブスピーカーを中心とした集中講義の形式で、英語のみを使用して様々なトピックでのトークやアクティビティを行い、学生自身の英語でアウトプットを積極的に促す授業を展開します。					
授業到達目標	CEFR-J A2.1(やりとり・発表)程度の到達度を目指します。具体的には、下記の通りです。 1. 基本情報を伝え、簡単な意見交換ができる。 2. 簡単な語句や文を使って、身近なトピックについて短い話をする事ができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 全て英語で行う授業ですので、日本語を使わないようにしてください。			
1. 小テスト、感想文など		10 %	2. 各回の授業において、約1時間の予復修を行うように心がけてください。			
2. 中間テスト		%	3. 分からない語句を調べるために、電子辞書等を持参してください。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	4. 授業の具体的なスケジュール等は、第1回目の授業で説明します。			
4. 授業中の発表、討論		40 %				
5. 授業への参加意欲		30 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	グループワーク[第1~4回、11回~15回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	プレゼンテーション[第11~15回]			
3.		%	実践学習[第5回~10回]			
再評価の実施	する	しない				
教科書	ありません。適宜配布プリントで対応します。					
参考書	ありません。					
					11 [コミュニケーション・プレゼンテーション] 英語でのプレゼンテーションの際に使う語句等について学びます。 予復修課題： プレゼンテーションに必要な語句の復修・プレゼンテーションに使えるような語句の確認。	
					12 [コミュニケーション・プレゼンテーション] 英語でのプレゼンテーションの作り方について学びます。 予復修課題： 分からない語句の復修・プレゼン具体的内容を固める。	
					13 [コミュニケーション・プレゼンテーション] 英語でプレゼンテーションを作成していきます。 予復修課題： 学んだ技術の反復練習・プレゼンの内容の修正を行う。	
					14 [冬期集中講座]英語でプレゼンテーション 英語でプレゼンテーションを行います。 予復修課題： プレゼンテーションの準備を行う。	
					15 [冬期集中講座]まとめ プレゼンテーションの評価を行い、総評・表彰等を行います。 予復修課題： 自分自身のプレゼンテーションの振り返りを行う	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	海外研修 English Studies Abroad			単位数	授業内容*	
担当者	田中 雅子 (TANAKA Masako)			専任		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング	EEC1301・ERC1301・SSC1301			
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽﾎｰﾙ学部共通	
配当年次	全学年	開講学期	集中			
授業概要	この科目は国際交流・留学生支援室が募集する、短期海外研修プログラムに参加した学生に単位が与えられる科目です。英語や韓国語など、各協定校における語学研修プログラムを受講し言語運用能力の向上を目指します。各協定校における語学研修プログラムでは、文法・聴解・読解・会話など、言語運用能力を向上させる4技能を、それぞれの協定校における手法で学習していきます。また、海外での学習だけでなく、その土地の文化を体験し、国際人としての教養を深めることを目指します。					
授業到達目標	短期海外研修プログラムを通して、積極的に語学学習に取り組む姿勢を身につける。 短期海外研修プログラムを通して、その土地の文化を理解することができる。					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	成績評価は研修先から発行される成績証明書と研修報告書に基づいて行います。				
1. 小テスト、感想文など	%	各協定校ごとに、プログラムの内容やスケジュールが異なります。詳細内容は、国際交流・留学生支援室にて取り扱っています。				
2. 中間テスト	%	プログラム参加にあたっては、事前研修等に出席する必要があります。詳細は、国際交流・留学生支援室にて取り扱っています。				
3. 課題レポートなどの提出物	%					
4. 授業中の発表、討論	%					
5. 授業への参加意欲	%					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7.	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	%	各協定校の授業の手法により異なりますが、				
2. 論文、まとめのレポートなど	%	海外の大学においては積極的に行動しなければ				
3.	%	何も得られません。自ら積極的に行動するよう				
再評価の実施	する	しない	に心がけましょう。			
教科書						
参考書						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	情報処理演習 Information Processing Practice I		単位数	授業内容*	
担当者	田中 雄二 (TANAKA Yuji)		ほか	専任 & 非常勤	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EED1101・ERD1101・SSD1101	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通
配当年次	1年生	開講学期	前期		
授業概要	インターネットやコンピュータを活用することは現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集・整理を行い、考えを主張していくことが社会人として身につけておく要素のひとつである。本科目はパソコンを実際に操作しながら初歩的なワードプロセッサや表計算・図形描画・電子メール・情報検索などを演習形式で繰り返し操作しながら体得していき、身近な情報機器を積極的に利用できるようにしていく。また、本学の情報処理施設の利用法を学ぶ最初の機会でもある。特殊な操作もあるがしっかりと習得していく。				
授業到達目標	1. コンピュータの基礎用語を理解し、基本的な利用方法を習得し説明できる。 2. 簡単なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。 3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。 4. インターネットを活用し、容易に情報を収集できる。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	家庭や公共な場所で利用するコンピュータとは異なる取り扱いがいくつかあり、自らが作成したファイルを消失させてしまうことが多々発生している。ファイルの保存場所について学んだことが身につけていないと、他の科目においても不利益を被ることが予想される。講義および課題に集中して臨むことで他科目の学びにも繋がる。		
1. 小テスト、感想文など		5 %			
2. 中間テスト		%			
3. 課題レポートなどの提出物		40 %			
4. 授業中の発表、討論		10 %			
5. 授業への参加意欲		20 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %			
7.		%			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		%	他者からの学び、他者への指導、意見交換などを通じてパソコン操作の技量を高めていく。他者の作品を自身のものと見比べながら意見交換を行い、新しい発見へと導く。		
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %			
3.		%			
再評価の実施	する	しない			
教科書	杉本くみ子・大澤栄子『情報リテラシー Office2016』実教出版 2016年				
参考書	インターネットとモラルに関する副読本				
1	本学の情報処理施設の利用法・パソコン・キーボード・マウス等の名称および操作方法 ログオン・ログオフ・アイコン・メニュー・Zドライブ・アクティブメールの取り扱い 予復修課題：シラバスを熟読しておくこと。アクティブメールが使えるようになること。				
2	メモ帳・タッチタイピング・日本語の入力方法・ワードパッド・ファイルの作成・保存方法・フォルダーの作成等の理解 予復修課題：ブラインドタッチについて調べ、指の使い方(一覧表)を理解しておく(4時間)				
3	Microsoft Wordの使用法：キーボード入力 of 解説・書式・フォント・文字修飾・段落・ショートカットキー等の理解 予復修課題：ショートカットキー(Ctrlキーの使い方)について「各種」調べておく(4時間)				
4	Microsoft Wordの使用法：マウス操作 of 解説・左クリック右クリック・コピー&ペースト・ダブルクリック・ファイルの移動やコピー・フォルダの移動やコピー等 予復修課題：上書き保存をするときの注意点・ファイル移動の時の注意点について調べる(4時間)				
5	ブラウザ・電子メールの利用法・検索・Microsoft Wordの使用法：図形の挿入・線画の作成・移動・拡大・挿入・消去などの理解 予復修課題：学生用メールとソーシャルネットサービスのメールの違いについて調べる(4時間)				
6	Microsoft Wordの演習課題(図形描画を含んだ作品の制作) 文書入力・表作成・図形描画とそのレイアウト設定についての理解 予復修課題：課題作成のために必要な、ここまでの内容の総括(4時間以上)				
7	Microsoft Excelの使用法：セル・シート・ブック・オートフィル・保存法・文字修飾セルの移動・コピー・計算などの理解 予復修課題：セルに入力する語句について理解を深めること(4時間以上)				
8	Microsoft Excelの使用法：絶対参照・相対参照・セルサイズの調整・文字配置・リンクの貼り付け・オートフィルの発展的利用法 予復修課題：マウス右クリックから使えるメニューについて理解を深める(4時間以上)				
9	Microsoft Excelの使用法：エクセルの関数やシート編集について理解する。 ソート・検索・列挿入・行挿入・コピー・削除・置換などについて 予復修課題：掛け算九九表から、それよりも大きなサイズの積算表が作れるようになること(4時間以上)				
10	Microsoft Excelの演習課題 エクセルで作成した計算表(九九など)から各種の装飾や抽出を行えるようになる。 予復修課題：エクセルメニューバーにある色々な機能について調べておく(4時間以上)				
11	Microsoft PowerPointの使用法：テキスト入力・書式設定・フォントの調整・スライド作成・写真や図形の挿入等の基本操作を行う。 予復修課題：パワーポイント使用時の「色を含めた文字装飾」の選び方を調べておく(4時間以上)				
12	Microsoft PowerPointの使用法：スライド操作・各種の効果表示の取扱いについて プレゼンテーション資料作成の基本形理解とその資料印刷について理解する。 予復修課題：色相環について調べて理解しておく(4時間以上)				
13	Microsoft PowerPointの演習課題 自分の出来事を題材として3分間プレゼンテーションができる資料をつくる。 予復修課題：スライド作成時の「アピールポイントのコツ」を調べておく(4時間以上)				
14	インターネットの基礎・情報収集と著作権・情報の信頼性について・メールのマナーとモラル・情報発信と受信を行う時の注意点について 予復修課題：モラル・情報発信と受信を行う時の注意点について				
15	情報処理演習Ⅰのまとめ ワード・エクセル・パワーポイントがリンクした形での資料作成 予復修課題：オフィスソフトにおけるデータのリンクについて調べておく(4時間以上)				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	情報処理演習 Information Processing Practice II			単位数	授業内容*	
担当者	田中 雄二 (TANAKA Yuji)		ほか	1	1	<p>1 本学情報処理施設の利用方法について復習(情報処理演習Ⅰの修得内容の確認)情報処理演習Ⅰや他の科目を通じて修得したスキルを資料にまとめる。 予復修課題: 前期の振り返りをしておく(「できる」を前提として進めていくので注意すること)</p> <p>2 Microsoft Wordの使用法: ビジネス文書作成の基本について ビジネス文書の検索・模倣・作成を行う。罫線の処理や複雑な書式設定を理解する。 予復修課題: ルーラーの使用方法について調べておく(4時間)</p> <p>3 Microsoft Wordの使用法: ポスターの作成を通じて印刷サイズを理解する。 複雑な図形設定や写真の拡大・縮小・図形と文字の配置などの操作を習得する。 予復修課題: 図形のレイアウトについて調べて操作できるようにしておく(4時間)</p> <p>4 Microsoft Excelでの住所録データの作成を通じたWordとのリンクについて (Excel・Word): ハガキ印刷を行う時のテクニックを習得する。 予復修課題: Wordにおけるハガキ印刷について調べておく(4時間)</p> <p>5 Microsoft Excelの使用法: エクセルによる図表作成と各種グラフの取扱いについて データを視覚化する手法である「グラフ」の作成とそのスタイル選択を身に付ける。 予復修課題: エクセルでの「数値」と「文字列」の違いを理解しておく(4時間)</p> <p>6 Microsoft Excelの使用法: リンクの貼付・データベースの使用法・基本統計関数の使い方について 予復修課題: エクセルの操作における関数処理(sumやaverageなど)を調べておく(4時間)</p> <p>7 Microsoft Excelの使用法: 統計処理・統計グラフ・統計関数等の操作法 分散・標準偏差を求めるための操作について学ぶ。 予復修課題: エクセルの「分析ツール」の表示法と操作について調べておく(4時間)</p> <p>8 Microsoft Excelの演習課題 Excel関数を使った計算処理についてまとめを行う。 予復修課題: エクセル関数について復修を行っておくこと(4時間以上)</p> <p>9 Microsoft PowerPointの使用法: 高度な利用法について 視覚効果の利用とその功罪について理解を深める。 予復修課題: アニメーションの多用がどういふ結果を導くのかについて調べておく(4時間)</p> <p>10 Microsoft PowerPointの演習課題 自分の将来について「企画」プレゼンテーションを作成する。 予復修課題: 自己紹介・自己PRについて調べて知っておくこと(4時間以上)</p> <p>11 インターネットの発展とそれに伴う諸問題について PCとスマートフォンでのインターネット利用の類似点と相違点を知る。 予復修課題: 各種検索サイトの違いについて調べておく(4時間以上)</p> <p>12 情報のマナーとモラルや情報化社会の諸問題について 著作権に対する深い学びを行い、SNSにおける肖像権や匿名記事などに関して理解する。 予復修課題: インターネット上での「炎上」について調べておく(4時間以上)</p> <p>13 情報発信の基礎: ホームページのしくみについて htmlによる記述の基本を理解し、インターネット上のサイトが表示される仕組みを知る。 予復修課題: htmlについて調べておく(4時間以上)</p> <p>14 パソコンを利用した教育・学習について理解を深める パソコンは万能ではなく、使う人の「使用法」に依存することを改めて理解する。 予復修課題: スマホでゲームを行う時間について情報を得ておく(4時間以上)</p> <p>15 情報処理演習IIのまとめ ワード・エクセル・パワーポイントで「ほぼ同じ資料」を作成する(例:履歴書) 予復修課題: オフィスソフトの特徴を復修しておくこと(4時間以上)</p>
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EED1201・ERD1201・SSD1201	2	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1年生	開講学期	後期			
授業概要	<p>前期に行った情報処理演習Ⅰから発展する形で、文書作成・表計算・プレゼンテーション資料作成の技量を高めていく。その流れの中で数学的基礎知識(主として統計学)や芸術的センスのイロハ(レイアウトや色彩感覚など)も踏まえた内容を学んでいく。キー入力速度についても技能向上を求めていく。コンピュータ用語としての英語も含まれて来るので、しっかりと理解し体得していく。情報処理演習Ⅰで行った内容は既に理解し実践できるという前提で物事が進んでいくので、過去の内容の「きちんとした振り返り」が必要となる。</p>					
授業到達目標	<p>1. コンピュータの基礎用語を理解し、基本的な利用方法を習得し説明できる。 2. 簡単なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。 3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。 4. インターネットを活用し、容易に情報を収集でき、その価値や真偽の判断を実践できる。</p>					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<p>家庭や公共な場所で利用するコンピュータとは異なる取り扱いがいくつかあり、自らが作成したファイルを消失させてしまうことが多々発生している。ファイルの保存場所について学んだことが身につけていないと、他の科目においても不利益を被ることが予想される。講義および課題に集中して臨むことで他科目の学びにも繋がる。</p> <p>アクティブ・ラーニング</p> <p>他者からの学び、他者への指導、意見交換などを通じてパソコン操作の技量を高めていく。他者の作品を自身のものと見比べながら意見交換を行い、新しい発見へと導く。</p>			
1. 小テスト、感想文など		5 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		40 %				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		%				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	杉本くみ子・大澤栄子『情報リテラシー Office2016』実教出版 2016年					
参考書	インターネットとモラルに関する副読本					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		情報処理演習 Information Processing Practice		単位数	授業内容*	
担当者		太田 成俊 (OHTA Shigetoshi)		1	1 本学の情報処理施設の利用法・パソコン等の操作法・情報処理演習 の復修。 授業のための約束事を共通理解・単位取得のために必要なことを説明しまとめる。 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。(15分)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EED2101	2 Microsoft Wordの使用法：キーボード入力 of 解説・書式・フォント・文字修飾・文字配置などを理解する。報告書の形式を習得し、応用課題を作成する。 予復修課題： タッチタイピングに慣れるとともに、携帯を利用した文書作成も経験する。(45分)	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	2年生	開講学期	前期			
授業概要	インターネットやコンピュータを利用することは、現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集を行い、自分自身をアピールすることは社会人として身につけておく必要があります。本授業ではパソコンを実際に操作しながら、情報処理演習、を基礎にワード、エクセル、プレゼンテーション、情報検索、統計処理などを演習形式で体得し、さらに理解を深め、応用力を高めることを目標としています。このように発展的なパソコンの使用能力を身に付けるために、最低限、のどちらかの単位は修得しておく必要があります。					
授業到達目標	1. コンピュータの使用法を理解し、発展的利用法を習得し他者に説明できる。 2. 複合的なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。 3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。 4. インターネットを活用し容易に情報を習得できる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題作成で留意すべきことは、 新しく学んだことは忘れないようメモする。 板書や教員の説明をよく聞き理解すること。 とりあえずやって体験してみること(Do)。 エラーメッセージの原因を探る(Check)。 わからないことはすぐにだれかに聞く。 積極的に人に教えてあげること。 予復修でファイル作成をやってみる。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特になし					
参考書	特になし					
			13		統計処理：統計データの作成を行い、統計処理について演習形式で理解する。 分布関数、平均値、分散、線形近似、相関係数などを求めその意味を理解する。 予復修課題： 統計データを作成しその分布や計算方法などを実習で行う。(45分)	
			11		統計処理：作成した統計データをもとに統計処理について演習で理解する。 仮説、仮説の検証、検定の意味と方法を理解し、応用課題を作成する。 予復修課題： 統計処理を理解するための応用課題を提出する。(45分)	
			12		その他のアプリケーション：線図の作成・写真のトリミング・挿入 アニメーション・シミュレーションソフトを実行し、応用課題を作成する。 予復修課題： 線図・写真・アニメなどのビジュアルな課題を作成し提出する。(45分)	
			13		その他のアプリケーション：グラフの作成・SPI問題を解く・数的把握・などの問題を解くためのアプリを使い、応用課題を作成する。 予復修課題： 数学的な問題を解くための応用課題を提出する。(60分)	
			14		インターネット基礎・情報の収集・著作権・信頼性・電子メールのマナー・モラル・情報の発信・情報の重要性を理解し、応用課題を作成する。 予復修課題： 情報モラルなどの重要性を意識するための課題を提出する。(30分)	
			15		講義の振り返り：自分がパソコンでどんなことができるようになったのかを 自ら考えて、講義の感想文を作成する。 予復修課題： 講義の感想を提出する。(15分)	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	情報処理演習 Information Processing Practice			単位数	授業内容*	
担当者	太田 成俊 (OHTA Shigetoshi)			1	1 本学の情報処理施設の利用法・パソコン等の操作法・情報処理演習 の復修。 授業のための約束事を共通理解・単位取得のために必要なことを説明しまとめる。 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。(15分)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EED2201	2 Microsoft Wordの使用法：ビジネス文書とは何か・インターネットでの検索 ビジネス文書の形式を習得し、応用課題を作成する。 予復修課題： 手順に慣れるとともに、応用課題を提出する。(30分)	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修 学部	3 Microsoft Wordの使用法：ポスター・挨拶文・はがき文面作成。 ポスター・挨拶文・はがきなどの応用課題を作成する。 予復修課題： 挨拶文の文案を調べる。応用課題を提出する。(30分)	
配当年次	2年生	開講学期	後期	経済学部・スポーツ学部共通	4 Microsoft Wordの使用法：図形の挿入・数式の挿入・グラフの挿入 いろいろなWordの応用法を理解し、応用課題を作成する。 予復修課題： 内容をよく理解し、この単元の応用課題を提出する。(45分)	
授業概要	インターネットやコンピュータを利用することは、現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集を行い、自分自身をアピールすることは社会人として身につけておく必要があります。本授業ではパソコンを実際に操作しながら、情報処理演習、を基礎にワード、エクセル、プレゼンテーション、情報検索、統計処理などを演習形式で体得し、さらに理解を深め、応用力を高めることを目標としています。このように発展的なパソコンの使用能力を身に付けるために、最低限、のどちらかの単位は修得しておく必要があります。					
	授業到達目標 1. コンピュータの使用法を理解し、発展的利用法を習得し他者に説明できる。 2. 複合的なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。 3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。 4. インターネットを活用し容易に情報を習得できる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題作成で留意すべきことは、 新しく学んだことは忘れないようメモする。 板書や教員の説明をよく聞き理解すること。 とりあえずやって体験してみること(Do)。 エラーメッセージの原因を探る(Check)。 わからないことはすぐにだれかに聞く。 積極的に人に教えてあげること。 予復修でファイル作成をやってみる。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	11 検索ソフト：Internet Explorer, Wikipedia, Googleマップ,などを体験し、どんなものでも調べ、調べた結果を課題にまとめる。 予復修課題： この単元についての応用課題を提出する。(60分)			
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	12 パソコンの構造：CPU・メモリ・ハードディスク・キーボード・マウスなど、日々進歩しているパソコンのことを調べ、課題にまとめる。 予復修課題： この単元についての応用課題を提出する。(60分)			
3.		%	13 パソコンの構造：パソコンと携帯の違いを調べる。現在の状況と、未来予想図を考えたり、調べたりして、結果を課題にまとめる。 予復修課題： この単元についての応用課題を提出する。(60分)			
再評価の実施	する	しない	14 パソコンの構造：OS,アプリケーション,ハードディスク,各種メモリ モラル・情報の発信・情報の重要性を理解し、応用課題を作成する。 予復修課題： この単元についての応用課題を提出する。(60分)			
教科書	特になし					
参考書	特になし					
15 講義の振り返り：自分がパソコンでどんなことができるようになったのかを自ら考えて、講義の感想文を作成する。 予復修課題： 講義の感想を提出する。(15分)						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツA Sports A			単位数	授業内容*	
担当者	辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)		後藤 太郎 (GOTO Taro)		専任 & 非常勤	1 全体でオリエンテーションを行い、各種目ごとに授業目標を把握させる。
	藤谷 順三 (FUJITANI Junzou)		市丸 直人 (ICHIMARU Naoto)			2 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
実務経験のある教員による授業			ナンバリング		EEE1101・ERE1101	2 【体力測定】新体力テストを実施し、体力の現状を知る。
授業形式	実技	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	3 予復修課題：体力測定に備え、ストレッチなどを日常的に実施する。
配当年次	1年生	開講学期	前期			4 【体力測定】新体力テストを実施し、体力の現状を知る。
授業概要	学生の身体諸機能の向上ならびに体力の増進をはかり、将来の社会生活の活動基盤となる体力および健康を維持・増進させるための実践法を体得し、豊かな人格を形成していく。前期のスポーツAでは、卓球・バスケットボール・テニス・サッカーを選択種目とし、特に自主性に焦点を置き、生涯に渡って実践できるスポーツの技能・運営方法を学習する。					3 予復修課題：体力測定に備え、ストレッチなどを日常的に実施する。
授業到達目標	(1)現在の自身の体力・健康度等を認識することができる。(2)選択したスポーツ種目の特性、ルールやマナーを理解し、選択したスポーツ種目に必要な技術を習得することができる。(3)スポーツを通して、基礎体力の保持・向上のための、身体を動かす習慣をつけることができる。(4)ゲームや仲間との協調を通じて、選択したスポーツ種目の楽しさを知ることができる。(5)健康的な生活習慣（特にスポーツ習慣）をデザインし、実行することができる。					4 各種目とも個人技能を習得させるための運動量を理解する。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 評価は出席を重視し、受講態度を加味して行う。			
1. 小テスト、感想文など		10 %	2) 実技を安全かつ効率的に実施するため			
2. 中間テスト		10 %	服装等に配慮し、指導者の指示を守ること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	3) 予復修には、1時間程度取り組むこと。			
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		70 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		10 %	グループワークを行い、チーム・ペアにおける			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	技能の習熟度、戦術や作戦を確認する(毎回)			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書						
						5 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						6 個人プレーから連携プレーにつながる技術を習得する。
						7 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						8 小集団において連携プレーの重要性を理解する。
						9 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						10 チーム・ペアのあり方を理解し、試合の流れについて理解する。
						11 これまで習得したことについて中間テストを行う(実技)
						12 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						13 5分～10分の時間を区切って、味方チーム・ペアの動きを確認する。
						14 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						15 チーム・ペアの弱点を把握し、それをカバーしながら試合を進めることができる。
						16 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						17 ゲームの作戦を立てて試合に臨む。
						18 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						19 試合において、自分のチームまたはペアと相手チームまたはペアの攻撃の違いをいち早く見つけることができるようになる。
						20 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						21 試合の流れを理解し、それに対応できる能力を習得する。
						22 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。
						23 これまでの運動技術を十分に把握させながら、試合を行う。
						24 まとめのテストを行う(実技)
						25 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツB Sports B			単位数	授業内容*	
担当者	辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)		後藤 太郎 (GOTO Taro)		専任 & 非常勤	1 全体でオリエンテーションを行い、各種目ごとに授業目標を把握させる。
	藤谷 順三 (FUJITANI Junzou)		山本 敬子 (YAMAMOTO Keiko)			
実務経験のある教員による授業			ナンバリング		EEE1201・ERE1201	2 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。 【体力測定】新体力テストを実施し、体力の現状を知る。
授業形式	実技	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	3 予復修課題：体力測定に備え、ストレッチなどを日常的に実施する。 【体力測定】新体力テストを実施し、体力の現状を知る。
配当年次	1年生	開講学期	後期			4 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。 各種目とも個人技能を習得させるための運動量を理解する。
授業概要	学生の身体諸機能の向上ならびに体力の増進をはかり、将来の社会生活の活動基盤となる体力および健康を維持・増進させるための実践法を体得し、豊かな人格を形成していく。前期のスポーツAでは、卓球・バスケットボール・テニス・サッカーを選択種目とし、特に自主性に焦点を置き、生涯に渡って実践できるスポーツの技能・運営方法を学習する。					5 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。 個人プレーから連携プレーにつながる技術を習得する。
授業到達目標	(1)現在の自身の体力・健康度等を認識することができる。(2)選択したスポーツ種目の特性、ルールやマナーを理解し、選択したスポーツ種目に必要な技術を習得することができる。(3)スポーツを通して、基礎体力の保持・向上のための、身体を動かす習慣をつけることができる。(4)ゲームや仲間との協調を通じて、選択したスポーツ種目の楽しさを知ることができる。(5)健康的な生活習慣（特にスポーツ習慣）をデザインし、実行することができる。					6 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。 小集団において連携プレーの重要性を理解する。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 評価は出席を重視し、受講態度を加味して行う。			
1. 小テスト、感想文など		10 %	2) 実技を安全かつ効率的に実施するため			
2. 中間テスト		10 %	服装等に配慮し、指導者の指示を守ること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	3) 予復修には、1時間程度取り組むこと。			
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		70 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		10 %	グループワークを行い、チーム・ペアにおける			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	技能の習熟度、戦術や作戦を確認する(毎回)			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書						
						15 予復修課題：授業の反省を日誌にまとめ、技能の点検をする。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		健康の科学 Health Science		単位数	授業内容*	
担当者		細井 陽子 (HOSOI Yoko)		2	1 オリエンテーションを行うとともに、「健康の科学」の講義内容の概要を説明する。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 予復修課題：健康とはどのような状態のことが考えてくる。 身体の健康のためにどのような栄養素が必要なかを解説する。	
授業形式		講義	科目区分 総合共通科目	履修学部	EEE1102・ERE1102	3 予復修課題：今までの食育で習った栄養素についてまとめておく。 健康に生きていくために必要なエネルギー量はどのくらいかを解説する。
配当年次		1-2年生	開講学期 前期	経済学部		4 予復修課題：自分の身長・体重を測っておく。 食事の消化吸収をうまくいくようにするための工夫を解説する。
授業概要	健康とはどういうことを指すのかを解説する。 健康を維持・増進するための方法を解説する。 健康づくりのための最新の情報について解説する。 栄養、運動、休養をテーマに講義をすすめる。					5 予復修課題：1週間の排便習慣について確認しておく。 年代によって違う健康的な食事について解説する。
	健康とはどういう状態を指すのかを理解する。 健康づくりやメタボリックシンドロームの予防などに必要な科学的な知識を理解する。 社会人として健康に生きていくための健康管理能力は何かが必要か理解する。 日常生活で実施可能な健康づくりをする能力を習得する。					6 予復修課題：今までの人生での自分や家族の食事を振り返っておく。 生活習慣病にはどのようなものがあるか解説する。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					7 予復修課題：我が国の疾病予防の歴史を振り返って解説する。 予復修課題：健康日本21について記憶をたどって振り返っておく。
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					8 予復修課題：運動による健康増進について解説する。 予復修課題：日常生活に取り入れやすい運動にはどのような種類があるか調べておく。
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					9 予復修課題：スポーツで起こりやすい健康上のトラブルを紹介する。 予復修課題：健康的なスポーツとはどのようなものか考えておく。	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					10 予復修課題：健康的なスポーツとはどのようなものか考えておく。 ストレスが健康に与える影響を解説する。	
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書を用いて授業を行います。 教科書を持参してくること。 予復修には1時間程度取り組むこと。			
1. 小テスト、感想文など		20 %				
2. 中間テスト		30 %				
3. 課題レポートなどの提出物		5 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		30 %	毎回の授業でミニッツ・ペーパーを記入する。			
2. 論文、まとめのレポートなど		5 %				
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		東條仁美ほか、『スタディ応用栄養学』建帛社、2018年				
参考書		15 予復修課題：テストで出た問題を教科書のどこにあるのか探しておく。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		健康の科学 Health Science		単位数	授業内容*	
担当者		青山 優子 (AOYAMA Yuuko)		2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEE1102・ERE1102		
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	<p>いつの時代でも「心身の健康」は人々の変わらぬ最大の願望です。本科目では現代社会において、受講生の一人一人が健康な生活をデザインし実施できる基礎的能力を養います。そのために、「健康」の定義を押さえ「ヒトのからだ」の進化を振り返りながら、現代社会の中で「健康」を阻害する要因を押さえその対処法について学び、さらに自らの生涯を通じた「健康生活」をデザインします。また長寿社会における「健康」の意義について深め、学修します。</p>					
授業到達目標	<p>1. 心身の健康について学び、その本質を追求することができる。 2. 心身の健康を阻害する要因について理解し、様々な対処法を学び「健康生活」をデザインできる。 3. デザインした「健康生活」を実践できるようにする。 4. 長寿社会における「健康」の意義を深め、自らの資質を活かして社会貢献ができる。</p>					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	必ず予修を実施してください。実施していると見なして授業を展開いたします。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	提出物は、全て評価の対象としますので、遅れても必ず提出してください。			
2. 中間テスト		20 %	グループワークや発表は、積極的に取り組んで下さい。			
3. 課題レポートなどの提出物		10 %	予復修課題の取組時間：1.5～2時間が望ましい			
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	グループワークで課題を満たす「テーマ」を決定して、そのテーマに沿った実践事例を研究しプレゼンテーションを行う。			
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書						
オリエンテーション		1 講義の概要・授業の進め方・評価の仕方などについて理解する。 予復修課題：「健康」の定義について調べ、発表できるようにしておく				
ヒトのからだの進化からみた健康問題(1)		2 直立2足歩行に至るまでの進化を理解し、現代人の体の特徴から健康課題を探る 予復修課題：生活習慣病について調べ、自らの生活習慣を振り返る(レポート)				
ヒトのからだの進化からみた健康問題(2)		3 現代人の生活様式と健康課題について探る 予復修課題：スキャモンの発育発達曲線について調べる				
ヒトのからだの発育発達からみた健康問題		4 発育発達によるからだの変化から運動の必要性について理解する 予復修課題：加齢に伴う形態機能の変化について調べておく				
運動とからだの健康(1)		5 運動不足と健康障害について理解する 予復修課題：ダイエットについて調べておく				
運動とからだの健康(2)		6 健康づくりに適切な運動について学ぶ 予復修課題：ストレスについて調べておく				
運動と心の健康(1)		7 ストレス社会と心の健康障害について理解する 予復修課題：2～6回までの学修内容を再確認する				
運動と心の健康(2)(小テスト)		8 運動による心の健康づくりについて学ぶ 予復修課題：自の生活調査を記録する				
健康生活と運動(1)		9 生活習慣と運動の関係について理解を深める 予復修課題：長寿社会について調べておく				
健康生活と運動(2)		10 長寿社会における生活と運動について探る 予復修課題：健康づくりのための運動の実践事例を調べる(レポート)				
健康生活と運動(3)		11 健康づくりのための運動について学ぶ 予復修課題：「長寿社会と健康」の実践事例を持ち寄る				
長寿社会における健康生活をデザインする - 課題の決定 - (1) グループワーク		12 健康で長寿であることの意義について理解を深め、今後の健康社会について展望する 予復修課題：「長寿社会と健康」の実践事例を持ち寄る				
長寿社会における健康生活をデザインする - 事例の収集 - (2) グループワーク		13 健康で長寿であることの意義について理解を深め、今後の健康社会について展望する 予復修課題：プレゼンテーションに向けて充分準備する				
長寿社会における健康生活をデザインする(3) プレゼンテーション		14 グループ毎にプレゼンテーションを実施する 予復修課題：他グループプレゼンテーションについての感想をまとめる(レポート)				
まとめのレポートと振り返り		15 予復修課題：9～14回の学修内容を再確認する				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		健康の科学 Health Science			単位数	授業内容*	
担当者		後藤 太郎 (GOTO Taro)			2	1 授業の進め方、講義内容、評価方法について説明する。 セルフモニタリング実施。 予復修課題： KJ法を調べておく。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			EEE1102	2 「健康とは何か」、状態、構造、価値について3つの観点から説明する。 グループディスカッションを行い発表する。 予復修課題： 健康とは何か、自分なりの意見を纏めておく。	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	3 「ストレス」について、ストレスと健康の関係について説明する。 グループディスカッションを行い発表する。 予復修課題： 自分のストレスについて、原因を考えておく。	
配当年次	1-2年生	開講学期	後期			4 「生活習慣病」について解説する。 グループディスカッションを行い発表する。発表する。 予復修課題： 生活習慣病を調べておく。	
授業概要	本授業は、生き生きとしたライフスタイルを構築するため、理論と実践方法を学修する。 ①健康に関する考え方を学び、自らの日常生活を見直す。 ②グループディスカッションを通して仲間とのコミュニケーションから信頼関係をつくる。 ③健康に関する基礎的な情報を解説する。						5 「運動と健康」の関係について説明する。 グループディスカッションを行い発表する。 予復修課題： 自宅でもできる運動を調べておく。
授業到達目標	①自分の日常生活プランを立てることができるようになる。 ②健康に必要な運動方法と理論を理解する。 ③グループワークに積極的に参加できるようになる。 ④発表能力を高める。						6 「休養」について説明する。 グループディスカッションを行い発表する。 予復修課題： アクティブレストについて調べておくこと。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[◎特に関係する ○関係する]							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						7 実技「筋力トレーニング」。トレーニング室にて簡単にできるトレーニング行う。 (フィットネス場) 予復修課題： 可逆性の原則について調べておくこと。	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						8 小テスト(まとめのテスト) これまでの内容について確認のテストを行う。 予復修課題： 講義内容について確認する。	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					◎	9 「喫煙・飲酒・薬物乱用と健康」について解説する。 グループディスカッションを行い発表する。 予復修課題： 一気飲みがなぜダメなのか調べておく。	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 毎回の授業後、授業内容を復修する。 2) 事前にスケジュール内容を予修する。 3) 欠席の場合は教員に連絡、報告すること。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		15 %					
3. 課題レポートなどの提出物		15 %					
4. 授業中の発表、討論		15 %					
5. 授業への参加意欲		15 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめテスト		40 %	・グループディスカッション(KJ法)				
2. 論文、まとめレポートなど		%	・実技を行う。(8回目、13回目)				
3.		%					
再評価の実施	する	しない	○				
教科書							
参考書							
						15 授業を振り返り、今後のライフスタイルについて考える機会をつくる。 予復修課題： これまでの授業内容を確認する。	

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	職業とコミュニケーション Career Development and Communication			単位数	授業内容*	
担当者	辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)		ほか	1	専任	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEF1201		
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	
配当年次	1年生	開講学期	後期	経済・経営学科		
授業概要	本講義では、経済学部で2年次から学ぶ、6領域の職業(アウトカム)とコミュニケーションについて、理解を深める。さらに、各自が将来の進路を意識し主体的に学習するための基礎的な知識や技能を習得することを目標とする。			3	生活経済領域とコミュニケーション 領域に必要なコミュニケーション(能力等)について学習する 予復修課題: 生活経済分野の必要なコミュニケーションについてまとめておく。(所要時間120分)	
授業到達目標	各領域の職業(アウトカム)について理解できる 各領域のコミュニケーションの重要性について理解できる 主体的に学習する意識や姿勢を身につけることができる			4	金融・会計領域と職業 領域に関する資格や職業(アウトカム)について学習する 予復修課題: 金融・会計分野の職業についてまとめておく。(所要時間120分)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				5	金融・会計領域とコミュニケーション 領域に必要なコミュニケーション(能力等)について学習する 予復修課題: 金融・会計分野の必要なコミュニケーションについてまとめておく。(所要時間120分)	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				6	公共マネジメント領域と職業 領域に関する資格や職業(アウトカム)について学習する 予復修課題: 公共マネジメント分野の職業についてまとめておく。(所要時間120分)	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				7	公共マネジメント領域とコミュニケーション 領域に必要なコミュニケーション(能力等)について学習する 予復修課題: 公共マネジメント分野の必要なコミュニケーションについてまとめておく。(所要時間120分)	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				8	地域貢献活動 全体授業にて地域の清掃活動を行う。 予復修課題: 学校周辺の道路や主要施設・店舗等を調べておく。	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎授業の前後に、120分の予復修をすることが望ましい。			
1. 小テスト、感想文など		30 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		60 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	本授業15回のうち、担任が個別教室で実施する授業が7回ある。その7回の授業では			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	すべてアクティブ・ラーニングを念頭に置いた			
3.		%	授業を行う。			
再評価の実施	する	しない				
教科書	「スタディスキルズ・トレーニング」吉原・間瀬・富江・小針(実教出版)					
参考書	業界地図、東洋経済新報社					
				11	ビジネス実務領域と職業 領域に関する資格や職業(アウトカム)について学習する 予復修課題: ビジネス実務分野の職業についてまとめておく。(所要時間120分)	
				12	ビジネス実務領域とコミュニケーション 領域に必要なコミュニケーション(能力等)について学習する 予復修課題: ビジネス実務分野の必要なコミュニケーションについてまとめておく。(所要時間120分)	
				13	経営管理領域と職業 領域に関する資格や職業(アウトカム)について学習する 予復修課題: 経営管理分野の職業についてまとめておく。(所要時間120分)	
				14	経営管理領域とコミュニケーション 領域に必要なコミュニケーション(能力等)について学習する 予復修課題: 経営管理分野の必要なコミュニケーションについてまとめておく。(所要時間120分)	
				15	職業とコミュニケーションに関する自己分析とまとめ 自己分析の結果を踏まえ自己の適性を把握し授業の振り返りと総括を行う。 予復修課題: 将来の進路について、各自で考える。(所要時間120分)	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業とコミュニケーション 再履修用 Career Development and Communication		単位数	授業内容**		
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo) 三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)		1	1	職業とコミュニケーションの必要性和授業の進め方について 予復修課題： 時間割を組む 目安時間:120分	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2	職業とコミュニケーションの内容の紹介 予復修課題： 時間割の確認、プロフィールの作成 目安時間:120分	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部		
配当年次	2-3年生	開講学期	後期	経済・経営学科			
授業概要	4年間で卒業するために、そして進路を考えて時間割を組みます。 就職に必要な資格について考えましょう。 同時に、これから経済を学ぶにあたり、興味の持てる経済のテーマを見つけましょう。						
	1) 卒業までの学習活動を計画することができる。 2) 自己分析をしっかり行い、卒業後に備えることができる。						
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				7	興味のある企業・業界研究 予復修課題： どのような理由で興味があるのか、関心あるのかを考えておく 目安時間:120分
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業は、一番出席を重視します。6回以上欠席の場合は失格とします。 授業および予修・復修に積極的に取り組む姿勢を高く評価します。			8	興味のある企業・業界研究 予復修課題： どのような理由で興味があるのか、関心あるのかを考えておく 目安時間:120分
1. 小テスト、感想文など		%				9	学生研究報告会 予復修課題： 配布資料を読んでおくこと 目安時間:120分
2. 中間テスト		%				10	学生研究報告会 予復修課題： 配布資料を読んでおくこと 目安時間:120分
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				11	学生研究報告会 予復修課題： 配布資料を読んでおくこと 目安時間:120分
4. 授業中の発表、討論		10 %				12	興味のある企業・業界研究 予復修課題： どのような理由で興味があるのか、関心あるのかを考えておく 目安時間:120分
5. 授業への参加意欲		60 %				13	興味のある企業・業界研究 予復修課題： どのような理由で興味があるのか、関心あるのかを考えておく 目安時間:120分
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%				14	興味のある企業・業界研究 予復修課題： どのような理由で興味があるのか、関心あるのかを考えておく 目安時間:120分
7.		%				15	まとめ 予復修課題： 春休みの過ごし方を考えておく 目安時間:120分
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	発表、課題レポート (2~14回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	詳細は最初の授業時に別紙 (シラバスの補足) を配布して説明				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	職業とコミュニケーション Career Development and Communication			単位数	授業内容*	
担当者	大和 裕美子(YAMATO Yumiko)		西山 巨章(NISHIYAMA Hiroaki)	1	1 ガイダンス 学部長講話。講義概要および受講上の注意、評価方法に関する説明を行なう。 予復修課題：シラバスに目を通しておく。	
実務経験のある教員による授業	ほか		ナンパリング	専任	2 講話 さまざまな分野、業種で活躍している講師の講話を聴く。 予復修課題：講話の内容をレポートにまとめる。	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	ERF1201 経済学部 地域創造学科	
配当年次	1年生	開講学期	後期		3 講話 さまざまな分野、業種で活躍している講師の講話を聴く。 予復修課題：講話の内容をレポートにまとめる。	
授業概要	本授業では、これまでの自分の生き方を客観的に振り返りながら、自分らしい生き方や働き方について考え、みずからの課題を発見し、目標を立てることをめざす。 また、他者の意見や考えに耳を傾け、自分の意見や考えを論理的に表現するスキルを修得し、コミュニケーション能力を養いながら、社会や他者とのつながりのなかで生きていくための基礎的な知識や考え方、スキルを身につけることを目標とする。					
授業到達目標	社会での生き方や働くことの意義が理解できる。 これまでの自分の生き方を客観的に振り返ることができる。 自分らしい生き方や働き方について考え、課題を発見し、目標を立てることができる。 他者の意見や考えを聴くことができる。 自分の意見や考えを論理的に伝えることができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・予復修で60分の学修を目安とすること。 ・授業形態は合同とクラス別である。			
1. 小テスト、感想文など		40 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		30 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	・レポート(第2回、3回、10回、15回)			
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	・グループワーク(第6回、12回)			
3.		%	・シャトルフォルダーの作成			
再評価の実施	する	しない				
教科書	とくに指定しない。適宜プリント、レジュメを配布する。					
参考書						
					4 面談 SNS、ハラスメント、犯罪などについて、知識を深める。 予復修課題：内容をレポートにまとめる。	
					5 面談 面談を受ける 予復修課題：面談で相談したいこと、話したいことをまとめておく。	
					6 グループディスカッション グループに分かれて提示されたテーマをディスカッションし発表する。 予復修課題：ディスカッションのテーマについて情報を収集し、自分の考え・意見をまとめておく。	
					7 講話 さまざまな分野、業種で活躍している講師の講話を聴く。 予復修課題：講話の内容をレポートにまとめる。	
					8 講話 さまざまな分野、業種で活躍している講師の講話を聴く。 予復修課題：講話の内容をレポートにまとめる。	
					9 講話 さまざまな分野、業種で活躍している講師の講話を聴く。 予復修課題：講話の内容をレポートにまとめる。	
					10 SPIについて SPIの問題を解く 予復修課題：SPIの問題を解いておく	
					11 学生研究報告会 学生研究報告会を聴く 予復修課題：報告会の内容をレポートにまとめる。	
					12 グループディスカッション グループに分かれて提示されたテーマをディスカッションし発表する。 予復修課題：ディスカッションのテーマについて情報を収集し、自分の考え・意見をまとめておく。	
					13 コースガイダンス、横断プログラムの説明 社会貢献コース、地域経済コース、企業マインド育成、グローバル人材育成プログラム。 予復修課題：2年次からのコース選択について考えておく。横断プログラムについて調べておく。	
					14 面談 面談を受ける 予復修課題：面談で相談したいこと、話したいことをまとめておく。	
					15 まとめと振り返り 本授業と1年次の大学生活を振り返る。 予復修課題：1年次の振り返りと2年次に向けての考えをまとめる。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		水井 雅彦 (MIZUI Masahiko)		ほか	専任 & 非常勤	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF2301・ERF2301・SSF2101		
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	2年生	開講学期	通年(後期)			
授業概要	この授業では、大学から社会へ出るための準備を行います。 受講者の個性を適性検査で再認識し、社会に貢献する方法を考える 本学先輩から就職活動に関する体験談を聴き、社会に出るための情報を整理します インターンシップや企業訪問に関するマナーや知識を身につけます 就職試験を想定し、数学基礎に関する演習を実施します					
	受講者が自身の将来像を描き、自己分析から自分自身を知る 社会に関心を持ち、採用活動に関わる情報を取得できる 採用活動に関するスケジュールを理解し、現在、どんな活動ができるか理解する 採用試験で問われる数学の実力を理解し、一般的な正答率まで引き上げる					
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	後期15回の講義を行います。 この科目は大学から社会に出るための準備を念頭に進めます。そこで、社会と同様に遅刻と欠席に対して厳しく採点します。 性格診断を基に、自己分析を体験します。 自身の長所・短所の理解などから進めます。 まずは全国平均を目標に、数学力を高めます。 予復修課題取組時間：1時間程度			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	SPI演習 [第2・4・7・9回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	SPI模擬試験 [第14回]			
3.		%	就職総合適性検査 [第3回]			
再評価の実施	する	しない	講演と情報共有 [第5・6・7・8・10・12回]			
教科書	「1日10分」から始めるSPI基礎(大和書房)					
参考書	適時プリントを配付する。					
1	ガイダンス・就職登録表などの記入・採用活動のスケジュール【全体】 講義内容や注意点、キャリア支援課からの情報提供、採用活動の流れを説明する。 予復修課題：					
2	キャリアデザインとは、SPI演習(割合) 各クラスにて、キャリアデザインの必要性や受講者の将来像を模索する。 予復修課題：復修：理想の10年後を想定し、今できることを考える					
3	就職総合適性検査【全体】 自己分析に必要な受講者の個性を再確認するため、性格診断試験を実施する。 予復修課題：復修：試験で解けなかった、また、難しいと感じた数学・言語の問題把握					
4	社会人基礎力とは、SPI演習(濃度) 社会人基礎力の説明から、社会で求められる能力について再認識する。 予復修課題：復修：受講者が得意とする能力を再確認し、どんな社会貢献が可能か考える					
5	社会人講話：北九州男女参画センター・ムーブ【全体】 「働く」をキーワードに、仕事の遣り甲斐や労働環境について考える。 予復修課題：復修：「働く意義」を再確認する					
6	先輩の職業体験談【全体・分散】 本学4年生の内定獲得までの体験談を、講演とディスカッションで共有する。 予復修課題：復修：2年・3年・4年と、特定の時期にしかできない活動を確認					
7	自己分析1(就職総合適性検査の活用)、SPI演習(商い) 性格診断試験の結果から、受講者の性格を再認識する。 予復修課題：復修：数学・言語問題の得点を把握し、得点向上のための学習計画をたてる					
8	OB・OG講演会【全体・分散】 本学の卒業生で社会で活躍する先輩から、受講生へのメッセージを講演する。 予復修課題：復修：改めて「将来像」を描き、文章で具体化する					
9	自己分析2(学修ポートフォリオ)、SPI演習(速さ) 第7回を振り返りながら、大学の「学び」をポートフォリオへ落とし込む。 予復修課題：復修：ポートフォリオを充実させる					
10	業界研究・マナー講座【全体】 11回に実施する学内業界研究会へ向け、その意義とマナーについて講義する。 予復修課題：復修：就活マナーを認識し、興味のある業界の情報検索を行う					
11	学内業界研究会【全体】 企業の会社概要や採用情報を受講する。勤務条件や仕事の特色などに注目する。 予復修課題：復修：メモした説明内容を整理する					
12	インターンシップ体験談【全体・分散】 インターンシップの説明と、本学の参加者体験談を聴く。 予復修課題：復修：1～3月に開催されるインターンの情報を集め参加計画を作る					
13	SPI講座1 割合、濃度、商い、の振り返り 予復修課題：復修：演習問題の復修と、問題集による自習を行う。					
14	SPI講座2・基礎力試験 速さ、の振り返り 基礎力試験(20問40分) 予復修課題：予修：学習内容を復修し、SPI模擬試験を実施					
15	まとめ・3年生に向けて 採用活動のタイムスケジュールを再確認し、インターンへの参加を検討する。 予復修課題：復修：1～3月に開催されるインターンへの参加準備					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 再履修用 Career Design				単位数	授業内容*	
担当者	園田 裕虎 (SONODA Hirotora)				1	1 ガイダンス： キャリアデザインとは 再授業を受けるにあたっての抱負など 講義ガイダンスと、2年生の後期に取り組むべきことは何か 予復修課題： 復修：受講するうえでの注意事項をまとめる。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				2	2 夏休みの振り返り：自己紹介と夏休みの体験から得たことの2分間スピーチ 予復修課題： 復修：夏休みの反省とスピーチの改善点を文書化する。	
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰｯ学部共通	3	3 コミュニケーショントレーニング： エントリーシートの課題に対するグループディスカッション 予復修課題： 復修：エントリーシートの課題から企業が何を求めているか考え、文書化する。
配当年次	3-4年生	開講学期	通年			4	4 コミュニケーショントレーニング： エントリーシートの課題に対するグループディスカッションのまとめ 予復修課題： 復修：今、自分が何をしなければならないかを文書化する。
授業概要	この授業では、社会を理解し、職業人としての意識付けを明確にするために、仕事・就職を中心に将来の自分の姿を思い描き、社会人としての満足について説明します。また、グループワークに取り組み、プレゼンテーション能力の向上を目指します。自分の職業に対する適性について詳しく分析する就職活動へ向けた準備を進めます。さらに、インターンシップへの参加の準備も支援します。					5	5 職業研究：興味のある「もの・こと」について振り返る 予復修課題： 過去なりたかった仕事と現在希望している職業についてまとめてみる。
	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができるようになる。 2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。 3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。 4) 働く意味の認識でき、将来計画を立てる能力を身に付けることができる。 5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。					6	6 職種と業種について 予復修課題： 復修：わかったことをまとめてみて、再度希望する職業について考えまとめる。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7	7 職業研究：インターネットなどを用いて、興味のある職業・企業(職場)を検索し、ワークシートに情報をまとめる。 予復修課題： 予修：調べてみたい職業と企業(職場)を決めておく。
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					8	8 職業研究：ワークシートを基に、2分間スピーチを行う 予復修課題： 予修：ワークシートを整理しておく。
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					9	9 自己分析：半年間で自分はどう変わったか、振り返り 予復修課題： 予修：キャリアポートフォリオ等をまとめておく。
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					10	10 自己分析：半年間で自分はどう変わったか、振り返りのスピーチ 予復修課題： 復修：他の人スピーチから得られたことをまとめ、文書化する。
	成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			11	11 コミュニケーショントレーニング：題材は各クラスで設定 予復修課題： 予修：何を題材にするか下調べしておく。
	1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。			12	12 コミュニケーショントレーニング：題材は各クラスで設定 予復修課題： 予修：各クラスで適宜提示。(追加の調べなど)
	1. 小テスト、感想文など	%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。			13	13 自己分析：自分が影響を受けた人物についてのワーク 予復修課題： 復修：得たこと、及び今、自分が何をしなければならないかを文書化する。
	2. 中間テスト	%	3) 受講者の人数などを考慮して、座席指定を行う場合がある。			14	14 自己分析：自分が影響を受けた人物についてのワーク 予復修課題： 自分が影響を受けた人物について振り返っておく
	3. 課題レポートなどの提出物	50 %	4) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。			15	15 キャリアデザイン <再履修クラス>のまとめ 予復修課題： 予修：キャリアデザイン <再履修クラス>の内容を整理し、振り返る。
	4. 授業中の発表、討論	10 %	アクティブ・ラーニング				
	5. 授業への参加意欲	20 %	・課題解決型学習[第1,5,7,8,10,13,14,15回]				
	6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %	・グループディスカッション[第3,4,12,13回]				
	7.	%	・プレゼンテーション[第2,9,11,回]				
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	適宜プリントなどを配付する。						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		インターンシップ (企業研修)		単位数	授業内容*	
担当者		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)		2	1 インターンシップについて考え、インターンシップで「何を学び、何を得るのか」について理解を深める 予復修課題： インターンシップとアルバイトの違いを考えておく	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		専任	2 事前研修 1 自己紹介書の書き方について理解する 予復修課題： 自身の特徴を詳しく書き出しておく	
授業形式		実習	科目区分	総合共通科目	3 事前研修 2 行動様式やマナーについて理解する 予復修課題： 自身の言葉遣いの長所短所を書き出しておく	
配当年次		2年生	開講学期	集中	4 事前研修 3 実習先別にガイダンスを行い、インターンシップ先の業務を理解する 予復修課題： 実習先の情報を収集しておく	
履修学部		経済学部・スポーツ学部共通		5 職場体験 1 (実習先での活動①) インターンシップ先における課題を見つけ、解決策を考える① 予復修課題： 当日の実習内容の振り返りを行う		
授業概要		本授業は、夏期(冬期・春期)期間中の3日～7日程度、希望する企業・事業所等で就業体験(インターンシップ)を行います。期間は実習先によって異なります。単にインターンシップに参加することが目的ではなく、就業体験を通じて働くことを軸とした価値形成を育み、大学在籍中に自らの将来の人生設計(キャリア開発)を描くための気づきを得ます。				
授業到達目標		①就業体験を通じて、実社会の経済活動がどのように動いているのか実態を把握する。 ②社会人として基本的なマナー、態度、スキル、知識を身につけることができる。 ③卒業後のキャリアについて「仕事」「働く」ことを具体的に検討することができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】		キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				○
【思考力・判断力・表現力】		本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				◎
【主体性・協働性】		自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				◎
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	現在、就職活動のスケジュールが大きく変化しており、2年生でインターンシップに行くことは、決して珍しいことではありません。実際に企業に行くことに不安を感じるかもしれませんが、皆さんがインターンシップ先で戸惑うことなく実習できるように、事前研修を行いますので、ぜひチャレンジしてみてください。 ※予復修課題の取組時間：約30分程度			
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	第5回～12回 職場体験			
2. 論文、まとめのレポートなど		25 %	第15回 活動報告会			
3.		%				
再評価の実施		する	しない	○		
教科書		大学指定のインターンシップ研修冊子を用いる。				
参考書						
		15 活動報告会 予復修課題： 自身の成長点を振り返っておく				

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スキルアップ講座B【TOEIC】 Upskilling Course B (Preparation for the TOEIC Test I)		単位数	授業内容*	
担当者		永末 温子 (NAGASUE Haruko) 高本 孝子 (TAKAMOTO Takako)		1	1 プレイメントテスト イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			2 Unit 1 Traveling 人物写真、動詞(自動詞・他動詞) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 1の練習問題を解いておく 復修:Unit 1の練習問題の見直し	
授業形式		科目区分 総合共通科目		履修学部	EEF2101・ERF2101・SSF2102	
配当年次		2-3年生		開講学期	前期	
授業概要		TOEICのスコアは就職活動時に利するのみならず、社会人としての様々な場面でのキャリア形成にも非常に有効です。本科目では、TOEIC 初級・中級者向けに、試験の特色を把握し、各パートの問題形式に慣れるため、重要な文法事項・語彙・語句で構成された比較的易しい問題を使って、実践的な受験対策を行います。また、学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestとTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。				
授業到達目標		学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestおよびTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。TOEIC Listening & Reading IP Testでは400点程度のスコア獲得を目標とする。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1)受講者は学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestおよびTOEIC Listening & Reading IP Testを受験する必要があります。		
1. 小テスト、感想文など		%		2)授業には教科書と辞書を持参すること。		
2. 中間テスト		%		3)授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。		
3. 課題レポートなどの提出物		%		4)第1回目の授業でプレイメントテストを行い、習熟度に応じたクラス編成を行います。		
4. 授業中の発表、討論		%		アクティブ・ラーニング		
5. 授業への参加意欲		%		事前学習型授業[第2~7回、第9~13回]		
6. 自主的学習(予習・復習など)		%		TOEIC IP Test受験[第8回、第14回]		
7. 1から6を総合して		40 %				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		60 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施		する		しない		
教科書		プレイメントテスト以降にクラス編成とともに掲示します。各自確認して購入してください。				
参考書		『Lightning Up the TOEIC Test』、『Score Booster for the TOEIC L&R Test Beginner』				
				11 Unit 10 Making Deals & Contracts 言い換え表現、動名詞とto不定詞の違い 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 10の練習問題を解いておく 復修:Unit 10の練習問題の見直し		
				12 Unit 11 Public Service 効率的な選択肢の幅の狭め方、付加疑問文、接続詞 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 11の練習問題を解いておく 復修:Unit 11の練習問題の見直し		
				13 Unit 12 Banking & Finance 物が主語になる場合、副詞と形容詞 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit12の練習問題を解いておく 復修:Unit 12の練習問題の見直し		
				14 TOEIC Listening & Reading IP Test 予復修課題: 予修:TOEIC Listening & Reading IP Testの準備 復修:テスト後の確認		
				15 総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第13回目までの授業で学んだ教科書の練習問題の総合的な振り返り		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スキルアップ講座C【TOEIC】 Upskilling Course C (Preparation for the TOEIC Test II)		単位数	授業内容*	
担当者	永末 温子 (NAGASUE Haruko)	ほか		1	専任	1 プレイメントテスト イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF2201・ERF2201・SSF2201		2 Unit L-1/Unit R-1 Part(1)人物が写っている写真、Part(5)品詞(名詞・形容詞) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit L-1,R-1の練習問題を解いておく 復修:Unit L-1,R-1の練習問題の見直し
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	2-3年生	開講学期	後期			
授業概要	本科目では、スキルアップ講座Bに続き、TOEIC初級・中級者が各パートに必要な英語力をさらに高めるため、頻出する語彙・語句や文法知識を身につけるとともに、問題に対してより早く正確に解答するコツを身につける実践的な受験対策を行います。また、学内で実施されるTOEIC Bridge IP Testと TOEIC Listening & Reading Testの受験を目指します。					3 Unit L-2/Unit R-2 Part(1)人物が写っていない写真、Part(5)品詞(動詞・副詞) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit L-2,R-2の練習問題を解いておく 復修:Unit L-2,R-2の練習問題の見直し
授業到達目標	学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestおよびTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式にさらに慣れる。授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。TOEIC Listening & Reading IP Testでは450点程度のスコア獲得を目標とする。					4 Unit L-3/ Unit R-3 Part(2)疑問文で始まる疑問文、Part(5)代名詞・動詞の形 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit L-3, R-3の練習問題を解いておく 復修:Unit L-3,R-3の練習問題の見直し
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)受講者は学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestおよびTOEIC Listening & Reading IP Testを受験する必要があります。			
1. 小テスト、感想文など		%	2)授業には教科書と辞書を持参すること。			
2. 中間テスト		%	3)授業の予修・復修には、毎回一時間以上はかけること。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	4)第1回目の授業でプレイメントテストを行い、習熟度に応じたクラス編成を行います。			
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 1から6を総合して		40 %				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業[第2~7回、第9~13回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	TOEIC IP Test受験[第8回、第14回]			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	プレイメントテスト以降にクラス編成とともに掲示します。各自確認して購入してください。					
参考書	『Key Strategies for Success on the TOEIC L&R Test Level 400』他					
				11		Unit L-9/Unit R-9 Part(3)会話問題(トピック・目的・依頼) Part7(Eメール) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit 9の練習問題を解いておく 復修:Unit 9の練習問題の見直し
				12		Unit L-10&11/ Unit R-10&11 Part4説明文問題(アナウンス)、Part7(手紙、告知) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit L 10&11 R10&11の練習問題を解いておく 復修:Unit L10&11,R10&11の練習問題の見直し
				13		Unit L-12/ Unit R-12 Part4説明文問題(グラフィック)、Part7(ダブルメッセージ) 文法説明、練習問題の解答・解説、リスニング 予復修課題: 予修:教科書Unit L-12,R-12の練習問題を解いておく 復修:Unit L12,R-12の練習問題の見直し
				14		TOEIC Listening & Reading IP Test 予復修課題: 予修:TOEIC Listening & Reading IP Testの準備 復修:テスト後の確認
				15		総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第13回目までの授業で学んだ教科書の練習問題の総合的な振り返り

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級日本語 A【前半15回分】 Elementary Japanese Language A		単位数	授業内容*	
担当者		沙 秀程 (SHA Xiu Cheng) 巢山 優希 (SUYAMA Yuki)		2	1 オリエンテーション(授業内容、授業の進め方説明など)、発音を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEG1101	2 発音を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	3 自己紹介を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期	経済学部	4 他人紹介を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
授業概要	発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。					5 「これ、それ、あれ、どれ、だれ」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
授業到達目標	1. 自己紹介ができる。 2. 日常的な挨拶ができる。 3. 簡単な文章を読むことができる。					6 「ここ、そこ、あそこ、どこ」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修をして授業に臨んでください。 (予復修時間: 1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		20 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		40 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	『みんなの日本語初級 本冊』 スリーエーネットワーク出版					15 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
参考書	『みんなの日本語初級 練習C・会話』 / 『みんなの日本語初級 やさしい作文』					まとめ(第1課~第12課まで)

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級日本語 A【後半15回分】 Elementary Japanese Language A		単位数	授業内容*	
担当者		沙 秀程 (SHA Xiu Cheng) 巢山 優希 (SUYAMA Yuki)		2	1 「～たい、～ほしい」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2	2 「～てください、～ましょうか」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
授業形式		演習		科目区分		留学生特別科目
配当年次		1年生		開講学期		前期/後期
履修学部		経済学部		3		「～でもいいです、～はいけません」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
授業概要		発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。				
授業到達目標		1. 自己紹介ができる。 2. 日常的な挨拶ができる。 3. 簡単な文章を読むことができる。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修をして授業に臨んでください。 (予復修時間：1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		20 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		40 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		『みんなの日本語初級 本冊』 スリーエーネットワーク出版				
参考書		『みんなの日本語初級 練習C・会話』 / 『みんなの日本語初級 やさしい作文』				
11		「(動詞) + とき、(動詞) + と」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。				
12		「あげます、くれます、もらいます」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。				
13		「～てあげます、～てくれます、～てもらいます」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。				
14		「～たら、～ても」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。				
15		まとめ(第13課～第25課まで) 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級日本語 B【前半15回分】 Elementary Japanese Language B			単位数	授業内容*	
担当者		沙 秀程 (SHA Xiu Cheng)			2	1 オリエンテーション(授業内容、授業の進め方説明など)、発音を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 発音を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
授業形式		演習	科目区分	留学生特別科目	EEG1102		
配当年次		1年生	開講学期	前期/後期	履修学部	経済学部	
授業概要		発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。					3 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
授業到達目標		1. 自己紹介ができる。 2. 日常的な挨拶ができる。 3. 簡単な文章を読むことができる。					4 他人紹介を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5 「これ、それ、あれ、どれ、だれ」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
【知識・技能】		キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					6 「ここ、そこ、あそこ、どこ」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
【思考力・判断力・表現力】		本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					7 時刻、時間、「から～まで」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
【主体性・協働性】		自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					8 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					9 「～へ行きます、来ます」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修をして授業に臨んでください。 (予復修時間: 1時間程度)			10 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
1. 小テスト、感想文など		10 %				11 「～ませんか、ましようか」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
2. 中間テスト		20 %				12 「～に～があります、います」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
3. 課題レポートなどの提出物		%				13 「暖かいですか(イ形容詞)」を練習する。 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
4. 授業中の発表、討論		10 %				14 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
5. 授業への参加意欲		10 %				15 予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				まとめ(第1課～第12課まで)	
7.		%				予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
2. 論文、まとめのレポートなど		%				予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
3.		%				予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
再評価の実施		する	しない			予復修課題: 新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。	
教科書		『みんなの日本語初級 本冊』 スリーエーネットワーク出版					
参考書		『みんなの日本語初級 練習C・会話』 / 『みんなの日本語初級 やさしい作文』					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級日本語 B【後半15回分】 Elementary Japanese Language B		単位数	授業内容*	
担当者	沙 秀程 (SHA Xiu Cheng)			2		1 「～がほしい、助詞の整理」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			2	2 「～てください、～ましょうか」を練習する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部		3
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期	経済学部		4
授業概要	発音から学ぶ初級レベルの授業で、言語知識を勉強しながら会話力を少しずつ身につける。日常生活に必要な文法知識と基礎会話を習得する。メインの教科書のほかに、生の会話や文化的なものを教材として活用する。					5
授業到達目標	1. 自己紹介ができる。 2. 日常的な挨拶ができる。 3. 簡単な文章を読むことができる。					6
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修をして授業に臨んでください。 (予復修時間：1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		20 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		40 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	『みんなの日本語初級 本冊』 スリーエーネットワーク出版					15
参考書	『みんなの日本語初級 練習C・会話』 / 『みんなの日本語初級 やさしい作文』					予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚え、習った文型の応用練習問題を解く。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 C【前半15回分】 Elementary Japanese Language C			単位数	授業内容*		
担当者	井料 佐紀子 (IRYOU Sakiko)			2	1	授業の進め方の説明、自己紹介。日常に必要な数字、値段の言い方について学習する。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			非常勤講師	2	授業の進め方の説明、自己紹介。日常に必要な数字、値段の言い方について学習する。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	3	週末にした/したことについて話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期	経済学部	4	週末にした/したことについて話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
授業概要	初級レベルの文型・表現・語句を自分のものにし、運用力を高めることを目指す。 買い物などの日常会話や自分自身についての説明の練習を行う。 また、聴解教材を用いて、まとまった会話が聞き取れるようにする。				5	人物について説明する。(外見、性格) 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
授業到達目標	ゆっくりとしたスピードの日本人の会話を聞くことができる。 日常生活の場面において、簡単なやりとりができる。 簡単な言葉で自分自身、人、場所、所有物などについて話すことや書くことができる。 日本での生活に必要な文化、習慣を理解することができる。				6	人物について説明する。(外見、性格) 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					7	日本でしたいことについて話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					8	日本でしたいことについて話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					9	旅行などの経験について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業の復修と宿題をきちんとやってください。 (予復修時間：1時間程度)				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書						11	自分の国・街について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
参考書	『WEEKLY J for Starters1』凡人社 / 『毎日の聞き取り50日初級編新装版』凡人社					12	自分の国・街について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						13	好きなもの・場所等について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						14	好きなもの・場所等について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						15	習慣について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 C【後半15回分】 Elementary Japanese Language C				単位数	授業内容*	
担当者	井料 佐紀子 (IRYOU Sakiko)				2	1	習慣について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEG1103				非常勤講師	2	プレゼントについて話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3	プレゼントについて話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4	食べ物について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
授業概要	初級レベルの文型・表現・語句を自分のものにし、運用力を高めることを目指す。 買い物などの日常会話や自分自身についての説明の練習を行う。 また、聴解教材を用いて、まとまった会話が聞き取れるようにする。					5	食べ物について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
授業到達目標	ゆっくりとしたスピードの日本人の会話を聞くことができる。 日常生活の場面において、簡単なやりとりができる。 簡単な言葉で自分自身、人、場所、所有物などについて話すことや書くことができる。 日本での生活に必要な文化、習慣を理解することができる。					6	悩み相談・アドバイスをする。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						7	悩み相談・アドバイスをする。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						8	病気・体調に関わる語を学ぶ。健康法について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						9	病気・体調に関わる語を学ぶ。健康法について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業の復修と宿題をきちんとやってください。 (予復修時間：1時間程度)				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		40 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	『WEEKLY J for Starters1』 凡人社 / 『毎日の聞き取り50日初級編新装版』 凡人社						
						11	住んでいる街について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						12	他人から聞いた話やニュースを伝える。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						13	他人から聞いた話やニュースを伝える。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						14	まとめのテスト・自分の予定について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。
						15	まとめのテスト・自分の予定について話す。 予復修課題：授業の復修と宿題をきちんとする。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 I D 【前半 15 回分】 Elementary Japanese Language D				単位数	授業内容*		
担当者	沈 若冰 (SHEN Ruobing)				2	1	授業内容及び進め方の説明；初対面の挨拶方法と作法の説明、練習 予復修課題：50音図の復修	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2	新出語彙の説明と練習。「自己紹介」、「他人紹介」の文型導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3	「物の名前」、「疑問文」の文型導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4	「～はどこですか」、「数字」、「買い物」の文型導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
授業概要	初級日本語 I D は発音からスタートする初心者向けの入門コースである。メイン教科書の内容に従って、「基礎発音、単語、文型」という流れに沿いながら基本文型の繰り返し練習と学生の発話訓練に重点を置く。日本語の基礎文法をしっかりと身に付け、日常生活に必要なコミュニケーション能力を育てる。						5	「時刻」、「電話番号」、「数字」の言い方の導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
授業到達目標	1. 日常的な挨拶と簡単な会話ができる。 2. 簡単な短文が読める。 3. 簡単な作文が書ける。						6	「期間」、「曜日」の表現の導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。								
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。								
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、予修と復修をきちんとしてください。平素の小テスト、授業への参加意欲を重視し、欠席回数に応じて減点する。(予復修時間：1時間程度)					
1. 小テスト、感想文など		20 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50 %	グループワーク1回：第15回					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	小テスト2回：第7、12回					
3.		%	他にも授業中は積極的にペアワークを行う					
再評価の実施	する	しない						
教科書	平井悦子ほか著 『みんなの日本語初級』第2版 スリーエーネットワーク 2012年出版							
参考書	平井悦子ほか著 『みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳』スリーエーネットワーク出版							
						11	「上手下手」、「好き嫌い」、「～から、～」の表現の導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
						12	「あります」「います」文型の導入と練習、小テスト 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
						13	助数詞及び関連文型の導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
						14	形容詞や名詞文の過去形、比較表現の導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読	
						15	グループワーク(課題を与えグループごとに発表)、テスト 予復修課題：資料準備、練習、第1-12課の復修	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 I D 【後半 15 回分】 Elementary Japanese Language D				単位数	授業内容*	
担当者	沈 若冰 (SHEN Ruobing)				2	1	助詞「に」を使った文型の導入と練習、「～がほしい」、「たい」の練習、会話の練習 予復修課題：50音図の復修
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				2	2	動詞のグループ分けの説明と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3	「～てください、～ましょうか、～ています」の練習、会話の練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4	「～てもいいです、～てはいけません」の練習、会話の練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
授業概要	初級日本語 I D は発音からスタートする初心者向けの入門コースである。メイン教科書の内容に従って、「基礎発音、単語、文型」という流れに沿いながら基本文型の繰り返し練習と学生の発話訓練に重点を置く。日本語の基礎文法をしっかりと身に付け、日常生活に必要なコミュニケーション能力を育てる。					5	[(動詞・形容詞) + て、～は～が] の練習、会話の練習、小テスト 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
授業到達目標	1. 日常的な挨拶と簡単な会話ができる。 2. 簡単な短文が読める。 3. 簡単な作文が書ける。					6	「(動詞) ない形」の導入と練習 予復修課題：新出語彙の意味を調べ、基本文型を音読
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、予修と復修をきちんとしてください。平素の小テスト、授業への参加意欲を重視し、欠席回数に応じて減点する。(予復修時間：1時間程度)				
1. 小テスト、感想文など		20 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50 %	グループワーク1回：第14回				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	小テスト2回：第5、9回				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	平井悦子ほか著 『みんなの日本語初級』第2版 スリーエーネットワーク 2012年出版						
参考書	平井悦子ほか著 『みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳』スリーエーネットワーク出版						
						15	予復修課題：第13～25課の語彙と文型を復修

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 E【前半15回分】 Elementary Japanese Language E				単位数	授業内容*
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)				専任	1 発音(1)を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEG1105				2	2 発音(2)を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3 発音(3)を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4 発音(4)を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
授業概要	初級日本語IEは聴力をメインとする初心者向けの入門コースである。教科書『日本語聴力第二版学生用入門編』(中国華東師範大学出版社)の内容に沿って「基礎発音、単語、文型」というふうにならぬ習っていく。また、本講義は、基礎発音を重要視する「初級日本語ID」の内容にも合わせ、重要単語や基本文型の繰り返し聴きに重点を置く。					5 「何番ですか」(数字)を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	1. 日常的な挨拶ができる。 2. ゆっくりした対話の内容をだいたい理解することができる。					6 「今何時ですか」(時刻)を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 「いくらですか」(数字)を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					8 「誕生日はいつ?」月日曜日を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					9 「あれはなんですか」(こ、そ、あ)を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					10 「お休みは何曜日?」を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			11 「木の下に犬がいます」(いる、ある)を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	毎回、予修と復修をきちんとしてください。 平素の小テスト、授業への参加意欲を重視し、欠席回数に応じて減点する。 (予復修時間：1時間程度)			12 「東京は人口が多い」形容詞を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	1. 小テスト、感想文など	40 %				13 「王さんの一日」(動詞)を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	2. 中間テスト	%				14 「何をしたか」動詞の過去形を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	3. 課題レポートなどの提出物	%				15 同時進行の表現を使った文型を学び、練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。
	4. 授業中の発表、討論	%				
	5. 授業への参加意欲	30 %				
	6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
	7.	%				
	2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
	1. まとめのテスト	30 %				
	2. 論文、まとめのレポートなど	%				
	3.	%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	沙 秀程主編『日本語聴力第二版学生用入門編』、華東師範大学出版社					
参考書	牧野昭子ほか著『みんなの日本語初級 聴解タスク25』スリーエーネットワーク出版					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 E【後半15回分】 Elementary Japanese Language E			単位数	授業内容*	
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)			2	専任	1 (選択、好き嫌い)を使った文型を学び練習する。 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 「値段を安くします」(形容詞+動詞の使い方)を学び、練習する。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEG1105		2 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 「今電話をかけています」(動詞の進行体)を説明する。
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部		3 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 「やっと帰ることができます」(できるの使い方)を説明する。
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期	経済学部		4 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 「歩いていきます」(動詞+動詞の使い方1)を学び、練習する。
授業概要	教科書『日本語聴力第二版学生用入門編』(華東師範大学版)の内容に沿って、基礎発音の聞き分けからスタートし、漸次基礎単語や挨拶表現も取り入れて聞き流しの練習を繰り返す。また、『みんなの日本語初級 聴解タスク25』を活用し、読解授業の進度に合わせての聴解も行い、少しずつ聴く力を育てていく。					5 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 「準備体操をしてから走ります」(動詞+動詞2)を説明する。
授業到達目標	1. 日常的な挨拶ができる。 2. ゆっくりした対話の内容をだいたい理解することができる。					6 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 「タバコを吸わないでください」(命令、禁止1)を使った文型を学び練習
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、予修と復修をきちんとしてください。平素の小テスト、授業への参加意欲を重視し、欠席回数に応じて減点する。(予復修時間：1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		40 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		30 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		30 %	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	沙 秀程主編『日本語聴力第二版学生用入門編』、華東師範大学出版社					15 予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。 (授受の表現2)を学び、練習する。
参考書	牧野昭子ほか著『みんなの日本語初級 聴解タスク25』スリーエーネットワーク出版					予復修課題：事前にプリントを配付、授業終了時に復修予修のポイントを示す。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 A【前半15回分】 Elementary Japanese Language A				単位数	授業内容*		
担当者	毛 瑩 (MOU Ei)				2	1	目標に近づくための意志的動作を表す文型の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2	目標に近づくための意志的動作を表す文型の練習をする。 予復修課題：習った文型の応用練習問題を解く	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3	受身動詞の作り方と、受身表現の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4	受身表現の使い方を練習をする。 予復修課題：習った文型の応用練習問題を解く	
授業概要	文の構造と意味・機能の総合的理解を目標に、新しい文型を導入し、状況に応じて運用できるようになる練習をする。文法とともに会話力を磨く。						5	名詞句の作り方を導入する。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える
授業到達目標	1. 物事をより詳しく説明できる。 2. 話者の気持ちをより細やかに伝えることができる。 3. 上記二つの表現を用いてコミュニケーションができる。						6	名詞句を主題とした感想、評価の述べ方の練習をする。 予復修課題：習った文型の応用練習問題を解く
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。								
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。								
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業後、毎回自宅学習用プリントを配付するので、必ず提出してください。 (予復修時間：1時間程度)					
1. 小テスト、感想文など		60 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書							11	人間関係による授受表現の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える
参考書	『みんなの日本語初級 本冊』スリーエーネットワーク出版						12	人間関係による授受表現の練習をする。 予復修課題：習った文型の応用練習問題を解く
							13	目的を表す文型の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える
							14	目的を表す文型の練習をする。 予復修課題：習った文型の応用練習問題を解く
							15	外観の様子からその状態や性質を推察する表現の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 A【後半15回分】 Elementary Japanese Language A				単位数	授業内容*		
担当者	毛 瑩 (MOU Ei)				2	1	外観の様子からその状態や性質を推察する表現の練習をする。 予復修課題：習った文型の練習問題を解く。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2	望ましくない状態、行為の難易度を表す文型の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える。	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3	望ましくない状態、行為の難易度を表す文型の練習をする。 予復修課題：習った文型の練習問題を解く。	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			4	ある事態への対処の仕方、不満の気持ちを述べる表現の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える。	
授業概要	文の構造と意味・機能の総合的理解を目標に、新しい文型を導入し、状況に応じて運用できるようになる練習をする。文法とともに会話力を磨く。						5	ある事態への対処の仕方、不満の気持ちを述べる表現の練習をする。 予復修課題：習った文型の練習問題を解く。
授業到達目標	1. 物事をより詳しく説明できる。 2. 話者の気持ちをより細やかに伝えることができる。 3. 上記二つの表現を用いてコミュニケーションができる。						6	時間的位置を表す「ところ」を使った文型の導入をする。 予復修課題：新出語彙の意味を調べて覚える。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。								
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。								
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業後、毎回自宅学習用プリントを配付するので、必ず提出してください。 (予復修時間：1時間程度)					
1. 小テスト、感想文など		60 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書	『みんなの日本語初級 本冊』スリーエーネットワーク出版							
						15	外観の様子からその状態や性質を推察する表現の導入をする。 予復修課題：習った文型の練習問題を解く。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 B【前半15回分】 Elementary Japanese Language B			単位数	授業内容*	
担当者	朱 風 (ZHU Feng)		ほか	2	専任	1 初めての富士登山(1)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEG1107		2 初めての富士登山(2)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	さまざまな日常生活の場面で自然な日本語を運用して、日本語能力試験N3レベルの語彙と文法項目を学習します。文法を駆使して、発音、文章を書く練習をします。					3 ぼくの犬、クロ(1)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
授業到達目標	1、日本語能力試験N3レベルの語彙と文法を使うことができる。 2、日本語能力試験N3レベルの発話ができる。 3、日本語能力試験N3レベルの作文を書くことができる。					4 ぼくの犬、クロ(2)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	2課ごとに復修テストをしますから、必ず受けてください。この結果を成績評価の60%とします。 予修・復修を励行してください。 (予復修時間:1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		60 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 作文		20 %				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特になし					11 5 手作りのハムのレシピ(1)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
参考書	『日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』 アスク出版					12 5 手作りのハムのレシピ(2)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
						13 6 里山について(1)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
						14 6 里山について(2)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 復:例文の暗記
						15 テスト(4課~6課)作文 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:スピーチの書き方

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 B【後半15回分】 Elementary Japanese Language B			単位数	授業内容*	
担当者	朱 風 (ZHU Feng)		ほか	2	専任	1 日本語能力試験N3(2)の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEG1107		2 7 不動産屋で(1)文章、文法項目の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	さまざまな日常生活の場面で自然な日本語を運用して、日本語能力試験N3レベルの語彙と文法項目を学習します。文法を駆使して、発音、文章を書く練習をします。					
授業到達目標	1、日本語能力試験N3レベルの語彙と文法を使うことができる。 2、日本語能力試験N3レベルの発話ができる。 3、日本語能力試験N3レベルの作文を書くことができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	2課ごとに復修テストをしますから、必ず受けてください。この結果を成績評価の60%とします。 予修・復修を励行してください。 (予復修時間:1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		60 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 作文		20 %				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特になし					
参考書	『日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』 アスク出版					
					15	日本語能力試験N3(4)の練習をする。 予復修課題: 予:提出された文法項目を調べる。 復:例文の暗記

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 C【前半15回分】 Elementary Japanese Language C			単位数	授業内容*			
担当者	幣 亜由美 (SHIDE Ayumi)			2	1 「～ように」を用いて、自分の目標や日頃心がけていることについて話せるように繰り返し練習する。 予復修課題：36課の新出語彙の意味を調べて覚える。			
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEG1108	2 【応用練習】相互にインタビューを通して、相手が日頃心がけていることを尋ねたり、自分の目標達成のために心がけていることを話したりする。 予復修課題：授業の復修と宿題(36課問題プリント)をする。			
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3 「受身形」を使って、様々な施設や建造物について、叙述説明できるように繰り返し練習する。 予復修課題：37課の新出語彙の意味を調べて覚える。		
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期				4 【応用練習】自国の有名な施設や建造物について、「受身形」を用いて作文を書く。アクセントに留意しながら、クラスメイトの前で発表する。 予復修課題：授業の復修と宿題(37課宿題プリント)をする。	
授業概要	初級レベルの文型や語句を習得し、場面に即した日本語表現を身につけることを目指します。既習の文型を、状況に応じて適切に運用できるよう、グループワークやロールプレイを用いた練習を行います。						5 「～のは 形容詞 です」などの文型を用いて、社交会話としてのおしゃべりができるよう、繰り返し練習する。 予復修課題：38課の新出語彙の意味を調べて覚える。	
授業到達目標	ゆっくりとしたスピードの日常会話が理解できる。 既習文型を用いて、簡単な日常会話や状況説明ができる。 相手や状況に応じた挨拶や敬語表現を使った会話や記述ができる。 日本文化や生活習慣を理解し、場面に応じた適切な行動ができる。						6 【応用練習】「～のは(形容詞)です」「～のが(形容詞)です」の文型を用いて自分の好きなことや趣味について、グループ内で発表しあう。 予復修課題：授業の復修と宿題(38課問題プリント)をする。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。								
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。								
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、授業の復修をしてください。まとめテストは勿論のこと、宿題や課題の提出状況、授業への参加意欲も重視します。(予復修時間：1時間程度)					
1. 小テスト、感想文など		20 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		40 %	グループワークやロールプレイを通して、コミュニケーション能力を高める。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	グループワーク[2回、6回、10回、12回、14回]					
3.		%	ロールプレイ[8回]					
再評価の実施	する	しない						
教科書	『みんなの日本語 初級 第2版 本冊』 スリーエーネットワーク出版							
参考書	『みんなの日本語初級 第2版 書いて覚える文型練習帳』 / 『みんなの日本語初級 第2版 標準問題集』							
		11 「～てください」「～ていただきます」などの文型を用いて、個人的な頼みごとができるよう、繰り返し練習する。 予復修課題：41課の新出語彙の意味を調べて覚える。						
		12 【応用練習】カードに指定された設定に基づき、頼みごとの内容を協議する。ペアで協議内容を踏まえた会話を作り、アクセントやスピードに留意し、発表する。 予復修課題：授業の復修と宿題(41課問題プリント)をする。						
		13 「～ために、...」「～のに、...」などの文型を用いて、目的や使いみち、評価、感想が言えるよう、繰り返し練習する。 予復修課題：42課の新出語彙の意味を調べて覚える。						
		14 【応用練習】グループでのインタビューを通して、日本に来た目的やアルバイト代の使いみちなどについて、相手に尋ねたり、自分で話したりする。 予復修課題：授業の復修と宿題(42課問題プリント)をする。						
		15 「～そうです」の文型を用いて、外見、外観から受けた印象や感想が言えるよう繰り返し練習する。 予復修課題：43課の新出語彙の意味を調べて覚える。						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 C【後半15回分】 Elementary Japanese Language C			単位数	授業内容*	
担当者	幣 亜由美 (SHIDE Ayumi)			2	1 【応用練習】旅行先で誰かにお土産を買う場面を想定し、それぞれの人の好みや似合うものについて、自分の考えをペアの人に話したり、発表したりする。 予復修課題：授業の復修と宿題(43課問題プリント)をする。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			非常勤講師	2 「～すぎます」「～にします」などの文型を用いて、買い物などで自分の好みの色や形を伝えることができるよう、繰り返し練習する。 予復修課題：44課の新出語彙の意味を調べて覚える。	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3 【応用練習】美容院で、自分の好みの髪型を伝えるロールプレイを行う。 日本の美容院と自国の美容院の違いについて、気づいたことを発表する。 予復修課題：授業の復修と宿題(44課問題プリント)をする。
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	初級レベルの文型や語句を習得し、場面に即した日本語表現を身につけることを目指します。既習の文型を、状況に応じて適切に運用できるよう、グループワークやロールプレイを用いた練習を行います。					
授業到達目標	ゆっくりとしたスピードの日常会話が理解できる。 既習文型を用いて、簡単な日常会話や状況説明ができる。 相手や状況に応じた挨拶や敬語表現を使った会話や記述ができる。 日本文化や生活習慣を理解し、場面に応じた適切な行動ができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、授業の復修をしてください。まとめテストは勿論のこと、宿題や課題の提出状況、授業への参加意欲も重視します。(予復修時間：1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		20 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		40 %	グループワークやロールプレイを通して、コミュニケーション能力を高める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	グループワーク [1回、5回、7回、9回、13回]			
3.		%	ロールプレイ [3回、11回、13回]			
再評価の実施	する	しない				
教科書	『みんなの日本語 初級 第2版 本冊』 スリーエーネットワーク出版					
参考書	『みんなの日本語初級 第2版 書いて覚える文型練習帳』 / 『みんなの日本語初級 第2版 標準問題集』					
			11 【応用練習】アルバイトや学校を休む場面を設定する。様々な理由を記したカードの中から一枚選び、その理由に応じたロールプレイをペアで行う。 予復修課題：授業の復修と宿題(48課問題プリント)をする。			
			12 「お～になります」などの尊敬語を用いて、電話をかけることができるよう、繰り返し練習する。 予復修課題：49課の新出語彙の意味を調べて覚える。			
			13 【応用練習】訪問先で、相手が不在だった場合を想定する。その場合どうするかをグループで話す。敬語を使って話したり、相手に伝言を依頼するロールプレイを行う。 予復修課題：授業の復修と宿題(49課問題プリント)をする。			
			14 尊敬語と謙譲語の違いを理解し、敬語で受け答えができるようになるよう、繰り返し練習する。 予復修課題：50課の新出語彙の意味を調べて覚える。			
			15 【応用練習】お世話になった人に、敬語を使って、感謝の気持ちを伝える作文を書きクラスで発表する。 予復修課題：授業の復修と宿題(50課問題プリント)をする。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 D【前半15回分】 Elementary Japanese Language D				単位数	授業内容*		
担当者	毛 瑩 (MOU Ei)				2	1	敬語を使って家族のことについて話したり尋ねたりする練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2	イラストを見ながら登場人物の1人になって出来事を説明する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	EEG1109	3	イラストを見ながら登場人物の1人になって出来事を説明する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期	経済学部		4	イラストを見ながら登場人物の1人になって出来事を説明する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
授業概要	初級用テキストで学んだ表現を使って出来事や状況を説明したり質問に答えたりする練習をします。 パワーポイントを使って住んでいる町や家族を紹介する練習も行います。					5	イラストを見ながら登場人物の1人になって寄り道の提案をする練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
授業到達目標	1. 初級コースで学んだ文法や表現を使うことができる。 2. 場面や話題に応じて会話することができる。 3. パワーポイントを使って紹介することができる。					6	イラストを見ながら登場人物の1人になって店で注文する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						7	イラストを見ながら登場人物の1人になって郵便局で荷物を送る練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						8	イラストを見ながら登場人物の1人になって不動産屋で部屋をさがす練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						9	イラストを見ながら登場人物の1人になって体験を話す練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						10	日本人の習慣をたずねる練習をします。敬語を使う練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項		11	バック旅行を申し込むために必要な表現を練習します。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・辞書を持参してください。 ・毎回小テストを行います。 (予復修時間：1時間程度)				12	イラストを見ながら登場人物の1人になって出来事を説明する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。
1. 小テスト、感想文など		40 %					13	イラストを見ながら登場人物の1人になって出来事を説明する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。
2. 中間テスト		%					14	イラストを見ながら登場人物の1人になって出来事を説明する練習をします。 予復修課題： 授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					15	パワーポイントで自分が住んでいる町を紹介します。 予復修課題： 質問したり質問に答える練習をします。
4. 授業中の発表、討論		40 %						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書	星野恵子・遠藤藍子(2010)『日本語集中トレーニング』アルク							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 D【後半15回分】 Elementary Japanese Language D				単位数	授業内容*	
担当者	毛 瑩 (MOU Ei)				2	1	質問したり質問に答えたりする練習をします。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2	予復修課題：授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。 イラストを見ながら登場人物の1人になって体験を話す練習をします。
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	EEG1109	3	予復修課題：授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期	経済学部		4	予復修課題：授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。 日本人の習慣を尋ねる練習をします。敬語を使う練習をします。
授業概要	初級用テキストで学んだ表現を使って出来事や状況を説明したり質問に答えたりする練習をします。 パワーポイントを使って住んでいる町や家族を紹介する練習も行います。					5	予復修課題：授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。
授業到達目標	1. 初級コースで学んだ文法や表現を使うことができる。 2. 場面や話題に応じて会話することができる。 3. パワーポイントを使って紹介することができる。					6	予復修課題：授業時間内にうまくできなかったところを復修してください。 パック旅行を申し込むために必要な表現を練習します。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・辞書を持参してください。 ・毎回小テストを行います。 (予復修時間：1時間程度)				
1. 小テスト、感想文など		40 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		40 %					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ペア・グループワークを通してコミュニケーション能力を高める。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	星野恵子・遠藤藍子(2010)『日本語集中トレーニング』アルク						
						15	予復修課題：質問したり、質問に答える練習をします。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級日本語 E【前半15回分】 Elementary Japanese Language E		単位数	授業内容*		
担当者		平田 直子 (HIRATA Naoko)		2	1 目標や心がけに関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：36課の新出語彙を調べる。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 目標や他人が日頃心がけていることについて、聞いてわかるように練習する。 予復修課題：36課文法を復修する。		
授業形式		演習	科目区分	留学生特別科目	3 施設や建造物に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：37課の新出語彙を調べる。		
配当年次		1年生	開講学期	前期/後期	4 有名な施設や建造物について、聞いてわかるように練習する。 予復修課題：37課文法を復修する。		
履修学部		経済学部		5 社交会話に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：38課の新出語彙を調べる。			
授業概要		初級レベルの文法や語句を使った会話やアナウンス、スピーチなどが正しく聞き取れることを目指します。				6 36課～38課の小テスト 予復修課題：38課文法を復修する。	
授業到達目標		1. 自然な速度の会話やアナウンスなどが理解できる。 2. 理解した内容に適した返事や対応ができる。 3. 日本語を用いたコミュニケーション力がつく。				7 迷惑をかけた場合の理由説明や謝罪に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：39課の新出語彙を調べる。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						8 丁寧な理由の説明や謝罪が聞いてわかるように練習する。 予復修課題：39課文法を復修する。	
【知識・技能】		キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				9 心配や悩みの相談に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：40課の新出語彙を調べる。	
【思考力・判断力・表現力】		本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				10 心配や悩みの相談が聞いてわかるように練習する。 予復修課題：40課文法を復修する。	
【主体性・協働性】		自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				11 丁寧な表現での個人的な依頼に関連した語彙の意味や発音を確認する。 予復修課題：41課の新出語彙を調べる。	
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				12 丁寧な表現での個人的な依頼が聞いてわかるように練習する。 39課～41課の小テスト 予復修課題：41課文法を復修する。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・語彙の意味や文法の予修復修(1時間) ・3課ごとに小テストを行います。 ・授業態度や参加意欲も重視します。			13 評価、感想に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：42課の新出語彙を調べる。	
1. 小テスト、感想文など		40 %				14 評価、感想が聞いてわかるように練習する。 予復修課題：42課文法を復修する。	
2. 中間テスト		%				15 外見、外観から受けた印象や感想に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：43課の新出語彙を調べる。	
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					
4. 授業中の発表、討論		30 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ペアやグループに分かれて課題に取り組み発表する。(2、4、6、8、10、12、14回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		『みんなの日本語 初級 第2版 聴解タスク25』 スリーエーネットワーク出版					
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	初級日本語 E【後半15回分】 Elementary Japanese Language E				単位数	授業内容*		
担当者	平田 直子 (HIRATA Naoko)				2	1	外見、外観から受けた印象や感想を聞いてわかるように練習する。 予復修課題：43課文法を復修する。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEG1110		2	好みの色や形を伝える語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：44課の新出語彙を調べる。	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部			
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期					
授業概要	初級レベルの文法や語句を使った会話やアナウンス、スピーチなどが正しく聞き取れることを目指します。						3	他人の好みの色や形が聞いてわかるように練習する。 42課～44課の小テスト 予復修課題：44課文法を復修する。
授業到達目標	1. 自然な速度の会話やアナウンスなどを理解できる。 2. 理解した内容に適した返事や対応ができる。 3. 日本語を用いたコミュニケーション力がつく。						4	落胆や失望などの気持ちの表現に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：45課の新出語彙を調べる。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5	落胆や失望などの気持ちが聞いてわかるように練習する。 予復修課題：45課文法を復修する。
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							6	修理や配達などの依頼、催促に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：46課の新出語彙を調べる。
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							7	修理や配達などの依頼、催促が聞いてわかるように練習する。 予復修課題：46課文法を復修する。
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							8	噂話や状況の推測に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：47課の新出語彙を調べる。
成績評価の方法(全体で100%)							9	噂話や状況の推測が聞いてわかるように練習する。 45課～47課の小テスト 予復修課題：47課文法を復修する。
履修における留意事項							10	丁寧な表現で許可を求めていることが聞いてわかるように練習する。 予復修課題：48課の新出語彙を調べる。
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・語彙の意味や文法の予修復修(1時間) ・3課ごとに小テストを行います。 ・授業態度や参加意欲も重視します。				11	丁寧な表現で許可を求めていることが聞いてわかるように練習する。 予復修課題：48課文法を復修する。
1. 小テスト、感想文など		40%					12	尊敬語の復習。電話での会話に関連する語彙の意味や発音などを確認する。 予復修課題：49課の新出語彙を調べる。
2. 中間テスト		%					13	尊敬語をつかった電話での会話が聞いてわかるように練習する。 予復修課題：49課文法を復修する。
3. 課題レポートなどの提出物		10%					14	敬語の復修と整理。発音の確認。 予復修課題：50課の新出語彙を調べる。
4. 授業中の発表、討論		30%					15	敬語を使った会話などが聞いてわかるように練習する。 48課～50課の小テスト 予復修課題：50課文法を復修する。
5. 授業への参加意欲		20%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価								
アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%	ペアやグループに分かれて課題に取り組み発表する。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%	(1、3、5、7、9、11、13、15回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	『みんなの日本語 初級 第2版 聴解タスク25』 スリーエーネットワーク出版							
参考書								

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		中級日本語 Intermediate Japanese Language		単位数	授業内容*	
担当者		朱 風 (ZHU Feng) 井料 佐紀子 (IRYOU Sakiko)		1	1 自己紹介、授業内容の説明など、 予復修課題：第1課の新出単語 予復修課題：新しい単語を20回読んでから、1回書いてください。本文を3回読んでください。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEG1111・ERG1111		2 第1課「音楽と音楽の効果」 導入、語彙と文型の説明、本文読解、文を作る。
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	予復修課題：予：提出されている学習項目を調べる 復：単語の暗記	
配当年次	1年生	開講学期	前期	経済学部	第1課「音楽と音楽の効果」学習項目の説明、本文朗読、本文要約。	
授業概要	専門分野のレポート、論文、専門書などを読むための基本読解能力を養成することを目的とする。『中級を学ぼう』をテキストにして、N2模擬試験問題集を参考書として、1課ごとに、1読む前の導入、2語彙学習、3学習項目の説明、4学習項目の練習、5本文読解、6文章・論理の構成、7本分要約、8読後の課題と現実的意義の順で行く。					
	授業到達目標	1. 情報検索をしながら読むことができる。 2. 文章構成、論理関係が理解できる。 3. 論理的文章に使われる頻度の高い文法が理解できる。 4. 意見や感想をまとめられる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	普段の出席状況、授業中積極的に質問などの学習意欲は40%、まとめのテストは60%で成績評価する。 (予復修時間：1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		20 %				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめテスト		60 %	小テスト(第8回、第15回)			
2. 論文、まとめレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特になし					
参考書	『中級を学ぼう』(中期初期)スリーエーネットワーク					
					11 予復修課題：予：提出されている資料の単語を調べる 復：単語の暗記	第3課「おもしろい」日本 学習項目の説明、関連文章の学習
					12 予復修課題：予：第4課の新出単語の意味を調べる 復：読後課題	第4課 「くしゃみ」 導入、語彙学習、本文読解
					13 予復修課題：予：提出された学習項目を調べる 復：単語の暗記	第4課 「くしゃみ」 学習項目の説明、本文要約
					14 予復修課題：予：学習項目練習の例文 復：本文熟読	第4課 「くしゃみ」 学習項目の練習、本文朗読、読後課題
					15 予復修課題：予：関連学習資料の新出単語を調べる 復：第3、4課学習項目	第3、4課に関する小テスト、関連資料の読解
					予復修課題：重要文型の短文作り	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	中級日本語 Intermediate Japanese Language			単位数	授業内容*	
担当者	井料 佐紀子 (IRYOU Sakiko)		山内 美奈 (YAMAUCHI Mina)		専任 & 非常勤	1 自己紹介、授業内容の説明など、 予復修課題：第5課の新出単語の意味を調べる
実務経験のある教員による授業	ほか		ナンパリング		EEG1201・ERG1201	2 第5課「わたしの町」 導入、語彙学習、本文読解 予復修課題：予：提出されている学習項目を調べる 復：単語の暗記
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3 第5課「わたしの町」 学習項目の説明、本文要約 予復修課題：予：「作文、プラスアルファ」の独自学習 復：本文熟読
配当年次	1年生	開講学期	後期			4 第5課「わたしの町」 学習項目の練習問題 予復修課題：予：第6課の新出単語の意味を調べる 復：読後課題
授業概要	専門分野のレポート、論文、専門書などを読むための基礎的な読解技術の養成を目指す『中級を学ぼう』をテキストにして、1課ごとに、1.読む前の導入 2.語彙学習 3.学習項目の説明 4.学習項目の練習 5.本文読解 6.文章・論理の構成 7.本文要約 8.読後の課題 以上の順に学習していく。					5 第6課「この日に食べなきゃ、意味がない！」 導入、語彙学習、本文読解 予復修課題：予：提出されている学習項目を調べる 復：単語の暗記
授業到達目標	1.情報検索をしながら読むことができる。 2.文章構成、論理関係が理解できる。 3.論理的文章に使われる頻度の高い文法が理解できる。 4.意見や感想をまとめられる。					6 第6課「この日に食べなきゃ、意味がない！」学習項目の説明、本文要約 予復修課題：予：「作文、プラスアルファ」の独自学習 復：本文熟読
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	普段の出席状況と授業への参加意欲は40% まとめのテストは60%で成績評価 (予復修時間：1時間程度)			
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		20%				
5. 授業への参加意欲		20%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめテスト		60%	小テスト(第8回、第15回)			
2. 論文、まとめレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特になし					
参考書	『中級を学ぼう』(中期初期)スリーエーネットワーク					
						15 予復修課題：重要文型の短文作り

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		上級日本語 Japanese Language		単位数	授業内容*		
担当者		朱 風 (ZHU Feng) 井料 佐紀子 (IRYOU Sakiko)		1	1 授業内容説明など、第1課「色」導入(関連知識) 予復修課題: 予:第1課キーワードの意味を調べる 復:本文朗読		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEG2101・ERG2101		2	
授業形式		科目区分		留学生特別科目		2 予復修課題: 予:学習項目の応用練習 復:本文熟読	
配当年次		開講学期		前期		2 第1課「色」本文要約、学習項目の練習、関連読み物	
履修学部		経済学部				3 予復修課題: 予:読後課題 第2課キーワードの意味を調べる 復:例文の暗記	
授業概要		読解、会話、聴解、作文を含む活動を通して、総合的な日本語力をつけることを目標とする。 『中級を学ぼう』をテキストにして、1課ごとに、1.本文の背景知識 2.語彙の学習 3.学習項目の文法・文型の学習 4.学習項目の練習 5.本文読解・理解 6.本文要約 7.関連読み物 8.読後課題 以上の順に学習していく。				3 予復修課題: 予:読後課題 第2課キーワードの意味を調べる 復:例文の暗記	
授業到達目標		1.必要な情報を引き出して読むことができる。 2.読んで得た情報をまとめることができる。 3.必要な情報を引き出して聞くことができる。 4.聞いて得た情報を伝えることができる。				4 第2課「ユーモア・ジョーク」読む前の導入(関連知識)、本文全体への理解 予復修課題: 予:学習項目の例文 復:本文熟読	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						5 第2課「ユーモア・ジョーク」学習項目の文法・文型の学習 予復修課題: 予:学習項目の応用練習 復:本文熟読	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						6 第2課「ユーモア・ジョーク」学習項目の文法・文型の学習練習、関連読み物 予復修課題: 予:第3課キーワードの意味を調べる 復:1,2課の学習項目	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						7 第1、2課の小テスト、第3課「制服」読む前の導入、語彙学習 予復修課題: 予:学習項目の例文 復:本文熟読	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						8 第3課「制服」学習項目の文法・文型の学習、学習項目の練習 予復修課題: 予:学習項目の応用練習 復:本文熟読	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				9 第3課「制服」本文読解・要約、関連読み物 予復修課題: 予:読後の課題、第4課のキーワードの意味を調べる 復:例文の暗記	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		出席と授業の態度 40%		10 予復修課題: 予:学習項目の例文 復:本文熟読	
1. 小テスト、感想文など		%		まとめのテスト 60%で成績評価		11 第4課「算数」学習項目の文法・文型の学習、本文読解	
2. 中間テスト		%		(予復修時間: 1時間程度)		12 予復修課題: 予:学習項目の応用練習 復:本文熟読	
3. 課題レポートなどの提出物		%				13 第4課「算数」学習項目の練習、本文要約、関連読み物	
4. 授業中の発表、討論		20%				14 予復修課題: 予:第5課のキーワードの意味を調べる 復:3,4課の本文と学習項目	
5. 授業への参加意欲		20%				15 3,4課小テスト、第5課「遊びと運動」読む前の導入 語彙の学習	
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				16 予復修課題: 予:学習項目の例文 復:本文熟読	
7.		%				17 第5課「遊びと運動」学習項目の文法・文型、本文読解・要約	
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング		18 予復修課題: 予:学習項目の応用練習 復:本文熟読	
1. まとめテスト		60%		小テスト(第7回、第13回)		19 第5課「遊びと運動」学習項目の練習、関連読み物	
2. 論文、まとめレポートなど		%				20 予復修課題: 復:例文暗記、重要文型の短文作り	
3.		%					
再評価の実施		する		しない			
教科書		特になし					
参考書		参考図書:『中級を学ぼう』(中級中期)スリーエーネットワーク					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		上級日本語 Japanese Language		単位数	授業内容*	
担当者		井料 佐紀子 (IRYOU Sakiko) 山内 美奈 (YAMAUCHI Mina)		1	1 第6課「お金」 語彙、重要文型と表現の練習 予復修課題：予：第6課の新出単語の意味を調べる。復：例文の暗記	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2	2 第6課「お金」 本文読解・要約 予復修課題：予：本文熟読 復：本文を読んで内容を復習する	
授業形式		演習		科目区分 留学生特別科目		3
配当年次		2年生		履修学部		4
開講学期		後期		経済学部		5
授業概要		読解、会話、聴解、作文を含む活動を通して、総合的な日本語力をつけることを目標とする。 『中級を学ぼう』をテキストにして、1課ごとに、1.本文の背景知識 2.語彙の学習 3.学習項目の文法・文型の学習 4.学習項目の練習 5.本文読解・理解 6.本文要約 7.関連読み物 8.読後課題 以上の順に学習していく。				
授業到達目標		1.必要な情報を引き出して読むことができる。 2.読んで得た情報をまとめることができる。 3.必要な情報を引き出して聞くことができる。 4.聞いて得た情報を伝えることができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	出席と授業の態度 40%			
1. 小テスト、感想文など		%	まとめのテスト 60%で成績評価 (予復修時間：1時間程度)			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		20%				
5. 授業への参加意欲		20%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめテスト		60%	小テスト(第7回、第12回、第15回)			
2. 論文、まとめレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		特になし				
参考書		参考図書：『中級を学ぼう』(中級中期)スリーエーネットワーク				
				15	予復修課題：復：練習問題の見直しと間違えた箇所を暗記する	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

総合共通科目(2015～2018年度入学生)

《総合共通科目の教育目標》

【知識・技能】

キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。
また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。

【思考力・判断力・表現力】

本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。

【主体性・協働性】

自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。
また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。

《卒業に要する単位》

2015～2018年度入学生

履修区分		最低修得単位数	要卒単位数	
総合共通コア科目		必修1単位	30単位	
教養教育科目	基礎領域	} 6単位以上		
	文化・芸術領域			2単位以上
	歴史・社会領域			2単位以上
	人間・環境領域			2単位以上
言語・異文化理解科目	日本語	必修2単位		} 8単位以上
	英語	必修2単位		
	ドイツ語			
	フランス語			
	中国語			
	韓国語			
	異文化理解領域			
情報教育科目		必修2単位		2単位以上
健康教育科目				
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	必修4単位		} 4単位以上
	キャリア発展領域			

シラバス一覧 B 《 総合共通科目 》

科目区分・科目名		配当年次・学期		読替え科目 (シラバス一覧A) 参照	掲載 ページ		
総合共通コア科目	福原学	1	前	「福原学」	/		
基礎領域	ステップアップ講座A(数学基礎)	1	前・後	/	/		
	ステップアップ講座B(英語基礎)	1	前・後	「TOEIC入門」	/		
	文化・芸術領域	文学の世界	1・(2)	前・後	「ことばと日本文化」	/	
		ことばの世界	1・(2)	前		95	
		芸術の世界	1・(2)	前・後		96-97	
		日本人論	1・(2)	前	「スポーツの文化」	/	
		情報文化論	1・(2)	後	「情報文化論」	/	
		歴史・社会領域	歴史を考える	1・(2)	前・後		98
	法と生活		1・(2)	前・後		99	
	現代国家と法(日本国憲法)		1・(2)	前・後	「現代国家と法(日本国憲法)」	/	
	政治と国際問題		1・(2)	前・後	「歴史と国際情勢」	/	
	暮らしと経済		1・(2)	前・後	「暮らしと経済」	/	
	人権・同和教育		1・(2)	前・後	「人権・同和教育」	/	
	人間・環境領域	人間と哲学	1・(2)	前・後	「人間と哲学」	/	
		科学を考える	1・(2)	前・後		100-102	
		宇宙の科学	1・(2)	前・後	「生命と地球」	/	
		生命と環境	1・(2)	前・後		103	
		心の科学	1・(2)	前・後	「心の科学」	/	
	言語・異文化理解科目	日本語	日本語表現法	1	前・後	「日本語表現法」	/
			日本語表現法	2	前・後	「日本語表現法」	/
英語		英語	1	前・後	「英語」	/	
		英語	1	(前)・後	「英語」	/	
		英語	2	前		104	
		英語	2	後		105	
		英語コミュニケーション	2	前	「英語コミュニケーション」	/	
		英語コミュニケーション	2	後	「英語コミュニケーション」	/	
ドイツ語		ドイツ語	1	前	「ドイツ語」	/	
		ドイツ語	1	後	「ドイツ語」	/	
フランス語		フランス語	1	前		106	
		フランス語	1	後		107	

科目区分・科目名		配当年次・学期		読替え科目 (シラバス一覧A) 参照	掲載 ページ		
言語・異文化理解科目	中国語	中国語	1	前	「中国語」	/	
		中国語	1	後	「中国語」	/	
	韓国語	韓国語	1	前	「韓国語」	/	
		韓国語	1	後	「韓国語」	/	
	異文化理解領域	異文化を考える	1・(2)	前・後	「ことばと異文化」	/	
		海外研修	1~4	集中	「海外研修」	/	
情報教育科目	情報処理演習	情報処理演習	1	前	「情報処理演習」	/	
		情報処理演習	1	後	「情報処理演習」	/	
		情報処理演習	2	前	「情報処理演習」	/	
		情報処理演習	2	後	「情報処理演習」	/	
健康教育科目	スポーツA	スポーツA	1	前	「スポーツA」	/	
		スポーツB	1	後	「スポーツB」	/	
		健康の科学	1・(2)	前・後	「健康の科学」	/	
		健康と栄養	1・(2)	前・後	/	/	
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	職業とコミュニケーション	1	後	「職業とコミュニケーション」	/	
		キャリアデザイン	2	前後	「キャリアデザイン」	/	
		キャリアデザイン	3	前		108-113	
		キャリアデザイン	3	後		114-119	
	キャリア発展領域	スキルアップ講座	スキルアップ講座A	3	後		120
			スキルアップ講座B	3・(4)	前	「スキルアップ講座B(TOEIC)」	/
			スキルアップ講座C	3・(4)	後	「スキルアップ講座C(TOEIC)」	/
			スキルアップ講座D	2~(4)	前	/	/
			スキルアップ講座E	2~(4)	後	/	/
			スキルアップ講座F	3	前		121
			スキルアップ講座G	3・(4)	前		122
			スキルアップ講座H	3・(4)	後		123
			スキルアップ講座M	2~4	前		124

シラバス一覧 B《 留学生特別科目 》

科目区分・科目名	配当年次・学期		読替え科目(シラバス一覧A)参照	掲載ページ	
留学生特別科目 (外国人留学生のみ履修可能)	初級日本語 A	1	前・(後)	「初級日本語 A」	
	初級日本語 B	1	前・(後)	「初級日本語 B」	
	初級日本語 C	1	前・(後)	「初級日本語 C」	
	初級日本語 D	1	前・(後)	「初級日本語 D」	
	初級日本語 E	1	前・(後)	「初級日本語 E」	
	初級日本語 A	1	前・(後)	「初級日本語 A」	
	初級日本語 B	1	前・(後)	「初級日本語 B」	
	初級日本語 C	1	前・(後)	「初級日本語 C」	
	初級日本語 D	1	前・(後)	「初級日本語 D」	
	初級日本語 E	1	前・(後)	「初級日本語 E」	
	中級日本語	1	前	「中級日本語」	
	中級日本語	1	後	「中級日本語」	
	上級日本語	2	前	「上級日本語」	
	上級日本語	2	後	「上級日本語」	
	日本文化研修	3・(4)	後		125
	スキルアップ講座N	3・(4)	前		126-127
	スキルアップ講座O	3・(4)	後		128-129
	スキルアップ講座P	3・(4)	前		130
	スキルアップ講座Q	3・(4)	後		131

授業科目名 (Subject)	芸術の世界 The World of Art			単位数	授業内容*	
担当者	武 夢茹 (WU Mengru)			2	1 本講義のねらい、レポートの書き方、評価方法について説明する。 アジア美術の特色について解説する。日本の美術館について紹介する。 予復修課題：授業内で紹介する文献を読み、アジア美術の固有性について理解を深める。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			非常勤講師	2 東アジアの美術作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 東アジア美術の特色について解説する。 予復修課題：授業内で紹介する文献を読み、近代東アジアの美術交流について理解を深める。	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	3 東アジアの美術作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 東アジアの植民地期の歴史について解説する。 予復修課題：授業内で紹介する文献を読み、美術家の制作動機について理解を深める。	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期	経済学部・スポーツ学部共通	4 東アジアの美術作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 九州の美術家について紹介する。 予復修課題：授業内で紹介する文献を読み、戦争と美術の関係について考える。	
授業概要	19～21世紀にアジアの美術家が制作した美術作品を鑑賞することで、植民地の歴史や近代国家の成立、宗教や文化の特色について理解を深める。 授業では毎回5～10点の絵画や彫刻をスライドに写し、学生が作品の主題や表現様式、作品から受ける印象や作者が何を伝えようとしているのかについて意見を述べる。作品が制作された時代背景について知ることで、より深い解釈ができるようになることを目指す。					
授業到達目標	美術作品の主題や様式に注目しながら作品を鑑賞する方法を身に付けることができる。 作品から自分が感じたことを言葉で説明することができるようになる。 コメントカードやグループワークを通して、作品には多様な解釈があることを知る。 アジアの近代史、植民地やナショナリズム、風俗や文化について社会人として基礎的な知識を身に付けることができる。 現代アジアの多様な文化や社会問題について考えを深めることができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	この授業では、スライドに写された美術作品を観察し、何がどのように表現されているのかを考え、そこから何を感じるのかについて自分の意見を述べるのが重要です。			
1. 小テスト、感想文など		10 %	グループに別れて美術館で展示された作品や			
2. 中間テスト		%	グーグルミュージアムで見つけた作品について			
3. 課題レポートなどの提出物		40 %	レポートを書きます。			
4. 授業中の発表、討論		%	予復修の目安時間：各1時間程度			
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	レポートはグループワークで取り組むことを推奨します。フィールドワークで美術館に行くことを推奨します。毎回の授業で学生が自分の意見を発表する機会を設けます。			
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	なし					
参考書	なし					
			11 南アジアの美術作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 南アジアの風俗や文化、宗教について解説する。 予復修課題：授業内で紹介する文献を読み、宗教と美術の関係について理解を深める。			
			12 九州の美術家の作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 九州やアジアの美術館について紹介する。 予復修課題：まとめのレポートに取り組む。			
			13 九州の美術家の作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 九州やアジアの美術館について紹介する。 予復修課題：まとめのレポートに取り組む。			
			14 近代日本の美術作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 近代日本の美術制度について解説する。 予復修課題：まとめのレポートに取り組む。			
			15 近代日本の美術作品を鑑賞し、意見を述べ合う。 近代日本の洋画教育について解説する。 予復修課題：まとめのレポートを提出。授業内で紹介する文献を読み、美術制度に対する理解を深める。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		芸術の世界 The World of Art		単位数	授業内容*	
担当者		江本 紫織 (EMOTO Shiori)		2	1 オリエンテーション 授業の概要、到達目標、評価方法を説明する。また、現時点での「芸術」観を確認する。 予復修課題：「芸術」とは何か、どのような事例があるか考えてくること。(予修)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 「芸術」とは何か 芸術の様々な事例を紹介する。 予復修課題：事前に指示した事例を調べ、整理しておくこと。(予修)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 「芸術」とは何か 第2回の事例を参照しながら、「芸術」の歴史、概念について学ぶ。 予復修課題：第2回で取り上げた事例の共通点、違いを考えておくこと。(予修)
配当年次	1-2年生	開講学期	後期			4 写真の歴史 技術の変遷に注目し、写真の歴史について学ぶ。 予復修課題：写真について知っていること、わからないことをまとめておくこと。(予修)
授業概要	私たちは日々、様々な写真を撮影、観賞しています。数多くある写真の中で、「芸術」とは何か、どのように「楽しむ」ことができるのでしょうか。 本授業では、様々な時代、ジャンルの写真を見るを通して、写真を中心とした芸術作品との関わり方、楽しみ方を考えます。 また、写真だけでなく、関連する芸術概念や写真論、様々なジャンルの作品を紹介します。					5 写真論概要 写真を理論的に説明する方法・内容について学ぶ。提出課題について説明する。 予復修課題：授業で取り上げた写真論に合致する事例を考えること。(復修)
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 作品について、自らの言葉で説明することができる。 授業で得た知識や他者の意見を踏まえて、自分の考えをまとめることができる。 写真の歴史、性質を理解し、写真によって伝えることを実践できる。 芸術との自分なりの関わり方、楽しみ方を見つけることができる。 					6 写真と芸術 写真と芸術の関係について概要を学ぶ。 予復修課題：芸術写真に該当する事例を考えてくること。(予修)
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	* 講義に臨む前には、シラバスに記載されている「予復修課題」に取り組んでください(所要時間：各1時間程度)。予修課題の提出をコメントペーパー内で求めることがあります。 * 本授業では、実際に写真作品を制作し、相互評価を行います(所要時間：5~10時間程度)。 。撮影に使用できる機器(スマートフォン等)があり、操作できることが望ましいです。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	コメントペーパーの提出(不定期、約6回)。			
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	実践学習(授業で学んだ事例を踏まえて、実際に写真を撮影し、相互に評価を行う。進捗状況について定期的な報告を求める。)			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	なし					
参考書	なし					
			11 写真の加工・修正 フィルム写真、デジタル写真それぞれの加工・修正の方法と効果を学ぶ。 予復修課題：授業で学んだ加工・修正を試し、使い分けられるようにすること。(復修)			
			12 写真と演出 特定のメッセージ、世界観を伝える・構築する写真の性質について学ぶ。 予復修課題：指示した写真をポイントに従って観賞し、考えをまとめておくこと。(予修)			
			13 写真と演出 人物や場面を演じる、演出する 予復修課題：指示した写真をポイントに従って観賞し、考えをまとめておくこと。(予修)			
			14 まとめ 写真と芸術の関係についてまとめを行う。課題を提出し、相互に評価する。 予復修課題：提出課題を仕上げてくること。(予修)			
			15 まとめ 引き続き、提出課題を相互に評価する。また、まとめのレポートについて説明する。 予復修課題：自身の提出課題と他の学生からの評価を照らし合わせてみること。(復修)			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		歴史を考える Aspects of History		単位数	授業内容*	
担当者		松尾 登史子 (MATSUO Toshiko)		2	1 歴史を学ぶ : オリエンテーション 大学の教養教育になぜ歴史科目があるのか、そもそもなぜ私たちは歴史を学ぶのか。 予復修課題: 配付物やノート等で授業内容の確認をし、自らの目標設定をおこなうこと。(予復修取組時間:1時間程度)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 歴史を学ぶ : 歴史を知ること 歴史を知ることとはどういうことか。自分は歴史に無関係ではないということを知る。 予復修課題: 自分の先祖について関心をもち、調べてみること。(予復修取組時間:1時間程度)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期			
授業概要	私達が経験から学んで未来に生かすように、社会でもそうありたい。これが教育の場で歴史を学ぶ一つの大切な理由です。歴史とは幾多の人々の人生が織りなす壮大な織物であり、私達はこれを知り考えることにより、様々なことを学び得ます。本授業では、なぜ歴史を学ぶのか、歴史とは何か、いかに歴史と関わるべきか、ということを中心に考えていきます。発掘調査の実務経験から「過去の痕跡」を扱う考古学を取上げるなど実践的分野や方法論にも触れるので、自ら考えて自らの答えに到達しようとする積極的姿勢で授業に臨んでもらいたいと思います。				3 歴史を学ぶ : 歴史学の歴史 人類の歴史認識の始まりとはどのようなものであったのか。 予復修課題: 配付物やノート等で授業内容の復修をすること。(復修取組時間:0.5時間程度)	
授業到達目標	授業の際には以下の5項目を念頭に、自らの研鑽をめざして参加してください。 1) 歴史は暗記ものという認識を改め、歴史とは人間社会の歩みの総体であると認識できる 2) 私達自身が歴史の土台の上に存在し、自らが歴史の主体(主人公)であると理解できる 3) 日常生活において、身近な郷土の歴史に関心をもち、歴史への知的好奇心を持てる 4) 社会生活において、歴史という人類共通の遺産を大切に受け継いでいく意識を持てる 5) 授業では、知識を得るのみならず様々な考え方や価値観を認め、自らの思考力を養える				4 歴史を学ぶ : 歴史学の形成 歴史学の形成過程を辿る。 予復修課題: 配付物やノート等で授業内容の復修をすること。(復修取組時間:0.5時間程度)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業では、話をしっかり聞いて大筋を把握し、それについて自分で考え、自分の意見が持てるようになることを重視します。話を聞くための要点をまとめたレジュメを毎回用意するので、それに沿って話を聞くこと。板書はあくまで話をする際の補助とみなすので、必ずしも体系的に書くとは限らず、常に自ら考えてノートをとること。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	小テスト [第5回、第10回、第15回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	コメントカード [計5回程度]			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書	授業中に適宜紹介する。					
					5 歴史を学ぶ : 第一部のまとめ、小テスト 予復修課題: 第一部の復修をしておくこと。(予復修取組時間:2時間程度)	
					6 歴史とは何か : 歴史学の捉え方 歴史学をめぐる立場について認識し、歴史研究者が行う歴史研究の仕組みを知る。 予復修課題: 歴史研究者の立場に立ち、歴史を考えてみること。(予復修取組時間:1時間程度)	
					7 歴史とは何か : 史料論 史料について知る。特に、考古学的史料である「有形の過去の痕跡」について学ぶ。 予復修課題: 身近な「有形の過去の痕跡」に関心をもつこと。(予復修取組時間:1時間程度)	
					8 歴史とは何か : 史料論(続) 実際の発掘調査の事例をみながら、史料の可能性と限界について考える。 予復修課題: 配付物やノート等で授業内容の復修をすること。(復修取組時間:0.5時間程度)	
					9 歴史とは何か : 方法論 歴史学研究が学際的に行われていることを知る。海外の考古学調査の事例。 予復修課題: 配付物やノート等で授業内容の復修をすること。(復修取組時間:0.5時間程度)	
					10 歴史とは何か : 第二部のまとめ、小テスト 予復修課題: 第二部の復修をしておくこと。(予復修取組時間:2時間程度)	
					11 歴史と私たち : 歴史を継承する責任 私たちが前世代から受け継ぐべきものについて考える。 予復修課題: 前世代から引き継がれた社会に生きる私達の役割と責任につき考えること。(予復修取組時間:1時間程度)	
					12 歴史と私たち : 歴史を継承する責任(続) アジア・太平洋戦争の概要と実態を理解する。 予復修課題: 年記者の戦争体験談などに積極的に関心を寄せること。(予復修取組時間:1時間程度)	
					13 歴史と私たち : 補足 アジア・太平洋戦争を当時の若者の目線からみて、その実態と彼らの思いを知る。 予復修課題: 戦時中の若者の立場を想像し、思いを馳せてみること。(復修取組時間:1時間程度)	
					14 歴史と私たち : 歴史遺産を継承する責任 歴史遺産をどのように受け継いでいくべきか。文化財保護のあり方について考える。 予復修課題: 地域の歴史遺産に関心をもつこと。(予復修取組時間:1時間程度)	
					15 歴史と私たち : 第三部のまとめ、小テスト 予復修課題: 第三部の復修をしておくこと。(予復修取組時間:2時間程度)	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	法と生活 Law and Life		単位数	授業内容*	
担当者	塩盛 俊明 (SHIOMORI Toshiaki)		2	1 法とは何か 法学を学ぶための基礎知識を学ぶ 予復修課題：小・中・高校までの社会科で学習した日本国憲法について簡潔に復修しておいてください。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		非常勤講師	2 家族と法(1) 婚姻と家族を取り巻く法律の仕組みを学ぶ 予復修課題：自分を中心に、どこまでの繋がりを「家族」と呼ぶかについて考えてきてください。	
授業形式	講義	科目区分 総合共通科目	履修学部	3 家族と法(2) 相続を巡る法律の仕組みを学ぶ 予復修課題：自分が「相続」の当事者となった場合に生じ得る問題を考えてきてください。	
配当年次	1-2年生	開講学期 前期/後期	経済学部・法・社会学部共通	4 財産と法(1) 契約の仕組みの基礎を学ぶ 予復修課題：物の売り買いの場面で、お互いにどのような義務や利益が生じるかについて考えてきてください。	
授業概要	「社会あるところ法あり」という言葉が表すように、人間が集まり一定の社会が形作られるところには一定のルールが必要になります。また、社会と一口に言っても、家庭、学校、職場(労働)、経済取引、医療現場、スポーツなど、様々な部分的な社会の場面が考えられます。この講義では、そのような具体的な場面を例に取りながら、実際に生活の中でどのように法が関わっているのかを学び、学生がこの先社会生活を営む中で役に立つ知識を涵養し、それらを活かすことができるように考える力を身につけていきます。				
	授業到達目標 学生が社会生活を営む中で直面しうる問題を認識できる。 それらに対して法的にどのように対応しうるのかを知り、理解できる。 これらの知識を別の事例にも応用していく能力を身につける。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義に臨む前にシラバスに表示されている「予復修課題」に取り組むとともに、講義で配布されたレジュメや板書の復修を毎回行ってください(予復修取組時間：1時間程度)。		
1. 小テスト、感想文など		20 %	不定期にその日の講義内容を踏まえた問いを盛りこんだコメントペーパーの提出を求めることがあります。これを小テストの一種として成績評価に加味します。		
2. 中間テスト		%	アクティブ・ラーニング 上記コメントペーパーを用いて、講義で学んだ知識を自ら考え、アウトプットします。		
3. 課題レポートなどの提出物		%			
4. 授業中の発表、討論		%	11 医療と法 医療を巡る法律の仕組みを学ぶ 予復修課題：病院を受診した際の医師とのやり取りにどんな特徴があるか考えてきてください。		
5. 授業への参加意欲		10 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			
7.		%			
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト		70 %	13 国際社会と法 国際社会と法について学ぶ 予復修課題：日本と諸外国との関係について考え、何が重要かを考えてきてください。		
2. 論文、まとめのレポートなど		%	14 法と生活 講義全体を振り返りつつ、法と生活の関わりを確認します。 予復修課題：過去の配布レジュメを復修し、当日持参してください。		
3.		%	15 まとめのテストおよび解説 これまでの講義のまとめのテストとその解説をします。 予復修課題：これまでの講義のノートのみを、内容をよく理解してきてください。		
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書	大谷實『エッセンシャル法学』第7版 成文堂				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	科学を考える【物理】 Aspects of Science (Physics)			単位数	授業内容*	
担当者	田中 雄二 (TANAKA Yuji)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング					
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期			
授業概要	初等中等教育で学ぶ「物理」は「物理学」の領域に絞り込んだ形で学ぶことが多い。しかしながら身近な所(生活様式全般)から先端科学技術の領域に至るまで、物理の範疇は「化学・学・生物」を含んだ広大な領域になっている。社会で・世間で起こる様々な事象を物理の眼で理解することは、大学生の教養力として不可欠な要素の一つになる。物理化学・化学物理学・生物物理学・物理生物学等を含む学際領域についても知り、学ぶことが目的である。地球物理学・宇宙物理学の領域は「宇宙の科学」の内容なのでここでは取り扱わない。					
	日常生活で体感していることを物理の言葉で説明できる。化学・生物が物理と密接に関連していることを、具体例を挙げて説明できる。エネルギーという言葉が「体内における作用」にも関与していることが説明できる。スポーツと物理の関係性から、競技を「物理の眼」で理解することができる。					
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	化学・生物・運動・材料・栄養などを含む多岐に亘る分野を物理の目線で取り扱うので、深い学びが必要となる。「物理」という学問領域が、化学や生物とともにあらゆる領域に関与していることに気づくことを求める。体感的に理解している日常の出来事を物理の視点で理解し説明できるようになることを求める。				
1. 小テスト、感想文など	10 %					
2. 中間テスト	%					
3. 課題レポートなどの提出物	10 %					
4. 授業中の発表、討論	%					
5. 授業への参加意欲	%					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7.	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	80 %	新出用語や具体的な出来事などをインターネットから引用していく。検出したものが他者との比較によって「確からしい」と判別できる力を伸ばしていくことを求めている。				
2. 論文、まとめのレポートなど	%					
3.	%					
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書	真貝寿明 日常の「なぜ」に答える物理学 森北出版(2015)					
1	教養物理の概念について 初等中等教育における「物理」とは異なる見地に立って物理を考えていく。 予復修課題: 物理現象とは何かについて調べてまとめる(4時間)					
2	登山とアイススケートと圧力鍋 沸点や融点の考え方を理解する。 予復修課題: 高山での炊飯が難しい理由について調べておく(4時間)					
3	樹木と水道と血流 水が送られてくる仕組みから血圧について理解する。 予復修課題: 水撒き用のホースの先を潰すと遠くまで水が飛ぶ理由を調べておく(4時間)					
4	炭酸飲料水と呼吸と酸素欠乏 気体が液体に溶解するためにはある一定値以上の圧力が必要であることを知る。 予復修課題: 炭酸水の作り方について知り、飽和酸素濃度について調べておく(4時間)					
5	柔らかい道具と硬い道具 作用反作用はどこでも利用されていることを考えていく。 予復修課題: 競技用のボールの空気圧が一定の範囲を求める理由を理解する(4時間)					
6	遠投とホームランとロケット 放物線について理解を深め、放出角度と到達距離の関係を理解する。 予復修課題: 室伏広治氏(ハンマー投げ競技者)の物理に関する記事を読み、理解する(4時間)					
7	独楽とフィギュアスケートとハンマー投げ 生活の中で遠心力を知っているからこそ、その理論を理解する。 予復修課題: フィギュアスケートでの回転速度と姿勢の関係について調べておく(4時間)					
8	衣服の色と日焼けと光エネルギー 日焼け止めクリームが役立つ原理を理解する。 予復修課題: 虹の7色の波長について学び、日焼け止めクリームとの関連を調べておく(4時間)					
9	アインシュタインと一円玉 核分裂反応がもたらすエネルギーは質量損失から起こることを理解する。 予復修課題: エネルギーの単位であるジュールとカロリーの違いについて調べておく(4時間)					
10	水力と火力と原子力 同じエネルギーを得るための効率はどうなっているのかを理解する。 予復修課題: 水力発電所と火力発電所の仕組みの違いを調べておく(4時間)					
11	1個とひと箱と物質量 原子物理の世界は非常に小さいがゆえに「物質量」という単位が必要である 予復修課題: アボガドロ数の由来について調べておく(4時間)					
12	運動とエネルギーと食事 三大栄養素がもたらす活動エネルギーについて理解する。 予復修課題: アデノシン三リン酸(ATP)がエネルギー産生に関わっていることを理解する(4時間)					
13	ドミノ倒しと代謝サイクル 途中で途切れるとその先が進まないことを物理と化学の両面から理解する。 予復修課題: タンパク質合成やTCAサイクルについて理解を深める(4時間)					
14	運動と汗と蒸発熱 暑くなっても汗をかかないとなぜ危ないのかを熱伝導と熱容量から理解する。 予復修課題: 蒸発熱について理解する。(4時間)					
15	教養物理のまとめ 化学・生物・材料・栄養との関連について問う 予復修課題: 過去14回の内容を再確認しておく(4時間以上かかります)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	科学を考える【生物】 Aspects of Science (Biology)			単位数	授業内容*	
担当者	西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング					
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	後期			
授業概要	「人」が社会で活動する時に必要な情報としての「人体の仕組みと働き」を取り上げる。食生活、健康、医療など、あふれすぎた情報に惑わされて、物事の本質を見逃してしまうことが少なくない。食や健康の話題を通じて、人間の社会活動に必要な生物学を学ぶ。			1 実生活における生物学：ガイダンスをする。学習する内容、成績評価、到達目標、留意事項などについて説明する。 予復修課題：教科書 p. 1～4まで読んでくること		
授業到達目標	1) 三大栄養素(糖質・脂質・タンパク質)の代謝過程における相互関係について説明できる。 2) 「エイズウィルスはなぜ怖い」、「ホルモン投与の危険性」などよく耳にする事柄について、誰にでもわかるように説明できる。 3) 分子生物学の今後について、考察できるようになる。			2 食べ物からエネルギーをつくる(三大栄養素)：体内でエネルギーを供給する栄養素は、糖質、脂質、タンパク質である。体内でこれらの栄養素が相互に変換されることを学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 23～27まで読み、不明な語句を調べてくること		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				3 食べ物からエネルギーをつくる(解糖系、クエン酸回路)：三大栄養素の中でも糖質は最も重要なエネルギー源である。生物がグルコースからエネルギーを作り出す反応を学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 27～31まで読み、不明な語句を調べてくること		
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				4 食べ物からエネルギーをつくる(脂肪)：有酸素運動や空腹時が続くと血糖は下がり、糖質からのエネルギー供給が不足する。遊離脂肪酸を使って補う仕組みを学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 31～32まで読み、不明な語句を調べてくること		
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				5 食べ物から体をつくる(タンパク質)：生体内では、タンパク質は骨や筋肉、酵素やホルモン、血液成分などを構成している。タンパク質が食物から合成される仕組みを学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 33～35まで読み、不明な語句を調べてくること		
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・授業で登場するキーワードは新聞・雑誌・テレビなどのメディアで登場するものが多い。日常生活の中から、授業に関連するものを自ら探す理解度は高まる。 ・授業時間後の重要箇所の理解度を確認する。また、疑問点は質問し、早期の解決を図ること。 ・毎回予復修課題を60分以上すること。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング ・小テスト[第6回、第11回、第15回]			
1. 小テスト、感想文など		60%				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10%				
5. 授業への参加意欲		30%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書	小野廣紀・内藤通孝 著 『わかる生物学』 化学同人、2016年					
参考書	城田知子ら 著 『イラスト栄養学総論』 東京教学舎、2018年					
				6 食べ物から体をつくる(脂質)小テスト1：脂質は皮下脂肪組織、生体膜の構成成分などとして重要である。脂質の消化・吸収について学ぶ。小テスト1を行う。 予復修課題：教科書 p. 35～39まで読んでくること、小テスト1を行うので復修しておくこと		
				7 細胞から体ができる(細胞の構造と機能)：生物は細胞からできている。ここでは、細胞膜、細胞内小器官といわれる核、ミトコンドリア、ゴルジ体、小胞体などについて学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 5～10まで読み、不明な語句を調べてくること		
				8 細胞から体ができる(組織)：上皮組織、支持組織、骨組織、神経組織について学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 11～16まで読み、不明な語句を調べてくること		
				9 体の調節の仕組み(恒常性)：生物は外部環境が変化しても、生体内の内部環境は変化しないような調節機構を持っている。神経系および内分泌系による調節について学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 53～60まで読み、不明な語句を調べてくること		
				10 体の調節の仕組み(免疫系)：免疫系は細菌やウイルス、異種タンパク質などの異物が生体へ侵入するのを防いだり、排除を行っている。免疫の分類や仕組みなどを学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 60～66まで読み、不明な語句を調べてくること		
				11 体の調節の仕組み(まとめと小テスト2、3) 体の調節の仕組みについての小テスト2と3を行う。 予復修課題：体の調節の仕組みの小テスト2、3を行うので復修しておくこと		
				12 遺伝子組換え：遺伝子組換え技術の原理、利用する意義を学ぶ。 遺伝子組換え作物の紹介をする。 予復修課題：遺伝子組換え作物を調べてくること		
				13 子供が親に似る遺伝のなぞ：アルコールの分解過程と遺伝子の関係について学ぶ。 複対立遺伝子について学ぶ。 予復修課題：教科書 p. 69～73まで読み、不明な語句を調べてくること		
				14 遺伝子の本体DNA：遺伝現象の本体であるDNAの解明の歴史をたどり、現在の分子生物学に至る過程を見ていく。DNA二重らせんの発見、遺伝情報の調節を学ぶ。 予復修課題：教科書 p.82～91まで読み、不明な語句を調べてくること		
				15 全体のまとめと小テスト4：全体のまとめを行う。 第12～14回目の授業の小テストを行う。 予復修課題：第12～14回目の授業の小テスト4を行うので復修しておくこと		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	科学を考える【化学】 Aspects of Science (Chemistry)			単位数	授業内容*	
担当者	田中 雄二 (TANAKA Yuji)			2	1 科学の中の化学 科学の中では化学はどのような位置づけにあるのかを知る。 予復修課題：台所の化学について調べてまとめる(4時間以上)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			専任	2 食と化学 その1(アミノ酸とタンパク質) アミノ酸とタンパク質の関係を学び、アミノ酸の構造と機能について知る 予復修課題：豚肉について調べ、優良食品であることをまとめておく(4時間)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	1-2年生	開講学期	後期			
授業概要	初等中等教育で学ぶ「化学」は「化学式」「化学反応式」などの「化学語」が中心にあり、特殊な科目とみられることが多い。しかしながら身近なところ(実生活)から先端科学技術や医療の領域に至るまで、化学は「物理・生物・環境」を含めた広い領域で必要とされる分野になっている。社会で・世間で起こる様々な事象を化学の眼で理解することは、大学生の教養力として不可欠な要素の一つである。建造物や衣料品、流通など一見「化学」とは縁遠いような物も化学目線で考えると理解しやすいものもある。複合的に化学を学ぶことが目的である。					
授業到達目標	1. 日常生活で体感していることを化学の言葉で説明できる。 2. 物理・生物が化学と密接に関連していることを、具体例を挙げて説明できる。 3. 食と健康の関係が化学であることを理解し、簡単な言葉で説明できる。 4. 素材の違いが製品の違いや性質の違いに結びつくことを、例を挙げて説明できる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	物理・生物・土木・衣料・栄養などを含む多岐に亘る分野を化学の目線で取り扱うので、深い学びが必要となる。「化学」という学問領域が、物理や生物とともにあらゆる領域に関与していることに気づくことを求める。化学式や化学反応式を用いずに化学を理解し、説明できるようになることを求める。			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		10 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		80 %	新出用語や具体的な出来事などをインターネットから引用していく。検出したものが他者との比較によって「確からしい」と判別できる力を伸ばしていくことを求めている。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書	山本善史 『みんなの健康：食品、化学の基礎知識』 オーム社 (2006)					
			地下資源と化学		11 現代生活の基盤を支える地下資源について考えるためにも化学が必要となることを知る 予復修課題：石炭と石油の歴史について調べてまとめる(4時間以上)	
			エネルギーと化学		12 様々なエネルギーを化学の観点から思考していく 予復修課題：温泉とエネルギーの関係を調べてまとめる(4時間)	
			サプリメントと化学		13 サプリメントの利用を考える際、成分を化学的に理解する必要があることを知る 予復修課題：サプリメントの利点欠点について調べてまとめる(4時間)	
			日常生活における化学目線の持ち方		14 化学に親しむ考え方の素地を身につけるヒントを理解し、実践する 予復修課題：1日の過ごし方についてまとめる(4時間)	
			教養化学のまとめ		15 日常生活全般を化学の言葉で説明できるかどうかについて振り返る(試験あり) 予復修課題：過去14回の内容を再確認しておく(4時間以上)	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	生命と環境 Life and the Environment		単位数	授業内容*	
担当者	田中 雄二 (TANAKA Yuji)		2	1 環境の概念について 環境に関する内容が多岐にわたり、それらが相互に関連していることを理解する。 予復修課題：環境問題というキーワードでレポートを作成する(4時間)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		専任	2 生命体を構成する元素について 生命現象を理解するうえで「元素」について詳しく知る。 予復修課題：周期表について復修をしておく(4時間)	
授業形式	講義	科目区分	総合共通科目	3 河川と海洋と水質汚濁 「水がきれい」ということがどういう意味を持っているのかを理解する。 予復修課題：水の透明度について調べてまとめておく(4時間)	
配当年次	1-2年生	開講学期	前期/後期	履修学部	経済学部・ｽｰｯ学部共通
授業概要	生命体はその種を問わず、日々の環境の中で生活している。望ましい生活環境は種によって異なるので、自然保護活動が自然環境破壊に繋がることもありうる。この講義では生物に求められる環境とはなにか、環境の変化によってどういう影響が及ぶのかなど、生物と環境の関係について身近な話題を素材として学んでいく。その上で「人間にとっての環境」がいかに地球環境を破壊しているのかについても実感を伴う形で学んでいく。		4 生活と排水と浄化 水道水の消毒や排水浄化について理解を深め、薬品の大切さを知る。 予復修課題：日本の上水道に関する法律を調べて各自の理解に応じてまとめておく(4時間)		
授業到達目標	生活環境と科学の関連性を説明できる 人間の社会活動が生命体の生存環境に影響を与えていることが説明できる 人間にとって有益なことが害悪となって返ってきていることを例を挙げて説明できる		5 肥料と収穫と除草剤 植物の生育メカニズムから「農業」を理解する。 予復修課題：除草剤について調べてまとめておく(4時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	自然科学や社会科学の幅広い範囲が講義内容に登場してくるので、講義を聞くだけでは理解し難い部分が多くなる。新聞や雑誌、ニュースなどの話題をしっかりと得ながら、身近な環境に関する話題をベースにして生命との関わりを理解できるようにする。			
1. 小テスト、感想文など	10 %	アクティブ・ラーニング 新出用語や具体的な出来事などをインターネットから引用していく。検出したものが他者との比較によって「確からしい」と判別できる力を伸ばしていくことを求めている。			
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	10 %				
4. 授業中の発表、討論	%				
5. 授業への参加意欲	%				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7.	%				
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	80 %				
2. 論文、まとめのレポートなど	%				
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書					
15 生命と環境に関する学びのまとめ 生物・化学・栄養との関連について問う 予復修課題：過去14回の内容を再確認しておく(4時間以上かかります)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語 English		単位数	授業内容*	
担当者	川満 潤 (KAWAMITSU Jun) 村田 美和子 (MURATA Miwako)		1	1	イントロダクション (教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 英語学習開始のためのアイスブレイキング 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			2	Unit 1: Welcome to Japan その1 予復修課題: 予修:教科書Unit 1前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	3	Unit 1: Welcome to Japan その2 予復修課題: 予修:教科書Unit 1後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
配当年次	2年生	開講学期 前期	経済学部・スポーツ学部共通	4	Unit 2: That Sounds Like Fun その1 予復修課題: 予修:教科書Unit 2前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し
授業概要	<p>本科目では、英語 および英語 で固めた基礎を土台として、日常生活で使われる英文の理解をさらに深め、運用できる力を4技能を通してバランスよく涵養することを目指します。授業で学んだ文法事項を使い、日常生活で使える英文の作成や日常生活に関わる200-300語程度の長文理解のための学習を行います。英語圏諸国の基本的文化理解も適宜行います。</p>				
授業到達目標	<p>修得した文法知識や表現方法を使って日常的に使われる英文や、やや複雑な英語表現を理解することができ、簡単な英文を作成することができる。また学習によって得られた知識を基に200-300語程度の英文を読解することができる。英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。</p>				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					
【知識・技能】			キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。		
【思考力・判断力・表現力】			本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。		
【主体性・協働性】			自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。		
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 授業には教科書と辞書を持参すること。 2) 授業の予修・復修には、毎回1時間以上はかけること。		
1. 小テスト、感想文など		%			
2. 中間テスト		%			
3. 課題レポートなどの提出物		%			
4. 授業中の発表、討論		%			
5. 授業への参加意欲		%			
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%			
7. 1から6を総合して		40 %			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		60 %	事前学習型授業 [第2回 ~ 第14回]		
2. 論文、まとめのレポートなど		%			
3.		%			
再評価の実施	する	しない			
教科書	『ENGLISH FIRST BASIC』 (金星堂)				
参考書					
				15	総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	英語 English		単位数	授業内容*	
担当者			1	1	イントロダクション(教科書の確認、授業時の注意、評価方法の確認など) 英語学習開始のためのアイスブレイキング 予復修課題: 予修:なし 復修:授業で説明されたことの見直し
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2	Unit 8: I'll Remember That その1 予復修課題: 予修:教科書Unit 8前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	3	Unit 8: I'll Remember That その2 予復修課題: 予修:教科書Unit 8後半の練習問題を解く 復修:練習問題の見直し
配当年次	3-4年生	開講学期 後期	経済学部・スポーツ学部共通	4	Unit 9: Hiro Forgot その1 予復修課題: 予修:教科書Unit 9前半の英文、文法説明を読む 復修:読解内容、練習問題の見直し
授業概要	本科目では、英語 および英語 で固めた基礎を土台として、日常生活で使われる英文の理解をさらに深め、運用できる力を4技能を通してバランスよく涵養することを目指します。授業で学んだ文法事項を使い、日常生活で使える英文の作成や日常生活に関わる200-300語程度の長文理解のための学習を行います。英語圏諸国の基本的文化理解も適宜行います。				
授業到達目標	修得した文法知識や表現方法を使って日常的に使われる英文や、やや複雑な英語表現を理解することができ、簡単な英文を作成することができる。また学習によって得られた知識を基に200-300語程度の英文を読解することができる。英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業内容は、変更されることがあります。卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。			
1. 小テスト、感想文など	%				
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	%				
4. 授業中の発表、討論	%				
5. 授業への参加意欲	%				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7.	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%				
2. 論文、まとめのレポートなど	%				
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書					
				15	総まとめ まとめのテストと総括 予復修課題: 予修:第14回目までの授業で学んだ練習問題の総合的な振り返り

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	フランス語 再履修用		単位数	授業内容*	
	French		1	オリエンテーション	
担当者	渡辺 佳奈 (WATANABE Kana)		非常勤講師	1 0課「フランス語の発音と綴り字」：アルファベット、単母音、複母音 予復修課題：予修：知っているフランス語をメモしておく。	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	2 0課「フランス語の発音と綴り字」：鼻母音、半母音、子音 予復修課題：予復修：単母音、複母音、鼻母音、半母音、子音を発音する。	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通
配当年次	1年生	開講学期	前期		
授業概要	初心者を対象にしたフランス語です。基礎フランス語文法、初歩のフランス語会話表現を講義します。フランス語の仕組みを説明した後、フランス語の文章を読み、CDでフランス人の発音を聞き、練習問題を行います。また、実際に受講生同士あるいは教員との会話練習を通してフランス語でのコミュニケーションを実践します。講義ではフランス文化も紹介し、異文化に対する理解を深めます。				
授業到達目標	1. フランス語の文章を音読することができる。 2. 自己紹介や物を説明するなど、平易な会話をフランス語で行うことができる。 3. 動詞êtreやavoir、規則動詞の活用、形容詞、冠詞、疑問文、否定文などの練習問題に答えることができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・授業中においては積極的に参加し、発言を行ってください。 ・授業の予復修を約1時間行くと一層理解が深まります。		
1. 小テスト、感想文など		20 %			
2. 中間テスト		%			
3. 課題レポートなどの提出物		%			
4. 授業中の発表、討論		%			
5. 授業への参加意欲		20 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			
7.		%			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		60 %	・毎回、ペアもしくは少人数のグループでフランス語の会話練習を行います。		
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・小テスト[第6回、第10回、第14回]		
3.		%			
再評価の実施	する	しない			
教科書	藤田裕二『パリ ボルドー』朝日出版社				
参考書					
				3 1課「自己紹介」：主語人称代名詞、動詞êtreの活用、国籍を表わす形容詞 予復修課題：予修：予定範囲を音読する。復修：既に行った範囲を音読する。	
				4 1課「自己紹介」：国籍について質問し合う、11頁のディアログ、世界の中のフランス語について 予復修課題：予修：11頁のディアログの内容を予想する。復修：指定内容を暗唱する。	
				5 1課「自己紹介」：自己紹介文を作る、11頁のディアログを部分的に変えてロールプレイを行う 予復修課題：予修：自己紹介文をフランス語で作る。復修：今までの範囲を総復修する。	
				6 小テスト 2課「物を指し示す」：名詞と不定冠詞、指示代名詞ce 予復修課題：予修：予定範囲のフランス語を発音の法則にて読めるのか確認しておく。	
				7 2課「物を指し示す」：名詞の後ろに置く形容詞、名詞の前に置く形容詞、形容詞を使用して2文を1文にする練習 予復修課題：復修：今までの文法事項で不明な点がないかを確認、整理をする。	
				8 2課「物を指し示す」：15頁のディアログ、フランスの中のクールジャパン、CDのネイティブの音声を真似てみる 予復修課題：予修：15頁のディアログを音読する。復修：自分の単語帳を作る。	
				9 3課「尋ねる」：規則動詞(-er動詞)の活用、定冠詞、街にあるものを定冠詞をつけて発音する練習 予復修課題：予修：予定範囲のフランス語を発音の法則にて読めるのか確認しておく。	
				10 小テスト 3課「尋ねる」：不定冠詞と定冠詞の違い、モンパルナス地区について 予復修課題：復修：今までの文法事項で不明な点がないかを確認、整理をする。	
				11 3課「尋ねる」：19頁のディアログ、19頁のディアログを自分たち用に変える、自分たち用に変えたディアログを発表 予復修課題：予修：ディアログ作成に使えるような単語を選んでおく。	
				12 4課「買い物をする」：指示形容詞ce、動詞avoirの活用、数字1~30、名詞に指示形容詞をつける練習、「～はもっていますか」と尋ねる練習 予復修課題：予修：予定範囲を音読する。復修：既に行った範囲を音読する。	
				13 4課「買い物をする」：第1群規則動詞を否定形にする練習、質問に対して否定で答え練習、パリの市場でおすすめのものは何か 予復修課題：復修：今までの文法事項で不明な点がないかを確認、整理をする。	
				14 小テスト 4課「買い物をする」：25頁のディアログ、朝市で買い物をする 予復修課題：予復修：数字にユーロを付けた場合の発音を練習する。	
				15 前期の総括 まとめのテスト 予復修課題：今までの範囲を復修し、難しかった所を質問できるようメモしておく。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	フランス語 再履修用		単位数	授業内容*	
	French		1	1 オリエンテーション フランス語 の復修 予復修課題： 予修:覚えているフランス語(単語や文)をメモしておく。	
担当者	渡辺 佳奈 (WATANABE Kana)		非常勤講師	2 5課「物事や人について尋ねる」：動詞allerと近接未来、疑問代名詞queとqui、ペアで「～に行きますか?」「はい、行きます」の会話練習 予復修課題： 予修:予定範囲を音読し、わからない単語を調べる。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			3 5課「物事や人について尋ねる」：不規則動詞、ペアで「あなたは何をしていますか?」「私は～をしています」の応答練習、フランスの主要都市 予復修課題： 予修:予定範囲を音読する。 復修:既に行った範囲を音読する。	
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	4 5課「物事や人について尋ねる」：疑問詞を使い質問文を作る、パリの鉄道の駅、29ページのディアローグ、29ページのディアローグでフランス語の速さを調整してみる 予復修課題： 復修:5課の総復修を行う。	
配当年次	1年生	開講学期 後期	経済学部・スポーツ学部共通	5 6課「場所を尋ねる」：所有形容詞、名詞に様々な所有形容詞をつける練習、疑問形容詞、名詞に疑問形容詞を付ける練習 予復修課題： 予修:予定範囲を音読する。 復修:指定内容を暗唱する。	
授業概要	フランス語 で学んだことを復修しつつ、基礎フランス語文法、初歩のフランス語会話表現の知識を増やしていく講義となります。フランス語の仕組みを解説した後、文法の練習問題を行い、Cdでネイティブの発音を聞きながら、耳をならしていく作業を行います。また、受講生同士あるいは教員との会話練習を通してフランス語でのコミュニケーションを実践します。講義ではフランス文化も紹介し、異文化に対する理解を深めます。				
授業到達目標	1. フランス語の文章を音読することができる。 2. 質問をし、答えるという会話をフランス語で行うことができる。 3. 重要な動詞や助動詞の活用、所有形容詞、疑問形容詞、補語人称代名詞などの練習問題に答えることができる。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP)と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					
【知識・技能】			キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。		
【思考力・判断力・表現力】			本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。		
【主体性・協働性】			自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。		
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・授業中においては積極的に参加し、発言を行ってください。 ・授業の予復修を約1時間行くと一層理解が深まります。			
1. 小テスト、感想文など	20 %				
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	%				
4. 授業中の発表、討論	%				
5. 授業への参加意欲	20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7.	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	60 %	・毎回、ペアもしくは少人数のグループでフランス語の会話練習を行います。			
2. 論文、まとめのレポートなど	%	・小テスト[第6回、第10回、第14回]			
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書	藤田裕二『パリ ボルドー』朝日出版社				
参考書					
				15 前期の総括 まとめのテスト 予復修課題： 今までの範囲を復修し、難しかった所を質問できるようメモしておく。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		堀口 英則 (HORIGUCHI Hidenori) 尾上 百合加 (ONOUE Yurika)		1	1 進路希望調査とナビ会社登録【全体】 進路希望調査を実施し、受講者の進路確認を行う。合わせてナビ会社の利用登録を実施 予復修課題：復修：配付資料を参考に、採用活動を再確認する。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF3101・ERF3101・SSF3101	2 授業ガイダンス 就職環境の説明 前期授業の目的・評価について 授業目的の理解とモチベーションを喚起・夏季インターンシップへの参加と差別化 予復修課題：復修：ナビ会社のWebサイトから、インターン情報を入手しまとめる。	
授業形式		実習		科目区分 総合共通科目	3 グループディスカッションGD テーマ：ロジカルシンキング 砂漠ゲーム 予復修課題：復修：他者の良い意見を参考に、自身で再度検討する。	
配当年次		3年生		履修学部 経済学部・スポーツ学部共通	4 インターンシップ案内(協議会・マイナビ・リクナビ)【全体・分散】 インターンシップの説明と注意点、参加情報の取り方などを講義する。 予復修課題：復修：夏のインターン参加に向けた計画作成	
開講学期		前期		5 グループディスカッションGD テーマ：ロジカルシンキング イタメシ店の利益減少 予復修課題：復修：他者の良い意見を参考に、自身で再度検討する。		
授業概要		この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。 就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む 企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの 就職活動を強力にサポートします。 前期授業のキャリアデザイン では、夏季インターンシップへの参加を目指します。				
授業到達目標		自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査により自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業はチームビルディングを学ぶためにグループディスカッション形式で行われることが多くあります。そのため遅刻早退はみとめられません。また、前期後期とも授業終了後に定期試験は実施しませんので、普段の授業の出席やレポート、受講態度の評価が全てです。			
1. 小テスト、感想文など		30 %	予復修課題取組時間：1時間程度			
2. 中間テスト		%	アクティブ・ラーニング			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	模擬試験 [第12・14回]			
4. 授業中の発表、討論		%	グループディスカッション [第3・5・13回]			
5. 授業への参加意欲		40 %	実践学習 [第4・10・11回]			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	論文作成講座 [第7回]			
7. 授業・インターンへの意欲態度		%				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		%				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		適宜資料を配付				
参考書						
		11 学内業界研究セミナー 【全体】 金融・商社・メーカー・運輸など、各業界が実施するインターンの説明 予復修課題：復修：興味ある業種・企業などのキーワードから、参加できるインターンを探す				
		12 SPI模試【全体・分散】 文化放送キャリアパートナーズ(SPI模試) 予復修課題：予修：就職模擬試験への学習				
		13 グループディスカッションGD テーマ：価値観・マトリックス 予復修課題：復修：他者の良い意見を参考に、自身で再度検討する。				
		14 クレペリンテスト クレペリンテスト 予復修課題：復修：繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。				
		15 インターンシップマナー説明【全体・分散】 インターンへ向けた服装・挨拶・連絡方法に関するマナー講座 予復修課題：復修：夏のインターンに向けた登録と準備				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)		林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF3101・ERF3101・SSF3101		
授業形式		実習		科目区分 総合共通科目		
配当年次		3年生		履修学部 経済学部・スポーツ学部共通		
開講学期		前期				
授業概要		この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。前期授業のキャリアデザインでは、夏季インターンシップへの参加を目指します。				
授業到達目標		自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査により自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業は就職活動に必要な基礎知識を学び、今、何が出来るか?、何を行動するか?判断できることを目標とします。SPI試験に対する演習を取り入れます。就職活動で求められる書類作成を学びます。小テスト、レポート、授業への参加意欲が、評価対象です。遅刻も厳しく対応します。予復修課題取組時間:1時間程度			
1. 小テスト、感想文など		30 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 授業・インターンへの意欲態度		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	模擬試験 [第12・13回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	グループディスカッション [第14回]			
		%	実践学習 [第4・10・11回]			
再評価の実施		する	しない			
再評価の実施		する	しない			
再評価の実施		する	しない			
教科書		適宜資料を配付				
参考書						
1		進路希望調査とナビ会社登録【全体】 進路希望調査を実施し、受講者の進路確認を行う。合わせてナビ会社の利用登録を実施 予復修課題: 復修:配付資料を参考に、採用活動を再確認する。				
2		授業ガイダンス 就職環境の説明 前期授業の目的・評価について 授業目的の理解とモチベーションを喚起・夏季インターンシップへの参加と差別化 予復修課題: 復修:ナビ会社のWebサイトから、インターン情報を入手しまとめる。				
3		将来設計図、SPI演習(割合) 大学卒業から、30代、40代と各年代ごとの生活・就労状況を描く。SPI演習(割合) 予復修課題: 復修:長期的な将来設計を考える				
4		インターンシップ案内(協議会・マイナビ・リクナビ)【全体・分散】 インターンシップの説明と注意点、参加情報の取り方などを講義する。 予復修課題: 復修:夏のインターン参加に向けた計画作成				
5		大学生生活と目標、SPI演習(濃度) 大学生生活における「学び」を考え、今、何を行動すべきか考察。SPI演習(濃度) 予復修課題: 復修:学生生活での具体的な行動計画を作成				
6		就職情報検索、SPI演習(商い) 利用者登録を行った就職ナビサイトを活用し、企業情報を検索。SPI演習(商い) 予復修課題: 復修:気になる企業情報を検索し、就職手帳に記録する				
7		論作文、SPI演習 自己分析に関する論作文を考える 予復修課題: 復修:作文と、「論ずる」ことの違いを振り返る				
8		自己PR作成、面談、SPI演習(速さ) 例文を参考に自己PRを作成し、その評価と併せ面談を実施。SPI演習(速さ) 予復修課題: 復修:例文を参考に、自己PRを作成				
9		自己PR作成、面談、SPI演習(速さ) 例文を参考に自己PRを作成し、その評価と併せ面談を実施。SPI演習(速さ) 予復修課題: 復修:例文を参考に、自己PRを作成				
10		4年生インターンシップ体験談【全体・分散】 先輩のインターンシップ体験談を聴き、参加計画に活かす 予復修課題: 復修:体験談のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす				
11		学内業界研究セミナー【全体】 金融・商社・メーカー・運輸など、各業界が実施するインターンの説明 予復修課題: 復修:興味ある業種・企業などのキーワードから、参加できるインターンを探す				
12		SPI模試【クラス実施】 文化放送キャリアパートナーズ(SPI模試) 予復修課題: 復修:繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。				
13		クレペリンテスト 予復修課題: 予修:就職模擬試験への学習				
14		グループディスカッション体験 堀口先生によるグループディスカッション体験 予復修課題: 復修:選考方法(グループワーク)に対する調査				
15		インターンシップマナー説明【全体・分散】 インターンに向けた服装・挨拶・連絡方法に関するマナー講座 予復修課題: 復修:夏のインターンに向けた登録と準備				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		水井 雅彦 (MIZUI Masahiko)		ほか	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF3101・ERF3101・SSF3101		1 進路希望調査とナビ会社登録【全体】 進路希望調査を実施し、受講者の進路確認を行う。合わせてナビ会社の利用登録を実施 予復修課題：復修：配付資料を参考に、採用活動を再確認する。
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	2 授業目的の理解とモチベーションを喚起・夏季インターンシップへの参加と差別化 予復修課題：復修：ナビ会社のWebサイトから、インターン情報を入手しまとめる。	
配当年次	3年生	開講学期	前期	経済学部・スポーツ学部共通		3 将来設計図、SPI演習（割合） 大学卒業から、30代、40代と各年代ごとの生活・就労状況を描く。SPI演習（割合） 予復修課題：復修：長期的な将来設計を考える
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。 就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む 企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの 就職活動を強力にサポートします。 前期授業のキャリアデザイン では、夏季インターンシップへの参加を目指します。					
授業到達目標	自己分析（夏季インターンシップのためのエントリーシート作成）ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査により自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング（人と協力して成果を上げる力）を取得することができる					
卒業認定・学位授与の方針（DP）と授業到達目標との関係（特に関係する 関係する）						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法（全体で100%）			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業は就職活動に必要な基礎知識を学び、今、何が出来るか？、何を行動するか？判断できることを目標とします。			
1. 小テスト、感想文など		30 %	SPI試験に対する演習を取り入れます。			
2. 中間テスト		%	就職活動で求められる書類作成を学びます。			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	小テスト、レポート、授業への参加意欲が、評価対象です。遅刻も厳しく対応します。			
4. 授業中の発表、討論		%	予復修課題取組時間：1時間程度			
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習（予習・復習など）		%				
7. 授業・インターンへの意欲態度		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	模擬試験 [第12・14回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	グループディスカッション [第15回]			
		%	実践学習 [第4・10・11回]			
再評価の実施	する	しない				
教科書	適宜資料を配付					
参考書						
			11 学内業界研究セミナー【全体】 金融・商社・メーカー・運輸など、各業界が実施するインターンの説明 予復修課題：復修：興味ある業種・企業などのキーワードから、参加できるインターンを探す			
			12 SPI模試【クラス実施】 文化放送キャリアパートナーズ（SPI模試） 予復修課題：復修：繰返し単純作業に関する自身の適性を検討する。			
			13 インターンシップマナー説明【クラス実施】 インターンへ向けた服装・挨拶・連絡方法に関するマナー講座 予復修課題：復修：夏のインターンに向けた登録と準備			
			14 クレペリンテスト【クラス実施】 クレペリンテスト 予復修課題：予修：就職模擬試験への学習			
			15 グループディスカッション体験 堀口先生によるグループディスカッション体験 予復修課題：復修：選考方法（グループワーク）に対する調査			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 留学生用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		1	1 進路希望調査とナビ会社登録【全体】 進路希望調査を実施し、受講者の進路確認を行う。合わせてナビ会社の利用登録を実施 予復修課題：復修：配付資料を参考に、採用活動を再確認する。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		専任	2 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(1) 1950年代の時代背景、政治・経済状況 予復修課題：予修：1950年代の日本の時代背景を年表等で確認しておくこと。	
授業形式	実習	科目区分 総合共通科目	EEF3101	3 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(2) 1950年代の社会状況、人びとの暮らし、ライフスタイル 予復修課題：復修：1950年代の日本の時代背景の概要を自分で説明できるようにすること。	
配当年次	3年生	開講学期 前期	履修学部 経済学部	4 インターンシップ案内(協議会・マイナビ・リクナビ)【全体・分散】 インターンシップの説明と注意点、参加情報の取り方などを講義する。 予復修課題：復修：夏のインターン参加に向けた計画作成	
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路(教員・公務員・スポーツ就職希望者は除く)を獲得するためのものです。就職先などどこだっていると考えているのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。 前期授業のキャリアデザインでは夏季インターンシップへの参加を目指します。			5 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(3) 1950年代の働き方、人生設計 予復修課題：復修：1950年代の人びとの働き方を自分で説明できるようにすること。	
授業到達目標	自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査により自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる			6 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(4) 1950年代の働き方と暮らし、人生設計のまとめ 予復修課題：復修：1950年代の人びとの働き方と暮らしを自分で説明できるようにすること。	
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)			7 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(5) 1960年代の時代背景、政治・経済状況 予復修課題：予修：1960年代の出来事を年表等で確認しておくこと。	
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。			8 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(6) 1960年代の社会状況、人びとの暮らし、ライフスタイル 予復修課題：復修：1960年代の日本の時代背景の概要を自分で説明できるようにすること。	
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。			9 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(7) 1960年代の働き方、人生設計 予復修課題：復修：1960年代の人びとの働き方を自分で説明できるようにすること。	
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。			10 4年生インターンシップ体験談【全体・分散】 先輩のインターンシップ体験談を聴き、参加計画に活かす 予復修課題：復修：体験談のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす	
	成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・本授業は合同授業とクラス別授業(留学生)で構成される		11 学内インターンシップ説明会【全体】 金融・商社・メーカー・運輸など、各業界が実施する講演形式でのインターン説明 予復修課題：復修：興味ある業種・企業などのキーワードから、参加できるインターンを探す	
1. 小テスト、感想文など	60%	・合同授業では日本の就職活動における実践的な活動の実態を学ぶ(1,4,8,11,12,14,15回)		12 SPI模試【全体・分散】 文化放送キャリアパートナーズ「SPI模試」 予復修課題：予修：就職模擬試験への学習	
2. 中間テスト	%	・クラス別授業では戦後日本における働き方と暮らしをテーマに、どのような経済・社会状況の中で人々は働きながら暮らし、人生を設計してきたかを学ぶ(2,3,5,6,7,9,10,13回)		13 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(8) 1960年代の働き方と暮らし、人生設計のまとめ 予復修課題：復修：1950年代および1960年代の働き方と暮らし、人生設計について自分で説明できるようにすること。	
3. 課題レポートなどの提出物	%			14 クレペリンテスト 予復修課題：復修：繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。	
4. 授業中の発表、討論	%			15 インターンシップマナー説明【全体・分散】 インターンへ向けた服装・挨拶・連絡方法に関するマナー講座 予復修課題：復修：夏のインターンに向けた登録と準備	
5. 授業への参加意欲	40%				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7. 授業・インターンへの意欲態度	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%	模擬試験 [第12・14回]			
2. 論文、まとめのレポートなど	%	実践学習 [第4・10・11回]			
	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書	適宜資料を配付				
参考書	小熊英二『日本社会のしくみ』講談社現代新書2019年 / 河野康子『戦後と高度成長の終焉』講談社2002年				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 再履修用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	園田 裕虎(SONODA Hirotora)		1	専任	1 ガイダンス キャリアデザイン (再) 調査票の記入: 今期とキャリアデザイン (再) 受けるにあたっての抱負など 予復修課題: 予修: 単位取得状況や就学・生活状況をまとめておく。
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		2		2 コミュニケーショントレーニングのための自己分析ワーク 予復修課題: 分析の結果をまとめる。
授業形式	実習	科目区分 総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 キャリアポートフォリオの作成 予復修課題: 予修: 大学での目標・今年度の計画、週間計画等をまとめておく。
配当年次	4年生	開講学期 前期			4 キャリアポートフォリオに基づく反省と今後の計画の文書化 予復修課題: 復修: 次回のスピーチに向けての準備。
授業概要	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。 また、グループワークに取組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。				5 キャリアポートフォリオに基づく反省と今後の計画のスピーチ 予復修課題: 予修: スピーチの準備 復修: スピーチでの結果を再度確認する。
授業到達目標	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。 2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。 3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。 4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。 5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。				6 自己PRと大学時代に力を入れたことの文書作成のための材料書き出し(自己分析) 予復修課題: 予修: 過去の自分を振り返り、簡単なメモを作成しておく。
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				7 自己PRと大学時代に力を入れたことの文書作成 予復修課題: 予修: 振り返りを基に文書化のための材料の整理。
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				8 自己PRと大学時代に力を入れたことのPower Point作成 予復修課題: 予修: 自己PRと大学時代に力を入れたことの文書の吟味。
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				9 自己PRと大学時代に力を入れたことのPower Pointによるスピーチ 予復修課題: 復修: 得たことを文書化する。スピーチの反省と改善点を再度まとめる。
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				10 自己PRと大学時代に行ったことの文書推敲(大学指定の履歴書を使用) 予復修課題: 予修: 自己PRと大学時代に行ったことの文書を再度読み直す。
	成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項		11 ディスカッション資料の作成 (Word使用) 予復修課題: 予修: ディスカッションのテーマを考えて、何をどのようにするかメモを作成しておく。
	1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。		12 ディスカッションのためのPower Point作成 予復修課題: 予修: Power Point作成の準備。
	1. 小テスト、感想文など	%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。		13 作成したPower Pointに基づきプレゼンテーションとディスカッション 予復修課題: 復修: プレゼンテーションの反省点を整理しておく。
	2. 中間テスト	%	3) 受講者の人数などを考慮して、座席指定を行う場合がある。		14 作成したPower Pointに基づきプレゼンテーションとディスカッション 予復修課題: 復修: 得たことや反省点をメモに整理しておく。
	3. 課題レポートなどの提出物	50 %	4) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。		15 キャリアデザイン (再) のまとめとキャリアデザイン (再) を受けての自己評価 予復修課題: 予修: キャリアデザイン (再) の内容を整理し、振り返る。
	4. 授業中の発表、討論	10 %			
	5. 授業への参加意欲	30 %			
	6. 自主的学習(予習・復習など)	%			
	7.	%			
	2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング		
	1. まとめのテスト	%	・課題解決型学習[第1,2,3,4,6,7,8,10,11,12,15回]		
	2. 論文、まとめのレポートなど	10 %	・グループディスカッション[第13,14回]		
	3.	%	・プレゼンテーション[第5,9,13,14回]		
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書	適宜プリント、テキストなどを配付する。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザインⅡ Career Design Ⅱ		単位数	授業内容*	
担当者	辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)		1	1 進路希望調査とナビ会社登録【全体】 進路希望調査を実施し、受講者の進路確認を行う。合わせてナビ会社の利用登録を実施 予復修課題：復修:配付資料を参考に、採用活動を再確認する。
実務経験のある教員による授業	ナンバリング		EEF3101・ERF3101		2	2 授業ガイダンス 就職環境の説明 前期授業の目的・評価について 授業目的の理解とモチベーションを喚起・夏季インターンシップへの参加と差別化 予復修課題：復修:ナビ会社のWebサイトから、インターン情報を入手しまとめる。
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	
配当年次	3年生	開講学期	前期			
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。 就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む 企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの 就職活動を強力にサポートします。 前期授業のキャリアデザインⅡでは、夏季インターンシップへの参加を目指します。				3	3 将来設計図、SPI演習（割合） 大学卒業から、30代、40代と各年代ごとの生活・就労状況を描く。SPI演習（割合） 予復修課題：復修:長期的な将来設計を考える
授業到達目標	①自己分析（夏季インターンシップのためのエントリーシート作成）ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査により自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング（人と協力して成果を上げる力）を取得することができる				4	4 インターンシップ案内（協議会・マイナビ・リクナビ）【全体・分散】 インターンシップの説明と注意点、参加情報の取り方などを講義する。 予復修課題：復修:夏のインターン参加に向けた計画作成
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				◎	5 大学生活と目標、SPI演習（濃度） 大学生活における「学び」を考え、今、何を行動すべきか考察。SPI演習（濃度） 予復修課題：復修:学生生活での具体的な行動計画を作成
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				○	6 就職情報検索、SPI演習（商い） 利用者登録を行った就職ナビサイトを活用し、企業情報を検索。SPI演習（商い） 予復修課題：復修:気になる企業情報を検索し、就職手帳に記録する
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				◎	7 論作文、SPI演習 自己分析に関する論作文を考える 予復修課題：復修:作文と、「論ずる」ことの違いを振り返る
成績評価の方法（全体で100%）		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業は就職活動に必要な基礎知識を学び、今、何が出来るか？、何を行動するか？判断できることを目標とします。				
1. 小テスト、感想文など	30 %	SPI試験に対する演習を取り入れます。				
2. 中間テスト	%	就職活動で求められる書類作成を学びます。				
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	小テスト、レポート、授業への参加意欲が、評価対象です。遅刻も厳しく対応します。				
4. 授業中の発表、討論	%	予復修課題取組時間：1時間程度				
5. 授業への参加意欲	40 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7. 授業・インターンへの意欲態度	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	%	模擬試験 [第13・14回]				
2. 論文、まとめのレポートなど	%	グループディスカッション [第12回]				
	%	実践学習 [第4・10・11回]				
再評価の実施	する ○ しない	論作文講座 [第7回]				
教科書	適宜資料を配付					
参考書						
					11	11 学内業界研究セミナー①【全体】 金融・商社・メーカー・運輸など、各業界が実施するインターンの説明 予復修課題：復修:興味ある業種・企業などのキーワードから、参加できるインターンを探す
					12	12 グループディスカッション体験① 堀口先生によるグループディスカッション体験① 予復修課題：復修:選考方法(グループワーク)に対する調査
					13	13 SPI模試【クラス実施】 文化放送キャリアパートナーズ (SPI模試) 予復修課題：予修:就職模擬試験への学習
					14	14 クレペリンテスト クレペリンテスト 予復修課題：復修:繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。
					15	15 インターンシップマナー説明【全体・分散】 インターンへ向けた服装・挨拶・連絡方法に関するマナー講座 予復修課題：復修:夏のインターンに向けた登録と準備

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	堀口 英則 (HORIGUCHI Hidenori)	尾上 百合加 (ONOUE Yurika)	1	1	初回ガイダンス、クレペリンテスト解説 講義ガイダンス。クレペリンが実施される業種・企業など、基本情報を整理する。 予復修課題：復修：繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。
実務経験のある教員による授業		ナンパリング	EEF3201・ERF3201・SSF3201	2	グループディスカッションGD テーマ：ロジカルシンキング いろは銀行 予復修課題：復修：他者の良い意見を参考に、自身で再度検討する。
授業形式	実習	科目区分 総合共通科目	履修学部	3	SPI模試の診断結果解説 ライフラインチャート 前期第12回で実施したSPI模試の診断結果解説。併せて、ライフラインチャート2回目。 予復修課題：復修：数学・言語の得点向上に対する計画作成と学習
配当年次	3年生	開講学期 後期	経済学部・スポーツ学部共通	4	グループディスカッションGD テーマ：マトリックス 平和中学校 予復修課題：復修：他者の良い意見を参考に、自身で再度検討する。
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路（教員・公務員・スポーツ就職希望者は除く）を獲得するためのものです。就職先などどこだっていると考えているのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。 後期授業のキャリアデザイン では、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。				
授業到達目標	自己分析（履歴書・エントリーシート作成）ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査による自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング（人と協力して成果を上げる力）を取得することができる				
	卒業認定・学位授与の方針（DP）と授業到達目標との関係（特に関係する 関係する）				
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
	成績評価の方法（全体で100%）		履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業はチームビルディングを学ぶためにグループディスカッション形式で行われることが多くあります。そのため遅刻早退はみとめられません。また、前期後期とも授業終了後に定期試験は実施しませんので、普段の授業の出席やレポート、受講態度の評価が全てです。			
1. 小テスト、感想文など	30 %	予復修課題取組時間：1時間程度			
2. 中間テスト	%	アクティブ・ラーニング			
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	実践学習 [第5・9・13回]			
4. 授業中の発表、討論	%	体験学習 [第6・11・12回]			
5. 授業への参加意欲	40 %	グループディスカッション [第2・4回]			
6. 自主的学習(予習・復習など)	%	模擬試験 [第10回]			
7. 授業・インターンへの意欲態度	%				
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	%				
2. 論文、まとめのレポートなど	%				
	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書	適宜資料を配付				
参考書					
				5	就職活動についての諸注意 キャリア科目最後の講義として、合同企業セミナーや学内イベントに対する講義。 予復修課題：就職活動に向けた準備確認と行動計画の作成 そして実行

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)		林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF3201・ERF3201・SSF3201		1 初回ガイダンス、クレペリンテスト解説 講義ガイダンス。クレペリンが実施される業種・企業など、基本情報を整理する。 予復修課題：復修：繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
配当年次	3年生	開講学期	後期			
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。 就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。 後期授業のキャリアデザインでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。					
授業到達目標	自己分析（履歴書・エントリーシート作成）ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査による自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング（人と協力して成果を上げる力）を取得することができる					
卒業認定・学位授与の方針（DP）と授業到達目標との関係（特に関係する 関係する）						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法（全体で100%）			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業は就職活動に必要な基礎知識を学び、今、何が出来るか？、何を行動するか？判断できることを目標とします。			
1. 小テスト、感想文など		30 %	SPI試験に対する演習を取り入れます。			
2. 中間テスト		%	就職活動で求められる書類作成を学びます。			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	レポート、課題作成など授業への参加意欲が評価対象です。遅刻も厳しく対応します。			
4. 授業中の発表、討論		%	予復修課題取組時間：1時間程度			
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習（予習・復習など）		%				
7. 授業・インターンへの意欲態度		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	実践学習 [第9・10・13回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	体験学習 [第5・11・12回]			
		%	グループディスカッション [第6回]			
再評価の実施	する	しない	模擬試験 [第7回]			
教科書	適宜資料を配付					
参考書						
					2 業界研究 志望する業界の知識を得ることで、企業を選ぶ目を養う。 予復修課題：復修：興味ある分野の業界研究と、その結果を就活手帳に残す	
					3 SPI模試の診断結果解説 ライフラインチャート 前期第12回で実施したSPI模試の診断結果解説。併せて、ライフラインチャート2回目。 予復修課題：復修：数学・言語の得点向上に対する計画作成と学習	
					4 履歴書作成 本学指定の履歴書を想定し、記入の注意点などを学ぶ。 予復修課題：復修：受講者履歴書の「雛形」作成	
					5 内定者活動報告会【全体・分散】 内定者による講演とディスカッションを聴講し、受講者の活動に活かす。 予復修課題：復修：体験談のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす	
					6 学内合説のためのマナー講座【全体・分散】 by青山商事 スーツ着こなし、靴やバッグなどの注意点など。 予復修課題：復修：面接練習を想定し、「身だしなみ」の準備を行う。	
					7 キャリアアプローチ診断 ベネッセ 適性検査を受ける。 予復修課題：予修：数学、言語の就職試験対策	
					8 学内業界研究セミナー説明 諸注意 ES記入 学内企業セミナーに向けた情報共有と注意点の確認を行う。 予復修課題：予修：聴講する企業の選択と、その企業調査	
					9 学内企業セミナー 【全体】 就職活動本番と同様に、スーツ着用でセミナーへ参加する。 予復修課題：復修：説明内容のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす	
					10 グループディスカッション体験 堀口先生によるグループディスカッション体験 予復修課題：復修：選考方法（グループワーク）に対する調査	
					11 面接練習会 集団面接、学内業界研究セミナーの説明【全体・分散】 採用試験での面接を想定し、その練習会を行う。 予復修課題：復修：上手くできた点、失敗した点など、練習で気づいた点に対応	
					12 面接練習会 集団面接、学内業界研究セミナーの説明【全体・分散】 採用試験での面接を想定し、その練習会を行う。 予復修課題：復修：上手くできた点、失敗した点など、練習で気づいた点に対応	
					13 学内企業セミナー 【全体】 就職活動本番と同様に、スーツ着用でセミナーへ参加する。 予復修課題：復修：説明内容のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす	
					14 クラス別講義【全体・分散】 各クラスの理解度に応じた講義内容を実施する。 予復修課題：復修：知識や情報など、不足している点を再確認する。	
					15 就職活動についての諸注意 キャリア科目最後の講義として、合同企業セミナーや学内イベントに対する講義。 予復修課題：就職活動に向けた準備確認と行動計画の作成 そして実行	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		水井 雅彦 (MIZUI Masahiko)		ほか	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEF3201・ERF3201・SSF3201		1 初回ガイダンス、クレペリンテスト解説 講義ガイダンス。クレペリンが実施される業種・企業など、基本情報を整理する。 予復修課題：復修：繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	2 業界研究 志望する業界の知識を得ることで、企業を選ぶ目を養う。 予復修課題：復修：興味ある分野の業界研究と、その結果を就活手帳に残す	
配当年次	3年生	開講学期	後期	経済学部・スポーツ学部共通		3 SPI模試の診断結果解説 ライフラインチャート 前期第12回で実施したSPI模試の診断結果解説。併せて、ライフラインチャート2回目。 予復修課題：復修：数学・言語の得点向上に対する計画作成と学習
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。 就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。 後期授業のキャリアデザインでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。					
授業到達目標	自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査による自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業は就職活動に必要な基礎知識を学び、今、何が出来るか?、何を行動するか? 判断できることを目標とします。			
1. 小テスト、感想文など		30 %	SPI試験に対する演習を取り入れます。			
2. 中間テスト		%	就職活動で求められる書類作成を学びます。			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	レポート、課題作成など授業への参加意欲が評価対象です。遅刻も厳しく対応します。			
4. 授業中の発表、討論		%	予復修課題取組時間：1時間程度			
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7. 授業・インターンへの意欲態度		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	実践学習 [第9・10・13回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	体験学習 [第5・11・12回]			
		%	履歴書作成 [第4・6回]			
再評価の実施		する	模擬試験 [第7回]			
教科書		適宜資料を配付				
参考書						
		11 面接練習会 集団面接、学内業界研究セミナーの説明【全体・分散】 採用試験での面接を想定し、その練習会を行う。 予復修課題：復修：上手くできた点、失敗した点など、練習で気づいた点に対応				
		12 面接練習会 集団面接、学内業界研究セミナーの説明【全体・分散】 採用試験での面接を想定し、その練習会を行う。 予復修課題：復修：上手くできた点、失敗した点など、練習で気づいた点に対応				
		13 学内企業セミナー 【全体】 就職活動本番と同様に、スーツ着用でセミナーへ参加する。 予復修課題：復修：体験談のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす				
		14 クラス別講義【全体・分散】 各クラスの理解度に応じた講義内容を実施する。 予復修課題：復修：知識や情報など、不足している点を再確認する。				
		15 就職活動についての諸注意 キャリア科目最後の講義として、合同企業セミナーや学内イベントに対する講義。 予復修課題：就職活動に向けた準備確認と行動計画の作成 そして実行				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 留学生用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		1	1 初回ガイダンス、クレペリンテスト解説 講義ガイダンス。クレペリンが実施される業種・企業など、基本情報を整理する。 予復修課題：復修：繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		専任	2 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(1) 1980年代の時代背景、政治・経済状況 予復修課題：予修：1980年代の出来事を年表等で確認しておくこと。	
授業形式	実習	科目区分 総合共通科目	EEF3201	3 S P I 模試の診断結果解説 ライフラインチャート 前期第12回で実施したSPI模試の診断結果解説。併せて、ライフラインチャート2回目。 予復修課題：復修：数学・言語の得点向上に対する計画作成と学習	
配当年次	3年生	開講学期 後期	履修学部 経済学部	4 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計(2) 1980年代の社会状況、人びとの暮らし、ライフスタイル 予復修課題：復修：1980年代の日本の時代背景の概要を自分で説明できるようにすること。	
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路(教員・公務員・スポーツ就職希望者は除く)を獲得するためのものです。就職先などどこだっていると考えているのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。 後期授業のキャリアデザインでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。				
授業到達目標	自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる グループディスカッションでのロール体験ができる 論理的思考力が取得できる 適性検査による自己理解ができる インターンシップのためのレディネスを取得することができる チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・本授業は合同授業とクラス別授業(留学生)で構成される ・合同授業では日本の就職活動における実践的な活動の実態を学ぶ(1,3,5,6,10,14回) ・クラス別授業では戦後日本における働き方と暮らしをテーマにどのような経済・社会状況の中で人々は働きながら暮らし、人生設計してきたかを学ぶ(2,4,7,8,9,11,12,13,15回)			
1. 小テスト、感想文など	%	アクティブ・ラーニング 模擬試験 [第10回] 実践学習 [第5回] 体験学習 [第6回] まとめテスト [第15回]			
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	%				
4. 授業中の発表、討論	%				
5. 授業への参加意欲	40 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7. 授業・インターンへの意欲態度	%				
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	60 %				
2. 論文、まとめのレポートなど	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書	適宜資料を配付				
参考書	小熊英二『日本社会のしくみ』講談社現代新書2019年 / 吉見俊哉『ポスト戦後社会』岩波新書2009年				
				15 戦後日本における働き方と暮らし、人生設計から出題 予復修課題：戦後日本における働き方と暮らし、人生設計に関する講義内容全体を復修しておくこと。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		キャリアデザイン 再履修用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者		園田 裕虎(SONODA Hirotora)		1	1 ガイダンス キャリアデザイン (再) 調査票の記入: 今期とキャリアデザイン (再) 受けるにあたっての抱負 予復修課題: 予修: 単位取得状況や就学・生活状況をまとめておく。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			2 マナー、エチケット、礼儀、礼義について調べ、メモを作成 (Word) 予復修課題: 予修: マナー、エチケット、礼儀、礼義について、日ごろの様相を考えておく。	
授業形式		科目区分 総合共通科目			3 マナー、エチケット、礼儀、礼義についてのメモ作成 (Word)と プレゼンテーション資料作り (Power Point) 予復修課題: 復修: 再度、メモとプレゼンテーションの見直しを行う。	
配当年次		4年生 開講学期 後期		履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	
授業概要		この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。また、グループワークに取組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。				
授業到達目標		1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。 2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。 3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。 4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。 5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。			
1. 小テスト、感想文など		%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。			
2. 中間テスト		%	3) 受講者の人数などを考慮して、座席指定を行う場合がある。			
3. 課題レポートなどの提出物		50 %	4) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。			
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		30 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	・課題解決型学習[第1,2,3,5,6,8,10,11,12,13,15回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		10 %	・グループディスカッション[第4回]			
3.		%	・プレゼンテーション[第4,7,9,14回]			
再評価の実施		する	しない			
教科書						
参考書 適宜プリントなどを配付する。						
			15 キャリアデザイン (再)のまとめ キャリアデザイン (再)を受けての自己評価(第1回目の授業の抱負に基づく) 予復修課題: 予修: キャリアデザイン (再)の内容を整理し、振り返っておく。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザインⅢ Career Design III			単位数	授業内容*	
担当者	辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)	1	1 初回ガイダンス、クレペリンテスト解説 講義ガイダンス。クレペリンが実施される業種・企業など、基本情報を整理する。 予復修課題：復修:繰返し・単純作業に関する自身の適性を検討する。	
実務経験のある教員による授業			ナンバリング	EEF3201・ERF3201		
授業形式	実習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部	
配当年次	3年生	開講学期	後期			
授業概要	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。 就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。 後期授業のキャリアデザインⅢでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。					
授業到達目標	①自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査による自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				◎	7 ベネッセ 適性検査を受ける。 予復修課題：予修:数学、言語の就職試験対策
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				◎	8 学内企業セミナーに向けた情報共有と注意点の確認を行う。 予復修課題：予修:聴講する企業の選択と、その企業調査
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				○	9 学内企業セミナー②【全体】 就職活動本番と同様に、スーツ着用でセミナーへ参加する。 予復修課題：復修:説明内容のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業は就職活動に必要な基礎知識を学び、今、何が出来るか?、何を行動するか? 判断できることを目標とします。				
1. 小テスト、感想文など	30 %	SPI試験に対する演習を取り入れます。				
2. 中間テスト	%	就職活動で求められる書類作成を学びます。				
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	レポート、課題作成など授業への参加意欲が評価対象です。遅刻も厳しく対応します。				
4. 授業中の発表、討論	%	予復修課題取組時間：1時間程度				
5. 授業への参加意欲	40 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7. 授業・インターンへの意欲態度	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	%	実践学習 [第5・9・13回]				
2. 論文、まとめのレポートなど	%	体験学習 [第6・11・12回]				
	%	グループディスカッション [第10回]				
		模擬試験 [第7回]				
再評価の実施	する ○ しない					
教科書	適宜資料を配付					
参考書						
					11 面接練習会①集団面接、学内業界研究セミナーの説明【全体・分散】 採用試験での面接を想定し、その練習会を行う。 予復修課題：復修:上手くできた点、失敗した点など、練習で気づいた点に対応	
					12 面接練習会②集団面接、学内業界研究セミナーの説明【全体・分散】 採用試験での面接を想定し、その練習会を行う。 予復修課題：復修:上手くできた点、失敗した点など、練習で気づいた点に対応	
					13 学内業界研究セミナー③【全体】 就職活動本番と同様に、スーツ着用でセミナーへ参加する。 予復修課題：復修:説明内容のメモを纏め、受講生の採用活動に活かす	
					14 クラス別講義【全体・分散】 各クラスの理解度に応じた講義内容を実施する。 予復修課題：復修:知識や情報など、不足している点を再確認する。	
					15 就職活動についての諸注意 キャリア科目最後の講義として、合同企業セミナーや学内イベントに対する講義。 予復修課題：就職活動に向けた準備確認と行動計画の作成 そして実行	

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座A【ITパスポート】 Upskilling Course A (IT Passport)			単位数	授業内容*	
担当者	三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)			1	1 授業ガイダンス & ITパスポート試験概説 授業方法、評価方法などについてガイダンス。ITパスポート試験の概要紹介。 予復修課題：【予修】シラバスの熟読 【復修】履修を継続するか否かを真剣に検討	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			2	2 ストラテジ系（経営全般）【1】 企業活動 予復修課題：【復修】授業中に示す『本日のキーワード』について納得いくまで復修	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	3 ストラテジ系（経営全般）【2】 法務、経営戦略マネジメント 予復修課題：【復修】授業中に示す『本日のキーワード』について納得いくまで復修
配当年次	3年生	開講学期	後期			4 ストラテジ系（経営全般）【3】 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ 予復修課題：【復修】授業中に示す『本日のキーワード』について納得いくまで復修
授業概要	<p>情報化社会という概念が生まれた頃、情報技術はそのままIT (Information Technology)と呼ばれていたが、現在ではICT (Information and Communication Technology)と表現され、情報技術の役割や内容も大きく変化している。独立行政法人・情報処理推進機構が実施する国家試験ITパスポート試験は、情報化社会を生き抜いていくための情報技術の基礎的知識を測るものである。本科目では、ITパスポート試験の頻出テーマを題材に、「情報社会を生きる社会人としての常識」をレクチャーと演習により身につけていく。</p>					
授業到達目標	<p>情報社会の現状および趨勢を理解し、情報社会における自らのスキルレベルを明確に自覚することができる。 自らの情報スキルレベルを向上させることへのモチベーションを高めることができる。 ITパスポート試験の過去問題に対して60%以上正答することができる。</p>					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<p>「授業への参加意欲」項目の評価は授業出席回数で測ります。 第2～14回授業中にその回の授業内容に応じた小テストを実施し、その点数を単純に積み上げたものを「小テスト、感想文など」項目の評価に用います。 復修時間の目安は2時間です。</p> <p>アクティブ・ラーニング</p> <p>納得いくまでの復修【2～14回】 小テスト・ミニツッペーパー【毎回】</p>			
1. 小テスト、感想文など		80 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト		%				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特定の教科書は使用せず、プリント資料を配布します。					
参考書						
					15	授業全体のまとめ 予復修課題：【予修】本授業の到達目標についての根拠のある自己評価

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座F (マナー・プロトコル検定) Upskilling Course F (The Manners and Protocol Certificate)		単位数	授業内容*	
担当者	落合 弘子 (OCHIAI Hiroko)	澤田 小百合 (SAWADA Sayuri)	1	専任	1 序章：マナーとは何か、キャリアデザインでマナーやプロトコルを学ぶ意義について理解を深める。(澤田) 予復修課題：指定教科書の1頁を記入しておく。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				2 第1章：マナーの歴史と意味、日本の礼儀作法、西洋のマナーの歴史を知ること、現代に伝わる礼儀作法・マナーの意義について理解を深める。(落合) 予復修課題：教科書のマナーと歴史の意味を読み時代背景を調べておく。
授業形式	演習	科目区分 総合共通科目	履修学部	経済学部・法 学 部 共 通	3 第2章：国際人としてのプロトコル、国際基準の外交儀礼を知り、他国文化との違いを受け入れ、尊重する心を養うことができるようになる。(落合) 予復修課題：プロトコルの原則、社交の場でのコミュニケーションについて調べておく。
配当年次	3年生	開講学期	前期		4 第3章： 社会人に必要なマナー、社会人として好感と信頼を持たれる身だしなみのポイントを知る。また、TP0に応じた服装のマナーについて理解を深める。(澤田) 予復修課題：教科書のチェックシートを記入し自分自身を確認する。
授業概要	「マナー」や「プロトコル」の基本は、「しきたり」や「形式」以前のあり方です。日常生活の中で育む他者への配慮と自分自身を律する心遣いこそがもっとも大切であり、そうした考え方や習慣を身につけておくことで社会人としての人生そのものが豊かで、実りのあるものとなります。本講では正しいマナーを身につけ、「マナー・プロトコル検定試験」3級合格を目指します。担当者は、様々な企業や大学で研修講師、マナープロトコル講師の実績があり、この経験をもとに授業を展開します。				
	マナー・プロトコル検定試験3級の資格を取得(履歴書にも記載できる)することができる。自分の立ち居振る舞いに自信がもてるようになり、人間関係がスムーズに行なえ、コミュニケーション力を高めることができる。マナーを学ぶ事を通して、社会人に求められる知識・技能・態度等を身につけることができる。マナーの歴史を知ることにより、日本文化をより深く理解できる。				
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業内容は、変更されることがあります。卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。			
1. 小テスト、感想文など	%	アクティブ・ラーニング			
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	%				
4. 授業中の発表、討論	%				
5. 授業への参加意欲	%				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7.	%				
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	%				
2. 論文、まとめのレポートなど	%				
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書	NPO法人日本マナー・プロトコル協会編『マナー&プロトコルの基礎知識』				
参考書	改定版「さすが!」といわせる大人のマナー講座				
					11 第8章：「婚」のしきたり、結婚式の基本的なマナーを知り、その場に臨んだときに困らない知識を習得する。(落合) 予復修課題：練習問題を解いておく。
					12 第9章：「葬」のしきたり、葬儀の基本的なマナーを知り、その場に臨んだときに困らない知識を習得する。(落合) 予復修課題：練習問題を解いておく。
					13 第7章「冠」のしきたり、第10章「祭」のしきたり、日本の伝統的な通過儀礼と年中行事の意義を知り、それらのしきたりを継承していく重要性について理解を深める。(落合) 予復修課題：練習問題を解いておく。
					14 マナー基礎の総まとめ、キャリアデザインでのマナーを確実に理解しているか、自分自身の理解度を確認しポイントを振り返る。(落合・澤田) 予復修課題：3級の模擬試験を実際に体験する。
					15 マナー基礎の総まとめ、キャリアデザインでのマナーを確実に理解しているかを検定試験を実施して確認する。マナー・プロトコル3級検定。(落合・澤田) 予復修課題：マナー・プロトコル3級の合格に向けて予修する。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座G【公務員養成】 Upskilling Course G (Public Servant Training I)				単位数	授業内容*	
担当者	岩崎 靖 (IWASAKI Yasushi)				1	1	ガイダンス 予復修課題： 次回テーマの学習
実務経験のある教員による授業		ナンパリング	EEF3102・ERF3102・SSF3102			2	整数の性質 予復修課題： 次回テーマの学習
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通		
配当年次	3-4年生	開講学期	前期				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 公務員の職種、業務を正しく理解する。 公務員になるために必要な知識を習得し、それをアウトプットできる能力を養成する。 					3	代数 不定方程式、比の利用 予復修課題： 次回テーマの学習
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 論理的思考を身につけ、問題解決に実践できる。 数的処理能力を身につけ、問題を数値モデル化できる。 					4	代数 速度 予復修課題： 次回テーマの学習
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						7	個数の処理 予復修課題： 次回テーマの学習
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						8	確率 予復修課題： 次回テーマの学習
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						9	図形の計量 予復修課題： 次回テーマの学習
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 各自、次週のテーマについての予修が必要になります。 ガイダンス時に紹介する参考書などを利用し、3時間程度の予修をして講義に参加してください。 				
1. 小テスト、感想文など		30 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		50 %	事前学習型授業(初回を除き毎回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	小テスト(第8回、第14回)				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	なし						
参考書	各学生の志望により異なるため、ガイダンス時に説明する。						
						11	順序関係の推理 予復修課題： 次回テーマの学習
						12	位置関係の推理 予復修課題： 次回テーマの学習
						13	発言推理・さまざまな操作手順 予復修課題： 次回テーマの学習
						14	9～13回のまとめ小テストと解説 予復修課題： 9～13回の復修
						15	まとめのテストと解説 予復修課題： まとめ問題演習(講義内でプリント配布)

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スキルアップ講座H【公務員養成】 Upskilling Course H (Public Servant Training II)		単位数	授業内容*	
担当者		岩崎 靖 (IWASAKI Yasushi)		1	1 ガイダンス 予復修課題：次回テーマの学習	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 さまざまな方程式 予復修課題：次回テーマの学習	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	EEF3203・ERF3203・SSF3203	3 速度 予復修課題：次回テーマの学習	
配当年次	3-4年生	開講学期	後期	履修学部	経済学部・スポーツ学部共通	4 整数 予復修課題：次回テーマの学習
授業概要	・前期スキルアップ講座Gの発展的講座として、より高い数的処理能力の養成とともに、公的奉仕者となり得る人間力を養成する。					
	・数的処理を通じて、高い現場学習能力を身につけることができる。 ・問題に対して、道筋を立て、解決することができる。					
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			5 個数の処理と確率 予復修課題：次回テーマの学習
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・各自、次週のテーマについての予修が必要になります。 ・ガイダンス時に紹介する参考書などを使い、5時間程度の予修の後、講義に参加してください。			6 図形の計量 予復修課題：次回テーマの学習
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 事前学習型授業(初回を除き毎回)			7 論理・集合 予復修課題：次回テーマの学習
2. 中間テスト		%				8 対応関係 予復修課題：次回テーマの学習
3. 課題レポートなどの提出物		%				9 順序関係 予復修課題：次回テーマの学習
4. 授業中の発表、討論		%				10 位置関係 予復修課題：次回テーマの学習
5. 授業への参加意欲		20 %				11 発言推理 予復修課題：次回テーマの学習
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %				12 正多面体 予復修課題：次回テーマの学習
7.		%				13 投影図 予復修課題：次回テーマの学習
2) 最終到達度の評価						14 軌跡・平面幾何 予復修課題：次回テーマ学習
1. まとめのテスト		60 %				15 まとめのテストと解説 予復修課題：まとめ問題演習(講義内でプリント配布)
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	なし					
参考書	各学生の志望により異なるため、ガイダンス時に説明する。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座M【ビジネス中国語検定試験】			単位数	授業内容*	
	Upskilling Course M (Business Chinese Test)			2		
担当者	黄 冬柏 (HUANG Dongbai)			専任	1 ガイダンス：シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。また、BCT(ビジネス中国語検定試験)について紹介する。 予復修課題：『やさしい中国語10課』を復修すること。予復修の目安時間：60分。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				2 単語と例文(1) 配付資料に基づいて、単語と例文の意味を理解し、正確に発音できるように練習する。 予復修課題：配付資料を熟読し、単語を暗唱できること。予復修の目安時間：60分。	
授業形式	演習	科目区分	総合共通科目	履修学部	3 単語と例文(2) 配付資料に基づいて、単語と例文の意味を理解し、正確に発音できるように練習する。 予復修課題：配付資料を熟読し、単語を暗唱できること。予復修の目安時間：60分。	
配当年次	2-4年生	開講学期	前期	経済学部	4 単語と例文(3) 配付資料に基づいて、単語と例文の意味を理解し、正確に発音できるように練習する。 予復修課題：配付資料を熟読し、単語を暗唱できること。予復修の目安時間：60分。	
授業概要	この講座では、「中国語」「中国語」で習得した日常会話と基礎文型を復修しななら、より複雑なビジネス会話と文法を学習する。 また、BCT(ビジネス中国語検定試験)の対策プリントを配布し、徹底的に練習することを通して、実用的なビジネスコミュニケーション能力を身につけ、検定試験にチャレンジする。					
	中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、中国語で簡単なビジネス会話ができる。また、検定試験にチャレンジし、効果的に中国語を用いてビジネスに従事することができる					
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
	成績評価の方法(全体で100%)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修における留意事項			11 配付資料に基づいて、短い文章や会話、スピーチを聞いて分かるように練習する。 予復修課題：配付資料を熟読し、ヒアリング読解を復修すること。予復修の目安時間：60分。
1. 小テスト、感想文など		20 %	朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。 中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。 授業中は積極的に声を出して練習すること。			
2. 中間テスト		20 %	アクティブ・ラーニング			12 配付資料に基づいて、短い文章や会話、スピーチを聞いて分かるように練習する。 予復修課題：配付資料を熟読し、ヒアリング読解を復修すること。予復修の目安時間：60分。
3. 課題レポートなどの提出物		10 %				
4. 授業中の発表、討論		10 %	・ミニツッパーパー：第1回・第7回・第13回			13 配付資料に基づいて、短い文章や会話、スピーチを聞いて分かるように練習する。 予復修課題：配付資料を熟読し、ヒアリング読解を復修すること。予復修の目安時間：60分。
5. 授業への参加意欲		10 %	・小テスト：第5回・第10回			
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %	・中間テスト：第8回			14 検定試験の問題にトライする。 予復修課題：配付資料を熟読し、模擬試験問題を解いてくること。予復修の目安時間：60分。
7.			・グループ学習：第2回～第14回			
2) 最終到達度の評価						15 復習や質疑応答を行った後、まとめのテストを実施し、テストを解説する。 予復修課題：全部の配付資料の整理・復修を行うこと。予復修の目安時間：60分。
1. まとめのテスト		40 %				
2. 論文、まとめのレポートなど						復習、まとめ
3.						
再評価の実施	する	しない				
教科書	プリント・資料を配付					
参考書	盧 益中・黄 冬柏『実用ビジネス中国語会話』 白帝社 2000年					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本文化研修 Japanese Culture Studies		単位数	授業内容*			
担当者		黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi) 田中 雅子 (TANAKA Masako)		2	オリエンテーション 1 授業の内容と評価について説明します。日本文化についてのレポートを課します。 予復修課題：配布プリント等をきちんと読み直すこと。			
		関屋 美穂 (SEKIYA Miho) ほか			芦屋釜についての事前学習 2 茶道の概要と芦屋釜の歴史を学びます。 予復修課題：配布されたプリントをよく読んでおくこと。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				芦屋釜研修 芦屋釜の里を訪ね、歴史資料館で芦屋町と芦屋釜の歴史を学びます。 茶道体験や茶室の見学を通して日本文化の一端に触れます。 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。		
授業形式	実習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部		芦屋釜研修 芦屋釜の里を訪ね、歴史資料館で芦屋町と芦屋釜の歴史を学びます。 茶道体験や茶室の見学を通して日本文化の一端に触れます。 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。	
配当年次	3-4年生	開講学期	後期			芦屋釜についての事後学習 5 芦屋釜の茶道体験についてのレポートを書きます。 予復修課題：レポートを書くために必要な情報を集めておくこと。		
授業概要	大学の立地する北九州市とその周辺の文化施設と名所旧跡等を3カ所訪ねて、日本の文化と歴史を学びます。北九州市に隣接する遠賀郡芦屋町の芦屋釜で実際に茶道体験を行い、茶道の文化を学びます。また、宗像大社を見学して日本の古い神社と神道の文化に対して理解を深めます。また、日本で古くから親しまれている書道の体験を通して、日本の文字に関する文化を学びます。						宗像大社についての事前学習 6 神道と日本人の宗教観についての概略を学びます。 予復修課題：配布されたプリントをよく読んでおくこと。	
	授業到達目標	1. 日本の歴史と文化を知り、自分の国と同じ点、異なる点を理解して日本語で表現できる。 2. インターネットや図書館を利用して、必要なことを調べることができる。 3. 留学生活はもちろんのこと、将来の職業選択にも活かせるような日本についての知見を身に付けることができる。						宗像大社研修 バスで宗像大社まで赴き、見学を行います。 7 神社を実際に見学して、日本人の神観念とその信仰の一端に触れます。 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							宗像大社研修 バスで宗像大社まで赴き、見学を行います。 8 神社を実際に見学して、日本人の神観念とその信仰の一端に触れます。 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							宗像大社研修 バスで宗像大社まで赴き、見学を行います。 9 神社を実際に見学して、日本人の神観念とその信仰の一端に触れます。 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							宗像大社事後学習 10 宗像大社の見学についてのレポートを書きます。 予復修課題：レポートを書くために必要な情報を集めておくこと。	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							書道についての事前学習 11 書道に関する概要を学びます。 予復修課題：配布されたプリントをよく読んでおくこと。	
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				書道体験 実際に書道を体験します。 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 3回の研修への参加と事前事後の授業の受講を成績評価の前提条件とします。 2. 3-4年生の留学生は指定科目であるため、必ず受講すること。 3. 留学生以外の受講は認めない。 4. 1-2年生の留学生は履修できません。 5. 3クラスに分け、各研修を順番に行います。 6. 授業の予復修は毎回1時間程度行うこと。				書道体験 実際に書道を体験します。 13 予復修課題：次週のレポートに書く内容を各自メモして整理しておくこと。	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング フィールドワーク(第3-4回、第7-9回、第12-13回) レポート(第1回、第5回、第10回、第14回)				書道体験についてのレポートを書きます。 予復修課題：レポートを書くために必要な情報を集めておくこと。	
再評価の実施		する	しない					
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						まとめ 15 まとめとして、これまで学んだことの復修を行います。 予復修課題：これまで学習した内容を振り返っておくこと。	
参考書	必要に応じて指示をする。							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座N【能試N1(聴解)対策】				単位数	授業内容*	
	Upskilling Course N				1	自己レベル確認のためのチャレンジテスト(N1レベル)	
担当者	山内 美奈(YAMAUCHI Mina)				非常勤講師	N1聴解テストの構成の説明。テストで難しかったところのF B 予復修課題：その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEG3101	課題理解問題の練習(1)	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	練習問題を通して、具体的な課題解決に必要な情報を聞き取る訓練 予復修課題：その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
配当年次	3-4年生	開講学期	前期			課題理解問題の練習(2)	
授業概要	「日本語能力試験」N1合格を目標とする。 問題形式ごとに予想問題を解いていき、実際の試験に対応できる実力を付けていく。 問題に出てくる重要な語彙、文法、表現を解説し、理解力を高める。					練習問題を通して、具体的な課題解決に必要な情報を聞き取る訓練 予復修課題：その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	日本語能力試験N1の合格に寄与できる。					ポイント理解問題の練習(1)	
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					練習問題を通して、聞くべきことにポイントを絞って聞き取る訓練。 予復修課題：その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					ポイント理解問題の練習(2)	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					練習問題を通して、聞くべきことにポイントを絞って聞き取る訓練 予復修課題：その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修		
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					ポイント理解問題の練習(3)		
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	出席、授業への参加意欲20%				
1. 小テスト、感想文など		30%	小テスト2回(第6回、第12回)30%				
2. 中間テスト		%	まとめのテスト50%で成績評価				
3. 課題レポートなどの提出物		%	(予復修時間30分程度)				
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめテスト		50%	小テスト2回(第6回、第12回)				
2. 論文、まとめレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	練習問題、参考資料などは随時プリントで配布。						
参考書	『日本語能力試験徹底トレーニングN1聴解』ask、『パターン別徹底ドリル日本語能力試験N1』アルク 他					15	
					まとめのテスト(N1レベル) 予復修課題：授業のまとめとして自分の弱点問題を中心に、今までの練習問題、プリントの見直し		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座N【能試N1(文法)対策】				単位数	授業内容*	
	Upskilling Course N				1	1 オリエンテーション 自己紹介と力試しの小テスト 予復修課題：小テスト復修	
担当者	巢山 優希 (SUYAMA Yuki)				非常勤 講師	2 文法項目の解説及び練習：～とき・～直後に 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEG3101	3 文法項目の解説及び練習：～している(進行中) 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	4 文法項目の解説及び練習：～後で 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
配当年次	3-4年生	開講学期	前期			5 文法項目の解説及び練習：範囲の始まりと終わり 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
授業概要	日本語能力試験N1合格に必要な文法項目の習得を目指します。 N1レベルの文法項目の意味や使い方を学んでいきます。 過去問や予想問題集を解くことで実践力をつけていきます。					6 文法項目の解説及び練習：～だけ 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
授業到達目標	1. 日本語能力試験N1レベルの文法項目を理解し、運用できる。 2. 学習したN1レベルの練習問題に対し、70%以上の得点をとることができる。 3. 日本語能力試験N1で70%以上得点をとることができる。					7 文法項目の解説及び練習：～だけではなく・それに加えて 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1)授業後の復修を行うこと 2)宿題を忘れないこと (予復修課題の取組時間：1時間程度)				
1. 小テスト、感想文など		20 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		30 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
						15 まとめテストの解説 予復修課題：到達目標の自己確保と過去の学習内容の確認	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座O【能試N1(聴解)対策】				単位数	授業内容*	
	Upskilling Course 0				1	自己レベル確認のためのチャレンジテスト(N1レベル)	
担当者	山内 美奈(YAMAUCHI Mina)				非常勤 講師	1 N1聴解テストの構成の説明。テストで難しかったところのF B 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEG3201	2 課題理解問題の練習(1) 練習問題を通して、具体的な課題解決に必要な情報を聞き取る訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	3 課題理解問題の練習(2) 練習問題を通して、具体的な課題解決に必要な情報を聞き取る訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
配当年次	3-4年生	開講学期	後期			4 ポイント理解問題の練習(1) 練習問題を通して、聞くべきことにポイントを絞って聞き取る訓練。 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
授業概要	「日本語能力試験」N1合格を目標とする。 問題形式ごとに予想問題を解いていき、実際の試験に対応できる実をつけていく。 問題に出てくる重要な語彙、文法、表現を解説し、理解力を高める。					5 ポイント理解問題の練習(2) 練習問題を通して、聞くべきことにポイントを絞って聞き取る訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	日本語能力試験N1の合格に寄与できる。					6 ポイント理解問題の練習(3) 練習問題を通して、聞くべきことにポイントを絞って聞き取る訓練(小テスト) 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 概要理解問題の練習(1) 練習問題を通して、テキスト全体から話者の意図や主張などを理解する訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					8 概要理解問題の練習(2) 練習問題を通して、テキスト全体から話者の意図や主張などを理解する訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					9 概要理解問題の練習(3) 練習問題を通して、テキスト全体から話者の意図や主張などを理解する訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					10 即時応用問題の練習(1) 練習問題を通して、短い発話から適切な応答を選択できる訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
	成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			11 即時応用問題の練習(2) 練習問題を通して、短い発話から適切な応答を選択できる訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	出席、授業への参加意欲20%		小テスト2回(第6回、第12回)30%			12 即時応用問題の練習(3) 練習問題を通して、短い発話から適切な応答を選択できる訓練(小テスト) 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修
1. 小テスト、感想文など	30%	小テスト2回(第6回、第12回)30%		まとめのテスト50%で成績評価 (予復修時間30分程度)			
2. 中間テスト	%	アクティブ・ラーニング					
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	%	小テスト2回(第6回、第12回)					
5. 授業への参加意欲	20%	13 統合理解問題の練習(1) 練習問題を通して、長文テキストから複数の情報を比較統合しながら内容を理解する訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%	14 統合理解問題の練習(2) 練習問題を通して、長文テキストから複数の情報を比較統合しながら内容を理解する訓練 予復修課題: その日に使った練習問題の語彙、文法、表現の復修					
7.	%	まとめのテスト(N1レベル)					
2) 最終到達度の評価		15 まとめのテストを通して、各自自分の到達点、弱点を検証 予復修課題: 授業のまとめとして自分の弱点問題を中心に、今までの練習問題、プリントの見直し					
1. まとめのテスト	50%						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	練習問題、参考資料などは随時プリントで配布。						
参考書	『N1聴解スピードマスター』Jリサーチ出版、『合格できる日本語能力試験N1』アルク 他						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座O【能試N1(文法)対策】				単位数	授業内容*	
	Upskilling Course 0				1	1 オリエンテーション 自己紹介と力試しの小テスト 予復修課題：小テスト復修	
担当者	巢山 優希 (SUYAMA Yuki)				非常勤 講師	2 文法項目の解説及び練習：～(話題)は 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEG3201	3 文法項目の解説及び練習：～けれど 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	経済学部	4 文法項目の解説及び練習：～もしそうなら・たとえそうでも 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
配当年次	3-4年生	開講学期	後期			5 文法項目の解説及び練習：～だから(理由) - 1 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
授業概要	日本語能力試験N1合格に必要な文法項目の習得を目指します。 N1レベルの文法項目の意味や使い方を学んでいきます。 過去問や予想問題集を解くことで実践力をつけていきます。					6 文法項目の解説及び練習：～だから(理由) - 2 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
	1. 日本語能力試験N1レベルの文法項目を理解し、運用できる。 2. 学習したN1レベルの練習問題に対し、70%以上の得点をとることができる。 3. 日本語能力試験N1で70%以上得点をとることができる。					7 文法項目の解説及び練習：～できない・困難だ・～できる 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						8 文法項目の解説及び練習：～を見て評価すると・～の立場で評価すると 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
【知識・技能】	キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					9 文法項目の解説及び練習：結果はどうなったか 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
【思考力・判断力・表現力】	本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					10 文法項目の解説及び練習：強く言う・軽く言う 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
【主体性・協働性】	自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					11 文法項目の解説及び練習：～だろうと思う 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項				12 文法項目の解説及び練習：感想を言う・主張する 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 授業後の復修を行うこと 2) 宿題を忘れないこと (予復修課題の取組時間：1時間程度)			13 文法項目の解説及び練習：～提案する・意志を表す 練習問題を解く 予復修課題：文法項目を用いた文作	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			14 フィードバック 文法項目の総復修 予復修課題：テスト勉強	
1. まとめのテスト		30 %				15 まとめテスト まとめテストの解説 予復修課題：到達目標の自己確保と過去の学習内容の確認	
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スキルアップ講座P【ビジネス日本語講座】 Upskilling Course P (Business Japanese Lecture I)				単位数	授業内容*	
担当者	立花 奈央 (TACHIBANA Nao)				1	1 コースガイド B J T 体験テストを行う 予復修課題：新出単語を覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2 ビジネス場面：電話する（不在） 聴解問題セクション1・1、読解問題セクション1・1 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
授業形式	演習	科目区分	留学生特別科目	履修学部	EEG3102	3 ビジネス場面：確認する 聴解問題セクション1・2、読解問題セクション2・1 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
配当年次	3-4年生	開講学期	前期	経済学部		4 ビジネス場面：電話する（保留） 聴解問題セクション2・1、読解問題セクション3・1 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
授業概要	B J T ビジネス日本語能力テスト受験を目的に、実際の予想問題を解いていく。 ビジネス会話、ビジネス用語・表現、ビジネス文書について解説する。 ビジネス時のいろいろな場面に触れる。					5 ビジネス場面：メールを送る（書きはじめ） 聴解問題セクション2・2、読解問題セクション1・2 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
授業到達目標	ビジネス用語、ビジネス日本語の運用に寄与できる。 B J T ビジネス日本語能力テストで、より高い得点を得ることができる。					6 ビジネス場面：電話する（名前の呼び方） 聴解問題セクション3・1、読解問題セクション2・2 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法（全体で100%）				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、言葉や前回の復修テストを行います。 テスト内容についてはクラス内で指示します。 授業の予復修を約1時間行うとより理解が深まります。				
1. 小テスト、感想文など		20 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		70 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	特になし						
参考書	15 予復修課題：テストの間違いを見直す						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スキルアップ講座Q【ビジネス日本語講座】 Upskilling Course Q (Business Japanese Lecture II)		単位数	授業内容*		
担当者		立花 奈央 (TACHIBANA Nao)		1	1 コースガイド B J T 体験テストを行う 予復修課題：新出単語を覚える		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			2 ビジネス場面：メールを送る（お知らせ） 聴解問題セクション1・1、読解問題セクション1・1 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する		
授業形式		演習	科目区分	留学生特別科目	3 ビジネス場面：会社の人と話す（話題） 聴解問題セクション1・2、読解問題セクション2・1 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する		
配当年次		3-4年生	開講学期	後期	4 ビジネス場面：社外の人に 聴解問題セクション2・1、読解問題セクション3・1 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する		
履修学部		経済学部		5 ビジネス場面：メールを送る（お礼） 聴解問題セクション2・2、読解問題セクション1・2 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する			
授業概要		B J T ビジネス日本語能力テスト受験を目的に、実際の予想問題を解いていく。 ビジネス会話、ビジネス用語・表現、ビジネス文書について解説する。 ビジネス時のいろいろな場面に触れる。				6 ビジネス場面：電話する（聞きなます） 聴解問題セクション3・1、読解問題セクション2・2 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
授業到達目標		ビジネス用語、ビジネス日本語の運用に寄与できる。 B J T ビジネス日本語能力テストで、より高い得点を得ることができる。				7 ビジネス場面：コピーをする 聴解問題セクション3・2、読解問題セクション3・2 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回、言葉や前回の復修テストを行います。 テスト内容についてはクラス内で指示します。 授業の予復修を約1時間行うとより理解が深まります。				
1. 小テスト、感想文など		20 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		70 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		特になし					
参考書							
		11 ビジネス場面：準備する 聴読解問題セクション2・1、読解問題セクション3・4 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する					
		12 ビジネス場面：カタカナ語 聴読解問題セクション2・2、読解問題セクション3・5 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する					
		13 ビジネス場面：国のことば 聴読解問題セクション2・3、読解問題セクション3・6 予復修課題：新出単語を覚える / 新出表現を復修する					
		14 まとめのテスト・解説 予復修課題：テストの間違いを見直す					
		15 本科目の総括 予復修課題：テストの間違いを見直す					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

キャリアデザイン科目 (2014年度以前入学生)

《卒業に要する単位》

2014年度以前入学生

履修区分	最低修得単位数	要卒単位数
キャリアデザイン科目	6 単位以上	6 単位

《キャリアデザイン科目の教育目標》

【知識・技能】

キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。
また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。

【思考力・判断力・表現力】

本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。

【主体性・協働性】

自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。
また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。

科目名	履修規程の 学年次・学期		読替え科目	掲載 ページ
キャリア基礎演習 A 再履修用	1年	前		
キャリア基礎演習 B 再履修用		後		
キャリアデザイン <再履修用>	2年	前		133
キャリアデザイン <再履修用>		後		134
キャリアデザイン <再履修用>	3年	前		135
キャリアデザイン <再履修用>		後		136
インターンシップ (企業研修)	2年	集中 前・後	「インターンシップ(企業研修)」《シラバス一覧A参照》	

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 再履修用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	園田 裕虎 (SONODA Hirotora)		専任	1	ガイダンス： キャリアデザインとは 再授業を受けるにあたっての抱負など 予復修課題： 復修：受講するうえでの注意事項をまとめる。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			2	適性検査：現在の興味・行動・思考傾向などの自己特性や能力を知るための自己分析 予復修課題：予修：自分に関係する、「こと」、「もの」について考えておく。
授業形式	実習	科目区分 旧・キャリアデザイン科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟﾙ学部共通	
配当年次	3-4年生	開講学期	前期		
授業概要	この授業では、自己理解と他者理解を深め、人間関係の形成に向けての準備を目指します。 また、大学生活を意義あるものにするために1年間の生活を振り返り、目標の再設定をできるようにします。 授業の中では、グループディスカッションなどを通じて、コミュニケーション能力（自己アピール力、表現力）の向上を目指します。				
授業到達目標	働く意味を認識し、将来の目標（長期的な目標）、大学での目標（短期的な目標）を設定し、文章で具体的に表現することができるようになる。 自分の特徴、「強み」や「弱み」などについて、文章で表現することができるようになる。 2分間スピーチで、自己紹介と自己PRをすることができる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。			
1. 小テスト、感想文など	%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。			
2. 中間テスト	%	3) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。			
3. 課題レポートなどの提出物	50 %				
4. 授業中の発表、討論	10 %				
5. 授業への参加意欲	20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %				
7.	%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%	・課題解決型学習[第2,3,4,6,7,11,12,15回]			
2. 論文、まとめのレポートなど	10 %	・プレゼンテーション[第5回]			
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書	適宜プリントなどを配付する。				
				11	将来の自分を想像してみよう：学生生活を(キャリア)デザインする 予復修課題：復修：再度、学生生活と将来の目標を立てる。
				12	聴く、考えるワーク 題材：時事等 予復修課題：復修：ワークの反省と改善点をまとめる。
				13	大学生のためのキャリア形成プログラム 教育投資、働くこと、男女共同参画社会 予復修課題：復修：内容を整理し、自分の考えをまとめてみる。
				14	大学生のためのキャリア形成プログラム 男女共同参画社会、ドメスティックバイオレンス 予復修課題：復修：内容を整理し、自分の考えをまとめてみる。
				15	まとめ：キャリアデザインの総括 夏休みに行うキャリアアップについて計画 予復修課題：予修：夏休みに行うキャリアアップについて考えておく。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 再履修用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	園田 裕虎(SONODA Hirotora)		専任	1	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			2	
授業形式	実習	科目区分 旧・キャリアデザイン科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟ学部共通	
配当年次	4年生	開講学期	後期	3	
授業概要	この授業では、社会を理解し、職業人としての意識付けを明確にするために、仕事・就職を中心に将来の自分の姿を思い描き、社会人としての満足について説明します。また、グループワークに取り組み、プレゼンテーション能力の向上を目指します。自分の職業に対する適性について詳しく分析する就職活動へ向けた準備を進めます。さらに、インターンシップへの参加の準備も支援します。			4	
授業到達目標	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができるようになる。 2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。 3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。 4) 働く意味の認識でき、将来計画を立てる能力を身に付けることができる。 5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。			5	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				6	
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				7	
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				8	
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				9	
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項		10	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。		11	
1. 小テスト、感想文など	%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。		12	
2. 中間テスト	%	3) 受講者の人数などを考慮して、座席指定を行う場合がある。		13	
3. 課題レポートなどの提出物	50 %	4) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。		14	
4. 授業中の発表、討論	10 %	アクティブ・ラーニング		15	
5. 授業への参加意欲	20 %	・課題解決型学習[第1,5,7,8,10,13,14,15回]			
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %	・グループディスカッション[第3,4,12,13回]			
7.	%	・プレゼンテーション[第2,9,11,回]			
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	%				
2. 論文、まとめのレポートなど	10 %				
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書	適宜プリントなどを配付する。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 再履修用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	園田 裕虎(SONODA Hirotora)		専任	1	ガイダンス キャリアデザイン (再) 調査票の記入： 今期とキャリアデザイン (再) 受けるにあたっての抱負など 予復修課題： 予修：単位取得状況や就学・生活状況をまとめておく。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			2	コミュニケーショントレーニングのための自己分析ワーク 予復修課題： 分析の結果をまとめる。
授業形式	実習	科目区分 旧・キャリアデザイン科目	履修学部 経済学部・ｽﾎﾟｰﾂ学部共通	3	キャリアポートフォリオの作成 予復修課題： 予修：大学での目標・今年度の計画、週間計画等をまとめておく。
配当年次	4年生	開講学期 前期		4	キャリアポートフォリオに基づく反省と今後の計画の文書化 予復修課題： 復修：次回のスピーチに向けての準備。
授業概要	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。 また、グループワークに取組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。				
授業到達目標	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。 2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。 3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。 4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。 5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。				
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。				
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。				
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
	成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。			
1. 小テスト、感想文など	%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。			
2. 中間テスト	%	3) 受講者の人数などを考慮して、座席指定を行う場合がある。			
3. 課題レポートなどの提出物	50 %	4) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。			
4. 授業中の発表、討論	10 %	アクティブ・ラーニング			
5. 授業への参加意欲	30 %	・ 課題解決型学習[第1,2,3,4,6,7,8,10,11,12,15回]			
6. 自主的学習(予習・復習など)	%	・ グループディスカッション[第13,14回]			
7.	%	・ プレゼンテーション[第5,9,13,14回]			
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	%				
2. 論文、まとめのレポートなど	10 %				
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書	適宜プリント、テキストなどを配付する。				
				11	ディスカッション資料の作成 (Word使用) 予復修課題： 予修：ディスカッションのテーマを考えて、何をどのようにするかメモを作成しておく。
				12	ディスカッションのためのPower Point作成 予復修課題： 予修：Power Point作成の準備。
				13	作成したPower Pointに基づきプレゼンテーションとディスカッション 予復修課題： 復修：プレゼンテーションの反省点を整理しておく。
				14	作成したPower Pointに基づきプレゼンテーションとディスカッション 予復修課題： 復修：得たことや反省点をメモに整理しておく。
				15	キャリアデザイン (再) のまとめとキャリアデザイン (再) を受けての自己評価 キャリアデザイン (再) を受けての自己評価 (第1回目の授業の抱負に基づく) 予復修課題： 予修：キャリアデザイン (再) の内容を整理し、振り返る。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	キャリアデザイン 再履修用 Career Design		単位数	授業内容*	
担当者	園田 裕虎(SONODA Hirotora)		専任	1	ガイダンス キャリアデザイン (再) 調査票の記入： 今期とキャリアデザイン (再) 受けるにあたっての抱負 予復修課題： 予修：単位取得状況や就学・生活状況をまとめておく。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			2	マナー、エチケット、礼儀、礼義について調べ、メモを作成 (Word) 予復修課題： 予修：マナー、エチケット、礼儀、礼義について、日ごろの様相を考えておく。
授業形式	実習	科目区分 旧・キャリアデザイン科目	履修学部	3	マナー、エチケット、礼儀、礼義についてのメモ作成 (Word)と プレゼンテーション資料作り (Power Point) 予復修課題： 復修：再度、メモとプレゼンテーションの見直しを行う。
配当年次	4年生	開講学期	後期	4	マナー、エチケット、礼儀、礼義についてのプレゼンテーションと ディスカッション 予復修課題： 復修：プレゼンテーションの内容を再度見直す。
授業概要	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来 (未来) 設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。 また、グループワークに取組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。			5	時、場所、目的に合わせた服装について調べ、まとめる (Word) 予復修課題： 予修：時、場所、目的に合わせた服装について、日ごろの状況を考えておく。
授業到達目標	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。 2) 問題発見・解決、提案 (コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。 3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。 4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。 5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。			6	時、場所、目的に合わせた服装についてのプレゼンテーション資料作り (Power Point) 予復修課題： 予修：プレゼンテーションの作成の準備。
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)			7	時、場所、目的に合わせた服装についてプレゼンテーション (Power Point) 予復修課題： 予修：プレゼンテーションの準備 復修：プレゼンテーションの成果を再度振り返ってみる。
	【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。			8	ライフラインチャートの作成 予復修課題： 予修：今までの、人生の振り返りを行っておく。
	【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。			9	ライフラインチャートを基にしたスピーチ 予復修課題： 復修：得たことを文書化する。スピーチの反省と改善点を再度まとめる。
	【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。			10	キャリアポートフォリオの作成 予復修課題： 予修：大学での目標・目的と今後の計画について整理しておく。
	成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項	11	キャリアポートフォリオの作成 予復修課題： 予復修：大学での目標・目的と今後の計画について再整理。
	1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 個人ワークやグループワークなどにより、「読む・書く・聞く・話す」能力を高める活動が中心となる。	12	キャリアポートフォリオの作成 予復修課題： 復修：キャリアポートフォリオの再吟味。
	1. 小テスト、感想文など	%	2) 授業が、前の授業の内容と関連・連続することが多いので、欠席しないようにする。	13	キャリアポートフォリオを基にして1年間の反省 (文書化) 予復修課題： 予修：文書化のための要点を整理しておく。
	2. 中間テスト	%	3) 受講者の人数などを考慮して、座席指定を行う場合がある。	14	キャリアポートフォリオを基にしてのスピーチ 予復修課題： 予修：スピーチの準備 復修：スピーチの結果を再度振り返ってみる。
	3. 課題レポートなどの提出物	50 %	4) 毎回、1時間以上の予復修を必ず行う。	15	キャリアデザイン (再) のまとめ キャリアデザイン (再) を受けての自己評価 (第1回目の授業の抱負に基づく) 予復修課題： 予修：キャリアデザイン (再) の内容を整理し、振り返っておく。
	4. 授業中の発表、討論	10 %			
	5. 授業への参加意欲	30 %			
	6. 自主的学習 (予習・復習など)	%			
	7.	%			
	2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング		
	1. まとめのテスト	%	・課題解決型学習 [第1,2,3,5,6,8,10,11,12,13,15回]		
	2. 論文、まとめのレポートなど	10 %	・グループディスカッション [第4回]		
	3.	%	・プレゼンテーション [第4,7,9,14回]		
再評価の実施	する	しない			
教科書					
参考書	適宜プリントなどを配付する。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

総合教養科目 (2014年度以前入学生)

《総合教養科目の教育目標》

【知識・技能】

キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。
また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。

【思考力・判断力・表現力】

本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。

【主体性・協働性】

自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。
また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。

《卒業に要する単位》

2014年度以前入学生

履修区分		最低修得単位数	要卒単位数	
教養コア科目	ことばと文化	2単位以上	12単位以上	
	歴史と社会	2単位以上		
	人間と環境	2単位以上		
	総合科目	2単位以上		
言語教育科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語(留学生のみ)・日本語文章表現法・新修外国語研修	1つの言語について ~ まで修得必要	8単位以上	30単位
情報教育科目		2単位以上		
健康教育科目	実技科目・講義科目	2単位以上		

シラバス一覧 C 《総合教養科目》

科目区分・科目名		配当年次・学期		読替え科目 (参照シラバス一覧)	掲載 ページ	
ことばと文化	人間と哲学	1・(2)	前・後	「人間と哲学」 (シラバス一覧A)	/	
	社会生活と倫理	閉講				
	芸術を楽しむ	1・(2)	前・後	「芸術の世界」 (シラバス一覧B)	/	
	ことばの世界	1・(2)	前・後	「ことばの世界」 (シラバス一覧B)	/	
	文学の世界	1・(2)	前・後	「ことばと日本文化」 (シラバス一覧A)	/	
	コミュニケーション技法	閉講				
	論理トレーニング	閉講				
	歴史と社会	歴史を考える	1・(2)	前・後	「歴史を考える」 (シラバス一覧B)	/
法と生活		1・(2)	前・後	「法と生活」 (シラバス一覧B)	/	
現代国家と法(日本国憲法)		1・(2)	前・後	「現代国家と法(日本国憲法)」(一覧A)	/	
政治と国際問題		1・(2)	前・後	「歴史と国際情勢」 (シラバス一覧A)	/	
暮らしと経済		1・(2)	前・後	「暮らしと経済」 (シラバス一覧A)	/	
人権・同和と社会		1・(2)	前・後	「人権・同和教育」 (シラバス一覧A)	/	
現代社会と市民		閉講				
人間と環境		数学入門	閉講			
	科学を楽しむ	1・(2)	前・後	「科学を考える」 (シラバス一覧B)	/	
	地球の科学	1・(2)	前・後	「生命と地球」 (シラバス一覧A)	/	
	科学技術の歴史	閉講				
	生命と環境	1・(2)	前・後	「生命と環境」 (シラバス一覧B)	/	
	心の科学	1・(2)	前・後	「心の科学」 (シラバス一覧A)	/	
	現代社会と教育	閉講				
	異文化を考える	1・(2)	前・後	「ことばと異文化」 (シラバス一覧A)	/	
総合科目	総合教養基礎ゼミナール	閉講				
	総合教養基礎ゼミナール	閉講				
	総合教養基礎ゼミナール	閉講				
	総合教養基礎ゼミナール	閉講				
	教養コア基礎ゼミナール	閉講				
	教養コア基礎ゼミナール	閉講				
	教養コア基礎ゼミナール	閉講				
	教養コア基礎ゼミナール	閉講				
	教養コア基礎ゼミナール	閉講				
総合科目特殊講義A[環境マネジメント入門]	3・(4)	後		140		

科目区分・科目名		配当年次・学期		読替え科目 (参照シラバス一覧)	掲載 ページ	
総合科目 教養コア科目	総合科目特殊講義A[ビジネス日本語]<留学生用>	3・(4)	前	/	/	
	総合科目特殊講義B[ビジネス日本語]<留学生用>	3・(4)	後	/	/	
	英語・文化ゼミナール	閉講				
	英語・文化ゼミナール	閉講				
	ドイツ語・文化ゼミナール	閉講				
	ドイツ語・文化ゼミナール	閉講				
	フランス語・文化ゼミナール	閉講				
	フランス語・文化ゼミナール	閉講				
	中国語・文化ゼミナール	閉講				
	中国語・文化ゼミナール	閉講				
	韓国語・文化ゼミナール	閉講				
	韓国語・文化ゼミナール	閉講				
	日本語・文化ゼミナール	閉講				
	日本語・文化ゼミナール	閉講				
	総合教養発展ゼミナール	3・(4)	前		141	
	総合教養発展ゼミナール[上級日本語] 留学生用	3・(4)	前	/	/	
	総合教養発展ゼミナール	3・(4)	後		142	
	総合教養発展ゼミナール[上級日本語] 留学生用	3・(4)	後	/	/	

シラバス一覧 C 《 総合教養科目 》

科目区分・科目名		配当年度・学期		読替え科目 (参照シラバス一覧)	掲載 ページ	
英語	英語	閉講				
	英語	閉講				
	英語 表現法	2	前	「英語」 (シラバス一覧B)		
	英語 表現法	2	後	「英語」 (シラバス一覧B)		
	英語 コミュニケーション	2	前	「英語コミュニケーション」 (一覧B)		
	英語 コミュニケーション	2	後	「英語コミュニケーション」 (一覧B)		
	インテンシブ・イングリッシュ	閉講				
	海外英語研修	1~4	集中	「海外研修」 (シラバス一覧A)		
ドイツ語	ドイツ語	閉講				
	ドイツ語	閉講				
	ドイツ語 再履修用	閉講				
	ドイツ語 再履修用	閉講				
フランス語	フランス語	閉講				
	フランス語	閉講				
	フランス語 再履修用	閉講				
	フランス語 再履修用	閉講				
中国語	中国語	閉講				
	中国語	閉講				
	中国語 再履修用	閉講				
	中国語 再履修用	閉講				
韓国語	韓国語	閉講				
	韓国語	閉講				
	韓国語 再履修用	閉講				
	韓国語 再履修用	閉講				
日本語	日本語	閉講				
	日本語	閉講				
	日本語	閉講				
	日本語	閉講				
日本語文章表現法		1	前・後	「日本語表現法」 (シラバス一覧A)		
新修外国語研修		閉講				

科目区分・科目名		配当年度・学期		読替え科目 (参照シラバス一覧)	掲載 ページ	
情報教育科目	情報リテラシーA	1	前	「情報処理演習」 (シラバス一覧A)		
	情報リテラシーB	1	後	「情報処理演習」 (シラバス一覧A)		
	情報リテラシーC	2	前	「情報処理演習」 (シラバス一覧B)		
	情報リテラシーD	2	後	「情報処理演習」 (シラバス一覧B)		
健康教育科目	スポーツA	閉講				
	スポーツB	閉講				
	スポーツC	2	前	「スポーツA」 (シラバス一覧A)		
	スポーツD	2	後	「スポーツB」 (シラバス一覧A)		
	スポーツE	3	前	「スポーツA」 (シラバス一覧A)		
	スポーツF	3	後	「スポーツB」 (シラバス一覧A)		
	健康科学	1	前・後	「健康の科学」 (シラバス一覧A)		

授業科目名 (Subject)	総合科目特殊講義 A【環境マネジメント入門】 Special Lecture in Liberal Arts A			単位数	授業内容*	
担当者	中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)	西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)	専任 & 非常勤	2	1	イントロダクション (中山伸介) この講義の意義、概要、到達目標を説明する 予復修課題: マネジメントとは何かについてレポート提出
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				2	地球環境問題 (西尾恵里子) 地球温暖化、オゾン層破壊 予復修課題: 温暖化の現状についてレポート提出
授業形式	講義 (ル-)	科目区分	旧・総合教養科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟﾙ学部共通	
配当年次	3-4年生	開講学期	後期			
授業概要	環境問題に対して、企業 (もしくは広い意味での組織) がどのように対応しなければならないかについての基礎を学び、実際に企業や環境に配慮した取り組みを行う際の着眼点や手順についての考え方を理解することを目的とする。 授業は関連する内容についての専門性を有する複数の教員・外部講師によって行われる。				3	再生可能エネルギー (中山伸介) 風力、太陽光、バイオマスエネルギー 予復修課題: 水素社会についてレポート提出
授業到達目標	地球環境問題とその対策について理解する。 環境と企業の関わりについて国際規格ISOの側面から理解する。				4	ユニクロ: CSR報告書における環境保護への取り組み (中山伸介) 企業の社会的責任としての環境への取り組みを述べる。 予復修課題: ユニクロに対する感想と授業で学んだことのギャップについてレポート提出
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					5	キリンビール: CSR報告書における環境保護への取り組み (中山伸介) 企業の社会的責任としての環境への取り組みを述べる。 予復修課題: ビール業界のゼロエミッションについてレポート提出
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。					6	セブンイレブン: CSR報告書における環境保護への取り組み (中山伸介) 企業の社会的責任としての環境への取り組みを述べる。 予復修課題: セブンイレブンの環境経営戦略についてレポート提出
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。					7	新日鐵住金: CSR報告書における環境保護への取り組み (中山伸介) 企業の社会的責任としての環境への取り組みを述べる。 予復修課題: 二酸化炭素を大量に排出する鉄鋼業界の環境への取り組みについてレポート提出
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。					8	トヨタ自動車: CSR報告書における環境保護への取り組み (中山伸介) 企業の社会的責任としての環境への取り組みを述べる。 予復修課題: 燃料電池車についてレポート提出
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	日本経済新聞や日経エコロジーなどから最新の情報を得ること 各回の授業の予復修修にかかる時間は1時間以上が望ましい。			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		10 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		40 %				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		30 %	第14回目に行く。			
2. 論文、まとめのレポートなど		10 %				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	各企業のCSR報告書					
参考書						
					15	まとめのテストと講義の総括 予復修課題: まとめのテストの内容を再度、自身で解き疑問点を解消する。

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		総合教養発展ゼミナール Advanced Seminar in Liberal Arts		単位数	授業内容*	
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)		2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				
授業形式	演習	科目区分	旧・総合教養科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟ学部共通	
配当年次	3-4年生	開講学期	前期			
授業概要	<p>三国志と呼ばれるものには、史書『三国志』と小説『三国志演義』がある。このゼミでは、小説『三国志演義』における虚実の組み合わせや英雄豪傑の人物像を読み解く。 具体的に、小説から「桃園の誓い」や「三顧の礼」などの名場面を中心に割り当て、翻訳文やDVD映像を参考しながら、決めた担当者の講読、教員に解説、そして受講者全員のディスカッションによって授業を進めていく。</p>					
授業到達目標	<p>中国の歴史と文学に興味を持ち、三国志物語の面白さを知る。また、中国の社会や文化、および人々の考え方をより深く理解できる。</p>					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。						
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。						
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。			
1. 小テスト、感想文など		20 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)						
7.						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト			・ミニッツペーパー：第1回・第5回・第11回			
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %	・ミニッツレポート：第3回・第7回・第13回			
3.			・グループディスカッション：第6回・第12回			
再評価の実施		する	・調査学習：毎回			
教科書		羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』 筑摩書房 2002年				
参考書						
1		ガイダンス：シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。 予復修課題：三国志を調べてくこと、配付資料「三国志演義の世界」を復修すること。予復修の目安時間：各120分。				
2		史書『三国志』と小説『三国志演義』 配付資料に基づいて史書『三国志』と小説『三国志演義』の異同を解説する。 予復修課題：史書と小説の異同を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。				
3		名場面1：「桃園の誓い」 DVD「桃園の誓い」を鑑賞した後、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：「桃園の誓い」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。				
4		「桃園の誓い」講読(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。				
5		「桃園の誓い」講読(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。				
6		「桃園の誓い」講読(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、「桃園の誓い」の物語をまとめること。予復修の目安時間：各120分。				
7		名場面2：「官渡の戦い」 DVD「官渡の戦い」を鑑賞した後、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：「官渡の戦い」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。				
8		「官渡の戦い」講読(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。				
9		「官渡の戦い」講読(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。				
10		「官渡の戦い」講読(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、「官渡の戦い」の物語をまとめること。予復修の目安時間：各120分。				
11		名場面3：「三顧の礼」 DVD「三顧の礼」を鑑賞した後、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：「三顧の礼」を調べてくこと、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。				
12		「三顧の礼」講読(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。				
13		「三顧の礼」講読(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくこと。予復修の目安時間：各120分。				
14		「三顧の礼」講読(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、「三顧の礼」の物語をまとめること。予復修の目安時間：各120分。				
15		まとめ 勉強した内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題：全部の配付資料の整理と復修を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		総合教養発展ゼミナール Advanced Seminar in Liberal Arts			単位数	授業内容*	
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)			2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング					
授業形式	演習	科目区分	旧・総合教養科目	履修学部	経済学部・ｽｰﾌﾟﾙ学部共通		
配当年次	3-4年生	開講学期	後期				
授業概要	三国志と呼ばれるものには、史書『三国志』と小説『三国志演義』がある。このゼミでは、小説『三国志演義』における虚実の組み合わせや英雄豪傑の人物像を読み解く。具体的には、小説から「赤壁の戦い」「秋風五丈原」などの名場面を中心に割り当て、翻訳文やDVD映像を参考しながら、決めた担当者の講読、教員に解説、そして受講者全員のディスカッションによって授業を進めていく。						
	授業到達目標	中国の歴史と文学に興味を持ち、三国志物語の面白さを知る。また、中国の社会や文化、および人々の考え方をより深く理解できる。					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。							
【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。							
【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。				
1. 小テスト、感想文など		20 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)							
7.							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト			・ミニッツペーパー：第1回・第5回・第11回				
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %	・ミニッツレポート：第3回・第7回・第13回				
3.			・グループディスカッション：第6回・第12回				
再評価の実施		する	・調査学習：毎回				
教科書		羅貫中著・井波律子訳『三国志演義』 筑摩書房 2002年					
参考書							
1		ガイダンス：シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。 予復修課題：三国志を調べてくること、配付資料「三国志演義の世界」を復修すること。予復修の目安時間：各120分。					
2		日本における『三国志演義』の受容 配付資料に基づいて日本における『三国志演義』の受容を紹介する。 予復修課題：『三国志演義』の受容を調べてくること、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。					
3		名場面1：「赤壁の戦い」 DVD「赤壁の戦い」を鑑賞した後、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：「赤壁の戦い」を調べてくること、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。					
4		「赤壁の戦い」講読(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。					
5		「赤壁の戦い」講読(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。					
6		「赤壁の戦い」講読(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、「赤壁の戦い」の物語をまとめること。予復修の目安時間：各120分。					
7		名場面2：「関羽の最期」 DVD「関羽の最期」を鑑賞した後、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：「関羽の最期」を調べてくること、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。					
8		「関羽の最期」講読(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。					
9		「関羽の最期」講読(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。					
10		「官渡の戦い」講読(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、「関羽の最期」の物語をまとめること。予復修の目安時間：各120分。					
11		名場面3：「秋風五丈原」 DVD「秋風五丈原」を鑑賞した後、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：「秋風五丈原」を調べてくること、配付資料を熟読すること。予復修の目安時間：各120分。					
12		「秋風五丈原」講読(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。					
13		「秋風五丈原」講読(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、登場人物を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。					
14		「秋風五丈原」講読(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題：配付資料を熟読し、「秋風五丈原」の物語をまとめること。予復修の目安時間：各120分。					
15		まとめ 勉強した内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題：全部の配付資料の整理と復修を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

経済・経営学科 専門教育科目

《経済・経営学科 専門教育科目の教育目標》

【知識・技能】

学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。

【主体性・協働性】

経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。

《卒業に要する単位》

【新カリ】 2015～2020年度入学生

履修区分		最低修得単位数	要卒単位数
コア科目群		必修2単位	76単位
	領域科目群	} 62単位以上	
	実践科目群		
ゼミナール科目群	必修12単位		

《卒業に要する単位》

【旧カリ】 2014年度以前入学生

履修区分		最低修得単位数	要卒単位数
共通科目	導入科目	6単位	76単位
	基幹科目	4単位以上	
	関連科目	10単位以上	
コース科目		20単位以上	
他コース科目		10単位以上	
演習科目		12単位以上	

シラバス一覧 D 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2015～2020年度入学生(1)

*領域区分の略号

[生経]生活経済領域 / [金会]金融・会計領域 / [公マ]公共マネジメント領域

[経管]経営管理領域 / [スビ]スポーツビジネス領域 / [ビ実]ビジネス実務領域

科目区分・科目名	配当年次・学期		それぞれの領域で重視する科目に						掲載ページ	
			生経*	金会*	公マ*	経管*	スビ*	ビ実*		
コア科目群	職業人入門	1	前							155-157
	経済学概論	1	前後							158-159
	経営学概論	1	前後							160-161
	簿記入門	1	前							162
	初級簿記	1	後							163-164
	職業と経済	1	後							165
	統計学入門	2	前							166
	ミクロ経済学入門	2	前							167
	マクロ経済学入門	2	前							168
	経済史	2	前							169
	会社入門	2	前							170
	会計入門	2	前							171
	企業経営入門	2	前							172
	商業の歴史	2	前							173
	日本経済論入門	2	前							174
	日本経済史	2	後							175
	マクロ経済学	2	後							176
	ミクロ経済学	2	後							177
	統計学	2	後							178
	経済とデータ分析	3	前後							179
経済学特講	3	後							180-182	
経営学特講	3	後							183-186	
経済学特講	4	前							187-189	
経営学特講	4	前							190-191	
領域科目群	会社法	2	前							192
	金融と会計	2	前							193
	財政学入門	2	前							194
	民法(総則・物権)	2	前							195
	中級簿記	2	前							196-197
	イベント論	2	前							198
	環境のビジネス	2	前							199
	人口学	2	前							200
	非営利組織論	2	前							201
	憲法	2	前							202
	数的処理【2018年度以前まで】	不開講								
	スポーツビジネス入門	2	前							203
	ビジネス実務総論A	2	前							204

シラバス一覧 D 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2015～2020年度入学生(2)

*領域区分の略号

[生経]生活経済領域 / [金会]金融・会計領域 / [公マ]公共マネジメント領域
[経管]経営管理領域 / [スピ]スポーツビジネス領域 / [ビ実]ビジネス実務領域

科目区分・科目名	配当年次・学期		それぞれの領域で重視する科目に						掲載ページ
			生経*	金会*	公マ*	経管*	スピ*	ビ実*	
日本経済論	2	後							205
金融論入門	2	後							206
商法総則	2	後							207
経済政策入門	2	後							208
環境経済学入門	2	後							209
財政学	2	後							210
民法(債権)	2	後							211
上級簿記	2	後							212-213
産業組織論入門	2	後							214
経済統計	2	後							215
経済学史	2	後							216
公共経済学入門	2	後							217
経営史	2	後							218
北九州の自然と環境	2	後							219
公共マネジメント論	2	後							220
販売管理論	2	後							221
ビジネスとICT	2	後							222-224
ビジネスのデザイン	2	後							225
スポーツビジネス	2	後							226
スポーツコーチング	2	後							227
スポーツビジネス実践	2	後							228
ビジネス実務総論B	2	後							229
金融論	3	前							230
西洋経済史	3	前							231
地域経済論	3	前							232
経済政策	3	前							233
環境経済学	3	前							234
公共経済学	3	前							235
租税制度	3	前							236
スポーツマネジメント	3	前							237
スポーツ施設管理	3	前							238
近代日本経済史	3	前							239
東洋経済史	3	前							240
行政法(作用法・組織法)	3	前							241
労働と法	3	前							242
環境科学	3	前							243
民法(親族・相続)	3	前							244
地方自治体の財政	3	後							245
日本経営史	3	前							246

領域科目群

シラバス一覧 D 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2015～2020年度入学生(3)

*領域区分の略号

[生経]生活経済領域 / [金会]金融・会計領域 / [公マ]公共マネジメント領域

[経管]経営管理領域 / [スビ]スポーツビジネス領域 / [ビ実]ビジネス実務領域

科目区分・科目名	配当年次・学期		それぞれの領域で重視する科目に						掲載 ページ
			生経*	金会*	公マ*	経管*	スビ*	ビ実*	
管理会計論	3	後							247
流通管理論	3	前							248
ビジネスコーチング	3	前							249
経営者論	3	後							250
経営戦略論	3	前							251
マーケティング論	3	前							252
経営組織論	3	後							253
スポーツビジネスインターンシップ	3	前							254
サービス実務総論	3	前							255
ビジネス実務演習A	3	前							256
ビジネス法務	3	後							257
国際金融論	3	後							258
人的資源管理論	3	後							259
都市経済学	3	後							260
社会保障論	3	後							261
国際経済学	3	前							262
税務会計論	3	後							263
経営管理論	3	後							264
財務管理論	3	前							265
地域とスポーツ	3	後							266
スポーツと法	3	後							267
企業と社会	3	後							268
産業組織論	3	後							269
交通論	3	前							270
ゲーム理論	3	後							271
会計監査論	3	後							272
医療・福祉マネジメント	3	後							273
行政法(救済法)	3	後							274
生産管理論	3	後							275
ビジネス実務演習B	3	後							276
サービス実務演習	3	後							277

領域
科目
群

シラバス一覧 D 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2015～2020年度入学生(4)

*領域区分の略号

[生経]生活経済領域 / [金会]金融・会計領域 / [公マ]公共マネジメント領域

[経管]経営管理領域 / [スビ]スポーツビジネス領域 / [ビ実]ビジネス実務領域

科目区分・科目名	配当年次・学期		それぞれの領域で重視する科目に						掲載ページ	
			生経*	金会*	公マ*	経管*	スビ*	ビ実*		
実践科目群	ワークショップA	1	*							278-281
	ワークショップB	2	*							282-285
	ワークショップC	3	*							286-289
	ワークショップD	4	*							290-293
	研究会A	1	前							294-298
	研究会B	1	前							299-301
	研究会C	1	後							302-307
	研究会D	1	後							308-312
	研究会E	2	前							313-317
	研究会F	2	前							318-323
	研究会G	2	後							324-331
	研究会H	2	後							332-336
	研究会I	1～4	*							337
	研究会J	1～4	*							338
	研究会K	1～4	*							別途指示
	研究会L	1～4	*							別途指示
卒業研究	4	*							別途指示	
ゼミナール科目群	ゼミナール入門	2	前							339-355
	ゼミナール	2	後							356-372
	ゼミナール	3	前							373-398
	ゼミナール	3	後							399-424
	ゼミナール	4	前							425-448
	ゼミナール	4	後							449-472

*年間を通じて適切な時期に行う

前 : 前期前半 後 : 後期前半

前 : 前期後半 後 : 後期後半

科目順次性を考慮して履修する必要がある科目（2015年度以降入学生用）

特定の科目を履修するにあたり、その科目を受講するのに十分な知識を得ることを目的として、事前に履修し単位修得することを推奨する科目があります。

下記の表の（A）列の科目を履修する前に、それぞれの科目の（B）列の科目を履修し単位修得することを推奨します。

(A)科目順次性を考慮して履修する科目 ←		(B)事前に修得しておくことが望ましい科目		
科目	配当年次 学年 前・後	科目	配当年次 学年 前・後	
領域 科目群	金融と会計	2 前	経済学概論 簿記入門	1 前 1 前
	財政学	2 後	財政学入門	2 前
	金融論入門	2 後	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門	2 前 2 前
	スポーツビジネス実践	2 後	研究会B（スポーツビジネス） 研究会C（スポーツビジネス） スポーツビジネス入門	1 前 1 後 2 前
	金融論	3 前	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 金融論入門	2 前 2 前 2 後
	租税制度	3 前	財政学入門	2 前
	地方自治体の財政	3 前	財政学入門	2 前
	経済政策	3 前	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 経済政策入門	2 前 2 前 2 後
	環境科学	3 前	北九州の自然と環境	2 後
	経済学特講	3 後	財政学入門 地方自治体の財政	2 前 3 前
	経営学特講（国際経営論）	3 後	経営学概論 企業経営入門	1 前 2 前
	国際金融論	3 後	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 金融論入門	2 前 2 前 2 後
	企業と社会	3 後	経営学概論 企業経営入門	1 前 2 前
	経済学特講	4 前	財政学入門 租税制度	2 前 3 前
	実践 科目群	ワークショップB（公務員等志望者対象）	2 *	ワークショップA（公務員等志望者対象）
ワークショップB（企業志望者対象）		2 *	ワークショップA（企業志望者対象）	1 *
ワークショップB（教員志望者対象）		2 *	ワークショップA（教員志望者対象）	1 *
ワークショップC（公務員等志望者対象）		3 *	ワークショップA（公務員等志望者対象） ワークショップB（公務員等志望者対象）	1 * 2 *
ワークショップC（企業志望者対象）		3 *	ワークショップA（企業志望者対象） ワークショップB（企業志望者対象）	1 * 2 *
ワークショップC（教員志望者対象）		3 *	ワークショップA（教員志望者対象） ワークショップB（教員志望者対象）	1 * 2 *
ワークショップD（公務員等志望者対象）		4 *	ワークショップA（公務員等志望者対象） ワークショップB（公務員等志望者対象） ワークショップC（公務員等志望者対象）	1 * 2 * 3 *
ワークショップD（企業志望者対象）		4 *	ワークショップA（企業志望者対象） ワークショップB（企業志望者対象） ワークショップC（企業志望者対象）	1 * 2 * 3 *
ワークショップD（教員志望者対象）		4 *	ワークショップA（教員志望者対象） ワークショップB（教員志望者対象） ワークショップC（教員志望者対象）	1 * 2 * 3 *

*年間を通じて適切な時期に行う

シラバス一覧 E 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2014年度以前入学生 (1)

*コース区分の略号

【経】経済戦略コース / 【金】金融コース / 【国】国際・地域経済コース

【環】環境・産業マネジメントコース / 【ビ】ビジネスコミュニケーションコース / 【ス】スポーツビジネスコース

【管】経営管理コース / 【会】会計・情報コース / 【起】起業・後継者コース

科目区分・科目名	配当年次・学期	コース									読替え科目 (シラバス一覧D) 参照	掲載ページ
		経*	金*	国*	環*	ビ*	ス*	管*	会*	起*		
導入科目	経済・経営入門	閉講										
	経済学概論	1 前後									「経済学概論 再」	
	経営学概論	1 後									「経営学概論 再」	
基幹科目	簿記入門	閉講										
	マクロ経済学入門	1 前									「マクロ経済学入門」	
	ミクロ経済学入門	1 前									「ミクロ経済学入門」	
	統計学入門	閉講										
	金融論入門	1 後									「金融論入門」	
	経営学入門	1 前									「企業経営入門」	
	マーケティング入門	閉講										
	会計学入門	1 前									「会計入門」	
	ベンチャー企業入門	閉講										
	財政学入門	2 前									「財政学入門」	
関連科目	基礎数学	閉講										
	経済史	1 前									「経済史」	
	経営史	1 後									「経営史」	
	スポーツビジネス入門	1 前									「スポーツビジネス入門」	
	経済数学	閉講										
	日本経営史	1 前									「日本経営史」	
	日本経済史	2 後									「日本経済史」	
	日本経済論入門	2 前									「日本経済論入門」	
	公共経済学入門	2 後									「公共経済学入門」	
	商業史	2 前									「商業の歴史」	
	会社法	2 前									「会社法」	
	インターネット論	閉講										
	学外研修	閉講										
	民法(総則・物権)	2 前									「民法(総則・物権)」	
	民法(債権)	2 後									「民法(債権)」	
	経済学史	2 後									「経済学史」	
	経済政策入門	2 後									「経済政策入門」	
	国際関係論	閉講										
	近代商業史	閉講										
	商法総則	2 後									「商法総則」	
ビジネス情報処理	2 後									「ビジネスとICT」		
国際経済学	3 前									「国際経済学」		
交通論	3 前									「交通論」		

シラバス一覧 E 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2014年度以前入学生 (2)

*コース区分の略号

〔経〕経済戦略コース / 〔金〕金融コース / 〔国〕国際・地域経済コース

〔環〕環境・産業マネジメントコース / 〔ビ〕ビジネスコミュニケーションコース / 〔ス〕スポーツビジネスコース

〔管〕経営管理コース / 〔会〕会計・情報コース / 〔起〕起業・後継者コース

科目区分・科目名	配当年次・学期		コース									読替え科目 (シラバス一覧D) 参照	掲載 ページ	
			経*	金*	国*	環*	ビ*	ス*	管*	会*	起*			
関連科目	行政法	3	前										「行政法(作用法・組織法)」	
	労働と法	3	前										「労働と法」	
	労働経済学	閉講												
	租税論	3	前										「租税制度」	
	中小企業論	閉講												
	企業会計法	閉講												
	外書講読A	閉講												
	外書講読B	閉講												
	計量経済学	閉講												
	社会保障論	3	後										「社会保障論」	
	ビジネス法務	3	後										「ビジネス法務」	
	海外研修	閉講												
コース科目	マクロ経済学	2	後										「マクロ経済学」	
	ミクロ経済学	2	後										「ミクロ経済学」	
	統計学	2	後										「統計学」	
	経済戦略論	閉講												
	商業簿記	閉講												
	財務会計論	2	前										「金融と会計」	
	経済地理	閉講												
	人口学	2	前										「人口学」	
	ビジネスイングリッシュ	2	前										「研究会F(実践外国語)」	
	環境産業マネジメント入門	2	前										「環境のビジネス」	
	環境経済学入門	2	後										「環境経済学入門」	
	経営管理論	2	後										「経営管理論」	
	経営戦略論	2	前										「経営戦略論」	
	北九州の自然と環境	2	後										「北九州の自然と環境」	
	経営学	2	後										「企業と社会」	
	人間関係論	閉講												
	プレゼンテーション概論	閉講												
	ビジネス実務概論A	2	前										「ビジネス実務総論A」	
	スポーツビジネス論	2	後										「スポーツビジネス」	
	メディア論	閉講												
	リーダーシップ論	閉講												
マーケティング論	2	前										「マーケティング論」		
スポーツビジネス経済論	閉講													
スポーツリーダーシップ論	閉講													
イベント論	2	前										「イベント論」		

シラバス一覧 E 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2014年度以前入学生 (3)

*コース区分の略号

【経】経済戦略コース / 【金】金融コース / 【国】国際・地域経済コース

【環】環境・産業マネジメントコース / 【ビ】ビジネスコミュニケーションコース / 【ス】スポーツビジネスコース

【管】経営管理コース / 【会】会計・情報コース / 【起】起業・後継者コース

科目区分・科目名	配当年次・学期		コース									読替え科目 (シラバス一覧D) 参照	掲載 ページ
			経*	金*	国*	環*	ビ*	ス*	管*	会*	起*		
流通管理論	2	前										「流通管理論」	
情報管理論		閉講											
工業簿記		閉講											
ビジネスプランニング		閉講											
中小企業経営論		閉講											
財政学	2	後										「財政学」	
経済統計	2	後										「経済統計」	
近代日本経済史	2	前										「近代日本経済史」	
日本経済論	2	後										「日本経済論」	
公共経済学	2	前										「公共経済学」	
金融論	2	前										「金融論」	
財務諸表論		閉講											
ビジネスイングリッシュコミュニケーション	2	後										「研究会H(実践外国語)」	
社会福祉原論		閉講											
地域経済論	2	前										「地域経済論」	
環境経済学	2	前										「環境経済学」	
環境経営特講		閉講											
企業倫理		閉講											
産業技術論		閉講											
ビジネス実務概論B	2	後										「ビジネス実務総論B」	
人的資源管理論	2	後										「人的資源管理論」	
ビジネスコーチング論	2	前										「ビジネスコーチング」	
スポーツコーチング論	2	後										「スポーツコーチング」	
企業論		閉講											
経営組織論	2	後										「経営組織論」	
販売管理論		閉講											
情報経営論		閉講											
原価計算論		閉講											
経営分析		閉講											
マルチメディア論		閉講											
商業簿記		閉講											
ベンチャー企業論		閉講											
経営者論	2	後										「経営者論」	
経済政策	3	前										「経済政策」	
ゲーム理論	3	後										「ゲーム理論」	
産業組織論入門	3	後										「産業組織論入門」	
銀行論		閉講											

コース科目

シラバス一覧 E 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2014年度以前入学生 (4)

*コース区分の略号

【経】経済戦略コース / 【金】金融コース / 【国】国際・地域経済コース

【環】環境・産業マネジメントコース / 【ビ】ビジネスコミュニケーションコース / 【ス】スポーツビジネスコース

【管】経営管理コース / 【会】会計・情報コース / 【起】起業・後継者コース

科目区分・科目名	配当年次・学期	コース										読替え科目 (シラバス一覧D) 参照	掲載 ページ	
		経*	金*	国*	環*	ビ*	ス*	管*	会*	起*				
国際金融論入門	閉講													
証券経済論入門	閉講													
地方財政論	3 後												「地方自治体の財政」	
福祉政策	閉講													
アジア経済論	閉講													
都市経済学	3 後												「都市経済学」	
西洋経済史	3 前												「西洋経済史」	
農業経済学	閉講													
貿易論入門	閉講													
環境政策論	閉講													
生産管理論	3 後												「生産管理論」	
環境科学(人間社会系)	閉講													
データベース論	閉講													
情報機器利用プレゼンテーション演習	閉講													
ビジネス実務演習 A	3 前												「ビジネス実務演習 A」	
プレゼンテーション演習	閉講													
スポーツイベント論	閉講													
企業ガバナンス論	閉講													
財務管理論	3 前												「財務管理論」	
商業簿記	閉講													
会計監査論	3 後												「会計監査論」	
プログラミング論	3 前													473
リスクマネジメント論	閉講													
後継者研修	閉講													
社会政策論	閉講													
経済成長論	閉講													
産業組織論	3 後												「産業組織論」	
経済発展論	閉講													
経済計画論	閉講													
金融システム論	閉講													
国際金融論	3 後												「国際金融論」	
証券経済論	閉講													
貿易論	3 前												「国際経済学」	
福祉・医療マネジメント	3 後												「医療・福祉マネジメント」	
九州経済論	閉講													
東洋経済史	3 前												「東洋経済史」	
欧米経済論	閉講													
経営システム工学	閉講													

コース科目

シラバス一覧 E 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2014年度以前入学生 (5)

*コース区分の略号

【経】経済戦略コース / 【金】金融コース / 【国】国際・地域経済コース

【環】環境・産業マネジメントコース / 【ビ】ビジネスコミュニケーションコース / 【ス】スポーツビジネスコース

【管】経営管理コース / 【会】会計・情報コース / 【起】起業・後継者コース

科目区分・科目名	配当年次・学期	コース										読替え科目 (シラバス一覧D) 参照	掲載 ページ			
		経*	金*	国*	環*	ビ*	ス*	管*	会*	起*						
コ ー ス 目 録	環境科学(自然環境系)	3	前												「環境科学」	
	持続循環論	閉講														
	ビジネス実務演習B	3	後												「ビジネス実務演習B」	
	プレゼンテーション演習	閉講														
	国際経営論	3	後												「経営学特講 (国際経営論)」	
	情報科学	3	前後												「経済とデータ分析」	
	スポーツマネジメント論	閉講														
	地域の発展とスポーツビジネス	閉講														
	管理会計論	3	後												「管理会計論」	
	税務会計論	3	後												「税務会計論」	
	情報システム論	閉講														
	経済戦略特講A	閉講														
	経済戦略特講B	3	後												「経済学特講」	
	金融特講A	閉講														
	金融特講B	閉講														
	金融特講C	3	前												「研究会E (FP技能検定2級)」	
	金融特講D	3	後												「研究会G (FP技能検定2級)」	
	国際・地域特講A	2	前													474
	国際・地域特講B	2	後													475
	国際・地域特講C	閉講														
	国際・地域特講D	閉講														
	環境産業マネジメント特講A	閉講														
	環境産業マネジメント特講B	閉講														
	ビジネス特講A	閉講														
	ビジネス特講B	閉講														
	ビジネス特講C	閉講														
	ビジネス特講D	閉講														
	スポーツビジネス特講A	閉講														
	スポーツビジネス特講B	閉講														
	スポーツビジネス特講C	閉講														
	スポーツビジネス特講D	閉講														
	経営管理特講A	2	前												「研究会E (大学院)」	
	経営管理特講B	2	後												「研究会G (大学院)」	
経営管理特講C	3	前												「研究会F (大学院)」		
経営管理特講D	3	後												「研究会H (大学院)」		

シラバス一覧 E 《 経済・経営学科 専門教育科目 》

2014年度以前入学生 (6)

*コース区分の略号

【経】経済戦略コース / 【金】金融コース / 【国】国際・地域経済コース

【環】環境・産業マネジメントコース / 【ビ】ビジネスコミュニケーションコース / 【ス】スポーツビジネスコース

【管】経営管理コース / 【会】会計・情報コース / 【起】起業・後継者コース

科目区分・科目名	配当年次・学期	コース									読替え科目 (シラバス一覧D) 参照	掲載 ページ	
		経*	金*	国*	環*	ビ*	ス*	管*	会*	起*			
コース科目	会計・情報特講A	閉講											
	会計・情報特講B	閉講											
	会計・情報特講C	閉講											
	会計・情報特講D	閉講											
	ベンチャー特講A	閉講											
	ベンチャー特講B	閉講											
	ベンチャー特講C	閉講											
	ベンチャー特講D	閉講											
演習科目	コース演習入門	閉講											
	演習	閉講											
	演習	閉講											
	演習	閉講											
	演習	4	前										「ゼミナール」
	演習	4	後										「ゼミナール」
	卒業論文	4	*										「卒業研究」

授業科目名 (Subject)		職業人入門 Introduction to Working Life		単位数	授業内容**	
担当者		遠藤 哲広 (ENDO Tetsuhiro)		國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		専任
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEH1101		
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	
配当年次	1年生	開講学期	前期		全領域	
授業概要	この講義では、九州共立大学に在籍する4年間に「何を、どのように学び、どんな成果を得るのか」を知り、職業人(ビジネスパーソン)としての意識を涵養することを目標とします。我が国の経済や組織の経営で現実に行っていることを知り、興味を持ってもらうことから始めます。そのため、経済学部教員のみならず、外部の専門家をゲストに迎え、より身近な話題を提供します。					
	授業到達目標	1 経済や経営の動きに興味を持つことができる。 2 経済や経営の動きへの興味を深めることができる。 3 経済や経営の動きを理解するために、今後、どんな理論を学んでいくのか理解できる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。			
1. 小テスト、感想文など		30 %	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。			
2. 中間テスト		20 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		50 %	ミニッツペーパーは毎回行う予定。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書						
1	ガイダンス、授業の進め方について。コメントカードとは何か？ 予復修課題： 経済学部に入學した抱負を語ってください。					
2	コメントカードの書き方など。身近な映像を例にコメントカードを書いてもらいます。 予復修課題： 世の中の動きについて。					
3	講師をゲストに招く予定。大学4年間の資格取得について、話を聞き考える。 予復修課題： 興味のある資格を考えてきてください。					
4	ゲストあるいは映像を例に、最近話題になっている商品について考えてみます。 予復修課題： 最近話題になっている商品の一つを考えてきてください。					
5	講師をゲストに迎え、職業人として働くことの心構えなどについて考えてもらいます。 ブラックバイトに負けないためには。 予復修課題： 興味ある職業について考えてもらいます。					
6	講師をゲストに迎え、いかに賢く働くかについて、事例などから学ぶ。 ブラック企業に負けない職業人になるために必要なことは何か考えます。 予復修課題： ブラック企業とは何か考えてもらいます。					
7	職業人として働くとき、必要なマナーやルールを学びます。 予復修課題： 職業人に必要なマナーを考えてもらいます。					
8	中間のまとめを行います。 レポートをまとめてもらいます。 予復修課題： 自分の将来について、一度考えてもらいます。					
9	講師をゲストに迎え、個別の業界事情について学びます。 その業界の今後の発展性などについて考えます。 予復修課題： 働いてみたい業界を考えてもらいます。					
10	講師をゲストに迎え、個別の業界を知る。 予復修課題： 働いてみたい業界その2を考えてください。					
11	最近話題になっているサービスについて考えます。 予復修課題： 最近気になったサービスについて考えてもらいます。					
12	環境問題について考えます。 経済と環境について、ゲストを迎え考えます。 予復修課題： 環境について気になっていることをまとめてもらいます。					
13	福岡県の気になる企業について、ゲストを迎えて考えます。 福岡の躍進する企業の関係者を招きます。 予復修課題： 福岡の企業について調べてみましょう。					
14	これまで出てきた専門用語についてまとめ、その意味するところをしっかりと理解しましょう。自分で福岡の産業についてまとめることができるようにしましょう。 予復修課題： 福岡の産業について考えてみましょう。					
15	まとめのテストとその講評。これまでの総まとめレポートを書いてもらいます。 自分は将来どのような方向を目指し、そのためには大学時代何をするのか、考えます。 予復修課題： 自分の4年間の目標をしっかりと定める。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業人入門 再履修用 Introduction to Working Life				単位数	授業内容**	
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)				2	1 1-1、本講の目的 授業の進め方や成績評価、毎回の予復修などについて説明します。 予復修課題：シラバスを読むこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 1-2、職業人について 職業分類、勤労観、等について取りあげます。 予復修課題：生徒、学生、社会人、経済人、産業人、等の違いについて考えてくること。	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3 1-3、社会の変化、知識社会における経営 農業革命・産業革命・情報革命。知識の重要性、実行の重要性。 予復修課題：知識と実行の違いについて考えてくること。	
配当年次	2年生	開講学期	前期		全領域		4 1-4、自分を経営する 個人、企業、地域、国家、地球環境、等々の経営について取りあげます。 予復修課題：自分の進路についての、現時点での考えを確認してくること。	
授業概要	この講義では、九州共立大学経済学部在籍する4年間に、「何を、どのように学び、どんな成果を得るのか」を知り、職業人 ビジネスパーソン としての意識を涵養することを目標とします。 わが国の経済や組織の経営で現実に行き起きていることを知り、興味を持ってもらうところから始めます。各方面の職業人の仕事に学ぶ意味で、幾人かの先人の事例を取り上げます。							
授業到達目標	1、経済や経営の動きに興味を持つことができる。 2、経済や経営の動きへの興味を深めることができる。 3、経済や経営の動きを理解するために、何を、どのように学ぶかを考えることができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は授業終了後に質問し、早期に解決を図ること。					
1. 小テスト、感想文など		60 %	中間の総括、まとめのテストでは、学んだ内容について、自分なりの感想や意見を記述することを目標とします。					
2. 中間テスト		%	授業への参加意欲は出席回数を反映させて評価します。					
3. 課題レポートなどの提出物		%	各回の予復修時間は4時間程度です。					
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめテスト		20 %	意見・感想の記述と表現、身近なマナーの実践、などを行う。					
2. 論文、まとめレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	特定の教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配付する場合がある。							
参考書	適宜紹介する。							
		5 2-1、技術進歩の、労働への影響 肉体労働、頭脳労働、感情労働。技術進歩による人間の労働の代替。 予復修課題：上記について調べてくること。						
		6 2-2、社会人基礎力(その1) 前に踏み出す力、考え抜く力 予復修課題：上記について調べてくること。						
		7 2-3、社会人基礎力(その2) チームで働く力 予復修課題：上記について調べてくること。						
		8 2-4、中間のまとめ 予復修課題：前半について振り返ってくること。						
		9 3-1、先人に学ぶ(その1) 組織体の経営の基礎としての事務作業 予復修課題：事務作業について調べてくること。						
		10 3-2、先人に学ぶ(その2) 第一次産業、第二次産業の先人の言葉 予復修課題：興味ある業種について調べてくること。						
		11 3-3、先人に学ぶ(その3) 第三次産業の先人の言葉 予復修課題：興味ある業種について調べてくること。						
		12 3-4、先人に学ぶ(その4) 予復修課題：渋沢栄一について調べてくること。						
		13 3-5、先人に学ぶ(その5) 予復修課題：石田梅岩、二宮尊徳について調べてくること。						
		14 3-6、総まとめ 再度「自分を経営する」について 予復修課題：講義を振り返り、上記について考えてくること。						
		15 15 15 15 15 15 15 15 まとめのテストと解説 予復修課題：まとめのテストの予修、到達目標の自己評価と、まとめのテストの解説の確認。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業人入門 留学生用 Introduction to Working Life			単位数	授業内容**	
担当者	辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)			2	専任	1 ガイダンス、授業の進め方について。コメントカードとは何か？ 予復修課題：経済学部に入學した抱負を語ってください。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEH1101		2 コメントカードの書き方など。身近な映像を例にコメントカードを書いてもらいます。 予復修課題：世の中の動きについて。	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 講師をゲストに招く予定。大学4年間の資格取得について、話を聞き考える。 予復修課題：興味のある資格を考えてください。	
配当年次	1年生	開講学期	前期	全領域		4 ゲストあるいは映像を例に、最近話題になっている商品について考えてみます。 予復修課題：最近話題になっている商品の一つを考えてください。	
授業概要	この講義では、九州共立大学に在籍する4年間に「何を、どのように学び、どんな成果を得るのか」を知り、職業人(ビジネスパーソン)としての意識を涵養することを目標とします。我が国の経済や組織の経営で現実に行っていることを知り、興味を持ってもらうことから始めます。そのため、経済学部教員のみならず、外部の専門家をゲストに迎え、より身近な話題を提供します。						5 講師をゲストに迎え、職業人として働くことの心構えなどについて考えてもらいます。 予復修課題：興味ある職業について考えてもらいます。
授業到達目標	1 経済や経営の動きに興味を持つことができる。 2 経済や経営の動きへの興味を深めることができる。 3 経済や経営の動きを理解するために、今後、どんな理論を学んでいくのか理解できる。						6 講師をゲストに迎え、いかに賢く働くかについて、事例などから学ぶ。 予復修課題：ブラック企業とは何か考えてもらいます。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。				
1. 小テスト、感想文など		30 %	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。				
2. 中間テスト		20 %					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50 %	ミニッツペーパーは毎回行う予定。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	14 これまで出てきた専門用語についてまとめ、その意味するところをしっかりと理解しましょう。自分で福岡の産業についてまとめることができるようにしましょう。 予復修課題：福岡の産業について考えてみましょう。				
3.		%					
再評価の実施	する	しない	15 まとめのテストとその講評。これまでの総まとめレポートを書いてもらいます。 自分は将来どのような方向を目指し、そのためには大学時代何をするのか、考えます。 予復修課題：自分の4年間の目標をしっかりとめる。				
教科書							
参考書							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学概論 Introduction to Economics			単位数	授業内容**	
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		末木 将史 (SUEKI Masachika)		専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEH1102		1 はじめに 予復修課題：日々の動きを新聞、テレビ等でつかむ。(参考書を予修する目安時間:120分)	
授業形式		講義		科目区分		2 給料の決まり方 予復修課題：賃金について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
配当年次		1年生		開講学期		3 借金1：借金とは：契約(担保、利子、期間) 予復修課題：楽観的予想などについて(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
授業概要		科目区分		前期/後期		4 借金2：返済方法 予復修課題：一括や元利均等返済について不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
授業到達目標		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		5 宝くじ当選者は不幸になるのか? 予復修課題：限界効用逓減について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		全領域				6 クレジットカード 予復修課題：リボ払いについて(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						7 最低賃金を高くしたら1 予復修課題：労働需給について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						8 最低賃金を高くしたら2 予復修課題：最低賃金について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						9 連帯保証人 予復修課題：法律、契約書について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				10 ギャンブル 予復修課題：ギャンブルの期待値について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		講義においては必ず、学生証を携帯してください。学生証を携帯しない場合には、何らかのペナルティを与える予定なので、それを忌避する場合は履修申告をしないでください。筆記用具やノート類を持ってきていない場合には、やる気が十分にはないと見なします。また、出席を取った後無断退席する場合にも何らかのペナルティを与える予定です。		11 利子 予復修課題：現在割引価値について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング		12 サンクコスト、機会費用 予復修課題：サンクコストと機会費用について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
1. まとめのテスト		60 %		その日に行なう講義に関することを課題として、10分程度の時間をかけてレポートを作成してもらう予定です(12回程度)。適切な課題がない場合にはレポートを行ないません。		13 保険 予復修課題：自動車保険、生命保険について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
2. 論文、まとめのレポートなど		%				14 1円あたりの満足感 予復修課題：効用最大化について(不明な語句を調べ、参考書を予修する目安時間:120分)	
3.		%				15 まとめのテストおよび講義の総括 予復修課題：1～14回の授業内容を総復修する目安時間:120分	
再評価の実施		する		しない			
教科書							
参考書		木暮太一『カイズ「命より重い!」お金の話し』サンマーク出版、2013年					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	経済学概論 再履修用 留学生用				単位数	授業内容**	
	Introduction to Economics				2	1 はじめに 予復修課題：一般的な経済学に関する本を入手し、予修すること：予修する目安時間は120分	
担当者	水戸 康夫 (MITO Yasuo)		ほか		専任	2 需要と供給 予復修課題：需要と供給について：予修する目安時間は120分	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング			3 需要曲線のシフト 予復修課題：需要曲線のシフトについて：予修する目安時間は120分	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		4 需要の価格弾力性 予復修課題：需要の価格弾力性について：予修する目安時間は120分
配当年次	2-3年生	開講学期	前期/後期		全領域		5 「限界」概念 予復修課題：「限界」について：予修する目安時間は120分
授業概要	本講義では、経済学の基本的な概念や基本的な語句を学ぶ。例えば、「需要」と「需要量」は相違する概念であり、違った意味内容であることなどを説明する。基本的な概念や基本的な語句は、英語の単語と同様に、覚えなければいけないものであることを強調し、講義を行なっていく。また、計算を苦手とする学生は、乗数効果に説明に際しては計算を行なうので、そのことに留意して欲しい。						
	授業到達目標 ・社会経済現象に対して関心を持つようになる。 ・自分の考えを経済学の言葉で説明できるようになる。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義においては必ず、学生証を携帯してください。学生証を携帯しない場合には、何らかのペナルティを与える予定なので、それを忌避する場合は履修申告をしないでください。筆記用具やノート類を持ってきていない場合には、やる気が十分にはないと見なします。講義中に練習問題を行なうので、予修だけではなく、復修を行なうことも重要である。				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング 練習問題を行なうことで、学生にわかっているか問いかけながら、講義を進めていく。練習問題は5分程度時間を与えて、その間に机間巡視を行ない、その後で回答を示す。				
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	茂木喜久雄『らくらく経済学入門たまご』週刊住宅新聞社、2011年。						
							11 投資増大の乗数効果 予復修課題：投資増大の乗数効果について：予修する目安時間は120分
							12 減税の乗数効果 予復修課題：減税の乗数効果について：予修する目安時間は120分
							13 波及効果と消費性向 予復修課題：波及効果と消費性向について：予修する目安時間は120分
							14 金融政策 予復修課題：金融政策について：予修する目安時間は120分
							15 まとめのテストおよび講義の総括 予復修課題：1～14回の授業内容を総復修する目安時間：120分

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営学概論 Introduction to Management		単位数	授業内容**	
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke) 國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・教科書、授業内容の概要、成績評価の方法等。 予復修課題：各自、企業経営について勉強したいことを考えておくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 経営学とはどのような学問か？ ・経営学の目的と基本領域、研究対象としての‘企業/会社’について。 予復修課題：教科書の第1章「経営学とは」に目を通しておくこと。	
授業形式		講義		EEH1103	3 企業システム ・「会社」の仕組みと種類（株式/合名/合資/合同 他）について。 予復修課題：教科書の第2章「企業と会社の制度」に目を通しておくこと。	
配当年次		1年生		科目区分	4 企業システム ・株式会社の仕組みや組織（会社機関）について。 予復修課題：教科書の第2章「企業と会社の制度」に目を通しておくこと。	
開講学期		前期		学科・領域 (コース)区分*	5 企業システム ・株式会社のコーポレート・ガバナンス（会社統治）と社会的責任について。 予復修課題：教科書の第3章「ガバナンス」に目を通しておくこと。	
全領域				6 経営戦略 ・経営戦略の定義と全社戦略の論理（事業ドメイン、経営多角化等）について。 予復修課題：教科書の第4章「経営理念と戦略」に目をとおしておくこと。		
授業概要		本講義は、主に経営学を初めて学ぶ学生諸君を対象とした「経営学」の導入科目であり、その基本分野（企業システム、経営戦略、経営組織、経営管理等）の基礎的知識（理論）を幅広く解説します。経営学という「学問そのもの」にまずは興味・関心をもってもらうことが目標ですが、それに加えて受講学生の皆さんが現実の会社経営や産業のあり方について十分な基礎的理解を得られるよう、また関心をもってもらえるように、できる限り多くの企業/業界の事例を取り上げていく予定です。		7 経営戦略 ・全社戦略の論理（プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント：PPM等）について。 予復修課題：教科書の第5章「企業戦略」に目を通しておくこと。		
授業到達目標		・経営学の各領域における基本的な理論/考え方について、その内容・目的等を適切に説明できる。 ・新聞・雑誌等に掲載される企業・業界関連記事の概要を理解し、その要点を適切に説明できる。 ・経営学検定試験（大学生修得レベル）の出題領域に対応する必要知識の40%程度を習得できる。		8 経営戦略 ・競争戦略の論理（ポーターの基本戦略/コトラーの地位別戦略）について。 予復修課題：教科書の第6章「競争戦略」に目を通しておくこと。		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				9 経営組織 ・組織デザインの基本原理と「官僚制」組織の概念と意義について。 予復修課題：教科書の第7章「組織構造」に目を通しておくこと。		
【知識・技能】		学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。		10 経営組織 ・組織デザインの原理と基本パターン（職能部門制、事業部制組織等）について。 予復修課題：教科書の第7章「組織構造」に目を通しておくこと。		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。		11 経営組織 ・組織デザインの応用パターン（マトリクス組織等）と組織文化について。 予復修課題：教科書の第7章/8章「組織文化」に目を通しておくこと。		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。		12 経営管理 ・リーダーシップ理論の変遷と「経営管理者の役割（情報仲介機能）」について。 予復修課題：教科書の第10章「リーダーシップ」に目を通しておくこと。		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項		13 経営管理② ・モチベーション（動機付け）理論の変遷（内容理論&プロセス理論）について。 予復修課題：教科書の第11章「モチベーション」に目を通しておくこと。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		14 経営管理 ・（ビデオ視聴）優れた企業経営事例に学び、考える。 予復修課題：授業参加にあたり、これまでの学習内容を見返しておくこと。		
1. 小テスト、感想文など		10 %		15 講義全体の総まとめ ・まとめのテストの実施&解説。 予復修課題：授業ノートを中心に十分な復修を行ってテストに備えること。		
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		10 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		70 %		・経営戦略領域におけるフレームワークを使用した企業事例の分析(第7回:PPM分析)		
2. 論文、まとめのレポートなど		%		・企業行動(ビデオ視聴他)に関する学習成果を基礎とした経営事例の分析(第14回)		
3.		%				
再評価の実施		する しない				
教科書		藤田誠『経営学入門(ベーシック+)』中央経済社、2015年。				
参考書						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営学概論 再履修用 留学生用			単位数		授業内容**																								
Introduction to Management					2																										
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)			専任																										
実務経験のある教員による授業		ナンパリング																													
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科																									
配当年次		1年生	開講学期	後期		全領域																									
授業概要		現代におけるわれわれの便利な生活は、企業によって支えられているといっても過言ではない。こうした企業がどのような経営活動を行っているのかについて関心をもつようになると、経営学に関する知識が必要となってくる。本講義では、経営学の基礎概念・理論などを紹介・解説しながら、経営学の基礎知識を学んでいく。																													
授業到達目標		経営学の基礎的な概念・知識を理解し、説明することができる。																													
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)																															
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。																															
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。																															
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。																															
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項																										
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			1) 履修するうえで、学ぶ姿勢・態度は重要となる。 2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。とりわけ、復修をしておくこと。																										
1. 小テスト、感想文など		%																													
2. 中間テスト		%																													
3. 課題レポートなどの提出物		30 %																													
4. 授業中の発表、討論		%																													
5. 授業への参加意欲		10 %																													
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%																													
7.		%																													
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング																										
1. まとめのテスト		60 %			1) ミニレポート (第 8 回)																										
2. 論文、まとめのレポートなど		%			2) 課題レポートの作成を通じた調査学習																										
3.		%																													
再評価の実施		する	しない																												
教科書		特に指定しない																													
参考書		坂下昭宣『経営学への招待』新装版 白桃書房 2014年など																													
		1	講義の概要説明 シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 予復修課題：シラバスを読む	2	はじめに 経営学の研究対象について 予復修課題：企業の役割と特徴	3	経営学とは (1) 経営学の源流について 予復修課題：経営学の発展	4	経営学とは (2) 経営学の性格について 予復修課題：企業とマネジメント	5	会社を知る (1) 企業の起源・種類について 予復修課題：企業形態	6	会社を知る (2) 株式会社の特徴・機関について 予復修課題：株式会社の特徴	7	会社を知る (3) 会社の所有・経営・統治 予復修課題：所有と経営の分離, 企業統治	8	小 括 これまでの講義内容をふりかえる 予復修課題：第2～7回の講義内容	9	戦略をたてる (1) 経営戦略とは 予復修課題：経営戦略の体系	10	戦略をたてる (2) 企業戦略 (全社戦略) について 予復修課題：成長戦略と多角化	11	戦略をたてる (3) 事業戦略 (競争戦略) について 予復修課題：競争戦略の基本類型	12	戦略をたてる (4) 市場の発展プロセスと事業戦略 予復修課題：市場の発展と競争戦略	13	組織をつくる (1) 組織と組織構造について 予復修課題：組織構造の特徴	14	組織をつくる (2) 組織の形態について 予復修課題：職能別組織と事業部制組織	15	まとめ 講義の総括としてのまとめのテスト 予復修課題：第2～14回の講義内容

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		簿記入門 Introduction to Bookkeeping		単位数	授業内容**			
担当者		岡部 勝成 (OKABE Katsuyoshi) 正田 淳一 (MASADA Junichi)		2	1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題： シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各30分			
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		専任	2 簿記で一番大切なこと 貸借対照表・損益計算書 予復修課題： 練習問題1～4及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次	1年生	開講学期	前期	(コース)区分*	全領域			
授業概要	複式簿記の構造、財務諸表の内容、簿記一巡の手続を中心に理解する。 前半では、複式簿記の構造、財務諸表の内容、勘定科目の内容について説明する。 これによって、複式簿記の構造に関する総論的・各論的な知識を得ることができる。 後半では、簿記一巡の手続について説明する。これによって、仕訳、試算表の作成ができるとともに、複式簿記の構造について理解することができる。 また、日商簿記初級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答できる。							
	授業到達目標	1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 簿記一巡の手続きについて、説明することができる。 3. 学習範囲の仕訳について、説明することができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				◎	3 日々の帳簿記入① 取引・勘定記入・仕訳 予復修課題： 練習問題5～8及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				◎	4 日々の帳簿記入② 勘定への転記・試算表の作成 予復修課題： 練習問題9及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				○	5 日々の帳簿記入③、商品売買① 帳簿と伝票、商品売買の記帳 予復修課題： 練習問題10～12及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 電卓を事前に準備しておくこと		6 商品売買② 仕入返品、売上返品、引取運賃、発送費、前払金、前受金、 予復修課題： 練習問題13～16及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
1. 小テスト、感想文など		%	2. 当講義は資格取得に繋げる基礎力を養っていくため、下記指定の教科書を必ず購入し、講義に参加すること。		7 商品売買③、現金預金 消費税、現金、当座預金、その他の預金 予復修課題： 練習問題17～19及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
2. 中間テスト		%	3. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。		8 約束手形、電子記録債権、電子記録債務 予復修課題： 練習問題20～21及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
3. 課題レポートなどの提出物		%			9 貸付金、借入金、未収入金、未払金、立替金、預り金 予復修課題： 練習問題22～24及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
4. 授業中の発表、討論		%			10 その他の債権と債務① 貸付金、借入金、未収入金、未払金、立替金、預り金 予復修課題： 練習問題22～24及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
5. 授業への参加意欲		45 %			11 仮払金、仮受金、有形固定資産の取得、有形固定資産の売却、減価償却 予復修課題： 練習問題25～28及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			12 純資産 資本金の増加と減少、収益費用の勘定科目 予復修課題： 練習問題29～30及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
7.		%			13 試算表の作成 試算表の種類、月次の集計 予復修課題： 練習問題31及び学習範囲の見直し。予復修の目安時間：60分			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		14 本試験シミュレーション 第一回 問題演習及び解答解説 予復修課題： 本試験シミュレーション第二回を解答すること。予復修の目安時間：60分			
1. まとめのテスト		55 %	第13回、第14回の授業中に初級簿記問題演習を実施する		15 本試験シミュレーション 第三回 問題演習及び解答解説 予復修課題： 簿記初級サンプル問題を解答すること。予復修の目安時間：60分			
2. 論文、まとめのレポートなど		%			まとめのテスト、講義の総括			
3.		%			15 授業全体のまとめと復修 予復修課題： 仕訳及び合計残高試算表を見直しておくこと。予復修の目安時間：60分			
再評価の実施	する	しない	○					
教科書	土日で合格の日商簿記初級 資格の大原							
参考書	本授業開始時に指示する。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級簿記【前半15回分】 Elementary Bookkeeping				単位数	授業内容**		
担当者		岡部 勝成 (OKABE Katsuyoshi)		正田 淳一 (MASADA Junichi)		4	専任		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEH1201					
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	1年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域				
授業概要	複式簿記の構造、財務諸表の内容と作成方法、簿記一巡の手続について理解する。前半では、複式簿記の構造、主要簿及び補助元帳・補助記入帳について説明する。これによって、複式簿記の構造に関する総論的・各論的な知識を得ることができる。後半では、英米式決算法と財務諸表の作成方法について説明する。これによって、財務諸表の作成ができるとともに、複式簿記の構造について理解することができる。また、日商簿記検定3級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答できる。							1	ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題： シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各60分
授業到達目標	1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べるすることができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 財務諸表作成に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。							2	簿記一巡の手続き① 簿記一巡の手続き、仕訳の復修 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							◎		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							◎		
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							○		
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 電卓を事前に準備しておくこと						
1. 小テスト、感想文など		%	2. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		45 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		55 %	授業中に主要簿や補助簿の問題演習を実施し記帳処理を行ってもらおう。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	講義実施時にプリントを配布する。								
参考書									
							3	簿記一巡の手続き② 総勘定元帳、試算表の復修 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							4	商品売買① 仕入帳・売上帳 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							5	商品売買② 売掛金元帳・買掛金元帳 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							6	商品売買③ 仕入諸掛および販売諸掛 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							7	商品売買④ 商品有高帳(先入先出法) 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							8	商品売買⑤ 商品有高帳(移動平均法) 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							9	現金預金① 普通預金・複数口座の管理・当座借越 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							10	現金預金② 現金出納帳および当座預金出納帳 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							11	現金預金③ 小口現金出納帳 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							12	手形取引① 受取手形記入帳・支払手形記入帳 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							13	手形取引② 電子記録債権および電子記録債務 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							14	有形固定資産① 修繕費と改造費、固定資産台帳 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	
							15	その他の債権及び債務① クレジット売掛金、手形貸付金および手形借入金 予復修課題： 配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級簿記【後半15回分】 Elementary Bookkeeping				単位数	授業内容**	
担当者		岡部 勝成 (OKABE Katsuyoshi)		正田 淳一 (MASADA Junichi)		4	1	その他の債権及び債務② 立替金および預り金の記帳方法 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEH1201			2	株式会社の資本① 株式会社の意義・株式の発行 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3	株式会社の資本② 剰余金の配当など 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
配当年次	1年生	開講学期	後期		全領域		4	訂正仕訳 仕訳の訂正 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
授業概要	複式簿記の構造、財務諸表の内容と作成方法、簿記一巡の手続について理解する。前半では、複式簿記の構造、主要簿及び補助元帳・補助記入帳について説明する。これによって、複式簿記の構造に関する総論的・各論的な知識を得ることができる。後半では、英米式決算法と財務諸表の作成方法について説明する。これによって、財務諸表の作成ができるとともに、複式簿記の構造について理解することができる。また、日商簿記検定3級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答できる。						5	伝票① 伝票の記帳方法 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
授業到達目標	1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べるすることができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 財務諸表作成に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。						6	伝票② 伝票から総勘定元帳への転記 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						◎	7	決算① 決算 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						◎	8	決算② 英米式決算法、8桁精算表 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						○	9	決算③ 英米式決算法、8桁精算表 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 電卓を事前に準備しておくこと 2. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		45 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング 授業中に主要簿や補助簿の問題演習を実施し記帳処理を行ってもらおう。					
1. まとめのテスト		55 %						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない	○					
教科書	講義実施時にプリントを配布する。							
参考書								
							11	その他の決算整理② 減価償却費の計算及び記帳方法 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
							12	費用及び収益の決算整理 費用の繰延および見越 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
							13	損益計算書と貸借対照表の作成① 損益計算書の作成 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
							14	損益計算書と貸借対照表の作成② 貸借対照表の作成 予復修課題：配布したプリントを熟読する。問題の解きなおしを実施すること。予復修の目安時間：各60分
							15	まとめのテスト、講義の総括 授業全体のまとめ 予復修課題：複式簿記の構造についてまとめる。

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業と経済 Occupations Based Economics		単位数	授業内容**	
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi) 遠藤 哲広 (ENDO U Tetsuhiro)		2	1	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			2	
授業形式		講義		科目区分	コア科目群	
配当年次		1年生		開講学期	後期	
				学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	
					全領域	
授業概要		前期開講の「職業人入門」を踏まえて、職業と経済の関係について考察する。経済社会の成り立ちを知り、その一員としての自覚を促し、自らの職業選択役立つよう、働くことの意味、職業の盛衰や技術進歩の影響、必要な能力の変化などについて解説する。 また、経済・経営分野での数字への感覚を身につけるため、いくつかの基礎的な数字について解説する。				
授業到達目標		1、自分の将来の職業選択について具体的に考えるようになること。 2、職業に必要な能力について考えることができること。 3、経済や経営の、ごく基礎的な数字について、見当がつけられること。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回の出席を心掛けること。 授業への参加意欲は、出席が3分の2を超える分について、20%を上限に考慮する。			
1. 小テスト、感想文など		30 %	この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		50 %	経済についての数字、経営についての数字、それぞれについての簡単な計算を行う。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	小テストも実施する予定。			
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		なし				
参考書		適宜紹介する。				
					3	
					4	
					5	
					6	
					7	
					8	
					9	
					10	
					11	
					12	
					13	
					14	
					15	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		統計学入門 Introductory Statistics		単位数		2		授業内容**	
担当者		久保 宏和 (KUBO Hirokazu)		非常勤講師		1		ガイダンス、導入講義 予復修課題：統計学がどんな学問であるかを確認すること	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEH2101		2		データの種類の収集 予復修課題：データの種類の違い、記述統計と推測統計の違いを確認	
授業形式		講義		科目区分		コア科目群		学科・領域 (コース)区分*	
配当年次		2年生		開講学期		前期		経済・経営学科 全領域	
授業概要		近年ビッグデータの時代とされていますが、そのデータをどのように活用するかに関する基本を学びます。続く統計学の講義で実際にデータを問題解決に結びつけるための基礎となる理論を中心に学びます。得られたデータをどのように加工するか、どのような特徴・特性を持っているのかについて学習し、大量のデータから意味のある結論を導くための第一歩を踏み出しましょう。							
授業到達目標		1.データの種類とそれぞれの取り扱い方について理解できる 2.データの平均・分散(標準偏差)を求め、データの特徴を掴むことができる 3.記述統計と推測統計の違いを理解できる 4.統計を用いて自分が分析したいことを想定できる							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			毎回講義の最後に簡単な確認テストを実施します。				
1. 小テスト、感想文など		15 %			統計分析の方法をただ聞くだけではなく、実際に自分の手を動かしてやってみることが重要です。				
2. 中間テスト		%			予復修に要する時間は60時間を目安として、特に復修と問題演習に積極的に取り組んでください。				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		15 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			適宜ミニッツペーパーとグループディスカッションを利用し、自ら考え意見として発表し、他人の意見も尊重する姿勢を育む。				
1. まとめのテスト		50 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		川出真清『コンパクト統計学』新世社、2011年							
参考書		グローバルタスクフォース(株)著『通勤大学MBA13統計学』総合法令出版、2012年							
15		予復修課題：各自、統計を何に使ってみたいか考えておく							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ミクロ経済学入門 Introductory Microeconomics				単位数	授業内容**	
担当者	眞田 英明 (SANADA Hideaki)		ほか		2	1 ガイダンス 予復修課題：ミクロ経済学とマクロ経済学の違いについて確認	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング		2 消費者の話(1)無差別曲線とは 予復修課題：自分の好みを図で表すことができることを確認		
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 消費者の話(2)予算線と最適消費-所得の制限のもとでの最適な選択 予復修課題：最適消費量を図で表す	
配当年次	2年生	開講学期	前期		全領域	4 消費者の話(3)価格が変化したときの最適選択の変化 予復修課題：代替効果と所得効果を矢印の長さとして表せることを確認	
授業概要	ミクロ経済学は個人として、企業として、私たちがどのような選択をするべきかについての基準を教えてくれる学問です。 なるべく身近な話題を用いながら、消費者としての選択や企業としての行動がなぜ選ばれたのか、明解に解説します。経済活動にとどまらず政治やスポーツ、人間関係等に広く応用することができます。 なるべく数式ではなく図を用いて直感的に理解できることを目的とします。						
授業到達目標	1. 価格の決め方を説明できる 2. 消費者の行動基準、企業の行動基準を説明できる 3. リスク・不確実性を適切に描写することができる 4. 身近な事例をゲームとして表現して、自分が取るべき行動を判断できる						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回授業の最後に簡単な確認テストを実施します。成績評価のためもありますが、みなさんの理解度を次の授業に反映させる意味もありますので必ず提出してください。予復修に要する時間は60時間を目安として、特に復修と問題演習に積極的に取り組んでください。				
1. 小テスト、感想文など		20 %	アクティブ・ラーニング ミニッツペーパーとグループディスカッション を利用し、自ら考え意見として発表し、他人の意見も尊重する姿勢を育む。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		60 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	石川秀樹著『試験攻略入門塾 速習!ミクロ経済学』中央経済社、2019年						
						11 不確実性とリスク - ギャンブルは好きですか? 予復修課題：確率と期待値の意味を確認	
						12 ゲーム理論とははじめ-ゲーム以外のゲーム 予復修課題：ゲームマトリクスでのナッシュ均衡の求め方を確認	
						13 逆選択とモラルハザード-隠された情報と隠された行動から生じる問題 予復修課題：逆選択とモラルハザードの例を覚えておく	
						14 今までの復修 予復修課題：今までの復修と疑問点を確認	
						15 まとめのテストと解説 予復修課題：今までの授業を復修しておくこと	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		マクロ経済学入門 Introduction to Macroeconomics		単位数	授業内容**					
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 インTRODクシヨン：授業の概要及び進め方などについて説明する。 講義の概要・進め方およびマクロ経済学とは何かなどについて説明する。 予復修課題： 今回の授業で扱った内容全体を復修すること。					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 ミクロ経済学とマクロ経済学 ミクロ経済学とマクロ経済学の違いについて説明する予定である。 予復修課題： ミクロ経済学とマクロ経済学の違いを予修(2時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次		2年生	開講学期	前期	(コース)区分*	全領域				
授業概要		現在、日本は少子高齢化や巨額の財政赤字といった様々な問題を抱えている。本講義では、政府や地方自治体などの公共部門がどのような役割を持つのかをマクロ経済学的視点から解説し、財政赤字の現状などに即して政府のマクロ経済政策の課題とあり方について考察する。また、それらを経済循環として表現する方法にも焦点を当てた上で、財政政策の効果などを分析する。 なお、プリント (UNIVERSAL PASSPORTで配布予定) とOHCを利用して講義を進めます。			3 魔法陣と経済循環 魔法陣の特性や経済循環との類似点・相違点について解説予定である。 予復修課題： 魔法陣の解き方を予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
授業到達目標		マクロ経済学の基礎理論を理解し、現実経済の動向を分析できる能力を身につける。マクロモデルの違いを説明できるだけでなく、現実経済との関連性を理解できる。日本経済の現状と課題について問題意識を持ち、それらの問題に対して自分なりの分析を实践できる。 様々な政策課題に対して問題意識を持ち、その解決策を提案できる。			4 経済循環とその表現 簡単な数値例で経済循環の表現方法を学習する予定である。 予復修課題： 経済循環の表現方法を予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
		卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)			5 経済循環と経済主体 経済循環の中での経済主体とは何か、経済主体の役割とは何かを考察する予定である。 予復修課題： 経済主体や経済取引について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
【知識・技能】		学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。			6 経済循環と環境・政策の変化 経済環境や経済政策の変化が生じた場合の経済循環について考察する予定である。 予復修課題： 経済環境や経済政策の変化について予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること。					
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。			7 産業連関表と国民所得の三面等価の法則 国民所得の三面等価の法則が成立する理由を産業連関表で学習する予定である。 予復修課題： 三面等価の法則について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。			8 産業連関表とGDP成長率 経済環境が変化した場合のGDP成長率について考察する予定である。 予復修課題： GDP成長率について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			9 いろいろな所得概念 国内総生産 (GDP) や国民総生産 (GNP) などの所得概念について説明する予定である。 予復修課題： GDPやGNPなどの所得概念について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に参考書を読む等の予修 (20時間以上) と、事後にノートの見直しや練習問題を解く等の復修 (40時間以上) を心がけて下さい。特別欠席の書類や課題などはオフィスアワーや昼休みに提出して下さい。			10 事前学習型授業 (振り返り) 第9回までの内容を振り返り、講義資料の課題に基づく演習を行う予定である。 予復修課題： 講義資料の課題を事前に学習(4時間)し、講義内容を復修しておくこと。				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			11 産業連関分析 産業連関分析の概要と構造について説明する予定である。 予復修課題： 産業連関分析について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
1. まとめのテスト		60 %	第10回目に事前学習型授業を行う予定である。なお、課題はUNIVERSAL PASSPORTから事前に、印刷して取り組んでおいて下さい。			12 オープンモデルとレオンチェフモデル オープンモデルとレオンチェフモデルについて説明する予定である。 予復修課題： オープンモデルとレオンチェフモデルについて予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				13 産業連関分析の行列解法 レオンチェフの逆行列などについて説明する予定である。 予復修課題： 逆行列について予修(2時間)し、講義内容を復修(4時間)すること。				
3.		%				14 産業連関分析の演習 経済環境・経済政策が変化した場合の経済状況を産業連関分析で考察する予定である。 予復修課題： 講義資料の課題を事前に学習(4時間)し、講義内容を復修しておくこと。				
再評価の実施		する	しない			15 まとめ これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： 「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。				
教科書		使用しない。								
参考書		配布資料に記載予定。								

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済史 Economic History		単位数		2		授業内容**	
担当者		新鞍 拓生 (NIIKURA Takuo)		非常勤		講師		1	ガイダンス 講義の構成について説明します 予復修課題：配布プリントを復修しておくこと
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEH2104				2	歴史の見方を高校の教科書からうかがう(1) 歴史の見方の事例を、歴史教科書を通じてうかがいます 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと、高校の歴史教科書を持っている人は見ておく
授業形式		講義		科目区分		コア科目群		経済・経営学科	
配当年次		2年生		開講学期		前期		(コース)区分*	
授業概要		経済は、財やサービスが生産され、流通し、そして消費されるという点から見れば、生存に最も必要な人間の営為のひとつです。経済史は、人間の経済を歴史的営為として自覚し叙述したものに他なりません。経済史の叙述は、社会や人がそうであるように多様です。一国を軸にしたものからグローバルな視点にもとづくもの、経営や企業家に関するものまで多様です。この講義では、経済史学に関するいくつかの方法を紹介した上で、具体的な叙述について解説したいと思います。		全領域				3	
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・物事を見て説明するには筋道を立てることが必要であることが理解できる ・多くの事実を情報として知覚し、物の見方を通じ取舍選択する必要性の理解につながる ・経済事象を長期的スパンからストーリーとして見ることができる ・経済を通じて人類共通のシステムを理解することができる 						4	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								5	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								6	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								7	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								8	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						9	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		講義は配布資料にもとづき行います。高校の授業で歴史に関する科目を履修されていることが望ましいです。ただし配布資料で十分に学習できるようにします。				10	
1. 小テスト、感想文など		20 %		授業中に小テストあるいは感想文などを書いてもらうことがあります。				11	
2. 中間テスト		%		授業の予復修を1時間程度行うことにより一層理解が深まります。				12	
3. 課題レポートなどの提出物		%						13	
4. 授業中の発表、討論		%						14	
5. 授業への参加意欲		%						15	
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		80 %		授業中に小テストを行うことがあります。これは出席点として評価します。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		特に指定しません。配布プリントをもとに講義します。							
参考書		川勝平太『経済史入門』日経文庫、2003年							

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	会社入門 Introduction to the study of Corporation				単位数	授業内容**	
担当者	石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)				2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・教科書、授業内容の概要、成績評価の方法等。 予復修課題：講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 「企業」の概念 ・企業の種類（公企業／私企業）、ゴーイング・コンサーンとしての企業等。 予復修課題：当日の配布プリントとノート筆記を基に復修を行うこと。	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 市場経済と経済社会の担い手（企業・政府・NPO） ・市場経済下における企業と政府、NPOに期待される社会的役割について。 予復修課題：当日の配布プリントとノート筆記を基に復修を行うこと。	
配当年次	2年生	開講学期	前期	全領域		4 「会社」の定義と種類 ・「仕組み」としての会社とその種類（合名、合資、合同、株式会社等）。 予復修課題：教科書 第1章「会社の種類と～」に目を通しておくこと。	
授業概要	本講義では、現代（日本の）企業システムに関する基礎的知識の習得を目指します。前半は、会社（企業）の種類や特徴、社会的な役割などについて学び、中でも株式会社と株式市場の仕組み、またコーポレート・ガバナンス（会社統治）の問題に重点を置いて解説していきます。後半は、「企業間関係」の問題に焦点を当て、企業間競争のあり方、M&A（企業の合併と買収）、また日本の企業システムに固有のグループ戦略や系列組織について解説し、広く（日本の）会社組織の行動原理について学んでいきます。					5 「株式会社」制度の特質と株式市場 ・株式会社の特質（有限責任制、所有と経営の分離等）と株式市場（公開）。 予復修課題：教科書 第2章「株式と株主」に目を通しておくこと。	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社および株式市場、また会社統治の仕組みとその役割など社会人として必要とされる企業関連の基礎的事項について説明できる。 ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、適切にその理由やポイントを説明することができる。 ・経営学検定試験（大学生修得レベル）の「企業システム」領域について60%程度の知識を修得することができる。 					6 （演習）株式市場／株式投資とはどのようなものか？ ・PC教室にて、擬似株式投資（投資企業の選定&投資理由）を行う。 予復修課題：自分の興味のある企業について業績等を調べておくこと。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 株式会社の組織（会社機関） ・会社機関（株主総会、取締役会、監査役会等）とその役割について。 予復修課題：教科書 第3/4章「株式会社の機関～」に目を通しておくこと。			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 株式会社と会社統治（コーポレート・ガバナンス） ・株式会社に特有のガバナンス問題（企業不祥事、経営者支配の問題）について。 予復修課題：教科書 第2章の統治関連部分に目を通しておくこと。			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 日本企業のガバナンス問題 ・日本における企業統治の変遷（バブル期以前の日本型統治の動向）。 予復修課題：教科書 第2/3/4章の統治関連部分に目を通しておくこと。			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・各授業回の冒頭に当日の授業内容に関する「学習のポイント」を提示する。まとめのテストでは、受講学生がこのポイントを適切に説明できるかどうかを重視する。常にこのことを意識した上で聴講、ノート作成・整理を行うこと。				
1. 小テスト、感想文など		10 %	・予復修課題について各回4時間程度をかけて実施することが望ましい。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		70 %	・本講義で修得した株式会社・株式市場の知識を基に「疑似株式投資」を行う。各自銘柄選択を行い、一定期間後に投資成果を確認する(第6回)。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	11 企業間競争のダイナミズム ・企業間競争の意義と問題点、競争制限行為（カルテル、談合等）について。 予復修課題：当日の配布プリントとノート筆記を基に復修を行うこと。				
3.		%					
再評価の実施	する	しない	12 企業の合併と買収(M & A) ・M&Aの目的とメリット&デメリット、近年の動向について。 予復修課題：当日の配布プリントとノート筆記を基に復修を行うこと。				
教科書	柴田和史『ビジュアル 図でわかる会社法』日経文庫、2014年。						
参考書	高橋伸夫『ダメになる会社』筑摩書房、2010年。						
				13 日本の企業間関係 取引系列と関係原理 ・生産、販売、金融、仕入各局面で形成される取引系列の特性と原理について。 予復修課題：当日の配布プリントとノート筆記を基に復修を行うこと。			
				14 日本の企業間関係 企業集団&企業グループ ・(6大)企業集団の動向と一般企業グループ(持株会社形態)について。 予復修課題：当日の配布プリントとノート筆記を基に復修を行うこと。			
				15 講義の総まとめ ・まとめのテスト&解説。 予復修課題：各回の「学習のポイント」を中心にテストに備えること。			

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		会計入門 Elementary Accounting		単位数	授業内容**			
担当者		正田 淳一 (MASADA Junichi)		2	1 授業内容や進行方法、教科書、成績評価の説明 (学生と教員が共感できる講義を考える) 予復修課題：自分なりに「会計とは何か」を考えてみること			
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		専任	2 会計を学んで儲かるか① 会計は利益を生み出すのか 予復修課題：教科書のP25までを読んでおく			
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次	2年生	開講学期	前期	(コース)区分*	全領域			
授業概要	『利益』に繋がる会計を中心に講義を実施する。 会計学の基礎概念(資産、負債、純資産、収益、費用)を理解し、複式簿記の原理を確認しながら、損益計算書及び貸借対照表の意味と構造を解説する。 受講生の理解度や興味に応じた授業を行います。				3 会計を学んで儲かるか② 会計をパズルの形で理解する 予復修課題：教科書のP42までを読んでおく			
授業到達目標	1. 「会計」についての基礎知識が修得できる。 2. 「利益」を誰にでも説明できるようになる。 3. 社会人として必要な財務諸表の知識を身につけることができる。 4. 時事問題に対して反応できるようになる。				4 商売の記録と決算書① 会計は商売の記録を残すための手段 予復修課題：教科書のP50までを読んでおく			
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕					5 商売の記録と決算書② 貸借対照表と損益計算書 予復修課題：教科書のP63までを読んでおく			
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 会計の公式① 決算書の仕組み 予復修課題：教科書のP89までを読んでおく			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 会計の公式② 資産・負債・資本・収益・費用の関係 予復修課題：教科書のP113までを読んでおく			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 会計の公式③ 会計ブロックの積み方のルール 予復修課題：教科書のP127までを読んでおく			
成績評価の方法(全体で100%)					9 キャッシュフロー計算書① キャッシュフロー計算書の必要性 予復修課題：教科書のP143までを読んでおく			
履修における留意事項					10 キャッシュフロー計算書② 減価償却について 予復修課題：教科書のP161までを読んでおく			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。		11 キャッシュフロー計算書③ 利益とキャッシュフローの関係 予復修課題：教科書のP167までを読んでおく			
1. 小テスト、感想文など		%	2. 電卓を事前に準備しておくこと。		12 普通の人が普通に使う会計① 営業現場、製造現場における会計 予復修課題：教科書のP175までを読んでおく			
2. 中間テスト		%	3. 予復修課題の取組時間：約60分程度		13 普通の人が普通に使う会計② 会計知識の使い方 予復修課題：教科書のP195までを読んでおく			
3. 課題レポートなどの提出物		%			14 決算書の読み方 実際の企業の決算書を読み解く 予復修課題：教科書のP222までを読んでおく			
4. 授業中の発表、討論		%			15 講義のまとめ(まとめのテストを実施) テストの実施及び今までの講義の総括を行う 予復修課題：今まで学習した内容を復修しておくこと			
5. 授業への参加意欲		45 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		55 %	第14回の講義にて、企業の決算書の分析を実施し自分の意見を述べてもらう。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施		する	しない		○			
教科書		儲けにつながる「会計の公式」 岩谷誠治						
参考書								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		企業経営入門 General Management		単位数		2		授業内容**	
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		専任				1	ガイダンス(受講時の注意点・受講案内)、解説・事例プリント配布 予復修課題: 指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEH2107				2	経営戦略: 企業の資源調達(II 経営戦略) 予復修課題: 指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。
授業形式		講義		科目区分		コア科目群		3	
配当年次		2年生		開講学期		前期		4	
				学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		5	
						全領域		6	
授業概要		本講義は、現代の企業とその経営について「全体の理解を得る」ことを第1の目標とします。一方、企業を取り巻く環境は激しく変化しており、産業界や学会では、新たな経営手法やスキームが次々と開発されています。そこで、企業の事例を踏まえながら、主要概念と用語を講義・解説するとともに、産業界の新トレンドを解説していきます。							
授業到達目標		1. 経営体や経営学の全体像がわかる。 2. 経営学の基礎知識や最新知識(概念・用語)が習得できる。 3. 産業界のトレンドが理解できる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1. 予修は、1時間程度かけて行うこと。		2. 授業中には重要箇所の理解を確認し、疑問点は授業終了後に質問し、早期に解決を図ること。		11	
1. 小テスト、感想文など		%		3. まとめのテスト: 客観問題80問で実施する。(1問につき1点)		4. 授業への参加意欲は、出席回数で評価する。(1回出席点2点、最高20点まで)		12	
2. 中間テスト		%		2. 授業テーマに対する事例を学習する。		2. 授業テーマ関連の例題で学習成果を授業時間内で確認する。		14	
3. 課題レポートなどの提出物		%						15	
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		20%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		80%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		井原久光(編)『経営学入門キーコンセプト』ミネルヴァ書房、2013。							
参考書		企業経営入門(2年前期)・企業と社会(3年後期)の共通の教科書							
		予復修課題: 過去の学習内容を再確認してください。							

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		商業の歴史 History of Commerce		単位数	授業内容**					
担当者	岡田 有功 (OKADA Yuko)			2	1	講義の概要説明 シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 予復修課題：シラバスを読む				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			専任	2	商業と商業史学 商業とは何か、商業史学とは何かについて 予復修課題：商業史学の意義				
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	2年生	開講学期	前期		全領域					
授業概要	商業は、歴史上、古くから存在していた産業であるとともに、現代の経済においても大きな比重を占めている。しかしながら、こうした特徴をもつ商業の歴史的な展開の過程を顧みる機会は少ない。本講義では、商業史を学ぶうえで前提となる商品・貨幣・信用などの概念を説明したのち、前近代から近代における日本の流通・金融・貿易などの分野に焦点をあてる。われわれの日常生活と密接なかかわりをもつ商業を歴史的な観点から考える。									
	授業到達目標	日本における商業の歴史的形成・発展過程について説明することができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 履修するうえで、学ぶ姿勢・態度は重要となる。							
1. 小テスト、感想文など		%	2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。とりわけ、復修をしておくこと。							
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		20 %								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		10 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		70 %	1) ミニレポート(第7回)							
2. 論文、まとめのレポートなど		%	2) 課題レポートの作成を通じた調査学習							
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	特に指定しない。									
参考書	廣田 誠ほか『日本商業史』有斐閣 2017年ほか									
					7	小 括 これまでの講義内容をふりかえる 予復修課題：第2～6回の講義内容				
					8	前近代社会の商業(1) 近世の流通機構とその担い手について 予復修課題：問屋と両替商の役割				
					9	前近代社会の商業(2) 近世の為替取引 予復修課題：為替の機能				
					10	幕末の開港(1) 開港と貿易について 予復修課題：幕末の自由貿易				
					11	幕末の開港(2) 開港の経済的影響 予復修課題：国内経済への影響				
					12	商業の再編(1) 明治期の流通機構の再編 予復修課題：問屋と卸売商				
					13	商業の再編(2) 商品の流通機構について 予復修課題：メーカーの販売網				
					14	商業の再編(3) 近代的小売業：百貨店三越の事例 予復修課題：百貨店の成立				
					15	まとめ 講義の総括としてのまとめのテスト 予復修課題：第2～14回の講義内容				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本経済論入門 Introduction to Japanese Economy				単位数	2		授業内容**		
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)				専任		1		1 - 1 本講の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEH2109		2		1 - 2 経済と経済学、経済の機能、経済システム 予復修課題：「論」と「学」の違いを考えること。	
授業形式		講義		科目区分		コア科目群		3		1 - 3 世界の中の日本と日本経済、グローバル化、国境の意味・役割 予復修課題：GDP、国境を越える取引について調べること。	
配当年次		2年生		開講学期		前期		4		2 - 1 日本経済における生産(その1) 予復修課題：生産要素について調べること。	
学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		全領域				5		2 - 2 日本経済における生産(その2) 予復修課題：産業構造について調べること。	
授業概要		本講義は、日本経済の成り立ちから、今日までの発展の経緯を踏まえて、日本経済の姿を生産・分配・交換・消費の側面から解説し、さらに、今後の課題を論じるものである。受講生には、目下、自らの生活の基盤をなすものとして、世界の中の日本経済の現状およびその課題について考えてもらうために、基礎的事項を平易に解説したい。									
授業到達目標		日本経済の課題と自分との関係を考えることができること。 日本経済の基礎的事項を理解し、自らの活動に役立てることができること。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7					予復修課題：ジニ係数、労働分配率について調べること。	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8					2 - 5 日本経済における交換(その1) 予復修課題：貨幣の機能、形態について調べること	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9					2 - 6 日本経済における交換(その2) 予復修課題：市場、流通について調べること。	
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					10	2 - 7 日本経済における消費(その1) 予復修課題：消費の規模の変化について調べること。
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		この授業は、2年生の配当科目です。授業への出席は、3分の2以上の場合、回数						11	2 - 8 日本経済における消費(その2) 予復修課題：消費者の嗜好、形態の変化について調べること。
1. 小テスト、感想文など		%		じて、10%を上限に参加意欲の評価に反映させます。						12	3 - 1 日本経済における課題(その1) 戦後の課題の変遷 予復修課題：インフレ、オイルショック、バブル崩壊、デフレ等について調べること。
2. 中間テスト		%		この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。						13	3 - 2 日本経済における課題(その2) 資源・エネルギー・食糧、等々 予復修課題：人口予測について調べること。
3. 課題レポートなどの提出物		%		アクティブ・ラーニング 経済社会の一員として、経済社会の運営とは無縁ではないことの自覚を促す。そのために、第2回、第9回、第14回に、意見交換を行う。						14	3 - 2 日本経済における課題(その3) 経済と道徳 予復修課題：澁澤榮一について調べること。
4. 授業中の発表、討論		%								15	まとめのテストおよび解説
5. 授業への参加意欲		10%								予復修課題：まとめのテストの予修、到達目標の自己評価、まとめのテストの解説の確認。	
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価											
1. まとめテスト		90%									
2. 論文、まとめレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施		する		しない							
教科書		特定の教科書は使用しません。									
参考書		参考書は適宜紹介します。									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本経済史 Japanese Economic History		単位数	授業内容**	
担当者		新鞍 拓生 (NIIKURA Takuo)		2	1 ガイダンス この授業では、日本経済史を学ぶにあたってのガイダンスを行います 予復修課題：日本経済史の対象に関する配布資料を復修しておくこと	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEH2201	2 この授業では近世におけるマクロ経済の動態を講義します 予復修課題：マクロ経済の動態に関する配布資料を復修すること	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	
配当年次	2年生	開講学期	後期		全領域	
授業概要	この講義では、日本経済の発展を歴史的に把握することを目標とします。歴史的にみて日本は江戸時代、現代社会に通じる市場経済を軸とした経済社会が成立しました。その後日本は、幕末に開港して世界市場の一環に加わり、さらに明治維新以後の様々な変革を通じて経済の近代化を図りました。そうした史実をふまえてこの講義では、日本における市場経済を軸とする経済発展の礎となった時期である近世（江戸時代）の経済史を講義します。講義は前半部分は近世の経済構造を、後半部分では市場経済の発展を特に産業発展からそれぞれ解説します。					
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本における市場社会の始まりと展開を学ぶことができる 現在に通じる長期的スパンから日本経済の展開を知ることができる 				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義は配布資料にもとづき行います。高校の授業で日本史に関する科目を履修していることが望ましいです。ただし配布資料で十分に学習できるようにします。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	授業中に小テストあるいは感想文などを書いてもらうことがあります。			
2. 中間テスト		%	授業の予復修を1時間程度行うことにより一層理解が深まります。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		80 %	授業中に小テストを行うことがあります。これは出席点として評価します。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特に指定しません					
参考書	浜野潔ほか『日本経済史1600-2000』慶應義塾大学出版会、2009年					
3		近世の経済社会概観(2)基礎構造		この授業では、近世経済における基礎的な制度について触れます 予復修課題：基本的な構造に関する配布資料を復修すること		
4		近世の経済社会概観(3)基礎構造		この授業では前回に引き続き、近世経済の基礎的な制度について触れます 予復修課題：基本的な構造に関する配布資料を復修しておくこと		
5		近世の経済社会概観(4)貿易		この授業では近世における貿易と日本経済への影響について見ます 予復修課題：貿易に関する配布資料を復修すること		
6		近世の経済社会概観(5)農業・農村		この授業では近世において主要産業だった農業およびそれを支えた農村を見ます 予復修課題：農業・農村に関する配布資料を復修すること		
7		近世の経済社会概観(6)政策		この授業では幕府や大名の政策について見ます 予復修課題：幕府・大名財政に関する配布資料を復修すること		
8		近世の経済社会概観(7)物価		この授業では物価の動きを通じた経済の動態を学びます 予復修課題：物価動向に関する配布資料を復修すること		
9		近世における市場経済の発展(1)商業・商人の発展		この授業では市場経済の広がりを担った商業および商人について見ます 予復修課題：商業発展に関する配布資料を復修すること		
10		近世における市場経済の発展(2)地方の産業発展		この授業では地方における産業経済の発展について見ます 予復修課題：地方産業の発展に関する配布資料を復修すること		
11		近世における市場経済の発展(3)経営と技術		この授業では経営と技術野勘点から産業発展を見ます 予復修課題：近世における経営と技術に関する配布資料を復修すること		
12		九州地方の産業発展(1)		この授業では身近な事例として九州地方の産業発展について見ます 予復修課題：九州地方の産業発展に関する配布資料を復修すること		
13		九州地方の産業発展(2)		この授業でも身近な事例として九州地方の産業発展について見ます 予復修課題：九州地方の産業発展に関する配布資料を復修すること		
14		九州地方の産業発展(3)		これまでの講義のまとめ まとめを講義します 予復修課題：まとめに関する配布資料をすべて見直すこと		
15		九州地方の産業発展(4)		まとめのテストおよび解説 これまで学んだことをテストします 予復修課題：授業中の配布資料をすべて見直すこと		

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		マクロ経済学 Macroeconomics		単位数	授業内容**				
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 イントロダクション：授業の概要及び進め方などについて説明する。 講義の概要・進め方およびマクロ経済学とは何かなどについて説明する。 予復修課題： 今回の授業で扱った内容全体を復修すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 経済循環とその表現 簡単な数値例で経済循環の表現方法を学習する予定である。 予復修課題： 経済循環の表現方法を予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次		2年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域			
授業概要		本講義では、マクロ経済学の基礎理論を用いてマクロの経済問題を解説するとともに、マクロ経済学がどのようにモデルを拡張しながら、一国全体の経済問題を研究しているかを考察する。なお、拡張する前後の違いを式やグラフで視覚化しながら解説するので、一次方程式や直線の図解に関する基礎的な数学的知識が必要である。また、IS-LM分析はグラフの導出過程やシフト過程等を説明した上で、経済政策等が及ぼす影響を分析する予定である。なお、プリント (UNIVERSAL PASSPORTで配布予定) とOHCを利用して講義を進めます。							
授業到達目標		マクロ経済学の基礎理論を理解し、現実経済の動向を分析できる能力を身につける。マクロモデルの違いを説明できるだけでなく、現実経済との関連性を理解できる。経済政策が及ぼす影響をマクロ経済学の基礎理論で判断できるようになる。マクロ経済学の課題に対して問題意識を持ち、その解決策を考察できるようになる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 フローの貯蓄と45度線分析の再考 フローの貯蓄を導入した上で、45度線分析を再考する予定である。 予復修課題： マクロ経済学の貯蓄について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 均衡国民所得と乗数分析の再考 フローの貯蓄や表を用いて、均衡国民所得と乗数分析を再考する予定である。 予復修課題： 45度線分析と乗数分析について予修(3時間)し、講義内容を復修(1時間)すること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 IS曲線の導出とシフト要因 (1) 解説 IS曲線の導出方法を式・グラフ・表を対応させながら説明する予定である。 予復修課題： IS曲線について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に参考書を読む等の予修 (20時間以上) と、事後にノートの見直しや練習問題を解く等の復修 (40時間以上) を心がけて下さい。特別欠席の書類や課題などはオフィスアワーや昼休みに提出して下さい。						
1. 小テスト、感想文など		15 %	アクティブ・ラーニング 第6回目に事前学習型授業を行う予定である。なお、課題はUNIVERSAL PASSPORTから事前に、印刷して取り組んでおいて下さい。また、第10回・12回・14回目も演習に取り組む予定。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		25 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		60 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		使用しない。							
参考書		配布資料に記載予定。							
					11 LM曲線の導出とシフト要因 (1) 解説 LM曲線の導出方法を式・グラフ・表を対応させながら説明する予定である。 予復修課題： LM曲線について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
					12 LM曲線の導出とシフト要因 (2) 演習 LM曲線の導出方法を式・グラフ・表を対応させながら説明する予定である。 予復修課題： LM曲線について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
					13 IS-LM分析 (1) 解説 IS-LM分析における均衡国民所得・均衡利子率を導出する予定である。 予復修課題： IS-LM分析について予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること。				
					14 IS-LM分析 (2) 解説・演習 財政・金融政策の変更が及ぼす影響をIS-LM分析で考察する予定である。 予復修課題： 財政政策・金融政策について予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること。				
					15 まとめ これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： 「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。				

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ミクロ経済学 Microeconomics		単位数	授業内容**				
担当者	眞田 英明 (SANADA Hideaki)		ほか	専任 & 非常勤				
実務経験のある教員による授業			ナンバリング	EEH2203				
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科			
配当年次	2年生	開講学期	後期		全領域			
授業概要	ミクロ経済学は個人として、企業として、私たちがどのような選択をするべきかについての基準を教えてくれる学問です。なるべく身近な話題を用いながら、消費者としての選択や企業としての行動がなぜ選ばれたのか、明解に解説します。経済活動にとどまらず政治やスポーツ、人間関係等に広く応用することができます。入門と類似する内容でも本講義は簡単な数式としても理解できるようになることを目的とします。							
授業到達目標	1. 価格の決め方を説明できる 2. 消費者の行動基準、企業の行動基準を説明できる 3. リスク・不確実性を適切に描写することができる 4. 身近な事例をゲームとして表現して、自分が取るべき行動を判断できる							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回授業の最後に簡単な確認テストを実施します。成績評価のためもありますが、みなさんの理解度を次の授業に反映させる意味もありますので必ず提出してください。予復修に要する時間は60時間を目安として、特に復修と問題演習に積極的に取り組んでください。					
1. 小テスト、感想文など		20 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		60 %	ミニッツペーパーとグループディスカッション					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	を利用し、自ら考え意見として発表し、他人の意見も尊重する姿勢を育む。					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書	石川秀樹著『試験攻略入門塾 速習! ミクロ経済学』中央経済社、2019年							
	1	ガイダンス 予復修課題: ミクロ経済学とマクロ経済学の違いについて確認						
	2	需要曲線と弾力性 - 値段が上がったら我慢する? 予復修課題: 消費者にとっての需要曲線の意味と、生産者にとっての需要曲線の意味を確認						
	3	需要と供給 - 値段の決め方、見えざる手 予復修課題: 超過需要、超過供給のときに価格がどう動くか確認						
	4	消費者理論(1)無差別曲線 - できればたくさん欲しい 予復修課題: 無差別曲線のシフトと満足度(効用)の関係を確認						
	5	消費者理論(2)予算線 - お金は足りるのか 予復修課題: 予算線を自分で導出できるように確認						
	6	消費者理論(3)最適消費量選択 - 予算の範囲で最善の選択を 予復修課題: 最適消費量を図示できるか確認						
	7	生産者理論(1)企業利潤 - いくら得をするのか 予復修課題: 利潤の表し方、企業の行動原理(利潤最大化)を確認						
	8	生産者理論(2)費用の種類、総費用と総収入 - ある企業の1ヶ月 予復修課題: 総費用と総収入を分解できるように確認						
	9	生産者理論(3)利潤を最大にする生産量の決め方 - 経営者になって考えてみよう 予復修課題: 利潤最大化条件を確認						
	10	不完全競争 - 独占・寡占で何が起こるか 予復修課題: 独占や寡占では誰が得をするのか、またその理由を確認						
	11	不確実性とリスク - ギャンブルは好きですか? 予復修課題: 確率と期待値の意味を確認						
	12	ゲーム理論とははじめ-ゲーム以外のゲーム 予復修課題: ゲームマトリクスでのナッシュ均衡の求め方を確認						
	13	様々なゲームの紹介 - 人間行動の面白さ 予復修課題: 囚人のジレンマを自分の言葉で説明できるように						
	14	ゲームツリーを描く - 相手の行動を予測する 予復修課題: 自分の行動が、他人の行動に影響を与える状況を1つ考えておく						
	15	まとめのテストと解説 予復修課題: 今までの授業を復修しておくこと						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		統計学 Statistics		単位数	授業内容**					
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		2	1 ガイダンス、導入講義 予復修課題：統計学がどんな学問であるかを確認すること：予修する目安時間は120分					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 第1回目の講義で収集したデータを基に：平均値、中央値、最頻値、標準偏差を導出する。 予復修課題：データを用いた分析とはどういうものかについて予修すること：予修する目安時間は120分					
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				3 単回帰方程式の導出：例題 予復修課題：単回帰方程式とは何かについて：予修する目安時間は120分
配当年次		2年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域				4 単回帰方程式の導出：例題 予復修課題：単回帰方程式の導出になれるようにすること：予修する目安時間は120分
授業概要		データの活用は、できて当然の時代となりました。しかし、データの活用には基礎的な知識を必要とします。本講義では基礎的な知識の修得を目的とします。基礎的な知識の習得のためには、実際に電卓を使って標準偏差等の計算をしてみることが、習得するのに最も役立ちます。このため、本講義では毎回電卓を持ってくることを義務とし、持っていない場合には何らかのペナルティを課す予定です。								
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> データの平均・分散(標準偏差)を求めることができるようになる。 独立性の検定ができるようになる。 単回帰方程式の計算ができるようになる。 								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：単回帰方程式の導出になれるようにすること：予修する目安時間は120分					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：単回帰方程式の導出になれるようにすること：予修する目安時間は120分					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：単回帰方程式の導出になれるようにすること：予修する目安時間は120分					
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義においては必ず、学生証を携帯してください。学生証を携帯しない場合には、何らかのペナルティを与える予定なので、それを忌避する場合は履修申告をしないでください。毎回、電卓を持ってきているかを確認します。スマートフォン等の電卓機能の利用は認めていません。持っていない場合にはペナルティを課す予定です。							
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 練習問題を行なうことで、学生にわかっているか問いかけながら、講義を進めていきます。練習問題のため時間を与えて、その間に机間巡視を行ない、その後で回答を示します。							
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		10 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめのテスト		90 %								
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施		する	しない	15 予復修課題：1~14回の授業内容を総復修する目安時間：120分						
教科書		なし								
参考書										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済とデータ分析 Data Processing for Economics		単位数	授業内容**					
担当者		三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)		2	1 授業方法, 評価方法などの全体説明					
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		専任	2 マーケティングリサーチ概説 経営情報分析手法, マーケティングの定義・手法, マーケティングリサーチ 予復修課題: 【予修】マーケティングリサーチとは 【復修】SWOTとPPMの利点・欠点					
授業形式		講義	科目区分	3科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次		3年生	開講学期	前期/後期	(コース)区分*	全領域				
授業概要		本講義では, ビジネスシーンにおける実践的な情報処理スキルを身につけることを目的とする。 具体的には, マーケティングリサーチの概要, 統計学の概説を理解したうえで, データ分析・回帰分析・近似曲線などの分析手法, 顧客満足度調査を学習する。 さらに, 意思決定手法として非線形関数の極値, 線形計画法, 階層分析法, 多目的最適化手法に関して演習中心に学習する。 なお, 本講義では随所でWeb検索や表計算ソフトExcelを使用する。								
授業到達目標		1. 統計学の基礎およびマーケティングリサーチの概要に関する問いに対して80%以上正答することができる。 2. 表計算ソフトExcelを用いたデータ分析・回帰分析・近似曲線分析を独力で操作することができる。 3. 学習した意思決定手法に関する問いに対して80%以上正答することができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ, 経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し, 専門知識と技能を身につけている。					7 回帰分析(1) 回帰分析の定義・分類, 相関係数, 外れ値, Anscombeのカルテットでの演習 予復修課題: 【予修】回帰直線とは 【復修】分析結果と元データの関係					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養, および専門分野の知識・技能を用いて, 職業人として適切な企画・計画力, 的確な判断力を有し, それらを実践できる力を身につけている。また, 知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし, 自ら課題を解決する力, 論理的に表現できる力を身につけている。					8 回帰分析(2) 内挿と外挿, Excel上での多項式近似の方法, Anscombeのカルテットでの演習 予復修課題: 【予修】内挿と外挿とは 【復修】誤った統計処理に対する対策					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として, 自らを律し, 主体的に物事を考え, 自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また, 地域および国際社会の一員として, 自ら進んで他者と協働し, 社会貢献できる力を身につけている。					9 顧客満足度調査 顧客満足度調査の方法, SAマトリクス, CS/CEポートフォリオ 予復修課題: 【予修】顧客満足度調査とは 【復修】CS/CEポートフォリオの改善度の活用					
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・授業は, 配布資料を用いて進める。 ・毎時間後, 次回分の資料を配布し, 【授業到達目標】に即した予修指示を行う。 欠席した場合は, UNIVERSAL PASSPORTで確認すること。 ・予修・復修の時間の目安は, それぞれ2時間である。							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	・ミニッツペーパー【毎回】							
2. 論文, まとめのレポートなど		%	・小テスト【予告なし, 随時】							
3.		%								
再評価の実施		する	しない							
教科書		使用しない(配布資料)								
参考書										
					11 線形計画法LP概説 LPの定義, 最大利益問題を例にLPの定式化・図解法による解法 予復修課題: 【予修】線形計画法LPとは 【復修】可能領域, 端点の意味					
					12 ExcelのSolverを用いたLPによる最適化問題の解法 SolverによるLP解法システムのDL・使用法, 4つのLP問題を解く演習・感度解析 予復修課題: 【予修】(再度)ExcelのSolverの組込み方 【復修】感度解析の応用方法					
					13 階層分析法AHPによる意思決定手法 AHP概説, AHPシステムのDL・使用法, 就職先決定問題(マニュアル手法&AHP) 予復修課題: 【予修】問題解決型意思決定手法とは 【復修】マニュアル法とAHPの結果比較					
					14 満足化トレードオフ法による多目的最適化問題の解法(意思決定手法) 意思決定by満足化トレードオフ法システムのDL・使用法, 勉強時間決定問題での演習 予復修課題: 【予修】トレードオフ関係とは 【復修】意思決定における心理					
					15 授業全体のまとめ 予復修課題: 【予修】授業到達目標に関する自己評価					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので, 授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学特講 【自治体の財政運営と財政健全化】 Special Lecture of Economics				単位数	授業内容**	
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)				2	1 ガイダンス 講義の進め方、中心的な学修課題、留意事項について説明する。 予復修課題：授業時に指示	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 国と地方の財政状況と役割分担 現実のデータを用いて、国と地方全体の財政状況と役割分担について、概観する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 地方財政計画 地方全体の予算に相当する地方財政計画の役割と実態を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
配当年次		3年生	開講学期	後期	全領域		4 地方公共団体の予算 個別地方公共団体における予算の仕組みについて学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
授業概要		当講義では、地方自治体(地方公共団体)が住民の生活を支えるうえで果たしている役割を踏まえたうえで、どのような制度の下で財政運営を行っているのか、また、どのようなルールや仕組みが財政破綻に陥らないように地方自治体を律しているのか、解説します。 特に、地方自治体の自発的な財政健全化を促す仕組みが組み込まれている地方財政健全化制度に焦点を当て、具体的なルールと実際の財政健全化の成果などを紹介します。					5 地方公共団体の財源(1)：地方税 地方税の各種税目について、課税対象、税収の大きさなどを概観する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
授業到達目標		・個別の地方自治体が現実にとどのような財政運営を行っているのかを理解する。 ・個別の地方自治体による健全化への取り組み内容と成果について、自分の言葉で説明できる。					6 地方公共団体の財源(2)：地方交付税と国庫支出金 地方交付税と国庫支出金(補助金)の機能、算定の仕組みを学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							7 地方公共団体の財源(3)：地方債 国債との比較も行いながら、地方債制度の仕組みについて学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8 地方公共団体の性質別歳出と目的別歳出 性質別歳出・目的別歳出の観点から、各種歳出の具体的な内容について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9 地方公営企業と第三セクター法人 地方公共団体が直接営む公営事業のほか、各種の外郭団体による事業について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10 地方公共団体の決算 個別地方公共団体における決算の仕組みについて学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					11 地方財政健全化制度(1)：健全化判断比率とイエローカード 地方財政健全化法によって定められた健全化判断比率の内容とルールについて学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1人の住民としての関心があれば、地方財政に関する事前知識の有無は問わない。				12 地方財政健全化制度(2)：地方債制度との関係 地方財政健全化制度と地方債制度が一体のものとして運営されている実態を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				13 地方財政健全化制度(3)：旧再建法との比較 過去の財政破綻事例も踏まえながら、旧再建法と地方財政健全化法の比較を行う。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
再評価の実施		する	ミニテストやアンケートを1~2回実施することによって、講義の進行速度や内容を受講者のためになるよう調整する。				14 地方財政健全化制度(4)：財政健全化の進捗状況 健全化判断比率に基づいて、最近10年間に財政健全化が進捗したことを確認する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)	
教科書		衣笠達夫『実践 自治体財政の経済分析』(中央経済社、2013年)					15 まとめのテスト これまでの講義内容の総括として、まとめのテストを実施する。 予復修課題：「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。	
参考書		赤井信郎・石川達哉『地方財政健全化法とガバナンスの経済学』(有斐閣、2019年)。他は適宜紹介します。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学特講 【経済学における人間】 Special Lecture of Economics				単位数	授業内容**	
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)				2	1	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング					2	
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次		3年生	開講学期	後期		全領域		
授業概要	経済学の理論では、合理的行動をする「経済人」が仮定されます。しかし、「経済人」と現実の人間とを比べて、違和感を持つ人があるかもしれません。この授業では、経済とは何かという基本的な問いに始まり、人間観の変遷や、経済学における人間像、政策と予測、さらには人類社会の基盤や課題について取り上げ、次のようなことを目標とします。							3
	経済学における人間観(人間の捉え方)を知ることができる。 地球に生きる人間としての課題、政策行動における人間的側面を考えることができる。							4
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							6
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							7	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							8	
成績評価の方法(全体で100%)							9	
履修における留意事項							10	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業への出席は、3分の2を超える程度に 応じて、10%を上限に参加意欲の評価に反映 させます。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間 は合計60時間です。				11	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				12	
1. まとめのテスト		90%	第6回、第9回、第12回の授業において、 授業のテーマ(の中のキーワード)について、 意見交換を行う。				13	
2. 論文、まとめのレポートなど		%					14	
3.		%					15	
再評価の実施		する	しない					
教科書		特定の教科書は使用しません。						
参考書		参考書は適宜紹介します。						
予復修課題： 講義要項(シラバス)を読んでおくこと。								
予復修課題： 経済という言葉についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 人間観についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 人間観についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 宗教と経済、宗教と科学等についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 「経済人」についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 「経済人」についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 政治と経済。この両者のかかわりについて検討します。								
予復修課題： 政治と経済についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 予測についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 予測についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 社会的厚生関数についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 社会的厚生関数についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 人間観についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： 人類社会の課題についての予修と今回の授業内容の復修。								
予復修課題： まとめのテストおよび解説。								
予復修課題： まとめのテストの予修、到達目標の自己評価、まとめのテストの解説の確認。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学特講 【公務員試験】 Special Lecture of Economics (Civil service)				単位数	授業内容**				
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)				2	1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 論文・作文の書き方1 文章の構成の仕方を学ぶ 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 論文・作文の書き方2 文章の論理的な書き方を学ぶ 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
配当年次		3年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域	4 論文・作文の書き方3 各公務員の職務内容について理解する(行政職) 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
授業概要		本科目は、公務員(行政職・警察官・消防官等)を目指す学生を対象として、公務員試験の一次試験や二次試験で行われることが多い論文・作文の書き方についての講義を行います。試験の種類によって異なりますが、論文試験・作文試験では、概ね800字～1200字を60分～90分程度で書いていかなければなりません。また、出題テーマも試験によって様々であるため、時事問題を理解した上で、文章の構成の仕方や論理的な書き方を身に付ける必要があります。したがって、これらの対策講座を行います。						5 論文・作文の書き方4 各公務員の職務内容について理解する(公安職) 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
授業到達目標		時事問題を理解し、説明することができる。 文章の構成の仕方や論理的な書き方を身に付ける。 各公務員の職務内容についてよく理解し文章に反映することができる。						6 論文・作文の書き方5 第1回時事問題 講義 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 論文・作文の書き方6 第1回時事問題をテーマとした論文・作文作成 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								8 論文・作文の書き方7 第2回時事問題 講義 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								9 論文・作文の書き方8 第2回時事問題をテーマとした論文・作文作成 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								10 論文・作文の書き方9 第3回時事問題 講義 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				11 論文・作文の書き方10 第3回時事問題をテーマとした論文・作文作成 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。						12 論文・作文の書き方11 第4回時事問題 講義 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。		
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ミニッツペーパー(随時) Think-Pair-Share グループディスカッション グループワーク						13 論文・作文の書き方12 第4回時事問題をテーマとした論文・作文作成 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。		
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		20 %									
4. 授業中の発表、討論		10 %									
5. 授業への参加意欲		20 %									
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %									
7.		%									
2) 最終到達度の評価									14 論文・作文の書き方13 第5回時事問題 講義 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。		
1. まとめのテスト		40 %							15 まとめの論文・作文テスト 予復修課題：予修：復修問題の内容を理解し覚えてくること。復修：まとめのテストの復修をすること。		
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施		する	しない								
教科書		講義レジュメを使用する。									
参考書		別途指示する。									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営学特講 【社会人基礎講座】 Special Lecture of Management				単位数	授業内容**			
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)				2	1 講義の概要説明 シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 予復修課題：シラバスを読む			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 社会人基礎力(1) 社会人基礎力とは何かについて 予復修課題：社会人基礎力			
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 社会人基礎力(2) 社会人基礎力の自己分析と改善点について 予復修課題：社会人基礎力			
配当年次		3年生	開講学期	後期		全領域	4 社会常識(1) 社会常識とは何かについて 予復修課題：社会常識の意味			
授業概要		本講は、社会人として必要とされる知識や能力を身につけることを目的としている。そのためには、社会人基礎力、社会常識、「考える力」について理解を深めるとともに、読み・書きを通して基礎力の向上を目指す。						5 社会常識(2) 会社に関する社会常識について 予復修課題：会社のCSR		
授業到達目標		1. 社会や職業に興味・関心をもつようになる。 2. 社会人や職業人に必要な基礎知識を理解することができる。 3. 情報を読み解くことができる。						6 社会常識(3) 挨拶の社会常識について 予復修課題：挨拶の意味		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 コミュニケーション(1) コミュニケーションとは何かについて 予復修課題：コミュニケーションの意味		
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 コミュニケーション(2) 会社におけるコミュニケーションについて 予復修課題：フォーマルなコミュニケーションとインフォーマルなコミュニケーション		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 小括 これまでの講義内容を振り返る 予復修課題：第2～8回の講義内容		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 考える力(1) 「考える」こととは何かについて 予復修課題：言葉のつながり		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						11 考える力(2) 「考える」ことと制限について 予復修課題：言葉のつながり		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 履修するうえで、学ぶ姿勢・態度は重要となる。 2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。とりわけ、復修をしておくこと。						12 考える力(3) 課題設定能力について 予復修課題：課題設定能力	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						13 考える力(4) 音読と考える力の関係について 予復修課題：音読の重要性	
1. まとめのテスト		%	1) 分析シート(第3回)						14 考える力(5) 数学・国語と考える力の関係について 予復修課題：学ぶ意義・学習する意義	
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	2) ミニレポート(第7回ほか)						15 まとめ これまでの講義を振り返り、レポートを作成する 予復修課題：第2～14回の講義内容	
3. 再評価の実施		する	3) プレゼンテーション(第10回ほか)							
教科書		プリントを配布する予定								
参考書										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営学特講I【国際経営論】 Special Lecture of Management (International Management)				単位数	授業内容**		
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)				2	1 ガイダンス(受講時の注意点・受講案内)、解説・事例プリント配布 予復修課題: 国際社会とビジネスの関わりについて、考えてきてください。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 国際経営とは何か、なぜ企業は国際化するのか。 予復修課題: ダイキン(p4-7)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。		
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 海外直接投資の理論 予復修課題: モリタ(p32)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。		
配当年次		3年生	開講学期	後期		全領域	4 企業の国際活動と栄光盛衰 予復修課題: FTAと関税同盟(p55)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。		
授業概要		「もの」「人」「情報」「金」が国境を超えて流通され、企業はこれらの資源の最大の流通媒体になっています。一方、世界的には、市場統合と地域化が同時に進むことで、企業行動をめぐる問題の所在が大きく変わりつつあります。そこで、本講義では、企業の国際化行動について、事例をふまえて、右記の諸点を検討することにより、アジアの主要企業の行動の変化を理解し、さらには我々がどのように関係するかを講義していきます。						5 企業の国際活動と栄光盛衰: 多極化時代の企業の国際化 予復修課題: 指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。	
授業到達目標		1.国際化によってもたらされた企業経営の課題がわかる。 2.国際化と企業活動にかかわる基本知識が得られる。 3.各専門分野の基礎概念及び用語が理解できる。						6 国際企業の組織 予復修課題: ABB社(p71-72)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 トランスナショナル経営 予復修課題: キリンとサントリー(p80-83)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 子会社と親会社の関係 予復修課題: スリエムなど(p104-105)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 国際マーケティング 予復修課題: コカコーラ(p126)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 ものづくりと国際化 予復修課題: TPS(p132-133)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						11 研究開発の国際化 予復修課題: 有力企業の研究所立地(p157)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1.予修は、1時間程度かけて行うこと。 2.授業中には重要箇所の理解を確認し、疑問点は授業終了後に質問し、早期に解決を図ること。 3.まとめのテスト: 客観問題80問で実施する。(1問につき1点) 4.授業への参加意欲は、出席回数で評価する。(1回出席点2点、最高20点まで)				12 国際的な人的資源管理 予復修課題: 海外駐在員の実態(p179)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。		
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				13 国際パートナーシップ 予復修課題: ビジネス・アーキテクチャ(p196)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。		
1. まとめテスト		80%	1.授業テーマに対する事例を学習する。 2.授業テーマ関連の例題で学習成果を授業時間内で確認する。				14 国際化と企業の課題 予復修課題: ボーン・グローバル(p210-211)及びプリント事例の注目点を考えてきてください。		
2. 論文、まとめレポートなど		%					15 総括(まとめ及びテスト) 予復修課題: 過去の学習内容を再確認してください。		
再評価の実施		する	しない						
教科書		中川功一著『はじめての国際経営』有斐閣ストゥディア、2015。							
参考書									

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	経営学特講 【ビジネスとプレゼンテーション】				単位数	授業内容**	
	Special Lecture of Management				2		
担当者	山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)				専任		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEH3202		
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	後期		全領域		
授業概要	実社会ではビジネスシーンを中心とした様々な場面で、自らの考えや企画などを関係者に開示しアピールし、理解を得て賛同を獲得することが求められるようになります。アピールコンテンツ自体が正しくかつ魅力的であることが大前提なのは言うまでもありませんが、それを正確にそしてより魅力的に伝えるためには、伝達技法にも留意した合理的・効果的のプレゼンテーションが不可欠です。この授業では、そうしたプロセスで必要とされる様々なスキルを、就職活動への応用も意識しながら実践的に学びます。						
	1. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる						
	2. 理解した情報を伝達可能なコンテンツに合理的に再構築できる						
	3. 伝達すべき情報コンテンツ及び考えを正確かつ魅力的に構成できる						
	4. 伝達すべき情報コンテンツ及び考えを口頭で伝えることができる						
	5. プレゼンテーション用アプリケーションの効果的な利用ができる						
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
	【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書の購入が必要になる場合があります。課題提出 (レポート、作品等) や授業中のグループワークへの参加の積極性などを総合的に判断して成績を評価します。講義科目ですがテーマであるプレゼンテーションの実践は必須です。予復修には、毎回少なくとも 1 時間程度かけることが求められます。					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	40 %						
4. 授業中の発表、討論	30 %						
5. 授業への参加意欲	15 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	15 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	ディスカッション					
2. 論文、まとめのレポートなど	%	グループワーク					
3.	%	プレゼンテーション					
再評価の実施	する	しない	レポート執筆、資料作成実践				
教科書	特定の教科書は使用しない (必要に応じて指示する場合があります)						
参考書	特になし (必要に応じて指示する場合があります)						
						1	イントロダクション 講義テーマ、講義の概要と進め方他 予復修課題: 自己アピールの準備 (内容、構成 etc)
						2	自己アピールの実践 (1) 準備 予復修課題: 自己アピールポイントのピックアップと整理
						3	自己アピールの実践 (2) 準備 予復修課題: ターゲットに合わせた自己アピールポイントの絞り込み
						4	自己アピールの実践 (3) 発表とディスカッション 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						5	自己アピールの実践 (4) 発表とディスカッション 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						6	メディア情報の理解とそのまとめ方 (1) 予復修課題: 新聞記事の概要執筆と資料作成 (グループワーク)
						7	メディア情報の理解とそのまとめ方 (2) 予復修課題: 新聞記事の概要執筆と資料作成 (グループワーク、個人)
						8	メディア情報の理解とそのまとめ方 (3) 予復修課題: 新聞記事の概要執筆と資料作成 (個人)
						9	メディア情報の理解とそのまとめ方 (4) 発表 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						10	メディア情報の理解とそのまとめ方 (5) 発表 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						11	メディア情報の理解とそのまとめ方 (6) 発表 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						12	プレゼンテーション実践 (1) Power Point の基本機能 予復修課題: Power Point の基本機能理解とコンテンツ作成
						13	プレゼンテーション実践 (2) Power Point の特性を活かした効果的プレゼンテーション 予復修課題: Power Point によるコンテンツ作成
						14	プレゼンテーション実践 (3) Power Point の特性を活かした効果的プレゼンテーション 予復修課題: Power Point によるコンテンツ作成
						15	まとめ 予復修課題: Power Point で作成したコンテンツの提出

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営学特講 【ISO 9001】 Special Lecture of Management			単位数	授業内容**		
担当者		立川 鐵哉 (TATSUKAWA Tetsuya)			2	1 1日目 ISO(国際標準化機構)誕生の背景 近代産業革命の背景とその影響について講義する。 予復修課題: 国際取引を円滑にすることについて調べる。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			非常勤 講師	2 1日目 欧米諸国の地域規格の構造と働き 欧米と日本の品質管理の違いを講義する。 予復修課題: ものづくりに重要な考え方とは何かを調べる。		
授業形式		講義(集中)	科目区分	コア科目群	経済・経営学科	3 1日目 規格用語の説明 ISO専門用語を中心に講義する。 予復修課題: JIS規格の用語を参考に調べる。		
配当年次		3年生	開講学期	後期集中	経済・経営学科 (コース)区分*	全領域	4 2日目 品質マネジメントシステム 品質を達成するための仕組みづくりについて講義する。 予復修課題: 会社の運営管理するためのPDCAについて調べる。	
授業概要		この科目は、企業や行政機関に導入しているISO規格を内部監査する資格を有する人材を在学中に資格取得させる授業である。後期の集中講義(4日間)を受講することにより、品質マネジメントシステム(ISO9001)内部品質監査員の資格を取得することができる。(有料)試験の合格者は70点以上とする。詳細は掲示板に記載する。					5 2日目 支援 会社の運用をサポートするための要求事項について講義する。 予復修課題: 会社の資源について調べる。	
授業到達目標		品質マネジメントシステム(ISO9001)を4日間で資格を取得することにより、国際規格の専門性を正確に理解し企業の品質改善活動に適切な意思決定と行動を行うための内部品質監査員としての力量を備える。					6 2日目 製品実現 製品を製造するための仕組みの必要性を講義する。 予復修課題: 製品に及ぼす影響を調べる。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	この科目は、内部品質監査員になるための授業であり、有料の集中講義である。授業の実施時期は、ガイダンスや掲示板に記載する。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを望みます。問合せは、経済学部、中山教授。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		80 %	グループに分かれて討論をする。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	監査員に必要な思考力と適切な質問をする力量を学ぶ。					
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書 JISQ9001(日本規格協会 発行)								
参考書 内部監査テキスト 発行 EQA国際認証センター・産業革命 中川敬一郎訳 発行 岩波文庫								
11 3日目 マネジメントレビュー 経営者に提供する情報の有効性と改善管理について講義する。 予復修課題: 経営者に提供する情報について調べる。								
12 3日目 グループに分かれ模擬内部監査 サービス業を中心に監査の方法について講義する。 予復修課題: 身近な会社を想定する。								
13 4日目 グループに分かれ模擬内部監査 製造業を中心に監査の方法について講義する。 予復修課題: 身近な会社を想定する。仕事の改善活動について調べる。								
14 4日目 まとめ ISOについて復修、質疑応答を重ね理解を深める。 予復修課題: ISO9001の規格要求事項を理解する。								
15 4日目 試験 試験終了後は出題の解説をする。 予復修課題: ISO9001の規格要求事項を理解する。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学特講 【住宅の経済学】 Special Lecture of Economics			単位数	授業内容**	
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)			2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEH4101		
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	4年生	開講学期	前期		全領域		
授業概要	当講義では、どの地域に住むのか、持家と借家のどちらに住むのかという個人の選択は何に基づいて行われているのか、家賃や地価(住宅価格)はどのようにして決まるのか、住宅政策はこれらにどのような影響を及ぼしているのかなど、住宅を巡る様々なトピックスを経済学の基礎的な考え方の範囲内で解説します。						
授業到達目標	・住宅価格の決まり方や住宅政策の効果を経済学の考え方に沿って説明できる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	「ミクロ経済学」を履修済みであることが望ましい。				
1. 小テスト、感想文など		%	また、履修済みの人も「ミクロ経済学」における市場均衡の考え方や余剰分析の節を十分復修しておくこと。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		70 %	ミニテストやアンケートを1~2回実施することによって、講義の進行速度や内容を受講者のためになるよう調整する。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	山崎福寿・浅田義久 『都市経済学』(日本評論社、2008年)						
参考書	八田達夫 『ミクロ経済学』(東洋経済新報社、2009年)						
1	ガイダンス 講義の進め方、中心的な学修課題、適用する経済学の考え方を説明する。 予復修課題：授業時に指示						
2	日本の住宅市場(1)：住宅投資とは？ 国民経済計算(SNA)統計も利用しながら、住宅投資という概念について解説する。 予復修課題：財政学入門のノートの確認(予復修目安時間：各120分)						
3	日本の住宅市場(2)：持家と帰属家賃 持家に固有の「帰属家賃」概念について、その意味と重要性を解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
4	日本の住宅市場(3)：個人のライフサイクルと住宅 消費のライフサイクル仮説を紹介し、住宅投資が果たす役割について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
5	日本の住宅市場(4)：持家と借家の居住水準 日本では持家と借家の広さが著しく異なることを国際比較を通じて明らかにする。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
6	日本の住宅市場(5)：住宅価格 現実のデータに基づいて、地価と住宅価格を国際比較する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
7	住宅市場の基礎理論(1)：住宅需要とは？ - 付け値曲線の意味 住宅価格決定に関わる需要曲線と供給曲線の現実的な意味について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
8	住宅市場の基礎理論(2)：持家が借家か？ 持家のための土地需要と借家のための土地需要の相互作用について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
9	住宅市場の基礎理論(3)：家賃はどのようにして決まるのか？ 持家市場と借家市場が同時に均衡するメカニズムを解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
10	住宅市場の基礎理論(4)：地価(住宅価格)はどのようにして決まるのか？ 家賃と住宅価格および地価(土地価格)の関係について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
11	住宅政策の効果(1)：各種規制と社会的余剰 借地借家法を例にとり、住宅に関する規制が社会的厚生に与える影響を解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
12	住宅政策の効果(2)：各種税制とユーザーコスト 各種税制が住宅のユーザーコストを通じて市場均衡に与える影響について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
13	住宅政策の効果(3)：金融緩和の効果 金融緩和が住宅市場に与える効果について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
14	住宅政策の効果(4)：家賃補助と公営住宅の直接供給の効果 家賃補助と公営住宅の直接供給が効率性と公平性に与える効果について検討する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間：60分)						
15	まとめのテスト これまでの講義内容の総括として、まとめのテストを実施する。 予復修課題：「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学特講 【市場と政府】 Special Lecture of Economics				単位数	授業内容**	
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)				2	1 1-1 本講の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 2-1 経済システムとは何か。市場経済と計画経済について。 予復修課題：経済計算論争、経済計画、経済体制、についての予修と今回の授業内容の復修。	
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	経済・経営学科		2-2 市場経済の歴史 予復修課題：市場経済、資本主義、についての予修と今回の授業内容の復修。	
配当年次		4年生	開講学期	前期	全領域	3 2-3 計画経済の歴史 予復修課題：計画経済、社会主義、についての予修と今回の授業内容の復修。		
授業概要	この授業では、市場の役割と政府の役割について考えます。 社会主義国では計画経済体制から市場経済への転換が進んできました。経済システムの基礎や体制転換、市場の失敗や政府の失敗、なども解説します。 さらに、グローバル化についても学びます。							
	市場経済と計画経済の歴史を知り、両者の違いについて考えることができる。 市場の役割と政府の役割を知り、自らの活動とのかかわりを知り、自分の確立に役立てることができる。							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	この科目の受講に当たっては授業は、「経済政策入門」、「経済政策」を受講していることが望ましい。 授業への出席は、3分の2を超える程度に応じて、10%を上限に参加意欲の評価に反映させます。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング 授業のテーマのキーワードについて事前に調べる。					
1. まとめのテスト		90%						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書 特定の教科書は使用しません。								
参考書 参考書は適宜紹介します。								
15 予復修課題：まとめのテストの予修と解説の確認、到達目標の自己評価。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	経済学特講 【公務員試験】 Special Lecture of Economics (Civil service)				単位数	授業内容**	
担当者	森江 由美子 (MORIE Yumiko)		菊池 裕子 (KIKUCHI Hiroko)		2	1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修すること。	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEH4101		2 集団討論テーマの理解1 各公務員の職務内容について理解する（行政職 第1回） 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 集団討論テーマの理解2 各公務員の職務内容について理解する（行政職 第2回） 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。	
配当年次	4年生	開講学期	前期		全領域	4 集団討論テーマの理解3 各公務員の職務内容について理解する（公安職 警察官 第1回） 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。	
授業概要	<p>本科目は、公務員（行政職・警察官・消防官等）を目指す学生を対象として、公務員試験の一次試験や二次試験で行われることが多い集団討論や面接対策についての講義を行います。試験の種類によって異なりますが、集団討論や面接においては、時事問題や各公務員の職務内容に関するテーマが出題されたり質問されるため、よく理解しておく必要があります。</p> <p>これらの対策講義を行いますので、公務員を目指す学生は、是非履修してください。</p>					5 集団討論テーマの理解4 各公務員の職務内容について理解する（公安職 警察官 第2回） 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。	
授業到達目標	<p>時事問題を理解し、説明することができる。</p> <p>各公務員の職務内容についてよく理解し説明することができる。</p> <p>論理的な思考および説明能力を身に付けることができる。</p>					6 集団討論テーマの理解5 各公務員の職務内容について理解する（公安職 消防官 第1回） 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。経営学特講（公務員試験対応）を履修していることが望ましい。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %	ミニッツペーパー (随時)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	Think-Pair-Share				
3.		%	グループディスカッション				
再評価の実施		する	グループワーク				
しない							
教科書	講義レジュメを使用する。						
参考書	別途指示する。						
						15 まとめのテスト 予復修課題：予修：復習問題の内容を理解し覚えてくること。復修：まとめのテストの復修すること。	

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営学特講 【社会人基礎講座】 Special Lecture of Management			単位数		授業内容**	
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)			2		1 講義の概要説明 シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 予復修課題：シラバスを読む	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEH4102		2 社会人基礎力(1) 社会人基礎力とは何かについて 予復修課題：社会人基礎力	
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次		4年生	開講学期	前期		全領域		
授業概要		本講は、社会人として必要とされる知識や能力を身につけることを目的としている。そのためには、社会人基礎力、社会常識、「考える力」について理解を深めるとともに、読み・書きを通して基礎力の向上を目指す。						
授業到達目標		1. 社会や職業に興味・関心をもつようになる。 2. 社会人や職業人に必要な基礎知識を理解することができる。 3. 情報を読み解くことができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 履修するうえで、学ぶ姿勢・態度は重要となる。 2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。とりわけ、復修しておくこと。				
1. 小テスト、感想文など		50 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		1) 分析シート(第3回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %		2) ミニレポート(第7回ほか)				
		%		3) プレゼンテーション(第10回ほか)				
再評価の実施		する しない						
教科書		プリントを配布する予定						
参考書								
				13 考える力(4) 音読と考える力の関係について 予復修課題：音読の重要性				
				14 考える力(5) 数学・国語と考える力の関係について 予復修課題：学ぶ意義・学習する意義				
				15 まとめ これまでの講義を振り返り、レポートを作成する 予復修課題：第2～14回の講義内容				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	経営学特講 【ビジネスとプレゼンテーション】				単位数	授業内容**	
	Special Lecture of Management				2		
担当者	山本 洋一(YAMAMOTO Yoichi)				専任		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEH4102		
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	4年生	開講学期	前期		全領域		
授業概要	実社会ではビジネスシーンを中心とした様々な場面で、自らの考えや企画などを関係者に開示しアピールし、理解を得て賛同を獲得することが求められるようになります。アピールコンテンツ自体が正しくかつ魅力的であることが大前提なのは言うまでもありませんが、それを正確にそしてより魅力的に伝えるためには、伝達技法にも留意した合理的・効果的プレゼンテーションが不可欠です。この授業では、そうしたプロセスで必要とされる様々なスキルを、就職活動への応用も意識しながら実践的に学びます。						
授業到達目標	1. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる 2. 理解した情報を伝達可能なコンテンツに合理的に再構築できる 3. 伝達すべき情報コンテンツ及び考えを正確かつ魅力的に構成できる 4. 伝達すべき情報コンテンツ及び考えを口頭で伝えることができる 5. プレゼンテーション用アプリケーションの効果的な利用ができる						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書を購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のグループワークへの参加の積極性などを総合的に判断して成績を評価します。講義科目ですがテーマであるプレゼンテーションの実践は必須です。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。					
1. 小テスト、感想文など	%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践					
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	40 %						
4. 授業中の発表、討論	30 %						
5. 授業への参加意欲	15 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	15 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト	%						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合があります)						
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合があります)						
						1	イントロダクション 講義テーマ、講義の概要と進め方他 予復修課題: 自己アピールの準備(内容、構成etc)
						2	自己アピールの実践(1)準備 予復修課題: 自己アピールポイントのピックアップと整理
						3	自己アピールの実践(2)準備 予復修課題: ターゲットに合わせた自己アピールポイントの絞り込み
						4	自己アピールの実践(3)発表とディスカッション 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						5	自己アピールの実践(4)発表とディスカッション 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						6	メディア情報の理解とそのまとめ方(1) 予復修課題: 新聞記事の概要執筆と資料作成(グループワーク)
						7	メディア情報の理解とそのまとめ方(2) 予復修課題: 新聞記事の概要執筆と資料作成(グループワーク、個人)
						8	メディア情報の理解とそのまとめ方(3) 予復修課題: 新聞記事の概要執筆と資料作成(個人)
						9	メディア情報の理解とそのまとめ方(4) 発表 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						10	メディア情報の理解とそのまとめ方(5) 発表 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						11	メディア情報の理解とそのまとめ方(6) 発表 予復修課題: 発表に対するコメントレポート
						12	プレゼンテーション実践(1) Power Point の基本機能 予復修課題: Power Point の基本機能理解とコンテンツ作成
						13	プレゼンテーション実践(2) Power Point の特性を活かした効果的プレゼンテーション 予復修課題: Power Point によるコンテンツ作成
						14	プレゼンテーション実践(3) Power Point の特性を活かした効果的プレゼンテーション 予復修課題: Power Point によるコンテンツ作成
						15	まとめ 予復修課題: Power Point で作成したコンテンツの提出

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		会社法 Company Law		単位数		授業内容**					
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		専任		1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2101		2 会社法総論 会社法とはどのような法律なのか。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。					
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経管	ピ実			
配当年次	2年生	開講学期	前期								
授業概要	会社法は、企業形態の一つである会社に関する法律です。この会社法は、会社をめぐる様々な利害関係を調整し、法律関係を円滑に処理する役割を担っています。ニュースや新聞紙上でも、株式、株主総会、M & Aといった会社法に関する用語が頻りに登場しますが、会社法は、ビジネスパーソンにとって大変身近な法律であるのです。										
	この授業では、株式会社を中心に会社法の基礎を体系的に理解できるように、税理士としての実務経験を活かし、実践的視点から授業を行います。										
授業到達目標	本講義は、社会人となった時に知っておきたいビジネスルールとしての会社法の考え方を修得することを目標とします。具体的には次の通りです。										
	会社法の基本的仕組みを理解できる。 会社法の基本的問題に関して認識できる。 具体的な問題解決に必要な会社法の仕組みと解釈方法を修得できる。										
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 UNIVERSAL PASSPORTに 関連資料を掲載する。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。								
1. 小テスト、感想文など		%									
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		%									
4. 授業中の発表、討論		10 %									
5. 授業への参加意欲		20 %									
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %									
7.		%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング									
1. まとめのテスト		60 %	Think-Pair-Share (随時)								
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパー (随時)								
3.		%	小テスト (随時)								
再評価の実施	する	しない									
教科書	講義レジュメを使用する。										
参考書	別途指示する。										
						11 株式会社の資金調達：募集株式の発行 新株予約権 社債 株式会社が資金を調達する方法として会社法上どのような手段があるのか。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。					
						12 株式会社の計算 計算書類の作成・開示について理解する。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。					
						13 組織再編：合併 会社分割 株式交換・株式移転 事業譲渡・譲受け 組織変更 会社組織の再編方法としてどのような手段があるのか。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。					
						14 定款変更 解散・清算 定款変更と会社の消滅について学ぶ。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。					
						15 授業の総括・まとめのテスト 予復修課題：予修：復修問題の内容を理解し覚えてくること。復修：まとめのテストの復修をすること。					

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		金融と会計 Finance and Accounting				単位数	授業内容**	
担当者						2	1 ガイダンス 予復修課題： シラバスを熟読する。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任		2 財務会計の基礎概念 - 財務会計の目的と機能 - 予復修課題： 授業前に前回配付資料を熟読し、不明な語句は調べてくること。
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	公マ
配当年次		2年生	開講学期	前期				
授業概要	企業の財務諸表の体系と内容について理解する。また、その作成方法を身につける。 前半では、株式会社の財務諸表について、その内容と考え方を説明する。これによって、財務諸表における各論的な知識を得ることができる。 後半では、財務諸表を分析する指標について説明する。これによって、財務諸表のデータを読み取り方を身に着けるとともに、その企業における問題を発見できるようになる。							
	授業到達目標	1. 財務諸表のそれぞれの機能及び財務諸表の関係性を理解できる。 2. 財務諸表分析の指標を理解できる。 3. 企業の財務諸表を分析できる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業内容は、変更されることがあります。 卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書								
参考書								
		15 予復修課題： 企業の財務諸表の分析についてまとめる。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		財政学入門 Introduction of Public Finance				単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)				2	1 ガイダンス 講義の進め方、中心的な学修課題、適用するマクロ経済学の考え方を説明する。 予復修課題：授業時に指示				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 財政の機能と主要国の財政構造の概観 先進国の現実のデータから、財政構造を理解し、財政の機能との関係を考える。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	公マ	3 予算制度と予算過程 予算制度の仕組みと法的根拠を学び、1年間の予算・決算の具体的な流れを知る。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)		
配当年次		2年生	開講学期	前期					4 国の一般会計(1):歳入 国の一般会計における歳入の各項目について、内容と金額について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)		
授業概要		当講義では、財政学の考察対象を網羅的に紹介したうえで、政府の予算制度を中心に国民経済的な見地から政府活動の実態とその効果について解説します。 制度の説明に際しては、現実の予算・決算の資料や最新の統計数値を利用する一方、理論の解説に際しては、マクロ経済学の考え方も応用しつつ、図を効果的に用いることで、わかりやすい講義内容にします。財政の経済安定化機能を実践的に学びます。				5 国の一般会計(2):歳出 国の一般会計における歳出の各項目について、内容と金額について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
授業到達目標		・新聞等で報道されている日本の財政状況について、客観的に事実を整理することができる。 ・問題の所在や解決に向けた論点を自分の言葉で説明できる。				6 国の特別会計 国の様々な特別会計について、担っている役割と統廃合の歴史について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 日本経済の歩みと財政運営 戦後の日本経済の歩みと財政運営を年表的に歴史を辿り、時代毎の特徴を知る。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 国民経済計算体系の基礎知識 最新の国民経済計算統計に基づいて、三面等価の実際を数字と対応づけて学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 財政政策の理論：45度線モデル 45度線モデルについて、図と数式を用いて、GDP決定のメカニズムを学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 財政政策の理論：45度線モデル 45度線モデルについて、図と数式を用いて、財政政策の効果と乗数効果を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				11 財政政策の理論：IS-LMモデル IS-LMモデルにおけるGDPと金利の決定メカニズム、財政政策と金融政策の効果を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	公務員を目指す学生は「財政学」とセットで受講することが望ましい。				12 公債の負担 公債の負担についての理論を学説史的に学び、現在の日本の状況と対応づける。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
1. 小テスト、感想文など		%					13 地方財政 国と地方の財政関係、地方の歳入・歳出を中心に、地方財政の現状と課題を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
2. 中間テスト		%					14 財政投融資制度 第2の予算と呼ばれる財政投融資制度について、その変遷と果たしてきた役割を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
3. 課題レポートなどの提出物		%					15 まとめのテスト これまでの講義内容の総括として、まとめのテストを実施する。 予復修課題：「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。				
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		30 %									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング									
1. まとめのテスト		70 %	ミニテストやアンケートを1~2回実施することによって、講義の進行速度や内容を受講者のためになるよう調整する。								
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施		する	しない								
教科書		赤井信郎編『実践財政学』(有斐閣、2017年)									
参考書		小宮敦史『図説 日本の財政 令和元年度版』(東洋経済新報社、2020年)。他は適宜紹介します。									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	民法(総則・物権) Civil Law (General Provisions and Property Law)				単位数	授業内容**		
担当者	菅尾 暁 (SUGAO Akira)				2	1 ガイダンス、民法について：本講義についての説明と、法における民法の位置づけ、民法の歴史について学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて、民法の位置づけ、歴史を見直しておくこと		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				2	2 基本原則：民法における基本的な考え方について学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること		
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	公マ	経営
配当年次	2年生		開講学期	前期				
授業概要	民法は私たちの日常生活に密接に関係する基本的な法律です。この授業では、民法の5つの編のうち、基本的原則を定める「総則」編と、物に対する権利を定める「物権」編について学びます。法律知識を身につけながら、民法と私たちの身の回りの出来事がどのように関わっているかを説明します。そのために、以下の方法で行います。 ・総則・物権に関する基本的な知識を条文に即しながら説明する。 ・総則・物権について、具体例を挙げながら説明する。							
	授業到達目標	民法の基本的な原則を説明できる。 民法の物権の具体的な内容を説明できる。 総則・物権編の基本的な法律用語を説明できる。 私たちの生活に民法がどのように関わっているかを説明できる。 身の回りの問題を法的に捉えて、自分の頭で考えることができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・予修課題に取り組んでいることを前提に授業を進める。 ・予修課題は毎回の授業時に回収する。 ・授業の予復修をそれぞれ1時間程度行うことで、授業の理解が深まる。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		15 %						
3. 課題レポートなどの提出物		35 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		50 %	・ミニツツペーパー[第1回~第14回]					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・中間テスト[第11回]					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	指定しない							
参考書	山野目章夫『民法 総則・物権 第6版』(有斐閣アルマ、2017年)							
						15 予復修課題：配布レジュメを用いて、これまでの授業内容を振り返っておくこと		

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	中級簿記【前半15回分】 Intermediate Bookkeeping				単位数	授業内容**	
担当者	谷 和也 (TANI Kazuya)				4	1 ガイダンスを通じ、授業概要と受講者の目標および簿記の学習の意義を確認する。 税理士実務も紹介し、会計関連の資格取得に興味・関心を持たせる。 予復修課題：講義要項で授業内容を確認してください。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2 初級・入門の振り返り・・・簿記一巡の手続きと財務諸表その1 教科書および配付プリントを使って簿記初級、簿記入門の内容を振り返ります。 予復修課題：予修：教科書第1章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	企業の日々の経済活動を記録・計算・集計し、結果として経営成績、財政状態を明らかにするツールが簿記である。本講義では企業のうち商企業の活動を対象とした商業簿記を学ぶ。まずは簿記一巡の手続きを復修し、その後に現預金・有価証券・固定資産・商品売買等の個々の重要な論点を整理し、それらの取引から発生する仕訳、帳簿記入について学習をすすめる。税理士としての経験を活かし、実務上の論点なども踏まえながら授業を展開する。会計関連の資格取得を目指す学生にとっても有益な授業とする。				3 初級・入門の振り返り・・・簿記一巡の手続きと財務諸表その2 小テストを実施し、簿記初級、簿記入門の理解度を確認します。 予復修課題：予修：教科書第1章を読み、不明な語句を調べる。復修：小テストのやり直し。		
授業到達目標	1) 簿記の一巡の手続きを理解することができる。 2) 現預金、有価証券、固定資産、等の記帳を理解することができる。 3) 株式会社のしくみ、役割について理解することができる。 4) 本支店会計について理解することができる。 5) 実学としての簿記が社会に果たすべき役割を理解することができる。				4 株式会社のしくみと設立 株式会社のしくみを解説し、さらに設立の具体的な流れについて確認します。 予復修課題：予修：教科書第10章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 毎回の授業では、学習のポイントをまとめたプリントを配付します。教科書及びこのプリントをもとに理解を深めてください				
1. 小テスト、感想文など		30 %	2) 毎回、教科書及び電卓を持参してください				
2. 中間テスト		%	3) 簿記の学習は毎回の授業の積み重ねです。やむを得ず欠席した場合は、教科書等で自学し、疑問点は授業で質問してください				
3. 課題レポートなどの提出物		%	4) 予復修取組時間：1時間程度				
4. 授業中の発表、討論		%	アクティブ・ラーニング				
5. 授業への参加意欲		20 %	小テスト【第3回】				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		50 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	渡部 裕恒・片山 覚 編著 『簿記講義2級商業簿記』						
参考書							
			11 商品売買 払出単価の決定や棚卸減耗損について学びます。 予復修課題：予修：教科書第6章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。				
			12 固定資産の取得と減価償却その1 有形固定資産取得時の仕訳と修繕費、減価償却費について学びます。 予復修課題：予修：教科書第7章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。				
			13 固定資産の取得と減価償却その2 有形固定資産売却時、廃棄時の仕訳と無形固定資産について学びます。 予復修課題：予修：教科書第7章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。				
			14 引当金その1 貸倒引当金他の引当金について学びます。 予復修課題：予修：教科書第8章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。				
			15 引当金その2 賞与引当金他の引当金について学びます。 予復修課題：予修：教科書第8章を読み、不明な語句を調べる。復修：配付プリントを読み直す。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	中級簿記【後半15回分】 Intermediate Bookkeeping				単位数	授業内容**	
担当者	谷 和也 (TANI Kazuya)				4	1 収益と費用その1 売上その他の収益科目と販管費その他の費用科目について学びます。 予復修課題：予修：教科書第9章を読み、不明な語句を調べる。復修：配布プリントを読み直す。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2 収益と費用その2 販売費および一般管理費のなかで給与計算について学びます。 予復修課題：予修：教科書第9章を読み、不明な語句を調べる。復修：配布プリントを読み直す。	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	企業の日々の経済活動を記録・計算・集計し、結果として経営成績、財政状態を明らかにするツールが簿記である。本講義では企業のうち商企業の活動を対象とした商業簿記を学ぶ。まずは簿記一巡の手続きを復修し、その後に現預金・有価証券・固定資産・商品売買等の個々の重要な論点を整理し、それらの取引から発生する仕訳、帳簿記入について学習をすすめる。税理士としての経験を活かし、実務上の論点なども踏まえながら授業を展開する。会計関連の資格取得を目指す学生にとっても有益な授業とする。						
	授業到達目標 1) 簿記の一巡の手続きを理解することができる。 2) 現預金、有価証券、固定資産、等の記帳を理解することができる。 3) 株式会社のしくみ、役割について理解することができる。 4) 本支店会計について理解することができる。 5) 実学としての簿記が社会に果たすべき役割を理解することができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 毎回の授業では、学習のポイントをまとめたプリントを配布します。教科書及びこのプリントをもとに理解を深めてください				
1. 小テスト、感想文など		30 %	2) 毎回、教科書及び電卓を持参してください				
2. 中間テスト		%	3) 簿記の学習は毎回の授業の積み重ねです。やむを得ず欠席した場合は、教科書等で自学し、疑問点は授業で質問してください				
3. 課題レポートなどの提出物		%	4) 予復修取組時間：1時間程度				
4. 授業中の発表、討論		%	アクティブ・ラーニング				
5. 授業への参加意欲		20 %	小テスト【第9回】				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		50 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	渡部 裕恒・片山 覚 編著 『簿記講義2級商業簿記』						
参考書							
							11 本支店会計その1 本支店会計の意義・目的と本支店間の取引の処理について学びます。 予復修課題：予修：教科書第13章を読み、不明な語句を調べる。復修：配布プリントを読み直す。
							12 本支店会計その2 本支店会計における決算手続きについて学びます。 予復修課題：予修：教科書第13章を読み、不明な語句を調べる。復修：配布プリントを読み直す。
							13 財務諸表を読みこなす・・・損益計算書 損益計算書の構造を解説し、経営安全率について学びます。 予復修課題：予修：これまで学習してきたことを復修してきてください。復修：配布プリントを読み直す。
							14 財務諸表を読みこなす・・・貸借対照表 貸借対照表の構造を解説し、自己資本比率について学びます。 予復修課題：予修：これまで学習してきたことを復修してきてください。復修：配布プリントを読み直す。
							15 まとめのテスト・講義の総括 予復修課題：これまで学習してきたことを復修してきてください。

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		イベント論 Event Theory		単位数	授業内容**			
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)		2	1 ガイダンス 講義概要と受講上の注意に関する説明をします 予復修課題： イベントの種類について考えてみる。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2106				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	スピ	
配当年次	2年生	開講学期	前期					
授業概要	イベントと言っても、プロ野球、Jリーグ、Bリーグのようなスポーツイベントからアイドルグループのライブのような音楽イベント、また北九州では有名な地元の祭りまで様々なものがあり、地域の人々の生活に潤いを与える重要なものである。チケット収入等を得て開催されるイベントが、どのように成り立ち、開催までにどんな準備・運営をされているのか、味の素スタジアムでの実務経験を活かして解説する。本講義を通じて、日本イベント産業振興協会「イベント検定」受験が可能となる。							
	イベントの基礎知識を習得し、イベントについて説明できる イベントの構造を理解し、スタッフとして働く基礎ができる 身近にある様々なイベントに応用できるようになる イベントを企画、運営する会社・団体について理解を深め、就職活動の視野に入れる							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本講義を受講後終了後、日本イベント産業振興協会主催の「イベント検定」を受検することが望ましい。					
1. 小テスト、感想文など		20 %	各講義に対して、60分程度の復修や準備をすることが望ましい。					
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %						
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		30 %	授業中に提出する課題について、グループワークを行うことがある。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3. イベント検定受験		10 %						
再評価の実施	する	しない						
教科書	イベント検定公式テキスト「基礎から学ぶ、基礎からわかるイベント」(日本イベント産業振興協会)							
参考書	15 授業の振り返りと、イベント検定をベースにした「まとめのテスト」を行う 予復修課題： テストの結果を振り返る。							

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		環境のビジネス Environment Business				単位数	授業内容**				
担当者		中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)				2	1 ガイダンス シラバスを説明し、環境のビジネスを受講するメリットを理解する。 予復修課題：温暖化の進行について 環境省HPから地球温暖化の現状を調べる(300字)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 水環境について 節水のための企業努力を理解する(TOTO) 予復修課題：世界の水資源について 国連HPから調べる(300字)				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営	ピ実	3 排気ガス規制について 厳しい排ガス規制を克服した企業を理解する(ホンダ) 予復修課題：日本の大気汚染について 環境省HPから調べる(300字)		
配当年度		2年生	開講学期	前期					4 リサイクルについて スポーツシューズのリサイクル企業を理解する(ナイキ) 予復修課題：リサイクルの現状について 環境省HPから調べる(300字)		
授業概要		企業に求められる社会的責任のうち、特に外部への環境に与える影響とその緩和策について概観する。いくつかの会社のCSR報告書を概読し、その実態を把握する。また国際標準化機構ISO14001の骨格を理解できるようにする。				5 水銀の垂れ流しによる海洋汚染について 水俣病の今と昔を理解する(チッソ) 予復修課題：海洋汚染について 環境省HPから調べる(300字)					
授業到達目標		企業のCSR報告書の構成と内容を理解できる。 企業が取り組む環境保全の取り組みを理解する能力を身に付けることができる。 企業のCSRを理解することにより我が国の環境行政の在り方と国際貢献について広い知見を持つことができる。				6 産業の発展と地球温暖化(その1) 日本のエネルギーシフトと石油開発(帝国石油) 予復修課題：石油のリスクについて 経済産業省資源エネルギー庁HPから(300字)					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 産業の発展と地球温暖化(その2) 日本のエネルギーシフトと石油開発(帝国石油) 予復修課題：アラブ諸国のエネルギーシフトについて 経済産業省HPから(300字)					
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 水資源の節約 食器洗機の開発(パナソニック) 予復修課題：パナソニックの歴史(300字)					
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 地球温暖化のメカニズム(その1) アメリカ元副大統領アルゴア氏作成 不都合な真実を検証する 予復修課題：地球温暖化を防ぐ国際的取り組みについて(300字)					
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 地球温暖化のメカニズム(その2) アメリカ元副大統領アルゴア氏作成 不都合な真実をグループで話し合い、検証する 予復修課題：2100年の地球について IPCC第5次報告書から(300字)					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				11 巨大化する台風 台風の進路を予測する技術(富士山測候所) 予復修課題：富士山測候所の歴史について(300字)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。 各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。				12 チェルノブイリ原発事故 1986年に発生したソ連の原子力発電所の爆発事故を検証する 予復修課題：原発事故の影響について(300字)				
1. 小テスト、感想文など		10%					13 コンビニエンスストアの環境保全対策(セブンイレブン) 環境負荷の低減を目指すセブンイレブンを検証する。 予復修課題：コンビニ業界の環境保全への取り組み(300字)				
2. 中間テスト		%					14 グローバル企業による環境への投資 温暖化防止と経営の両立を目指すグローバル企業を検証する 予復修課題：グローバル企業の環境投資について(300字)				
3. 課題レポートなどの提出物		20%					15 まとめのテストおよび解説 予復修課題：まとめのテストの内容を再度、自身で解き疑問点を解消する。				
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		35%									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング									
1. まとめのテスト		35%	第10回授業で、グループディスカッションを行う。								
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施		する	しない								
教科書		プリントを配布する。									
参考書		各企業のCSR報告書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人口学 Economic Demography		単位数	授業内容**				
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 インTRODクシヨン： 講義の概要・進め方および人口学とは何かなどについて説明する予定である。 予復修課題： シラバスと今回の講義内容を復修すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 人口の基礎概念 人口の定義や人口方程式について説明する予定である。 予復修課題： 人口方程式について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	生経	3 人口構造指標 人口構造指標について説明するとともに、演習を行う予定である。 予復修課題： 人口構造指標について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。	
配当年次		2年生	開講学期	前期	(コース)区分*			4 平均年齢と中位数年齢 平均年齢や中位数年齢とは何かを解説する予定である。 予復修課題： 平均年齢や中位数年齢について予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること。	
授業概要		少子化・高齢化が進む中での人口減少は、日本の経済社会に多大な影響を及ぼすことが懸念されている。そのような状況では、人口データの性質を把握し、人口が経済社会に及ぼす影響を客観的に分析する能力とその分析結果の意味を理解する能力が重要と思われる。そこで、本講義では、上記の事を念頭に置いて、人口学で用いられる分析方法や結果の解釈等を体得するための講義を実践的に進める。 なお、プリント (UNIVERSAL PASSPORTで配布予定) とOHCを利用して講義を進めます。							
授業到達目標		少子・高齢化の現状及び将来動向についての基礎知識を習得する。 人口モデルの数値から人口変動の動向などを判断することができる。 人口変動と経済社会の関係を把握して、経済社会の将来を見通すことができる。 実践的な分析力を習得し、人口問題の解決に寄与できる能力を身につける。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 事前学習型授業 (振り返り) 第7回までの内容を振り返り、講義資料の課題に基づく演習を行う予定である。 予復修課題： 講義資料の課題を事前に学習 (4時間) し、講義内容を復修しておくこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 コーホートとレキシス図 レキシス図を用いたコーホート別人口の導出について解説する予定である。 予復修課題： レキシス図について予修 (1時間) し、講義内容を復修 (3時間) すること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 レキシス図と観察方法 人口の観察方法とレキシス図の関係について考察する予定である。 予復修課題： 人口の観察方法やその意義について予修 (1時間) し、講義内容を復修 (3時間) すること。				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に参考書を読む等の予修 (20時間以上) と、事後にノートの見直しや練習問題を解く等の復修 (40時間以上) を心がけて下さい。 特別欠席の書類や課題などはオフィスアワーや昼休みに提出して下さい。						
1. 小テスト、感想文など		15 %	アクティブ・ラーニング 第7回目に事前学習型授業を行う予定である。 なお、課題はUNIVERSAL PASSPORTから事前に、印刷して取り組んでおいて下さい。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		25 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		60 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		使用しない。							
参考書		配布資料に記載予定。							
					10 生命表 生命表に基づく定常人口や平均余命などについて説明する予定である。 予復修課題： 生命表について予修 (1時間) し、講義内容を復修 (3時間) すること。				
					11 生命表の演習 架空データに基づいた生命表を作成する演習を行う予定である。 予復修課題： 生命表の作成方法を予修 (1時間) し、講義内容を復修 (3時間) すること。				
					12 回帰分析の準備 パラメータを推定するのに必要な行列演算について解説する予定である。 予復修課題： クラメールの公式について予修 (1時間) し、講義内容を復修 (4時間) すること。				
					13 人口推計の基礎 人口を推計する際に必要な回帰分析について解説する予定である。 予復修課題： 回帰分析について予修 (1時間) し、講義内容を復修 (4時間) すること。				
					14 人口推計の実践 日本の人口推計を実践し、日本の現状について解説する予定である。 予復修課題： 日本の人口データについて予修 (2時間) し、講義内容を復修 (3時間) すること。				
					15 まとめのテスト・解説 これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： 「まとめのテスト」の出題範囲を予修 (5時間) し、理解不足の点を改善しておくこと。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		非営利組織論 Non-Profit			単位数	授業内容**	
担当者		上村 英樹 (UEMURA Hideki)			2	1 オリエンテーション 講義の概要と進め方について説明する 予復修課題： シラバスの内容を確認してくる。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEJ2109	2 非営利組織とは 非営利組織と営利組織の違いについて 予復修課題： 営利とは何かを調べる。	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	経営
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	今日、非営利組織は社会のニーズに応える新たな存在として関心が高まってきており、行政や営利企業でもない第3の主体として重要な役割を果たすことが期待されています。そこで、地方公務員として、まちづくり、教育、地域医療等に従事したのち、NPO法人や株式会社を設立・経営している経験を活かし、それぞれの視点から非営利組織を捉えて、その概要や社会的意義を明らかにしていく授業を展開します。さらに、その実体から見えてくる特徴や課題、可能性を整理しながら非営利組織に対する理解を深めます。						
	授業到達目標 非営利組織について実態や特徴を把握して説明できる。 グループワークに積極的に参加して、説明・発表ができる。 非営利組織を正しく理解して、将来の具体的な職業をイメージすることができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	発表やレポート作成のため、日頃から関心をもち、情報収集に努めること。 日頃から新聞などの関心のある記事に目を通しておことが望ましい。 また授業の予復修を約1時間おこなうことでさらに理解が深まります。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	授業のテーマごとに「シンク＝ペア＝シェア」を実施する。				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	随時、紹介します。						
11 非営利組織のまちづくり事業(1) 非営利組織が行うまちづくり事業について 予復修課題： 非営利組織のまちづくり事業について調べる。							
12 非営利組織のまちづくり事業(2) 実際の事業をケーススタディとして 予復修課題： 成功している非営利組織のまちづくり事例を調べる。							
13 非営利組織の運営と課題 非営利組織の運営体制と課題について 予復修課題： 非営利組織のリスク管理について調べる。							
14 非営利組織のビジネス 非営利組織のビジネスの可能性 予復修課題： 非営利組織の予算について調べる。							
15 非営利組織の今後の動向 非営利組織の将来の可能性を考える 予復修課題： 過去の学習内容を再確認する。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		憲法 Constitutional Law		単位数	授業内容**	
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 憲法の全体構造 憲法は何をまもる法律か？ 予復修課題：ノート整理をしっかりとしておく。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 基本的人権 基本的人権総論、新しい人権 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておく。	
授業形式		講義	科目区分	EEJ2110	3 精神的自由権 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておく。特に表現の自由の部分を中心に。	
配当年次		2年生	領域科目群	経済・経営学科 公マ	4 経済的自由権 予復修課題：テキストを読み、判例の部分を理解しておく。	
開講学期		前期	学科・領域 (コース)区分*		5 社会権、人身の自由 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておく。特に生存権を中心に。	
授業概要		本講義では、国の基本法である日本国憲法を学びます。 選挙権の低年齢化、安全保障、新しい人権等憲法をめぐる問題がクローズアップされています。基本に立ち返って、憲法が国民に対し保証するものは何か、憲法は何を守る法律なのかについて考察していきたい。同時に公務員試験対策として公務員試験に必要な演習も行っていく。				
授業到達目標		憲法の目的とすることを説明できるようになる。 憲法の主要条文の内容、精神を説明できるようになる。 憲法の全体構造を理解し説明できるようになる。 公務員試験の択一・論述問題に対応できるようになる。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 憲法前文と平和主義 予復修課題：憲法前文を調べて読んでおくこと。		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 復修及び中間テスト 予復修課題：前半の範囲について指示に従って復修しておくこと。		
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 国会 三権分立と国会の権能 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。		
成績評価の方法 (全体で100%)				10 衆議院の優越、二院制 予復修課題：衆議院の優越についてはよく理解し、まとめておくこと。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修における留意事項			
1. 小テスト、感想文など		10 %	教科書購入を絶対条件とする。 ノート、プリントが大切になります。 特に、問題演習、事例については授業の後に必ず復修すること。 * 自宅学習時間は1時間以上とする。			
2. 中間テスト		30 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		60 %	中間テストを実施する。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	11 内閣 予復修課題：内閣の権能と内閣総理大臣の権能をそれぞれ抑えておくこと。			
3.		%				
再評価の実施		する	12 裁判所と司法権 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。			
教科書		よくわかる憲法 (自由国民社)		13 違憲立法審査権と判例 予復修課題：指定した判例について調べてみること。		
参考書		ジュリスト判例百選憲法		14 地方自治 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。国会以降の復修。		
				15 復修とまとめのテスト 予復修課題：全体の復修		

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツビジネス入門 Introduction to Sports Business				単位数	授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：自己紹介と本授業を履修する理由をレポートにして提出してください。(約0.5時間)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 スポーツビジネスの概要 スポーツビジネスの全体像を解説します。全体を俯瞰してみましょう。 予復修課題：授業の振り返りと好きなスポーツビジネスについてまとめてください。(約1.0時間)	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	スピ	3 プロスポーツビジネスの事例について 野球やサッカー等のリーグが存在するプロスポーツビジネスについて考えます。 予復修課題：授業の振り返りと過去の試合観戦レポートをまとめてください。(約1.0時間)
配当年次	2年生	開講学期	前期				4 プロスポーツビジネスの事例について 大相撲、プロレス、プロボクシング、スノーボード等の個人競技を取り上げます。 予復修課題：授業の振り返りと好きなスポーツ選手についてまとめてください。(約1.0時間)
授業概要	スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義では数多くあるスポーツビジネスの概略について触れていき、「難しい!」と敬遠するのではなく「面白い!」と興味を持つことから始めていきます。そのためには、できるだけ多くのリアルなスポーツビジネスを知ることが近道です。全体を傍観するよりは部分的にでも少しだけ踏み込んで調べてみる、実際に関わっている方々に話を聞く、臨場感を味わうことをお奨めします。毎回の講義に出席する前に課題を設けるだけではなく、時々まとめのレポートも課します。						
授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えに興味を持って真剣に聞くことができる。 重要事項をメモに残し、まとめることができる。 情報化社会に対応する基礎力を高めることができる。 与えられた課題について敏速に対応できる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	出席そのものは当然ですが、本授業を含みスポーツビジネス領域に開設されている全ての科目は、出席+レポート(予復修課題対応)を完遂して初めて出席と承認されます。このため、ただ授業に出てきて座っているだけでは出席点を満点にすることはできません。しかしながら毎回の振り返りをレポートにまとめることを習慣化すれば確実に理解を深めることができます。				
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 講義の中でプレゼンテーションを行う機会があります。毎回の振り返りの中でレポートをまとめる力をレベルアップし、PowerPointで発表資料を作成し全受講生の前でプレゼンします。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		60 %					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定しません。						
参考書	授業中に必要に応じて適宜指示します。						
						11 プレゼンテーション 自分の興味あるスポーツビジネスを調べてプレゼン資料を作ります。 予復修課題：PowerPointを使って自己紹介スライドを1枚作ってください。(1.0時間)	
						12 プレゼンテーション 自分の興味あるスポーツビジネスを調べてプレゼン資料を作ります。 予復修課題：PowerPointを使って好きなスポーツビジネスを1種類紹介してください。(1.0時間)	
						13 プレゼンテーション 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)	
						14 プレゼンテーション 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)	
						15 総括：前期を振り返って自己評価シートを完成させます。成長の度合いを具体的に数値化して、それを基に考察を加えてみましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネス実務総論 A Business Routine Concept A				単位数	授業内容**			
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	専任			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEJ2112				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	ビ実				
配当年次	2年生	開講学期	前期							
授業概要	<p>本講義ではビジネスパーソンとして必要な資質や役割を理解し、ビジネスの現場で行動・活躍できる人材の育成を目標とする。</p> <p>ビジネスにおける実務、そのマネジメント、ビジネスを取り巻く環境、企業組織、ビジネスパーソンのキャリアなどについて理解を深め、ビジネス実務の基本から応用に至るまで幅広く習得することを目的とする。</p>							1	<p>ガイダンス 講義の内容と方針、予復修の説明。 予復修課題：Keywords「ヒト・モノ・カネ・情報」</p>	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパーソンとしての役割を理解し、ふさわしい立ち居振る舞いができる。 ・ビジネス実務を通して、自分の意見をエピソードを交えて発表することができる。 ・ビジネス実務を通して、チームの中でお互いに教え合うことができる。 ・ビジネス実務を通して得た思想を自分の人生に活かすことができる。 							2	<p>組織と仕事 「ヒト・モノ・カネ・情報」を有効活用しながら利潤を追求する仕事のサイクル (PDCA)、ライン部門・スタッフ部門 について学ぶ。 予復修課題：Keywords「垂直型分業・水平型文鳥」「業種・職種」</p>	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									3	<p>ビジネスワーカーのキャリア形成のみならずライフデザインも視野に入れるキャリアを取り巻く環境の変化を理解し、各自のキャリアデザインを設計する。 予復修課題：Keywords「キャリアの定義」「ライフデザイン」</p>
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									4	<p>働き方の多様性 成果主義へと変化するなかで、必要とされる人材や能力を考える。 予復修課題：Keywords「成果主義制度」「グローバルな人材」「社会人基礎力」</p>
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									5	<p>ビジネスの定義 NPO・NGO活動について学ぶ ビジネスの定義 ビジネスの定義や6要素を学び、営利・非営利組織を考える。 予復修課題：Keywords「ビジネスの定義」「ビジネスの6要素」</p>
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									6	<p>ワークスタイルの過去・現在・未来 オフィスの起源とされるものから、現代のオフィス、未来のオフィスを通して、オフィスの在り方を模索する 予復修課題：Keywords「オフィスの起源」「フレキシブルなワークスタイル」</p>
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項							7	<p>地球環境問題と少子高齢社会とは何かを学び、その中でもビジネス活動を考える少子高齢化社会を勝ち抜くビジネスモデルのレポートを読んで理解する。 予復修課題：Keywords「地球環境問題」「少子高齢社会」</p>
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業欠席者はUNIVERSAL PASSPORTから毎回の課題について各自で調べ、提出のこと 予復修の時間の目安は、40～60分です。							8	<p>ビジネス実務の基本的な心構え (自由と自己責任) やビジネス実務の4つのメガ・トレンドについて、理解を深める 予復修課題：Keywords「自由と自己責任」「ビジネス実務の4つのメガ・トレンド」</p>
1. 小テスト、感想文など	%								9	<p>AIとの共存社会について学ぶ 現状の事例をとおして、自らの考え方をまとめる。 予復修課題：Keywords「AI」</p>
2. 中間テスト	%								10	<p>現代社会におけるケーススタディ「求められる能力」について学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる。 予復修課題：Keywords「現代社会に求められる能力」</p>
3. 課題レポートなどの提出物	60 %								11	<p>現代社会におけるケーススタディ「仕事観」について学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる。 予復修課題：Keywords「現代社会の仕事観」</p>
4. 授業中の発表、討論	%								12	<p>現代社会におけるケーススタディ「働き方改革」について学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる。 予復修課題：Keywords「働き方改革」</p>
5. 授業への参加意欲	%								13	<p>現代社会におけるケーススタディ「ライフデザイン・キャリアデザイン」について学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる。 予復修課題：Keywords「ライフデザイン」「キャリアデザイン」</p>
6. 自主的学習 (予習・復習など)	20 %								14	<p>現代社会におけるケーススタディ「社会を生き抜く力」について学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる。 予復修課題：Keywords「現代社会を生き抜く力」</p>
7.	%								15	<p>総括 14回の授業で取り上げたテーマについて、学んだことをレポートする。 予復修課題：Keywords「現代社会のビジネスワーカーに求められる能力・資質」</p>
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト	%	毎回の授業でテーマの課題シートに解答を書き込み、提出								
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %									
3.	%									
再評価の実施	する	しない								
教科書	適宜、資料を配布する									
参考書										

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本経済論 Japanese Economy		単位数	授業内容**				
担当者		新鞍 拓生 (NIIKURA Takuo)		2	1 ガイダンス この授業では、日本経済論を学ぶにあたってのガイダンスを行います 予復修課題：配布資料を復修すること				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2201	2 戦後日本経済の動向(1) この授業では高度経済成長期の日本経済について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経			
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	日本はかつての高度経済成長から低成長の時代に入り、近年では人口構造の変化や発展途上国の追い上げにより、相対的に停滞しています。日本経済再生のためには、歴史的な変遷と現状を正確に把握することが必要です。 この授業では日本経済について、全体的な動向を歴史的にたどり、ついで個別の論点について講義します。				3 戦後日本経済の動向(2) この授業では低成長に突入して以降の日本経済について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					4 戦後日本経済の動向(3) この授業では近年の日本経済について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					5 産業構造 この授業では産業構造について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					6 世界経済と日本経済 この授業では世界経済により日本経済が受ける影響を解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の概要を理解し説明することができる ・政府や産業や企業の動向を知る事ができる ・現在および将来発生するであろう社会経済をめぐる諸問題を理解することができる 				7 経済政策 この授業では経済政策の概要を解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					8 財政・金融政策 この授業では財政・金融政策に関する概要を解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					9 企業活動 この授業では企業活動の概要を解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					10 雇用 この授業では雇用をめぐる状況について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義は配布資料にもとづき行います。1時間復修することにより、一層理解が深まります。授業中に小テストあるいは感想文などを書いてもらうことがあります。これは出席点として評価します。						
1. 小テスト、感想文など		20 %							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		80 %	授業中に小テストを行うことがあります。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特に指定しません。資料を配付します。								
参考書	浅子和美ほか『入門・日本経済』有斐閣								
					11 社会保障 この授業では社会保障について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					12 農業問題 この授業では農業問題について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					13 格差問題 この授業では格差問題について解説します 予復修課題：配布資料を復修すること				
					14 これまでの講義のまとめ まとめを講義します 予復修課題：授業中の配布資料をすべて見直すこと				
					15 まとめのテストおよび解説 これまで学んだことをテストします 予復修課題：授業中の配布資料をすべて見直すこと				

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		金融論入門 Introduction to Financial Economics				単位数	授業内容**					
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)				2	1 ガイダンス この講義の内容、目的、進め方および到達目標について説明する。 予復修課題：銀行や貨幣、金融についてこれまでに感じた“疑問”や、“知りたいこと”をまとめておくこと。					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 金融業界の全体像1：金融システム 日本における銀行を含めた金融の各業態について説明する。 予復修課題：各業態およびそれらの特徴について復修すること。					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	公マ	3 金融業界の全体像2：銀行業界と中核的業務 金融業の中で最も存在が大きい銀行業の実態と機能を説明する。 予復修課題：銀行の機能および事業領域について復修すること。		
配当年次		2年生	開講学期	後期			ビ実			4 金融業界の全体像3：銀行以外の業界 銀行以外にも金融サービスを提供している業態を取り上げる。 予復修課題：銀行以外の業態の事業について復修すること。また銀行との比較もすること。		
授業概要		金融の定義、目的と機能、および経済社会に対する効果を取り上げる。 主に4つの側面から金融を分析し、理解することを狙う。第1：まず初めに金融業界・業態の全体像を俯瞰して、それぞれが果たしている金融機能を見る。第2：金融取引をする際の基本的構成要素の経済学的な意味を解説する。第3：資金需給のニーズや、そのための仕組みを解説する。第4：金融のマクロ経済学的な側面について学習する。 金融実務経験に基づき、現代ミクロファイナンスの現状を織り交ぜて講義します。				5 金融の基礎基本1：金融の機能と参加主体 金融が経済社会に果たす機能と意味、参加する主体の種類と動機を説明する。 予復修課題：金融の定義と機能について復修すること。						
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 必要最小限度の金融リテラシーを理解している。 イメージではなく、経済学の基礎に基づいて金融の機能と効果を理解している。 各金融業態や金融機関の目的、機能と特徴を理解している。 金融機関、金融政策およびマクロ経済に及ぼす影響について理解している。 				6 金融の基礎基本2：利子とは～時間価値、不確実性・リスク 利子の仕組みと種類、リスク&リターンとの関係を説明する。 予復修課題：利子の種類、およびリスクについて正確に理解すること。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 金融の基礎基本3：信用と審査、保証 金融取引、特にお金を貸す/借りることを経済学的に分析する。 予復修課題：金融取引の内容と実質的な意味を復修すること。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。		【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				8 金融の基礎基本4：資金需給の主体、契約の構造、キャッシュ・フロー 金融取引に際しての契約上のポイントや資金の流れを解説する。 予復修課題：金融取引の契約上のポイント、資金の流れを復修すること。						
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				9 ファイナンス1：個人・家計/企業の資金ニーズ/資金調達 消費者金融と事業金融・企業金融について取り上げる。 予復修課題：個人と企業の資金ニーズ、および返済の違いについて理解すること。						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	資料配布はUNIVERSAL PASSPORTを通じて行います。各自でDLしてください。				10 証券による資金需給と、金融仲介機関による資金需給を説明する。 予復修課題：直接金融と間接金融それぞれのメリット/デメリットを整理・理解すること。					
1. 小テスト、感想文など		10 %	重点的に復修を1時間程度、しっかりと行ってください。				11 ファイナンス3：証券発行市場と同、流通市場 直接金融における資金調達の仕組みを解説する。 予復修課題：発行・流通の両市場の意義と必然性について理解すること。					
2. 中間テスト		10 %	アクティブ・ラーニング ・授業の終わりの時間帯で、授業内容に関するミニテストを行うことがあります。授業に集中しててください。				12 マネー&バンキング1：貨幣の機能と種類 現金とそれ以外の貨幣の機能と種類を説明する。 予復修課題：貨幣の定義と機能について整理・理解すること。					
3. 課題レポートなどの提出物		%					13 マネー&バンキング2：中央銀行と銀行システム 中央銀行と市中銀行の関係、金融調節手段について取り上げる。 予復修課題：中央銀行の政策目的と手段の対応関係について理解すること。					
4. 授業中の発表、討論		%					14 マネー&バンキング3：マクロ金融～金融政策と経済 インフレ/デフレ、金融政策が経済に与える影響について取り上げる。 予復修課題：金融政策の目的と効果、限界について理解すること。					
5. 授業への参加意欲		10 %					15 まとめのテストと解説 予復修課題：まとめのテストのための準備をしておくこと					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%										
7.		%										
2) 最終到達度の評価												
1. まとめのテスト		70 %										
2. 論文、まとめのレポートなど		%										
3.		%										
再評価の実施		する	しない									
教科書		阿部圭司、小澤伸雄『新版 ファイナンシャル・リテラシー』同友館、2011										
参考書		川西 諭、山崎福寿「金融のエッセンス」、有斐閣、2013										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		商法総則 Commercial Law		単位数	授業内容**				
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		2	1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2203					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営	
配当年次		2年生		開講学期	後期				
授業概要		本講義は、商法「第一編総則」を対象とします。商法は、商人及び企業取引に関する法律ですが、その基礎をなす商法総則の基本概念・制度趣旨を中心に講義を行います。平成17年の会社法制定により、現在、商法総則の規定の大部分は、個人商人にのみ適用されますが、商法総則と会社法総則の多くは共通していることから、個人商人特有の問題に関し、会社組織との対比を念頭におきながら講義を行います。また、税理士としての実務経験を活かし、実践的視点からも授業展開を行います。							
授業到達目標		本講義は、社会人となった時に知っておきたいビジネスルールとしての商法の考え方を修得することを目標とします。具体的には次の通りです。 商法の基本的仕組みを理解できる。 商法の基本的問題に関して認識できる。 具体的な問題解決に必要な商法の仕組みと解釈方法を修得できる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 名板貸 他人に商号等の使用を許可した場合の責任について理解する。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 営業の内部的補助者としての商業使用人 「商業使用人」とは何か。支配人・その他の商業使用人について学ぶ。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 代理商 代理商とは何か。代理商の権利義務について学ぶ。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 UNIVERSAL PASSPORTに関連資料を掲載する。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。 会社法の単位修得済みであることが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		60 %	Think-Pair-Share (随時)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパー (随時)						
3.		%	小テスト (随時)						
再評価の実施		する	しない						
教科書		講義レジュメを使用する。							
参考書		別途指示する。							
					11 商業帳簿 商法による会計規制の目的。商業帳簿の意義・種類等を学ぶ。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
					12 営業 営業所 営業の主観的意義と客観的意義とは何か。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
					13 営業譲渡 譲渡の対象としての「営業」とは何か。営業譲渡の効力について理解する。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
					14 営業の賃貸借・経営委任 営業の担保化 営業の賃貸借・経営委任とは何か。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。				
					15 授業の総括・まとめのテスト 予復修課題：予修：復修問題の内容を理解し覚えてくること。復修：まとめのテストの復修をすること。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	経済政策入門 Introduction to Economic Policy		単位数	授業内容**	
担当者	仁部 新一 (NIBU Shinichi)		2	1	1-1 本講の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		専任	2	1-2 経済問題とは何か(人間の欲望と財、資源の関係を考えます)。 予復修課題：欲望と財についての予修と今回の授業内容の復修。
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科 生経 金会 公マ
配当年次	2年生	開講学期	後期		
授業概要	この講義では、経済政策が、経済社会の運営のための学問であるとの視点から、経済政策の考え方や基礎理論を解説します。そして、全体を三つに大別し、まず、導入として経済問題の構造と解法、現代経済政策学の体系等を、次に、基礎的事項である、経済政策の目的・手段・主体・形成過程・評価を、さらに、「経済政策」への橋渡しとまとめ兼ねて、ミクロ経済政策とマクロ経済政策、現実の世界の政策課題、等について解説します。				
	経済政策の基礎的事項を理解し得ること。 現代の経済政策の課題と、基礎的事項とのかわりを知り得ること。				
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				
	成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	この授業は、2年生の配当科目です。旧カリキュラムでは関連科目です。3・4年生も受講できます。授業への出席は、3分の2以上の場合、回数じて、10%を上限に参加意欲の評価に反映させます。この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。			
1. 小テスト、感想文など	%	アクティブ・ラーニング 経済社会の一員として、経済社会の運営とは無縁ではないことの自覚を促す。そのために、第2回、第9回、第14回に、意見交換を行う。			
2. 中間テスト	%				
3. 課題レポートなどの提出物	%				
4. 授業中の発表、討論	%				
5. 授業への参加意欲	10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				
7.	%				
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト	90 %				
2. 論文、まとめのレポートなど	%				
3.	%				
再評価の実施	する	しない			
教科書	特定の教科書は使用しません。				
参考書	参考書は適宜紹介します。				
	11				2-7 経済政策の評価(その1) 政策評価がなぜ必要なのかを考えます。 予復修課題：政策評価法についての予修と今回の授業内容の復修。
	12				2-8 経済政策の評価(その2) 政策評価の基準について解説します。 予復修課題：公共財の最適供給等についての予修と今回の授業内容の復修。
	13				3-1 ミクロ経済政策とマクロ経済政策。両者の特徴について解説します。 予復修課題：ミクロとマクロについての予修と今回の授業内容の復修。
	14				3-2 現実の政策課題(行財政改革、グローバル化と南北問題、地球環境問題) 予復修課題：諸問題についての予修と今回の授業内容の復修。
	15				まとめのテストおよび解説。 予復修課題：まとめのテストの予修、到達目標の自己評価、まとめのテストの解説の確認。

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		環境経済学入門 Introduction to Environmental Economics				単位数	授業内容**			
担当者		野田 昌太郎 (NODA Shoutarou)				2	1 イントロダクション：授業の概要及び進め方などについて説明する。 環境経済学とは何か、市場メカニズムと環境問題 予復修課題： 今回の授業で扱った内容全体を1時間を目安に予復修をおこなうこと。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				非常勤講師	2 私たちの生活と環境(1) 経済発展と環境問題、持続可能な発展 予復修課題： 教科書pp.7~16を1時間を目安に予復修をおこなうこと。			
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	公マ	3 私たちの生活と環境(2) 経済発展とごみ問題、リサイクルと循環型社会 予復修課題： 教科書pp.17~26を1時間を目安に予復修をおこなうこと。	
配当年次		2年生	開講学期	後期					4 私たちの生活と環境(3) 地球温暖化の原因と対策、地球温暖化問題の経済分析 予復修課題： 教科書pp.27~35を1時間を目安に予復修をおこなうこと。	
授業概要		本講義では、環境保全と経済活動の密接な関係や様々な環境問題を分析するために必要とされる経済学的手法を学ぶ。環境経済学の課題を幅広く理解し、実践に活かせる問題解決能力を養う。私たちの生活と環境問題との関わりを考察しながら、環境検査企業にアドバイスした経験を活かし、環境の測定法並びに環境問題を解決するための基本的な考え方や環境の基礎理論を学ぶ。				5 私たちの生活と環境(4) 環境問題発生メカニズム(1) 外部性と市場の失敗 予復修課題： 教科書pp.37~46を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
授業到達目標		環境と経済の関係について、環境問題が社会・経済に及ぼす影響を説明できる。 環境保全のための経済的手法や専門的知識を習得し、応用できる。 環境問題への関心を高め、経済学の応用を通じて環境問題の現状や環境政策の意義・役割について理解を深め、環境問題を解決するための対策を自分なりに提示することができる。				6 共有資源の利用と管理、コモンプール財とコモンズの悲劇 予復修課題： 教科書pp.47~50を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 環境問題発生メカニズム(2) 再生可能資源とオープン・アクセス問題 予復修課題： 教科書pp.51~55を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 環境問題発生メカニズム(3) 公共財の最適供給、公共財におけるフリーライダー問題 予復修課題： 教科書pp.56~64を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 環境政策の基礎理論(1) 直接規制と市場メカニズムを用いた経済的手法 予復修課題： 教科書pp.65~76を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 環境政策の基礎理論(2) 環境税と補助金政策 予復修課題： 教科書pp.77~88を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				11 環境政策の基礎理論(3) 直接交渉による解決方法、コースの定理 予復修課題： 教科書pp.89~98を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本科目を受講するにあたり、予修や復修を行い、不明な点や疑問点があれば積極的に質問すること。 ミクロ経済学を履修していることが望ましい。				12 環境政策の基礎理論(4) 排出量取引制度の現状と課題 予復修課題： 教科書pp.99~106を1時間を目安に予復修をおこなうこと。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				13 環境の価値、環境政策の費用便益分析 予復修課題： 教科書pp.147~158とpp.178~186を1時間を目安に予復修をおこなうこと。			
1. 小テスト、感想文など		%	第2回目講義において、トラベルコスト法の理解促進に関するグループ・ディスカッションを実施する。また、その他の回においても毎回質疑応答形式を取り入れる。				14 環境評価手法：トラベルコスト法、ヘドニック法、仮想評価法 予復修課題： 教科書pp.159~177を1時間を目安に予復修をおこなうこと。			
2. 中間テスト		%					まとめ			
3. 課題レポートなどの提出物		%					15 これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： これまでの学習内容の復修を行い、よく理解し整理しておくこと。			
4. 授業中の発表、討論		10 %								
5. 授業への参加意欲		20 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
再評価の実施		する	しない							
教科書		栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ(第3版)』有斐閣、2016年。								
参考書		参考書は、三橋規宏『環境経済入門(第4版)』日経文庫、2013年 とする。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		財政学 Public Finance		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	1 ガイダンス 講義の進め方、中心的な学修課題、適用するミクロ経済学の考え方を説明する。 予復修課題：授業時に指示				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2 租税体系 日本の租税体系について学び、現実のデータを用いて、主要先進国との比較も行う。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	公マ	3 所得課税(所得税・住民税) 所得課税に分類される税目について、機能と課税対象、税収の大きさ等を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)
配当年次	2年生	開講学期	後期						4 消費課税(消費税等) 消費課税に分類される税目について、機能と課税対象、税収の大きさ等を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)
授業概要	当講義では、租税と社会保障に焦点を当てて、各制度の内容とその経済効果を解説します。制度の説明に際しては、現実の予算・決算の資料や最新の統計数値を利用する一方、理論の解説に際しては、ミクロ経済学の考え方も応用しつつ、図を効果的に用いることで、わかりやすい講義内容とします。財政の資源配分機能と所得再配分機能を実践的に学びます。								
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等で報道されている日本の税制と社会保障について、客観的に事実を整理することができる。 ・問題の所在や解決に向けた論点を自分の言葉で説明できる。 								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 所得税の経済効果(1):労働供給への誘因効果 賃金課税に伴って発生する死加重、所得効果と代替効果について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 所得税の経済効果(2):貯蓄への誘因効果 利子課税に伴って発生する死加重、所得効果と代替効果について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 資産課税(相続税・贈与税) 資産課税に分類される税目について、機能と課税対象、税収の大きさ等を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
成績評価の方法(全体で100%)					9 法人課税(法人税) 法人に対して課税される各種税目について、機能と課税対象、税収の大きさ等を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
履修における留意事項					10 租税の理論と税制改革 租税理論と最適課税の考え方、社会的な公平性の基準について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	公務員を目指す学生は「財政学入門」とセットで受講することが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		70 %	ミニテストやアンケートを1~2回実施することによって、講義の進行速度や内容を受講者のためになるよう調整する。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	赤井信郎編『実践財政学』(有斐閣、2017年)								
参考書	吉沢浩二郎『図説 日本の税制 平成30年度版』(財経詳報社、2018年)。他は適宜紹介します。								
11 社会保障制度(1):全般 現実のデータを参照しながら、日本の社会保障に関する各種制度について学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					12 社会保障制度(2):年金保険制度 日本の公的年金制度の具体的な給付と負担の仕組みとその経済効果を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
12 社会保障制度(2):年金保険制度 日本の公的年金制度の具体的な給付と負担の仕組みとその経済効果を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					13 社会保障制度(3):医療保険制度 日本の医療保険制度、後期高齢者医療制度や介護保険制度の具体的な仕組みを学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
13 社会保障制度(3):医療保険制度 日本の医療保険制度、後期高齢者医療制度や介護保険制度の具体的な仕組みを学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					14 今後の税制と社会保障制度のあり方 今後の税制と社会保障制度をめぐる様々な議論について学び、論点を整理する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
14 今後の税制と社会保障制度のあり方 今後の税制と社会保障制度をめぐる様々な議論について学び、論点を整理する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)					15 まとめのテスト これまでの講義内容の総括として、まとめのテストを実施する。 予復修課題：「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		民法(債権) Civil Law (Law of Obligations)		単位数	授業内容**				
担当者		菅尾 暁 (SUGAO Akira)		2	1 ガイダンス、債権について：民法の概要を説明した上で、債権と物権の違いを中心に債権の全体像について学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて、債権をイメージできるようにしておくこと				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 債権がどのような場合に発生するか(債権の発生原因)と、物の引渡しに関する債権について学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	金会	公マ	3 代金の支払いや貸した金の返還を求める権利(金銭に関する債権)について学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること
配当年次		2年生	開講学期	後期	(コース)区分*				4 債権者が債権を持つことで何ができるのか(債権の効力)と、債権者が自分の債権を守るために債務者に干渉できる制度(債権の保全)について学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること
授業概要		民法は私たちの日常生活に密接に関係する基本的な法律です。この授業では、民法の5つの編のうち、債権分野について学びます。他人に対して特定の行為を請求できる権利(債権)を学ぶことで、法律知識を身につけると同時に、身の回りの問題について法的観点から自分の頭で考えることができるように目指します。そのために、以下の方法で行います。 ・債権に関する基本的な知識を条文に即しながら説明する。 ・債権について、具体例を挙げながら説明する。							
授業到達目標		様々な債権について具体的な内容を説明することができる。 債権分野に関する基本的な法律用語を説明することができる。 債権が私たちの生活にどのように関わっているのかを説明することができる。 身の回りの問題を法的に捉え、自分の頭で考えることができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること 弁済・相殺など債権を消滅させる方法(債権の消滅)について学ぶ。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること 中間テスト、契約の成立、効力、解除など、契約に関する一般的なルールを学ぶ。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること 契約の種類(1)：売買、贈与など財産権を移転させる契約について学ぶ。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・「民法(総則・物権)」の単位を修得済みであることが望ましい。 ・予習課題に取り組んでいることを前提に授業を進める。 ・予習課題は毎回の授業時に回収する。 ・授業の予復修をそれぞれ1時間程度行うことで、授業の理解が深まる。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ・ミニッツペーパー[第1回~第14回] ・中間テスト[第8回]						
2. 中間テスト		15 %							
3. 課題レポートなどの提出物		35 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		50 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		指定しない							
参考書		池田真朗『スタートライン債権法 第6版』(日本評論社、2017年)							
					11 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること 契約の種類(3)：労務関係の契約(雇用、請負、委任)について学ぶ。				
					12 事務管理：義務ではなく、好意で他人の事務を管理した場合に、どのような義務を負うかを学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること				
					13 不当利得：法律上の根拠なく利益を得た場合、どのような義務を負うかを学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること				
					14 不法行為：わざと又はうっかり不注意で他人に損害を与えた場合に、どのような義務を負うかを学ぶ。 予復修課題：配布レジュメを用いて復修し、予修プリントに沿って予修をすること				
					15 まとめのテスト、授業の総括：授業を振り返り、理解度を確認する。 予復修課題：配布レジュメを用いて、これまでの授業内容を振り返っておくこと				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		上級簿記【前半15回分】 Advanced Bookkeeping				単位数	授業内容**			
担当者						4	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 工業簿記の基礎 予復修課題：予修:教科書を読む。復修:演習問題を解く。予復修の目安時間:各120分			
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経管			
配当年次	2年生	開講学期	後期							
授業概要	製造業は企業内部で製品を生産している。その製造活動の記録・計算について理解する。 前半では、実際原価計算における費目別計算及び部門別計算について、その内容と考え方を説明する。これによって、原価計算における計算段階に関する知識を得ることができる。 後半では、実際原価計算における製品別計算および標準原価計算について説明する。これによって原価管理ができるとともに、原価計算制度について理解することができる。また、日商簿記検定2級工業簿記の出題範囲を網羅していることから、それについて解答することができる。									
	1. 原価計算の目的と原価計算制度の分類について、説明することができる。									
	2. 実際原価計算の手続きについて、具体的に述べるができる。									
	3. 財務諸表について、正確に作成することができる。									
	4. 標準原価の算定について、正確に行うことができる。									
授業到達目標	5. 原価差異の算定および分析について、説明することができる。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業内容は、変更されることがあります。 卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。							
1. 小テスト、感想文など		%								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		%								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%								
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書										
参考書										
		15 予復修課題：予修:教科書を読む。復修:演習問題を解く。予復修の目安時間:各120分								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		上級簿記【後半15回分】 Advanced Bookkeeping				単位数	授業内容**	
担当者						4	1 総合原価計算 単純総合原価計算 予復修課題：予修：教科書を読む。復修：授業の見直し。予復修の目安時間：各120分	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング EEJ2208					2 総合原価計算 予復修課題：予修：教科書を読む。復修：授業の見直し。予復修の目安時間：各120分	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営	3 総合原価計算、第3回小テストの実施(範囲：教科書p.62-111) 予復修課題：予修：教科書を読む。復修：授業の見直し。予復修の目安時間：各120分
配当年次	2年生	開講学期	後期					4 総合原価計算 仕損・減損の処理 予復修課題：予修：教科書を読む。復修：授業の見直し。予復修の目安時間：各120分
授業概要	製造業は企業内部で製品を生産している。その製造活動の記録・計算について理解する。 前半では、実際原価計算における費目別計算及び部門別計算について、その内容と考え方を説明する。これによって、原価計算における計算段階に関する知識を得ることができる。 後半では、実際原価計算における製品別計算および標準原価計算について説明する。これによって原価管理ができるとともに、原価計算制度について理解することができる。また、日商簿記検定2級工業簿記の出題範囲を網羅していることから、それについて解答することができる。							
	授業到達目標	1. 原価計算の目的と原価計算制度の分類について、説明することができる。 2. 実際原価計算の手続きについて、具体的に述べることができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 標準原価の算定について、正確に行うことができる。 5. 原価差異の算定および分析について、説明することができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業内容は、変更されることがあります。 卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書								
		15 まとめのテスト 予復修課題：製造業の原価計算制度についてまとめる。予復修の目安時間：各120分						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		産業組織論入門 An Introduction to Theory of Industrial Organizations				単位数	授業内容**				
担当者						2	1 ガイダンス 予復修課題：本講義の全体概要を確認しておく				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング EEJ2209				専任		2 企業の機能と構造 予復修課題：所有と経営の分離について自分の言葉で説明できるよう確認			
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	3 企業の本質 予復修課題：講義で紹介した、企業を説明する専門用語を理解できるように			
配当年次	2年生	開講学期	後期					4 企業の形態(1) 予復修課題：企業を組織として捉える視点を身につける			
授業概要	産業組織論は、産業全体としての成果を、次の視点から分析するものです。 (1)企業の行動 (2)市場構造 (3)企業組織(4)政策 それぞれの回が以上4つのどれにあたるのか意識しながら学ぶことで、経済を分析する視点が身につけていくはずで					5 企業の形態(2) 予復修課題：分社化とは何かを理解する					
	1.企業の独占や複占が生じる環境とその帰結を理解できる 2.企業を、人が集まる組織として理解できる 3.企業の変容(分社化・M&A)がなぜ生じるのか自分なりの意見を説明できる 4.企業を取り巻く政策が企業行動に及ぼす影響を理解できる					6 独占企業の行動 予復修課題：独占が生じる環境とその帰結を確認					
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 独占の非効率性と反独占政策 予復修課題：独占に対する政策として1つ例を説明できるように					
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 競争の形態(1)クールノー競争 予復修課題：完全競争とクールノー競争の違いを、結果も含めて説明できるように					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 競争の形態(2)シュタッケルベルク競争 予復修課題：前回と合わせて、クールノー競争とシュタッケルベルク競争の違いを確認					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 企業の垂直統合 予復修課題：企業の境界問題を説明できるように					
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			11 企業の多角化・多国籍化 予復修課題：企業の多角化・多国籍化が生じる理由を複数あげられるように					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業内容は、変更されることがあります。 卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。			12 カルテル 予復修課題：カルテルの種類を確認し、カルテルが原則禁止である理由を説明できるように					
1. 小テスト、感想文など		%				13 合併・買収および提携(1) 予復修課題：合併または買収となった企業の例を事前にいくつか調べておく					
2. 中間テスト		%				14 合併・買収および提携(2) 予復修課題：株式の保有率と企業の支配の関係を確認					
3. 課題レポートなどの提出物		%				15 復修とまとめのテスト 予復修課題：今までの授業内容を過不足なく復修しておく					
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		%									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%									
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施	する	しない									
教科書											
参考書											

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済統計 Economic Statistics		単位数	授業内容**				
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		2	1 イントロダクション：講義の概要・進め方および経済統計について 予復修課題：経済統計学がどんな学問であるかを確認すること：予修する目安時間は120分				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 統計学の内容習得の確認 予復修課題：平均、中央値、最頻値、標準偏差の復修：復修する目安時間は120分				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	3 単回帰方程式の導出：例題 予復修課題：単回帰方程式とは何かについて：予修する目安時間は120分
配当年次		2年生	開講学期	後期					4 単回帰方程式の導出：例題 予復修課題：単回帰方程式の導出になれるようにすること：予修する目安時間は120分
授業概要		経済統計データを活用する場合、誰がどのような目的で、どのような調査方法で収集、整理されたものか、対象であるデータの性質を的確に理解し、経済分析に利用しなければならない。しかし、そのためにはまず中央値や平均値や標準偏差などを基にした基礎知識を持っていることが望まれる。その上で、経済データの分析方法とその結果の意味するところを理解することが重要である。統計学の内容を習得していることを前提として、電卓を使って経済統計に基づく分析方法・結果の解釈等を体得するための講義を行なう。							
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・統計的な見方、考え方を会得できるようになる。 ・統計を使った文章を見て、どこに問題があるか理解できるようになる。 							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：経済統計の読み方見方を復修する。：予復修する目安時間は120分 経済統計例：2題用意した経済統計を、どのように考えるかをレポート用紙に書く				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：経済統計の読み方見方を予復修する。：予復修する目安時間は120分 経済統計例：2題用意した経済統計を、どのように考えるかをレポート用紙に書く				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：経済統計の読み方見方を予復修する。：予復修する目安時間は120分 経済統計例：2題用意した経済統計を、どのように考えるかをレポート用紙に書く				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義においては必ず、学生証を携帯してください。学生証を携帯しない場合には、何らかのペナルティを与える予定なので、それを忌避する場合は履修申告をしないでください。電卓を持ってこないといけない時は確認します。スマートフォン等の電卓機能の利用は認めていません。持ってこない場合にはペナルティを課す予定です。						
2) 最終到達度の評価		90 %	アクティブ・ラーニング 練習問題を行なうことで、学生にわかっているか問いかけながら、講義を進めていきます。練習問題のため時間を与えて、その間に机間巡視を行ない、その後で回答を示します。						
再評価の実施		する	しない	11 アンケート調査：アンケート調査書の作成 予復修課題：アンケート調査の作成および見方を予復修する。：予復修する目安時間は120分					
教科書		なし							
参考書		12 アンケート調査：アンケート調査書の作成 予復修課題：アンケート調査の作成および見方を予復修する。：予復修する目安時間は120分							
		13 アンケート調査：アンケート調査書の作成 予復修課題：アンケート調査の作成および見方を予復修する。：予復修する目安時間は120分							
		14 アンケート調査：アンケート調査書の作成 予復修課題：アンケート調査の作成および見方を予復修する。：予復修する目安時間は120分							
		15 まとめのテストおよび講義の総括 予復修課題：1～14回の授業内容を総復修する目安時間：120分							

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学史 History of Economics		単位数		2		授業内容**	
担当者		遠藤 哲広 (ENDO Tetsuhiro)		専任		1		経済思想の紹介 予復修課題：政治経済に関すること。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2211		2		重商主義、その特徴 予復修課題：重商主義の復修	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	3		
配当年次	2年生	開講学期	後期				重商主義、歴史的意義、本源的蓄積過程の推進 予復修課題：資本主義の生成について		
授業概要	経済を運営するには、様々なやり方があることを学ぶ。 第一に考えるべきは、自由なのか、平等なのか。 どんな社会を作り、どんな原理で経済が運営されれば、人々は幸福になれるのか。 経済の根本思想について学ぶ。								
	授業到達目標 代表的な経済思想の特徴を説明できる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。						
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		50 %	ミニッツペーパーは毎回行う予定。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	調査学習 [3回、5回、6回、8回、13回]						
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
11		集権的社会主義と分権的社會主義 予復修課題：社会主義の経済的崩壊							
12		1929年大恐慌 予復修課題：新古典派とケインズ							
13		ケインズの考え方 予復修課題：ケインズ政策について							
14		ケインズ以降、スタグフレーション 予復修課題：フィリップス曲線について							
15		まとめのテストおよび解説(総括) 予復修課題：学説史概観							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		公共経済学入門 Introduction to Public Economics		単位数	授業内容**				
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 インTRODクシヨン： 講義の進め方および公共経済学の概要などについて説明する。 予復修課題： シラバスと今回の講義内容を復修すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 財と市場： 財や市場とは何か、および、市場の特徴・要素について考察予定。 予復修課題： 市場の要素などについて予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	公マ	3 市場の失敗と公共経済学 市場の失敗について考察し、公共経済学とは何かを考察予定。 予復修課題： 市場の失敗について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。
配当年次	2年生	開講学期	後期						4 市場均衡と社会的総余剰： 市場均衡と社会的総余剰の概念などについて説明予定。 予復修課題： 社会的総余剰などについて予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること。
授業概要	本講義では、市場メカニズムの機能とその限界、政府の経済的役割などについて体系的に学ぶ。市場の機能と市場の失敗を踏まえたうえで、市場の失敗を是正するため、市場に対して政府がどのように介入すべきなのかを考察する。また、政府の経済活動が家計や企業の経済活動にどのような影響を与えるのか、具体的な事例を挙げて説明する。さらに、公共財や公共支出の評価、及び規制や課税の経済的効果などについて学ぶ。 なお、プリント (UNIVERSAL PASSPORTで配布予定) とOHCを利用して講義を進めます。見え								
	授業到達目標 公共経済学の基礎理論やその応用方法を理解し、説明することができる。 現実の経済問題について自分なりの解決策を提示できる問題解決能力を身につける。 専門用語を正しく理解した上で、専門用語を実践的な分析に活用できる。								
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 いろいろな市場の社会的総余剰と市場の効率性 (1) 過小生産 完全競争市場における過小生産の社会的総余剰を分析・比較予定。 予復修課題： 過小生産の非効率性などについて予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 利潤と余剰をそれぞれで求める方法と固定費の影響について分析・比較予定。 予復修課題： 利潤について予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 いろいろな費用関数： いろいろな費用の定義とその関係について説明予定。 予復修課題： 費用について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。				
成績評価の方法 (全体で100%)					10 利潤と余剰をそれぞれで求める方法と固定費の影響について分析・比較予定。 予復修課題： 利潤について予修(1時間)し、講義内容を復修(4時間)すること				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修における留意事項 事前に参考書を読む等の予修 (20時間以上) と、事後にノートの見直しや練習問題を解く等の復修 (40時間以上) を心がけて下さい。 特別欠席の書類や課題などはオフィスアワーや昼休みに提出して下さい。						
1. 小テスト、感想文など		15 %	11 利潤と余剰をそれぞれで求める方法と独占における市場の失敗について分析・比較予定。 予復修課題： 利潤と余剰をそれぞれで求める方法と独占における市場の失敗について分析・比較予定。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		25 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング 第14回目に事前学習型授業を行う予定である。 なお、課題はUNIVERSAL PASSPORTから事前に、印刷して取り組んでおいて下さい。						
1. まとめのテスト		60 %	12 費用逓減産業の問題 (1) 費用逓減産業の完全競争解を分析予定。 予復修課題： 費用逓減産業などを予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない	13 費用逓減産業の問題 (2) 自然独占と価格規制について考察予定。 予復修課題： 自然独占や価格規制などについて予修(2時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。						
教科書	使用しない。								
参考書	配布資料に記載予定。								
					14 事前学習型授業 (振り返り) 第13回までの内容を振り返り、講義資料の課題に基づく演習を行う予定である。 予復修課題： 講義資料の課題を事前に学習(4時間)し、講義内容を復修しておくこと。				
					15 まとめ これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： 「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。				

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営史 Business History		単位数		授業内容**									
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)		専任											
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2213											
授業形式		講義		科目区分		領域科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		金会		経営	
配当年次		2年生		開講学期		後期									
授業概要		現代社会において重要な位置を占めている会社は、資本主義経済のもとで営利目的をもって生産活動を行う組織体ととらえることができる。本講では、こうした会社が歴史的にどのように形成されてきたのかを概観する。現代企業の代表的存在である株式会社が制度として成立・発展するプロセスをふりかえり、その歴史的意義について考える。													
授業到達目標		株式会社の特徴と歴史的形成過程について説明することができる。													
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)															
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。															
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。															
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。															
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項											
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 履修するうえで、学ぶ姿勢・態度は重要となる。											
1. 小テスト、感想文など		%		2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。とりわけ、復修をしておくこと。											
2. 中間テスト		%													
3. 課題レポートなどの提出物		20 %													
4. 授業中の発表、討論		%													
5. 授業への参加意欲		10 %													
6. 自主的学習(予習・復習など)		%													
7.		%													
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング											
1. まとめのテスト		70 %		1) ミニレポート(第7回)											
2. 論文、まとめのレポートなど		%		2) 課題レポートの作成を通じた調査学習											
3.		%													
再評価の実施		する		しない											
教科書		安部悦生『経営史』第2版 日本経済新聞社 2010年													
参考書		経営史学会編『外国経営史の基礎知識』有斐閣 2005年ほか													
1		講義の概要説明 シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 予復修課題：シラバスを読む													
2		経営史学はなぜ必要か 経営史学を学ぶ意義について 予復修課題：教科書 序章 pp.13~19													
3		会社の誕生 近代的企業としてのイギリス東インド会社 予復修課題：教科書 章 pp.54~57													
4		南海泡沫事件とその影響 南海泡沫事件と株式会社設立への影響 予復修課題：教科書 章 pp.57~60													
5		株式会社の発生 会社法の整備とイギリスの株式会社設立ブーム 予復修課題：教科書 章 pp.89~93													
6		取引所とネットワーク 取引所の発展とネットワーク=産業集積との関係 予復修課題：教科書 章 pp.93~98													
7		イギリスにおける企業誕生の意義 これまでの講義内容をふりかえる 予復修課題：教科書 章 pp.98~99													
8		チャンドラー・モデル(1) アメリカの大企業成立に関する命題について 予復修課題：教科書 章 pp.103~106													
9		チャンドラー・モデル(2) アメリカの大企業成立に関する命題について 予復修課題：教科書 章 pp.106~108													
10		規模の経済と範囲の経済 大企業成立を論じるための概念について 予復修課題：規模の経済, 範囲の経済													
11		鉄鋼業とカーネギー(1) アメリカ鉄鋼業の発展要因と大企業の成立 予復修課題：教科書 章 pp.114~117													
12		鉄鋼業とカーネギー(2) カーネギーの略歴と経営戦略 予復修課題：教科書 章 pp.118~123													
13		デュボンの戦略と組織改革 大企業形成の事例：デュボン社 予復修課題：教科書 章 pp.132~139													
14		ビッグ・ビジネスの成立とその限界 アメリカにおける大企業体制の歴史的意義 予復修課題：教科書 章 pp.148~151													
15		まとめ 講義の総括としてのまとめのテスト 予復修課題：第2~14回の講義内容													

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		北九州の自然と環境 Nature and Environment of Kitakyushu				単位数	授業内容**	
担当者		成富 勝 (NARITOMI Masaru)				2	1 ガイダンス：北九州の自然と環境が対象とする分野についての解説 予復修課題：教科書のまえがきを読んでおくこと	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 新しいまちづくり：なぜ今「再生可能エネルギーなのか」、スマートコミュニティー 予復修課題：再生可能エネルギーについて調べておくこと	
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	3 環境首都を目指した北九州市の取り組み：北九州市の歩み、環境モデル都市 予復修課題：環境首都、環境モデル都市について調べておくこと
配当年次		2年生	開講学期	後期				4 地域から広がる市民環境活動の環：公害克服の歴史、循環型社会、地産地消 予復修課題：公害の種類について調べておくこと
授業概要		北九州市およびその周辺都市で形成される地域は、人口約200万人を抱える北九州都市圏である。また、北九州市には公害を克服した洞海湾があり、多様な自然がエコタウンや北九州空港などの産業とバランスよく配置された地域である。これらの特徴を学び、理解することで、地域の循環システムやそれに基づいた豊かな自然環境の重要性とそれらを保全することの大切さについて説明する。						5 環境学習の取り組み：学校における環境教育、持続可能な開発のための教育 (ESD) 予復修課題：ESDの取り組み事例について調べておくこと
授業到達目標		1. 北九州の多様な自然について理解し、具体的にその説明ができる。 2. 北九州市の環境に対する取り組みを理解し、具体的事例について説明ができる。 3. 地域の自然環境とその保全の必要性を理解し、その手法について説明ができる。						6 北九州市の環境国際協力：公害で経験した負の遺産を財産へ、国際環境ビジネス 予復修課題：水ビジネスについて調べておくこと
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								7 低炭素社会への取り組み：地球温暖化防止への取り組み、環境首都総合交通戦略 予復修課題：低炭素社会について調べておくこと
【知識・技能】		学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 循環型の生活様式・産業構造への転換：ごみの減量と資源化、産業廃棄物の適正処理 予復修課題：ごみの処理について調べておくこと
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 北九州市の環境産業と技術開発：エコタウン事業、環境産業、北九州エコプレミアム 予復修課題：エコタウンについて調べておくこと
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 北九州の自然：自然の特徴、曽根干潟と平尾台、絶滅危惧種、ビオトープ 予復修課題：北九州周辺の国立・国定公園について調べておくこと
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項						11 北九州の自然災害1：自然災害の歴史 予復修課題：身近な自然災害について調べておくこと
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	図書館の資料やインターネットを活用して調べること (目安の時間は120分)。				2) 最終到達度の評価	12 北九州の自然災害2：地震、津波、洪水、高潮、災害地形 予復修課題：日本の災害対策について調べておくこと
1. 小テスト、感想文など		40 %	授業では、積極的に質問し、学習の展開を図ること。また重要と思われること、あるいは印象に残ったことは適宜ノートに書き留める習慣を身につけること。					13 安心して暮らせる快適な生活環境の確保：公害に対する取り組み、大気環境、水環境 予復修課題：大気汚染について調べておくこと
2. 中間テスト		%	アクティブ・ラーニング 適宜、小テストを実施する。					14 まちの魅力や価値を高める取り組み：都市空間と住まい、NPO・NGO、歴史的建造物 予復修課題：北九州市のまちづくりについて調べておくこと
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
再評価の実施		する	しない					15 授業の総括、まとめのテスト 予復修課題：授業及びまとめのテストの振り返りを行うこと
教科書		「北九州市環境首都検定公式テキスト」、北九州市						
参考書		北九州市のホームページ						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		公共マネジメント論 Public Management		単位数	授業内容**	
担当者		安枝 裕司 (YASUEDA Yuji)		2	1 はじめに 授業の概要および進め方について説明し、目標を共有する 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2215	2 地域経営 中心市街地の空洞化と中山間地域農山村の限界集落化など 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ 経営
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	現代社会には、様々な社会問題、環境問題が顕在している。それらの問題を 取り除く手法は行政依存から脱し、地域を構成する様々な主体が協働し、経営やまちづくり に新しい付加価値をつけたり、時代に相応しい価値観を創出したりするデザインが必要である。 この授業では、地域資源や人材を資産と考え、その資産を活用した産業振興や安全安心な まちづくりなど様々な具体的な取組事例や政策推進の手法としての「公共」について学ぶ とともに、経営やまちづくりに自らの関わり方を考える。				3 観光 地域振興策として、グリーンツーリズム、インバウンドなど 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
授業到達目標	経営やまちづくりにおいて、経済性や合理性だけでなく、地域性や将来性を考慮し、 理論的かつ実践的に把握・理解する。さらに、地域の現状を客観的に認識し、 様々な課題に対し、地域の資産や人材を協働により解決しながら豊かな地域づくりに 向けて取り組める人材に自らがなることを目指す。 特定の地域を設定し、その地域の課題を整理しながら成果を導く具体的な提案ができる。				4 第6次産業化 地域の固有で価値ある資源を活用・循環し、地域を支える食料産業を創出する取組み 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5 地域移住 地方活性化やビジネスの創出などを目的とした地方への移住について 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学 問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 空き家 適切な管理が行われていない空家の問題と対策について 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、 職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけてい る。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的 に表現できる力を身につけている。					7 復興 災害等により機能を失った地域の回復や振興を図る手法について 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の 判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら 進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 地球温暖化 気候変動枠組条約締約国会議(COP)を踏まえた私達の取り組みとは 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
成績評価の方法(全体で100%)					9 ソーシャル・ビジネス 地域の課題を克服するビジネス手法について 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること	
履修における留意事項			10 持続可能な開発目標(SDGs) 人間、地球及び繁栄のための行動計画の目標について 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	課題レポートが、まとめレポートの 準備資料になります。 予復修取組時間：1時間程度				11 中間テスト これまでの授業を踏まえ、レポート作成のための小テスト 予復修課題：これまでの授業で扱った内容を整理すること
1. 小テスト、感想文など	%					12 協働手法とその主体 地域の課題克服のための手法としての協働について 予復修課題：今回の授業で扱った内容を復修すること
2. 中間テスト	25 %					13 レポートのテーマ作成 これまでの授業をふりかえり、レポートを作成するためのテーマを設定する 予復修課題：レポート作成のための資料収集をすること。
3. 課題レポートなどの提出物	25 %					14 レポート作成 これまでの授業をふりかえり、課題に対する方策を提示するレポートを作成する 予復修課題：これまで学習したことを踏まえ、レポート作成を行う
4. 授業中の発表、討論	%					15 レポート共有 作成したレポートを共有し、理解を深める 予復修課題：授業やレポートで学んだことを社会生活にも反映する
5. 授業への参加意欲	%					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7.	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	%	課題レポート[期間中計5回]				
2. 論文、まとめのレポートなど	50 %	中間テスト[第11回]				
3.	%	レポート作成[第13回]、発表[第15回]				
再評価の実施	する	しない				
教科書	教科書は使用せず、必要に応じ資料を配布する。					
参考書						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		販売管理論 Sales Management		単位数	授業内容**			
担当者		高松 侑矢 (TAKAMATSU Yuya)		2	1 ガイダンス：受講に関するルール、評価等を説明する 講義：小売業について学ぶ；講義後には感想文を提出する 予復修課題：講義資料を見直すこと。(1時間)			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 講義：小売業について学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)			
授業形式		講義	科目区分	経済・経営学科 経営	3 ミニテスト 実施 講義：組織小売業を学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)			
配当年次		2年生	領域科目群	後期	4 ミニテスト 実施 講義：フランチャイズについて学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)			
開講学期		後期	学科・領域 (コース)区分*		5 ミニテスト 実施 講義：マーチャンダイジングを学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)			
授業概要		本講義は、経営学に視点から小売業について理解を深めることを目的とする。具体的にはチェーン小売り組織、マーケティング、人材マネジメント等を取り上げる。本講義ではパワーポイント資料を使用するため、講義前日までに各自でプリントアウトして持参すること。				6 ミニテスト 実施 講義：価格設定と利益構造を学ぶ 予復修課題：中間テストに向けて復修すること。(2時間)		
授業到達目標		・小売業の実態を理解することができる ・経営学の基本的な理論を身につけることができる 上記の目標は、各種テスト及び課題レポートより総合的に評価する。				7 中間テスト 予復修課題：第6回までの内容を復修すること。(2時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						8 講義：ストアオペレーションを学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)		
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				9 ミニテスト 実施 講義：ストアオペレーションを学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				10 ミニテスト 実施 講義：マーケティング(4P理論と小売業への応用) 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				11 ミニテスト 実施 講義：マーケティング(立地戦略、経営戦略) 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				12 ミニテスト 実施 講義：小売業の経営と社会的責任を学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・第2回目より座席指定を行う。 ・講義資料や告知等をUNIVERSAL PASSPORTで通知するため、常に確認すること。 ・マーケティング等の科目を履修することを勧める。 ・第1回の講義に必ず出席すること。未登録者は、ガイダンスを聞いたうえで、期間内に追加登録の手続きをすること。				13 ミニテスト 実施 講義：小売業のグローバル対応を学ぶ 予復修課題：ミニテストに向けて復修すること。(1時間)	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				14 ミニテスト 講義：小売業の人材マネジメントを学ぶ 予復修課題：まとめテストに向けて復修すること。(2時間)	
1. まとめのテスト		50%	課題レポートに向けて、講義に関する内容を日頃から調べること。				15 まとめテスト 予復修課題：第14回までの内容を復修すること。(2時間)	
2. 論文、まとめのレポートなど		%	中間テスト【第7回】					
3.		%	ミニテスト【第3回～第6回、第9回～第14回】					
再評価の実施		する	しない					
教科書		パワーポイント資料をUNIVERSAL PASSPORTを通して配布する						
参考書		適宜紹介する。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネスとICT Information and Communication Technique for Business Scene				単位数	授業内容**		
担当者		三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)				2	1 授業方法, 評価方法などの全体説明		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 予復修課題: 【予修】シラバスの熟読 【復修】履修を継続するか否かを真剣に考えて履修登録		
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	公マ	経営
配当年次		2年生		開講学期	後期		スビ	ビ実	
授業概要		<p>情報化社会の現代社会では, ある程度のPCに関する知識, Word Processing, Spread SheetsおよびPresentation Softwareに関するスキルが多くの場面で求められる。本授業の前半では, PCに関する基礎知識, MicrosoftのWord, ExcelおよびPowerPointの操作法やデータの互換使用法について基礎的に学習する。後半では, 各人が選んだテーマについて データ収集, データ処理, レジューメ作成, プレゼンテーションと審査の一連の実体験を通じて実践的スキルを身につける。</p>							
授業到達目標		<p>1. 自分で選択したテーマに関して収集したデータからExcelを用いて独力でグラフ化することができる。 2. Wordを用いて図表入り文書を独力で作成することができる。 3. 効果的なアニメーションを設定したプレゼンテーションファイルを独力で作成することができる。</p>							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ, 経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し, 専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養, および専門分野の知識・技能を用いて, 職業人として適切な企画・計画力, 的確な判断力を有し, それらを実践できる力を身につけている。また, 知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし, 自ら課題を解決する力, 論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として, 自らを律し, 主体的に物事を考え, 自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また, 地域および国際社会の一員として, 自ら進んで他者と協働し, 社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 予・復修にPCが必要な場合がある。個人所有PCがないひとは, 大学PC教室を利用して予・復修に努めてもらいたい。 予・復修に必要な情報は, UNIVERSAL PASSPORTに掲載するので, 活用してもらいたい。 予修・復修の時間の目安は, それぞれ2時間である。 						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	・ミニッツペーパー【毎回】						
2. 論文, まとめのレポートなど		%	・課題ファイル【第3~6,8,13回】						
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		使用しない(配布資料)							
参考書									
		15 予復修課題: 【予修】授業到達目標に関する自己評価							
		3 Excel: 数式データ, コピー, 簡単なデータ処理 表計算ソフトの誕生と機能, 使うことができるデータの種類の種類, セル内容のコピー方法 予復修課題: 【予修】表計算ソフトの種類 【復修】Excelに準備されている関数							
		4 Excel: グラフ作成機能によるグラフ作成 数値データのグラフ化, 複合グラフと第2軸, 見栄えの良いグラフ 予復修課題: 【予修】Excelで作成できるグラフ 【復修】グラフプロパティの活用							
		5 Word: ページ設定, ヘッダ・フッタ, 段組, テキストボックス ページ書式の設定, 段落番号, 表の挿入, 数式ビルダによる数式入力 予復修課題: 【予修】ヘッダ・フッタとは 【復修】挿入した表のカスタマイズ							
		6 Word: Excelで作成した表およびグラフのWord文書への挿入 Word文書への写真や図の貼り付け, Excelで作成したグラフの貼り付け 予復修課題: 【予修】Word文書に取込みたい写真 【復修】図表等のレイアウト							
		7 PowerPoint: 「見本」どおりのpptファイルの作成(1) 基本的なスライド作成, テンプレートの活用 予復修課題: 【予修】プレゼンテーションソフトの必要性 【復修】スライドの挿入・削除							
		8 PowerPoint: 「見本」どおりのpptファイルの作成(2) アニメーション設定(アニメーションの種類, タイミング設定) 予復修課題: 【予修】アニメーションの種類 【復修】アニメーションの効果							
		9 実践もしくは試行錯誤(1) 各人ごとにテーマ選択, Webを利用したデータ収集 予復修課題: 【予修】自分だけのテーマ探し 【復修】データ収集の補完							
		10 実践もしくは試行錯誤(2) 主としてExcelを用いたデータ処理 予復修課題: 【予修】Excelによるグラフ作成 【復修】データ処理の補完							
		11 実践もしくは試行錯誤(3) 主としてWordを用いたレジューメ作成 予復修課題: 【予修】Word文書への図表等の挿入 【復修】レジューメ作成の補完							
		12 実践もしくは試行錯誤(4) 主としてPowerPointを用いたプレゼンテーションファイルの準備(1) 予復修課題: 【予修】pptファイルでのWordデータの利用 【復修】pptファイルの補完							
		13 実践もしくは試行錯誤(5) 主としてPowerPointを用いたプレゼンテーションファイルの準備(2) 予復修課題: 【予修】pptファイルの補完 【復修】pptファイルの充実							
		14 成果披露 レジューメ・プレゼンテーションの紹介: 自慢大会 予復修課題: 【復修】数値データ特性と円・ドーナツグラフの種類							
		15 授業全体のまとめ							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので, 授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネスとICT Information and Communication Technique for Business Scene				単位数	授業内容**		
担当者		赤松 貴文 (AKAMATSU Takafumi)				2	1		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				非常勤講師	1		
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	公マ	経営	2
配当年次	2年生	開講学期	後期			スビ	ビ実		2
授業概要	高度情報化社会における社会人が修得しておくべきICT(情報通信技術)活用技能に焦点をあて、講義、演習を通じて知識の理解と技術の修得を図る。 ・Webからの情報収集テクニックを修得するとともに、注意すべき事項を理解する。 ・インターネットの各種脅威を知り、情報資産を守るための対策について理解する。 ・Microsoft Wordの機能を活用した、見栄えのよい文書を作成方法を修得する。 ・Microsoft Excelの機能を活用した、各種表計算、データ処理方法を修得する。					3			1
	・Webから効率的に情報収集できるとともに、注意すべき事項を理解する。 ・インターネットの脅威から情報資産を守るための対策を講じることができる。 ・Microsoft Windowsの基本操作をマスターする。 ・Microsoft Wordを使って各種文書を作成できる。 ・Microsoft Excelを使って、計算式や関数を組み合わせた表計算を行うことができる。 ・Microsoft Excelで作成した表やグラフをMicrosoft Wordに取り込むことができる。					4			1
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5			1
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6			1
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7			1
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8			1
	成績評価の方法(全体で100%)					9			1
	履修における留意事項					10			1
	1) 授業到達目標への到達努力の評価					11			1
	2) 最終到達度の評価					12			1
再評価の実施					13			1	
教科書					14			1	
参考書					15			1	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネスとICT Information and Communication Technique for Business Scene				単位数	授業内容**	
担当者		的野 和靖 (MATONO Kazunobu)				2	1 オリエンテーション(授業の計画, 成績評価など) Wordによるビジネス文書作成1. (ビジネス文書とは何か) 予復修課題: Wordの基本操作を予修する	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				非常勤講師	2 Wordによるビジネス文書作成2. 社内文書・社外文書の事例作成 予復修課題: ビジネス文書の基礎を予修する	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	公マ	経営
配当年次	2年生	開講学期	後期			スビ	ビ実	
授業概要	本講義では、コンピュータの基本操作、Webによる情報検索、セキュリティ、ファイルシステム、Word、Excel、PowerPointなどの基本操作方法と活用方法を学び、社会生活や学生生活に於ける研究活動等に利用していくための基礎知識を身につける。 企業SEとしての経験を活かし、実務に近い演習を行う。							
	授業到達目標	1.基本的なコンピュータの操作ができる。 2.Webによる様々な情報検索と電子メールの活用ができる。 3.Wordを用いて、オリジナルPOP広告が作成できる。 4.Wordを用いて、簡単なビジネス文書が作成できる。 5.Excelを用いて、簡単なデータ分析表・グラフが作成できる。 6.PowerPointを用いて、効果的なプレゼンテーションができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業に使用する資料は、基本的にデータで配布します。欠席した学生は、UNIVERSAL PASS-PORT・授業メニューを確認して提出課題を確認して、次回授業までに提出してください。 毎回課題を与えますので、積極的な授業参加が前提となります。 各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを望みます。					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・実践学習(第1回~第14回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・プレゼンテーション(第15回)					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	使用しない(資料を配布)							
参考書								
			11 Excelの基礎6. Excel実技試験 予復修課題: Power Pointの基本操作を予修する					
			12 Power Pointの基礎1. (起動・終了, プレゼンテーションの作成) プレゼンテーションとは何か? 予復修課題: Power Pointオリジナル作品構想を練る					
			13 Power Pointの基礎2. 全体のデザイン 表・グラフの作成 アニメーションの設定 予復修課題: Power Pointオリジナル作品構想を練る					
			14 Power Pointの基礎3. 課題作成 予復修課題: Power Pointオリジナル作品を作成する					
			15 Power Pointの基礎4. 課題提出・プレゼンテーション大会 予復修課題: Power Pointオリジナル作品を作成する					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネスのデザイン Business Design		単位数	授業内容**				
担当者		毛利 裕之 (MOURI Hiroyuki)		2	1 ビジネスプランの作り方の概要を説明します。 講義の進め方、授業の受け方についても説明します。 予復修課題：最近の日本で有名なベンチャー企業2社調べてみましょう。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ2218	2 創業の心構えや自身のライフプランを作成します。 我が国における創業の実際や意義、業種別魅力などを見ていきます。 予復修課題：自身の将来について考えましょう。もし、独立するとしたら？				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営			
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	本講義は、ビジネスプランを作成することを目的に授業を進めます。 内容は、ビジネスアイデアの出し方、テーマ決定、ビジネスの概要、マーケティング計画、投資計画、資金調達計画、収支計画、販売計画、リスク管理、実行計画の各種計画が作成できるように授業を進めます。				3 どのようなビジネスをするかアイデアを出すことが必要です。 そのためのアイデア創出方法を学びます。 予復修課題：アイデアを10個出してみましょう。				
授業到達目標	1) 新規性、独創性、市場性のあるビジネスアイデアが出せるようになる 2) アイデアを絞り込むための評価基準がわかる 3) 各種計画が作成できるようになる 4) 世の中の動きや経済動向等に興味を持つようになる 5) 最終的にビジネスプランが作成できる				4 アイデアを創出するために既存のビジネスや成功事例の情報収集の仕方やターゲットの不满、不安、不足、不良を解消するアイデア創出方法を学びます。 予復修課題：好きなこと、強みを活かしてアイデアを考えましょう。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					5 いくつかのアイデアを評価し、テーマを決定します。 評価の仕方は、新規性、創造性、市場性、採算性、実現可能性です。 予復修課題：新規性のあるビジネステーマを決定してください。				
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 ここまでのまとめとして、いくつかのアイデアと評価をして決定したテーマをもとにビジネスプランを作成する準備をしましょう。 予復修課題：商品・サービスの特徴を明確にしましょう。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 テーマに従って、ビジネスの概要を考えます。このビジネスが求められる社会的背景やターゲット、ニーズ、提供する商品、サービスを検討します。 予復修課題：顧客のニーズに沿った商品、価格、チャネル、販促か？				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 このビジネスを展開するための差別化要素を検討します。 そのため、差別化戦略や弱者の戦略などを学びます。 予復修課題：ポーターの競争戦略を事前に学習してください。				
成績評価の方法 (全体で100%)					9 自身のビジネスを始めるためにどのような投資が必要でしょう。 運転資金、設備資金に分けて試算してみましょう。 予復修課題：事前に投資計画、資金調達計画を立案してみましょう。				
履修における留意事項					10 自身のビジネスを始めるためにどのような人材が何人いますか。 役割分担とルール、そして給与、賞与を試算して人件費がいくら必要か考えましょう。 予復修課題：人材の採用、教育、労働条件について事前学習をしましょう。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 新規性のあるビジネスプランを作成するには、日ごろから日本経済の動きを把握しておくことが必要になってきます。 そのため、新聞やインターネットで世の中の動向をみておきましょう。		11 月々の経費はいくらかかるでしょう。どのような経費がかかるか、費目別に検討できるようにしましょう。また粗利率はどのくらいでしょう。 予復修課題：簿記や会計の費目について事前学習しておいてください。				
1. 小テスト、感想文など		%			12 年間の経費予想と目標利益を出し、目標売上高を明確にしましょう。 月間の目標売上高、週間売上高、日々の目標売上高を出しましょう。 予復修課題：損益分岐点売上高の算出方法を復修してください。				
2. 中間テスト		%	2) 課題レポートは、アイデアを5個出すこととテーマを決定することです。 レポートはビジネスプランの提出が必要。		13 目標売上高を達成するための販売計画を立案します。 商品別、地域別、顧客別で考え、目標売上高が達成できるようにしましょう。 予復修課題：プロモーション戦略を復修しましょう。				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %			14 今まで考えたビジネスにリスクはありませんか。起こりうるリスクを検討し、対策を考えてみましょう。そして、実行計画を立てます。 予復修課題：リスクマネジメントとは何か学習してください。				
4. 授業中の発表、討論		%			15 まとめのテストと解説。 ビジネスプランを提出してください。 予復修課題：友人に自身のビジネスプランについて評価してもらいましょう。				
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スポーツビジネス Sports Business		単位数	授業内容**				
担当者		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)		2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：前期のスポビ入門について一番興味を持ったことをまとめてください。(約0.5時間)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 2020オリンピック東京大会の振り返り 経済効果の総括 予復修課題：オリンピック関連の経済的ニュースについて一つ紹介してください。(約1.0時間)				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	スビ		
配当年次		2年生	開講学期	後期	(コース)区分*				
授業概要		スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義では「スポーツビジネスの概要を理解し積極的にかかわろう！」というコンセプトで皆さんに関わっていただきます。特に2020年は世界最大のスポーツの祭典であり、ビッグビジネスでもある東京オリンピックが開催されました。本大会を振り返りつつ、1964年の大会と対比しながら時代の流れを経済的尺度を用いて掴んでいきます。近い将来の就職活動においてスポーツビジネスに関わる業界に対応できるように進めていきます。							
授業到達目標		授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 情報を収集し比較検討することができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 スポーツに関する知的財産について スポーツに関する特許権を紹介し工業所有権の理解を深めます。 予復修課題：好きなスポーツメーカーが所有している特許権について調べてください。(約1.0時間)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 スポーツに関する知的財産について スポーツに関する意匠権を紹介し工業所有権の理解を深めます。 予復修課題：好きなスポーツメーカーが所有している意匠権について調べてください。(約1.0時間)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 スポーツに関する知的財産について スポーツに関する商標権を紹介し工業所有権の理解を深めます。 予復修課題：好きなスポーツメーカーが所有している商標権について調べてください。(約1.0時間)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	出席そのものは当然ですが、本授業を含みスポーツビジネス領域に開設されている全ての科目は、出席+レポート(予復修課題対応)を完遂することで実力を高めていけるように構成しています。そのためにはメモ力を強化することと質問力を高めることが重要になってきます。毎回の振り返りレポートには必ずコメントを付けて返信しますので確認してください。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 講義の中でプレゼンテーションを行う機会があります。毎回の振り返りの中でレポートをまとめる力をレベルアップし、PowerPointで発表資料を作成し全受講生の前でプレゼンします。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		60 %							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		指定しません。							
参考書		授業中に必要に応じて適宜指示します。							
					11 プレゼンテーション 実際にあるアイデアチャレンジコンテストへ応募してみよう。 予復修課題：応募可能なアイデアチャレンジコンテストを調べてください。(1.0時間)				
					12 プレゼンテーション 応募した内容についてプレゼン資料を作成してみましょう。 予復修課題：PowerPointを使って応募作品のプレゼン資料を完成させてください。(1.0時間)				
					13 プレゼンテーション 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)				
					14 プレゼンテーション 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)				
					15 総括：後期を振り返って自己評価シートを完成させます。成長の度合いを具体的に数値化して、それを基に考察を加えてみましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツコーチング Sports Coaching Theory				単位数	授業内容**	
担当者	上村 英樹 (UEMURA Hideki)				2	1 ガイダンス 講義概要及び受講上の注意に関する説明。 予復修課題：スポーツとは何か調べる。(所要時間120分)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2 スポーツとは何か スポーツとは何かを様々な視点・特性から考える。 予復修課題：スポーツの意義と価値について調べる。(所要時間120分)	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	スピ	3 スポーツの意義と価値 スポーツを意義と価値とは何かを考える。 予復修課題：コーチングとは何かを調べる。(所要時間120分)
配当年次	2年生	開講学期	後期				4 コーチングの意味 コーチングの本来持つ意味からその役割と使命を考える。 予復修課題：コーチの倫理観・規範意識について考える。(所要時間120分)
授業概要	新たな時代のスポーツのコーチングは、単に専門的な技術を教えるだけにとどまらず、人間としての態度や行動などが幅広く求められています。 本講義では、日本スポーツ少年団の指導者育成の講師、障害の有無にかかわらず子どもから高齢者のスポーツの指導に関わってきた経験を活かした授業を展開します。 スポーツの意義や価値、社会に求められる背景と役割等を学びながら、スポーツコーチングの基本について理解を深めていきましょう。						
	3 スポーツを意義と価値とは何かを考える。 予復修課題：コーチングとは何かを調べる。(所要時間120分)						
授業到達目標	スポーツコーチングとは何か理解する。 コーチとしての態度や行動がどうあるべきかを理解する。 実際の現場でより良いコーチングができるようになる。						
	4 コーチの倫理観・規範意識 コーチの倫理観・規範意識について考える。 予復修課題：ドーピングについて調べる。(所要時間120分)						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5 アンチドーピング アンチドーピングがなぜ必要なのか考える。 予復修課題：これまでの復修しておく。(所要時間120分)		
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 アンチドーピング アンチドーピングがなぜ必要なのか考える。 予復修課題：これまでの復修しておく。(所要時間120分)		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 理解度テスト これまでの学習が理解できているかテストする。 予復修課題：コーチの資質について調べる。(所要時間120分)		
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 コーチの資質 コーチに求められる資質について考える。 予復修課題：コーチの心構えと視点について調べる。(所要時間120分)		
成績評価の方法(全体で100%)					9 コーチの心構えと視点 スポーツのコーチに必要な心構えについて考える。 予復修課題：コミュニケーションスキルについて調べる。(所要時間120分)		
履修における留意事項					10 コミュニケーション 様々なコミュニケーションスキルを学ぶ。 予復修課題：感情のコントロールについて調べる。(所要時間120分)		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			11 コーチの感情のコントロール コーチの感情のコントロールについて考える。 予復修課題：チームビルディングについて調べる。(所要時間120分)		
1. 小テスト、感想文など		20 %			12 チームビルディング チームづくりに必要な要素を考える。 予復修課題：トップアスリートを育てる意義について調べる。(所要時間120分)		
2. 中間テスト		10 %			13 トップアスリート トップアスリートを育てる意義を考える。 予復修課題：プレーヤーとコーチの関係について調べる。(所要時間120分)		
3. 課題レポートなどの提出物		10 %			14 プレーヤーとコーチの関係 プレーヤーとコーチの望ましい関係とは何かを考える。 予復修課題：まとめのテスト対策を行う。(所要時間120分)		
4. 授業中の発表、討論		5 %			15 まとめ 授業の振り返りと「まとめのテスト」を行う。 予復修課題：テスト結果を振り返る。(所要時間120分)		
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %			グループで学習を進め、課題をグループでディスカッションして発表します。		
2. 論文、まとめのレポートなど		%			積極的にディスカッションに参加できるよう		
3.		%			予修しておきましょう。		
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツビジネス実践 Practical Sports Business				単位数	授業内容**					
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：自己紹介を目的としたPowerPoint資料を作成してください。(約0.5時間)					
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 人口統計学から近未来の日本社会を概観する 経済効果の総括 予復修課題：オリンピック関連の経済的ニュースについて一つ紹介してください。(約1.0時間)					
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	スビ					
配当年次	2年生	開講学期	後期								
授業概要	スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義は実践形式の授業であり、特に毎回の予習と授業後の振り返りを重視して研究能力と考察力を高めていきます。この点では研究会やワークショップ、ゼミナールと類似した特徴を持っていますが、専攻も得意分野も異なる人の前で自分の考えを述べたり、他者の考えを深く理解したりする経験を通じてコミュニケーション能力を高めていくことを目的としています。将来の職業選択の一つにスポーツビジネス関連が含まれるような授業内容を想定しています。										
授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問したり、議論したりすることができる。 根拠を持って自分の意見を述べるすることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめて発表することができる。 情報化社会に対応したプレゼンテーション資料を完成させることができる。 与えられたテーマを深掘りして独自の視点で学習を進めることができる。										
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	出席そのものは当然ですが、本授業を含みスポーツビジネス領域に開設されている全ての科目は、出席+レポート(予復修課題対応)を完遂することで実力を高めていけるように構成しています。そのためにはメモ力を強化することと質問力を高めることが重要になってきます。毎回の振り返りレポートには必ずコメントを付けて返信しますので確認してください。								
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%	講義の中でプレゼンテーションを行う機会があります。毎回の振り返りの中でレポートをまとめる力をレベルアップし、PowerPointで発表資料を作成し全受講生の前でプレゼンします。								
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %									
3.		%									
再評価の実施	する	しない									
教科書	指定しません。										
参考書	授業中に必要に応じて適宜指示します。										
						11 プレゼンテーション 指定されたグループでのワークを進めます。 予復修課題：発表用のストーリーを考えてください。(1.0時間)					
						12 プレゼンテーション 指定されたグループでのワークを進めます。 予復修課題：発表を想定したコンテを制作します。(1.0時間)					
						13 プレゼンテーション 指定されたグループでのワークを進めます。 予復修課題：発表用のPowerPoint資料を完成させてください。(0.5時間)					
						14 プレゼンテーション 本番を想定したプレゼンテーションを行います。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)					
						15 総括：後期を振り返って自己評価シートを完成させます。成長の度合いを具体的に数値化して、それを基に考察を加えてみましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネス実務総論 B Business Routine Concept B				単位数	授業内容**	
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEJ2222		
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	ビ実		
配当年次	2年生	開講学期	後期					
授業概要	本講義ではビジネスパーソンとして必要な資質や役割を理解し、ビジネスの現場で行動・活躍できる人材の育成を目標とする。 ビジネスにおける実務、そのマネジメント、ビジネスを取り巻く環境、企業組織、ビジネスパーソンのキャリアなどについて理解を深め、ビジネス実務の基本から応用に至るまで幅広く習得することを目的とする。							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパーソンとしての役割を理解し、ふさわしい立ち居振る舞いができる。 ・ビジネス実務を通して、自分の意見をエピソードを交えて発表することができる。 ・ビジネス実務を通して得た思想を自分の人生に生かすことができる。 ・自ら課題を見つけ、率先して取り組むことができる。 ・自らライフデザインを形成し、その中でキャリアを育むことができる。 							
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパーソンとしての役割を理解し、ふさわしい立ち居振る舞いができる。 ・ビジネス実務を通して、自分の意見をエピソードを交えて発表することができる。 ・ビジネス実務を通して得た思想を自分の人生に生かすことができる。 ・自ら課題を見つけ、率先して取り組むことができる。 ・自らライフデザインを形成し、その中でキャリアを育むことができる。 							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で 100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業欠席者は UNIVERSAL PASSPORT から毎回の Keywords について各自で調べ、提出のこと 予復修の時間の目安は、40～60分です。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		60 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	毎回の授業でテーマの課題シートに解答を書き込み、提出					
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	適宜、資料を配布する							
参考書								
1		ガイダンス 講義の内容と方針、予復修の説明 予復修課題：次週の Keywords を調べておこう						
2		企業が求める人材について自己採点を重ね、就業力の強化を自覚する 課題をととして、コミュニケーション能力を身に付けよう 予復修課題：Keywords「表現力」						
3		企業が求める人材について自己採点を重ね、就業力の強化を自覚する 課題をととして、自己分析能力を高めよう 予復修課題：Keywords「キャリア適応能力」						
4		働き方の多様性 成果主義へと変化するなかで、必要とされる人材や能力を考える 予復修課題：Keywords「グローバル社会」						
5		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「グローバル社会に求められる能力」						
6		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「非正規雇用」						
7		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「ライフデザイン」「キャリアデザイン」						
8		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「生涯学習」						
9		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「発信力」「傾聴力」						
10		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「現代社会に求められている能力」						
11		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「仕事観」						
12		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「働き方改革」						
13		現代社会におけるケーススタディについて学ぶ 現代社会が抱える問題について理解し、自らの考えをまとめる 予復修課題：Keywords「近未来のビジネス社会に求められる能力」						
14		働き方の多様性 成果主義社会のなかで、必要とされる人材や能力を考える 予復修課題：Keywords「現代社会を生き抜く能力」						
15		総括 14回の授業で取り上げたテーマについて振り返り、総括レポートを仕上げる 予復修課題：Keywords「ビジネスワーカーに求められる能力」						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		金融論 Financial Economics		単位数	授業内容**						
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 ガイダンス 本講座の目的と内容、到達目標、取組姿勢や課題への対処等について説明する。 予復修課題：ミクロ理論を復修しておくこと。						
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 金融論基礎1 金融の定義とその経済学的機能、国民経済に果たす役割、およびその実態について学ぶ。 予復修課題：一つの産業として金融を理解するのではなく、経済システム全体の中での金融を理解すること。						
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	公マ	3 金融論基礎2 本源的証券、直接金融と間接金融、およびそれぞれのリスクについて学ぶ。 予復修課題：直間金融システムそれぞれの意義と問題点を整理すること。	
配当年次		3年生	開講学期	前期			ビ実			4 資金需給の条件 リスク、利子、期間、金額、情報の非対称性について学ぶ。 予復修課題：利子・リスク・情報の非対称性の関連を復修すること。	
授業概要		金融論の基礎を学ぶ。ミクロ経済学・マクロ経済学の理論を下敷きにして、金融システム、参加主体の行動、金融規制や政策の仕組みを理解する。金融論を"お金について学ぶ"と認識することは間違いではありませんが、表面的です。より踏み込むならば、"お金を融通する"ことの経済機能(お金の貸し借りがどのような経済的効果・効用があるのか?)を分析することが大切です。金融実務経験に基づき、現代ミクロファイナンスの現状を織り交ぜて講義する。									
授業到達目標		金融の基本機能のほか、企業や家計の金融資産選択などの金融行動の理論を習得できるようにする。また金融や金融商品、金融市場についての基本的な知識(金融リテラシー)の習得を目指す。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 時間選好率、単利と複利、現在割引価値について学ぶ。 予復修課題：第4回で説明したロジックと、この講義での説明とを総合すること。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 資金需給の基本構成要素1 資金供給(預金や出資)の経済学的分析を行う。 予復修課題：貨幣の定義と貨幣需要の分類について予修しておくこと。						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 資金需給の基本構成要素2 資金調達...銀行借入と証券発行、有価証券の定義について学ぶ。 予復修課題：貸手と借手の権利義務関係について予修しておくこと。						
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・資料配付はUNIVERSAL PASSPORTを通じて行います。各自でDLしてください。 ・予復修(特に復修)の時間の目安は、1時間程度です。板書を必ずノートに取ってください								
1. 小テスト、感想文など		10%	2) 最終到達度の評価								
2. 中間テスト		10%									
3. 課題レポートなどの提出物		%									
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		10%									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
1. まとめのテスト		70%	アクティブ・ラーニング ・授業の終わりの時間帯で、授業内容に関するミニテストを行うことがあります。授業に集中しててください。								
2. 論文、まとめのレポートなど		%	13 対金融機関規制、証券発行・流通規制の種類や意義を学ぶ。 予復修課題：金融機関に対する規制が社会経済的に望ましい根拠を復修すること。								
3.		%									
再評価の実施		する	しない	14 マクロ金融政策(貨幣、金利、準備率等)の意味と効果を学ぶ。 予復修課題：金融政策の手段とその効果について復修すること。							
教科書		授業の都度、参考箇所を指示する。									
参考書		川西 諭、山崎福寿「金融のエッセンス」、有斐閣、2013									
15		まとめおよびまとめのテスト 講義の全域を対象範囲としたまとめと、まとめのテストを行う。 予復修課題：まとめのテストのための準備をしておくこと									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		西洋経済史 Economic History of Europe		単位数	授業内容**				
担当者		丹後 享 (TANGO Susumu)		2	1 授業計画の提示 授業内容の全体像を解説するとともに、授業の進め方・成績評価の仕方を説明する。 予復修課題：教科書の を読むこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3102	2 日本の近代化とヨーロッパの関係 歴史研究の意義・方法・目的を考えるとともに、日欧の特殊な関係を考察する。 予復修課題：教科書(p.1-10)を読むこと。				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経			
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	本講義の目的は、ヨーロッパ世界がいかなる経緯で形成されたかを知ることにある。現在に続くヨーロッパ世界の出発点は中世にあり、古典古代世界が没落した結果、それとは大きく異なるヨーロッパ世界が誕生した。本講義では、古代社会没落の要因を探るとともに、中世世界の形成過程及びその特質を考えたい。以上の内容を社会・経済的刺戟から分析する。授業はテキストの内容・順序に従って進め、毎回、授業内容をまとめたレジュメを配付する。								
	授業到達目標	(1)ヨーロッパ世界の形成過程を知ることによって、現在のヨーロッパ世界の特質を理解することができる。 (2)日本とヨーロッパの歴史を比較することで、日本の社会・経済を相対的に見る視座を身につけることができる。 (3)高校地歴・中学社会の教職を志望する場合、必要な専門知識を習得することができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 ヨーロッパ人の歴史認識(1) 「発展段階論」を説明するとともに、これを批判する。 予復修課題：教科書(p.12-21)を読むこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 ヨーロッパ人の歴史認識(2) 「従属理論」・「世界システム論」を説明するとともに、今日の歴史観を論じる。 予復修課題：教科書(p.21-35)を読むこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 ヨーロッパの地理的構造 自然環境と歴史の関係を分析する。 予復修課題：教科書(p.38-56)を読むこと。				
成績評価の方法(全体で100%)					6 地中海世界の没落(1) マックス=ヴェーバーの古代史観を説明する。 予復修課題：教科書(p.58-71)を読むこと。				
履修における留意事項					7 地中海世界の没落(2) ローマ帝国の構造とその変質過程を説明するとともに、その没落の要因を考える。 予復修課題：教科書(p.71-80)を読むこと。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	8 断絶説と連続説(1) ゲルマン大移動の実態を分析することによって、「文化破壊説」を批判する。 予復修課題：教科書(p.82-89)を読むこと。						
1. 小テスト、感想文など		%	9 断絶説と連続説(2) 「文化連続説」を批判するとともに、古代と中世の関係を考える。 予復修課題：教科書(p.89-103)を読むこと。						
2. 中間テスト		%	10 転換期のローマ貴族 ローマ貴族の価値観の転換の過程を探る。 予復修課題：教科書(p.105-127)を読むこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %	11 ヨーロッパ世界の形成(1) フランク王国の実態を分析するとともに、古典荘園の形成過程を説明する。 予復修課題：教科書(p.130-158)を読むこと。						
4. 授業中の発表、討論		%	12 ヨーロッパ世界の形成(2) 封建制の形成過程とその特質を探る。 予復修課題：教科書(p.158-166)を読むこと。						
5. 授業への参加意欲		10 %	13 ヨーロッパ世界の形成(3) 中世後半の荘園制と封建制の変化を考える。 予復修課題：教科書(p.166-175)を読むこと。						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	14 ヨーロッパ世界の特殊性 日本とヨーロッパ世界の違いを探る。 予復修課題：教科書(p.178-199)を読むこと。						
7.		%	15 まとめのテスト及びその解説 予復修課題：教科書全体とレジュメを熟読しておくように。						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 授業内容に関連するレポート提出を求める。(1回のみ実施)							
1. まとめのテスト		70 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	増田四郎『ヨーロッパとは何か』(岩波新書)1967年								
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域経済論 Regional Economics		単位数	授業内容**					
担当者		西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		2	1 オリエンテーション 地域経済を学ぶ意義や重要性などを解説する。 予復修課題：シラバスをよく読んでおく。					
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング	EEJ3103					
授業形式		講義		科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	生経	金会	公マ
配当年次		3年生		開講学期	前期	(コース)区分*				
授業概要		財務省・金融庁での経験を活かして、授業展開を行う。 本講義では、各受講生が北九州市のスーパー地方公務員になった前提で、北九州経済の現状を分析し、人口減少や高齢独居者の増加など地域が衰退していく中での地域が抱えている課題について、地方創生の新たな視点や有効な方策づくりの観点から、大学周辺の地域振興策を考える。								
授業到達目標		地域振興やまちづくりに関する基本的な考え方や理論を理解することができる。 他の先進地域との比較から、実践的な解決策を考えることができる。 地域の現状と課題についての理解を深め、自ら考えることができるようになる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕										
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								◎
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								◎
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								◎
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		授業毎に1時間を目安に予復修を行うこと。 通学の途中、学園通りの状況を把握しておくこと。 普段から、新聞やニュース等に関心を持つこと。						
1. 小テスト、感想文など		%								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		10 %								
5. 授業への参加意欲		30 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		60 %		第4回グループワーク						
2. 論文、まとめのレポートなど		%		第1回のオリエンテーションで課題を提示し、まとめのテストで解決策を提言する。						
3.		%								
再評価の実施		する しない		○						
教科書		資料を準備して、主にパワーポイントを用いた講義を行います。								
参考書		高野誠鮮(2012)『ローマ法王に米を食べさせた男 過疎の村を救ったスーパー…』講談社								
				11 地方創生に金融は有効か 地方創生に対する金融機能の有効性について考察する。 予復修課題：金融機能の種類について調べておく。						
				12 地域運営組織の作り方 地域運営組織の種類と設立過程を解説する。 予復修課題：地域運営組織の種類について調べておく。						
				13 外部講師「各地における地方創生事業」 他の先進地域の地方創生について具体的に解説する。 予復修課題：地方創生についての先進地域の状況を調べておく。						
				14 3つの「なし」とソーシャル・キャピタル 地方創生を邪魔する3つの「なし」ときずなの関係について解説する。 予復修課題：ソーシャル・キャピタルについて調べておく。						
				15 まとめのテスト、講義の総括 各自の地域振興策を提言する。 予復修課題：14回分の授業内容を直直しておく。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済政策 Economic Policy		単位数		授業内容**											
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)		専任		1	1	本講の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。									
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3104		2	2-1	行財政改革(その1) 日本の財政赤字について。 予復修課題：財政赤字についての予修と今回の授業内容の復修。									
授業形式		講義		科目区分		領域科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		生経		金会		公マ	
配当年次		3年生		開講学期		前期											
授業概要		<p>経済政策は、経済社会の運営のための学問です。 この授業では、「経済政策入門」で解説した経済政策の基礎的事項を踏まえて、マクロ経済政策・ミクロ経済政策の基礎理論と、具体的な政策課題として、行財政改革、南北問題、地球環境問題、を取り上げます。</p>															
授業到達目標		<p>経済政策の基礎的内容をふまえて現実の政策課題を考えることができる。 現代の経済政策の課題と、自らの生活とのかかわりを考えることができる。</p>															
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)																	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。																	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。																	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。																	
成績評価の方法(全体で100%)						履修における留意事項											
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		この科目の受講に当たっては授業は、2年次開講の「経済政策入門」を受講していることが望ましい。 授業への出席は、3分の2を超える程度に応じて、10%を上限に参加意欲の評価に反映させます。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。													
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング 授業で取り上げる具体的な政策課題について事前に調べる。													
再評価の実施		する		しない													
教科書		特定の教科書は使用しません。															
参考書		参考書は適宜紹介します。															
						15	15	まとめのテストおよび解説。 予復修課題：まとめのテストの予修と解説の確認、到達目標の自己評価。									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		環境経済学 Environmental Economics		単位数	授業内容**				
担当者		野田 昌太郎 (NODA Shoutarou)		2	1 イントロダクション：授業の概要及び進め方などについて説明する。 地球環境と経済 予復修課題： 今回の授業で扱った内容全体を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 .環境評価手法と環境経済学 トラベルコスト法による環境の理解 予復修課題： 今回の授業で扱った内容全体を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	公マ	3 2030年代に向けた原発稼働ゼロの目標設定 予復修課題： テキストpp.41～66を1時間を目安に予復修をおこなうこと。
配当年次		3年生	開講学期	前期					.原発事故と新たな環境問題-1.福島原発事故の放射能汚染物処理と世界の原発事情
授業概要		本講義では環境問題について経済学の観点からどのようにアプローチできるのかを学ぶ。私たちの日常生活と環境問題がどのように関わるのかを理解し、実際にどのよう環境保全への取り組みを行っているのかについて、実際に環境検査企業にアドバイスした経験を踏まえ概観し、経済学視点で理解する。また、環境政策分析のための基礎理論や経済的手法の特徴と有効性を考察し、環境問題について消費者や企業の視点から取り上げる。 なお、廃棄物政策や地球温暖化政策、及びエネルギー政策などにも焦点を当てる。							
授業到達目標		環境問題と経済活動との関係や政策手段について学び、経済学的な思考力や分析手法を身につけることができる。 環境問題について高い関心を持ち、専門的な知識と理解を得ることができる。 現実の環境問題について習得した学習内容を発展・応用し、自分なりの解決策を提示することができる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 温暖化政策への取り組みと今後の対策 第2回小テストを実施する。 予復修課題： テキストpp.123～135を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 .環境政策の歴史-2.1990年代からの環境政策 環境基本法とリサイクル関連法 予復修課題： テキストpp.136～148を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 .環境政策の実践-1.環境政策の担当領域と原則 環境政策の実践手順と評価 予復修課題： テキストpp.149～158を1時間を目安に予復修をおこなうこと。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義内容の理解度を確保するため、復修を行うこと。また、疑問点・不明点は自ら積極的に質問し、早期解決を図ること。 また、環境経済学入門を事前に履修していることが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		70 %	第2回目講義において、トラベルコスト法の理解促進に関するグループ・ディスカッションを実施する。また、その他の回においても毎回質疑応答形式を取り入れる。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		三橋規宏 『環境経済入門(第4版)』日経文庫、2013年 とする。							
参考書		参考書は、「栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ(第3版)』有斐閣、2016年」とする。							
11 外部不経済と内部化 予復修課題： テキストpp.173～198を1時間を目安に予復修をおこなうこと。					.環境への経済学的アプローチ-1.市場の失敗と外部不経済				
12 排出権取引とデポジット制度 予復修課題： テキストpp.173～198を1時間を目安に予復修をおこなうこと。					.環境への経済学的アプローチ-2.環境問題を経済学で解きほぐす様々な手段				
13 環境と経済のトレードオフ 予復修課題： テキストpp.199～208を1時間を目安に予復修をおこなうこと。					.環境経済学への応用-1.環境経済学の考え方とシステム思考				
14 満足度関数と様々な指標 予復修課題： テキストpp.209～223を1時間を目安に予復修をおこなうこと。					.環境経済学への応用-2.人の幸福と環境問題				
15 これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： これまでに学習した内容について総復修し、まとめのテストに備えること。					まとめ				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		公共経済学 Public Economics		単位数		授業内容**											
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		専任		1 イントロダクション：授業の概要及び進め方などについて説明する。 公共経済学とは何か、政府の役割について説明予定である。 予復修課題： 今回の授業で扱った内容全体を復修すること。											
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3106		2 経済循環とその表現 簡単な数値例で経済循環の表現方法を学習する予定である。 予復修課題： 経済循環の表現方法を予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。											
授業形式		講義		科目区分		領域科目群		学科・領域		経済・経営学科		生経		金会		公マ	
配当年次		3年生		開講学期		前期		(コース)区分*									
授業概要		現在、日本は少子高齢化や巨額の財政赤字といった様々な問題を抱えている。本講義では、市場経済において政府や地方自治体などの公共部門がどのような役割を持つのか、経済学的視点から学ぶ。政府のマクロ経済政策の課題とあり方について解説し、財政赤字問題や公的年金制度の現状などを取り上げる。また、それらを経済循環として表現する方法にも焦点を当てた上で、財政政策の効果や分析手法を学ぶ。 なお、プリント (UNIVERSAL PASSPORTで配布予定) とOHCを利用して講義を進めます。															
授業到達目標		公共経済学の理論的基礎を学び、日本経済の抱える問題に対して自分なりの考えを持つことができる。 公共政策の現状と課題について具体的に説明できる。 様々な政策課題に対して問題意識を持ち、その解決策を提案できる。															
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)																	
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。																	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。																	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。																	
成績評価の方法 (全体で100%)						履修における留意事項											
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		事前に参考書を読む等の予修 (20時間以上) と、事後にノートの見直しや練習問題を解く等の復修 (40時間以上) を心がけて下さい。 特別欠席の書類や課題などはオフィスアワーや昼休みに提出して下さい。													
1. 小テスト、感想文など		15 %															
2. 中間テスト		%															
3. 課題レポートなどの提出物		25 %															
4. 授業中の発表、討論		%															
5. 授業への参加意欲		%															
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%															
7.		%															
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング															
1. まとめのテスト		60 %		第13回目に事前学習型授業を行う予定である。 なお、課題はUNIVERSAL PASSPORTから事前に、印刷して取り組んでおいて下さい。													
2. 論文、まとめのレポートなど		%															
3.		%															
再評価の実施		する		しない													
教科書		使用しない。															
参考書		配布資料に記載予定。															
11 開放経済における財政政策 (1) 基本						11 開放経済における財政政策の効果について解説する予定である。 予復修課題： 開放経済のいろいろな乗数について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。											
12 開放経済における財政政策 (2) 均衡予算						12 開放経済における財政政策の効果について解説する予定である。 予復修課題： 開放経済のいろいろな乗数について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。											
13 開放経済における財政政策 (3) ポリシーミックス						13 開放経済における財政政策の効果について解説する予定である。 予復修課題： 開放経済のいろいろな乗数について予修(1時間)し、講義内容を復修(3時間)すること。											
14 事前学習型授業 (振り返り)						14 第13回までの内容を振り返り、講義資料の課題に基づく演習を行う予定である。 予復修課題： 講義資料の課題を事前に学習(4時間)し、講義内容を復修しておくこと。											
15 まとめ						15 これまでの授業内容の総括を行い、まとめのテストを実施する。 予復修課題： 「まとめのテスト」の出題範囲を予修(5時間)し、これまでの講義内容を復修すること。											

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		租税制度 Tax System		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	1 ガイダンス 講義の進め方、中心的な学修課題について説明する。 予復修課題：授業時に指示				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	公マ	経管
配当年次		3年生		開講学期	前期				
授業概要		当講義では、課税が個人や企業の選択行動にどのような影響を及ぼすのか、分配や社会的な厚生にどのような変化をもたらすかについても留意しながら、現在の日本の税制を具体的な制度内容に即して理解することに重きを置いて解説します。 教科書を基本としつつ、必要に応じて配布する最新の制度内容や諸外国との比較に関する資料も利用しながら講義を進めます。							
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の租税制度の内容や課題に関する新聞記事を理解できる。 ・当該記事の論点を整理するのに必要な見識を習得している。 							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					2 市場の失敗と租税 市場経済の中で政府が果たしている役割とその効果について概説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					3 政府の歳出と租税 政府が徴収する租税が何のために、どのような分野で使われているか解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					4 租税原則 租税が満たすべき性質、望ましい条件についての考え方を解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
成績評価の方法 (全体で100%)					所得課税論				
履修における留意事項					5 所得を課税ベースとする税制の考え方と課題について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価					6 日本の所得税制の実際 日本の現行の所得税制の具体的な仕組みについて解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
評価割合					7 日本の所得税制の課題 日本の現行の所得税制が抱える問題点や課題について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
1. 小テスト、感想文など					8 消費課税論 消費を課税ベースとする税制の考え方と課題について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
2. 中間テスト					9 日本の消費税制の現状と課題 日本の消費税制の具体的な仕組みと課題について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
3. 課題レポートなどの提出物					10 法人課税の考え方と仕組み 法人課税の拠り所となる考え方と対立的な考え方について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
4. 授業中の発表、討論					11 日本の法人税制 日本の法人税制の具体的な仕組みと課題について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
5. 授業への参加意欲					12 租税による所得再分配効果 政府の歳出、租税、社会保障制度による所得再分配効果について解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
6. 自主的学習 (予習・復習など)					13 財政政策と租税 財政政策による経済安定化機能について、増減税の効果を含めて、解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
7.					14 地方財政と地方税制 地方自治体の歳出とそれを支える財源について、地方税を中心に解説する。 予復修課題：授業時に指示 (予復修目安時間:60分)				
2) 最終到達度の評価					まとめのテスト				
1. まとめのテスト					15 これまでの講義内容の総括として、まとめのテストを実施する。 予復修課題：「まとめのテスト」の出題範囲を予修 (5時間) し、これまでの講義内容を復修すること。				
2. 論文、まとめのレポートなど									
3.									
再評価の実施		する	しない						
教科書		林宏昭 『日本の税制と財政』 (中央経済社、2019年)							
参考書		吉沢浩二郎 『図説 日本の税制 平成30年度版』 (財経詳報社、2018年)							

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スポーツマネジメント Sports Management		単位数	授業内容**			
担当者		上村 英樹 (UEMURA Hideki)		2	1 ガイダンス 講義概要及び受講上の注意に関する説明 予復修課題：自分の将来の進路や方向性について考える。予復修課題取組時間：2時間程度			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3201				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	スピ	2
配当年次	3年生	開講学期	前期					2
授業概要	本講義では、文部科学省が推進する総合型地域スポーツクラブの設立・運営に、地方自治体担当者、同事業に取り組むNPO法人代表としての経験を活かした授業を展開します。授業では、今後の日本スポーツを支える「地域スポーツ」のマネジメントを中心に基本的なマネジメントの知識について学びます。また、地域スポーツの現場に携わる人々が直面した問題をわかりやすく解決していきます。他のビジネスとの共通点や相違点を見極めつつ、応用力も身につけていきましょう。							3
	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。自分の考えを持ち、人前で発表できる。他者の考えに興味を持って真剣に聞くことができる。重要事項をメモに残す習慣を身に付けて実践することができる。情報化社会に対応できる基礎力を高める。							4
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				9
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	配布されたプリントは適切にまとめておきましょう。					10
1. 小テスト、感想文など		%						11
2. 中間テスト		%						12
3. 課題レポートなどの提出物		40 %						13
4. 授業中の発表、討論		%						14
5. 授業への参加意欲		20 %						15
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーを実施する。					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書								
15		授業の振り返り					予復修課題：授業記録を参考に振り返りのレポートを作成する。予復修課題取組時間：2時間程度	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スポーツ施設管理 Study on Sports Facility				単位数	授業内容**			
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				2	専任			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEJ3108				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	スピ			
配当年次	3年生	開講学期	前期							
授業概要	本講義では、公益社団法人日本体育施設協会認定の体育施設管理士の資格取得を目指した講義を行う。 内容は、体育施設の維持管理・運営に関する総合的な知識を習得することで、体育施設管理者の資質向上とともに、我が国の体育・スポーツ振興に寄与することを目的とする。					1 ガイダンス 講義概要及び受講上の注意に関する説明 予復修課題： 体育管理士という資格について調べる。(所要時間120分)				
授業到達目標	体育施設の維持管理・運営に関する総合的な知識が習得できる。 「体育施設管理士」の資格を取得する。					2 体育館・武道館の維持管理 体育館・武道館を管理するためには、どのような点について注意すべきか考える 予復修課題： 身近な体育館について調べる。(所要時間120分)				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						3 各種スポーツフロアの構造と維持管理 スポーツフロアの構造について学ぶ 予復修課題： スポーツフロアの構造を実際に調べてみる。(所要時間120分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						4 屋外スポーツ施設の維持管理 屋内と屋外のスポーツ施設の違いと屋外特有の注意点について学ぶ 予復修課題： 屋外のスポーツ施設について調べてみる。(所要時間120分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						5 水泳・プールの維持管理 プールの維持管理について必要な知識を学ぶ 予復修課題： 様々なプールについて調べてみる。(所要時間120分)				
成績評価の方法(全体で100%)						履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本講義の単位取得後、日本体育施設協会認定の「体育施設管理士」の資格取得試験を受検することが望ましい。							
1. 小テスト、感想文など		10 %								
2. 中間テスト		10 %								
3. 課題レポートなどの提出物		10 %								
4. 授業中の発表、討論		5 %								
5. 授業への参加意欲		10 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		50 %	グループディスカッションによって活動テーマを決め、グループワーク、フィールドワークを行い、報告プレゼンテーションで締めくくる。							
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3. イベント検定受験		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	「公認体育施設管理士教本」(日本体育施設協会)									
参考書										
						6 スポーツ施設の照明と維持管理 スポーツ施設にはどのような照明が使われているか学ぶ 予復修課題： これまでの復修しておく。(所要時間120分)				
						7 スポーツ施設の照明と維持管理 スポーツ施設にはどのような照明が使われているか学ぶ 予復修課題： プロスポーツの興行と音響・照明について調べる。(所要時間120分)				
						8 芝生の造成と維持管理 屋外スポーツでは欠かせない芝生について学ぶ 予復修課題： 芝生の種類を調べる。(所要時間120分)				
						9 スポーツ施設の用器具と維持管理 スポーツ施設の用器具の維持管理について学ぶ 予復修課題： 保全と劣化について調べる。(所要時間120分)				
						10 スポーツ施設の診断(保全と劣化) スポーツ施設についての診断の仕方を学ぶ 予復修課題： 身近なスポーツ施設を診断してみる。(所要時間120分)				
						11 スポーツ事故と対策(リスクマネジメント) スポーツにおけるリスクマネジメントについて学ぶ 予復修課題： 起こりうるリスクについてまとめる。(所要時間120分)				
						12 スポーツ経営論 スポーツ施設の経営について学ぶ 予復修課題： 身近な施設の経営状況を調べる。(所要時間120分)				
						13 スポーツマーケティング スポーツの市場について学ぶ 予復修課題： スポーツ施設における衛生の重要性を調べる。(所要時間120分)				
						14 スポーツ施設と衛生・消防法規 スポーツ施設関連の法律について学ぶ 予復修課題： まとめのテスト対策を行う。(所要時間120分)				
						15 まとめ 授業の振り返りと「まとめのテスト」を行う 予復修課題： テスト結果を振り返る。(所要時間120分)				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		近代日本経済史 Modern Japanese Economic History		単位数	授業内容**				
担当者		新鞍 拓生 (NIIKURA Takuo)		2	1 ガイダンス この授業では、近代日本経済史を学ぶにあたってのガイダンスを行います 予復修課題：配布資料を復修すること				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2 近代経済史の始点 この授業では近代化の起点となった幕末開港とその影響を講義します 予復修課題：配布資料を復修すること					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経		
配当年次		3年生		開講学期	前期				
授業概要	この授業では、主として幕末期から昭和初期における日本経済の歴史的展開を対象として講義します。日本は幕末に開港したことにより、世界資本主義の一環に加わるようになりました。そしてほどなく明治維新を迎え、欧米列強の制度や技術を取り入れ、それまで在来産業が中心だった産業構造の近代化を図りました。現代の情報社会は、近代の産業発展をさらに加速させたものとして位置付けることができます。この講義ではそうした見通しのもと、現代社会経済の前提としての近代日本経済の発展を学びます。								
	近代日本経済史を学ぶことにより、欧米列強中心の世界経済、国際政治において、日本が自国の力で経済発展を成し遂げたことを説明できます。それにより、外国で活動する時、あるいは外国人に日本を説明する際に必要な基本的知識を付けることができます。								
授業到達目標	また、現代における情報社会の前提としての、財やサービスの世界的な広がりの端緒を、日本を事例に知ることができます。これにより、私たちが人類史においてどの地点にいるのかを探ることができます。								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 明治前期の経済(1) この授業では明治初期の経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 明治前期の経済(2) この授業では前回に引き続き、明治初期の経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 産業革命・工業化(1) この授業では明治中後期の産業革命・工業化について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること				
成績評価の方法(全体で100%)					6 産業革命・工業化(2) この授業では引き続き、明治中後期の産業革命・工業化について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること				
履修における留意事項					7 日清・日露戦後の日本経済 この授業では日清・日露戦争後の日本経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	8 第一次世界大戦と日本経済 この授業では第一次世界大戦前後の日本経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること						
1. 小テスト、感想文など		20 %	9 1920年代のから昭和恐慌期の日本経済(1) この授業では第一次世界大戦以後昭和恐慌期までの経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること						
2. 中間テスト		%	10 1920年代のから昭和恐慌期の日本経済(2) この授業では第一次世界大戦以後昭和恐慌期までの経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること						
3. 課題レポートなどの提出物		%	11 1930年代から戦時までの日本経済 この授業では昭和恐慌期以後第二次世界大戦期までの経済について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること						
4. 授業中の発表、討論		%	12 近代における九州地方の産業発展(1) この授業では身近な事例として九州地方の産業発展について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること						
5. 授業への参加意欲		%	13 近代における九州地方の産業発展(2) この授業では前回に引き続き九州地方の産業発展について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	14 これまでの講義のまとめ まとめを講義します 予復修課題：授業中の配布資料をすべて見直すこと						
7.		%	15 まとめのテストおよび解説 これまで学んだことをテストします 予復修課題：授業中の配布資料をすべて見直すこと						
再評価の実施		する	しない						
教科書		特に指定しません							
参考書		沢井実・谷本雅之『日本経済史』有斐閣、2016年							

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		東洋経済史 Economic History of Asia		単位数	授業内容**				
担当者		瀬戸林 政孝 (SETOBAYASHI Masataka)		2	1 オリエンテーション 講義に関して、説明を行い、東洋経済史を学ぶ意義について説明する。 予復修課題：シラバスの確認をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3110	2 15世紀以降のアジア世界と大航海時代 大航海時代とアジア世界との関係について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経			
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	この講義では、16世紀から20世紀前半の東アジア、主に中国を中心に社会経済の歴史を解説します。特に、16世紀以降のアジア経済、特に東アジアの経済的変容過程について説明し、アジア経済を支える仕組みがどのように形成され、また、どのように変容し、アジア固有の経済発展を可能にしたのかを検討していく。				3 16世紀から18世紀の東アジア銀決済と国際交易 近世の東アジアにおける銀の流通について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア世界がどのようにして形成されたのかを理解することができる。 ・本講義の理解及び専門的な知識を通じて、現代におけるアジア経済発展の要因、アジア経済における問題点を理解することができる。 ・経済史の視点から様々な問題にアプローチする能力を身につけることができる。 				4 アジア交易圏と朝貢貿易 近世におけるアジア間交易について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5 東アジア在来産業と商品経済 近世中国における在来産業について綿業や絹業を事例に説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 「大分岐」とアジア三角貿易 19世紀初頭の「大分岐」について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 東アジアの開港と欧米 開港と欧米との関係について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 東アジアの開港とアジア 開港とアジアとの関係について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
成績評価の方法(全体で100%)					9 東アジアの工業化の進展 19世紀末から20世紀初頭の東アジアの工業化について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
履修における留意事項					10 アジアにおける植民地経済 東南アジアと東アジア 植民地経済について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修や成績評価において留意すべきこと、予修では指定された課題を行う(90分)。復修では、授業内に配布された資料を用いて、指定された課題を行う(90分)。不定期に小テストを複数回行うので、予修復修を必ず行うこと。						
1. 小テスト、感想文など		30 %							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		70 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					11 20世紀初頭の世界経済と中国市場経済 中国市場経済と世界経済との関係について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
					12 両大戦間期の中国経済 両大戦間期の中国経済について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
					13 第二次世界大戦以降の中国 第二次世界大戦以降の中国について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
					14 戦後アジアと経済成長 戦後アジアと経済成長について説明する。 予復修課題：レジュメに記載された課題を行うこと。				
					15 まとめのテストおよび解説 講義のまとめ。 予復修課題：授業内容を復修しておくこと。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		行政法(作用法・組織法)		Adminisructive Law		単位数	2		授業内容**		
担当者	大谷 美咲 (OTANI Misaki)						専任		1	行政法とは？行政法の全体構造 予復修課題：ノート整理	
実務経験のある教員による授業			ナンバリング		EEJ3111				2	法律による行政の原理 予復修課題：特に法律の留保論についてまとめておく。	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ			3	行政立法 国会の専権的法規創造力と行政立法 予復修課題：配布プリントの復修及びノート整理	
配当年次	3年生	開講学期	前期							4	法規命令 小テスト 予復修課題：ノート整理、白紙委任とは何かについてまとめておく。
授業概要	行政に関する知識は、私たちが社会生活を営み仕事をしていくうえで必ず必要になるものです。本講義では、行政がどのような活動をするのか、私たちに対してどのような権限行使をするのかについて学ぶ。具体的には行政行為、行政立法、行政指導、行政契約、行政計画を中心に学ぶ。								5	行政規則 通達の法的性質 予復修課題：配布プリントの復修及びノート整理	
授業到達目標	基本的な論点14個について、その論点を理解し、問題の所在を的確に把握し説明できるようになる。								6	行政行為とは何か。 行政行為の特殊な効力 予復修課題：公定力、不可争力について重点的に見直す。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			授業の出席は前提となっています。 ノート、プリントが大切になります。 特に、問題演習、事例については授業の後に必ず復修すること。 * 自宅学習時間は1時間以上とする。						
1. 小テスト、感想文など		10 %									
2. 中間テスト		30 %									
3. 課題レポートなどの提出物		%									
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		%									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			小テスト【第4回】、中間テスト【第9回】を実施する。						
1. まとめのテスト		60 %									
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%			15						
再評価の実施		する		しない							
教科書 特に指定しない											
参考書 行政法判例百選(ジュリスト増刊号) 有斐閣											
15 予復修課題：全体の復修											

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		労働と法 Labour Law		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 労働基本権とは？ 予復修課題：配布プリントの復修				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 労働法の全体構造 予復修課題：労働基準法、労働契約法、労働組合法それぞれの概略を見直す。				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ			
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	労働法に関する知識は、社会人として働いていくうえで必要なものです。特に現在のように労働環境が大きく揺れ動き、働き方も契約形態も待遇も多様なものとなっている状況では、弱者たる労働者を最終的に守るものは法である。現在の労働者にとって起こりうる様々な問題にいかに対処すべきかについて具体例を挙げつつ解説していきたい。								
授業到達目標	基本的な論点14個について、その論点を理解し、問題の所在を的確に把握し、その問題に対する自分の意見をまとめる力を身につける。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業の出席は前提となっています。ノート、プリントが大切になります。特に、問題演習、事例については授業の後に必ず復修すること。						
1. 小テスト、感想文など		10 %	* 自宅学習時間は1時間以上とする。						
2. 中間テスト		30 %							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		60 %	小テスト【第4回】、中間テスト【第7回】を実施する。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特に指定しない								
参考書	労働法判例百選(ジュリスト増刊号) 有斐閣								
					11 組合活動、違法な組合活動 予復修課題：違法な組合活動の事例について調べてみる。				
					12 団体交渉 予復修課題：団交応諾義務、誠実交渉義務について、団体交渉手続についてまとめる。				
					13 争議行為 争議行為の正当性 予復修課題：正当性を欠く争議行為の例を調べる。				
					14 不当労働行為とその救済 予復修課題：不当労働行為とは何か、救済方法にはどのようなものがあるかについて事例を通して調べる。				
					15 まとめのテストと解説 予復修課題：全体の復修				

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		環境科学 Environmental Science		単位数	授業内容**				
担当者		成富 勝 (NARITOMI Masaru)		2	1 ガイダンス：環境科学が対象とする分野についての解説 予復修課題：教科書のまえがきを熟読しておくこと				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 人間と環境：文明と環境、世界の人口と有限な地球、最近の環境問題 予復修課題：文明について調べておくこと				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ		
配当年次		3年生	開講学期	前期					
授業概要	環境とは何か？地球の循環システムはどのようなメカニズムで機能しているか？ 様々な学問分野がどのような視点でアプローチしようとしているかについて説明する。 地球の循環システムとしての環境と人間や社会との関わりを中心に理解できることを 目指し、人間社会に関する基礎的事項である生活圏・産業圏の環境、さらにこれらに 関連する法規、自然災害が人間社会に及ぼすリスクについて学ぶ。								
	授業到達目標	1. 環境と人間社会との関わりについて理解し、説明できる。 2. 生活圏・産業圏を起源とする環境要因と関連する法規について説明できる。 3. 環境に関連する社会的事象について説明できる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 都市環境と自然 1：下水道の仕組み、高次処理、下水道の問題点、河川の治水対策 予復修課題：下水の基準について調べておくこと				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 都市環境と自然 2：ダムとその機能、日本の干潟・湿原、ヒートアイランド 予復修課題：ダムの構造形式について調べておくこと				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 酸性雨と大気汚染：酸性雨とその原因、酸性雨の影響、酸性雨対策、光化学スモッグ、オゾン層の破壊など大気を取り巻く環境 予復修課題：酸性雨の酸性度について調べておくこと				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	図書館の資料やインターネットを活用して調べること (目安の時間は120分)。 授業では、積極的に質問し、学習の展開を図ること。また重要と思われること、あるいは印象に残ったことは適宜ノートに書き留める習慣を身につけること。						
1. 小テスト、感想文など		40 %	アクティブ・ラーニング 適宜、小テストを実施する。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		評価割合							
1. まとめのテスト		60 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書 鈴木孝弘『新しい環境科学』、駿河台出版社					11 地球温暖化とCO2：大気中のCO2濃度、温暖化のメカニズム、CO2の特性、CO2の温室効果、CO2の発生と吸収、CO2の毒性 予復修課題：気候変動について調べておくこと				
参考書 適宜、提示する					12 地球温暖化の影響と対策：地球温暖化の影響、海面上昇、異常気象、生態系の変化、農業生産、京都議定書、国際排出量取引、温暖化対策技術 予復修課題：温室効果ガスについて調べておくこと				
					13 森林破壊と生物多様性：減少する世界の森林、森林破壊の影響、森林の保全、生物多様性、開発行為と外来種の問題など日本の現状 予復修課題：生物多様性について調べておくこと				
					14 循環型社会の構築と江戸のライフスタイル：わが国の資源物質の流れ、廃棄物処理の現状、循環型産業システム、新しいごみ処理技術、循環型社会の法体系、リサイクル 予復修課題：江戸時代の庶民の生活について調べておくこと				
					15 授業の総括、まとめのテスト 予復修課題：授業及びまとめのテストの振り返りを行うこと				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	民法(親族・相続) Civil Code(Relatives・Inheritance)				単位数	授業内容**	
担当者	森江 由美子(MORIE Yumiko)				2	1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方。 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 親族・相続(家族法)総論 家族法とはどのような法律なのか。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。	
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	
配当年次	3年生	開講学期	前期				
授業概要	この講義では、民法のうち夫婦・親子・相続等家族関係を規律する「親族・相続」について、基本的事項および重要判例を中心に授業を行っていきます。 私たちの家族に関する出来事が、民法においてどのように規定されているかを具体的な事例を通して、また、税理士としての実務経験を活かして実践的視点からも解説を行います。なお、当該科目は、公務員試験等において出題されることが多い科目です。 したがって、公務員(行政職等)を目指す学生は履修をおすすめします。				3 婚姻 婚姻の成立・効力：現代日本の婚姻法の特徴はどのようなものか。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。		
授業到達目標	本講義は、民法(親族・相続)に関連する基本的知識の修得と今日の課題に対する考察力を養うことを目標とします。具体的には次の通りです。 民法(親族・相続)の基本的仕組みを理解できる。 民法(親族・相続)の基本的問題に関して認識できる。 具体的な問題解決に必要な民法(親族・相続)の仕組みと解釈方法を修得できる。				4 婚姻の解消、内縁 離婚、内縁：現代日本の離婚法の特徴はどのようなものか。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 UNIVERSAL PASSPORTに関連資料を掲載する。 授業の予復修を約1時間行くと、一層理解が深まる。 民法(総則・物権)の単位修得済みであることが望ましい。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		30 %					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		30 %	Think-Pair-Share(随時)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパー(随時)				
3.		%	小テスト(随時)				
再評価の実施	する	しない					
教科書	講義レジュメを使用する。						
参考書	別途指示する。						
11 相続 相続の承認・放棄：相続の承認・放棄について理解する。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。							
12 遺産分割 遺産分割の方法について学ぶ。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。							
13 遺言 遺言制度について理解する。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。							
14 遺留分 遺言の自由の制限である遺留分について学ぶ。 予復修課題：予修：レジュメを読んでくること。復修：配布する復修問題を解いて次回授業に持参すること。							
15 授業の総括・まとめのテスト 予復修課題：予修：復習問題の内容を理解し覚えてくること。復修：まとめのテストの復修をすること。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地方自治体の財政 Public Finance of Local Government				単位数	授業内容**	
担当者		宮本 昌典 (MIYAMOTO Masanori)				2	1 はじめに 予復修課題： シラバスを読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEJ3115		
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	経営	
配当年次	3年生	開講学期	後期					
授業概要	わが国の地方行財政制度は、戦前戦後を通じて中央集権の度合いが大きく、地方自治体の自由になる部分は少なかったが、2000年4月から地方分権一括法が施行されて国と地方の関係が大改革されてから20年が経過した。 本講義では、国と地方の財政関係、地方財政のしくみについて説明する。							
	* 地方財政のしくみを説明できる。 * 地方財政に関する新聞記事が理解できる。							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	* 地方財政に関する新聞記事を読むこと。 * 分からないことがあれば、質問すること。 * 公務員試験の受験希望者には、受験の前年度までに本講義を履修するよう勧めます。					
1. 小テスト、感想文など		20 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		80 %	授業テーマに即した調査学習					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	[第2回 ~ 第14回]					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	水谷・菊池・宮野・菊地『地方財政を学ぶ』勤草書房、2017年。							
参考書	沼尾・池上・木村・高端『地方財政を学ぶ』有斐閣、2017年。							
11 地方交付税 (1)		財政調整機能、財源保障機能、普通交付税、特別交付税、地方交付税の3つの総額 予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。						
12 地方交付税 (2)		基準財政需要額、基準財政収入額、測定単位、単位費用、補正係数、財政力指数 予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。						
13 国庫支出金		一般補助金、特定補助金、国庫負担金、国庫委託金、国庫補助金、三位一体の改革 予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。						
14 地方債		建設地方債、赤字地方債、地方債許可制度、地方債協議制度、実質公債費比率 予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。						
15 まとめのテスト		講義の総括 予復修課題： テスト勉強をしてください。						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本経営史 Japanese Business History		単位数	授業内容**					
担当者	岡田 有功 (OKADA Yuko)			専任	1	講義の概要説明 シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 予復修課題：シラバスを読む				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			専任	2	はじめに 日本経営史と「会社」 予復修課題：「会社」の意味				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営			
配当年次	3年生	開講学期	前期							
授業概要	現代の日本企業は大きな変動期を迎えている。今後の日本経済や企業経営を考えると、歴史を振り返ってみることが今ほど必要な時期はないといえよう。本講義では、日本における企業経営の形成と発展の過程を、資本主義経済とのかかわりで検討する。その際、経営環境としての社会経済の状況をふまえて、日本的な企業経営の形成を歴史的な視点から考察することにしたい。ここでは、近世から近代の時期に焦点をあてる。									
	日本における企業（株式会社）の歴史的な形成過程について説明することができる。									
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)										
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 履修するうえで、学ぶ姿勢・態度は重要となる。								
1. 小テスト、感想文など	%	2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。とりわけ、復修をしておくこと。								
2. 中間テスト	%									
3. 課題レポートなどの提出物	20 %									
4. 授業中の発表、討論	%									
5. 授業への参加意欲	10 %									
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%									
7.	%									
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング									
1. まとめのテスト	70 %	1) ミニレポート (第7回)								
2. 論文、まとめのレポートなど	%	2) 課題レポートの作成を通じた調査学習								
3.	%									
再評価の実施	する	しない								
教科書	特に指定しない。									
参考書	宮本又郎・阿部武司ほか『日本経営史』新版 有斐閣 2007年など									
					11	会社の勃興 西南戦争後の会社設立ブームと第一次企業勃興 予復修課題：会社設立の経済的背景				
					12	商法と企業の集中・合併 明治期における商法の施行と企業の集中・合併 予復修課題：商法と株式会社				
					13	専門経営者の登場 (1) 専門経営者の特徴と三菱の専門経営者 予復修課題：専門経営者				
					14	専門経営者の登場 (2) 三井の専門経営者 予復修課題：専門経営者				
					15	まとめ 講義の総括としてのまとめのテスト 予復修課題：第2～14回の講義内容				

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		管理会計論 Management Accounting				単位数	授業内容**			
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)				2	1 ガイダンス 予復修課題： シラバスを熟読する。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 管理会計の概要 予復修課題： 予修:教科書p.1-14を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.16の練習問題を解く。			
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営	3 財務情報分析(1)、第1回小テスト 予復修課題： 予修:教科書p.17-24を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.32の練習問題を解く。	
配当年次		3年生	開講学期	後期					4 財務情報分析(2) 予復修課題： 予修:教科書p.25-31を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.32の練習問題を解く。	
授業概要		現代の管理会計の技法と実務について理解する。 前半では、管理会計の必要性および管理会計の技法について説明する。これによって、管理会計に関する総論的な知識を得ることができる。 後半では、管理会計の実務について説明する。これによって、管理会計に関する各論的な知識を得ることができる。								
授業到達目標		1. 管理会計の必要性について、説明することができる。 2. 管理会計のフレームワークについて、具体的に述べるができる。 3. 管理会計の技法について、列挙・使用することができる。 4. 管理会計の技法について、経営戦略の策定に関係づけることができる。 5. 管理会計の技法について、マネジメント・コントロールに関係づけることができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						7 予算管理(1) 予復修課題： 予修:教科書p.49-55を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.65の練習問題を解く。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						8 予算管理(2) 予復修課題： 予修:教科書p.56-64を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.65の練習問題を解く。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						9 資金管理とキャッシュ・フロー管理(1)、第3回小テスト 予復修課題： 予修:教科書p.67-77を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.83の練習問題を解く。				
成績評価の方法(全体で100%)						10 資金管理とキャッシュ・フロー管理(2) 予復修課題： 予修:教科書p.78-82を読み、不明な語句を調べる。復修教科書p.83の練習問題を解く。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			評価割合	履修における留意事項						
1. 小テスト、感想文など			40 %	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、まとめのテストにおいて、経営計画について、作成できるようになれば100点。 また、各授業ごとに120分を目安に予復修をおこなうことを要求する。						
2. 中間テスト			%							
3. 課題レポートなどの提出物			%							
4. 授業中の発表、討論			%							
5. 授業への参加意欲			10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)			%							
7.			%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング							
1. まとめテスト			50 %	第3回、第6回、第9回、第12回の授業中に、小テストを実施する。小テストの解答解説後、その内容について、質疑応答をおこなう。						
2. 論文、まとめレポートなど			%							
3. 資格取得			%							
再評価の実施		する	しない	11 事業部制における業績管理(1) 予復修課題： 予修:教科書p.85-92を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.101-102の練習問題を解く。						
教科書		ガイダンスの際に指示する。								
参考書		ガイダンスの際に指示する。								
						12 事業部制における業績管理(2)、第4回小テスト 予復修課題： 予修:教科書p.93-100を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.101-102の練習問題を解く。				
						13 グループ経営(1) 予復修課題： 予修:教科書p.103-110を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.118の練習問題を解く。				
						14 グループ経営(2) 予復修課題： 予修:教科書p.111-116を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.118の練習問題を解く。				
						15 まとめテスト、授業の総括 予復修課題： 経営戦略の策定とマネジメント・コントロールについて、まとめる。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		流通管理論 Distribution Management		単位数	授業内容**	
担当者		國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEJ3118		
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	経管
配当年次	3年生	開講学期	前期	(コース)区分*		
授業概要	<p>私たちが商品を購入するまでには、様々なモノや人が関わり、色々な段階での売買取引を経て流通し、私たちの手元に届いています。</p> <p>本講義では、流通政策の概念や形成メカニズムについての基礎的な説明をしたうえで、日本における流通政策の特徴とその意義を中心に学び、国による流通政策の違いとその背景を明確に理解することを目指します。</p>					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 流通管理、流通政策に関する重要な用語と内容について理解することができる。 授業で学ぶ流通管理の内容が実際ではどのように行われているのかを理解することができる。 					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				◎		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				○		
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	テキストと配付プリントを使用し、授業を進めていきます。				
1. 小テスト、感想文など	%	予・復修に活用し、理解を深めるよう努めて下さい。				
2. 中間テスト	%	主体性をもって積極的に授業に参加することを求めます。				
3. 課題レポートなどの提出物	25 %					
4. 授業中の発表、討論	%					
5. 授業への参加意欲	20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7.	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	55 %	ミニッツ・ペーパー(第5回、6回、8回)				
2. 論文、まとめのレポートなど	%					
3.	%					
再評価の実施	する	しない	○			
教科書	岩永忠康・佐々木保幸編著『現代の流通政策』五紘舎、2013年					
参考書	必要に応じて適宜紹介する。					
1	ガイダンス 講義の概要、履修上の留意事項、評価方法、授業計画等について説明します。 予復修課題：ガイダンス内容と教科書の序論を参照し、次の講義に向けて準備を行うこと。					
2	流通政策の枠組み 流通政策とは何かについて、流通政策の概念や形成メカニズムについて学びます。 予復修課題：教科書第1章を参照し、60分程度復修を行う。					
3	日本の流通政策の特徴 日本国内の流通政策の特徴について学びます。 予復修課題：教科書第2章を参照し、60分程度復修を行う。					
4	大店法と流通政策 大店法の概要と流通政策との関わりについて学びます。 予復修課題：教科書第3章を参照し、60分程度復修を行う。					
5	流通競争政策 独占禁止法と流通問題について学びます。 予復修課題：教科書第4章を参照し、60分程度復修を行う。					
6	流通政策とまちづくり 流通政策とまちづくりの関係について学びます。 予復修課題：教科書第7章を参照し、60分程度復修を行う。					
7	地域商業政策 流通と地域商業振興政策について学ぶ。 予復修課題：教科書第8章を参照し、60分程度復修を行う。					
8	大型店撤退問題 大型店撤退問題と流通政策との関係について学ぶ。 予復修課題：教科書第9章を参照し、60分程度復修を行う。					
9	消費者保護政策 消費者の概念と消費者問題の領域について学ぶ。 予復修課題：教科書第10章を参照し、60分程度復修を行う。					
10	日本の消費者問題と消費者政策 日本における消費者問題と消費者政策の変遷について学ぶ。 予復修課題：教科書第10章を参照し、60分程度復修を行う。					
11	流通政策の国際比較 流通政策の国際比較の意義について学ぶ。 予復修課題：教科書第12章を参照し、60分程度復修を行う。					
12	流通政策の分類 流通政策の学術的な分類方法とそのタイプについて学ぶ。 予復修課題：教科書第12章を参照し、60分程度復修を行う。					
13	諸外国の流通政策 欧米の流通政策の特徴について学ぶ。 予復修課題：教科書第12章を参照し、60分程度復修を行う。					
14	流通調整政策と消費者利益 流通調整政策と消費者利益について学ぶ。 予復修課題：教科書第5章を参照し、60分程度復修を行う。					
15	授業の総括、まとめのテスト 授業の総括を行い、まとめのテスト・解説を行う。 予復修課題：今までの学習事項をテキストで確認し、これまでの学習内容の総復修を行う。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネスコーチング Business Coaching theory				単位数	授業内容**	
担当者		本山 晴子 (MOTOYAMA Haruko)				2	1 ビジネスコーチングの現場での活用事例の紹介 予復修課題：教科書購入と指定されたページを読んで授業に臨むこと	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				非常勤講師	2 コーチングとティーチング、カウンセリング、コンサルティングの違いを理解する。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと	
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営	3 コーチに求められる資質を学ぶ。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
配当年次		3年生	開講学期	前期				4 コーチングのための環境づくりを考える。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
授業概要		相手の能力が開花できるよう、人を育てるコミュニケーションであるコーチングを学ぶ。コーチングの基本である、傾聴・好奇心・直感・自己管理・行動と学習を身につける。将来、教育者、指導者、経営者を目指す人向けの講義です。						5 コーチングの基本スキルを学ぶ。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
授業到達目標		コーチングが日常の会話の中でも実践できる。コーチとしてどのような態度、対話をすればよいか判断できる。						6 コーチングの質問の違いを学ぶ。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 クライアントとの関係づくりを考える。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 上司と部下の対話でコーチングを活用する。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 店員とお客様との対話でコーチングを活用する。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 ほめ方・しかり方を学ぶ。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						11 発想を膨らませるコーチングを体験する。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書の購入を前提として授業を行います。ロールプレイ方式で実践練習をしますので、演習に参加することが必須となります。テストの際、教科書とノートの持ち込みは可能ですが貸し借りは、できません。ノートは自筆のもののみ持ち込み可能です。コピーしたノートや資料類は、持ち込み不可。予復修を各回30分程度行うこと。				12 セルフコーチングを体験する。 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				13 心理学メソッド(来談者中心療法、NLPほか) 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと	
1. まとめのテスト		50%	学生同士でロールプレイを行う。				14 心理学メソッド(交流分析、アサーション、フォーカシングほか) 予復修課題：事前に指定されたページを読んで授業に臨むこと	
2. 論文、まとめのレポートなど		%	課題に対して、自分の考えをまとめる。				15 まとめのテストと解説、講義の総括 予復修課題：十分に復修してテストを受けてください(予復修取組時間:3時間程度)	
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書		本間正人著『図解決定版 コーチングの「基本」が身につく本』学研プラス、2018年						
参考書								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営者論 Thoughts of Managers		単位数		2		授業内容**	
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)		ほか		専任 & 非常勤		1 講義概要の説明(岡田): シラバスに基づいて講義の概要・目標などを説明する 経営者に必要なコンプライアンス(1): 菊楽 智彦(社会保険労務士) 予復修課題: シラバスを読む, コンプライアンスを理解する	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3202				2 経営者に必要なコンプライアンス(2) 菊楽 智彦(社会保険労務士事務所 ファイブ・コンサルティング) 予復修課題: コンプライアンスを理解する	
授業形式		講義(ル-)		科目区分		領域科目群		3 経営者に必要なコンプライアンス(3) 菊楽 智彦(社会保険労務士事務所 ファイブ・コンサルティング) 予復修課題: コンプライアンスについて考える	
配当年次		3年生		開講学期		後期		4 コーチングで引き出す 経営者の考える力(1) 本山 晴子(有限会社コ・リード) 予復修課題: コーチングを理解する	
授業概要		企業経営をよりよく理解するために、実際に企業を経営している人の話を聞くことはきわめて有効である。本講義では、第一線で活躍されている経営者の方が講師となる。その内容は、どのような経緯で経営者となったのか(自分史)、経営理念、経営者として必要なことなどである。本講は、土曜日の2~4時限に集中講義形式で実施する。		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科 経営		5 コーチングで引き出す 経営者の考える力(2) 本山 晴子(有限会社コ・リード) 予復修課題: コーチングについて考える	
授業到達目標		1. 日本における企業経営の最前線を知ることができる。 2. 経営者としてどのような素養が必要であるかを知ることができる。 3. いわゆる「経営力」とは何かについて理解することができる。						6 コーチングで引き出す 経営者の考える力(3) 本山 晴子(有限会社コ・リード) 予復修課題: コーチングについて考える	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 ソーシャル・ビジネス概論(1) 蓼原 典明(特定非営利活動法人 えふネット福岡) 予復修課題: ソーシャル・ビジネスを理解する	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								8 ソーシャル・ビジネス概論(2) 蓼原 典明(特定非営利活動法人 えふネット福岡) 予復修課題: ソーシャル・ビジネスについて考える	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								9 ソーシャル・ビジネス概論(3) 蓼原 典明(特定非営利活動法人 えふネット福岡) 予復修課題: ソーシャル・ビジネスについて考える	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								10 稼げるスタジアム経営(1) 澤田 和英(本学経済学部) 予復修課題: スタジアム経営の実態を理解する	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						11 稼げるスタジアム経営(2) 澤田 和英(本学経済学部) 予復修課題: 「スタジアム・アリーナ改革ガイドブック」を読む	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 日程・場所・担当者については、後期に配布または掲示する。				12 稼げるスタジアム経営(3) 澤田 和英(本学経済学部) 予復修課題: 北九州スタジアムの経営について考える	
1. 小テスト、感想文など		40 %		2) 第一週の授業に必ず出席すること。				13 スポーツでメシを食う(1) 上村 英樹(特定非営利活動法人 北九州スポーツクラブACE) 予復修課題: NPO法人の設立経緯を理解する	
2. 中間テスト		%		3) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。				14 スポーツでメシを食う(2) 上村 英樹(特定非営利活動法人 北九州スポーツクラブACE) 予復修課題: NPO法人の経営について考える	
3. 課題レポートなどの提出物		15 %						15 スポーツでメシを食う(3) 上村 英樹(特定非営利活動法人 北九州スポーツクラブACE) 予復修課題: NPO法人の経営について考える	
4. 授業中の発表、討論		15 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%		1) グループワーク					
2. 論文、まとめのレポートなど		%		2) プレゼンテーション					
3.		%		3) ミニレポート					
再評価の実施		する		しない					
教科書		プリントを配布する予定							
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営戦略論 Strategic Management		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・教科書・授業内容、事前/事後学習、成績評価の方法等。 予復修課題：本講義シラバス(講義内容、評価方法)に目を通しておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 戦略とは何か？ ・「経営戦略論」の成立過程に見る「選択」の論理としての戦略概念。 予復修課題：事前に配布する資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営	ピ実	3 戦略とは何か？ ・環境適応(顧客に合わせる)/環境創造(顧客を創る)の論理としての戦略概念。 予復修課題：事前に配布する資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。
配当年次		3年生	開講学期	前期					4 企業成長の論理 (規模の経済性と経験曲線) ・企業成長における「規模」(生産・販売量等)の意義について。 予復修課題：教科書 第1章「成長市場を探す」を読んでおくこと。
授業概要		本講義では、「経営戦略」を企業組織の「長期的」な存続と成長を目的とした企業独自の「選択」ととらえ、優れた戦略が備えるべき基本論理について解説していきます。企業そのもの(全体レベル)の存続と成長の問題を扱う「全社戦略」と個別事業レベルでライバル(競合他社)との競争への対処を扱う「競争戦略」について、その基本論理(諸学説など)を解説するとともに、現実の企業行動事例を豊富に交えながら、現代(日本)企業の盛衰を大きく左右する経営戦略のあり方について考えていきます。							5 企業成長の論理 (製品ライフサイクルと多角化の論理) ・単一製品・事業依存(一本足打法)の限界を超える「多角化戦略」について。 予復修課題：教科書 第3章「安定成長をもくろむ」を読んでおくこと。
授業到達目標		・経営戦略領域における基本学説の目的と内容、それぞれの長所/短所について説明できる。 ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動の諸事例について、その理由・ポイントを説明することができる。 ・経営学検定試験(初級：大学生修得レベル)における「経営戦略」分野の必要知識のうち70%を習得することができる。							6 全社戦略の論理 (プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント：PPM) ・全社の視点からの事業選択/組み合わせ/育成の論理としてのPPM。 予復修課題：教科書 第3章「安定成長をもくろむ」を読んでおくこと。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 全社戦略の論理 (シナジー効果と範囲の経済性) ・製品/事業間の「相乗効果」が生み出す価値(1+1=3?)について。 予復修課題：教科書 第4章「自社の強みを活かす」を読んでおくこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 全社戦略の論理 (多角化の限界と「偽」のシナジー効果) ・無関連分野への進出や誤った相乗効果の認識が導く多角化の限界点について。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 (演習)企業事例の戦略分析 ・PC教室を使用し、企業の「事業構造(製品・事業セグメント)」について分析。 予復修課題：第6回、第7回の授業内容について復習しておくこと。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・各授業回の冒頭に当日の授業内容についての「学習のポイント」を提示する。成績評価(まとめのテスト)では、受講学生がこのポイントを適切に説明できるかどうかを重視する。常にこのことを意識した上で聴講し、ノートの作成・整理を行うこと。 ・予復修課題の遂行のために各回4時間程度をあてることが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		10 %	アクティブ・ラーニング ・戦略フレームワーク(PPM等)を使用した問題解決と課題作成(第6, 11回)。 ・会社資料(有価証券報告書等)を通じた個別企業/グループ戦略の分析(第9回)。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		10 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめテスト		70 %							
2. 論文、まとめレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		浅羽 茂・須藤 実和『企業戦略を考える』日経文庫、2013年。							
参考書		波頭 亮『経営戦略論入門』PHPビジネス新書、2013年。							
					11 競争戦略の論理 (M.E.ポーターの基本戦略/P.コトラーの地位別戦略) ・個別業界において「競争優位性」を維持・獲得するための方法について。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。				
					12 資源・能力ベースの戦略論(VRIO分析&コア・コンピタンス論) ・競争優位を生み出す「源泉」としての企業の独自資源・能力が備えるべき条件。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。				
					13 現代戦略論の構図(戦略ポジショニング VS 資源・能力ベース) ・ポーター流競争戦略と資源・能力ベース戦略の「結合」による戦略構想。 予復修課題：第7章「戦略を構想する」を読んでおくこと。				
					14 経営戦略の新動向(ビジネスモデルの理論とブルーオーシャン戦略) ・ビジネスモデルの諸類型とその構築に関する基本論理・方法について。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。				
					15 講義の総まとめ ・まとめテストの実施&解説。 予復修課題：各回の「学習のポイント」を中心に学習し、テストに備えること。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		マーケティング論 Marketing Theory		単位数	授業内容**				
担当者		國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEJ3121					
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	経営	ビ実		
配当年次	3年生	開講学期	前期	(コース)区分*					
授業概要	商品を作るだけではなく、消費者に買ってもらうなければ意味がありません。マーケティングとは、簡単に説明すると商品を売るための作戦・仕組みづくりを考えることです。本講義では、マーケティングにおける基礎概念を中心に説明し、マーケティングの意義、代表的なマーケティング戦略手法について事例を通して学んでいきます。								
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングに関する重要な用語と内容を理解することができる。 理論と事例の両面からマーケティング活動の内容や現状、さらには諸問題を包括的に学ぶことで今日のビジネス・パーソンに求められる知識を習得することができる。 								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕									
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								◎
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								◎
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								○
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項						
1)	授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	テキストと配付プリントを使用し、授業を進めていきます。						
	1. 小テスト、感想文など	%	予・復修に活用し理解を深めるように努めてください。						
	2. 中間テスト	%	主体性を持ち、積極的に授業に参加することを求めます。						
	3. 課題レポートなどの提出物	25 %							
	4. 授業中の発表、討論	%							
	5. 授業への参加意欲	20 %							
	6. 自主的学習(予習・復習など)	%							
	7.	%							
2)	最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
	1. まとめのテスト	55 %	ミニッツ・ペーパー(第7回、11回、13回)						
	2. 論文、まとめのレポートなど	%							
	3.	%							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	岩永忠康編『マーケティングの理論と戦略』五紘舎、2015年。								
参考書	必要に応じて適宜紹介する。								
1	ガイダンス 講義の概要、履修上の留意事項、評価方法、授業計画等について説明します。 予復修課題：ガイダンス内容を参照し、次の講義に向けて準備を行うこと。								
2	マーケティングの概念 マーケティングの概念、育成と発展について学びます。 予復修課題：教科書第1章を参照し、60分程度復修を行う。								
3	マーケティング戦略 マーケティング環境と市場地位におけるマーケティング戦略について学びます。 予復修課題：教科書第3章を参照し、60分程度復修を行う。								
4	製品戦略 製品の概念、分類、ライフサイクル、新製品開発について学びます。 予復修課題：教科書第4章を参照し、60分程度復修を行う。								
5	価格戦略 価格の概念、価格設定要因と目標、価格管理について学びます。 予復修課題：教科書第5章を参照し、60分程度復修を行う。								
6	流通チャネル戦略 流通チャネルの概念、戦略、流通系列化について学びます。 予復修課題：教科書第6章を参照し、60分程度復修を行う。								
7	プロモーション戦略 プロモーションの概念、広告、人的販売について学びます。 予復修課題：教科書第7章を参照し、60分程度復修を行う。								
8	ブランド戦略 ブランドの概念、構築について学びます。 予復修課題：教科書第8章を参照し、60分程度復修を行う。								
9	環境マーケティング 環境マーケティングの特徴、環境ラベルについて学びます。 予復修課題：教科書第10章を参照し、60分程度復修を行う。								
10	サービス・マーケティング サービスの性質とサービス・マーケティングの特徴について学びます。 予復修課題：教科書第11章を参照し、60分程度復修を行う。								
11	産業別マーケティング① 食品産業のマーケティング、プライベート・ブランド商品戦略について学びます。 予復修課題：教科書第12章を参照し、60分程度復修を行う。								
12	産業別マーケティング② 化粧品産業のマーケティングについて事例をもとに学びます。 予復修課題：教科書第13章を参照し、60分程度復修を行う。								
13	産業別マーケティング③ 観光産業のマーケティングについて事例をもとに学びます。 予復修課題：教科書第15章を参照し、60分程度復修を行う。								
14	産業別マーケティング④ 自動車産業のマーケティングについて事例をもとに学びます。 予復修課題：教科書第14章を参照し、60分程度復修を行う。								
15	授業の総括、まとめのテスト 授業の総括を行い、まとめのテスト・解説を行う。 予復修課題：今までの学習事項をテキストで確認し、これまでの学習内容の総復修を行う。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営組織論 Theory of Business Organization		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・教科書・授業内容、事前/事後学習、成績評価の方法等。 予復修課題：講義のシラバス内容(講義内容、評価方法)に目を通しておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 組織とは何か？ ・組織の一般定義とその本質(分業と統合の原理等)について。 予復修課題：教科書 第1章「組織とは何か」を参照のこと。				
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営	ビ実	3 組織の基礎理論 ・官僚制の理論、科学的管理法、人間関係論に見る組織の基本論理について。 予復修課題：教科書 第2章「組織の基礎理論」を参照のこと。
配当年次		3年生	開講学期	後期					4 モチベーションの理論 ・人々の貢献意欲・努力を引き出す「動機づけ」理論の歴史的展開。 予復修課題：教科書 第4章「組織におけるモチベーション」を参照のこと。
授業概要		本講義では、現代社会を支える重要な基盤としての(企業)「組織」について、その基本論理(主要学説)について解説するとともに、現代(日本)企業が直面する組織の諸問題について考えていきます。具体的な内容として、モチベーションとリーダーシップを基本とする「ミクロ的組織課題」から、多様な組織構造のデザインとその進化について考える「マクロ的組織課題」まで幅広く取り上げて解説していきます。また、学習成果を活かす場としてのチーム演習型の授業回(所定のテーマに関するチーム討議)等の機会も設定しています。							
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・習得した組織理論(モチベーション、リーダーシップ、組織デザイン等)を用いて身近な問題解決に貢献したり、新聞・雑誌等に掲載された企業事例についてその理由・ポイントを説明できるようになる。 ・経営学検定試験(大学生修得レベル)の「経営組織」領域に関する知識の70%程度を習得することができる。 ・グループ・ディスカッションなどの方法を学び、それを効果的に実践することができる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 リーダーシップの理論 ・リーダーシップ理論の歴史的展開と現代社会における理想的なリーダー像。 予復修課題：教科書 第5章「集団力学」及び事前配布資料をを参照のこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 経営組織のデザイン(組織構造の基本型と組織原則) ・組織構造のデザインにおける基本パターンとそれを支える原理。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 経営組織のデザイン 前(機能部門制組織と事業部制組織) ・経営組織の基本としての機能制組織/事業部制組織の特徴について。 予復修課題：教科書 第3章「組織構造と組織デザイン」を参照のこと。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・各授業回の冒頭に当日の授業内容についての「学習のポイント」を提示する。成績評価(まとめのテスト)では、受講学生がこのポイントを適切に説明できるかどうかを重視する。常にこのことを意識した上で聴講し、ノートの作成・整理を行うこと。 ・予復修課題の遂行のために各回4時間程度をあてることが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		%	11 経営組織のデザイン(部門横断的組織) ・プロジェクトチーム/マトリクス組織など部門間連携を促す組織デザイン。 予復修課題：教科書 第8章「組織構造のダイナミクス」を参照のこと。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		10 %							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめテスト		70 %	・チーム演習として特定のテーマに関するグループ・ディスカッション チームごとの発表を行う(第6回)。						
2. 論文、まとめレポートなど		%	12 経営組織のデザイン(一部事業部制、カンパニー制、持株会社等) ・現代(日本)企業における新たな組織/グループの形態について。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。						
3.		%							
再評価の実施		する	しない	13 「組織文化」の機能と逆機能 ・組織文化の定義/起源とそのメリット(機能)とデメリット(逆機能)。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。					
教科書		安藤 史江・稲水 伸行・西脇 暢子・山岡徹 『経営組織』中央経済社、2019年。							
参考書		沼上幹 『組織デザイン』日経文庫、2004年。		14 経営組織の新展開 ・チーム単位での課題作成、及び組織のネットワーク化やフラット化を解説。 予復修課題：事前に配布した資料を読み、理解した上で授業に臨むこと。					
				15 講義の総まとめ ・まとめテストの実施&解説。 予復修課題：各回の「学習のポイント」を基にテストに備えること。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	スポーツビジネスインターンシップ The Sports Business Internship				単位数	授業内容**	
担当者	下田 功 (SHIMODA Isao)		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)		2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。レポートは学籍番号と名前を明記して毎回教員二人へ送信してください。予復修課題：インターンシップにかかる思いについてレポートをまとめてください。(約0.5時間)	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング		EEJ3123		
授業形式	演習	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	スピ	2 スポーツクラブの収支構造 J3とJ2の違いとリーグ昇格による営業戦略について 予復修課題：ギラヴァンツのJ2昇格に関するニュースを一つ調べてレポートにまとめましょう。(約1.0時間)
配当年次	3年生	開講学期	前期				3 スポーツクラブの収支構造 収支に関する特性について 予復修課題：出席＝出勤と考えて社会人に必要な心構えやスキルについてまとめてください。(約1.0時間)
授業概要	スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。演習形式でスポーツビジネスの分野における実務能力を高めていきます。特に本学ならではの環境とネットワークを利用してJ3の最下位から1年でJ2に返り咲くという奇跡の復活劇を演出したギラヴァンツ北九州とコラボレートして学んでいきます。特に球団運営に関わるノウハウについて研修プログラムを体験することで「自分が」球団の一員として責任ある業務を果たすだけの能力を持っているかどうか判断できます。積極的に参加していきましょう。						
	授業到達目標	報告・連絡・相談・確認・準備・指示等のビジネス実務能力を高めることができる。 状況を判断しながら質問したり、議論したりすることができる。 根拠を持って自分の意見を述べるすることができる。 業務に対して遅滞なく適切に対処することができる。 イベントを運営する一員として責任を持って業務を遂行することができる。 イベントの担当業務報告書をまとめて後輩にお手本を示すことができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	出席そのものは当然ですが、本授業を含みスポーツビジネス領域に開設されている全ての科目は、出席＋レポート(予復修課題対応)を完遂することで実力を高めていけるように構成しています。そのためにはメモ力を強化することと質問力を高めることが重要になってきます。毎回の振り返りレポートには必ずコメントを付けて返信しますので確認してください。					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 実際にミクニワールドスタジアムへ出向いてホームの公式戦運営サポート業務を担当します。準備・運営・振り返りに関して正確かつ深い考察を加えた報告をしてもらいます。					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定しません。						
参考書	授業中に必要に応じて適宜指示します。						
							11 ホーム戦運営 業務予定表に従って担当業務を遂行します。 予復修課題：本日担当した業務についてマニュアルを作成してください。(1.0時間)
							12 ホーム戦運営 業務予定表に従って担当業務を遂行します。 予復修課題：本日担当した業務についてマニュアルを作成してください。(1.0時間)
							13 ホーム戦運営 業務予定表に従って担当業務を遂行します。 予復修課題：本日担当した業務についてマニュアルを作成してください。(1.0時間)
							14 ホーム戦運営 業務予定表に従って担当業務を遂行します。 予復修課題：本日担当した業務についてマニュアルを作成してください。(1.0時間)
							15 総括：前期を振り返って自己評価シートを完成させます。成長の度合いを具体的に数値化して、それを基に考察を加えてみましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		サービス実務総論 Hospitality Theory				単位数	授業内容**			
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	1 ガイダンス : 授業の進め方 成績評価基準の説明 講義内容 : 「感性」が人間の魅力を磨く 予復修課題 : レポート課題 「感性とは」			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 講義内容 : 「人の気持ちがわかる」とは 予復修課題 : レポート課題 「人の気持ちがわかるとは」			
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営	ピア	3 講義内容 : 「一緒にいたい」と思わせるとは 予復修課題 : レポート課題 「一緒にいたいと思わせるとは」		
配当年次	3年生	開講学期	前期					4 講義内容 : 「幅広い人脈を持っている」とは 予復修課題 : レポート課題 「幅広い人脈を持っているとは」		
授業概要	サービス業に従事する人材として求められる資質、知識、接遇、接客マナーなどを理解し実践的に活用できるおもてなし能力を育成する。									
	授業到達目標 ・サービススタッフの心構えが理解できる ・サービススタッフの専門知識が理解できる ・サービススタッフの言葉遣いや立ち居振る舞いを学び、実践できる									
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業欠席者は UNIVERSAL PASSPORT から毎回のテーマについて各自で調べ、まとめレポートを提出のこと。 予復修の時間の目安は、40~60分です。							
1. 小テスト、感想文など		%								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		60 %								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		%								
6. 自主的学習 (予習・復習など)		20 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%	毎回の授業でテーマのまとめを作成・提出							
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %								
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	適宜、資料を配布する									
参考書										
		15 予復修課題 : レポート課題 「サービス業に求められる資質・能力」								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネス実務演習 A				単位数	授業内容**		
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	1		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2		
EJ3125		EEJ3125				3			
授業形式		演習		科目区分		領域科目群			
配当年次		3年生		開講学期		前期			
学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		ビ実		3			
授業概要		本講義ではビジネスパーソンとして必要な資質や役割を理解し、ビジネスの現場で行動・活躍できる人材の育成を目標とする。 ビジネスにおける実務、そのマネジメント、ビジネスを取り巻く環境、企業組織、ビジネスパーソンのキャリアなどについて理解を深め、ビジネス実務の基本から応用に至るまで幅広く習得することを目的とする。						4	
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパーソンとしてふさわしい立ち居振る舞いができる。 ・ビジネスパーソンとしての仕事の仕方や役割を理解する。 ・ビジネスパーソンとしての話し方や聞き方を実践できる。 ・ビジネス実務を通して、自分の意見をエピソードを交えて発表することができる。 ・ビジネス実務を通して、チームの中でお互いに教え合うことができる。 ・ビジネス実務を通して得た思想を自分の人生に活かすことができる。 						5	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						6	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。		【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						7	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						8	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		授業欠席者はUNIVERSAL PASSPORTから毎回の課題について各自で調べ、提出のこと				9	
1. 小テスト、感想文など		%		予復修課題については、本日の振り返りと次回テーマについて自分で調べるなど1時間程度かけて行うこと				10	
2. 中間テスト		%		アクティブ・ラーニング 毎回の授業でテーマの課題シートに解答を書き込み、提出 ミニテスト[第7回]				11	
3. 課題レポートなどの提出物		60 %						12	
4. 授業中の発表、討論		%						13	
5. 授業への参加意欲		%						14	
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						15	
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		適宜、資料を配布する							
参考書									
ガイダンス : 授業の進め方 成績評価基準の説明								1	
講義内容 : 課題A- 「ビジネス文書検定 3級」								2	
予復修課題 : 時間内に分らなかった個所を見直す								3	
講義内容 : 秘書検定の過去問題からビジネス実務を学ぶ								4	
課題A- 「秘書検定 3級」								5	
予復修課題 : 時間内に分らなかった個所を見直す								6	
講義内容 : ビジネス文書検定、秘書検定の解答と解説								7	
課題A- 「ビジネス文書検定・秘書検定 3級」								8	
予復修課題 : 不正解だった問題を再度読み込み、正解を理解する								9	
講義内容 : プレゼンテーション								10	
課題A- 「自己紹介原稿」								11	
予復修課題 : 正しい言葉づかいを理解する								12	
講義内容 : 言葉づかい(尊敬語・謙譲語・丁寧語)								13	
課題A- 「言葉づかい(尊敬語・謙譲語・丁寧語)」								14	
予復修課題 : 新聞などから正しい敬語を知る								15	
講義内容 : 言葉づかい(電話対応・来客対応)								16	
課題A- 「言葉づかい(電話対応・来客対応)」								17	
予復修課題 : 今日の内容を振り返り、内容を理解する								18	
講義内容 : ミニテスト(前半のまとめ)								19	
課題A- 「言葉づかい(尊敬語・謙譲語・丁寧語)」								20	
予復修課題 : 今日のミニテストで分からなかった箇所を調べておく								21	
講義内容 : 接遇・来客対応								22	
課題A- 「セミナー予約対応」								23	
予復修課題 : 予約側と依頼側の正しい言葉づかいを理解する								24	
講義内容 : 接遇・お辞儀・名刺交換・案内等								25	
課題A- 「来客対応・接遇」								26	
予復修課題 : 接遇マナーを理解しておく								27	
講義内容 : 報告・連絡・相談								28	
課題A- 「伝言メモ」								29	
予復修課題 : 伝言の要点をまとめ、正しくメモに残すこと(報・連・相)を理解する								30	
講義内容 : ビジネス文書作成								31	
課題A- 「内定お礼状」								32	
予復修課題 : ビジネス文書マナーを理解する								33	
講義内容 : 冠婚マナー								34	
課題A- 「慶事におけるマナー」								35	
予復修課題 : 冠・婚マナーを理解する								36	
講義内容 : 葬祭マナー								37	
課題A- 「弔事におけるマナー」								38	
予復修課題 : 葬祭マナーを理解する								39	
講義内容 : インバケット (仕事の優先順位)								40	
課題A- 「仕事の優先順位」								41	
予復修課題 : 仕事の優先順位を決めるポイントを理解する								42	
講義内容 : 今までの課題をまとめて、振り返りを行う								43	
課題A- 「ビジネス実務演習Aのまとめ」								44	
予復修課題 : 今まで取り上げて来た演習内容を振り返りを行う								45	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネス法務 Business Law		単位数	授業内容**				
担当者		國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		2	1 授業のガイダンス 本講義の概要と進め方について説明する。 予復修課題： シラバスを読むこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3203	2 ビジネスを取り巻くリスクと法律の関わりについて説明する。 予復修課題： テキストの第1章を参照し、60分程度復修を行う。				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経管	ビ実	
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	現代はビジネスにおいて、あらゆる場面で法律が関わっており、法律を守りそれに従って行動することが求められています。 本講義では、皆さんが社会に出て仕事に携わる場合に最低限必要とされる基本的な法律知識を身につけてもらい、企業やそこに従事する構成員としての従業員が守らなければならない法律の基本を習得していきます。 基本的にテキストに沿って講義を進めていきます。				3 法律の基礎知識 基本的な法律の基礎知識を学習する。 予復修課題： テキストの第1章を参照し、60分程度復修を行う。				
	職場で必要となる実践的な法律知識を説明できる。 ビジネスの実務と各法律の連携を説明できる。 経営や業務に必要な問題意識をもち実践できる。 法的トラブルを未然に回避する基礎能力を養うことができる。				4 権利義務の主体 権利義務の主体、企業が行う取引の特徴等について学ぶ。 予復修課題： テキストの第2章を参照し、60分程度復修を行う。				
授業到達目標					5 会社の仕組み 会社の種類、株式会社のしくみ等について学ぶ。 予復修課題： テキストの第2章を参照し、60分程度復修を行う。				
					6 会社役員の責任 会社役員の法的立場、責任等について学ぶ。 予復修課題： テキストの第2章を参照し、60分程度復修を行う。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)				7 法人取引の法務 契約について学び、売買契約、売買以外の契約形態について学習する。 予復修課題： テキストの第3章を参照し、60分程度復修を行う。					
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 企業と従業員の関係 従業員の雇用と労働契約について学ぶ。 予復修課題： テキストの第7章を参照し、60分程度復修を行う。					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 従業員の雇用と労働関係 労働基準法、その他の労働関係法規について学ぶ。 予復修課題： テキストの第7章を参照し、60分程度復修を行う。					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 男女雇用にかかわる問題 男女雇用機会均等法等について学ぶ。 予復修課題： テキストの第7章を参照し、60分程度復修を行う。					
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	各授業ごとに1時間を目安に予・復修を行うことが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		5 %							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		5 %							
4. 授業中の発表、討論		5 %							
5. 授業への参加意欲		5 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		80 %	ミニッツペーパー [第8回、9回、11回]						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	(東京商工会議所編) 『ビジネス実務法務検定試験3級 2020年度版』 中央経済社、2020年								
参考書	必要に応じて適宜紹介する。								
				15 授業の総括、まとめのテスト 授業の総括を行い、まとめのテスト・解説を行う。 予復修課題： 今までの学習事項をテキストで確認し、これまでの学習内容の総復修を行う。					

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		国際金融論 International Finance		単位数	授業内容**				
担当者		前田 淳 (MAEDA Jun)		2	1 為替レートに慣れよう 円高・円安とは 予復修課題：プリント第1章前半を講読し、各種の為替レートを調べる。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3204	2 為替レートに慣れよう 為替レートによる金額の換算 予復修課題：プリント第1章後半を講読し、プリント巻末のドリルに解答する。				
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	ビ実	
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	グローバル化した今日の世界経済では、「モノ」「ヒト」「カネ」「情報」が、国境を越えて行き来している。その中でも、「カネ」すなわち資金の国際的な移動は、世界経済に大きな影響力を持っている。 本講義の目的は、そうした国際金融取引の基礎を学ぶことで、国際化に対応できる素養を身につけることである。				3 国際金融取引とは 国際収支表の概要 予復修課題：プリント第2章前半を講読し、日本の経常収支の推移を調べる。				
授業到達目標	1) ニュースや新聞に登場する国際金融に関する報道について、内容を理解できる。 2) 国際金融取引の基本的な枠組みについて、説明することができる。 3) 国際的なコミュニケーション能力を培い、社会に寄与できる。				4 国際金融取引とは 国際収支表における複式簿記の原理 予復修課題：プリント第2章後半を講読し、日本の資本収支の推移を調べる。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 貿易取引と国際決済 並為替と逆為替 予復修課題：プリント第3章前半を講読し、クレジットカードの国際決済について調べる。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 貿易取引と国際決済 荷為替信用状と決済 予復修課題：プリント第3章後半を講読し、貿易決済の電子化について調べる。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 国際資本移動 グローバル化と直接投資 予復修課題：プリント第4章前半を講読し、日本企業のグローバル化の事例を調べる。				
成績評価の方法 (全体で 100%)					8 国際証券投資と外貨準備 予復修課題：プリント第4章後半を講読し、世界各国の外貨準備保有高について調べる。				
履修における留意事項					9 為替レートの変動 為替レートを左右するもの 予復修課題：プリント第5章前半を講読し、円レートの変動要因を調べる。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 日頃から、ニュースや新聞に出てくる国際金融関連の報道に接すること。		10 為替レートの変動 為替レートの変動が与える影響 予復修課題：プリント第5章後半を講読し、円ドルレートの変動が日本に与えてきた影響を調べる。				
1. 小テスト、感想文など		10 %	2) 国際金融論は専門用語が多いので、語句の意味などを自宅学習で調べる習慣を身につけること。		11 国際収支を左右するもの 経常収支を左右するもの 予復修課題：プリント第6章前半を講読し、国内総生産の定義を調べる。				
2. 中間テスト		%	3) 授業内容欄の予復修課題に則して、約1時間の予復修を行うこと。		12 国際収支を左右するもの 国際資本移動を左右するもの 予復修課題：プリント第6章後半を講読し、日本の証券投資収支の動向を調べる。				
3. 課題レポートなどの提出物		10 %			13 補足1 実質為替レートと実効為替レート 予復修課題：プリント第7章前半を講読し、円ドルの実質為替レートの推移を調べる。				
4. 授業中の発表、討論		%			14 補足2 バラッサ=サミュエルソン効果など 予復修課題：プリント第7章後半を講読し、経済成長の結果、なぜ通貨が増価するのかを文章で説明する。				
5. 授業への参加意欲		5 %			15 まとめのテスト、および、まとめのテスト解説 予復修課題：プリントを再講読し、基本的な語句を再確認する。				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		5 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		70 %	授業テーマに即した調査学習						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	[第1回 ~ 第14回]						
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	使用しない。								
参考書									

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人的資源管理論 Human Resource Management		単位数	授業内容**				
担当者		高松 侑矢 (TAKAMATSU Yuya)		2	1 ガイダンス：授業の進め方、各種テスト・レポート、及び評価方法を説明する。 講義：日本の経営と人的資源管理について学び、講義後は感想文を提出する。 予復修課題：講義資料を見直すこと。(1時間)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営	ビ実	2 予復修課題：第1回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)
配当年次		3年生		開講学期	後期				3 ミニテスト 実施 講義：日本企業の人事制度と人事評価を学ぶ 予復修課題：第2回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)
授業概要		人的資源管理は、経営資源である「ヒト」を対象にし、彼ら・彼女らが持つ能力を最大限に引き出すことで企業の利潤拡大に貢献する。本講義では基本的な理論に加え、新聞等の記事及び研究動向を取り上げることで、理論と実践を統合した複合的視点を構築することを目指す。なお、講義はパワーポイントを使用するため、講義前日までにプリントアウトをすること。							
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・人的資源管理の用語の意味を理解または説明できる ・管理の歴史について理解できる ・日本企業の人事制度について理解または説明できる ・現代社会における働き方の変容を理解または説明できる 上記の目標は各種テスト及び課題レポートより評価する。告知はシラバスオンラインで行う。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：第1回から第6回までの内容を復修すること。(2時間)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 講義：日本企業の賃金と福利厚生を学ぶ 予復修課題：第5回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 ミニテスト 実施 講義：日本企業の労働時間を学ぶ 予復修課題：第6回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・経営組織論や経営管理論等の履修を勧める。 ・座席指定を行うこともある。 ・資料や告知等をアップデートするので、常にUNIVERSAL PASSPORTを確認すること。 ・初回の講義は必ず出席すること。特に、未履修者はガイダンス内容を聞いたうえで追加登録の手続きを行うこと。 						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		50 %	課題レポートに向けて日頃から講義に関連する内容を調べること。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	中間テスト【第7回】						
3.		%	ミニテスト【第3回～第6回、第9回～第14回】						
再評価の実施		する	しない	10 ミニテスト 実施 講義：日本企業の労使関係を学ぶ 予復修課題：第7回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)					
教科書		パワーポイント資料は下記の参考書より作成する。							
参考書		安 熙卓『人的資源管理入門』文真堂、2014年(メイン)							
		11 ミニテスト 実施 講義：雇用形態とキャリア形成の多様化 を学ぶ 予復修課題：第8回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)							
		12 ミニテスト 実施 講義：雇用形態とキャリア形成の多様化 を学ぶ 予復修課題：第9回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)							
		13 ミニテスト 実施 講義：海外進出と人材マネジメントを学ぶ 予復修課題：第10回ミニテストに向けて復修すること。(1時間)							
		14 ミニテスト 実施 講義：内なる国際化と人材マネジメントを学ぶ 予復修課題：まとめのテストに向けて復修すること。(2時間)							
		15 まとめのテスト 予復修課題：第8回から第14回までの内容を復修すること。(2時間)							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		都市経済学 Urban Economics		単位数	授業内容**				
担当者		久保 宏和 (KUBO Hirokazu)		2	1 「都市」っていったい何? 「都市経済学を学ぶ意味」はどこにあるの? について考える 予復修課題: 先ずは書籍を含む様々な情報源から「都市経済学とは何か」について調べてみよう				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3206					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経		
配当年次		3年生		開講学期	後期				
授業概要		ミクロ経済学の基本的な概念を復修しつつ、その知識を用いながら、私たちの社会に存在する「都市」がなぜ存在し、どのように作り出され、そこではどんな問題が起こっているのかについて専門的に学んでいく講義である。							
授業到達目標		都市経済学の意義でもある「都市(あるいはその地域)だから生じる経済現象」について論理的に説明でき、そこで得た知識をもとに皆さんが主体的に「あるべき街の理想像」や「様々な都市で発生する経済問題に対する解決策」について論じることができるようになることを本講義の授業到達目標とする。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・ミクロ経済学の単位修得済みか同程度の知識を有していることが望ましい						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		30 %							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		40 %	中間テスト[第8回]						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない						
教科書		黒田・田淵・中村(2008)『都市と地域の経済学』有斐閣、佐藤(2014)『都市・地域経済学の招待状』有斐閣							
参考書		モレッティ他(安田 訳)(2014)『年収は「住むところ」で決まる - 雇用とイノベーションの都市経済学』							
					11 都市で発生する環境問題について考える 大気汚染や水質汚染など都市において発生する公害問題に対する経済学的な考え方を学ぶ 予復修課題: 企業の存在が原因となる公害問題について、どのような解決案があるか考えてみよう				
					12 政府(公共部門)の役割について考える 自治体も含めた政府の存在意義と実施されるべき政策のあり方について学んでいく 予復修課題: 皆さんの住んでいる地域の地方政府(自治体)が存在する理由について考えてみよう				
					13 先進諸国と新興諸国における都市の違いについて学ぶ 日米のような先進国と新興諸国において議論されている都市特有の問題点の違いを考える 予復修課題: 第7回講義で学ぶ田舎(地方)に関して、先進諸国と新興諸国の間で違いがあるか考えよう				
					14 先進国における「都市のあり方」イノベーションと人的資本に与える影響に関して学ぶ 米国シリコンバレーの例を通じて、地域経済を活性化し競争力を促す政策案について学ぶ 予復修課題: 第14回講義に関しては「参考書」に取り上げた書籍を用いるため購読が望ましい まとめのテストを行い、その後、講義の総括を行う				
					15 予復修課題: 試験内容は第9回～第13回講義までを範囲とする予定である				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会保障論 Social Security		単位数	2					授業内容**	
担当者		宮本 昌典 (MIYAMOTO Masanori)							1 はじめに 予復修課題: シラバスを読んでおくこと		
実務経験のある教員による授業				ナンバリング		EEJ3207			2 社会保障の理念と構造(1) 社会保障の語義、社会保障の理念、最低生活の保障、救貧、防貧、社会保障の概念 予復修課題: 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。		
授業形式		講義		科目区分		領域科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科 生経 公マ	
配当年次		3年生		開講学期		後期					
授業概要		第二次大戦後、社会保障の充実が先進諸国の経済政策の目標として大きく掲げられるようになり、“福祉国家”が実現したが、その反面、財政規模は拡大し、大きな政府の弊害と社会保障のネガティブな経済効果が問題視されるようになり、現在では、社会保障の見直しが論じられるようになった。 本講義では、社会保障の創成から現代に至る流れを概観したうえで、わが国の社会保障制度の現状と課題について、財政学の観点から説明する。									
授業到達目標		* 社会保障のしくみを説明できる。 * 社会保障に関する新聞記事が理解できる。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		* 社会保障に関する新聞記事を読むこと。 * 分からないことがあれば、質問すること。							
1. 小テスト、感想文など		20 %									
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		%									
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		%									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		80 %		授業テーマに即した調査学習							
2. 論文、まとめのレポートなど		%		[第2回～第14回]							
3.		%									
再評価の実施		する		しない							
教科書		橘木俊詔『社会保障入門』ミネルヴァ書房、2019年。									
参考書		社会保障入門編集委員会(編)『社会保障入門2020』中央法規出版、2020年。									
										15 まとめのテスト 講義の総括 予復修課題: テスト勉強をしてくること	

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 ** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		国際経済学 Open Economics		単位数	授業内容**				
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		2	1 イントロダクション 予復修課題：貿易理論および教科書について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2 貿易理論を学ぶべき理由 予復修課題：保護貿易について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会	ピ実
配当年次		3年生		開講学期	前期				
授業概要	授業の目的および授業内容を、学生を主体にして何を修得するための授業であるかを理解できるように、説明します。2国2財1生産要素モデルを用いて、自由貿易が望ましいことを説明します。また、自由貿易が実現していない時には、その代替として直接投資が見られます。どのような国に多くの直接投資が行われるのかを説明します。								
	授業到達目標 ・国際経済関連のニュースに関心を持つことが出来るようになる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 比較優位の理論 予復修課題：絶対優位の理論について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 比較優位の理論 予復修課題：比較優位の理論について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 比較優位の理論成立の確認 予復修課題：比較優位の理論成立について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			教科書は予め読んでいることを前提として、講義を行なうので、予修を行なってください。予修には教科書が必要なので、入手しておいてください。				
1. 小テスト、感想文など		%			講義においては必ず、学生証を携帯してください。学生証を携帯しない場合には、何らかのペナルティを与える予定なので、それを忌避する場合は履修申告をしないでください。				
2. 中間テスト		%			アクティブ・ラーニング 3回程度、国際経済関連を課題とするレポートを行ない、国際経済への関心を高める。				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		%			11 「2段階選択」 予復修課題：資料4-1について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		%							
1. まとめのテスト		80 %			12 「月額賃金」 予復修課題：中国、タイ等の月額賃金について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない	13 利益率の軽視 予復修課題：利益率について(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
教科書		水戸康夫『海外立地選択の行動経済学』創成社、2005年。							
参考書		講義にて、適宜指示します。			14 リスク要因の軽視 予復修課題：リスクについて(不明な語句を調べて、教科書を予復修する目安時間:120分)				
					15 まとめのテストおよび講義の総括 予復修課題：これまでの講義の復修をして、まとめのテストに備える 目安時間:120分				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		税務会計論 Tax Accounting				単位数	授業内容**			
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)				2	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 税務会計の概念 予復修課題：予修：教科書p.1-14を読み、不明な語句を調べる。復修：教科書p.16の練習問題を解く。			
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会			
配当年次		3年生	開講学期	後期						
授業概要	現代の税務会計の技法と実務について理解する。 前半では、税務会計の必要性および所得課税の計算について説明する。これによって、税務会計に関する総論的な知識を得ることができる。 後半では、法人課税および消費課税の計算について説明する。これによって、税務会計に関する各論的な知識を得ることができる。									
	1. 税務会計の必要性について、説明することができる。 2. 税務会計のフレームワークについて、具体的に述べるができる。 3. 税務会計の技法について、列挙・使用することができる。 4. 税務会計の技法について、税制改正の背景に関係づけることができる。 5. 税務会計の技法について、タックス・プランニングに関係づけることができる。									
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、まとめのテストにおいて、納税額等について、算出できるようになれば100点。 また、各授業ごとに120分を目安に予復修をおこなうことを要求する。							
1. 小テスト、感想文など		40 %	アクティブ・ラーニング 第3回、第6回、第9回、第12回の授業中に、小テストを実施する。小テストの解答解説後、その内容について、質疑応答をおこなう。							
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		10 %								
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめテスト		50 %								
2. 論文、まとめレポートなど		%								
3. 資格取得		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	ガイダンスの際に指示する。									
参考書	ガイダンスの際に指示する。									
		15 予復修課題：所得税、法人税、消費税の計算について、まとめる。								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経営管理論 Business Administration		単位数	授業内容**				
担当者		國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		2	1 ガイダンス 講義の概要、履修上の留意事項、評価方法、授業計画等について説明します。 予復修課題：講義のシラバス内容(講義内容、評価方法)に目を通しておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEJ3209					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域	経済・経営学科	経営	ビ実	2 経営管理とは何か 管理(マネジメントの定義)、現代社会における管理問題等について学ぶ。 予復修課題：講義内容の板書ノート、配付資料を参照し、60分程度復修を行う。
配当年次		3年生	開講学期	後期	(コース)区分*				3 生産管理と日本型経営 日本企業における生産管理の特徴と課題について学ぶ。 予復修課題：講義内容の板書ノート、配付資料を参照し、60分程度復修を行う。
授業概要		経営学における経営資源は、ヒト(人的資源)、モノ(物的資源)、カネ(貨幣的資源)の3要素があります。 本講義では、経営管理の基礎と経営資源の中のカネ(貨幣的資源)と経営について、企業経営における消費税との関わりを中心に実務上の課題と解決策を学びます。							4 消費税と経営 経営と消費税との関わりについて学ぶ。 予復修課題：講義内容の板書ノート、配付資料を参照し、60分程度復修を行う。
授業到達目標		・経営管理や税法に関する基礎知識を身につけ、ケースにより最適な税務経営戦略を選択することができる。 ・講義で学んだ経営管理や税務経営戦略の基礎的な用語の意味を理解し、自分の言葉で説明することができる。							5 消費税の課税対象 消費税の非課税、不課税、免税について学ぶ。 予復修課題：講義内容の板書ノート、配付資料を参照し、60分程度復修を行う。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕									
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							◎
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							◎
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							○
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義は主に板書で進めていきますので、それに基づき各自ノートを作成してください。 必要に応じてプリントを配付しますので、予・復修に活用し授業の理解を深めるよう努めてください。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		80 %	ミニッツ・ペーパー(第5回、9回、10回)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない	○					
教科書		特になし。必要に応じてプリントを配付します。							
参考書		必要に応じて適宜紹介する。							
		15 授業の総括を行い、まとめのテスト・解説を行う。 予復修課題：今までの学習事項をテキストで確認し、これまでの学習内容の総復修を行う。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		財務管理論 Financial management				単位数	授業内容**			
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)				2	1 ガイダンス 予復修課題： シラバスを熟読する。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 財務管理の概要 予復修課題： 予修:教科書p.1-14を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.16の練習問題を解く。			
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営	3 割引キャッシュフロー法(1)、第1回小テスト 予復修課題： 予修:教科書p.17-24を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.32の練習問題を解く。	
配当年次		3年生	開講学期	前期					4 割引キャッシュフロー法(2) 予復修課題： 予修:教科書p.25-31を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.32の練習問題を解く。	
授業概要	現代の財務管理の技法と実務について理解する。 前半では、財務管理の必要性および財務的意思決定について説明する。これによって、財務管理に関する総論的な知識を得ることができる。 後半では、資本コストおよび資本資産価格モデルについて説明する。これによって、財務管理に関する各論的な知識を得ることができる。									
	1. 財務管理の必要性について、説明することができる。 2. 財務管理のフレームワークについて、具体的に述べるができる。 3. 財務管理の技法について、列挙・使用することができる。 4. 財務管理の技法について、資本調達の状態に関係づけることができる。 5. 財務管理の技法について、ファイナンシャル・リスクに関係づけることができる。									
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						7 資本コスト(2) 予復修課題： 予修:教科書p.49-55を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.65の練習問題を解く。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						8 資本コスト(3) 予復修課題： 予修:教科書p.56-64を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.65の練習問題を解く。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						9 資本資産価格モデル(1)、第3回小テスト 予復修課題： 予修:教科書p.67-77を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.83の練習問題を解く。				
成績評価の方法(全体で100%)						10 資本資産価格モデル(2) 予復修課題： 予修:教科書p.78-82を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.83の練習問題を解く。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			評価割合	履修における留意事項						
1. 小テスト、感想文など			40 %	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、まとめのテストにおいて、財務管理について、具体的に述べることができれば100点。 また、各授業ごとに120分を目安に予復修をおこなうことを要求する。						
2. 中間テスト			%							
3. 課題レポートなどの提出物			%							
4. 授業中の発表、討論			%							
5. 授業への参加意欲			10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)			%							
7.			%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング							
1. まとめテスト			50 %	第3回、第6回、第9回、第12回の授業中に、小テストを実施する。小テストの解答解説後、その内容について、質疑応答をおこなう。						
2. 論文、まとめレポートなど			%							
3. 資格取得			%							
再評価の実施	する	しない	11 財務分析(1)、第4回小テスト 予復修課題： 予修:教科書p.85-92を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.101-102の練習問題を解く。							
教科書	ガイダンスの際に指示する。									
参考書	ガイダンスの際に指示する。									
						12 財務分析(2) 予復修課題： 予修:教科書p.93-100を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.101-102の練習問題を解く。				
						13 財務分析(3) 予復修課題： 予修:教科書p.103-110を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.118の練習問題を解く。				
						14 財務分析(3) 予復修課題： 予修:教科書p.111-116を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.118の練習問題を解く。				
						15 まとめのテスト、授業の総括 予復修課題： 割引キャッシュフロー法、資本コスト、資本資産価格モデルについて、まとめる。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域とスポーツ Sports contents in the Fukuoka area				単位数	授業内容**	
担当者		瀬筒 義久 (SEZUTSU Yoshihisa)				2	1 講師自己紹介、講義概要、今後の進め方 この講義の主旨、狙いなど説明、共有。グループを作り課題に関する討論。 予復修課題： 課題の情報収集	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				非常勤講師	2 事前に集められた情報を発表、全員で共有 情報を発表、選択、まとめる 予復修課題： 課題の情報を収集、まとめる	
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ	スピ
配当年次		3年生		開講学期	後期			
授業概要		福岡県内のスポーツビジネスのあらゆるジャンルのテーマを挙げ、その中からそれを構成する組織や企画意図などを推察し、実際に取材などで検証し、最終的に業務企画書などにまとめる。スポーツビジネスの仕組みなどを研究する。 社会人基礎力育成グランプリ・大学発ベンチャービジネスグランプリなど学外イベントへの出品なども検討中。						
授業到達目標		業務企画書の作成方法、取材方法などを会得することができる。 個人（もしくはチーム）で情報収集した後、企画の主旨、内容を伝えられることができる。 学生同士の評価により、より高いレベルを目指すことができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[関係する]								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけることができる。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけることができる。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につける。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	企画書の作成、プレゼンの内容 授業中の情報収集などの時間も作ります。					
1. 小テスト、感想文など		10 %	事前の情報収集などが重要となってくる 予復修時間の目安：15分程度					
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %						
4. 授業中の発表、討論		20 %						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	11 グループでイベントの企画を作成 予復修課題： 課題の情報を収集、まとめる					
2. 論文、まとめのレポートなど		10 %						
3. 制作・発表内容		20 %						
再評価の実施		する	しない	12 課題を企画書にまとめていく 予復修課題： 課題の情報を収集、まとめる				
教科書		13 課題を企画書にまとめていく 予復修課題： 課題の情報を収集、まとめる						
参考書		14 課題を企画書にまとめていく 予復修課題： 課題の情報を収集、まとめる						
		15 講義総括、業務企画書を文書にまとめる力、表現力のまとめ 予復修課題： 企画内容のまとめ						

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		スポーツと法 Sports & Law		単位数		2		授業内容**	
担当者		上村 英樹 (UEMURA Hideki)		非常勤		講師		1	ガイダンス 講義概要及び受講上の注意に関する説明 予復修課題： シラバスを確認しておく。今後の授業内容を理解しておくこと
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3212				2	スポーツ法概説 スポーツ基本法を中心にスポーツに関する法領域を概観する 予復修課題： スポーツ基本法の内容を理解しておく
授業形式		講義		科目区分		領域科目群		学科・領域 (コース)区分*	
配当年次		3年生		開講学期		後期			
授業概要		スポーツに関連する事故・紛争にはどのようなものがあるのでしょうか。また、それらを回避するにはどのような対策や解決方法があるのでしょうか。 地方公務員としてスポーツ施設の建設や管理、NPO法人代表としてスポーツ施設の管理運営に関わってきた経験を活かした授業を展開します。 また、スポーツに関わる者が直面しうる人権問題などを、具体的事例を参照しながら解説を加えて、スポーツと法のかかわりを整理しながら理解を深めます。							
授業到達目標		授業で取り扱う基本的事例・論点について、その論点を理解し、問題の所在を的確に把握し、その問題に対する自分の意見をまとめることができるようになる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			授業の出席は前提になっています。授業のノートや配布されたプリントは大切にになります。適切にまとめておきましょう。				
1. 小テスト、感想文など		20 %			自宅学習時間は1時間程度とする。				
2. 中間テスト		30 %							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			ミニッツペーパーを実施する。中間テスト[第8回]				
1. まとめのテスト		40 %			11				
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない		12			
教科書									
参考書									
		13							
		14							
		15							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		企業と社会 Business and Society		単位数		授業内容**					
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		専任		1 ガイダンス (受講時の注意点・受講案内)、解説・事例プリント配布 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3213		2 企業と社会の関係 (I 経営学と企業制度)：対従業員 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。					
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会	経営	ピ実	3 企業と社会の関係 (I 経営学と企業制度)：対投資家 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。		
配当年次	3年生	開講学期	後期	4 企業と社会の関係 (I 経営学と企業制度)：大きな流れ 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。							
授業概要	本講義は、現代の企業とその経営について「全体の理解を得る」ことを第1の目標とします。一方、企業を取り巻く環境は激しく変化しており、産業界や学会では、新たな経営手法やスキームが次々と開発されています。そこで、企業の事例を踏まえながら、主要概念と用語を講義・解説するとともに、産業界の新トレンドを解説していきます。										
	5 企業の価値創造 (VI 製品開発と生産管理)：ものづくり、サービス開発 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。										
授業到達目標	6 企業の価値創造 (VI 製品開発と生産管理)：製品開発とものづくり 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。										
	7 企業の価値創造 (VI 製品開発と生産管理)：製品開発とものづくり 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。										
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1. 予修は、1時間程度かけて行うこと。							
1. 小テスト、感想文など		%		2. 授業中には重要箇所の理解を確認し、疑問点は授業終了後に質問し、早期に解決を図ること。							
2. 中間テスト		%		3. まとめのテスト：客観問題80問で実施する。(1問につき1点)							
3. 課題レポートなどの提出物		%		4. 授業への参加意欲は、出席回数で評価する。(1回出席点2点、最高20点まで)							
4. 授業中の発表、討論		%		アクティブ・ラーニング							
5. 授業への参加意欲		20 %									
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%		1. 授業テーマに対する事例を学習する。							
		%		2. 授業テーマ関連の例題で学習成果を授業時間内で確認する。							
2) 最終到達度の評価				14 企業と社会 (V 企業倫理)：企業の不祥事 予復修課題：指定事例の経営上の特記点や注目点を考えてきてください。							
1. まとめのテスト		80 %		15 まとめ (テスト) 予復修課題：過去の学習内容を再確認してください。							
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
再評価の実施		する									
再評価の実施		しない									
教科書	井原久光 (編) 『経営学入門キーコンセプト』ミネルヴァ書房、2013。										
参考書	企業経営入門 (2年前期)・企業と社会 (3年後期) の共通の教科書										

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		産業組織論 Theory of Industrial Organizations				単位数	授業内容**			
担当者						2	1 ガイダンス 予復修課題：本講義の全体概要を確認しておく			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 完全競争における企業行動 予復修課題：完全競争のとき、企業がどのように価格と生産量を決定するか確認しておく			
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	金会		
配当年次		3年生	開講学期	後期						
授業概要		産業組織論は、産業全体としての成果を、次の視点から分析するものです。 (1)企業の行動 (2)市場構造 (3)企業組織(4)政策 それぞれの回が以上4つのどれにあたるのか意識しながら学ぶことで、経済を分析する視点が身についていくはず。入門とは違い、主に数式による分析で進めていきます。								
授業到達目標		1.企業の独占や複占が生じる環境とその帰結を理解できる 2.企業を、人が集まる組織として理解できる 3.様々な経済状況をゲームとして表現することができる 4.企業を取り巻く政策が企業行動に及ぼす影響を理解できる								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業内容は、変更されることがあります。 卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。							
1. 小テスト、感想文など		%								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		%								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%								
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施		する	しない							
教科書										
参考書										
		15 予復修課題：今までの授業内容を過不足なく復修しておく								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		交通論 Traffic Engineering		単位数	授業内容**				
担当者		寺町 賢一 (TERAMACHI Kenichi)		2	1 交通と関連の深い都市との関係について説明を行う。 予復修課題：教科書第1章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		2 都市交通計画の発達の経緯について説明を行う。 予復修課題：教科書第2章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。					
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	生経	3 都市交通の実態とその捉え方について説明を行う。 予復修課題：教科書第4章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。	
配当年次		3年生	開講学期	前期	4 都市交通の調査(人の動き)に関する説明を行う。 予復修課題：教科書第5章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。				
授業概要	・公務員、交通事業者、NPOの職員として交通に必要な知識を習得し、専門家養成を目指す。 ・交通が抱えている問題を認識し、人口減少に向けた持続可能な移動手段構築などの各種問題について、具体例を挙げつつ説明する。								
	・人口減少に向けた持続可能な交通に必要な基本的な知識を習得し、交通の専門家として問題解決の技術手法を身につけることができる。 ・人口減少に対して交通問題を解決するために、交通に関連する知識を用いて、論述できるようにする。								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・毎回小テストを実施するので、予習を行うとともに、出来なかった箇所について復習してください。 ・授業の予修+小テストの復修を約1時間行うと、より理解が深まります。						
1. 小テスト、感想文など		30 %	2) 最終到達度の評価						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		70 %	小テスト[第1回~第14回]						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	11 都市道路の幹線道路や地区交通計画について説明を行う。 予復修課題：教科書第9章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。						
3.		%							
再評価の実施		する	しない	12 都市交通施設計画(駅前広場)について説明を行う。 予復修課題：教科書10章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。					
教科書		新谷 洋二 『都市交通計画』 技報堂出版、2017年							
参考書		13 都市交通施設計画(駐車場)について説明を行う。 予復修課題：教科書10章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。							
		14 将来の都市交通計画の方向について説明を行う。 予復修課題：教科書第11章を読み、不明な点を調べる。小テストの復修をすること。							
		15 「まとめのテスト」を実施した後、「まとめのテスト解説」と「講義の総括」を行う。 予復修課題：第1回から第14回までの復修を行い、「まとめのテスト」の準備をすること。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゲーム理論 Game Theory		単位数		授業内容**			
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		専任		1 ガイダンス、導入講義 予復修課題：ゲーム理論について(どのようなことを学習するか復修する 目安時間:120分)			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEJ3216		2 ゲーム理論概説 予復修課題：歴史および特徴について(不明な語句を調べて、予復修する 目安時間:120分)			
授業形式		講義		科目区分		領域科目群		学科・領域 (コース)区分*	
配当年次		3年生		開講学期		後期			
授業概要		ゲーム理論は、数学に基づいた学問であることに留意してください。授業は簡単な説明の後、あてられた人が練習問題を解くという形で進めていく予定です。ゲームは非協力ゲームにおける同時手番と逐次手番について練習問題を行なう予定であることを理解した上で参加してください。							
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・同時手番のゲームを解くことができるようになる。 ・手番のゲームを解くことができるようになる。 ・ゲームを構築できるようになる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			講義においては必ず、学生証を携帯してください。学生証を携帯しない場合には、何らかのペナルティを与える予定なので、それを忌避する場合は履修申告をしないでください。				
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		90 %			黒板に出てきて、練習問題を解くということを通じて、黒板に出てきた学生本人とともに、教室にいる学生たちも自分の間違いを即座に認識し、理解できるようにする。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		なし							
参考書									
						15 予復修課題：1~14回の授業内容を総復修する目安時間:120分			

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		会計監査論 Auditing				単位数	授業内容**			
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)				2	1 ガイダンス 予復修課題： シラバスを熟読する。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 会計監査の必要性 予復修課題： 予修:教科書p.1-9を読み、不明な語句を調べる。復修:教科書p.4の練習問題を解く。			
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	金会			
配当年次		3年生	開講学期	後期						
授業概要	現代の会計監査の制度と理論について理解する。 前半では、会計監査の必要性および会計監査の制度について説明する。これによって、会計監査に関する総論的な知識を得ることができる。 後半では、監査基準の体系、監査手続、監査報告書の構成について説明する。これによって会計監査に関する各論的な知識を得ることができる。									
	授業到達目標	1. 会計監査の必要性について、説明することができる。 2. 会計監査の制度について、具体的に述べることができる。 3. 監査基準の体系について、説明することができる。 4. 監査手続について、監査要点と関係づけることができる。 5. 監査報告書について、作成・解釈することができる。								
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、まとめのテストにおいて、会計監査について、具体的に述べることであれば100点。 また、各授業ごとに120分を目安に予復修をおこなうことを要求する。							
1. 小テスト、感想文など		40 %								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		10 %								
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめテスト		50 %	第3回、第6回、第9回、第12回の授業中に、小テストを実施する。小テストの解答解説後、その内容について、質疑応答をおこなう。							
2. 論文、まとめレポートなど		%								
3. 資格取得		%								
再評価の実施		する	しない							
教科書		ガイダンスの際に指示する。								
参考書		ガイダンスの際に指示する。								
		15 予復修課題： 会計監査の理論と制度について、まとめる。								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		医療・福祉マネジメント Medical・Welfare and Management		単位数	授業内容**	
担当者	中野 幹子 (NAKANO Mikiko)			2	1	医療保障制度 国民健康保険制度や被用者保険制度の内容、日本の健康保険制度の特徴を学びます。 予復修課題：協会けんぽ、組合健保を調べてきてください。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEJ3218	2	医療保障制度 後期高齢者の増加に伴う後期高齢者医療制度の内容と今後の課題を学びます。 予復修課題：後期高齢者医療を調べてきてください。
授業形式	講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営
配当年次	3年生	開講学期	後期			
授業概要	社会福祉の各分野においては毎年のように大きな制度改革が続いている。改革動向における大きな特徴の一つとして、自立支援の観点が強調されていることが挙げられる。この教科では「自立」或いは「自立支援」とは何か、また、自立支援と社会福祉はどう関わるのかといった点について学ぶ。 また、同時に医療の分野との連携や関係性について学ぶことで、医療と福祉をマネジメントすることが、人生を円滑にし、かつ財源確保が合理的になる方法であることを学ぶ。				3	年金保障制度 国民基礎年金制度の内容としくみ、遺族年金の条件などを学びます。 予復修課題：年金の種類を調べてきてください。
授業到達目標	医療保険、年金保険、介護保険を学ぶことで、社会人として社会に目を向けた生き方、日本社会の持つ課題を知ることができる。また福祉の各分野を学ぶことで、日本社会の実情や社会の動きを知ること、社会貢献することの意義を知ることができる。				4	年金保障制度 厚生年金制度や企業年金制度、障害年金の特徴と年金制度の課題などを学びます。 予復修課題：障害年金について調べてきてください。
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					5	介護保障制度 介護保障制度の意義、目的、しくみ、高齢者福祉からの歴史的流れを学びます。 予復修課題：高齢者福祉法を予修してきてください。
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6	介護保障制度 介護保険制度の対象となる高齢者内について、特定疾病と高額介護の制について学びます。 予復修課題：介護保険法を調べてきてください。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7	障がい者総合支援法 措置制度から障害者自立支援法までの歴史的経過と総合支援法への経緯を学びます。 予復修課題：障害の種類を調べてきてください。
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8	障がい者総合支援法 総合支援法の内容と自立支援法の内容を照らし合わせて変更のポイントを学びます。 予復修課題：制度の概要を調べてきてください。
成績評価の方法 (全体で100%)					9	障がい者総合支援法 障がい者の制度にある課題を3障がいの特徴とともに学んでいきます。 予復修課題：今後の課題を調べてきてください。
履修における留意事項					10	福祉の各分野 母子寡婦福祉法における片親家庭の問題や支援策について学びます。 予復修課題：母子寡婦福祉法を調べてきてください。
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1) 原則として授業開始後の入室は認めない。 2) 予復修時間に関しては1時間程度とする。			11	福祉の各分野 障害者福祉法は総合支援法の前の措置時代の福祉制度であり、比較して学びます。 予復修課題：障害者福祉法を調べてきてください。
1. 小テスト、感想文など	%					
2. 中間テスト	%					
3. 課題レポートなどの提出物	25 %					
4. 授業中の発表、討論	25 %					
5. 授業への参加意欲	25 %					
6. 自主的学習 (予習・復習など)	25 %					
7.	%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト	%	授業テーマに即した調査学習				
2. 論文、まとめのレポートなど	%	[第1回 ~ 第14回]				
3.	%					
再評価の実施	する	しない				
教科書	社会保障と社会福祉 医学書院 2020				14	医療・福祉・マネジメント 介護保険制度、障害者総合支援法のマネジメント、医療のサポート体制を学びます。 予復修課題：マネジメントするとはどういうことかを調べてきてください。
参考書					15	まとめ 高齢者や障害者の制度を復修し、日本の制度菜緒用の特徴を整理します。 予復修課題：14回分の見直しをしてください。

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		行政法(救済法) Adminisructive Law			単位数	授業内容**	
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)			2	1 行政救済法の全体構造 予復修課題: ノート整理	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			専任	2 事前の救済 行政事前手続と憲法 予復修課題: 配布プリントの復修及びノート整理	
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	公マ
配当年次		3年生	開講学期	後期			
授業概要		行政に関する知識は、私たちが社会生活を営み仕事をしていくうえで必ず必要になるものです。本講義では、違法・不当な行政活動があった場合、私たちはどうしたら良いのか、不服申し立て手段、取消を求めるにはどうしたらよいか、さらには、国家賠償、損失補償制度について学ぶ。					
授業到達目標		基本的な論点14個について、その論点を理解し、問題の所在を的確に把握し説明できるようになる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業の出席は前提となっています。ノート、プリントが大切になります。特に、問題演習、事例については授業の後に必ず復修すること。				
1. 小テスト、感想文など		10 %	* 自宅学習時間は1時間以上とする。				
2. 中間テスト		30 %					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		60 %	小テスト、中間テストを実施する。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		特に指定しない					
参考書		行政法判例百選(ジュリスト増刊号) 有斐閣					
						15 予復修課題: 全体の復修	

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		生産管理論 Production Management		単位数	授業内容**		
担当者		中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)		2	1 ガイダンス 世界でも類をみない日本の生産管理の概要を説明する。 予復修課題：この授業でどこまで学びたいかについて考える。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 需要予測 生産工程を立ち上げるためには、需要の予測が必要である。 予復修課題：日本の石炭鉱山について調べる。		
授業形式		講義	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	経営
配当年次		3年生		開講学期	後期	EEJ3220	
授業概要		1. 日本が開発した科学技術とそれを基盤とした産業について学ぶ。 2. 日本の科学技術と産業の歴史を理解する。 3. 日本の科学技術と産業が世界に及ぼした影響について理解する。 4. 日本のものづくりを生産管理の理論と実践の観点から学ぶ。			3 作業分析と工程分析 需要予測に基づいて、最も効果的な作業と工程を見つけ出す。 予復修課題：原油の精製について調べる。		
授業到達目標		1. 産業技術の基礎が理解できる。 2. 日本の基幹産業のひとつである自動車産業の歴史と現状が理解できる。 3. 持続可能な社会が求める産業技術の在り方を理解できる。 4. 生産管理の基本的知見を獲得する。			4 生産計画と統制 生産スケジュールを立てる。生産を統括するための仕組みを考える。 予復修課題：日本の産業技術の特徴を調べる。		
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					5 工場レイアウト ものづくりの現場である工場の最も効率的なレイアウトを検討する。 予復修課題：なぜ日本の産業技術が際立ったのかについて調べる。		
【知識・技能】		学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。			6 発注と在庫の管理 発注した材料、部材、部品の管理方法について学ぶ。 予復修課題：現在の低公害エンジンについて調べる。		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。			7 運搬管理と輸送計画 完成した製品の運搬と輸送について計画する。 予復修課題：軽自動車とコンパクトカーの性能と市場について調べる。		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。			8 製造管理システム 一連の製造システムを統括する仕組みを考える。 予復修課題：ラグジャリーカーの性能と市場について調べる。		
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項			9 連続生産方式 生産方式の代表格である連続生産方式について学ぶ。 予復修課題：新しいテクノロジーの開発の必要性について調べる。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。			10 個別生産方式 個別生産方式について学ぶ。 予復修課題：新しいテクノロジーの開発の現状について調べる。	
1. 小テスト、感想文など		10 %				11 ロット生産方式 ロット生産方式について学ぶ。 予復修課題：家電の歴史と市場について調べる。	
2. 中間テスト		%				12 ハイブリッドの法則 (1) ハイブリッドの基礎について学ぶ。 予復修課題：現在のインフラの問題点について調べる。	
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				13 ハイブリッドの法則 (2) 生産現場、交通、その他におけるハイブリッドの事例を学ぶ。 予復修課題：リアモーターカーの展望について調べる。	
4. 授業中の発表、討論		%				14 まとめ、グループディスカッション これまでの内容を復修する。グループで疑問点を見出し、解消する。 予復修課題：海外のスマートシティの実例を調べる。	
5. 授業への参加意欲		35 %				15 まとめのテストおよび解説 これまでの内容の習得を確認するため、まとめのテストを行う。 予復修課題：まとめのテストの内容を復修し、確実に知識として身に付ける。	
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		35 %	第14回授業で、グループディスカッションを行う。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		プリント使用					
参考書		生産管理の基本が面白いほどわかる本, 田島悟, KADOKAWA社					

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネス実務演習 B Business Work B				単位数	授業内容**			
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	1 ガイダンス：授業の進め方 成績評価基準の説明 講義内容：課題B- 「ビジネス実務マナー検定 3級」 予復修課題：時間内に分からなかった個所を見直す			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 講義内容：秘書検定の過去問題からビジネス実務を学ぶ 課題B- 「秘書検定 3級」 予復修課題：時間内に分からなかった個所を見直す			
授業形式	演習	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	ビ実	3 講義内容：ビジネス実務マナー検定、秘書検定の解答と解説 課題B- 「ビジネス実務マナー検定・秘書検定 3級」 予復修課題：不正解だった問題を再度読み込み、正解を理解する			
配当年次	3年生	開講学期	後期				4 講義内容：会議と会議設営について 課題B- 「会議の種類と机の配置」 予復修課題：会議の目的を理解し、机の配置の違いを学ぶ			
授業概要	本講義ではビジネスパーソンとして必要な資質や役割を理解し、ビジネスの現場で行動・活躍できる人材の育成を目標とする。 ビジネスにおける実務、そのマネジメント、ビジネスを取り巻く環境、企業組織、ビジネスパーソンのキャリアなどについて理解を深め、ビジネス実務の基本から応用に至るまで幅広く習得することを目的とする。					5 講義内容：美しい文字の書き方 課題B- 「ペン字・毛筆」 予復修課題：身の回りにある活字をよく見て、文字のバランスを学ぶ				
	・ビジネスパーソンとしてふさわしい立ち居振る舞いができる。 ・ビジネスパーソンとしての仕事の仕方や役割を理解する。 ・ビジネスパーソンとしての話し方や聞き方を実践できる。 ・ビジネス実務を通して、自分の意見をエピソードを交えて発表することができる。 ・ビジネス実務を通して、チームの中でお互いに教え合うことができる。 ・ビジネス実務を通して得た思想を自分の人生に活かすことができる。					6 講義内容：グラフ作成 課題B- 「グラフ作成」 予復修課題：グラフの違いを理解し、見やすいグラフを学ぶ				
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 講義内容：ミニテスト(前半のまとめ) 課題B- 「ビジネスマナー」 予復修課題：今日のミニテストで分からなかった箇所を調べておく				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 講義内容：文書の校正 課題B- 「文書の校正」 予復修課題：校正記号を理解し、同音異義語などを正しく学ぶ				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 講義内容：出張旅程と仮払い清算 課題B- 「出張旅程と仮払い清算」 予復修課題：出張旅程の作成ならびに仮払い清算事務を理解する				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 講義内容：ビジネス文書作成 課題B- 「社内文書・社外文書」 予復修課題：ビジネス文書マナーを理解する				
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			11 講義内容：電報・レタックス・ハガキの返信 課題B- 「電報・レタックス・ハガキの返信」 予復修課題：電報・レタックス・ハガキの返信などのマナーを学ぶ				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業欠席者はUNIVERSAL PASSPORTから毎回の課題について各自で調べ、提出のこと			12 講義内容：インバケット 課題B- 「インバケット アクションレポート」 予復修課題：仕事の優先順位を決めるポイントを理解する				
1. 小テスト、感想文など		%	予復修課題については、本日の振り返りと次回テーマについて自分で調べるなど1時間程度かけて行うこと			13 講義内容：インバケット アクションレポートの正解と解説 課題A- 「インバケット アクションレポート」 予復修課題：ビジネスマナーを理解する				
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		60 %								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		%								
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			14 講義内容：インバケット 課題提出 課題B- 「インバケット 課題集」 予復修課題：仕事の優先順位を決めるポイントを理解し、ミスのない書類を確認する				
1. まとめのテスト		%	毎回の授業でテーマの課題シートに解答を書き込み、提出			15 講義内容：今までの課題をまとめて、振り返りを行う 課題B- 「ビジネス実務演習Bのまとめ」 予復修課題：今まで取り上げて来た演習内容を振り返りを行う				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	ミニテスト[第7回]							
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	適宜、資料を配布する									
参考書										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		サービス実務演習 Hospitality Exercises				単位数	授業内容**	
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEJ3222		
授業形式	演習	科目区分	領域科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	ピ実		
配当年次	3年生	開講学期	後期					
授業概要	サービス業に従事する人材として求められる資質、知識、接客マナーなどを理解し、実践的に活用できるおもてなし能力を育成する。 プリントやDVDなどを使ってサービス業界の理解を進め、さらに演習を交えることで体験型の修得をも目指す。							
	<ul style="list-style-type: none"> サービススタッフの心構えを理解できる サービススタッフの専門知識を理解できる サービススタッフの言葉遣いや立ち居振る舞いを理解し、実践できる ビジネス電話検定A級に合格できる サービス接客検定準1級に合格できる 							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	授業欠席者はUNIVERSAL PASSPORTから毎回の課題について各自で調べ、提出のこと。予復修の時間の目安は、40~60分です。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		60 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	毎回の授業でテーマの課題シートに解答を書き込み、提出					
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	ミニテスト [第7回]					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	適宜、資料を配布する							
参考書								
1	ガイダンス : 授業の進め方 成績評価基準の説明 講義内容 : サービス接客検定2級の過去問題 予復修課題 : 時間内に解けなかった問題を解き、理解できない箇所を見つけておく							
2	講義内容 : 前回の過去問題の解答ならびに解説 予復修課題 : サービス接客検定2級問題の不正解だった箇所を見直し、正解を理解する							
3	講義内容 : 電話検定A級の過去問題の解答と解説 予復修課題 : ビジネス電話検定A級の不正解だった箇所を再度読み込み、正解を理解する							
4	講義内容 : サービス業に従事する者に必要とされる資質とは 予復修課題 : 「 サービスマンの資質 あなたならどうする」で、自分の考えをまとめておく							
5	講義内容 : サービス業に従事する者に必要とされる専門知識とは 予復修課題 : 「 サービスマンがよく使う慣用句、用語」を理解する							
6	講義内容 : サービスマンとしての一般常識とマナー 予復修課題 : 今日の内容(慣用句・用語)で分からなかった箇所を調べておく							
7	講義内容 : ミニテスト(前半のまとめ) 予復修課題 : 今日の内容(ミニテスト)で分からなかった箇所を調べておく							
8	講義内容 : 接客知識・顧客心理 予復修課題 : 「 事例で学ぶ接客対応 あなたならどうする」で、自分の考えをまとめておく							
9	講義内容 : 話し方・聞き方 予復修課題 : 「 正しい言葉遣い」を理解しておく							
10	講義内容 : クレーム対応 予復修課題 : 「 クレーム対応 あなたならどうする」で、自分の考えをまとめておく							
11	講義内容 : サービス接客検定準1級問題 予復修課題 : 「 商品販売のシナリオ」を作成する							
12	講義内容 : 冠婚葬祭マナー (冠・祭) 予復修課題 : 「 冠・祭マナー」プリントを仕上げる							
13	講義内容 : 冠婚葬祭マナー (婚・葬) 予復修課題 : 「 婚・葬マナー」プリントを仕上げる							
14	講義内容 : サービス接客検定2級の過去問題 予復修課題 : サービス接客検定2級問題の不正解だった箇所を見直し、正解を理解する							
15	講義内容 : 今までの課題をまとめて、振り返りを行う 予復修課題 : まとめのレポート 14回の授業をとおして理解したこと・学んだこと							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップA【ステップアップ方式・企業志望者対象】				単位数	授業内容**					
	Workshop A (Step-up type)				2	1	ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribe.jukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：3か月先までの授業スケジュールを確認し、確保してください。(約0.5時間)				
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				専任	2	2019年度ワークショップAの成果報告 ⇒社会人基礎力育成GP全国大会出場までの取り組みについて解説します。 予復修課題：授業の振り返りと今期の意気込みについてレポートしてください。(約1.0時間)				
実務経験のある教員による授業	○ ナンパリング				EK1301	3	トレーナー・コーチを育成する講座体験 ⇒養成コースのダイジェスト講義を受けて課題を発見します。 予復修課題：テキストを見て自分なりに課題を書き出してみよう。(約1.0時間)				
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	4	各自の課題を共有 ⇒集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)				
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	(コース)区分*	全領域	5	担当業務表と制作スケジュールを完成 ⇒遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)				
授業概要	スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義では「スポーツビジネスの分野における課題を解決しよう！」というコンセプトで皆さんに関わっていただきます。前年(2019年)にはギラヴァンツ北九州とコラボレートして行っているシニア健康教室に参加して「高齢者向けの運動実践マニュアル」の作成を行いました。本年度は急速に伸びてきているパーソナルトレーニングジムにおいて活用できる研修プログラムとテキストの作成についてチャレンジしていただきます。				6	テキスト制作① ⇒講座内容の文字起こしを行いましょ。予復修課題：グループLINE内において文字情報を全員で共有してください。(約1.0時間)					
授業到達目標	<input type="checkbox"/> 授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 <input type="checkbox"/> 状況を判断しながら質問することができる。 <input type="checkbox"/> 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 <input type="checkbox"/> 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 <input type="checkbox"/> 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 <input type="checkbox"/> 業務の進捗についての情報をチームで随時共有できる。				7	テキスト制作② ⇒ページネーションとレイアウトを考えましょ。予復修課題：グループLINE内においてページネーションとレイアウトを共有してください。(約1.0時間)					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						8	テキスト制作③ ⇒1ページ当たりの文字数に合わせて原稿を作成していきます。予復修課題：グループLINE内で進捗情報を共有してください。(約1.0時間)				
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				◎	9	テキスト制作④ ⇒原稿に相応しい見出しを付けてキーワードを指定ましょ。予復修課題：グループLINE内でキーワードを共有してください。(約1.0時間)				
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				◎	10	テキスト制作⑤ ⇒キーワードから逆引きして説明文を考えましょ。予復修課題：キーワードを説明した文章をグループLINEで共有してください。(1.0時間)				
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				◎	11	テキスト制作⑥ ⇒原稿の内容について理解を深めるために必要な資料を集めましょ。予復修課題：集めた資料(写真・イラスト・論文・ニュース等)について出典を共有してください。(1.0時間)				
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				12	テキスト制作⑦ ⇒原稿の内容について理解を深めるために必要な資料を集めましょ。予復修課題：集めた資料(写真・イラスト・論文・ニュース等)について出典を共有してください。(1.0時間)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	本授業では成果物を完成することが求められます。集中講義形式になりますが、簡単にできるものではありません。チームワーク力がとても重要ですし、各自が責任を持って仕事を進める必要があります。このため、学習の進捗報告に関してLINEグループを作ります。授業内外での積極的な関りが求められます。予復修課題の一つとして取り組んでください。				13	テキスト制作⑧ ⇒レイアウトを完成させましょ。予復修課題：レイアウト済の各ページをグループLINEで共有してください。(0.5時間)				
1. 小テスト、感想文など	%	アクティブ・ラーニング 講義の中でプレゼンテーションを行う機会があります。毎回の振り返りの中でレポートをまとめる力をレベルアップし、PowerPointで発表資料を作成し学外のコンテストに出場します。				14	成果報告会 ⇒自分が担当した業務について1人10分でプレゼンテーションをします。予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)				
2. 中間テスト	%					15	総括：テキストを完成させ、外部の利用機関の編集責任者にジャッジしてもらいます。どのような点が新しい課題になるかについて学びましょ。予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)				
3. 課題レポートなどの提出物	20 %										
4. 授業中の発表、討論	10 %										
5. 授業への参加意欲	%										
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %										
7. 学習の進捗報告	30 %										
2) 最終到達度の評価											
1. まとめのテスト	%										
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %										
3.	%										
再評価の実施	する	しない	○								
教科書	指定しません。										
参考書	授業中に必要に応じて適宜指示します。										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップA【ステップアップ方式・公務員等志望者対象】				単位数	授業内容**		
	Workshop A (Step-up type)				2	第1回 4時限	ガイダンス 事前学習① (1コマ) ○スケジュール確認、本科目の目的理解 ○各公務員（公安職を中心に行政職等）の職務内容について理解する ※教室は、決定次第、教務掲示板に掲示する。	
担当者	森江 由美子 (MORIE Yumiko)		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		専任	第2回	事前学習② (2コマ) ○公務員を目指す者としての心構えについて ○社会貢献マインドについて考える ○防災研修の必要性について考える ○自治体や消防の防災に関する取組みについて学ぶ	
	入江 雅仁 (IRIE Masahito)							
実務経験のある教員による授業			ナンバリング			3, 4 時限	実習 防災研修 消防局 ○起震車体験、防災講話 ○応急担架作成実習、AED講習等 ○グループあるいは個人で実習日誌作成（課題）	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	第3回 3, 4, 5 時限		
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	(コース)区分*	全領域	第4回 3, 4 時限	研修の 振り返り 事後学習① (2コマ) ○実習日誌の発表 ○実習の成果として感じられたことおよび反省 ○災害発生時の被害防止や軽減・救護を図るための啓蒙活動 について考える ○自主防災体制づくり等について考える	
授業概要	この科目は、公務員等志望者対象ワークショップです。講義と実習から構成されます。警察官や消防官、県や市の行政職員といった公務員等の職業は、地域住民が、快適で安心して安全に暮らすことのできる生活環境をつくるために、地域のために働く極めて社会貢献性の高い職業です。したがって、将来、公務員等を目指す人は、社会貢献マインドを身に付ける必要があります。本科目では、様々な研修等を通して知識及び技術を身に付け、ワークショップBにおいて取り組むべき真の社会貢献を考えていきます。							
授業到達目標	①社会貢献活動について知り、その活動の目的について理解することができる。 ②大学生として自分たちにできる真の社会貢献について考えることができる。 ③社会貢献マインドを養うことができる。 ④社会貢献活動におけるルールとマナーを身に付けることができる。 ⑤公務員等社会貢献性の高い職業に就こうとする意欲が高まる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	第5回 3, 4 時限	事前学習③ (2コマ) ○法律の基礎について学ぶ ○裁判制度について学ぶ ○裁判員制度について学ぶ
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					○	第6回 3, 4, 5 時限	実習 裁判所研修 福岡地方裁判所 ○裁判傍聴 ○裁判所の仕組み、裁判員制度説明、模擬裁判員裁判 ○グループあるいは個人で実習日誌作成（課題）
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	第7回 3, 4 時限	研修の 振り返り 事後学習② (2コマ) ○実習日誌の発表 ○実習の成果として感じられたことおよび反省 ○犯罪発生防止に配慮した生活環境の整備と防犯対策等について考える
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	【ステップアップ方式】はワークショップA→B(2年次)→C(3年次)→D(4年次)と順次継続して履修しなければなりません。したがって、1年次にワークショップAを履修していなければ、2年次にBを履修することができません。また、2年次にワークショップAを履修することもできません。(予復修取組時間：約4時間)						
1. 小テスト、感想文など	%							
2. 中間テスト	%							
3. 課題レポートなどの提出物	20 %							
4. 授業中の発表、討論	%							
5. 授業への参加意欲	20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %							
7.	%							
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	ミニッツペーパー(随時)						
2. 論文、まとめのレポートなど	40 %	Think-Pair-Share						
3.	%	グループディスカッション						
		グループワーク						
再評価の実施	する	しない	○					
教科書	講義レジュメを使用する。							
参考書								
	各自	レポート提出	提出期限・提出場所：未定					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップA【セパレート方式】 Workshop A (Separate type)				単位数	授業内容**	
担当者	梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)				2	1 ガイダンス 参加目的の設定、スケジューリング、チームビルディング 予復修課題：シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 事前研修(1) 社会人としての基本的マナーや言葉遣いの習得、参加計画の立案 予復修課題：基本的マナーや言葉遣いについて調べ、実践する。予復修の目安時間：各120分	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 事前研修(2) チームおよび個人の目標設定、課題発見から解決策策定までの進め方について議論 予復修課題：社会体験・イベント参加計画を具体的に立案する。予復修の目安時間：各120分	
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	全領域		4 社会体験・地域イベント参加(1) 予復修課題：社会体験・地域イベントの効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分	
授業概要	本授業は、1年次という早い時期からイベントの企画やそれら実際の運営に携わるなど社会体験を増やすために用意された能動的学修(アクティブ・ラーニング)のひとつである。地域連携・地域貢献をテーマとして、用意されたプロジェクトから複数選択し、課題解決の意識を高める機会を提供する。問題基盤型学習やサービスマーケティングなどを取り入れて、前に踏み出す力の涵養に力点を置いておこなっていく。					5 社会体験・地域イベント参加(2) 予復修課題：社会体験・地域イベントの効果について仮説を設定する。予復修の目安時間：各120分	
授業到達目標	1. 地域住民の生活課題について、具体的に説明することができる。 2. 地域連携・地域貢献活動の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、推論できる。 3. 社会体験・地域イベントの効果について、地域活性化と関係づけることができる。 4. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。					6 社会体験・地域イベント参加(3) 予復修課題：社会体験・地域イベントの効果について仮説を証明する。予復修の目安時間：各120分	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 予復修課題：社会体験・地域イベントの現状と課題についてまとめる。予復修の目安時間：各120分			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 中間報告 予復修課題：社会体験・地域イベントの現状と課題についてまとめる。予復修の目安時間：各120分			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 事前研修(3) チームおよび個人の目標設定、課題発見から解決策策定までの進め方について議論 予復修課題：社会体験・イベント参加計画を具体的に立案する。予復修の目安時間：各120分			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 社会人としての基礎的マナーや言葉遣いをプロジェクト参加前に、身につけることを要求する。				
1. 小テスト、感想文など		%	2. チームとして参加するプロジェクトでは、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7. 学生研究報告会などで発表		30 %					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスマーケティングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	解決策を策定して、それを発表する。				
3. 資格取得		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	ガイダンスの際に指示する。						
参考書	ガイダンスの際に指示する。						
				10 予復修課題：社会体験・地域イベントの効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分			
				11 社会体験・地域イベント参加(6) 予復修課題：社会体験・地域イベントの効果について仮説を設定する。予復修の目安時間：各120分			
				12 社会体験・地域イベント参加(7) 予復修課題：社会体験・地域イベントの効果について仮説を証明する。予復修の目安時間：各120分			
				13 社会体験・地域イベント参加(8) 予復修課題：社会体験・地域イベントの現状と課題についてまとめる。予復修の目安時間：各120分			
				14 最終報告 予復修課題：社会体験・地域イベントの現状と課題についてまとめる。予復修の目安時間：各120分			
				15 授業の総括 予復修課題：地域住民の生活課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分			

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップA【ステップアップ方式・教員志望者対象】				単位数	授業内容**	
担当者	前田 武男 (MAEDA Takeo)				2	1 ガイダンス 授業の進め方、評価方法、提出物等の説明 予復修課題：なぜ教師になりたいのか、どんな教師になりたいのか、自分の思いをまとめる(所要時間180分)	
実務経験のある教員による授業	○ ナンパリング				専任	2 学外実習の事前学習(1) スクールヘルパーの概要、実習内容の理解、スクールヘルパー経験者の話を聞く 予復修課題：先輩への質問をまとめる(所要時間180分)	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年度	1年生	開講学期	後期集中	(コース)区分*	全領域		
授業概要	<p>教員としての経験を活かし、授業を展開する。</p> <p>本授業は講義および実習形式で実施する。教師になるということについてをいまいちど問いなおし、学外実習(スクールヘルパー)を行い、自らの考えを深めることを目的とする。</p> <p>学外実習は北九州市立小中学校でのスクールヘルパーを予定している。学外実習前には、事前学習を行い、理解を深める。スクールヘルパー経験者(先輩)の話を聴き、実習計画を立て実習先をみずから選定する。実習後は実習の内容および成果をまとめて、報告し振り返る。</p>					3 学外実習の事前学習(2) 実習計画立案、実習先の決定、書類の作成、マナーについて 予復修課題：どこで何をしたいか、目標を設定する(所要時間180分)	
授業到達目標	<p>1 教師になるということについて考えを深めることができる。</p> <p>2 経験に基づいて考えを構築し表現することができる。</p> <p>3 表現力を高めることができる。</p> <p>4 コミュニケーション能力・調整能力を高めることができる。</p> <p>5 課題を発見し、解決策を考えることができる。</p>					4 板書の仕方・文書の書き方 ゲスト講師招聘 予復修課題：指定された課題をこなすこと(所要時間180分)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				○	5 教師になるということ(1) 自らの教師像についてディスカッションを行う 予復修課題：指定された資料を読むこと(所要時間180分)	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				◎	6 教師になるということ(2) ゲスト講師招聘 予復修課題：指定された資料を読むこと(所要時間180分)	
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				◎	7 教師になるということ(3) ゲスト講師招聘 予復修課題：指定された資料を読むこと(所要時間180分)	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 意欲的に授業に参加すること。				
1. 小テスト、感想文など		10 %	2) 学外実習は規定授業時間外に(土曜日等)に行われることもある。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		40 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	1) 学外実習に参加する				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	2) グループディスカッションを行う				
3.		%	3) グループワークで発表準備を行う				
再評価の実施		する	しない	○	4) グループで発表する		
教科書							
参考書							
						15 授業全体の振り返り、レポート作成 予復修課題：授業全体を振り返る(所要時間180分)	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップB【ステップアップ方式・教員志望者対象】				単位数	授業内容**	
担当者	前田 武男 (MAEDA Takeo)				2	1 ガイダンス 授業の進め方、評価方法、提出物等の説明 予復修課題：なぜ教師になりたいのか、どんな教師になりたいのか、自分の思いをまとめる(所要時間180分)	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		専任	2 教職へのキャリア形成について： 「100パーセントの確率で教師になる」の道（方法論とその行程） 予復修課題：これまで学んできた人権・平和教育について振り返っておくこと(所要時間180分)	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期集中	(コース)区分*	全領域		
授業概要	この科目は、講義と実習とで構成される。講義では、教職を目指すものの心構えや教職についての基礎的な知識を修得する。実習では実際の学校現場体験から、教育を行う側の感覚を味わう。この双方を通して、2年次の教職への希望（意識）を自己の真摯な目的意識へと高めていくのがねらいである。この科目はステップアップ方式を採用するので、1年次のワークショップAを修得せずして2年次のワークショップBは履修できない。教員としての経験を活かし、授業を展開する。必修科目ではないが、教職を希望する気持ちのある者はぜひ、履修してほしい。						
	3	教師の仕事について①（stepⅡ）： ①授業、学級指導、部活指導 ②教務、生徒指導、進路指導・・・等々 予復修課題：指定された資料を読むこと(所要時間180分)					
4	教師の仕事について②（stepⅡ）： 研修、研究発表（授業研究）、公開授業・・・等々 予復修課題：指定された資料を読むこと(所要時間180分)						
5	学校組織の働き方改革～ボランティアとの連携事例等 グループディスカッション、自分の考えを文章で表現する 予復修課題：指定された資料を読むこと(所要時間180分)						
6	学校現場での実習① 予復修課題：実習に行った日に必ず実習日誌を作成すること(所要時間180分)						
7	学校現場での実習② 予復修課題：実習に行った日に必ず実習日誌を作成すること(所要時間180分)						
8	学校現場での実習③ 予復修課題：実習に行った日に必ず実習日誌を作成すること(所要時間180分)						
9	学校現場での実習④ 予復修課題：実習に行った日に必ず実習日誌を作成すること(所要時間180分)						
10	学校現場での実習⑤ 予復修課題：実習に行った日に必ず実習日誌を作成すること(所要時間180分)						
11	学校現場での実習⑥ 予復修課題：実習に行った日に必ず実習日誌を作成すること(所要時間180分)						
12	事後指導 実習内容・成果の報告・確認を行う。 予復修課題：お礼状の執筆、事後レポートをまとめておくこと(所要時間180分)						
13	成果発表準備（1） 実習の成果をパワーポイントでまとめる 予復修課題：実習を振り返る(省察)(所要時間180分)						
14	成果発表準備（2） 実習の成果をパワーポイントでまとめる 予復修課題：発表の準備をする(所要時間180分)						
15	成果発表 パワーポイントを使用し成果を発表する 予復修課題：各自でレポートを作成すること(所要時間180分)						
授業到達目標	1 教職の魅力について、自分なりの説明ができる。 2 なぜ、教職に就こうとしているのか、説明ができる。 3 教職に携わる者の心構えについて考えることができる。 4 教員としてのベースとは何かについて考えることができる。 5 教職の基本的な仕組みについての授業（講義）が理解できる。 6 学校現場体験で教職についての魅力を自覚できる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						○
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						◎
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						◎
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 意欲的に授業に参加すること。				
1. 小テスト、感想文など		10 %	2) 学外実習は規定授業時間外に（土曜日等） に行われることもある。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	第2回 グループディスカッション				
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %	第6～12回 学外実習				
3.		%					
再評価の実施	する	しない	○				
教科書							
参考書							

*領域（コース）区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ワークショップB【セパレート方式】 Workshop B (Separate type)				単位数		2		授業内容**	
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)				専任				1 ガイダンス 本講義の目的や活動内容の説明 予復修課題：ワークショップの基礎資料を渡します。読み込んで来てください。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				EEK2301				2 事前学習 活動テーマの検討 予復修課題：ワークショップとして取り組むテーマを考えておいてください。	
授業形式		演習		科目区分		実践科目群		学科・領域		経済・経営学科	
配当年次		2年生		開講学期		前期集中		(コース)区分*		全領域	
授業概要		この講義は社会体験学習であり、本講義を通じ地域活性化への理解を深めるとともにチームとしてイベントに参加しながら、効果的な活動方法を考え、提案する。また、まちづくりイベントおよび地域活性化イベントに参加することにより、経済・経営活動である企画、製品開発流通、販売などの実践的な活動を学び、経済・経営学の理論と実践に関する知識やスキルを高めるものである。会社実務経験に基づき、プロジェクト運営を指導する。									
授業到達目標		1. 経済・経営活動の実践的活動がわかる。 2. 経済・経営学の主要論点がわかる。 3. チーム活動が理解できる・積極的に考え、行動に結びつけることができる。 4. 地域活性化活動が理解できる。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)						履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合				<ul style="list-style-type: none"> この授業は地域でのイベントに合わせて学外で実習をします。 授業の資料や討議メモはGoogle DriveにULします。ログインできるよう、事前にGmailアカウントを取得しておいてください。 資料を読んでから1時間程度を使って考えを深めてください。イベントは不定期に開催されます。都度、日程は事前連絡します。 					
1. 小テスト、感想文など		%									
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		30 %									
4. 授業中の発表、討論		30 %									
5. 授業への参加意欲		30 %									
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %									
7.		%									
2) 最終到達度の評価						アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%				<ul style="list-style-type: none"> ワークショップは主体的に観察・検討・討議発表を行うことが授業そのものです 					
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施		する		しない							
教科書		適宜、Google DriveにULします。(松井洋一郎「まちゼミ」、商業界、2017年)									
参考書		授業中に指示します。									
										15 活動報告会と授業の総括 活動報告を実施します。 予復修課題：作成した活動報告の本編を持参してください。	

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 ** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ワークショップB【ステップアップ方式・公務員等志望者対象】				単位数	授業内容**	
Workshop B (Step-up type)						2	1	
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		専任		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEK2301		2		
授業形式		演習		科目区分 実践科目群		学科・領域		
配当年次		2年生		開講学期 前期集中		経済・経営学科		
				(コース)区分*		全領域		
授業概要		この科目は、公務員等志望者対象ワークショップです。講義と実習から構成されます。警察官や消防官、県や市の行政職員といった公務員等の職業は、地域住民が、快適で安心して安全に暮らすことのできる生活環境をつくるために、地域のために働く極めて社会貢献性の高い職業です。したがって、将来、公務員等を志す人は、社会貢献マインドを身に付ける必要があります。本科目では、ワークショップAにおいて学んだ知識をもとに、ボランティア活動等を実際に行い、社会貢献マインドを養ってください。						
授業到達目標		<p>社会貢献活動について知り、その活動の目的について理解することができる。</p> <p>大学生として自分たちにできる真の社会貢献について考えることができる。</p> <p>社会貢献マインドを養うことができる。</p> <p>社会貢献活動におけるルールとマナーを身に付けることができる。</p> <p>公務員等社会貢献性の高い職業に就こうとする意欲が高まる。</p>						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達力の評価		評価割合		【ステップアップ方式】はワークショップA B(2年次) C(3年次) D(4年次)と順次継続して履修しなければなりません。したがって、1年次にワークショップAを履修していなければ、2年次にBを履修することができません。また、2年次にワークショップAを履修することもできません。				
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		10%						
4. 授業中の発表、討論		20%						
5. 授業への参加意欲		40%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		ミニッツペーパー(随時)				
2. 論文、まとめのレポートなど		20%		Think-Pair-Share				
3.		%		グループディスカッション				
再評価の実施		する		しない		グループワーク		
教科書		講義レジュメを使用する。						
参考書								
						3		
						4		
						5		
						6		
						7		
						8		
						9		
						10		
						11		
						12		
						13		
						14		
						15		

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップB【ステップアップ方式・企業志望者対象】 Workshop B (Step-up type : Sports Business)				単位数	授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：3か月先までの授業スケジュールを確認し、確保してください。(約0.5時間)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 2020年度ワークショップAの成果報告 2019年度のワークショップAを振り返り、Bの内容決めについて参考にします。 予復修課題：授業の振り返りと今期の意気込みについてレポートしてください。(約1.0時間)	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 ポジトレ®を理解する講座の受講 オープンセミナーを受けて課題を発見します。 予復修課題：テキストを見て自分なりに課題を書き出してみましょう。(約1.0時間)	
配当年次	2年生	開講学期	前期集中		全領域	4 各自の課題を共有 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)	
授業概要	スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義では「スポーツビジネスの分野における課題を解決しよう!」というコンセプトで皆さんに関わっていただきます。ただし、ビジネスの現場における課題は市場の状況や将来予測に応じて変化しますので、それに耐える柔軟かつ思考や強靱な体力それに感情のコントロール能力が求められるでしょう。本授業ではこうした点に留意してメンタルとフィジカルを融合させた考え(ポジトレ®)について学び、それを教材化することに取り組んでいきます。				5 担当業務表と制作スケジュールを完成 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)		
授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 業務の進捗についての情報をチームで随時共有できる。				6 テキスト制作 講座内容の文字起こしを行いましょう。 予復修課題：グループLINE内において文字情報を全員で共有してください。(約1.0時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 テキスト制作 ページネーションとレイアウトを考えましょう。 予復修課題：グループLINE内においてページネーションとレイアウトを共有してください。(約1.0時間)			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 テキスト制作 1ページ当たりの文字数に合わせて原稿を作成していきます。 予復修課題：グループLINE内で進捗情報を共有してください。(約1.0時間)			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 テキスト制作 原稿に相応しい見出しを付けてキーワードを指定しましょう。 予復修課題：グループLINE内でキーワードを共有してください。(約1.0時間)			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では成果物を完成することが求められます。集中講義形式になりますが、簡単にできるものではありません。チームワーク力がとても重要ですし、各自が責任を持って仕事を進める必要があります。このため、学習の進捗報告に関してLINEグループを作ります。授業内外での積極的な関りが求められます。予復修課題の一つとして取り組んでください。				
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 具体的な成果物とはオープンセミナー用の資料やプロモーション用の資料の他、配布可能レベルなテキスト等となります。何種類もの成果物を「創造的に作る」ことが求められます。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7. 学習の進捗報告		10 %					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定しません。						
参考書	授業中に必要に応じて適宜指示します。						
				10 テキスト制作 キーワードから逆引きして説明文を考えましょう。 予復修課題：キーワードを説明した文章をグループLINEで共有してください。(1.0時間)			
				11 テキスト制作 原稿の内容について理解を深めるために必要な資料を集めましょう。 予復修課題：集めた資料(写真・イラスト・論文・ニュース等)について出典を共有してください。(1.0時間)			
				12 テキスト制作 原稿の内容について理解を深めるために必要な資料を集めましょう。 予復修課題：集めた資料(写真・イラスト・論文・ニュース等)について出典を共有してください。(1.0時間)			
				13 テキスト制作 レイアウトを完成させましょう。 予復修課題：レイアウト済の各ページをグループLINEで共有してください。(0.5時間)			
				14 成果報告会 自分が担当した業務について1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)			
				15 総括：テキストを完成させ、外部の利用機関の編集責任者にジャッジしてもらいます。 どのような点が新しい課題になるかについて学びましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)			

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップC【ステップアップ方式・教員志望者対象】				単位数	授業内容**	
	Workshop C (step-up type)				2	1 ガイダンス：授業の進め方、学校現場での実習等について 予復修課題：「授業概要」「到達目標」を書き写すことと、関連して学習指導要領を読む。所要時間は180分を予定。	
担当者	前田 武男 (MAEDA Takeo)				専任	2 教職へのキャリア形成について： (現時点で) 「100パーセントの確率で教師になる」の道 (方法論とその行程) 予復修課題： 前回授業についてのUNIVERSAL PASSPORTを書き写し、授業の復修を十分すること。所要時間は180分を予定。	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		EEK3301		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	前期集中	(コース)区分*	全領域		
授業概要	教員としての経験を活かし、授業を展開する。この科目は、講義と実習とで構成される。講義では、教職を目指すものの心構えや教職についての実践的な知識を修得する。実習では実際の学校現場体験から、教育を行う側の感覚を味わう。この双方を通して、3年次の教職への希望(意識)を自己の真摯な目的意識へと高めていくのがねらいである。この科目はステップアップ方式を採るので、2年次のワークショップBを修得せずして3年次のワークショップCは履修できない。実習時間は学年が上がるにつれて多くなる。						
	3 学校現場での実習① 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。						
	4 学校現場での実習② 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。						
	5 学校現場での実習③ 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。						
授業到達目標	1 教職の魅力について、自分なりの説明ができる。 2 なぜ、教職に就こうとしているのか、はっきりと説明ができる。 3 教職に携わる者の心構えについていろいろな角度から考えることができる。 4 教員としてのベース(基礎・基本)とは何かについて深く考えることができる。 5 教職の基本的な仕組みについての授業(講義)がよく理解できる。 6 学校現場体験で教職についての魅力を自覚できる。						
	7 これまでの実習の振り返り① ・・・グループ協議 予復修課題： 協議事項等について、フィードバックし、整理する。所要時間は180分を予定。						
	8 学校現場での実習④ 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。						
	9 学校現場での実習⑤ 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					◎	10 学校現場での実習⑥ 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	11 学校現場での実習⑦ 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	12 学校現場での実習⑧ 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 小学校学習指導要領				
1. 小テスト、感想文など		%	2) 中学校学習指導要領				
2. 中間テスト		%	3) 高等学校学校学習指導要領				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %	いずれかを準備にすること				
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	1) 実践学修(スクールヘルパー事業に参加)				
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %	2) グループディスカッション				
		%	3) 体験発表				
		%	4) 北九州教師養成みらい塾等に参加				
再評価の実施	する	しない	○				
教科書							
参考書	小学校・中学校学習指導要領、小学校・中学校学習指導要領解説(社会科)						
	15 予復修課題： 授業の復修を十分すること。所要時間は180分を予定。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ワークショップC【セパレート方式】 Workshop C (Separate type)				単位数	授業内容**			
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)				2	1 ガイダンス 本講義の目的や活動内容の説明 予復修課題：ワークショップの基礎資料を渡します。読み込んで来てください。			
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				専任	2 事前学習 活動テーマの検討 予復修課題：ワークショップとして取り組むテーマを考えておいてください。			
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	3 事前学習 活動テーマの実施計画 予復修課題：ワークショップとして取り組むテーマを考えておいてください。			
配当年次		3年生	開講学期	前期集中	(コース)区分*	全領域	4 事前学習 ワークショップで取り組むテーマを発表してもらいます。 予復修課題：ワークショップの実施計画書をまとめておいてください。			
授業概要		この講義は社会体験学習であり、本講義を通じ地域活性化への理解を深めるとともにチームとしてイベントに参加しながら、効果的な活動方法を考え、提案する。また、まちづくりイベントおよび地域活性化イベントに参加することにより、経済・経営活動である企画、製品開発流通、販売などの実践的な活動を学び、経済・経営学の理論と実践に関する知識やスキルを高めるものである。WS-Cでは、ワークショップ内でのサブプロジェクトの運営について積極的にかかわる。会社実務経験に基づき、プロジェクト運営を指導する。				5 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：ロジカルシンキングについての基礎資料を読み込んでおくこと				
授業到達目標		1. 経済・経営活動の実践的活動がわかる。 2. 経済・経営学の主要論点がわかる。 3. チーム活動が理解できる・積極的に考え、行動に結びつけることができる。 4. 地域活性化活動が理解できる。				6 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答				
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答				
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答				
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答				
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				11 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	この授業は地域でのイベントに合わせて学外で実習をします。 ・授業の資料や討議メモはGoogle DriveにULします。ログインできるよう、事前にGmailアカウントを取得しておいてください。 ・資料を読んでから1時間程度を使って考えを深めてください。イベントは不定期に開催されます。都度、日程は事前連絡します。				12 実習 各チームに分かれ事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：進捗状況の発表と質疑応答			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				13 事後学習 活動報告の実施要領を説明します。 予復修課題：活動報告の作成準備			
再評価の実施		する	・ワークショップは主体的に観察・検討・討議発表を行うことが授業そのものです				14 事後学習 活動報告の発表資料を作成する。 予復修課題：活動報告の作成準備			
教科書		適宜、Google DriveにULします。(松井洋一郎「まちゼミ」、商業界、2017年)				15 活動報告会と授業の総括 活動報告を実施します。 予復修課題：作成した活動報告の本編を持参してください。				
参考書		授業中に指示します。								

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ワークショップC【ステップアップ方式・公務員等志望者対象】 Workshop C (Step-up type)				単位数	授業内容**		
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1	. 授業時間数 講義7.5時限と学外活動15時限で実施する。 本科目は、インターンシップ参加を授業内容の基幹とするが、社会貢献活動も継続して行う。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEK3301		専任	2		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3	. 講義 (1) 学外活動の事前学習として、以下のような内容を予定している。 各公務員の職務内容について理解する(行政職) 各公務員の職務内容について理解する(公安職) 職業意識向上研修 インターンシップにおけるルールとマナーについて その他社会貢献活動事前指導	
配当年次	3年生	開講学期	前期集中		全領域		4		
授業概要	警察官や消防官、県や市の行政職員といった公務員等の職業は、地域住民が、快適で安心して安全に暮らすことのできる生活環境をつくるために、地域のために働く極めて社会貢献性の高い職業です。したがって、将来、公務員等を志す人は、社会貢献マインドを身に付ける必要があるため、ワークショップA、Bにおいて学んできました。身に付けた社会貢献性をもって自治体、警察、消防等のインターンシップに参加し、さらに職業意識を高めていきましょう。また、引き続き社会貢献活動も行います。						5	(2) 学外活動の事後学習として、以下のような内容を予定している。 インターンシップの成果として感じられたことおよび反省 採用試験に対する心構え その他社会貢献活動事後指導	
授業到達目標	社会貢献活動について知り、その活動の目的について理解することができる。 大学生として自分たちにできる真の社会貢献について考えることができる。 社会貢献マインドを養うことができる。 社会貢献活動におけるルールとマナーを身に付けることができる。 公務員等社会貢献性の高い職業に就こうとする意欲が高まる。						6		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								8	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								9	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								10	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				11	(3) 社会貢献活動 防犯ボランティア 地域連携事業として連携締結自治体PR活動等 その他
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		【ステップアップ方式】はワークショップA B(2年次) C(3年次) D(4年次)と順次継続して履修しなければなりません。したがって、1年次にワークショップAを履修していなければ、2年次にBを履修することができません。また、2年次にワークショップAを履修することもできません。				12	
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				13	【予復修課題：取組時間 約4時間】
1. まとめのテスト		%		ミニッツペーパー(随時)				14	
2. 論文、まとめのレポートなど		20%		Think-Pair-Share				15	
3.		%		グループディスカッション					
再評価の実施	する	しない		グループワーク					
教科書	講義レジュメを使用する。								
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップC【ステップアップ方式・企業志望者対象】				単位数	授業内容**	
	Workshop C (Step-up Type)				2	1 ガイダンス、活動チームの決定 ワークショップの概要、目的、スケジュールについて説明します 予復修課題：シラバスを読んでください。	
担当者	澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				専任	2 事前学習① 地域の問題、スポーツを通じた課題について調査し、活動テーマを検討します 予復修課題：自分なりの課題発掘をしておいてください。	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング EEK3301					3 事前学習① 地域の問題、スポーツを通じた課題について調査し、活動テーマを検討します 予復修課題：自分なりの課題発掘をしておいてください。	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科		4 実習① イベント主催者と企画提案会議に参加する 予復修課題：チームで考えたアイデアを発表できるよう準備しておきましょう。
配当年次	3年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域		5 実習① イベント主催者と企画提案会議に参加する 予復修課題：チームで考えたアイデアを発表できるよう準備しておきましょう。
授業概要	ワークショップは経験を通じた学習であり、受け身で授業を聞くのではなく、自ら考え能動的に動く形の授業です。ワークショップCでは、ワークショップA、Bで行った活動を基に、自ら社会で起きている問題や課題に対して、どのように解決していくのかを考え、実践を通じて学習して行きます。地域活性化の課題、スポーツを通じた課題解決など、学生が何らかの役割ができないのかをテーマとして考えます。ステップアップ方式では、A(1年)→B(2年)の履修者のみCを履修できます。						6 実習② 企画会議に基づいて、各自で現場取材を行う 予復修課題：効率よく取材ができるよう、準備を進めて下さい。
授業到達目標	①ワークショップとは何かを理解できる ②地域の問題に関心を持ち、それを解決する方法について考えることができる ③相手の意見を聞くこと、自分の意見を主張することができる ④チームで課題に取り組むことの重要性を理解し、それに沿って行動できる ⑤自ら考えた課題に向けて、行動を取ることができる						7 実習② 企画会議に基づいて、各自で現場取材を行う 予復修課題：効率よく取材ができるよう、準備を進めて下さい。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						○
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						○
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						◎
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	①学外での活動もあるので、共立大の学生として最低限のマナーを身につけておくこと。					
1. 小テスト、感想文など	%	②課題については、授業時間内に終わらない場合もあるので、予修・復修を含めて時間を有効に活用できるように心がけること。					
2. 中間テスト	%	※予・復修は60分をめぐりに行うこと					
3. 課題レポートなどの提出物	20 %	アクティブ・ラーニング					
4. 授業中の発表、討論	20 %	・グループワーク [第2回～第15回]					
5. 授業への参加意欲	20 %	11 事後学習① 参加したプロジェクトを通じて得られた内容を振り返り、まとめる 予復修課題：わかりやすい報告を行い、ワークショップDにつなげましょう。					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%	12 事後学習② 半年の活動を振り返り、プレゼンテーション用の資料を作成する。 予復修課題：これまでの活動内容をまとめて、わかりやすい資料にまとめること。					
7.	%	13 事後学習② 半年の活動を振り返り、プレゼンテーション用の資料を作成する。 予復修課題：これまでの活動内容をまとめて、わかりやすい資料にまとめること。					
2) 最終到達度の評価	14 活動報告会と授業の総括 各チームごとにプレゼンテーションを行い、授業の総括を行います。 予復修課題：わかりやすい報告を行い、ワークショップDにつなげましょう。						
1. まとめのテスト	%	15 活動報告会と授業の総括 各チームごとにプレゼンテーションを行い、授業の総括を行います。 予復修課題：わかりやすい報告を行い、ワークショップDにつなげましょう。					
2. 論文、まとめのレポートなど	40 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない	○				
教科書							
参考書							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップD【ステップアップ方式・企業志望者対象】				単位数	授業内容**	
	Workshop D (Step-up type)				2		
担当者	澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				専任		
実務経験のある教員による授業	ナンバリング				EEK4301		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	4年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域		
授業概要	ワークショップは経験を通じた学習であり、受け身で授業を聞くのではなく、自ら考え能動的に動く形の授業です。ワークショップDでは、ワークショップCまでに行った活動を基に、自ら社会で起きている問題や課題に対して、どのように解決していくのかを考え、実践を通じて学習していきます。地域活性化への取り組み、スポーツを通じた課題解決など、学生が何らかの役割ができないのかをテーマとして考えます。ステップアップ方式では、A(1年)→B(2年)→C(3年)の履修者のみDを履修できます。						
	授業到達目標	①ワークショップとは何かを理解できる ②地域の問題に関心を持ち、それを解決する方法について考えることができる ③相手の意見を聞くこと、自分の意見を主張することができる ④チームで課題に取り組むことの重要性を理解し、それに沿って行動できる ⑤自ら考えた課題に向けて、行動を取ることができる					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						○
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						○
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						◎
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	①学外での活動もあるので、共立大の学生として最低限のマナーを身につけておくこと。				
1. 小テスト、感想文など		%	②課題については、授業時間内に終わらない場合もあるので、予修・復修を含めて時間を有効に活用できるように心がけること。 ※予・復修は60分をめどに行うこと				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・グループワーク [第2回～第15回]				
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない	○				
教科書							
参考書							
	1	ガイダンス、活動チームの決定 ワークショップの概要、目的、スケジュールについて説明します 予復修課題：シラバスを読んでください。					
	2	事前学習① 地域の問題、スポーツを通じた課題について調査し、活動テーマを検討します 予復修課題：自分なりの課題発掘をしておいてください。					
	3	事前学習① 地域の問題、スポーツを通じた課題について調査し、活動テーマを検討します 予復修課題：自分なりの課題発掘をしておいてください。					
	4	実習① イベント主催者と企画提案会議に参加する 予復修課題：チームで考えたアイデアを発表できるよう準備しておきましょう。					
	5	実習① イベント主催者と企画提案会議に参加する 予復修課題：チームで考えたアイデアを発表できるよう準備しておきましょう。					
	6	実習② 企画会議に基づいて、各自で現場取材を行う 予復修課題：効率よく取材ができるよう、準備を進めて下さい。					
	7	実習② 企画会議に基づいて、各自で現場取材を行う 予復修課題：効率よく取材ができるよう、準備を進めて下さい。					
	8	実習③ プロジェクトの活動(福原学園傘下の幼稚園でのラグビー体験) 予復修課題：イベントの内容が幼稚園の先生、園児に理解されやすいよう準備して下さい。					
	9	実習③ プロジェクトの活動(福原学園傘下の幼稚園でのラグビー体験) 予復修課題：イベントの内容が幼稚園の先生、園児に理解されやすいよう準備して下さい。					
	10	事後学習① 参加したプロジェクトを通じて得られた内容を振り返り、まとめる 予復修課題：わかりやすい報告を行い、ワークショップDにつなげましょう。					
	11	事後学習① 参加したプロジェクトを通じて得られた内容を振り返り、まとめる 予復修課題：わかりやすい報告を行い、ワークショップDにつなげましょう。					
	12	事後学習② 半年の活動を振り返り、プレゼンテーション用の資料を作成する。 予復修課題：これまでの活動内容をまとめて、わかりやすい資料にまとめること。					
	13	事後学習② 半年の活動を振り返り、プレゼンテーション用の資料を作成する。 予復修課題：これまでの活動内容をまとめて、わかりやすい資料にまとめること。					
	14	活動報告会と授業の総括 各チームごとにプレゼンテーションを行い、授業の総括を行います。 予復修課題：これまでの活動をまとめ、わかりやすい報告を行います。					
	15	活動報告会と授業の総括 各チームごとにプレゼンテーションを行い、授業の総括を行います。 予復修課題：これまでの活動をまとめ、わかりやすい報告を行います。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップD【ステップアップ方式・教員志望者対象】				単位数	授業内容**	
	Workshop D (step-up type)				2	1 ガイダンス：授業の進め方等について	
担当者	前田 武男 (MAEDA Takeo)				専任	予復修課題：「授業概要」「到達目標」を書き写すことと、関連して学習指導要領を読む。所要時間は180分を予定。	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング EEK4301			2 学校現場での実習①	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
配当年次	4年生	開講学期	前期集中	(コース)区分*	全領域	2 学校現場での実習②	
授業概要	教員としての経験を活かした授業展開とし、この科目は、講義と実習とで構成される。講義では、教職を目指すものの心構えや教職についての基礎的な知識を修得する。実習では実際の学校現場体験から、教育を行う側の感覚を味わう。この双方を通して、4年次の教職への希望(意識)を自己の真摯な目的意識へと高めていくのがねらいである。この科目はステップアップ方式を採るので、3年次のワークショップCを修得せずして4年次のワークショップDは履修できない。必修科目ではないが、教職を希望する気持ちのある者はぜひ履修することを勧める。						
	授業到達目標	1 教職の魅力について、自分なりの説明ができる。					
2 なぜ、教職に就こうとしているのか、説明ができる。							
3 教職に携わる者の心構えについて考えることができる。							
4 教員としてのベースとは何かについて考えることができる。							
5 教職の基本的な仕組みについての授業(講義)が理解できる。							
6 学校現場体験で教職についての魅力を自覚できる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					◎	7 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	8 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	9 予復修課題： 日誌を丁寧に書き、いただいたコメントについて十分な復修をすること。所要時間は180分を予定。	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 小学校学習指導要領				
1. 小テスト、感想文など		%	2) 中学校学習指導要領				
2. 中間テスト		%	3) 高等学校学校学習指導要領				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %	いずれかを準備にすること				
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	1) 実践学修(スクールヘルパー事業に参加)				
2. 論文、まとめのレポートなど		40 %	2) グループディスカッション				
3.		%	3) 体験発表				
再評価の実施			4) 北九州教師養成みらい塾等に参加				
する							
しない							
○							
教科書							
参考書	小学校学習指導要領、中学校学習指導要領						
						15	予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTを書き写し、授業の復修を十分すること。所要時間は180分を予定。

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ワークショップD【ステップアップ方式・公務員等志望者対象】				単位数	授業内容**	
Workshop D (Step-up type)						2	1	・授業時間数 講義10.5時限と学外活動9時限で実施する。
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		菊池 裕子 (KIKUCHI Hiroko)		専任 & 非常勤	2	・講義
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEK4301			3	(1) 学外活動の事前学習として、以下のような内容を予定している。 これまでに取り組んだ社会貢献活動について分析を行う これまでの活動に関する課題や今後の可能性、特徴を整理する この授業を通して果たしたい役割を明確化する 具体的活動計画 その他
授業形式		演習		科目区分 実践科目群		学科・領域 (コース)区分*	4	
配当年次		4年生		開講学期 前期集中		経済・経営学科 全領域	5	(2) 学外活動の事後学習として、以下のような内容を予定している。 P D C A サイクルの随時実施 4年間の学外活動の成果として感じられたことおよび反省 その他
授業概要		ワークショップA～Cにおいて、社会貢献活動に取り組んできましたが、本科目では取り組んできましたが、本科目では取り組んできた社会貢献活動について概念化していきます。まず、これまでの活動を分析し、課題や今後の可能性、特徴を整理します。次に、この授業を通して果たしたい役割を明確化し、P D C Aを回しながら最後の社会後見活動に取り組んでいきましょう。概念化したものについては、学生研究報告会における発表や、卒論、ゼミ論につなげることを目標とします。					6	
授業到達目標		社会貢献活動について知り、その活動の目的について理解することができる。 大学生として自分たちにできる真の社会貢献について考えることができる。 社会貢献マインドを養うことができる。 社会貢献活動におけるルールとマナーを身に付けることができる。 公務員等社会貢献性の高い職業に就こうとする意欲が高まる。					7	・学外活動 ワークショップD (公務員等志望者対象)の学外活動として以下のようなものを予定している。 (1) 地域連携に基づく共同事業 地域連携締結自治体P R活動等：例えば、地域連携を締結している各町(3町)の特産品を使ったレシピ開発を行い、各自治体が連携して町の魅力をP Rできるようなイベント開催を予定。 地域連携による受託ボランティア その他
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		【ステップアップ方式】はワークショップA B(2年次) C(3年次) D(4年次)と順次継続して履修しなければなりません。したがって、1年次にワークショップAを履修していなければ、2年次にBを履修することができません。また、2年次にワークショップAを履修することもできません。				
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		10 %						
4. 授業中の発表、討論		20 %						
5. 授業への参加意欲		40 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		ミニッツペーパー(随時)				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %		Think-Pair-Share				
3.		%		グループディスカッション				
再評価の実施		する		グループワーク				
しない								
教科書		講義レジュメを使用する。						
参考書								
		【予復修課題：取組時間 約4時間】						
		10 防犯ボランティア 防犯マップ作製(更新) に基づいた防犯パトロール 防犯教室の開催 その他						
		11						
		12						
		13						
		14						
		15						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ワークショップD【セパレート方式】 Workshop D (Separate type)				単位数	授業内容**	
担当者	澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				2	1 ガイダンス、活動チームの決定 ワークショップの目的、活動内容を説明します。 予復修課題：シラバスを読んで来て下さい。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 事前学習 活動テーマを検討します。 予復修課題：ワークショップとして取り組むテーマを考えておいて下さい。	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 事前学習 活動テーマの実施計画を考え、発表してもらいます。 予復修課題：取り組むテーマに深く取り組むための道筋を考えましょう。	
配当年次	4年生	開講学期	前期		全領域	4 実習 各チームに分かれて事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。	
授業概要	この講義は社会体験学習として、地域活性化への理解を深めてもらいます。チームとして、まちづくりイベントやスポーツイベントに参加しながら、イベントを通じた実社会での活動を体験するとともに、大学で学んだ経済、経営学の実践の場として知識やスキルを身につけてもらいます。				5 実習 各チームに分かれて事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。		
授業到達目標	1. 経済・経営活動の実践的活動がわかる。 2. 経済・経営学の主要論点がわかる。 3. チーム活動が理解できる。 4. 地域活性化活動が理解できる。 5. スポーツを通じたまちづくりについて考え、提案を行うことができる。				6 実習 各チームに分かれて事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：2回の実習内容をまとめておきましょう。		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 実習 各チームに分かれて事前計画に基づいて実習を行います。 予復修課題：実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 活動の中間レビュー これまでの活動内容を振り返り、残りの活動内容を見直します。 予復修課題：実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 活動の中間レビュー これまでの活動内容を振り返り、残りの活動内容を見直します。 予復修課題：実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. イベントの目的やターゲット、主催者の狙いを理解して参加すること				
1. 小テスト、感想文など		20 %	2. 気づきや疑問点はメモを残すこと				
2. 中間テスト		%	3. チーム活動に積極的に参加すること				
3. 課題レポートなどの提出物		%	4. 連絡用にPCのアカウントを取得しておくこと(ライン、携帯以外)				
4. 授業中の発表、討論		20 %	5. 通年・適宜開催で学外イベントに参加する				
5. 授業への参加意欲		30 %	予復修は60分程度をめぐりに各自で行うこと				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	アクティブ・ラーニング				
7.		%	グループディスカッションによって活動テーマを決め、グループワーク、フィールドワークを行い、報告プレゼンテーションで締めくくる。				
2) 最終到達度の評価			14 活動報告会と授業の総括 各チームからプレゼンテーションを行ってもらいます。 予復修課題：プレゼンテーション内容を事前に予演する。				
1. まとめのテスト		%	15 活動報告会と授業の総括 各チームからプレゼンテーションを行ってもらいます。 予復修課題：プレゼンテーション内容を事前に予演する。				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %					
3. イベント検定受験		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 A 【公務員試験】			Seminar A for Qualifications		単位数	授業内容**	
担当者	大谷 美咲 (OTANI Misaki)					専任	1	1週目、木曜3限 研究会の特徴、授業の進め方、成績評価、公務員試験の全体像の解説 予復修課題：ノート整理	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			EEK1101			2	1週目、木曜4限 集合 予復修課題：テキスト該当箇所の演習問題復修	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	1年生	開講学期	前期前半	(コース)区分*	全領域				
授業概要	<p>大学生生活の成果を資格取得という形で「見える化」することは、就職活動などの場面で非常に有益なものとなります。本講義では各人のやる気を積極的に支援します。この講義は公務員試験合格を目指す学生を対象とした基礎力向上講座です。公務員試験の重要科目数的推理を中心に問題演習をしていきます。集中的に学習するため、木曜日の3、4限連続で実施します。(前期前半に集中)</p>						3	2週目、木曜3限 集合 (キャロル表の利用) 予復修課題：テキストの該当箇所説明部分を読んで理解しておく。	
授業到達目標	<p>1. 能力向上に挑戦する意識を高めること。 2. 能力向上に挑戦できること。 3. 能力向上に挑戦し続ける方法を身につけること。 4. 判断推理の基本問題を解けるようになること。</p>						4	2週目、木曜4限 命題の真偽 予復修課題：授業中行った問題を解きなおしておくこと。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							5	3週目、木曜3限 暗号 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							6	3週目、木曜4限 対応関係 予復修課題：授業中行った問題を解きなおしておくこと。	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							◎	7	4週目、木曜3限 対応関係 (応用) 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							◎	8	4週目、木曜4限 順序関係 予復修課題：中間テストに向けて、今まで説いたすべての問題を解きなおしておくこと。
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				9	5週目、木曜3限 中間テストと解説 予復修課題：間違った問題を中心に復修すること。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	<p>本講義は公務員試験に特化した講義です。必要な教材等は必ず用意すること。 * 自宅学習時間は1時間以上とする。</p>					10	5週目、木曜4限 位置関係 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。	
1. 小テスト、感想文など	%						11	6週目、木曜3限 位置関係 (円卓) 予復修課題：授業中行った問題を解きなおしておくこと。	
2. 中間テスト	40 %						12	6週目、木曜4限 試合の勝敗 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。	
3. 課題レポートなどの提出物	%						13	7週目、木曜3限 整数問題 予復修課題：テキスト該当箇所の説明部分を読んで理解しておくこと。	
4. 授業中の発表、討論	%						14	7週目、木曜4限 全体の復修 予復修課題：5週目以降の範囲について試験に向けて復修しておくこと。	
5. 授業への参加意欲	%						15	8週目、木曜3限 まとめのテストと解説 予復修課題：全体の復修	
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	50 %	中間テストを実施する。							
2. 論文、まとめのレポートなど	%								
3.	%								
再評価の実施	する ○	しない							
教科書	新スーパー過去問ゼミ 判断推理 大卒警察・消防 実務教育出版								
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 A【社会人基礎講座】 Seminar A for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者		辻 敏晴 (TSUJI Toshiharu)				2	1 (1週目、木曜3時限) 講座の勧め方、成績評価、毎回の予復修などのガイダンス。 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: この講座を受ける意味を、自分なりに考えてきてください。(目安時間30分)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 (1週目、木曜4時限) 社会人として求められる基本とは。 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 左の「授業到達目標」について、自分なりの目標を考えてきてください。(30分)	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	EEK1101	3 (2週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎知識 1 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 前回の授業で出される宿題をしてきてください。内容は授業の際に伝達します。(1時間)	
配当年次	1年生	開講学期	前期前半		全領域		4 (2週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり 1 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 予修として作文のトレーニングをしてきてください。(1時間)	
授業概要	本講座では、近い将来にやってくる就職(社会人デビュー)に備え、社会人として求められる考え方、社会知識、コミュニケーションの基礎能力をトレーニングします。これらを1年次から意識することで、3年次に始まる就職活動の成功にむけての効果的な準備となります。 なお本プログラムに集中的に取り組むため、木曜日3時限・4時限の2コマ連続で実施していきます。							5 (3週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎知識 2 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 前回の授業で出される宿題をしてきてください。内容は授業の際に伝達します。(1時間)
授業到達目標	1. 社会人として活躍できる人材になるため、自分に必要なものができるようになる 2. 社会人や職業人に必要な考え方の理解を深め、日々の生活で意識できるようになる 3. 社会人として必要な人間関係の作り方を学び、学生時代から実践できるようになる							6 (3週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり 2 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: グループワークの目的や効果について事前研究をしてきてください。(1時間)
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 (4週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎知識 3 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								8 (4週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり 3 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: グループワークの効果的な進め方について事前研究をしてきてください。(1時間)
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								9 (5週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎知識 4 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								10 (5週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり 4 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 自分のコミュニケーション面での課題を考えてきてください。(1時間)
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				11 (6週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎知識 5 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	1. 小テスト、感想文など		30 %		1. 授業で学んだことが実践できているかを随時、感想文などで確認します。		12 (6週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり 5 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 自分のグループワーク上での課題をまとめてきてください。(1時間)
		2. 中間テスト		%		2. もともと持っている知識や能力の優劣よりも、課題に対する真面目な取り組みを重要視します。		13 (7週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎知識 6 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)
		3. 課題レポートなどの提出物		%		3. 予復修の取り組みを随時、確認します。		14 (7週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり 6 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: これまでの授業内容のまとめをしてきてください。(1時間)
		4. 授業中の発表、討論		10 %				15 (8週目、木曜3時限) まとめのテスト 講義の総括 予復修課題: まとめテストに備えて、これまでの内容を整理し、意見をまとめておいてください。(1時間)
		5. 授業への参加意欲		50 %				
		6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
		7.		%				
2) 最終到達度の評価		1. まとめのテスト		10 %		アクティブ・ラーニング		
		2. 論文、まとめのレポートなど		%		グループワークを複数回実施		
		3.		%		ミニッツペーパーを毎回実施		
再評価の実施	する	しない						
教科書	なし							
参考書								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会A【FP技能検定3級】 Seminer A for Qualifications (Finacial Planning)				単位数	授業内容**	
担当者	内山 貴博 (UCHIYAMA Takahiro)				2	1 FPとは何か?FP資格の魅力 様々な事例を取り上げFP知識の必要性の高さを紹介 予復修課題: FPについて資格の種類、資格の活用方法を調べる	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EK1101	2 FPワーク ライフプランや教育費などワークを通して必要な資金の把握、ライフプランの確認 予復修課題: FPについて資格の種類、資格の活用方法を調べる	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	1年生	開講学期	前期前半		全領域		
授業概要	国家資格でもあり、金融機関などでも必要度の高まっているファイナンシャルプランナーについて学習する。FPの実務経験を活かし、ファイナンシャルプランに必要な資金計画、年金を中心とした社会保険、生命保険や損害保険の基礎知識、実践的な知識と試験対策両面を意識した講義を実施する。 注意点)原則、FP研究会AとB続けて受講推奨。A、Bの後、後期でC、Dの受講。A~Dすべて受講することでFP全科目を網羅できる。				3 ライフプランニングと資金計画 医療・介護などの社会保険制度を学習 予復修課題: 授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること		
授業到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士3級試験で合格するための基礎知識の習得、及びファイナンス分野に接することで、2級以上のFP(ファイナンシャルプランニング)資格取得や、経済・金融・財務等その他学部科目における探究心を向上させることができる。				4 ライフプランニングと資金計画 老齢年金、遺族年金など公的年金の仕組みを学習 予復修課題: 授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	研究会AとB両方履修。 どちらかみの履修は原則認めない。				
1. 小テスト、感想文など		%	3回目以降の予復修課題は授業中に伝える。				
2. 中間テスト		%	30分程度実施時間を確保すること。				
3. 課題レポートなどの提出物		30%	また、新聞(できれば日経新聞)				
4. 授業中の発表、討論		25%	を授業前日当日分15分程度経済社会面を中心に				
5. 授業への参加意欲		15%	目を通したうえで受講すること。				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	積極的に挙手の上、発表をしてもらう。				
2. 論文、まとめのレポートなど		30%	発表の回数は授業終了後にカウントし、				
3.		%	評価対象とする。				
再評価の実施	する	しない					
教科書	19年~20年度版最短合格FP技能士2級(きんざいFPセンター)						
参考書	15 まとめのレポート レポート実施、総括 予復修課題: 前期で学習したテキスト箇所を一通り読んでくること						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 A【スポーツビジネス】 Seminar A for Qualifications			単位数	授業内容**	
担当者		瀬筒 義久 (SEZUTSU Yoshihisa)			2	1 講師自己紹介、講義概要、今後の進め方 スポーツビジネスに関するまとめ。情報リテラシー、この講義に対するスタイル 予復修課題：身近なメディア	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			非常勤 講師	2 コミュニケーション能力、プレゼン能力の基礎。 自己PR、自己アピールの実践、評価 予復修課題：企画を立てる事の考え方などを把握してくる	
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	経済・経営学科	EEK1101	
配当年次		1年生	開講学期	前期前半	学科・領域 (コース)区分*	全領域	
授業概要	スポーツビジネスを中心に、イベント・番組制作など全てのジャンルに対応できる企画の 立て方、限定された課題の中で、0からの発想によりアイデアを構築し、企画書を完成させる その企画書を多くの人に人々に理解してもらうためのプレゼン能力を養う。 情報リテラシー 世の中に数多ある情報をいかに自分のものにするか？見極める力を養う。 自己目標とそれを達成するための戦略と行動計画。						
	授業到達目標	与えられた課題の中で、自由な発想と、ニーズに応えられる企画を構築できる。 個人（もしくはチーム）で創造した企画の主旨、内容を伝えることができる。 学生同士の評価により、より高いレベルを目指すことができる。 段取りを見極めて企画をチームで作りに上げることができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問 体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職 業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。 また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表 現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判 断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進 んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	企画書の作成、プレゼンの内容 受講数によってプレゼン時間が増え 企画の作成回数が増えることがあります。 現時点では4回の企画作成予定 予復修時間の目安：15分程度				
1. 小テスト、感想文など		10 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					
4. 授業中の発表、討論		40 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		10 %					
3. 制作・発表内容		10 %					
再評価の実施		する	しない				
教科書							
参考書							
		15 講義総括 予復修課題：授業内容のまとめ					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 A【簿記3級】 Seminar A for Qualifications (Book-keeping)			単位数	授業内容**	
担当者		正田 淳一 (MASADA Junichi)			2	1 (1週目、木曜日3時限) 研究会の授業の進行方法、教科書、成績評価の説明 予復修課題：自分なりに「簿記とは何か」考えてみること	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 (1週目、木曜日4時限) 簿記の基礎 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】	
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	
配当年次		1年生	開講学期	前期前半	(コース)区分*	全領域	
授業概要		大学での学習の結果を「簿記3級資格取得」で表現できれば、本人が自信を増すことになり就職活動においてもアピールできることとなる。 「簿記」を初めて学ぶ学生が興味を持てるように、簿記検定の基礎となる仕訳と転記を学びます。 簿記検定に必要な仕訳及び総勘定元帳の知識を身につけることが出来ます。					3 (2週目、木曜日3時限) 簿記の基礎 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】
授業到達目標		1. 初めて学ぶ「簿記」に興味を持ち、基本的な知識を修得することができる。 2. 自らの能力の向上させるために、予復修の課題をこなす。 3. 社会人としての必要な会計の基礎を理解することができる。 4. 学習を通じて、継続力・忍耐力を身につける。					4 (2週目、木曜日4時限) 現金預金 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 電卓を事前に準備しておくこと 2. 当講義は資格取得に繋げる基礎力を養っていくため、下記指定の教科書を必ず購入し、講義に参加すること。 3. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。				
1. 小テスト、感想文など		20 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50 %	小テスト(第8回、第12回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		究極の仕訳集 日商簿記3級 第3版 T A C 簿記検定講座					
参考書							
		5 (3週目、木曜日3時限) 現金預金 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		6 (3週目、木曜日4時限) 商品売買 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		7 (4週目、木曜日3時限) 商品売買 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		8 (4週目、木曜日4時限) クレジット取引・手形・電子記録債権債務 小テスト実施【現金預金・商品売買】 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		9 (5週目、木曜日3時限) クレジット取引・手形・電子記録債権債務 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		10 (5週目、木曜日4時限) その他の取引 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		11 (6週目、木曜日3時限) その他の取引 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		12 (6週目、木曜日4時限) その他の取引 小テスト実施【債権債務・その他の取引】 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		13 (7週目、木曜日3時限) その他の取引 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		14 (7週目、木曜日4時限) 決算整理 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】					
		15 (8週目、木曜日3時限) まとめのテストおよび授業の統括 予復修課題：今までの学習項目を見直すこと					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会B【スポーツビジネス】 Seminar B for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：研究会Aの成果報告をPowerPointにまとめてください。(約0.5時間)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 研究会Aのまとめのプレゼン 前期前半部分で行った研究会Aの成果について報告していただきます。 予復修課題：他者の発表内容についてフィードバックシートを完成させてください。(約1.0時間)	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 トレーナー・コーチを育成する講座体験 養成コースのダイジェスト講義を受けてテキスト作成上の課題を発見します。 予復修課題：受講による気付きをレポートにまとめて報告してください。(約1.0時間)	
配当年次	1年生	開講学期	前期後半		全領域	4 トレーナー・コーチを育成する講座体験 養成コースのダイジェスト講義を受けてテキスト作成上の課題を発見します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)	
授業概要	スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義では「スポーツビジネスの分野における課題を解決しよう!」というコンセプトで皆さんに関わっていただきます。前年(2019年)にはギラヴァンツ北九州とコラボレートして行っているシニア健康教室に参加して「高齢者向けの運動実践マニュアル」の作成を行いました。本年度は急速に伸びてきているパーソナルトレーニングジムにおいて活用できる指導者養成テキストの作成についてチャレンジしていただきます。				5 担当業務表と制作スケジュールを完成 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)		
授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 収集した情報を知的財産権を考慮した上で活用することができる。				6 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では成果物を完成することが求められます。集中講義形式になりますが、簡単にできるものではありません。チームワーク力がとても重要ですし、各自が責任を持って仕事を進める必要があります。このため、学習の進捗報告に関してLINEグループを作ります。授業内外での積極的な関りが求められます。予復修課題の一つとして取り組んでください。				
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 講義の中でプレゼンテーションを行う機会があります。毎回の振り返りの中でレポートをまとめる力をレベルアップし、PowerPointで発表資料を作成し学外のコンテストに出場します。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7. 学習の進捗報告		30 %					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定しません。						
参考書	授業中に必要に応じて適宜指示します。						
				10 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
				11 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
				12 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
				13 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)			
				14 成果報告プレゼン グループワークの成果を報告してもらいます。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)			
				15 総括：テキストを完成させ、外部の利用機関の編集責任者にジャッジしてもらいます。 どのような点が新しい課題になるかについて学びましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)			

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会B【FP技能検定3級】 Seminar B for Qualifications (Financial Planning)				単位数	授業内容**	
担当者	内山 貴博 (UCHIYAMA Takahiro)				2	1	金融資産運用 資産運用の重要性 予復修課題：FP研究会Aの復修をしてくる
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEK1102	2	金融資産運用 単利と複利の違いや国債を中心に債券の仕組みを学習 予復修課題：FP研究会Aの復修をしてくる
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	1年生	開講学期	前期後半		全領域		
授業概要	国家資格でもあり、金融機関などでも必要度の高まっているファイナンシャルプランナーについて学習する。FPの実務経験を活かし、研究会Aの内容を踏まえ、新たな資産運用(金融)とタックスプランニングについて授業を実施する。資産運用においては、株式や投資信託など投資商品の理解をし、老後への資産形成はどうあるべきか?を考える機会とする。注意点)原則、FP研究会AとB続けて受講推奨。A、Bの後、後期でC、Dの受講。A~Dすべて受講することでFP全科目を網羅できる。					3	金融資産運用 株式取引の一連の流れから投資指標の計算方法と活用方法を学習 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること
授業到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士3級試験で合格するための基礎知識の習得、及びファイナンス分野に接することで、2級以上のFP(ファイナンシャルプランニング)資格取得や、経済・金融・財務等その他学部科目における探究心を向上させることができる。					4	金融資産運用 債券投資、利回りの計算方法 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						5	金融資産運用 投資信託を組成している各機関の役割と投信の仕組み、現状を学習 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						6	金融資産運用 課題レポート 予復修課題：株式や債券など計算問題をを中心に復修
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						7	金融資産運用 総括 レポート総評、金融総復修 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること。
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				8	タックスプランニング 税金全体像の確認、税の仕組み 予復修課題：所得税の計算過程についてテキストを使い確認しておくこと
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	研究会AとB両方履修。 どちらかみの履修は原則認めない。				9	タックスプランニング 所得税の仕組み 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること
1. 小テスト、感想文など	%	3回目以降の予復修課題は授業中に伝える。				10	タックスプランニング 各種所得控除、税額控除の仕組み 予復修課題：所得控除と税額控除、それぞれの違いを確認する
2. 中間テスト	%	30分程度実施時間を確保すること。				11	タックスプランニング 給与所得を中心に計算方法の確認 予復修課題：10種類の所得について要点整理を行う
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	また、新聞(できれば日経新聞)				12	タックスプランニング 課題レポート 予復修課題：所得税の計算体系を復修
4. 授業中の発表、討論	25 %	を授業前日当日分15分程度経済社会面を中心に				13	タックスプランニング 総括 課題レポート について総評、タックス総復修 予復修課題：所得税額を算出できるよう、テキストの指定問題(授業中に指定)に取り組む
5. 授業への参加意欲	15 %	目を通したうえで受講すること。				14	F P 3級学科、実技試験対策 計算問題などを中心に解き方などを解説。 予復修課題：事前に講義中に指定した問題に取り組んで受講すること
6. 自主的学習(予習・復習など)	%	アクティブ・ラーニング				15	まとめのレポート レポート実施、総括 予復修課題：金融・タックス分野、授業で取り上げた内容をノート等を使い一通り確認してくること
7.	%	積極的に挙手の上、発表をしてもらう。 発表の回数は授業終了後にカウントし、 評価対象とする。					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト	%						
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	19年~20年度版最短合格FP技能士2級(きんざいFPセンター)						
参考書							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会B【簿記3級】 Seminar B for Qualifications (Book-keeping)			単位数	授業内容**	
担当者		正田 淳一 (MASADA Junichi)			2	1 (8週目、木曜日4限目) 研究会の授業の進行方法、教科書、成績評価の説明、研究会Aの総まとめ 予復修課題：研究会Aの復修	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 (9週目、木曜日3限目) 決算整理 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科	EEK1102
配当年次	1年生	開講学期	前期後半		全領域		3 (9週目、木曜日4限目) 決算整理 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】
授業概要	<p>大学での学習の結果を「簿記3級資格取得」で表現できれば、本人が自信を増すことになり就職活動においてもアピールできることとなる。 「簿記」を初めて学ぶ学生が興味を持てるように、簿記検定の基礎となる仕訳と転記を学びます。 簿記検定に必要な仕訳及び総勘定元帳の知識を身につけることが出来ます。</p>						4 (10週目、木曜日3限目) 決算整理 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】
授業到達目標	<p>1. 初めて学ぶ「簿記」に興味を持ち、基本的な知識を修得することができる。 2. 自らの能力の向上させるために、予復修の課題をこなす。 3. 社会人としての必要な会計の基礎を理解することができる。 4. 学習を通じて、継続力・忍耐力を身につける。</p>						5 (10週目、木曜日4限目) 決算整理 予復修課題：学習項目の仕訳及び総勘定元帳を解き直すこと【30分】
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 電卓を事前に準備しておくこと				
1. 小テスト、感想文など		20 %	2. 当講義は資格取得に繋げる基礎力を養っていくため、下記指定の教科書を必ず購入し、講義に参加すること。				
2. 中間テスト		%	3. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。				
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		50 %	小テスト(第7回、第11回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	究極の仕訳集 日商簿記3級 第3版 T A C 簿記検定講座						
参考書							
						15 (15週目、木曜日4限目) まとめのテストおよび授業の統括 予復修課題：今までの学習項目を見直すこと	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会C【公務員試験】 Seminar C for Qualifications				単位数	授業内容**						
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)				2	1 1週目、木曜3限 研究会の特徴、授業の進め方、成績評価、公務員試験の全体像の解説 予復修課題：ノート整理						
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 1週目、木曜4限 式の計算 予復修課題：テキスト該当箇所の演習問題復修						
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科							
配当年次		1年生	開講学期	後期前半	(コース)区分*	全領域							
授業概要		<p>大学生生活の成果を資格取得という形で「見える化」することは、就職活動などの場面で非常に有益なものとなります。本講義では各人のやる気を積極的に支援します。この講義は公務員試験合格を目指す学生を対象とした基礎力向上講座です。公務員試験の重要科目数的推理を中心に問題演習をしていきます。集中的に学習するため、木曜日の3.4限連続で実施します。(後期前半に集中)</p>											
授業到達目標		<p>1. 能力向上に挑戦する意識を高めること。 2. 能力向上に挑戦できること。 3. 能力向上に挑戦し続ける方法を身につけること。 4. 数的推理の基本問題を解けるようになること。</p>											
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)													
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。													
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。													
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。													
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項									
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本講義は公務員試験に特化した講義です。必要な教材等は必ず用意すること。										
1. 小テスト、感想文など		%	* 自宅学習時間は1時間以上とする。										
2. 中間テスト		40 %											
3. 課題レポートなどの提出物		%											
4. 授業中の発表、討論		%											
5. 授業への参加意欲		%											
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %											
7.		%											
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング											
1. まとめのテスト		50 %	中間テストを実施する。										
2. 論文、まとめのレポートなど		%											
3.		%											
再評価の実施		する	しない										
教科書		新スーパー過去問ゼミ 数的推理 大卒警察・消防 実務教育出版											
参考書													
		15 8週目、木曜3限 予復修課題：全体の復修											

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会C【簿記3級③】				単位数	授業内容**	
Seminar C for Qualifications (Book-keepingⅢ③)						2	1 (1週目、木曜日3時限) 当講義の目的および概要、簿記とは何か、簿記の目的 予復修課題：日商簿記3級の試験概要を把握しておくこと【30分】	
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)		正田 淳一 (MASADA Junichi)		専任		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				EEK1201		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次	1年生	開講学期	後期前半	(コース)区分*	全領域			
授業概要	簿記のルールに基づき財務諸表が作られ、それを世界中の人が見て経済活動を行う中、「簿記が分からなければ経済が分からない」と言っただけでは過言ではない程、経済を学ぶ上で、簿記は全ての社会人に共通する必要不可欠な知識である。当講義では、日商簿記検定3級に合格するために必要な基礎力を身に付けることができ、本格的な試験対策講義を行う研究会D(簿記3級④)に繋げていく。また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。						2 (1週目、木曜日4時限) 簿記一連の流れ 予復修課題：当講義の範例を復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 合格するために必要な基礎力を身に付けることができる。 学習を通じて、継続力・忍耐力を身に付けることができる。 自らの課題に気づき、克服するための実行力を身に付けることができる。 当講義を通じて自らの将来(就職)を考えることができる。 						3 (2週目、木曜日3時限) 簿記の基礎 予復修課題：当講義の範例を復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						◎	4 (2週目、木曜日4時限) 商品売買など 予復修課題：当講義の範例を復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						○	5 (3週目、木曜日3時限) 商品売買、現金など 予復修課題：当講義の範例を復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						○	6 (3週目、木曜日4時限) 現金過不足など 予復修課題：当講義の範例を復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 資格取得を目的とした基礎力を身に付ける講義のため、その後に開講する検定対策の研究会D(簿記3級④)を同時に履修するが望ましい。					
1. 小テスト、感想文など		%	2. 電卓を事前に準備しておくこと。					
2. 中間テスト		%	3. 下記指定の教科書を必ず購入すること。					
3. 課題レポートなどの提出物		%	4. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。					
4. 授業中の発表、討論		%	アクティブ・ラーニング					
5. 授業への参加意欲		45 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	・実践学習					
7.		%						
2) 最終到達度の評価								
1. まとめのテスト		55 %						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない	○					
教科書	日商簿記3級課程 商業簿記テキスト(ALFA) 大原出版株式会社							
参考書								
						15 (8週目、木曜日3時限) まとめのテスト(解説・講義の総括) 予復修課題：関連する問題集を必ず解くこと【60分】		

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会C【エクセル利活用】 Seminar C for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者	三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)				2	1	<1週目・前時限> 授業方法, 評価方法などの全体説明 予復修課題: 【予修】シラバスの熟読
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EK1201	2	<1週目・後時限> PC教室の使用方法, ファイル操作 予復修課題: 【復修】履修を継続するか否かを真剣に考えて履修登録
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	1年生	開講学期	後期前半		全領域		
授業概要	コンピュータによる情報処理についての真の能力が求められる実力社会では、市販ソフトを活用する技術に加えて解決すべき問題について問題解析能力・アルゴリズム構成能力・プログラミング能力が求められる。本授業では、簡易プログラム言語Spread Sheet (MS Excel) を用いて具体的な問題解決手法について実践的に学習する。					3	<2週目・前時限> データの代入, セルの参照, 数式データ資料による説明・解説(同時にPCを操作しながらの個人練習) 予復修課題: 【予修】Spread Sheetの基本構造
授業到達目標	1. データの代入, セルの参照, 統計関数について理解し, 利活用することができる。 2. 判断分岐(IF関数)について理解し, 利活用することができる。 3. Spread SheetのDatabase機能を理解し, 基礎的に利用することができる。					4	<2週目・後時限> データの代入, セルの参照, 数式データ示された課題について個人演習 グループ演習 個人演習 予復修課題: 【復修】オートフィルの方法
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合			・授業は、配布資料を用いて進める。 ・毎時間後、次回分の資料を配布し、【授業到達目標】に即した予修指示を行う。 欠席した場合は、UNIVERSAL PASSPORTで確認すること。 ・予修・復修の時間の目安は、授業1コマにつき、それぞれ2時間である。			
1. 小テスト、感想文など	30%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	50%						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	20%						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト	%			・ミニッツペーパー【毎回】			
2. 論文、まとめのレポートなど	%			・グループ作業【3~14回】			
3.	%			・課題ファイル【14回】			
再評価の実施	する	しない					
教科書	使用しない(配布資料)						
参考書							
						15	<8週目・前時限> 授業全体のまとめ 予復修課題: 【予修】授業到達目標に関する自己評価

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会C【社会人基礎講座】 Seminar C for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者		菊樂 智彦 (KIKURAKU Tomohiko)				2	1 (1週目、木曜3時限) 講座の勧め方、成績評価、毎回の予復修などのガイダンス。 授業中にすすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題：この講座を受ける意味を、自分なりに考えてきてください。(目安時間30分)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				2 (1週目、木曜4時限) 社会人として求められる基本とは。 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題：左の「授業到達目標」について、自分なりの目標を考えてきてください。(30分)		
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	3 (2週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力1 授業中にすすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題：先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)	
配当年次		1年生	開講学期	後期前半	(コース)区分*	全領域	4 (2週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり1 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題：予修として作文のトレーニングをしてきてください。(1時間)	
授業概要		本講座では、近い将来にやってくる就職(社会人デビュー)に備え、社会人として求められる考え方、社会知識、コミュニケーションの基礎能力をトレーニングします。これらを1年次から意識することで、3年次に始まる就職活動の成功にむけての効果的な準備となります。 内容は、企業での若手育成研修の経験を活用した講義・グループワークを実施します。なお本プログラムは木曜日3時限・4時限の2コマ連続で実施していきます。					5 (3週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力2 授業中にすすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題：先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)	
授業到達目標		1. 社会人として活躍できる人材になるため、自分に必要なものができるようになる 2. 社会人や職業人に必要な考え方の理解を深め、日々の生活で意識できるようになる 3. 社会人として必要な人間関係の作り方を学び、学生時代から実践できるようになる					6 (3週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり2 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題：グループワークの目的や効果について事前研究をしてきてください。(1時間)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 授業で学んだことが実践できているかを随時、感想文などで確認します。					
1. 小テスト、感想文など		50 %	2. もともと持っている知識や能力の優劣よりも、課題に対する真面目な取り組みを重要視します。					
2. 中間テスト		%	3. 予復修の取り組みを随時、確認します。					
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		10 %	グループワークを複数回実施					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパーを毎回実施					
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書								
参考書								
11 (6週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力5 授業中にすすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題：先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)								
12 (6週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり5 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題：自分のコミュニケーション面での課題を考えてきてください。(1時間)								
13 (7週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力6 授業中にすすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題：先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)								
14 (7週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり6 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題：これまでの授業内容のまとめをしてきてください。(1時間)								
15 (8週目、木曜3時限) まとめのテスト 講義の総括 予復修課題：まとめテストに備えて、これまでの内容を整理し、意見をまとめておいてください。(1時間)								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会C【FP技能検定3級】 Seminar C for Qualifications (Financial Planning)				単位数	授業内容**	
担当者		内山 貴博 (UCHIYAMA Takahiro)				2	1 不動産 FPと不動産知識の関係 予復修課題：前期A, Bで学んだテキスト該当箇所を30分読む	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEK1201	2 不動産 不動産に関する法律 予復修課題：前期A, Bで学んだテキスト該当箇所を30分読む	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3 不動産 建築基準法(建ぺい率、容積率の計算方法など) 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること	
配当年次	1年生	開講学期	後期前半		全領域		4 不動産 住宅取得に関する知識 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること	
授業概要	国家資格でもあり、金融機関などでも必要度の高まっているファイナンシャルプランナーについて学習する。FPの実務経験を活かし、研究会A・Bの内容を踏まえ、不動産と相続・贈与について授業を実施する。高齢化社会を迎え、相続を前提とした不動産の活用など時事問題も取り上げ、相続対策の方法、自宅(実家)の在り方などについても議論する。注意点)原則、FP研究会AとB受講者を対象とする。後期でC、Dを連続受講推奨。すべて受講することでFP全科目を網羅できる。					5 不動産 不動産と税 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること		
授業到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士3級試験で合格するための基礎知識の習得、及びファイナンス分野に接することで、2級以上のFP(ファイナンシャルプランニング)資格取得や、経済・金融・財務等その他学部科目における探究心を向上させることができる。					6 不動産 課題レポート 予復修課題：不動産を取り巻く法律を事前確認の上、受講		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	研究会CとD両方履修。 どちらかみの履修は原則認めない。					
1. 小テスト、感想文など		%	3回目以降の予復修課題は授業中に伝える。					
2. 中間テスト		%	30分程度実施時間を確保すること。					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	また、新聞(できれば日経新聞)					
4. 授業中の発表、討論		25 %	を授業前日当日分15分程度経済社会面を中心に					
5. 授業への参加意欲		15 %	目を通したうえで受講すること。					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	積極的に挙手の上、発表をしてもらう。					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	発表の回数は授業終了後にカウントし、					
3.		%	評価対象とする。					
再評価の実施	する	しない						
教科書	19年~20年度版最短合格FP技能士2級(きんざいFPセンター)							
参考書								
				15 まとめのレポート レポート実施、総括 予復修課題：不動産・相続分野、授業で取り上げた内容をノート等を使い一通り確認してくること				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会D【簿記3級④】 Seminar D for Qualifications (Book-keepingⅢ④)				単位数	授業内容**		
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)		正田 淳一 (MASADA Junichi)		2	1	(1週目、木曜日3時限) 当講義の目的および概要、研究会C【簿記3級③】の総まとめ、第1問対策 予復修課題：日商簿記3級の試験概要を把握しておくこと【30分】	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				専任	2	(1週目、木曜日4時限) 第1問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	経済・経営学科	EEK1202	3	(2週目、木曜日3時限) 第1・2・3問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
配当年次		1年生	開講学期	後期後半	(コース)区分*	全領域	4	(2週目、木曜日4時限) 第3問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】	
授業概要		簿記のルールに基づき財務諸表が作られ、それを世界中の人が見て経済活動を行う中、「簿記が分からなければ経済が分からない」と言っただけでは過言ではない程、経済を学ぶ上で、簿記は全ての社会人に共通する必要不可欠な知識である。当講義では、日商簿記検定3級に確実に合格するために必要な実践力を身に付けることができ、一つの成功体験として資格を取得し、先に控える就職活動および将来に繋げていく。また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。						5	(3週目、木曜日3時限) 第3問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 合格するために必要な実践力を身に付けることができる。 学習を通じて、継続力・忍耐力を身に付けることができる。 自らの課題に気づき、克服するための実行力を身に付けることができる。 当講義を通じて自らの将来(就職)を考えることができる。 						6	(3週目、木曜日4時限) 第2・3・4問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕									
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					◎	7	(4週目、木曜日3時限) 第3問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					○	8	(4週目、木曜日4時限) 第2・3・4問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					○	9	(5週目、木曜日3時限) 第5問対策 予復修課題：当講義の復修および関連する問題集を必ず解くこと【60分】
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 資格取得を目的とした実践力を身に付ける 検定対策講義のため、その前に開講する 基礎力を養う研究会C(簿記3級③)を 履修していることが望ましい。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. 電卓を事前に準備しておくこと。						
2. 中間テスト		%	3. 下記指定の教科書を必ず購入すること。						
3. 課題レポートなどの提出物		%	4. 授業の進捗状況(理解度)によって 内容を変更する可能性あり。						
4. 授業中の発表、討論		%	アクティブ・ラーニング						
5. 授業への参加意欲		45 %	・実践学習						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		55 %							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する	しない	○					
教科書		日商3級 直前対策講義(商業簿記) 大原出版株式会社							
参考書									
		15							
		(8週目、木曜日3時限) まとめのテスト(解説・講義の総括) 予復修課題：本試験を想定して、模試を中心に繰り返し解いていくこと【120分】							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会D【エクセルグラフ】 Seminar D for Qualifications				単位数	授業内容**		
担当者		三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)				2	1 <1週目・前時限> 授業方法, 評価方法などの全体説明 予復修課題: 【予修】シラバスの熟読		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング					2 <1週目・後時限> PC教室の使用方法, ファイル操作 予復修課題: 【復修】履修を継続するか否かを真剣に考えて履修登録		
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 <2週目・前時限> Excelで作成可能なグラフの種類と用途 資料による説明・解説 予復修課題: 【予修】Spread Sheetによるグラフ作成		
配当年次		1年生	開講学期	後期後半		全領域	4 <2週目・後時限> 数値データ可視化へのグラフ活用事例 資料による説明・解説 予復修課題: 【復修】数値データ特性とグラフの種類		
授業概要		コンピュータによる情報処理についての真の能力が求められる実力社会では、様々な場面で数値データの可視化が求められる。 本演習では、簡易プログラム言語Spread Sheet (MS Excel) を用いて数値データの可視化に不可欠なグラフ化について実践的に学習する。						5 <3週目・前時限> グラフ作成の流れ, 折線グラフ 資料による説明・解説 (同時にPCを操作しながらの個人練習) 予復修課題: 【予修】Excelに準備されている折線グラフ	
授業到達目標		1. 数値データの特性に応じたグラフの種類を適切に選定することができる。 2. 複合グラフ, ピクチャグラフについて理解し, 活用することができる。 3. 数値データの可視化のため, グラフを見やすく編集することができる。						6 <3週目・後時限> グラフ作成の流れ, 折線グラフ 示された課題について個人演習 グループ演習 個人演習 予復修課題: 【復修】数値データ特性と折線グラフの種類	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								7 <4週目・前時限> 棒グラフ, 複合グラフ 資料による説明・解説 (同時にPCを操作しながらの個人練習) 予復修課題: 【予修】Excelに準備されている棒グラフ	
【知識・技能】		学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 <4週目・後時限> 棒グラフ, 複合グラフ 示された課題について個人演習 グループ演習 個人演習 予復修課題: 【復修】数値データ特性と棒グラフの種類	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 <5週目・前時限> ピクチャグラフ, 積層グラフ 資料による説明・解説 (同時にPCを操作しながらの個人練習) 予復修課題: 【予修】Excelに準備されている積層グラフ	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 <5週目・後時限> ピクチャグラフ, 積層グラフ 示された課題について個人演習 グループ演習 個人演習 予復修課題: 【復修】数値データ特性と積層グラフの種類	
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項						11 <6週目・前時限> 突出データがある棒グラフ 資料による説明・解説 (同時にPCを操作しながらの個人練習) 予復修課題: 【予修】突出データとは	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・授業は、配布資料を用いて進める。 ・毎時間後、次回分の資料を配布し、【授業到達目標】に即した予修指示を行う。 欠席した場合は、UNIVERSAL PASSPORTで確認すること。 ・予修・復修の時間の目安は、授業1コマにつき、それぞれ2時間である。				12 <6週目・後時限> 突出データがある棒グラフ 示された課題について個人演習 グループ演習 個人演習 予復修課題: 【復修】第2軸の活用		
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				13 <7週目・前時限> 円グラフ, ドーナツグラフ 資料による説明・解説 (同時にPCを操作しながらの個人練習) 予復修課題: 【予修】Excelに準備されている円グラフ, ドーナツグラフ		
1. まとめのテスト		%	・ミニッツペーパー【毎回】				14 <7週目・後時限> 円グラフ, ドーナツグラフ 示された課題について個人演習 グループ演習 個人演習 予復修課題: 【復修】数値データ特性と円・ドーナツグラフの種類		
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・グループ作業【3~14回】				15 <8週目・前時限> 授業全体のまとめ 予復修課題: 【予修】授業到達目標に関する自己評価		
3.		%	・課題ファイル【14回】						
再評価の実施		する	しない						
教科書		使用しない (配布資料)							
参考書									

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会D【FP技能検定3級】 Seminar D for Qualifications (Financial Planning)				単位数	授業内容**	
担当者	内山 貴博 (UCHIYAMA Takahiro)				2	1 FPその他重要分野 住宅ローンや教育資金、各種融資制度など 予復修課題：研究会A～Cで学んだテキスト該当箇所を30分読む	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				非常勤講師	2 FPその他重要分野 住宅ローンや教育資金、各種融資制度など 予復修課題：前期A～Cで学んだテキスト該当箇所を30分読む	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 FPその他重要分野 リタイアメントプランニング 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること	
配当年次	1年生	開講学期	後期後半	全領域		4 FPその他重要分野 リタイアメントプランニング 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること	
授業概要	国家資格でもあり、金融機関などでも必要度の高まっているファイナンシャルプランナーについて学習する。FPの実務経験を活かし、研究会A～Cで取り上げた分野を中心に、FP相談現場を想定しながら、様々な事例を教授する。 また、FP3級の試験対策(学科編・実技編)も過去問を使い実施する。 注意点)原則、FP研究会A～Cを受講している者を対象とする。					5 FPその他重要分野 確定拠出年金、FP6つの係数 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること	
授業到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士3級試験で合格するための基礎知識の習得、及びファイナンス分野に接することで、2級以上のFP(ファイナンシャルプランニング)資格取得や、経済・金融・財務等その他学部科目における探究心を向上させることができる。					6 FPその他重要分野 課題レポート 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	研究会CとD両方履修。 どちらかみの履修は原則認めない。				
1. 小テスト、感想文など		%	3回目以降の予復修課題は授業中に伝える。				
2. 中間テスト		%	30分程度実施時間を確保すること。				
3. 課題レポートなどの提出物		30%	また、新聞(できれば日経新聞)				
4. 授業中の発表、討論		25%	を授業前日当日分15分程度経済社会面を中心に				
5. 授業への参加意欲		15%	目を通したうえで受講すること。				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	アクティブ・ラーニング				
7.		%	積極的に挙手の上、発表をしてもらう。				
2) 最終到達度の評価			発表の回数は授業終了後にカウントし、				
1. まとめのテスト		%	評価対象とする。				
2. 論文、まとめのレポートなど		30%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	19年～20年度版最短合格FP技能士2級(きんざいFPセンター)						
参考書							
	11 FP総合分野		11 FP個別6科目を横断、融合した内容 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること				
	12 相続・事業承継 課題レポート		12 相続・事業承継 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること				
	13 相談対応レポート 課題レポート 相談業務を意識したレポート学習		13 相談対応レポート 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること				
	14 FP3級学科、実技試験対策		14 計算問題などを中心に解き方などを解説。 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること				
	15 まとめのレポート レポート実施、総括		15 まとめのレポート 予復修課題：授業中に指示した課題および授業前日当日分の新聞(できれば日経新聞)の経済社会面を中心に一読すること				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会D【スポーツビジネス】 Seminar D for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください。予復修課題：本授業を受講する意気込みについてレポートをまとめてください。(1.0時間)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 イベント実績に学ぶ：アイデア・チャレンジ・コンテスト/OPIO SPORTS PARK他イベントの目的やコンテンツの仕組みについて具体的な事例から学びます。予復修課題：実際に参加したことがあるイベントについてまとめておきましょう。(0.5時間)	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 プログラム・イベントの企画 Make a Wish of Japanの主催するチャリティラン&ウォークについて学びます。予復修課題：MAWJ事務局へのレポートをまとめてください。(約1.0時間)	
配当年次	1年生	開講学期	後期	全領域		4 プログラム・イベントの企画 自分たちにできるオリジナルのイベント企画を進めます。予復修課題：出されたアイデアがどのように集約されていたのかについて経緯を報告してください。(約1.0時間)	
授業概要	本講義では研究会Bでの学びを発展させて、客観的に分かる「成果」を生み出すための時間を過ごしていただきます。授業で学んだことは現場で活用できるのか？自分の理解はどのレベルなのか？をジャッジすること、その成果を受け止めて更に学びの内容を発展させるためのプログラムを活かして行くこと、すなわちPDCAサイクルを身に付けてもらいます。このプロセスは現役の経営者としての観点から、特に実践的に進めていきます。1年生ならではの自由な発想で積極的に取り組み、2年次以降のゼミナールで活用できるスキルを獲得します。						
授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 収集した情報を知的財産権を考慮した上で活用することができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	スポーツビジネス領域における基礎的かつ実践的な学びを修めるために授業記録を残すことはもちろんですが、特にメモを残す力を高めてもまた、授業中の活動が重要となりますが、人前で上手く話せない人のことも考慮して、授業のLINEグループを作ります。毎週の取り組み内容を共有しながら責任ある行動がとれるように自らを成長させていきましょう。				
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 本授業は演習型講義として座学だけでなく、学外で開催される他団体のイベントに参加して企画や運営の業務に取り組みます。学生が主体となって成果を残していく授業です。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7. 学習の進捗報告		20 %					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	特に指定はありません。						
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。						
11 イベント運営 お客様をお出迎えて最高のホスピタリティで対応します。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)							
12 イベント運営 安全管理とリスク回避について万全を期した行動をとります。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)							
13 イベント運営 全ての業務において問題が無いことを確認し、記録に残しておきます。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)							
14 イベント運営 撤収作業を完遂します。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)							
15 総括：イベントの振り返りについて報告を行います。担当した業務についてPowerPoint資料にまとめてプレゼンテーションしてください。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させて提出してください(約1.0時間)							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 E【サービス接遇検定】 Seminar E for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEK2101		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科			
配当年次	2年生	開講学期	前期前半		全領域			
授業概要	本演習では、ビジネス系検定のサービス接遇検定2級取得を目指している学生を中心に6月検定の合格を目指す。 実問題の過去問題を用いて学生が答えを出した後に解答・解説を行い、各問題のキーワードの理解を深める。 なお、2級既修得の学生などについては個別に準1級の指導も行う。							
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス接遇検定3級に合格できる。 ・サービス業に従事するスタッフの求められる資質・能力が理解できる。 ・正しい言葉遣いや態度が理解できる。 						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修の時間の目安は、40~60分です。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	第6回、第10回、第13回、第15回の授業で					
2. 論文、まとめのレポートなど		80 %	習熟度テストを行う					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	適宜、資料を配布する							
参考書	実務技能検定協会編『サービス接遇検定実問題集』早稲田教育出版 2020							
1		ガイダンス 講義の内容と方針、予復修の説明。ビジネス系検定5種の紹介 予復修課題： 時間内にできなかった問題を解く						
2		各自の挑戦課題に挑む 1時間の解答後、サービス接遇検定の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
3		各自の挑戦課題に挑む 1時間の解答後、秘書検定の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
4		各自の挑戦課題に挑む 1時間の解答後、ビジネス実務マナー検定の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
5		各自の挑戦課題に挑む 1時間の解答後、ビジネス電話検定の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
6		習熟度テスト 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
7		習熟度テスト の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
8		各自の挑戦課題に挑む 1時間の解答後、解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
9		各自の挑戦課題に挑む 1時間の解答後、解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
10		習熟度テスト 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
11		習熟度テスト の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
12		習熟度テスト範囲の問題に挑む 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
13		習熟度テスト 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
14		習熟度テスト の解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						
15		習熟度テスト 1時間の解答後、解答・解説を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 E【スポーツビジネス】 Seminar E for Qualifications			単位数	授業内容**	
担当者		瀬筒 義久 (SEZUTSU Yoshihisa)			2	1 講師自己紹介、講義概要、今後の進め方 スポーツビジネスに関するまとめ。情報リテラシー、この講義に対するスタイル 予復修課題：身近なメディア	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			非常勤 講師	2 コミュニケーション能力、プレゼン能力の基礎。 自己PR、自己アピールの実践、評価 予復修課題：企画を立てる事の考え方などを把握してくる	
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	経済・経営学科	EEK2101	
配当年次		2年生	開講学期	前期前半	学科・領域 (コース)区分*	全領域	
授業概要	スポーツビジネスを中心に、イベント・番組制作など全てのジャンルに対応できる企画の 立て方、限定された課題の中で、0からの発想によりアイデアを構築し、企画書を完成させる その企画書を多くの人に人々に理解してもらうためのプレゼン能力を養う。 情報リテラシー 世の中に数多ある情報をいかに自分のものにするか？見極める力を養う。 自己目標とそれを達成するための戦略と行動計画。						
	授業到達目標	与えられた課題の中で、自由な発想と、ニーズに応えられる企画を構築できる。 個人（もしくはチーム）で創造した企画の主旨、内容を伝えることができる。 学生同士の評価により、より高いレベルを目指すことができる。 段取りを見極めて企画をチームで作りに上げることができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問 体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職 業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。 また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表 現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判 断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進 んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	企画書の作成、プレゼンの内容 受講数によってプレゼン時間が増え 企画の作成回数が増えることがあります。 現時点では4回の企画作成予定 予復修時間の目安：15分程度				
1. 小テスト、感想文など		10 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					
4. 授業中の発表、討論		40 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		10 %					
3. 制作・発表内容		10 %					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
		15 講義総括 予復修課題：授業内容のまとめ					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 E【大学院】 Seminar E for Qualifications (Business Studies)			単位数	授業内容**	
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)			2	1 ガイダンス(受講時の注意点・受講案内)・課題プリント配布 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	EEK2101
配当年次		2年生	開講学期	前期	(コース)区分*	全領域	
授業概要		この講義は、大学院進学を目指している学生に対して、経営学理論を深く勉強してもらい、そのうえ、実際の問題(主要大学院の過去問や例題)を用いて、英文翻訳(和訳)や論述を演習をしていきます。					
授業到達目標		1.経営学の主要論点がわかる。 2.経営学の主要理論がわかる。 3.大学院受験に要求される翻訳能力が得られる。 4.大学院受験に要求される論述能力が得られる。 5.その他、大学院受験要領がわかる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1.実施過去問について、最低3時間以上の時間をかけて予修してきてください。				
1. 小テスト、感想文など		%	2.次の科目を同時履修すると、より効果的な勉強が可能です。				
2. 中間テスト		%	- 企業経営入門				
3. 課題レポートなどの提出物		100 %	3.次の科目を履修することで、さらに理解が深められます。経営学入門				
4. 授業中の発表、討論		%	経営戦略・マーケティング・人的資源管理				
5. 授業への参加意欲		%	アクティブ・ラーニング				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	1.事前の予修を必ず行ってください。				
7.		%	2.論述などで指摘された箇所は工夫して改善をしていきましょう。				
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		%	14 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	15 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 総括: 大学院受験について(受験までの工程)				
3.		%	15 予復修課題: 大学院受験にかかわる質問点を考えてきてください。				
再評価の実施		する	しない				
教科書		プリント配布					
参考書							

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 E【旅行業務取扱管理者】 Seminar E for Qualifications (Travel Services Manager)				単位数	授業内容**		
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)				2	専任		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEK2101			
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期	全領域					
授業概要	当講義は、旅行業務取扱管理者試験（国内・総合）の重要科目である旅行業法（旅行業法及びこれに基づく命令）および国内の観光資源について、国家試験に合格するために必要な知識およびノウハウを身に付けていく。 また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来（就職）を考える機会にする。								
	<ul style="list-style-type: none"> 旅行業務を行う上で守るべきルールが定められている法律を修得することができる。 国内の観光資源では、各観光名所をはじめ幅広い知識を身に付けることができる。 国家試験に合格するために必要な基礎力から応用力まで身に付けることができる。 観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。 								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】		学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					1 当講義の概要および目的（旅行業務取扱管理者試験）について 予復修課題：旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと [30分]		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について 予復修課題：将来性を意識しながら職業イメージを持つこと [30分]		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					3 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項					4 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。また、当国家試験は4科目あるため、同時に研究会FIJ（旅行業務取扱管理者）の計4科目を履修することが望ましい。授業の進捗状況（理解度）によって、一部内容を変更する可能性あり。（国家試験合格を目標 4科目受講）				5 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				6 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]			
1. まとめのテスト		50 %	・実践学習				7 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・ミニッツペーパー				8 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
3.		%					9 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
再評価の実施	する	しない						10 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]	
教科書	指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。							11 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]	
参考書								12 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]	
							13 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
							14 旅行業法、国内観光資源 予復修課題：当講義のポイントを復習および関連する問題集を必ず解くこと [60分]		
							15 まとめのテスト（まとめのテスト解説および講義の統括も実施する） 予復修課題：総まとめとして、旅行業法の指定した問題集を必ず解くこと [60分]		

* 領域（コース）区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会 E【FP技能検定2級】 Seminar E for Qualifications (Financial Planning)				単位数	授業内容**	
担当者	内山 貴博 (UCHIYAMA Takahiro)				2	1 F P 過去問対策 ライフプランニングと資金計画 予復修課題：研究会 A～C で学んだテキスト該当箇所を 30 分読む	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEK2101	2 F P 過去問対策 ライフプランニングと資金計画 予復修課題：前期 A～C で学んだテキスト該当箇所を 30 分読む	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期前半		全領域		
授業概要	国家資格でもあり、金融機関などでも必要度の高まっているファイナンシャルプランナーについて学習する。FP 基礎学習 (3 級程度) を修了している者を対象とする。FP の実務経験を活かし、FP 相談現場を想定しながら、様々な事例を教授する。また、FP 2 級の試験対策 (学科編・実技編) も過去問を使い実施する。					3 F P 過去問対策 ライフプランニングと資金計画 予復修課題：予復修は FP 試験問題を 1 時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	
授業到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士 2 級試験で合格するための知識、及び社会・経済情勢を踏まえた FP 資格の活用方法を身に付けることを目標とする。					4 F P 過去問対策 リスクマネジメント 予復修課題：予復修は FP 試験問題を 1 時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で 100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	研究会 C と D 両方履修。 どちらかみの履修は原則認めない。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	3 回目以降の予復修課題は授業中に伝える。				
4. 授業中の発表、討論		25 %	30 分程度実施時間を確保すること。				
5. 授業への参加意欲		15 %	また、新聞 (できれば日経新聞)				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%	を授業前日当日分 15 分程度経済社会面を中心に				
7.		%	目を通したうえで受講すること。				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	積極的に挙手の上、発表をしてもらう。				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	発表の回数は授業終了後にカウントし、				
3.		%	評価対象とする。				
再評価の実施	する	しない					
教科書	19 年～20 年度版最短合格 FP 技能士 2 級 (きんざい FP センター)						
参考書							
						15 まとめのレポート レポート実施、総括 予復修課題：予復修は FP 試験問題を 1 時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会E【ことばの世界】〈遠隔授業〉〈留学生用〉				単位数	授業内容**	
	Seminar E for Qualifications (The World of Language)				2		
担当者	山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)				専任	1	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング EEK2101					2	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期集中	(コース)区分*			
授業概要	異なる言語集団の中で生活する留学生にとって必要不可欠な言語習得プロセスでは、母語と外国語の間の相違や共通点が無意識のうちに認知されているはずですが、それらを意図的に認識し理解しようとするれば、さらに効果的な言語学習が可能になります。本講義ではそもそも「ことば」とは何かという問題をベースに、レポート執筆やディスカッションを含めたさまざまなアプローチを通して、皆さんの言語学習に有用な言語感覚を身につけてもらう内容構成になっています。						
授業到達目標	1. 母語としての使用言語と学習途上の外国語の相違や共通性を客観化することができる 2. 日本語の文構造を理解し、より正確な表現ができる 3. 日本語の話しことばと書きことばの違いを認識し、正しく使い分けができる						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業外での日々の学修によって十分に準備した上での積極的授業参加は、最低限の必要条件です。板書事項や配布プリント、さらには口頭での説明内容はどれも重要ですから、必ずノートを取り授業外での予復修(少なくとも1時間程度)に役立ててください。日本語そのものを学ぶ授業ではありませんが、日本語運用能力向上を常に意識してください。					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	60 %						
4. 授業中の発表、討論	20 %						
5. 授業への参加意欲	10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	レポート執筆					
2. 論文、まとめのレポートなど	%	ディスカッション(対面授業実施可能時)					
3.	%						
再評価の実施	する	しない	○				
教科書	特別な教科書は使用しない						
参考書	特になし						
						15	
						予復修課題: まとめのレポート執筆(約2時間)	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会F【スポーツビジネス】 Seminar F for Qualifications			単位数	授業内容**			
担当者		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)			2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。 レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください 予復修課題：研究会Eの成果報告をPowerPointにまとめてください。(約0.5時間)			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 研究会Aのまとめのプレゼン 前期前半部分で行った研究会Eの成果について報告していただきます。 予復修課題：他者の発表内容についてフィードバックシートを完成させてください。(約1.0時間)			
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	EEK2102		
配当年次		2年生	開講学期	前期後半	(コース)区分*	全領域			
授業概要		スポーツアドバイザーおよび会社経営の経験を活かし、授業を展開します。本講義では「スポーツビジネスの分野における課題を解決しよう!」というコンセプトで皆さんに関わっていただきます。前年(2019年)にはギラヴァンツ北九州とコラボレートして行っているシニア健康教室に参加して「高齢者向けの運動実践マニュアル」の作成を行いました。本年度は急速に伸びてきているパーソナルトレーニングジムにおいて活用できる研修プログラムの作成についてチャレンジしてもらいます。					3 トレーナー・コーチを育成する講座体験 養成コースのダイジェスト講義を受けて研修プログラム作成上の課題を発見します。 予復修課題：受講による気付きをレポートにまとめて報告してください。(約1.0時間)		
授業到達目標		授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 収集した情報を知的財産権を考慮した上で活用することができる。					4 トレーナー・コーチを育成する講座体験 養成コースのダイジェスト講義を受けてテキスト作成上の課題を発見します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5 担当業務表と制作スケジュールを完成 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)		
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					9 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では成果物を完成することが求められます。集中講義形式になりますが、簡単にできるものではありません。チームワーク力がとても重要ですし、各自が責任を持って仕事を進める必要があります。このため、学習の進捗報告に関してLINEグループを作ります。授業内外での積極的な関りが求められます。予復修課題の一つとして取り組んでください。					10 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					11 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)	
1. まとめのテスト		%	講義の中でプレゼンテーションを行う機会があります。毎回の振り返りの中でレポートをまとめる力をレベルアップし、PowerPointで発表資料を作成し学外のコンテストに出場します。					12 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)	
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %						13 テキスト制作 グループワークを予定通りに進めていきます。 予復修課題：進捗報告を当日中にグループLINEで共有してください。(約1.0時間)	
3.		%						14 成果報告プレゼン グループワークの成果を報告してもらいます。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)	
再評価の実施		する	しない					15 総括：テキストを完成させ、外部の利用機関の編集責任者にジャッジしてもらいます。 どのような点が新しい課題になるかについて学びましょう。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)	
教科書		特になし。							
参考書		授業中に必要に応じて適宜指示します。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 F【社会人基礎講座】 Seminar F for Qualifications				単位数	授業内容**		
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				2	1 (1週目、木曜3時限) 講座の勧め方、成績評価、毎回の予復修などのガイダンス。 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: この講座を受ける意味を、自分なりに考えてきてください。(目安時間1時間)		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 (1週目、木曜4時限) 社会人として求められる基本とは。 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 左の「授業到達目標」について、自分なりの目標を考えてきてください。(1時間)		
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 (2週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力1 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
配当年次		2年生	開講学期	前期後半		全領域	4 (2週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり1 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。		
授業概要		本講座では、近い将来にやってくる就職(社会人デビュー)に備え、社会人として求められる考え方、社会知識、コミュニケーションの基礎能力をトレーニングします。これらを1年次から意識することで、3年次に始まる就職活動の成功にむけての効果的な準備となります。 なお本プログラムに集中的に取り組むため、木曜日3時限・4時限の2コマ連続で実施していきます。					5 (3週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力2 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
授業到達目標		1. 社会人として活躍できる人材になるため、自分に必要なものが分かるようになる 2. 社会人や職業人に必要な考え方の理解を深め、日々の生活で意識できるようになる 3. 社会人として必要な人間関係の作り方を学び、学生時代から実践できるようになる					6 (3週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり2 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: グループワークの目的や効果について事前研究をしてきてください。(1時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							7 (4週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力3 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8 (4週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり3 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。(1時間)		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9 (5週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力4 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10 (5週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり4 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 実習内容のまとめと次回の準備をしましょう。(1時間)		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					11 (6週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力5 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 授業で学んだことが実践できているかを 随時、感想文などで確認します。			12 (6週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり5 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 自分のグループワーク上での課題をまとめてきてください。(1時間)			
1. 小テスト、感想文など		30 %	2. もともと持っている知識や能力の優劣よりも、課題に対する真面目な取り組みを 重要視します。			13 (7週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための基礎能力6 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)			
2. 中間テスト		%	3. 予復修の取り組みを随時、確認します。			14 (7週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり6 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: これまでの授業内容のまとめをしてきてください。(1時間)			
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング グループワークを複数回実施 ミニッツペーパーを毎回実施					15 (8週目、木曜3時限) まとめのテスト 講義の総括 予復修課題: まとめテストに備えて、これまでの内容を整理し、意見をまとめておいてください。(1時間)	
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		50 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	再評価の実施		する	しない			
7.		%	教科書						
2) 最終到達度の評価		再評価の実施		する					
1. まとめのテスト		%	参考書						
2. 論文、まとめのレポートなど		10 %							
3. イベント検定受験		%							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 F【大学院】 Seminar F for Qualifications (Business Studies)				単位数	授業内容**	
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)				2	1 ガイダンス(受講時の注意点・受講案内)・課題プリント配布	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説		
配当年次	2年生	開講学期	前期		全領域	4 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説		
授業概要	この講義は、大学院進学を目指している学生に対して、経営学理論を深く勉強してもらい、そのうえ、実際の問題(主要大学院の過去問や例題)を用いて、英文翻訳(和訳)や論述を演習をしていきます。							
	1.経営学の主要論点がわかる。 2.経営学の主要理論がわかる。 3.大学院受験に要求される翻訳能力が得られる。 4.大学院受験に要求される論述能力が得られる。 5.その他、大学院受験要領がわかる。							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 論述の見直し(展開)	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 論述の見直し(論述の書き方)	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					8 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1.実施過去問について、最低3時間以上の時間をかけて予修してきてください。				9 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
1. 小テスト、感想文など		%	2. 次の科目を同時履修すると、より効果的な勉学が可能です。				10 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
2. 中間テスト		%	- 企業経営入門				11 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
3. 課題レポートなどの提出物		100 %	3. 次の科目を履修することで、さらに理解が深められます。経営学入門				12 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予習してきてください。 過去問 実施及び解説	
4. 授業中の発表、討論		%	経営戦略・マーケティング・人的資源管理				13 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
5. 授業への参加意欲		%	アクティブ・ラーニング				14 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	1. 事前の予修を必ず行ってください。				15 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 総括: 大学院受験について(受験までの工程)	
7.		%	2. 論述などで指摘された箇所は工夫して改善をしていきましょう。				15 予復修課題: 大学院受験にかかわる質問点を考えてきてください。	
再評価の実施	する	しない						
教科書	プリント配布							
参考書								

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 F【実践外国語】 Seminar F for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者		ダニエル・ドロークス (Daniel DROUKIS)				2	1 Orientation 予復修課題: Review the covered material for the next class.	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング EEK2102				専任	2 On board and in-flight meals 予復修課題: Review the covered material for the next class.	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3 Landing card and welcome to the USA 予復修課題: Review the covered material for the next class.	
配当年次	2年生	開講学期	前期		全領域		4 A ride downtown and hotel check-in 予復修課題: Review the covered material for the next class.	
授業概要	This course is based around real-life situations. It gives students everything they need to survive in English overseas.							5 An appointment 予復修課題: Review the covered material for the next class.
授業到達目標	The purpose of this course is to help the students develop their English communication skills in preparation for the Japan Chamber of Commerce and Industry's Business English Proficiency Test. Students will be able to understand and make simple everyday conversations							6 Concierge desk 予復修課題: Review the covered material for the next class.
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								7 A taxi ride 予復修課題: Review the covered material for the next class.
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								8 Mid term evaluation 予復修課題: Prepare for the second half of the course
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								9 Introductions 予復修課題: Review the covered material for the next class.
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								10 Itineraries 予復修課題: Review the covered material for the next class.
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				11 Fast food 予復修課題: Review the covered material for the next class.
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	Students need a textbook and dictionary for each lesson. Students should expect to spend at least 30 minutes a day before each lesson to prepare for the next lesson.					12 Small talk 予復修課題: Review the covered material for the next class.
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング Students will be encouraged to be involved in person to person communication activity in class.					13 Routines 予復修課題: Review the covered material for the next class.
2. 中間テスト		30 %						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			Students will be encouraged to be involved in person to person communication activity in class.					14 Review material of the entire course 予復修課題: Review the covered material for the next class.
1. まとめのテスト		50 %						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						15 Final evaluation 予復修課題: Consult your instructor with any questions
再評価の実施	する	しない						
教科書	Basic Survival (New Edition) Macmillan Language House							
参考書								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 F【旅行業務取扱管理者】 Seminar F for Qualifications (Travel Services Manager)				単位数	授業内容**	
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)				2	1 当講義の概要および目的(旅行業務取扱管理者試験)について 予復修課題: 旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと[30分]	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について 予復修課題: 将来性を意識しながら職業イメージを持つこと[30分]	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3 約款、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
配当年次	2年生	開講学期	前期		全領域	4 約款、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
授業概要	当講義は、旅行業務取扱管理者試験(国内・総合)の重要科目である約款および海外の観光資源について、国家試験に合格するために必要な知識およびノウハウを身に付けていく。 また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。					5 約款、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 旅行業者等と旅行者との約束事(約款)を修得することができる。 海外の観光資源では、各観光名所をはじめ幅広い知識を身に付けることができる。 国家試験に合格するために必要な基礎力から応用力まで身に付けることができる。 観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。 					6 約款、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。また、当国家試験は4科目あるため、同時に研究会EIJ(旅行業務取扱管理者)の計4科目を履修することが望ましい。授業の進捗状況(理解度)によって、一部内容を変更する可能性あり。(国家試験合格を目標 4科目受講)					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50%	・実践学習					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・ミニッツペーパー					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。							
参考書	15 予復修課題: 総まとめとして、約款の指定した問題集を必ず解くこと[60分]							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会 F 【2級工業簿記】				Seminar F for Qualifications		単位数	授業内容**	
担当者		正田 淳一 (MASADA Junichi)						2	1 ガイダンス 講義概要と講義の進め方 予復修課題：予修:シラバスを読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				EEK2102		専任		2 工業簿記の基礎 工業簿記と原価との関係 予復修課題：予修:学習項目を読んでくること。復修:扱った部分の問題を確実にやっておくこと。
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科					3 材料費 材料費の分類や計算 予復修課題：予修:学習項目を読んでくること。復修:扱った部分の問題を確実にやっておくこと。
配当年次	2年生	開講学期	前期	(コース)区分*	全領域					4 労務費 労務費の分類や計算 予復修課題：予修:学習項目を読んでくること。復修:扱った部分の問題を確実にやっておくこと。
授業概要	モノづくりを行う企業にとっては、売る前に作る作業が不可欠で、そこでの簿記上の処理が求められると同時に、つくるといふ付加価値を意識して学ぶ。 本講義では、工業簿記の基礎を再確認し、日商の簿記検定2級で扱われる問題に取り組む。 工業簿記は、難しいという意識をなくして得点力アップを目指す。									
授業到達目標	① 企業が行う製造過程に必要な簿記を学ぶことができる。 ② モノづくり活動に必要なものに関するコストが理解できる。 ③ 工業簿記に必要な財務諸表が作成できる。 ④ 原価計算に関する基礎知識を修得することができる。 ⑤ 検定試験をクリアできる得点力を磨ける。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕										
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								◎	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								○	
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								○	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価			評価割合	1. 電卓を事前に準備しておくこと						
1. 小テスト、感想文など			%	2. 当講義は資格取得に繋げる応用力を養っていくため、指定の教科書を必ず購入し、講義に参加すること。						
2. 中間テスト			%	3. 授業の進捗状況(理解度)によって内容を変更する可能性あり。						
3. 課題レポートなどの提出物			%	4. 予復修課題の取組時間：約90分程度						
4. 授業中の発表、討論			20 %							
5. 授業への参加意欲			60 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)			20 %							
7.			%							
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト			%	毎回の講義内にて、日商簿記検定対策の問題演習を実施する。						
2. 論文、まとめのレポートなど			%							
3.			%							
再評価の実施	する	しない	○							
教科書	本授業開始時に指示する。									
参考書										
										15 授業全体のまとめと復修 予復修課題：予修:日商2級の過去問をやってくること。

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【秘書検定】 Seminar G for Qualifications			単位数	授業内容**	
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)			2	1 ガイダンス 講義の内容と方針、予復修の説明。ビジネス系検定5種の紹介 予復修課題： 時間内にできなかった問題を解く	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 5種の検定の中から、各自が目指す検定を見つける 予復修課題： 解答できなかった個所を解答する	
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	経済・経営学科	3 各自の挑戦課題に挑む 予復修課題： 解答できなかった個所を解答する	
配当年次		2年生	開講学期	後期前半	(コース)区分*	全領域	4 第3回で挑んだ課題の解答・解説(理論編)を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す
授業概要		本演習では、ビジネス系検定の秘書検定取得を目指している学生を中心に11月検定の合格を目指す。 実問題の過去問題を用いて学生が答えを出した後に解答・解説を行い、各問題のキーワードの理解を深める。 なお、3級・2級既修得の学生などについては個別に準1級の指導も行う。					5 各自の挑戦課題に挑む 予復修課題： 解答できなかった個所を解答する
授業到達目標		・秘書検定3級に合格できる。 ・サービス業に従事するスタッフの求められる資質・能力が理解できる。 ・正しい言葉遣いや態度が理解できる。					6 第5回で挑んだ課題の解答・解説(実技編)を行う 予復修課題： 間違えた個所を見直す
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修の時間の目安は、40~60分です。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	第7回、第11回、第13回、第15回の授業で				
2. 論文、まとめのレポートなど		80 %	習熟度テストを行う				
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		適宜、資料を配布する					
参考書		実務技能検定協会編『秘書検定実問題集』早稲田教育出版 2020					
		15 予復修課題： 解答できなかった個所を解答する					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【スポーツビジネス】 Seminar G for Qualifications			単位数	授業内容**			
担当者		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)			2	1 ガイダンス：本授業の目的と進め方、成績評価の方法について詳しく説明します。レポートは学籍番号と名前を明記してmoribejukuchou@gmail.comへ提出してください。予復修課題：本授業を受講する意気込みについてレポートをまとめてください。(1.0時間)			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 イベント実績に学ぶ：アイデア・チャレンジ・コンテスト/OPIO SPORTS PARK他イベントの目的やコンテンツの仕組みについて具体的な事例から学びます。予復修課題：実際に参加したことがあるイベントについてまとめておきましょう。(0.5時間)			
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次		2年生	開講学期	後期集中	(コース)区分*	全領域			
授業概要		本講義では研究会Fでの学びを発展させて、客観的に分かる「成果」を生み出すための時間を過ごしていただきます。授業で学んだことは現場で活用できるのか？自分の理解はどのレベルなのか？をジャッジすること、その成果を受け止めて更に学びの内容を発展させるためのプログラムを活かして行くこと、すなわちPDCAサイクルを身に付けてもらいます。このプロセスは現役の経営者としての観点から、現場での即戦力について実践的なプログラムを用いながら授業を展開します。2年生ならではの責任ある行動に心がけて取り組んでいきましょう。					3	プログラム・イベントの企画 Make a Wish of Japanの主催するチャリティラン＆ウォークについて学びます。 予復修課題：MAWJ事務局へのレポートをまとめてください。(約1.0時間)	
授業到達目標		授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動をとり、お手本を示すことができる。 状況を判断しながら質問し、適宜指示を出す等の働きかけができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも含めて上手に調整することができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめてプレゼンテーションできる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 収集した情報を知的財産権を考慮した上で活用することができる。					4	プログラム・イベントの企画 2年生ならではのオリジナルのイベント企画を進めます。 予復修課題：出されたアイデアがどのように集約されていったのかについて経緯を報告してください。(約1.0時間)	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5	プログラム・イベントの企画 2年生ならではのオリジナルのイベント企画を進めます。 予復修課題：先週からの進展について説明してください。(約1.0時間)	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6	プログラム・イベントの企画 2年生ならではのオリジナルのイベント企画を進めます。 予復修課題：先週からの進展について説明してください。(約1.0時間)	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7	プログラム・イベントの企画 自分たちにできるオリジナルのイベント企画をまとめます。 予復修課題：次週のリハーサルに備えて準備してください。(約1.0時間)	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8	リハーサル イベント当日の流れについてリハーサルによって業務内容を確認します。 予復修課題：個人の仕事と全体の動きについて確認し、業務予定表を完成させましょう。(約1.0時間)	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					9	イベント運営 遅滞なく集合し、集団行動をとります。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	スポーツビジネス領域における基礎的かつ実践的な学びを修めるために授業記録を残すことはもちろんですが、特にメモを残す力を高めてもらいます。そのためにはキーワードを聞き取る力が必要なので事前学習が不可欠となります。また、授業中の活動が重要となりますが、リーダーシップを発揮できるように積極的に取り組んでください。LINEグループでも同様です。					10	イベント運営 当日の設営を行い、イベントの準備を進めます。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					11	イベント運営 お客様をお出迎えて最高のホスピタリティで対応します。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)
1. まとめのテスト		%	本授業は演習型講義として座学だけでなく、学外で開催される他団体のイベントに参加して企画や運営の業務に取り組みます。学生が主体となって成果を残していく授業です。					12	イベント運営 安全管理とリスク回避について万全を期した行動をとります。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %						13	イベント運営 全ての業務において問題が無いことを確認し、記録に残しておきます。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)
3.		%						14	イベント運営 撤収作業を完遂します。 予復修課題：イベント運営 ~ についてレポートにまとめてください。(約1.0時間)
再評価の実施		する	しない					15	総括：イベントの振り返りについて報告を行います。担当した業務についてPowerPoint資料にまとめてプレゼンテーションしてください。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させて提出してください(約1.0時間)
教科書									
参考書		授業時間内において必要に応じて適宜指示する。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【大学院】 Seminar G for Qualifications (Business Studies)			単位数	授業内容**	
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)			2	1 ガイダンス(受講時の注意点・受講案内)・課題プリント配布 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			EK2201	2 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	後期		全領域		
授業概要	この講義は、大学院進学を目指している学生に対して、経営学理論を深く勉強してもらい、そのうえ、実際の問題(主要大学院の過去問や例題)を用いて、英文翻訳(和訳)や論述を演習をしていきます。						
	1.経営学の主要論点がわかる。 2.経営学の主要理論がわかる。 3.大学院受験に要求される翻訳能力が得られる。 4.大学院受験に要求される論述能力が得られる。 5.その他、大学院受験要領がわかる。						
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1.実施過去問について、最低3時間以上の時間をかけて予修してきてください。				
1. 小テスト、感想文など		%	2.次の科目を同時履修すると、より効果的な勉学が可能です。				
2. 中間テスト		%	- 企業経営入門				
3. 課題レポートなどの提出物		100 %	3.次の科目を履修することで、さらに理解が深められます。企業と社会、				
4. 授業中の発表、討論		%	経営組織・経営管理・生産管理				
5. 授業への参加意欲		%	アクティブ・ラーニング				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	1.事前の予修を必ず行ってください。				
7.		%	2.論述などで指摘された箇所は工夫して改善をしていきましょう。				
2) 最終到達度の評価			予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説				
1. まとめのテスト		%	予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説				
3.		%	予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。 過去問 実施及び解説				
再評価の実施	する	しない	総括: 大学院受験について(受験までの工程)				
教科書	プリント配布						
参考書	予復修課題: 大学院受験にかかわる質問点を考えてきてください。						

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【スポーツイベント検定】 Seminar G for Qualifications (Sports Event Theory)			単位数	授業内容**	
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)			2	1 ガイダンス 講義概要と受講上の注意に関する説明をします 予復修課題：講義内容、進め方を把握し、次回の講義に臨むこと	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EK2201	2 スポーツイベントの概要とスポーツイベントの変遷 スポーツイベントについて、おおよその姿を理解する 予復修課題：自分の知っているスポーツイベントについて把握、情報収集すること	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	後期		全領域		
授業概要	スポーツイベントは、プロ野球、Jリーグ、Bリーグ、ラグビートップリーグなど福岡県で開催されるプロの試合も数多く、生活を彩る重要なものとなっている。これら大規模イベントから、地域のエリアイベントまで、スポーツイベントに関する仕組みや企画、運営方法について学ぶ。一つひとつのイベントが、開催までにどのような準備と運営をされているのか、味の素スタジアムでの実務経験を活かし、実例を挙げながら解説する。本講義を通じて、日本イベント産業振興協会「スポーツイベント検定」受験が可能となる。						
	授業到達目標	スポーツイベントの基礎知識を習得し、イベントについて説明できる スポーツイベントの構造を理解し、スタッフとして働く基礎ができる 身近にある様々なスポーツイベントに応用できるようになる スポーツイベントを企画、運営する会社・団体について理解を深め、就職活動の視野に入れる					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本講義を受講後終了後、日本イベント産業振興協会主催の「スポーツイベント検定」を受検することが望ましい。				
1. 小テスト、感想文など		%	各講義に対して、60分程度の復修や準備をすることが望ましい。				
2. 中間テスト		10 %					
3. 課題レポートなどの提出物		25 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		25 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		30 %	授業中に提出する課題について、グループワークを行うことがある。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3. スポーツイベント検定受験		10 %					
再評価の実施	する	しない					
教科書	「スポーツイベントで社会を元気に」(日本イベント産業振興協会)						
参考書							
		15 まとめ 授業の振り返りと「まとめのテスト」を行います 予復修課題：これまでの研究会で学んだことをまとめておくこと					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会G【旅行業務取扱管理者】 Seminar G for Qualifications (Travel Services Manager)				単位数	授業内容**	
担当者	貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)				2	1 当講義の概要および目的(旅行業務取扱管理者試験)について 予復修課題: 旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと[30分]	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について 予復修課題: 将来性を意識しながら職業イメージを持つこと[30分]	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 国内旅行実務、海外旅行実務、その他トピックス 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
配当年次	2年生	開講学期	後期	全領域		4 国内旅行実務、海外旅行実務、その他トピックス 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
授業概要	当講義は、旅行業務取扱管理者試験(国内・総合)で合否を左右する科目である 国内旅行実務・海外旅行実務について、出題頻度の高い項目を中心に学習することで、 確実に合格できる応用力を身に付ける。 また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。					5 国内旅行実務、海外旅行実務、その他トピックス 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
授業到達目標	・旅行業務の取引を行う上で必要不可欠なJR・国内線の計算方法を身に付けることができる。 ・出入国法令として、パスポート(旅券)の申請手続や日本帰国時の税関手続、 および出入国実務として、航空時刻表の読み方の知識を身に付けることができる。 ・国家試験に合格するために必要な応用力を身に付けることができる。 ・観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。					6 国内旅行実務、海外旅行実務、その他トピックス 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。 授業の進捗状況(理解度)によって、一部内容を変更する可能性あり。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		5 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		45 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・実践学習				
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %	・ミニッツペーパー				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。						
参考書	15 予復修課題: 指定した問題集を必ず解くこと[140分]						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【FP技能検定2級】 Seminar G for Qualifications (Financial Planning)				単位数	授業内容**	
担当者		内山 貴博 (UCHIYAMA Takahiro)				2	1 FP過去問対策 タックスプランニング 予復修課題：研究会Eで学んだテキスト該当箇所を30分読む	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EK2201	2 FP過去問対策 タックスプランニング 予復修課題：前期Eで学んだテキスト該当箇所を30分読む	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3 FP過去問対策 タックスプランニング 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	
配当年次	2年生	開講学期	後期前半		全領域		4 FP過去問対策 不動産 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	
授業概要	国家資格でもあり、金融機関などでも必要度の高まっているファイナンシャルプランナーについて学習する。FP基礎学習(3級程度)を修了している者を対象とする。FPの実務経験を活かし、FP相談現場を想定しながら、様々な事例を教授する。また、FP2級の試験対策(学科編・実技編)も過去問を使い実施する。						5 FP過去問対策 不動産 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	
授業到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士2級試験で合格するための知識、及び社会・経済情勢を踏まえたFP資格の活用方法を身に付けることを目標とする。						6 レポート・発表・ディスカッション 課題レポート 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	研究会CとD両方履修。 どちらかみの履修は原則認めない。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30%	3回目以降の予復修課題は授業中に伝える。					
4. 授業中の発表、討論		25%	30分程度実施時間を確保すること。					
5. 授業への参加意欲		15%	また、新聞(できれば日経新聞)					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	を授業前日当日分15分程度経済社会面を中心に					
7.		%	目を通したうえで受講すること。					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	積極的に挙手の上、発表をしてもらう。					
2. 論文、まとめのレポートなど		30%	発表の回数は授業終了後にカウントし、					
3.		%	評価対象とする。					
再評価の実施	する	しない						
教科書	19年~20年度版最短合格FP技能士2級(きんざいFPセンター)							
参考書								
			11 FP過去問対策 相続・事業承継 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。					
			12 レポート・発表・ディスカッション 課題レポート 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。					
			13 FP総合分野 課題レポート について総評 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。					
			14 FP2級実技試験対策 計算問題などを中心に解き方などを解説。 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。					
			15 まとめのレポート レポート実施、総括 予復修課題：予復修はFP試験問題を1時間程度解く。問題については授業ごとに案内します。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【環境・品質ISO】 Seminar G for Qualifications			単位数	授業内容**		
担当者		立川 鐵哉 (TATSUKAWA Tetsuya)			2	1 1日目 ISO(国際標準化機構)誕生の背景 近代産業革命の背景とその影響について講義する。 予復修課題: 国際取引を円滑にすることについて調べる。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			非常勤 講師	2 1日目 欧米諸国の地域規格の構造と働き 欧米と日本の環境に対する違いを講義する。 予復修課題: 身の回りの環境について調べる。		
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	経済・経営学科	3 1日目 規格用語の説明 ISO専門用語を中心に講義する。 予復修課題: JIS規格の用語を参考に調べる。		
配当年次		2年生	開講学期	後期集中	経済・経営学科 (コース)区分*	全領域	4 2日目 環境マネジメントシステム 環境保全、改善するための仕組みづくりについて講義する。 予復修課題: 会社の環境を管理するためのPDCAについて調べる。	
授業概要		この科目は、企業や行政機関に導入しているISO規格を内部監査する資格を有する人材を在学中に資格取得させる授業である。後期の集中講義(4日間)を受講することにより、環境マネジメントシステム(ISO14001)内部環境監査員の資格を取得することができる。(有料)試験の合格者は70点以上とする。 詳細は掲示板に記載する。					5 2日目 支援 会社の運用をサポートするため要求事項について講義する。 予復修課題: 会社の資源について調べる。	
授業到達目標		環境マネジメントシステム(ISO14001)を4日間で資格を取得することにより、国際規格の専門性を正確に理解し企業の環境改善活動に適切な意思決定と行動を行うための内部環境監査員としての力量を備える。					6 2日目 製品実現 製品を製造するための仕組みの必要性を講義する。 予復修課題: 製品に及ぼす影響を調べる。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	この科目は、内部環境監査員になるための授業であり、有料の集中講義である。 授業の実施時期は、ガイダンスや掲示板に記載する。 各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを望みます。 問合せは、経済学部、中山教授。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		80 %	グループに分かれて討論をする。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	監査員に必要な思考力と適切な質問をする力量を学ぶ。					
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書		JISQ14001 発行(財)日本規格協会						
参考書		内部監査テキスト 発行 EQA国際認証センター・産業革命 中川敬一郎訳 発行 岩波文庫						
		11 3日目 マネジメントレビュー 経営者に提供する情報の有効性と改善、管理について講義する。 予復修課題: 経営者に提供する情報について調べる。					12 3日目 グループに分かれ模擬内部監査 サービス業を中心に監査の方法について講義する。 予復修課題: 身近な会社を想定する。	
		13 4日目 グループに分かれ模擬内部監査 製造業を中心に監査の方法について講義する。 予復修課題: 身近な会社を想定する。仕事の改善活動について調べる。					14 4日目 まとめ ISOについて復讐、質疑応答を重ね理解を深める。 予復修課題: ISO14001の規格要求事項を理解する。	
		15 4日目 試験 試験終了後は出題の解説をする。 予復修課題: ISO14001の規格要求事項を理解する。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会G【経営学検定】 Seminar G for Qualifications			単位数	授業内容**		
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)			2	1 講義の内容・進行方法の説明 ・本講義の目的・参加要件の確認、経営学検定試験の内容と日程等について。 予復修課題：事前に本シラバスの内容を熟読し、本講義の要件について理解して臨むこと。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 模擬テスト(現在の実力を診断する) ・実際に過年度版の「経営学検定試験」に挑戦。今回は成績評価には反映しない。 予復修課題：あくまで「体験版」テストのため教科書を眺める程度でOK。		
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次		2年生	開講学期	後期		全領域		
授業概要		本講義は、全国規模で行われる「経営学検定試験」の受験を希望する学生諸君を対象として同検定「初級＝大学生修得レベル」の合格を目標に「専用テキスト」に基づく講義・出題ポイントの解説、また豊富な過去問題への挑戦を通じた実践力の養成を目指します。同検定は企業システム、経営戦略、経営組織、経営管理、経営課題(情報化、国際化、M&A等)の5領域によって構成されており、特に「中小企業診断士」等経営系資格の受験希望者、あるいは経営系の大学院進学を目指す学生の試験対策として有効な機会となります。					3 企業システム (企業の「経済的形態」&「法律的形態」) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第1部 3頁～22頁を熟読すること。	
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・経営学の主要領域(企業システム、経営戦略、経営組織、経営管理等)の重要学説および概念について説明できる。 ・経営学検定試験の合格レベル(60%以上の正答率)に必要なとされる知識を修得することができる。 ・中小企業診断士等の経営系資格の受験希望者/大学院進学希望者が試験対策(経営学)として十分な基礎的能力を培うことができる。 					4 企業システム (株式会社と企業統治&日本型経営システム) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第1部 23頁～61頁を熟読すること。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5 中間テスト① ・企業システム(第3・4回)分野の過去問題を出題。 予復修課題：第3・4回の授業内容およびテキストの該当箇所を参照のこと。	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 経営戦略 (経営戦略の概念と系譜、全社戦略) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第2部 69頁～93頁を熟読すること。	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 経営戦略 (競争戦略&機能別戦略 他) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第2部 95頁～135頁を熟読すること。	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 中間テスト② ・経営戦略(第6回・7回)分野の過去問題を出題。 予復修課題：第6・7回の授業内容およびテキストの該当箇所を参照のこと。	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					9 経営組織 (組織の基礎理論、組織構造の基本型&応用型) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第3部 143頁～181頁を熟読すること。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・本講義は経営学検定専用の『テキスト』を基に進めていきます。よって、授業時には必ず指定のテキストを購入・持参すること。			10 経営組織 (組織構造の応用型、人事管理、組織文化) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第3部 182頁～205頁を熟読すること。		
1. 小テスト、感想文など		20%	・原則として、経営学検定試験(7月第1日曜日予定)を受験することが受講の前提となります。なお、検定の受験には本学の資格試験に関する受験料補助分を除いて2000円程度の自己負担が発生します。(予復修90分)			11 経営管理(経営管理の基礎理論、マネジメント・サイクル 他) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第4部 214頁～272頁を熟読すること。		
2. 中間テスト		60%	アクティブ・ラーニング			12 中間テスト③ ・経営組織(第9回～第10回)+経営管理(第11回)分野の過去問題を出題。 予復修課題：第8-10回の授業内容およびテキストの該当箇所を参照のこと。		
3. 課題レポートなどの提出物		%	・授業各回における小テストおよび複数回の中間テストのかたちで豊富な過去問題への挑戦機会を設けています。			13 経営課題 (M&Aと買収防衛策、経営の国際化) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第5部 280頁～303頁を熟読すること。		
4. 授業中の発表、討論		%				14 経営課題 (企業の情報化、社会的責任(CSR)、環境経営) ・前半で出題範囲の要点について解説した後、指定範囲に関する小テストを実施。 予復修課題：教科書 第5部 305頁～341頁を熟読すること。		
5. 授業への参加意欲		10%				15 中間テスト④ ・経営課題(第13・14回)分野の過去問題を出題。 予復修課題：第13・14回の授業内容およびテキストの該当箇所を参照のこと。		
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		再評価の実施		する	しない			
1. まとめのテスト		%	教科書 経営学検定協議会 監修『経営学検定試験 公式テキスト(1)経営学の基本』中央経済社、2018年。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	参考書					
3. 経営学検定試験の受験		10%						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会H【社会人基礎講座】 Seminar H for Qualifications				単位数	授業内容**			
担当者		菊樂 智彦 (KIKURAKU Tomohiko)				2	1 (1週目、木曜3時限) 講座の勧め方、成績評価、毎回の予復修などのガイダンス。 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: この講座を受ける意味を、自分なりに考えてきてください。(目安時間30分)			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				2 (1週目、木曜4時限) 社会人として求められる実践力とは。 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 左の「授業到達目標」について、自分なりの目標を考えてきてください。(30分)				
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・領域	経済・経営学科	3 (2週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための実践能力1 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)			
配当年次		2年生	開講学期	後期後半	(コース)区分*	全領域	4 (2週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり1 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 予習として作文のトレーニングをしてきてください。(1時間)			
授業概要		本講座では、近い将来にやってくる就職(社会人デビュー)に備え、社会人として求められる考え方、社会知識、コミュニケーションの基礎能力をトレーニングします。これらを2年次から意識することで、3年次に始まる就職活動の成功にむけての効果的な準備となります。 内容は、企業での若手育成研修の経験を活用した講義・グループワークを実施します。なお本プログラムは木曜日3時限・4時限の2コマ連続で実施していきます。						5 (3週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための実践能力2 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
授業到達目標		1. 社会人として活躍できる人材になるため、自分に必要なものができるようになる 2. 社会人や職業人に必要な考え方の理解を深め、日々の生活で意識できるようになる 3. 社会人として必要な人間関係の作り方を学び、学生時代から実践できるようになる						6 (3週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり2 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: グループワークの目的や効果について事前研究をしてきてください。(1時間)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								7 (4週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための実践能力3 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								8 (4週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり3 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題: グループワークの効果的な進め方について事前研究をしてきてください。(1時間)		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								9 (5週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための実践能力4 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								10 (5週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり4 グループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 自分のコミュニケーション面での課題を考えてきてください。(1時間)		
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				11 (6週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための実践能力5 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 授業で学んだことが実践できているかを随時、感想文などで確認します。						12 (6週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり5 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題: 自分のグループワーク上での課題をまとめてきてください。(1時間)	
1. 小テスト、感想文など		50 %	2. もともと持っている知識や能力の優劣よりも、課題に対する真面目な取り組みを重要視します。						13 (7週目、木曜3時限) 前回の復修 社会人になるための実践能力6 授業中にすいくつかの質問についてのミニッツペーパー作成も行います。 予復修課題: 先週の内容を復修してきてください。予修内容は授業の際に伝達します。(1時間)	
2. 中間テスト		%	3. 予復修の取り組みを随時、確認します。						14 (7週目、木曜4時限) 社会での人間関係づくり6 実際の社員教育でも活用されているグループワーク演習等を実施します。 予復修課題: これまでの授業内容のまとめをしてきてください。(1時間)	
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング グループワークを複数回実施 ミニッツペーパーを毎回実施						15 (8週目、木曜3時限) まとめテスト 講義の総括 予復修課題: まとめテストに備えて、これまでの内容を整理し、意見をまとめておいてください。(1時間)	
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		40 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめのテスト		10 %								
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施		する	しない							
教科書										
参考書										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会H【大学院】 Seminar H for Qualifications (Business Studies)			単位数	授業内容**		
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)			2	1 ガイダンス(受講時の注意点・受講案内)・課題プリント配布 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 過去問 実施及び解説 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。		
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	経済・経営学科	3 過去問 実施及び解説 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。		
配当年次		2年生	開講学期	後期	(コース)区分*	全領域	4 過去問 実施及び解説 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。	
授業概要		この講義は、大学院進学を目指している学生に対して、経営学理論を深く勉強してもらい、そのうえ、実際の問題(主要大学院の過去問や例題)を用いて、英文翻訳(和訳)や論述を演習をしていきます。					5 論述の見直し(展開) 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。	
授業到達目標		1.経営学の主要論点がわかる。 2.経営学の主要理論がわかる。 3.大学院受験に要求される翻訳能力が得られる。 4.大学院受験に要求される論述能力が得られる。 5.その他、大学院受験要領がわかる。					6 論述の見直し(論述の書き方) 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1.実施過去問について、最低3時間以上の時間をかけて予修してきてください。					
1. 小テスト、感想文など		%	2. 次の科目を同時履修すると、より効果的な勉学が可能です。					
2. 中間テスト		%	- 企業経営入門					
3. 課題レポートなどの提出物		100 %	3. 次の科目を履修することで、さらに理解が深められます。企業と社会、					
4. 授業中の発表、討論		%	経営組織・経営管理・生産管理					
5. 授業への参加意欲		%	アクティブ・ラーニング					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	1. 事前の予修を必ず行ってください。					
7.		%	2. 論述などで指摘された箇所は工夫して改善をしていきましょう。					
2) 最終到達度の評価								
1. まとめのテスト		%	14 予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	過去問 実施及び解説					
3.		%	予復修課題: 次回の演習問題や関連の主要概念を予修してきてください。					
再評価の実施		する	しない	15 総括: 大学院受験について(受験までの工程)				
教科書		プリント配布						
参考書		予復修課題: 大学院受験にかかわる質問点を考えてきてください。						

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会H【実践外国語】 Seminar H for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者		ダニエル・ドロークス (Daniel DROUKIS)				2	1	Introduction to the course 予復修課題: Review the covered material for the next class
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2	Lunch 予復修課題: Review the covered material for the next class
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3	Dealing with problems 予復修課題: Review the covered material for the next class
配当年次	2年生	開講学期	後期		全領域		4	Arrangements 予復修課題: Review the covered material for the next class
授業概要	This course is based around real life situations It gives students everything they need to survive in English overseas						5	Meeting people 予復修課題: Review the covered material for the next class
授業到達目標	The purpose of this course is to help the students develop their English communication skills in preparation for the Japan Chamber of Commerce and Industry's Business English Proficiency Test. Students will be able to understand and make simple everyday conversations.						6	About yourself 予復修課題: Review the covered material for the next class
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	Students need a textbook and dictionary for each lesson.		Students should expect to spend at least 30 minutes a day before each lesson to prepare for the next lesson.		11	Suggestions 予復修課題: Review the covered material for the next class	
1. 小テスト、感想文など	%					12	The menu 予復修課題: Review the covered material for the next class	
2. 中間テスト	30 %					13	Interests 予復修課題: Review the covered material for the next class	
3. 課題レポートなどの提出物	%					14	Total course review 予復修課題: Review the covered material for the next class	
4. 授業中の発表、討論	20 %					15	Final Evaluation 予復修課題: Consult the instructor with any questions	
5. 授業への参加意欲	%							
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%							
7.	%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	50 %	Students will be encouraged to be involved in person to person communication activity in class.						
2. 論文、まとめのレポートなど	%							
3.	%							
再評価の実施	する	しない						
教科書	Basic Survival New Edition (Macmillan Language House)							
参考書								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		研究会H【2級商業簿記】 Seminar H for Qualifications				単位数	授業内容**	
担当者		谷 和也 (TANI Kazuya)				2	1 ガイダンスを通じ、授業概要と進め方、成績の評価等について説明します。 予復修課題：講義要綱で授業内容を確認してください。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				2	2 簿記一巡の手続きと財務諸表、現金預金について学びます。 予復修課題：教科書第1章、第2章を読み、学習のポイントを確認すること。	
授業形式		演習		科目区分 実践科目群		3	3 予復修課題：教科書第3章を読み学習のポイントを確認すること。	
配当年次		2年生		開講学期 後期		4	4 手形について学びます。 予復修課題：教科書第4章第5章を読み、学習のポイントを確認すること。	
学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		全領域		5	5 有価証券とその他の債権債務について学びます。 予復修課題：教科書第4章第5章を読み、学習のポイントを確認すること。	
授業概要		<p>大学生生活の成果を資格取得という形で「見える化」することは、就職活動などの場面で説得力を増すこととなるだけでなく、成功体験が自信にもなると思います。</p> <p>この講義は、簿記や会計に関連する資格取得を目指す学生を支援することを目的とします。具体的には、簿記や会計に関連する授業科目で学習した内容を基礎に、検定試験対策を行います。税理士としての経験を活かし、実務上の論点なども踏まえた授業とします。</p>				6	6 商品売買について学びます。 予復修課題：教科書第6章を読み、学習のポイントを確認すること	
授業到達目標		<p>簿記や会計の意義を理解できること</p> <p>個人企業（初級）または中小企業（中級）レベルの記帳ができること</p> <p>個人企業（初級）または中小企業（中級）レベルの決算ができること</p> <p>日商簿記検定2級あるいは3級に合格すること</p>				7	7 固定資産について学びます。 予復修課題：教科書第7章を読み、学習のポイントを確認すること。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						8	8 引当金・収益と費用について学びます。 予復修課題：教科書第8章第9章を読み、学習のポイントを確認すること。	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				9	9 株式会社の純資産について学びます。 予復修課題：教科書第10章を読み、学習のポイントを確認すること。	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				10	10 税金と決算について学びます。 予復修課題：教科書第11章第12章を読み、学習のポイントを確認すること	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				11	11 本支店会計 について学びます。 予復修課題：教科書第13章を読み、学習のポイントを確認すること	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				12	12 本支店会計 について学びます。 予復修課題：教科書第13章を読み、学習のポイントを確認すること。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 毎回の授業では、検定試験の過去問題解答を中心に取り組みます。		13	13 総合模擬問題 予復修課題：間違えた個所を解答解説を使って再確認すること	
2) 最終到達度の評価				2) 毎回、教科書及び電卓を持参して下さい。		14	14 総合模擬問題 予復修課題：間違えた個所を解答解説を使って再確認すること	
1. 小テスト、感想文など		%		3) 中級簿記までを履修していることを前提として毎回の授業をすすめます		15	15 予想問題 予復修課題：間違えた個所を解答解説を使って再確認すること	
2. 中間テスト		%		4) 簿記検定を受検する学生を対象とします。				
3. 課題レポートなどの提出物		%		5) 予復習取組時間：1時間程度				
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		50 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7. 授業での課題への取り組み		50 %						
再評価の実施		する しない		アクティブ・ラーニング				
教科書		渡部 裕恒・片山 覚 編著 『簿記講義2級商業簿記』						
参考書								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会H【金融リテラシー講座】 Seminar H for Qualifications (Fundamental Financial Knowledge)				単位数	授業内容**	
担当者	末木 将史 (SUEKI Masachika)		大和証券株式会社北九州支店		2	1 オリエンテーション、および金融市場の役割 講義の目的・概要を説明する。 予復修課題：(復)金融機関および金融市場の役割を復修のこと。	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEK2202		2 直接金融と間接金融、有価証券と金融市場 予復修課題：金融取引と直接・間接金融の役割を予修すること。	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	後期		全領域		
授業概要	金融に関する基礎から証券取引・投資の実際に行き届くまでを取り上げる。経済の基本知識や経済情報の見方や、金融の意味などから、金融機関、金融市場・証券市場について取り上げる。また、株式・債券、投資信託の基本的説明や投資の方法、リスクとリターンなどの実際も説明する。証券市場および投資について全般を理解できる構成としている。なお、講義はリレー形式(1,3,5,7,9,11,13,14回)であり、各回講師は、証券金融ビジネスの実務現場最前線で業務を行っている担当者である。						
授業到達目標	経済・金融教育を通じて、学生が自らの判断に基づいて行動し、主体的に生きる力を身に付けることを目的とする。 単に経済問題についての表面的な知識をつけるだけでなく、社会生活の原理原則というものを十分に理解することを目指す。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・日ごろから経済ニュースに接してください。 ・自分が好きな上場企業のニュースや株価などを日ごろからチェックしてみてください。 ・各授業の復修課題に必要な時間は、授業を聞きノートを取ったという前提で1時間程度です。(前提を満たさない場合は2~3時間に延びてしまいます)					
1. 小テスト、感想文など	20 %	アクティブ・ラーニング ・授業の終わりに、感想や質問を求めたり、ミニテストを行うことがあります。特に偶数回(第14回除く)はミニテスト/クイズ/リアクションペーパーを課しますので、出席のこと					
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	15 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	15 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト	50 %						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	なし						
参考書	なし						
						11 投資信託とポートフォリオ : 投資信託の特徴、分類と現状、および仕組み/ポートフォリオの策定と具体例、そのマネジメント 予復修課題：投資信託の特徴と分類を理解すること。	
						12 投資信託とポートフォリオ : 投資信託とポートフォリオについての補足・追加説明 予復修課題：投資信託とポートフォリオの関連性について理解を固めておくこと。	
						13 ファイナンシャルプランニング：ライフプラン、人生の3大支出、キャッシュ・フローマネジメント 予復修課題：自身のライフプランと照らし合わせて考えをまとめること。	
						14 投資銀行ビジネス、コンプライアンス、および総括 予復修課題：コンプライアンスの必要性を認識すること、これまでの授業の復修をすること。	
						15 まとめとまとめのテスト 予復修課題：過去の小テストとまとめのテストを参考に準備しておくこと。	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会Ⅰ【旅行業務取扱管理者】 SeminarⅠ for Qualifications (Travel Services Manager)				単位数	授業内容**	
担当者	貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)				2	1 当講義の概要および目的(旅行業務取扱管理者試験)について 予復修課題: 旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと[30分]	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について 予復修課題: 将来性を意識しながら職業イメージを持つこと[30分]	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 国内運賃料金計算、国内観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
配当年次	全学年	開講学期	前期集中		全領域	4 国内運賃料金計算、国内観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
授業概要	当講義は、旅行業務取扱管理者試験(国内・総合)の重要科目である国内旅行実務についてJRを中心とした国内運賃および国内の観光資源について、国家試験に合格するために必要なノウハウを身に付けていく。 また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。					5 国内運賃料金計算、国内観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 旅行業務の取引を行う上で必要不可欠なJR・国内線の計算方法を身に付けることができる。 国内の観光資源では、各観光名所をはじめ幅広い知識を身に付けることができる。 国家試験に合格するために必要な基礎力から応用力まで身に付けることができる。 観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。 					6 国内運賃料金計算、国内観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。また、当国家試験は4科目あるため、同時に研究会EFJ(旅行業務取扱管理者)の計4科目を履修することが望ましい。授業の進捗状況(理解度)によって、一部内容を変更する可能性あり。(国家試験合格を目標 4科目受講)				
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ・実践学習 ・ミニッツペーパー				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		5 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		45 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		50 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。						
参考書	予復修課題: 総まとめとして、国内旅行実務の指定した問題集を必ず解くこと[60分]						
15 予復修課題: 総まとめとして、国内旅行実務の指定した問題集を必ず解くこと[60分]							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	研究会 J【旅行業務取扱管理者】 Seminar J for Qualifications (Travel Services Manager)				単位数	授業内容**	
担当者	貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)				2	1 当講義の概要および目的(旅行業務取扱管理者試験)について 予復修課題: 旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと[30分]	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について 予復修課題: 将来性を意識しながら職業イメージを持つこと[30分]	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 海外旅行実務、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
配当年次	全学年	開講学期	前期集中	全領域		4 海外旅行実務、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
授業概要	当講義は、旅行業務取扱管理者試験(総合)の重要科目である海外旅行実務について 出入国法令・出入国実務および海外の観光資源を中心に国家試験に合格するために 必要な知識およびノウハウを身に付けていく。 また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。					5 海外旅行実務、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
授業到達目標	・ 出入国法令として、パスポート(旅券)の申請手続や日本帰国時の税関手続、 および出入国実務として、航空時刻表の読み方の知識を身に付けることができる。 ・ 海外の観光資源では、各観光名所をはじめ幅広い知識を身に付けることができる。 ・ 国家試験に合格するために必要な基礎力から応用力まで身に付けることができる。 ・ 観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。					6 海外旅行実務、海外観光資源 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。また、当国家試験は4科目あるため、同時に研究会EF1(旅行業務取扱管理者)の計4科目を履修することが望ましい。授業の進捗状況(理解度)によって、一部内容を変更する可能性あり。(国家試験合格を目標 4科目受講)				
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ・実践学習 ・ミニッツペーパー				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		5 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		45 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		50 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。						
参考書	予復修課題: 総まとめとして、海外旅行実務の指定した問題集を必ず解くこと[60分]						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール入門 Introduction to Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	遠藤 哲広 (ENDO Tetsuhiro)				2	1	ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEL2101				専任	2	バブルの時代 予復修課題：バブルとは何か。
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	<p>経済を運営するには、様々なやり方があることを学ぶ。 第一に考えるべきは、自由なのか、平等なのか。 どんな社会を作り、どんな原理で経済が運営されれば、人々は幸福になれるのか。 経済の動きについて学ぶ。</p>					3	バブル崩壊 予復修課題：その後の社会について
授業到達目標	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。					4	バブル崩壊によって何が起きるか。 予復修課題：バブルとそれ以降。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。				
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		50 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
						11	人工知能の時代 予復修課題：人工知能は何をもたらすか。
						12	人工知能と社会の変化 予復修課題：格差はどうなるのか。
						13	職業の変遷、人工知能の時代。 予復修課題：無くなる職業。
						14	職業の変遷、生まれる仕事。 予復修課題：どんな能力が重要か。
						15	まとめのレポート 予復修課題：どんな時代が来るか。

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2101	2 履修確認とゼミ研究の準備				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	経営学・会計学は実践学であり、一方その理論とは、会社の抱える諸課題の解決策を示しているものと理解できます。そこで、本演習では、卒業までの期間を通して、産業界や企業の現状と抱える課題を調べ、経営学・会計学の知識を応用することで企業体の現状や経営学・会計学への理解を深めます。 その際には、各自の進路や興味に経営学・会計学を応用することを重視します。また、レジュメ作成や発表・ディスカッションにより、表現能力をも高めていきます。								
	3 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	4 講義&演習：ゼミ研究課題の設定と計画(2)								
	5 演習(1)：課題発表とディスカッション								
	6 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	7 演習(2)：課題発表とディスカッション								
	8 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	9 演習(3)：課題発表とディスカッション								
	10 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	11 演習(4)：課題発表とディスカッション								
12 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
13 講義&演習：レポートの書き方(1)									
14 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
15 講義&演習：レポートの書き方(2)									
16 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
17 演習(5)：課題発表とディスカッション									
18 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
19 演習(6)：課題発表とディスカッション									
20 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
21 演習(7)：課題発表とディスカッション									
22 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
23 演習(8)：課題発表とディスカッション									
24 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
25 総括・レポート提出									
26 予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. 連絡、相談を大事にすること。						
2. 中間テスト		%	3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		75 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		15 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。								
					15 予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。				

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者	山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)			2	1 イントロダクション ゼミナールテーマ、演習の概要と進め方他 予復修課題：自己紹介内容の準備(内容、構成etc)				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			専任	2 自己アピールの手法(1)準備、メディア情報の理解の基本(1) 予復修課題：自己紹介コンテンツをまとめる、新聞記事の概要執筆と資料作成(グループワーク)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	テーマは「メディアと広告」です。日常に溢れる膨大な情報の信憑性の判断と正確な理解、そしてそれらの有効活用法について、実際のニュース、広告、CM等を対象に、その内容や構造を、情報発信者・受信者双方の視点から批判的に検証します。とりわけ、広告ポスターやCMは、文学・絵画・映画等の芸術作品と同様に分析・解釈しながら、企業戦略や消費者動向との関連及び時代や社会との関連も考察します。また、情報の総合的読解力・分析力を基礎に、自ら情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションコンテンツ制作の実践もします。								
	1. 情報の背後に存在する伝達されなかった事実の演繹的理解ができる								
	2. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる								
	3. CM及びそこで用いられるキャッチコピーなどを、文学テキストの解釈と同様に、時代や社会との関連のなかで分析し解釈できる								
	4. 既成概念や社会通念を批判的視座から再検証する柔軟な思考ができる								
	5. 情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションを意図的に構築・実践できる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書の購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のディスカッション参加への積極性などを総合的に判断して成績を評価します。演習科目ですから、自ら率先して問題に対処することが特に求められます。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		15 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		15 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合がある)								
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合がある)								
									15 予復修課題：自己アピール広告ポスター完成版提出

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar				単位数	授業内容**								
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)				2	1 ゼミの進め方を話し合っ、教科書を一緒に選定します。 予復修課題： どの分野の本を教科書とするのか、予め考えてくる(教科書を探索する目安時間:120分)								
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 教科書に基づく発表と質疑応答1 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)								
EEL2101		EEL2101					3 教科書に基づく発表と質疑応答2 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)								
授業形式		演習				科目区分		ゼミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
配当年次		2年生				開講学期		前期						4 教科書に基づく発表と質疑応答3 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
授業概要		教科書に基づいて、輪読します。発表者は要約(レジメ)を作成し、それ以外の学生は、複数の質問を用意して、発表者との間で質疑応答を行なってもらいます。										5 教科書に基づく発表と質疑応答4 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)			
授業到達目標		・卒論作成のために必要な基礎知識を修得する。										6 教科書に基づく発表と質疑応答5 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)			
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)														7 教科書に基づく発表と質疑応答6 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。														8 教科書に基づく発表と質疑応答7 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。														9 教科書に基づく発表と質疑応答8 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。														10 教科書に基づく発表と質疑応答9 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
成績評価の方法(全体で100%)						履修における留意事項									
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		出席を極めて重視するので、できるだけ出席するようにしてください。もし、欠席・遅刻をする場合には、必ず連絡してください。		11 教科書に基づく発表と質疑応答10 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)		12 教科書に基づく発表と質疑応答11 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)		13 教科書に基づく発表と質疑応答12 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)		14 教科書に基づく発表と質疑応答13 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)		15 教科書に基づく発表と質疑応答14 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
1. 小テスト、感想文など		%		本ゼミの最終目的が卒論作成であることに留意して、積極的にゼミに参加してください。		12		13		14		15		まとめ	
2. 中間テスト		%				13		14		15		予復修課題： 今まで発表された箇所についての復習(教科書を復修する目安時間:120分)			
3. 課題レポートなどの提出物		%				14		15							
4. 授業中の発表、討論		30%				15									
5. 授業への参加意欲		70%													
6. 自主的学習(予習・復習など)		%													
7.		%													
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング		発表者や質問者に対して、コメントを行なうことで、気づきを与える。									
1. まとめのテスト		%													
2. 論文、まとめのレポートなど		%													
3.		%													
再評価の実施		する		しない											
教科書		最初の時間に話し合っ決めてます。													
参考書															

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar			単位数	授業内容**			
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)			2	1 ガイダンス 講義の進め方、中心的な学修課題、留意事項について説明する。 予復修課題：授業時に指示			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEL2101	2 統計とデータ 統計とは何か、統計の有用性は何か、解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)			
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	当講義では、統計を利用する際やデータを加工する際に注意しなければならない点を、具体例に応じて解説します。また、現実の公的統計におけるデータを題材に、Ms-Excelの最も基本的な計算、作表、作図機能のみを利用した経済分析の手法を紹介します。複雑な機能は用いず、四則演算と折れ線グラフ・棒グラフの作成だけで、十分な経済分析ができることを実践的に学びます。								
授業到達目標	分析の目的に応じて、どのような計算を行うべきか、どのようなグラフを作成すべきかを正しく判断できる。 上記の判断に基づいた計算や図表作成が実行できる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 例題に基づいて、寄与度の計算と対応するグラフの作成を行う。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 実習(4)：季節変動と移動平均 季節性がある経済データを簡単に平準化できる移動平均法を学ぶ。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 データの集計：「平均値」と「パーセント」 データ加工に際して、どのような場合に平均値とパーセントを用いるのかを解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	今後、ゼミ論文、卒業論文を執筆する際に必要となる分析スキルを早い段階で習得できるように支援します。Excelの操作技術を学ぶことではなく、目的に合わせてExcelを実践的に使うことに重きを置きます。						
1. 小テスト、感想文など		%	受講者相互による討議も行います。 講義時間中に理解が不十分だった点は、復修して理解を完全なものにして下さい。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		70 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	必要に応じ、実習成果を提出して頂きます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	次回の授業で補足解説したり、解説の速度や内容を調整したりします。						
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	神林博史『1歩前からはじめる「統計」の読み方・考え方[第2版]』(ミネルヴァ書房、2019年)								
参考書	橋本紀子『Excelで読み取る経済データ分析』(新世社、2013年)								
					11 因果関係と相関関係 因果関係と相関関係の意味、両者の関係と差異について解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
					12 統計の信頼性 統計データが信頼できるものか否かを判断するチェックポイントを解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
					13 定義と数値 統計調査の定義変更でデータが不連続化することを解説する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
					14 統計の勘違い(1)：数値の意味 日常生活で使われる意味とは異なった定義で統計が集計されている事例を紹介する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				
					15 統計の勘違い(2)：統計の解釈 主観と統計上の客観的数値が乖離している事例を紹介する。 予復修課題：授業時に指示(予復修目安時間:60分)				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar				単位数	授業内容**			
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)				2	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング					2 複式簿記の構造(1) 予復修課題：日商簿記検定試験初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分			
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科	3 複式簿記の構造(2) 予復修課題：日商簿記検定試験初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分			
配当年次		2年生	開講学期	前期	(コース)区分*		4 複式簿記の構造(3) 予復修課題：日商簿記検定試験初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分			
授業概要		本授業では、複式簿記の構造について理解する。加えて、その応用として問題基盤型学習、サービスラーニングなどを取り入れて実践を図り、地域連携・地域貢献活動を行う。前者では、日商簿記検定試験合格などを手段として、複式簿記の構造について追究する。後者では、産学官連携活動および域学連携活動を実施する。産学官連携活動では、地方公共団体や公共性・公益性が高い企業とともに、域学連携活動では地域住民や商店街などとともに調査・分析をおこない、その結果について発表する。						5 複式簿記の構造(4) 予復修課題：日商簿記検定試験原価計算初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分		
授業到達目標		1. 複式簿記の構造について、具体的に説明することができる。 2. 営利企業の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、解釈することができる。 3. アンケート調査をおこない、その結果をレポートにまとめ、発表することができる。 4. 地域社会の現状と課題について、経営学の観点から、具体的に述べるすることができる。 5. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。 6. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。						6 複式簿記の構造(5) 予復修課題：日商簿記検定試験原価計算初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分		
		卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 複式簿記の構造(6) 予復修課題：日商簿記検定試験原価計算初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分		
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 複式簿記の構造(7) 予復修課題：日商簿記検定試験原価計算初級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分		
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 地域連携・地域貢献活動(1) 産学官連携活動 予復修課題：産学官連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分		
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 地域連携・地域貢献活動(2) 産学官連携活動 予復修課題：産学官連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						11 地域連携・地域貢献活動(3) 産学官連携活動 予復修課題：産学官連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 日商簿記検定試験2級または3級を積極的に受験することを要求する。				12 地域連携・地域貢献活動(4) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分			
1. 小テスト、感想文など		%	2. チームとして参加するプロジェクトには、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。				13 地域連携・地域貢献活動(5) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分			
2. 中間テスト		%	3. 各授業ごとに120分以上の予復修をおこなうことを要求する。				14 地域連携・地域貢献活動(6) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分			
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング 地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスラーニングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する解決策を策定して、それを発表する。						15 授業の総括 予復修課題：地域社会の現状と課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分	
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		80 %	再評価の実施		する	しない				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	教科書		ガイダンスの際に指示する。					
7.		%	参考書		ガイダンスの際に指示する。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 全体ガイダンス...ゼミ内容と方向性の説明、自己紹介 予復修課題：金融業について、現時点で持つイメージと、ゼミで達成したいことについて400字程度でまとめておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 内容ガイダンス...調査・報告の形式、内容、水準の説明 予復修課題：調査・報告の段取りやフローについて、自分なりにプランを作成しておくこと。				
EEL2101		科目区分		経済・経営学科					
授業形式		演習		科目区分		ゼミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*	
配当年次		2年生		開講学期		前期			
授業概要		<p>・このゼミでは、抽象的/理論的に金融を学ぶスタイルではなく、金融業界における個々の業種の外形を分析することにより金融を学んでいきます。チームを組成し、共同して調査・発表してもらいます。社会人として必要な実務スキル(企画立案/運営/発表)を身につけてもらうこともゼミの目的です(実務経験)。</p> <p>・資格試験の受験者が相当数いる場合、その演習などを行うことも検討します。</p> <p>○ゼミ内容は、チーム別に活動する予定です。初回のガイダンスで説明します。</p>							
授業到達目標		<p>・金融業界の個別業種およびそれらの業務上の仕組み・ビジネスモデルを理解できる。</p> <p>・金融業や各業種に関連する情報を自分で収集し、分析、考察を作成することができる。</p> <p>○チーム別に活動を通じて個別の目標達成に向けたPDCAを回せる。</p>							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】					学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				
【思考力・判断力・表現力】					実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				
【主体性・協働性】					経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		PC必須。ソフトをインストールの上、持参のこと。スマホは能力が不十分なので不可。クラウド・ドライブ(Google Drive)、アイディア・プロセッサ(Mind Map)、フローチャート作成(yEd)、プロジェクト管理(Open Project)、クリッピング(Evernote)の各ツールは必須。手書き用のノートは絶対必須。予復修は、最低でも1時間確保してください。					
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%		・他のゼミ員の発表や発言に関心をもち、自分でも意見を積極的に述べられるよう、自分をトレーニングしてください。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		ゼミ中に指示します。							
参考書		川西 諭、山崎福寿「金融のエッセンス」、有斐閣、2013							
					11 調査・発表9：生命保険・損害保険業界 予復修課題：チームで調査し、発表資料を作成すること。				
					12 調査・発表10：政府系金融機関 予復修課題：チームで調査し、発表資料を作成すること。				
					13 調査・発表11：その他(保証会社、メディア企業等) 予復修課題：チームで調査し、発表資料を作成すること。				
					14 ディスカッション...調査を通じて分かったこと/調べたりないこと 予復修課題：チーム毎にレポート資料を作成しておくこと。				
					15 まとめ：全回数の講評 予復修課題：第4回～14回までに作成したチーム毎の資料を基に総括・まとめ案を作成しておくこと。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談。 予復修課題: シラバスを読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任					
EEL2101		科目区分		2 企業の経営分析の方法(情報収集/レポート作成の方法と留意点) ・「企業の経営分析」の内容/レポート作成のスケジュール説明/面談。 予復修課題: 今後の学修計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)					
授業形式		演習		3 研究対象企業の選択 ・指定した条件(HPの充実度、資料の有無等)を満たす候補企業を3~5社選択。 予復修課題: 研究対象とする候補企業を自分でも考えておくこと。(予復修時間目安 90分)					
配当年次		2年生		4 会社「基本情報」の作成 ・会社の基本情報(創立年、会社規模、事業内容、経営理念等)を調べる。 予復修課題: 授業当日までに対象企業を1社に絞り込み、確定する。(予復修時間目安 90分)					
開講学期		前期		5 (解説)会社資料の見方/調べ方 ・有価証券報告書/アニュアル・レポートなど会社発行の基礎資料について解説。 予復修課題: 前回分の課題を(未了の者は)完成させておくこと。(予復修時間目安 90分)					
授業概要		「日本企業の経営戦略について知る・学ぶ」をテーマとした演習を行います。2年前期は、興味・関心のある企業を選んで簡易な企業レポートの作成に挑戦し、企業を理解しようとするとき、必ず注目すべき要点について学習します。2年後期は、『教科書(後日指定)』を主な題材としてレジュメ作成・購読・討論を行うことにより、企業分析の方法を理解すると共に、自分の主張を明確かつ論理的展開できるコミュニケーション能力の向上の向上を目指します。		6 企業レポート作成(1)企業業績を見る ・全社レベル(連結)指標(売上高営業利益率等)の数表作成&グラフ化。 予復修課題: 前回分の課題を(未了の者は)完成させておくこと。(予復修時間目安 90分)					
授業到達目標		・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文作成の前段階として、企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する基礎レベルのレポートを作成することができる。 ・グループの中で計画的かつ協力的に目的とする課題遂行に取り組む、その中でも自分の意見・主張を積極的に述べるができる。		7 企業レポート作成(2)全社戦略の論理 ・製品ライフサイクルと多角化戦略、PPM等の分析ツールについて解説。 予復修課題: 前回分の課題を(未了の者は)完成させておくこと。(予復修時間目安 90分)					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。		8 校外実習(工場見学など) 日程は変更の可能性アリ ・内容については受講者の意見も考慮して選択。 予復修課題: 実習内容に関する事前学習を行なうこと。(予復修時間目安 90分)					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。		【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。		9 企業レポート作成(3)企業業績を見る ・事業/地域セグメント分析(事業・地域別業績の数表作成&グラフ化)。 予復修課題: 第7回の授業内容(解説)を復修して授業に臨むこと。(予復修時間目安 90分)					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項		10 企業レポート作成(4)企業業績を見る ・事業/地域セグメント分析(事業・地域別業績の数表作成&グラフ化)。 予復修課題: 前回分の課題を(未了の者は)完成させておくこと。(予復修時間目安 90分)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		11 企業レポート作成(5)競争戦略の論理 ・競争優位の概念、競争優位の獲得・維持の方法とその源泉について。 予復修課題: 前回分の課題を(未了の者は)完成させておくこと。(予復修時間目安 90分)					
1. 小テスト、感想文など		%		12 企業レポート作成(6)企業業績を見る ・各事業の詳細、(業界内比較を中心に)競争力の有無について推定。 予復修課題: 会社資料(有価証券報告書等)に目を通しておくこと。(予復修時間目安 90分)					
2. 中間テスト		%		13 企業レポート作成(7)総合的分析 ・企業業績の「因果関係」を説明する(SWOT分析等に基づくメモ作成)。 予復修課題: 会社資料(有価証券報告書等)に目を通しておくこと。(予復修時間目安 90分)					
3. 課題レポートなどの提出物		30%		14 企業レポートの報告・発表 ・各自作成したレポートの内容を報告・発表し、意見交換を行う。 予復修課題: 報告・発表用のレジュメ(要旨)を作成してくること。(予復修時間目安 90分)					
4. 授業中の発表、討論		30%		15 総まとめ ・個別キャリア面談/夏期休暇課題の説明。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)					
5. 授業への参加意欲		10%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング		・会社ホームページ等から資料を収集し、各自指定された事項を満たす「企業レポート」を作成し、報告・発表を行います。					
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		参加者の興味・関心(進路等)もふまえて適宜指定。							
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar				単位数	授業内容**					
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)				2	1 ゼミの進め方について 予復修課題：シラバスを読む					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング EEL2101				2 レジュメについて(1) レジュメとは何かについて 予復修課題：レジュメの作成						
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 レジュメについて(2) 要約とは何かについて 予復修課題：要約の目的						
配当年次	2年生	開講学期	前期			4 ゼミでの発表について 発表と話し方について 予復修課題：ゼミでの発表の仕方						
授業概要	本演習では、創業から100年以上経過し「老舗」と呼ばれている企業を研究対象とする。グローバル化した現代において、長期的な視点で経営を考える機会はほとんどなくなっている。こうした時代であるからこそ、長期にわたって存続してきた老舗企業に学び、継続することの意味を問い直す必要があるように思われる。ここでは、老舗企業を理解するうえで必要となる概念を学習する。					5 日本の長寿企業(1) 世界一の長寿大国ニッポン 予復修課題：日本の長寿企業						
授業到達目標	老舗企業の概要について理解し、説明することができる。					6 日本の長寿企業(2) 長寿企業の素顔について 予復修課題：長寿企業の創業期、業種						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 日本の長寿企業(3) 長寿企業の素顔について 予復修課題：長寿企業の規模、組織形態						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						8 日本の長寿企業(4) 長寿の秘訣について 予復修課題：家制度、伝統の継承と革新						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 日本の長寿企業(5) 「変わらないもの」について 予復修課題：伝統と「変わらないもの」						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						10 日本の長寿企業(6) 「変わるもの」について 予復修課題：革新と「変わるもの」						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			11 日本の長寿企業(7) 「変わるもの」と「変わらないもの」 予復修課題：伝統と革新						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 履修するうえで、積極的に学ぶ姿勢・態度はきわめて重要である。			12 日本の長寿企業(8) 長寿企業が生きてきた時代 予復修課題：江戸時代						
1. 小テスト、感想文など		%	2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。			13 日本の長寿企業(9) 江戸時代のビジネス 予復修課題：越後屋の事例						
2. 中間テスト		%	アクティブ・ラーニング			14 日本の長寿企業(10) 明治時代と長寿企業 予復修課題：近代化と会社制度						
3. 課題レポートなどの提出物		10 %				1) 発表・プレゼンテーション(第4回)						
4. 授業中の発表、討論		10 %				2) ミニレポート(第3・9~11回)						
5. 授業への参加意欲		60 %	3) まとめのレポート(第15回)					15 日本の長寿企業(11) 大正・昭和時代と長寿企業 予復修課題：中小企業と大企業				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%										
7.		%										
2) 最終到達度の評価												
1. まとめのテスト		%										
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %										
3.		%										
再評価の実施	する	しない										
教科書	プリントを配布する											
参考書												

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		2	1 ガイダンス ゼミナール入門の進め方 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2101	2 企業会計に対する法規制 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	企業の脱税、粉飾決算、偽装表示といった事件を新聞やニュースで見聞きしたことがあると思いますが、なぜこのような違法行為を行う企業が後を絶たないのでしょうか。本ゼミでは、その原因やメカニズムを決算書や裁判例を基に分析し、会社法を中心とした企業法の観点から企業不祥事の防止について考えていきます。まず、分析するために必要な知識として、決算書が理解できるようになりましょう。次に法的問題点について理解できるように企業法の基礎について学びます。								
	授業到達目標	ビジネスパーソンとして実践的な法律知識を学ぶことができる。 企業法に位置づけられる各法律の考え方や会計との関連性を理解することができる。 決算書より財務体質や法的問題点を読み取り問題解決力を身につけることができる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 貸借対照表 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 貸借対照表 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 貸借対照表 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー (随時)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	Think-Pair-Share						
3.		%	グループディスカッション						
再評価の実施	する	しない	グループワーク						
教科書	講義レジュメを使用する。								
参考書	別途指示する。								
					10 貸借対照表 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
					11 損益計算書 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
					12 損益計算書 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
					13 損益計算書 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
					14 損益計算書 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
					15 損益計算書 予復修課題：予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**		
担当者		國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)		2	1 ガイダンス シラバスをもとに本ゼミナールの進め方を説明する 予復修課題： ガイダンス資料をよんでおくこと		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEL2101	2 ゼミ研究の準備 テーマの選定について説明する 予復修課題： 対象とする業界、企業を考慮しておくこと		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期	(コース)区分*			
授業概要	経営管理、マーケティングなど企業活動についての基礎知識を養うとともに、対象とする業界や企業に関する問題や課題、その取り組みについて考察を行います。 業界や企業の活動状況を捉えることにより、企業活動について学習するとともに、データを分析する方法、研究結果から経営状態を読み取る力を身に付けることを目標とします。						
	3 課題の設定への考え方を説明する 予復修課題： 対象とする業界、企業を考慮しておくこと						
授業到達目標	・問題認識、データ収集、データ分析、レポート作成、発表などのスキルを身に付ける。 ・グループワークやディスカッションに参加することで自分の意見を伝えることができる。						
	4 課題発表とディスカッション(1) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる						
5 課題発表とディスカッション(2) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
6 課題発表とディスカッション(3) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
7 課題発表とディスカッション(4) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
8 課題発表とディスカッション(5) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
9 課題発表とディスカッション(6) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
10 課題発表とディスカッション(7) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
11 課題発表とディスカッション(8) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
12 課題発表とディスカッション(9) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
13 課題発表とディスカッション(10) グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
14 発表 グループごとに研究成果を発表する 予復修課題： 研究活動を行い、発表資料をまとめる							
15 研究レポートを提出する 予復修課題： まとめの確認を行う							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				○			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				◎			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				◎			
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	経営管理、マーケティング等に関する基礎知識を養い、企業の経営理念や経営戦略の調査を通じて、企業の活動とは何か、どのような課題があるのかについて、自ら考え考察する力を身に付けてください。 グループワークを通して、コミュニケーション能力を育成できるよう心がけましょう。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ミニッツ・ペーパー(第2回~第15回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %					
3.		%					
再評価の実施		する	しない	○			
教科書	プリント配付						
参考書	必要に応じて適宜紹介する。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 各自、学生時代に取り組みたいこと、将来就きたい仕事について考えてみよう。 予復修課題：授業中調べた資料をまとめておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2101	2 法学の基礎 法の分類 予復修課題：ノート整理				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	憲法、法学の基本的論点について学んでいきます。 特に、現代社会で問題になっているテーマを中心にします。 その他、公務員試験対策問題演習も行います。								
	指定するテーマについて調べ、論点についてまとめることができるようになる。 指定されたテーマについて討論できるようになる。 その他、公務員試験対策問題に対応できるようになる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	ノート、プリントが大切になります。 特に、問題演習、事例については授業の後に必ず復修すること。 * 自宅学習時間は1時間以上とする。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー実施。						
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	指定しない								
参考書	指定しない								
					3 新しい人権、プライバシーの権利の現代的意義について 予復修課題：授業であつかった判例について調べておく。				
					4 ジェンダー論 予復修課題：授業中指定した論点についてまとめる				
					5 生命倫理と法 予復修課題：次回の学外研修に関する下調べをする				
					6 学外研修 予復修課題：研修報告書の作成				
					7 学外研修の振り返り 予復修課題：研修報告書の作成及び次年度に向けての課題を考えること				
					8 犯罪と刑罰 刑罰の本質 予復修課題：授業中指摘した論点についてまとめること。次回提出。				
					9 公務員試験対策問題演習 数的推理 判断推理 予復修課題：問題を解きなおしておくこと。				
					10 公務員試験対策問題演習 数的推理 判断推理 文章理解 社会科学 予復修課題：問題を解きなおしておくこと。				
					11 過去問を解いてみよう 予復修課題：前回までも問題を見直しておく				
					12 小論文を書いてみよう 予復修課題：小論文を完成させる				
					13 労働と法 予復修課題：授業中指定した論点について調べる。				
					14 政治と法 予復修課題：指定したテーマでレポート作成。次回提出。				
					15 前期の振り返りと夏休みの目標設定 予復修課題：全体の復修				

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar			単位数	授業内容**	
担当者	中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)			2	専任		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEL2101			
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	環境・産業を主体とするゼミに配属された学生としての自覚を持つ。 地球環境とエネルギー問題の基礎を学ぶ。 エコ検定に対応できる知識を持つ。 グローバル社会に対応できる素養を身に着けるために、幅広い内容の文献を輪読する。						
授業到達目標	ISO14001環境マネジメント内部監査員に相応しい素養を身に付ける。 地球環境問題を緩和するための政策の基礎を理解する。 地球環境問題を緩和するための技術の基礎を理解する。 環境に配慮する企業努力を理解する基礎的能力を身に付ける。 エコ検定に出題される最も基本的な知識を身に付ける。 世界の政治経済の動きを敏感に感じ取り環境の観点からそれに対して自分の意見が持てる。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。					
1. 小テスト、感想文など	20 %						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	10 %						
4. 授業中の発表、討論	10 %						
5. 授業への参加意欲	50 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	10 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	毎回、グループディスカッションを行う。					
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリント配布						
参考書	各企業のCSR報告書						
					1	ガイダンス 15回にわたる本ゼミの概要を説明する 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(トランプ政権と地球温暖化)	
					2	地球温暖化防止策1 CO2を地中に閉じ込める技術について論じる 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(温暖化)	
					3	地球温暖化防止策2 エネルギーシフトの総論について論じる 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(エネルギーシフト)	
					4	地球温暖化防止策3 戦後の高度経済成長期の前後におけるエネルギーシフトについて論じる 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(石炭から石油へのエネルギーシフト)	
					5	地球温暖化防止策4 今世紀に入ってからエネルギーシフトについて論じる 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(石油から自然エネルギーへのシフト)	
					6	地球温暖化防止策5 集合型発電から分散型発電へ 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(分散型発電)	
					7	地球温暖化防止策6 エネルギーの地産地消について 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(エネルギーの地産地消)	
					8	地球温暖化防止策7 スマートグリッドについて 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(スマートグリッド)	
					9	地球温暖化防止策8 各家庭における自然エネルギーの利活用 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(家庭の自然エネルギー)	
					10	地球温暖化防止策9 各家庭の電気自動車とソーラーパネルを利用したシステム 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(電気の自給自足)	
					11	地球温暖化防止策10 スマートグリッドの持続可能性 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(スマートシティ)	
					12	レポートの作成1 これまでに学んだ内容をレポートとしてまとめる 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(世界の地球温暖化防止策)	
					13	レポートの作成2 これまでに学んだ内容をレポートとしてまとめる 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(日本の地球温暖化防止策)	
					14	作成したレポートの発表 各人が作成したレポートを発表する 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(日本の未来のエネルギー事情)	
					15	まとめ これまでの内容を振り返り、次期のゼミにいかす。 予復修課題：今期のゼミを振り返り、自分がどう変わったかを文章にする。	

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 履修確認と取得単位の確認 取得単位数と履修科目を確認し、研究・就職活動状況を把握する。 予復修課題：取得単位数を確認しておくこと、また、研究・就職活動状況を整理しておくこと。(予修:2時間)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任					
EEL2101		EEL2101		2 図書館の利用方法 図書配置を確認し、図書館の活用方法を調査する。 予復修課題：図書館の利用方法を予修(1時間)し、図書館で書籍を借りて読むこと。(復修:3時間)					
授業形式		科目区分		3 自己分析(1) これまでの活動実績などを振り返り、自己分析などの結果を報告する。 予復修課題：活動実績をまとめて、必要に応じて自分史などを作成しておくこと。(予修:4~5時間)					
配当年次		開講学期		4 自己分析(2) 活動実績に基づく自己分析と他の人の自己分析とを比較する。 予復修課題：自分の強みと弱みを理解して、文章にまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
授業概要		前期		5 志望業界・企業の選定 志望業界・企業を絞り、関連情報を報告するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：志望業界・企業を絞り、関連情報を調べてまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
授業到達目標		前期		6 チーム作りと就職志望先の確認 就職志望先などに応じたチームを作り、志望先の確認と報告を行う。 予復修課題：チームメンバーと対話をして就職志望先などを調べて報告すること。(予修:3時間)					
就職活動および公務員試験などに関する理解を深めるだけでなく、それらに対する対策演習を行っていきます。また、毎回、SPI対策などの演習を実施することで、問題慣れするとともに知識を深めてもらいます。なお、必要に応じて、個別面談や履歴書等の書類を作成・指導していきます。		EEL2101		7 業界・企業研究(1) インターネットや新聞記事を活用して、各企業の社是などを報告する。 予復修課題：インターネットとを利用して、社是などを収集して整理しておくこと。(予修:4~5時間)					
SPIに関する過去問などの演習問題に解答できるだけの知識を身につける 就職活動などで必要なコミュニケーション能力を実践できるようにする 就職活動の情報などを適切に分析・判断できる能力を身につける 社会の問題点を見出し、それに対する解決方法を提案できるだけでなく実践力を習得する。		EEL2101		8 業界・企業研究(2) インターネットやキャリア支援課(就職)を活用して、企業情報をまとめて報告する。 予復修課題：キャリア支援課(就職)で、業界・企業情報などを収集して整理しておくこと。(予修:4~5時間)					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		EEL2101		9 試験対策 仕事算・濃度などに関する問題の解説および演習を実施予定。 予復修課題：仕事算・濃度などの類題を探し、解答を報告すること。(復修:4~5時間)					
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。		EEL2101		10 試験対策 約数・倍数などに関する問題の解説および演習を実施予定。 予復修課題：約数・倍数などの類題を探し、解答を報告すること。(復修:4~5時間)					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。		EEL2101		11 試験対策 マクロ経済に関する問題の解説および演習を実施予定。 予復修課題：マクロ経済学の類題を探し、解答を報告すること(復修:4~5時間)					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。		EEL2101		12 試験対策 ミクロ経済に関する問題の解説および演習を実施予定。 予復修課題：ミクロ経済学の類題を探し、解答を報告すること(復修:4~5時間)					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項		13 試験対策 就職志望先に関連する新聞記事を読み、事実と意見を分けて(文書・口頭)報告する。 予復修課題：図書館などで新聞記事を読み、事実と意見をメモしておくこと。(復修:4~5時間)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		14 試験対策 就職志望先に関連する新聞記事を読み、事実と意見を分けて(文書・口頭)報告する。 予復修課題：図書館などで新聞記事を読み、事実と意見をメモしておくこと。(復修:4~5時間)					
1. 小テスト、感想文など		15 %		15 まとめ 就職活動の準備を振り返り、不足する点や改善していく点などを報告する。 予復修課題：準備不足や疑問点があれば、整理して質問事項を文章にまとめておくこと。(復修:4~5時間)					
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		5 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%		基本的に、毎回、報告を行っていただきます。					
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %		また、適宜、プレゼンテーションや調査学習に取り組んでもらいます。					
3.		%							
再評価の実施		する							
しない									
教科書		使用しない。							
参考書		配布資料に記載予定。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール入門 Introduction to Seminar				単位数	2		授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				専任		1		ガイダンス： 主に前期で関わるイベントの概要について説明します。 予復修課題：授業の振り返りレポートを作成してください。(約1.0時間)
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL2101		2		グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：グループ別に業務スケジュール表を作成してください。(約1.0時間)
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	本演習では、ゼミナール までを通じて行っていく「自己ブランディング」について考えていきます。そのための手段としてProject Based Learningという手法を用いてイベントの企画や運営という業務を担当します。受け身から転じて積極性を身に付けるにはこの方法以外難しいでしょう。他の授業科目で学んだ知識に加えてコミュニケーション力を高めながら、様々な案件についてチームワーク力を身に付けていきます。自分が得意でないことも他者の力を借りれば可能性は広がります。2つの株式会社と1つの社団法人の経営者の立場で授業を行います。						3		グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)
	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 学びの基礎を習得すると共に情報の収集能力を高めることができる。						4		グループワーク + 個人面談 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						5		イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						6		グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						7		グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						8		グループワーク + 個人面談 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)
	成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項		9		イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	本授業ではスポーツビジネスのフィールドワークを通じて社会人基礎力を高めていくことを目的としています。「体験に勝る学びはない」との教え通り、様々な業務を担当することで社会で有用なスキルを獲得していきましょう。特に重視することはコミュニケーション能力です。その基本となるのは日々のやり取りですので、グループLINEを活用して取り組んでいきます。				10		グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)	
1. 小テスト、感想文など	%					11		グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)	
2. 中間テスト	%					12		グループワーク + 個人面談 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)	
3. 課題レポートなどの提出物	%					13		中間(前期)報告会準備 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)	
4. 授業中の発表、討論	20 %					14		報告会準備 リハーサル 予復修課題：本番を予測した課題を具体的に書き出します。(0.5時間)	
5. 授業への参加意欲	20 %					15		総括：前期で関わった全てのイベントを振り返ります。どのような気付きや学びがあったでしょうか。 予復修課題：前期の自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)	
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7. 学習の進捗報告	20 %								
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト	%	ゼミナール入門から まで一貫してPBLを採用して実務能力を高めていきます。学外の個人や法人との関わりを有効な人脈とできるように積極的にコミュニケーションを深めましょう。							
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %								
3.	%								
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。								

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール入門 Introduction to Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL2101		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	澤田ゼミが取り組んできた学内外のイベントについて学び、スポーツビジネス領域やイベント関連の産業で将来的に活躍できる人材として必要な基礎的知識や基本動作を身に付ける。				1 ガイダンス 授業の概要について説明する 予復修課題： スポーツビジネスやイベントについて調べる。(所要時間120分)		
授業到達目標	スポーツビジネスやイベントについて理解することができる。 積極的に活動に参加し、学んだ技術を実践できる。 ビジネスマナーを身につけ、実践できる。				2 澤田ゼミの活動について 澤田ゼミの活動とビジョンについて学ぶ 予復修課題： 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める。(所要時間120分)		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	学内にとどまらず、スポーツを中心としたイベントに積極的に参加してもらいます。毎回、おおむね60分程度の予修・復修の時間を確保して下さい。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30%					
4. 授業中の発表、討論		30%					
5. 授業への参加意欲		30%					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	〔第6、9～11回〕イベント実施				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	〔第12回〕グループディスカッション				
3.		%	〔第14回〕プレゼンテーション				
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
11 ゼミイベント(幼稚園でのラグビー体験)をバックアップする 3年生のゼミ活動をサポートする 予復修課題： イベントの実施がスムーズになる方法について考えておく							
12 ゼミイベントのレビュー(グループワーク) ラグビー体験についての改善点を共有する 予復修課題： グループワークに向けて各自で課題をレビューしておく							
13 実践演習 プレゼンテーションの情報を収集する 予復修課題： 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める							
14 実践演習 収集した情報をプレゼン資料としてまとめ、プレゼンテーションを行う。 予復修課題： 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める							
15 まとめ イベントに関する知識を現場で活かせるようにまとめる 予復修課題： まとめの確認をする							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 再履修用 Introduction to Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)			2	1 この授業の目的	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	予復修課題：講義要項(シラバス)と、教科書の、まえがき・目次、を読んでおくこと。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*		2 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。発表者は割り当て箇所について発表する。発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：教科書の1限目(1章)の予修と授業内容の復修。	
配当年次	2年生	開講学期	前期			3 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。発表者は割り当て箇所について発表する。発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：教科書の1限目(1章)の予修と授業内容の復修。	
授業概要	このゼミナール入門では、経済学部の課程において、経済政策について研究していくための準備をします。そのために、まず、この授業では、問題解決について分かりやすく解説した教科書に沿って、順番に、発表・討論を行い、次のことを目標とします。						4 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。発表者は割り当て箇所について発表する。発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：教科書の2限目(2章)の予修と授業内容の復修。
	授業到達目標	問題解決の考え方を理解し得ること。 現代の経済政策の課題を、問題解決の視点から考えることができること。 発表、質疑応答により、コミュニケーション能力の大切さを意識できること。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	この科目は、仁部ゼミの再履修者用です。				
1. 小テスト、感想文など		20 %	前期開講の「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」を履修することが望ましい。 後期開講の「経済政策入門」も受講することが望ましい。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	発表、質疑応答、討論、レポートの作成などを行います。				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	渡辺健介『世界一やさしい問題解決の授業』ダイヤモンド社、2007年。						
参考書	適宜紹介します。						
						15 まとめ 予復修課題：前期の学習の自己評価と後期の目標の確認をすること。	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール入門 Introduction to Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		正田 淳一 (MASADA Junichi)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2101					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	前期						
授業概要	<p>就職するため及び仕事をするために役立つ資格に簿記検定やFP検定があります。会社を見極めるために必要な知識として、2年生のうちから簿記検定3級及びFP科目の金融資産運用を学ぶことはとても大切なことです。また、上記の知識を活かして、企業の研究を行いプレゼンテーションを行ってまいります。ゼミナールにおいて、日商簿記検定の受験を目的とするため、日商簿記検定3級相当の知識を身につけていただきます。</p>								
授業到達目標	<p>1. 簿記の知識を身につけて、説明ができるようになる。 2. 会社四季報に記載されている、財務諸表の意味が理解できるようになる。</p>								
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<p>1. 日商簿記検定を積極的に受験すること 2. 電卓を持参すること 3. 予復修の取組時間: 1時間以上 4. 会社会計における各種取引について自身の意見を述べてもらうこともあります。 5. 授業の進捗状況 (理解度) によって内容変更する可能性あり。</p>						
2) 最終到達度の評価			<p>アクティブ・ラーニング 企業研究の発表会において、報告を行っていただきます。 講義内にて、簿記検定の答練を解いて貰う事もあります。</p>						
再評価の実施	する	しない							
教科書	本授業開始時に指示する								
参考書	本授業開始時に指示する								
<p>1 ガイダンス 今後の授業の進行方法及び評価の説明 予復修課題: シラバスを熟読する。</p> <p>2 会社四季報の読み取り方 (金融資産運用) 会社四季報の用語の確認 予復修課題: 自身の興味のある業種について考えてくる。</p> <p>3 貸借対照表と損益計算書 (会社会計) 株式会社における財務諸表の読み取り方の確認 予復修課題: 自身の興味のある企業について調べてくる。</p> <p>4 プレゼンテーション (企業研究) 予復修課題: 発表を行う準備を行う。発表資料の準備。</p> <p>5 会社会計における各種取引 (商品売買) 取引の詳細および仕訳の確認 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>6 会社会計における各種取引 (現金預金) 取引の詳細および仕訳の確認 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>7 会社会計における各種取引 (手形・クレジット) 取引の詳細および仕訳の確認 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>8 会社会計における各種取引 (その他の資産および負債) 取引の詳細および仕訳の確認 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>9 会社会計における各種取引 (その他の資産および負債) 取引の詳細および仕訳の確認 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>10 会社会計における各種取引 (その他の収益および費用) 取引の詳細および仕訳の確認 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>11 会社会計における各種取引 (試算表の作成) 日商簿記で必要となる試算表の作成方法の説明および演習 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>12 会社会計における各種取引 (試算表の作成) 日商簿記で必要となる試算表の作成方法の説明および演習 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>13 会社会計における各種取引 (決算整理) 日商簿記で必要となる精算表及び財務諸表の作成方法の説明および演習 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>14 会社会計における各種取引 (決算整理) 日商簿記で必要となる精算表及び財務諸表の作成方法の説明および演習 予復修課題: テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。</p> <p>15 授業の総括 (まとめの答練) 予復修課題: 会社会計における各種取引の復修を行う。</p>									

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**					
担当者	遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)				2	1	ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2	小さな政府と大きな政府 予復修課題：小さな政府とは何か。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科						
配当年次	2年生	開講学期	後期								
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。										
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。										
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。								
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。								
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		30 %									
4. 授業中の発表、討論		50 %									
5. 授業への参加意欲		20 %									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング									
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。								
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施	する	しない									
教科書											
参考書											
						11	社会主義はなぜ崩壊したか。 予復修課題：ソ連の歴史。				
						12	社会主義と社会の変化 予復修課題：格差はどうなるのか。				
						13	職業の変遷、人工知能の時代。 予復修課題：無くなる職業。				
						14	職業の変遷、生まれる仕事。 予復修課題：どんな能力が重要か。				
						15	まとめのレポート 予復修課題：どんな時代が来るか。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール I Seminar I		単位数	授業内容**					
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 履修確認とゼミ研究の準備					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	2年生	開講学期	後期							
授業概要	経営学・会計学は実践学であり、一方その理論とは、会社の抱える諸課題の解決策を示しているものと理解できます。そこで、本演習では、卒業までの期間を通して、産業界や企業の現状と抱える課題を調べ、経営学・会計学の知識を応用することで企業体の現状や経営学・会計学への理解を深めます。 その際には、各自の進路や興味に経営学・会計学を応用することを重視します。また、レジュメ作成や発表・ディスカッションにより、表現能力をも高めていきます。									
	1. 論文の書き方や調査方法がわかる。 2. 企業や業界の現状について理解できる。 3. 経営学の知識を応用することができる。 4. 会計学の知識を応用することができる。									
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
	【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
	成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項					
	1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。 2. 連絡、相談を大事にすること。 3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。						
	1. 小テスト、感想文など		%	2) 最終到達度の評価						
	2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%								
4. 授業中の発表、討論		10 %								
5. 授業への参加意欲		75 %								
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%								
7.		%								
1. まとめのテスト		%	アクティブ・ラーニング							
2. 論文、まとめのレポートなど		15 %	自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。							
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書										
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。									
					15 総括・レポート提出					
					予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。					

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1 イントロダクション 後期演習の概要と進め方他 予復修課題： 自己アピール広告ポスター発表準備				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 自己アピール広告ポスター発表とディスカッション 予復修課題： 他学生の自己アピール広告ポスターへのコメントレポート				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期	(コース)区分*					
授業概要	テーマは「メディアと広告」です。日常に溢れる膨大な情報の信憑性の判断と正確な理解、そしてそれらの有効活用法について、実際のニュース、広告、CM等を対象に、その内容や構造を、情報発信者・受信者双方の視点から批判的に検証します。とりわけ、広告ポスターやCMは、文学・絵画・映画等の芸術作品と同様に分析・解釈しながら、企業戦略や消費者動向との関連及び時代や社会との関連も考察します。また、情報の総合的読解力・分析力を基礎に、自ら情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションコンテンツ制作の実践もします。								
	1. 情報の背後に存在する伝達されなかった事実の演繹的理解ができる								
	2. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる								
	3. CM及びそこで用いられるキャッチコピーなどを、文学テキストの解釈と同様に、時代や社会との関連のなかで分析し解釈できる								
	4. 既成概念や社会通念を批判的視座から再検証する柔軟な思考ができる								
授業到達目標	5. 情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションを意図的に構築・実践できる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書を購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のディスカッション参加への積極性などを総合的に判断して成績を評価します。演習科目ですから、自ら率先して問題に対処することが特に求められます。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		15 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		15 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合がある)								
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合がある)								
11 映像表現とその効果について(3)CM研究 プレゼンテーション資料作成実践					予復修課題： CM分析作業(パワーポイント資料作成)				
12 映像表現とその効果について(4)CM研究 プレゼンテーション資料作成実践					予復修課題： プレゼンテーション準備(発表シナリオ作成)				
13 映像表現とその効果について(5)CM研究 プレゼンテーションとディスカッション					予復修課題： 他学生のプレゼンテーションへのコメントレポートへのコメントレポート				
14 映像表現とその効果について(6)CM研究 プレゼンテーションとディスカッション					予復修課題： 他学生のプレゼンテーションへのコメントレポートへのコメントレポート				
15 まとめ(発表とディスカッション)					予復修課題： 年間の活動及び研究プロセスの総括				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**								
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		2	1 ゼミの進め方を話し合っ、教科書を一緒に選定します。 予復修課題： どの分野の本を教科書とするのか、予め考えてくる(教科書を探索する目安時間:120分)								
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 教科書に基づく発表と質疑応答1 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)								
EEL2201		EEL2201		3 教科書に基づく発表と質疑応答2 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)									
授業形式		演習		科目区分		ゼミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科		予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
配当年次		2年生		開講学期		後期						4 教科書に基づく発表と質疑応答3 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)	
授業概要		教科書に基づいて、輪読します。発表者は要約(レジメ)を作成し、それ以外の学生は、複数の質問を用意して、発表者との間で質疑応答を行なってもらいます。											
授業到達目標		・卒論作成のために必要な基礎知識を修得する。											
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)													
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。													
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。													
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。													
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項									
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		出席を極めて重視するので、できるだけ出席するようにしてください。もし、欠席・遅刻をする場合には、必ず連絡してください。本ゼミの最終目的が卒論作成であることに留意して、積極的にゼミに参加してください。									
1. 小テスト、感想文など		%		2) 最終到達度の評価									
2. 中間テスト		%											
3. 課題レポートなどの提出物		%											
4. 授業中の発表、討論		80 %											
5. 授業への参加意欲		20 %											
6. 自主的学習(予習・復習など)		%											
7.		%											
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング									
1. まとめのテスト		%		発表者や質問者に対して、コメントを行なうことで、気づきを与える。									
2. 論文、まとめのレポートなど		%		14 予復修課題： 発表者の発表予定箇所に関して(不明な語句を調べ、教科書を予復修する目安時間:120分)									
3.		%											
再評価の実施		する		しない		15 まとめ 予復修課題： 今まで発表された箇所についての復修(教科書を復習する目安時間:120分)							
教科書		最初の時間に話し合っ決めてます。											
参考書													

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201					
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次		2年生		開講学期	後期				
授業概要	経済分析のレポートのお手本として、日本経済の現状認識と政策運営の実際について政府が執筆・作成した『経済財政白書』を輪読します。どのような事象に着目すべきか、どのような方法で分析するのか、どのような図表で分析結果を読み手に伝えるのかを学ぶのが目的です。経済の現状や政府の政策に関する一般常識を身につけることにより、就職活動に備えます。受講者は数人単位のグループに分かれ、グループ毎に内容紹介の発表をすることとします。これにより、各自の要点把握能力とプレゼンテーション能力を鍛錬します。								
	授業到達目標 簡便な経済分析手法の習得 要点把握能力の向上 グループ・メンバー内、グループ間のコミュニケーション能力の向上 就職活動の面接時に求められる経済の一般常識の習得								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
	成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
	1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	論文を執筆する際に必要な一般常識と実践的な分析スキルを習得できるように支援します。そのためには、既存のレポートを読みこなし模倣することから始めるのが効率的です。輪読に際しての事前準備(予修)には最低1時間は費やして下さい。グループ内討議では、自分の理解度を確認し、何が欠けているのか知る機会になります。					
	2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング 通常の輪読、要点報告のためのグループ内討議、グループ毎の要点発表、他グループへのコメント発表を組み合わせて行います。					
	再評価の実施		する	しない					
教科書		内閣府『令和2年版 経済財政白書』(日経印刷、2020年刊行予定)。WEB版(無料)も別途あり。							
参考書		授業の過程で、必要に応じて提示予定。							
1	ガイダンス 演習の進め方、中心的な学修課題、留意事項について説明し、グループ編成も行う。 予復修課題：授業時に指示								
2	海外経済の動向と日本経済への影響：グループ内討議 白書第1章第1節の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示								
3	海外経済の動向と日本経済への影響：プレゼンテーション、コメント、リプライ グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
4	海外経済の動向と日本経済への影響：総括 白書第1章第1節の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示								
5	家計の所得・消費動向：グループ内討議 白書第1章第2節の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示								
6	家計の所得・消費動向：プレゼンテーション、コメント、リプライ グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
7	家計の所得・消費動向：総括 白書第1章第2節の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示								
8	人手不足と生産性、賃金、物価の動向：グループ内討議 白書第1章第3節の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示								
9	人手不足と生産性、賃金、物価の動向：プレゼンテーション、コメント、リプライ グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
10	人手不足と生産性、賃金、物価の動向：総括 白書第1章第3節の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示								
11	財政・金融の動向：グループ内討議 白書第1章第5節の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示								
12	財政・金融の動向：プレゼンテーション、コメント、リプライ グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
13	財政・金融の動向：総括 白書第1章第5節の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示								
14	個人発表(1)：経済学解説～ 白書の「経済学説」欄より、GDPの構成、生産性、男女間賃金格差について報告する。 予復修課題：授業時に指示								
15	個人発表(2)：経済学解説～ 白書の「経済学説」欄より、雇用慣行、外国人雇用、経常収支赤字について報告する。 予復修課題：授業時に指示								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)		2	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 複式簿記の構造(1) 予復修課題：日商簿記検定試験3級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期	(コース)区分*					
授業概要	本授業では、複式簿記の構造について理解する。加えて、その応用として問題基盤型学習、サービスラーニングなどを取り入れて実践を図り、地域連携・地域貢献活動を行う。前者では、日商簿記検定試験合格などを手段として、複式簿記の構造について追究する。後者では、産学官連携活動および域学連携活動を実施する。産学官連携活動では、地方公共団体や公共性・公益性が高い企業とともに、域学連携活動では地域住民や商店街などとともに調査・分析をおこない、その結果について発表する。								
	1. 複式簿記の構造について、具体的に説明することができる。								
	2. 営利企業の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、解釈することができる。								
	3. アンケート調査をおこない、その結果をレポートにまとめ、発表することができる。								
	4. 地域社会の現状と課題について、経営学の観点から、具体的に述べるすることができる。								
	5. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。								
授業到達目標	6. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：日商簿記検定試験2級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：日商簿記検定試験2級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 地域連携・地域貢献活動(1) 産学官連携活動 予復修課題：産学官連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			1. 日商簿記検定試験2級または3級を積極的に受験することを要求する。				
1. 小テスト、感想文など		%			2. チームとして参加するプロジェクトでは、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。				
2. 中間テスト		%			3. 各授業ごとに120分以上の予復修をおこなうことを要求する。				
3. 課題レポートなどの提出物		%			アクティブ・ラーニング 地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスラーニングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する解決策を策定して、それを発表する。				
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		80 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3. 資格取得		20 %							
再評価の実施	する	しない			11 予復修課題：産学官連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分				
教科書	ガイダンスの際に指示する。								
参考書	ガイダンスの際に指示する。								
					12 地域連携・地域貢献活動(4) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分				
					13 地域連携・地域貢献活動(5) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分				
					14 地域連携・地域貢献活動(6) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分				
					15 授業の総括 予復修課題：地域社会の現状と課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 ガイダンス：ゼミ内容・進め方の解説、および履修指導・キャリア面談 予復修課題：自分がゼミで追及したいテーマについてまとめておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 準備1：分析方法・手順など計画についての解説、チーム分けと対象テーマの決定 ・テーマに基づきチーム分けし、分析フローや具体的な方法・手順を検討する。 予復修課題：自分がゼミで追及したいテーマの分析計画について構想を準備しておくこと。				
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	金融取引、市場および業界に関連するテーマについて研究します。 まず分析の実際的な進め方を習得し、その後に分析を手掛けます。 チーム内で分担し、自らが立てた計画に基づいて進めてもらいます。 社会人として必要な実務スキル(企画立案/運営/発表)を身につけてもらうことも ゼミの目的です(実務経験)。 ・資格試験の受験者が相当数いる場合、その演習などを行うことも検討します。				3 準備2：文献・資料、データの収集計画および発表資料作成の解説 ・準備してきた文献等の採否や追加すべき資料等を検討する。 予復修課題：チームで決めたテーマに利用できそうな文献等を準備しておくこと。				
授業到達目標	・分析可能な具体的なテーマを設定することができる。 ・必要な分析フローや採用すべき分析手法など計画することができる。 ・チーム内でコミュニケーションを取りながら、責任をもって担当を遂行することができる。				4 準備3：分析手法案についての解説、チーム内での役割分担の決定 ・理論分析、データ分析ならびにフィールド・ワークなど手法について解説する。 予復修課題：自分の構想に対して、方法・手順などの計画を立案してくること。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 準備4：分析アウトラインの発表と検討 ・チーム毎に立てた分析計画と工程を検討する。 予復修課題：資料、分析方法、想定結論を考慮した分析計画を準備しておくこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 進捗報告1：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 進捗報告2：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	PC必須。ソフトをインストールの上、持参のこと。スマホは能力が不十分なので不可。 クラウド・ドライブ(Google Drive)、アイディア・プロセッサ(Mind Map)、フローチャート作成(yEd)、プロジェクト管理(Open Project)、クリッピング(Evernote)の各ツールは必須。手書き用のノートは絶対必須。 予復修は、最低でも1時間確保してください。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ・他のゼミ員の発表や発言に関心をもち、自分でも意見を積極的に述べられるよう、自分をトレーニングしてください。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		30 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	ゼミ中に指示します。								
参考書	ゼミ中に指示します。								
					11 進捗報告5：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
					12 進捗報告6：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
					13 進捗報告7：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
					14 最終発表：分析成果の発表。 ・成果発表と併せて、当初計画からのずれ、軌道修正の履歴、得られたことを提示する。 予復修課題：最終発表用のプレゼン資料を用意しておくこと。				
					15 最終レビュー：成果について全員で講評する。 ・前回の最終発表を聞いて、まとめと今後の課題を明らかにする。 予復修課題：今後の勉強計画、実習・研修計画及び卒業後の進路等の計画をまとめて来ること。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談。 予復修課題: シラバスを読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 企業の経営分析の方法(情報収集/レポート作成の方法と留意点) ・「企業の経営分析」の内容/レポート作成のスケジュール説明/面談。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	「日本企業の経営戦略について知る・学ぶ」をテーマとした演習を行います。2年前期は、興味・関心のある企業を選んで簡易な企業レポートの作成に挑戦し、企業を理解しようとするとき、必ず注目すべき要点について学習します。2年後期は、『教科書(後日指定)』を主な題材としてレジュメ作成・購読・討論を行うことにより、企業分析の方法を理解すると共に、自分の主張を明確かつ論理的展開できるコミュニケーション能力の向上の向上を目指します。								
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文作成の前段階として、企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する基礎レベルのレポートを作成することができる。 ・グループの中で計画的かつ協力的に目的とする課題遂行に取り組む、その中でも自分の意見・主張を積極的に述べるができる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 講読する書籍の選定/グループ分け等 ・購読する書籍の選定とグループ分け、及びレジュメ作成範囲の指定。 予復修課題: 各自希望する書籍を選定し、PRの準備をしておくこと。(予復修時間目安 90分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・当演習の内容(日本企業の戦略分析)と「経営戦略論」(3年前期:演習教員が担当)の講義内容に強い対応関係があるため、原則として同科目を履修しておくこと。						
1. 小テスト、感想文など		%	・本演習は、入門編として選定書籍・文献の購読とレジュメ作成・発表が中心となる。書籍						
2. 中間テスト		%	・文献の選定には、学生諸君の意見も反映させる。自分の関心を明確にしておくこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	アクティブ・ラーニング						
4. 授業中の発表、討論		30 %	・個人およびチーム単位で、特定のテーマに関する報告・発表の実施を前提に参考資料の収集から発表資料の作成、報告・発表を行う。						
5. 授業への参加意欲		10 %	11 選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	12 選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)						
7.		%	13 レポート/論文の書き方 ・レポート及び論文作成のための適切な文章(の構造)について解説。 予復修課題: 事前配布資料を読み、所定の課題を作成しておくこと。(予復修時間目安 90分)						
2) 最終到達度の評価			14 レポート/論文の書き方 ・企業レポートの実例(事前配布)から「論理の組み立て方」を学ぶ。 予復修課題: 事前配布資料を読み、所定の課題を作成しておくこと。(予復修時間目安 90分)						
1. まとめのテスト		%	15 総まとめ ・個別キャリア面談/春季休暇課題の説明。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)						
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	参加者の興味・関心(進路等)もふまえて適宜指定。								
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar			単位数	授業内容**					
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)			2	1 演習の進め方について 予復修課題： シラバスを読む					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEL2201	2 老舗とは何か(1) 老舗の意味と由来について 予復修課題： 老舗の意味と由来					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科						
配当年次	2年生	開講学期	後期								
授業概要	本演習では、創業から100年以上経過し「老舗」と呼ばれている企業を研究対象とする。グローバル化した現代において、長期的な視点で経営を考える機会はほとんどなくなっている。こうした時代であるからこそ、長期にわたって存続してきた老舗企業に学び、継続することの意味を問い直す必要があるように思われる。ここでは、テーマとなる老舗企業の基礎知識について学ぶ。										
授業到達目標	老舗企業の概要について理解し、説明することができる。										
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 履修するうえで、積極的に学ぶ姿勢・態度はきわめて重要である。 2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。							
1. 小テスト、感想文など		%									
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		10 %									
4. 授業中の発表、討論		10 %									
5. 授業への参加意欲		60 %									
6. 自主的学習(予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%		1) 発表・プレゼンテーション(第4回ほか) 2) ミニレポート(第6・9・10・14回)							
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %									
3.		%									
再評価の実施	する	しない									
教科書	鶴岡公幸『老舗 時代を超えて愛される秘密』産業能率大学出版部 2012年										
参考書	5 15 予復修課題： 第2～14回の授業内容										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		2	1 ガイダンス ゼミナール の進め方 予復修課題： 予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 事例・判例演習 予復修課題： 予修：ゼミで学ぶ範囲を予修する。復修：レジュメや練習問題の復修を行う。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	企業の脱税、粉飾決算、偽装表示といった事件を新聞やニュースで見聞きしたことがあると思いますが、なぜこのような違法行為を行う企業が後を絶たないのでしょうか。本ゼミでは、その原因やメカニズムを決算書や裁判例を基に分析し、会社法を中心とした企業法の観点から企業不祥事の防止について考えていきます。								
	ゼミナール入門で身に付けた知識を活かし、前半は事例や裁判例の検討を行っていきます。後半は、いよいよゼミ研究の準備に入ります。								
授業到達目標	ビジネスパーソンとして実践的な法律知識を学ぶことができる。 企業法に位置づけられる各法律の考え方や会計との関連性を理解することができる。 決算書より財務体質や法的問題点を読み取り問題解決力を身につけることができる。								
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 【講義】 ゼミ研究の準備 テーマ選定の方法 予復修課題： 研究したい内容を検討しておくこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 【講義】 ゼミ研究の準備 資料や文献の収集方法 予復修課題： 研究したい内容を検討しておくこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 【講義】 ゼミ研究の準備 レジュメのまとめ方 予復修課題： 研究したい内容を検討しておくこと。				
成績評価の方法 (全体で100%)					10 【講義】 ゼミ研究の準備 テーマの選定 予復修課題： 研究したい内容を検討しておくこと。				
履修における留意事項					11 【演習】 ゼミ研究の準備 テーマの選定 予復修課題： 研究したい内容を検討しておくこと。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					12 【演習】 ゼミ研究の準備 テーマの選定 予復修課題： 研究したい内容を検討しておくこと。				
1. まとめのテスト		%	アクティブ・ラーニング ミニッツペーパー (随時)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	Think-Pair-Share						
3.		%	グループディスカッション						
再評価の実施	する	しない	グループワーク						
教科書	講義レジュメを使用する。								
参考書	別途指示する。								
					15 予復修課題： 研究したい内容をレジュメ化して提出する。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 各自、将来就きたい仕事について考えてみよう。 予復修課題：授業中調べた資料をまとめておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 各自、自分に必要な学習内容・研究内容を把握し、学習計画を立てる。 予復修課題：計画表の作成				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	<p>憲法、法学の基本的論点について学んでいきます。 特に、現代社会で問題になっているテーマを中心とします。 その他、公務員試験教養試験対策を毎回時間をとっておこないます。</p>								
授業到達目標	<p>指定するテーマについて調べ、論点についてまとめることができるようになる。 指定されたテーマについて討論できるようになる。 教養試験対策、就職試験対策の問題に対応できるようになる。</p>								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 基礎学力を身につけよう。数的処理・社会科学 予復修課題：問題演習				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 基礎学力を身につけよう。数的処理・社会科学 予復修課題：問題演習				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 過去問を解いてみよう。 予復修課題：問題の残りを解く				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			各学生の自主性を重んじますが、出席に関しては厳重にチェックします。学習テーマに関しては、各学生の志望進路に併せて自由に決定できるようにします。各自の目標達成のための力をつけていきましょう。自宅学習時間は1時間程度とする。				
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			11 小論文を書いてみよう。 予復修課題：小論文を完成させる。 12 小論文の提出とふりかえり。 予復修課題：小論文の修正 13 時事問題を知ろう。 予復修課題：プリントの見直し 14 次年度の学外研修について考えてみよう。 予復修課題：候補地と研修内容について考えておく。				
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない			15 総復修 予復修課題：全体の見直し。				
教科書									
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**						
担当者	中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)			2	1	面談					
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEL2201	専任	予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	グローバル経済に関する映像を視聴する					
配当年次	2年生	開講学期	後期			2	予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(温暖化)				
授業概要	環境・産業を主体とするゼミに配属された学生としての自覚を持つ。				3	自然エネルギー(1)					
	地球環境とエネルギー問題の基礎を学ぶ。 エコ検定に対応できる知識を持つ。 グローバル社会に対応できる素養を身に付けるために、幅広い内容の文献を輪読する。					限りある化石燃料(石油・石炭)の寿命とCO2排出量削減について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(化石エネルギー)					
授業到達目標	IS014001環境マネジメント内部監査員に相応しい素養を身に付ける。 地球環境問題を緩和するための政策の基礎を理解する。 地球環境問題を緩和するための技術の基礎を理解する。 環境に配慮する企業努力を理解する基礎的能力を身に付ける。 エコ検定に出題される最も基本的な知識を身に付ける。 世界の政治経済の動きを敏感に感じ取り環境の観点からそれに対して自分の意見が持てる。				4	自然エネルギー(2)					
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					自然エネルギーを普及させるための課題について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(自然エネルギー)					
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5	低燃費ガソリン自動車					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						マツダやダイハツが開発した第3の自動車エンジンについて討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(ガソリンの超低燃費車)					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					6	ハイブリッド自動車(1)					
成績評価の方法(全体で100%)						ハイブリッド車と電気自動車の「つなぎ」としてのハイブリッド車の最新技術を討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(HV)					
履修における留意事項					7	ハイブリッド自動車(2)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価						ハイブリッド車を普及させるための課題について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(PHEV)					
評価割合					8	電気自動車(1)					
1. 小テスト、感想文など						電気自動車の原理について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(EV)					
20%					9	電気自動車(2)					
2. 中間テスト						電気自動車を普及させるための課題について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(EV)					
%					10	燃料電池車					
3. 課題レポートなどの提出物						究極のエコカーである燃料電池車の原理と普及のための課題について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(FCV)					
10%					11	スマートシティ(1)					
4. 授業中の発表、討論						自然エネルギーを我々の社会生活に直接活かす仕組みについて討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(スマートシティ)					
50%					12	スマートシティ(2)					
5. 授業への参加意欲						自然エネルギーを我々の社会生活に直接活かす仕組みについて討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(スマートシティ)					
10%					13	原発問題					
6. 自主的学習(予習・復習など)						福島原発の問題点を国策の点から洗い出す。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(原発)					
%					14	放射能、放射性物質と健康					
7.						過去の大事故の概要と健康へのリスクについて討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(原発)					
2) 最終到達度の評価					15	まとめ					
1. まとめのテスト						これまでの内容を振り返り、次期のゼミにいかす。 予復修課題：今期のゼミを振り返り、自分がどう変わったかを文章にする。					
%											
2. 論文、まとめのレポートなど											
%											
3.											
再評価の実施											
する											
しない											
教科書	プリント配布										
参考書	各企業のCSR報告書										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 履修確認と卒業研究・就職活動の状況確認 取得単位数と履修科目を確認し、研究・就職活動状況を把握する。 予復修課題：取得単位数を確認しておくこと、また、研究・就職活動状況を整理しておくこと。(予修:2時間)					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201	2 前期の活動実績と反省 前期の研究・就職活動を振り返り、改善点をまとめて報告する。 予復修課題：前期の振り返りと改善点をまとめておくこと。(予修:3時間)					
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次		2年生		開講学期	後期	(コース)区分*				
授業概要		就職活動および公務員試験などに関する理解を深めるだけでなく、それらに対する対策演習を行っていきます。また、公務員試験(初級)対策などの演習を実施することで、問題に慣れるとともに知識を深めてもらいます。なお、必要に応じて、面談や履歴書等の書類を作成・指導していきます。								
授業到達目標		公務員試験(初級)に関する過去問などの演習問題に解答できるだけの知識を身につける 就職活動などで必要なコミュニケーション能力を実践できるようにする 就職活動の情報などを適切に分析・判断できる能力を身につける 社会の問題点を見出し、それに対する解決方法を提案できるだけでなく実践力を習得する。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 試験対策 最大・最小問題などに関する問題の解説および演習を実施予定。 予復修課題：最大・最小問題などの類題を探し、解答を報告すること。(復修:4~5時間)					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 試験対策 方程式・不等式・連立方程式の応用などに関する問題の解説および演習を実施予定。 予復修課題：方程式・不等式・連立方程式などの類題を探し、解答を報告すること。(復修:4~5時間)					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 試験対策 就職志望先に関連する新聞記事を読み、事実と意見を分けて(文書・口頭)報告する。 予復修課題：図書館などで新聞記事を読み、事実と意見をメモしておくこと。(復修:4~5時間)					
成績評価の方法(全体で100%)					6 志望動機の準備・作成 企業研究や自己分析に基づいた志望動機を準備して報告する。 予復修課題：企業研究や自己分析を振り返り、志望動機を固めて文章にまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		7 自己PRの準備・作成 自己分析に基づく自己PRを準備・発表する。 予復修課題：自己分析を踏まえて、自己PRを文章にまとめておくこと。(予修:4~5時間)						
1. 小テスト、感想文など		15 %		8 エントリーシートの準備・作成 エントリーシートの項目を確認して、エントリーシートなどを作成する。 予復修課題：企業のホームページなどを確認してエントリーシートの有無を確認しておくこと。(予修:4~5時間)						
2. 中間テスト		%		9 面接対策 履歴書とエントリーシートなどに基づいて、面接練習などの研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：履歴書とエントリーシートを準備して、面接の質問事項などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %		10 グループ活動(1) グループ毎に課題を設定し、各課題に関する情報などを収集・分析する。 予復修課題：チームメンバーと協働し、課題を発見するとともに、情報収集は行うこと。(予修:4~5時間)						
4. 授業中の発表、討論		10 %		11 グループ活動(2) グループ毎に課題解決の施策を考え、実行可能性を探る。 予復修課題：現状把握をした上で、課題の解決策を話し合い、実行に必要な準備を行うこと。(予修:4~5時間)						
5. 授業への参加意欲		5 %		12 グループ活動(2) グループ毎に課題やその解決策などをプレゼンテーションする。 予復修課題：プレゼンソフトなどを利用して、プレゼン資料を準備すること。(予修:4~5時間)						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%		13 レポート・論文の書き方 レポート・論文作成の注意点をまとめるとともに、卒業論文の構成を作成する。 予復修課題：卒業論文の構成を考えておくとともに、疑問点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)						
7.		%		14 資料・文献収集の方法と引用・参考文献の書き方 引用・参考文献の書き方に注意しながら、収集した資料を一覧表にまとめる。 予復修課題：収集した資料を準備して、一覧表を作成しておくこと。(予修:4~5時間)						
2) 最終到達度の評価		%		15 まとめ 一年間の研究・就職活動を振り返り、不足する点や改善していく点などを報告する。 予復修課題：準備不足や疑問点があれば、整理して質問事項を文章にまとめておくこと。(復修4~5時間)						
1. まとめのテスト		%		アクティブ・ラーニング 基本的に、毎回、報告を行っていただきます。 また、適宜、プレゼンテーションや調査学習に取り組んでもらいます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %								
3.		%								
再評価の実施		する		しない						
教科書		使用しない。								
参考書		配布資料に記載予定。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL2201		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	2年生	開講学期	後期				
授業概要	本演習では、ゼミナール までを通じて行っていく「自己ブランディング」について考えていきます。前期のゼミナール入門で設定していた目標がどの程度達成できたのかを自己評価し、後期での新たな目標設定を行います。上級生や学外の方ともコラボレートしながら「スポーツに関すること」を主としつつもビジネス実務の全般について経験値を高めていきます。2つの株式会社と1つの社団法人を経営する立場で、実践的(即戦力的)な指導を行っていますので、「課題を解決する」ための能力を積極的に高めていきましょう。				1	ガイダンス： 後期で関わるイベントの担当決めを行います。 予復修課題： 前期までに関わった全ての案件について報告書を作成してください。(約1.0時間)	
授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した基礎的な能力を発揮することができる。 学びの基礎を習得します。				2	グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： グループ別に業務スケジュール表を作成してください。(約1.0時間)	
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				3	グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)	
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				4	グループワーク + 個人面談 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題： 自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)	
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				5	イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題： 全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)	
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				6	グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)	
	成績評価の方法(全体で100%)				7	グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)	
	履修における留意事項				8	グループワーク + 個人面談 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題： 全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	本授業では演習の集大成として応用力を養成していきます。そのために先ず身に付けて行かなければならないのが社会人基礎力です。学年を超えたチームワークを複数のイベント企画や運営を通して獲得していきましょう。大切なことはリアル・バーチャルを問わずコミュニケーションです。双方向のやり取りができるように前期同様に意識して取り組んでください。		9	イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題： 全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)		
1. 小テスト、感想文など	%			10	グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)		
2. 中間テスト	%			11	グループワーク + 個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)		
3. 課題レポートなどの提出物	%			12	グループワーク + 個人面談 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題： 全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)		
4. 授業中の発表、討論	20 %			13	報告会準備 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題： 発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)		
5. 授業への参加意欲	20 %			14	報告会準備 リハーサル 予復修課題： 本番を予測した課題を具体的に書き出します。(0.5時間)		
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %			15	総括：後期で関わった全てのイベントを振り返ります。どのような気付きや学びがあったでしょうか。 予復修課題： 自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)		
7. 学習の進捗報告	20 %						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	ゼミナール入門から まで一貫してPBLを採用して実務能力を高めていきます。学外の個人や法人との関わりを有効な人脈とできるように積極的にコミュニケーションを深めましょう。					
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。						

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL2201					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	ゼミナール入門で得た知識や技能を活用しながら、学内外のイベントを一つ担当する。企画段階からプロジェクトに参加し、それぞれのイベントスタッフとして業務を完遂する。								
	幼稚園でのラグビー体験は、サポートスタッフとして経験を積みながら、3年生になった時に内容の改善や効果的な企画を行い、主体性を持って運営できる力をつけるようにする。								
授業到達目標	ビジネスマナーを身につけることができる。 スポーツイベントについての理論を実践で活かすことができる。 報告書の書き方を修得し、まとめる事ができる。								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					1 ガイダンス 授業の概要について説明する 予復修課題: 前期を振り返り、やり残した課題を明確にする				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					2 ゼミ活動に対するテーマ設定 グループワーク、個人ワークを行い、後期の活動について目標を立てる 予復修課題: 半年間のテーマを検討しておく				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					3 イベント企画 大学祭の出店に向けてイベントを企画する 予復修課題: 各自の案を用意しておく				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	イベント参加 レビュー作成という流れを通じて、自分たちの発想、企画力で実際のイベントを企画運営できる力を身に付けていくようにプログラムを組みます。 毎回60分程度の準備をすることで、ゼミに臨む準備が充実します。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 〔第5、7、9~11回〕イベント参加 〔第2、8回〕グループワーク						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					4 イベント企画 大学祭の出店に向けてイベントについて収支計画を立てる 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					5 イベント参加 ミクスタやフットサルリーグの試合にボランティア参加する 予復修課題: 参加する競技、リーグ、チームについて各自で調べる				
					6 イベント参加報告書 イベントに参加した場合の報告書の作成について学ぶ 予復修課題: 参加したイベントについて記録をしておく				
					7 大学祭イベントの実施 4年生の実施するイベントに参加し、サポートを行う 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					8 大学祭のレビューと、ゼミイベントの準備 大学祭のまとめをグループワークで行う。ゼミイベントの概要を把握する。 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					9 ゼミイベントの実施(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 3年生の企画するイベントに参加し、次年度の企画運営を担えるようにする 予復修課題: 先生、園児に伝わりやすいコミュニケーション方法を考える				
					10 ゼミイベントの実施(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 3年生の企画するイベントに参加し、次年度の企画運営を担えるようにする 予復修課題: 先生、園児に伝わりやすいコミュニケーション方法を考える				
					11 ゼミイベントの実施(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 3年生の企画するイベントに参加し、次年度の企画運営を担えるようにする 予復修課題: 先生、園児に伝わりやすいコミュニケーション方法を考える				
					12 ゼミイベントのレビュー ラグビー体験についてのレビューを行い、次年度の企画内容の向上につなげる 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					13 スポーツイベント スポーツイベントについて詳しく学ぶ(スポーツイベント検定対策も行う) 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					14 スポーツイベント スポーツイベントについて詳しく学ぶ(スポーツイベント検定対策も行う) 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					15 まとめ イベントに関する知識を現場で活かせるようにまとめる 予復修課題: まとめの確認をする				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 再履修用 Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)			2	1 この授業の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。発表者は割り当て箇所について発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*		3 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。発表者は割り当て箇所について発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
配当年次	2年生	開講学期	後期			4 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。発表者は割り当て箇所について発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
授業概要	このゼミナールでは、経済学部の課程において、経済政策について研究していきます。そのため、まず、この授業では、前期のゼミナール入門で行った、問題解決について解説した教科書の発表・討論をふまえて、次のことを目標とします。						5 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：討論のテーマに関する基礎知識を得ておくこと。授業内容の復修。
	問題解決の考え方を踏まえて、研究するテーマを設定し得ること。 レポートや論文の書き方の基本事項を、身につけることができること。 発表、質疑応答により、コミュニケーション能力の大切さを意識できること。						6 討論(幾つかのテーマを設定して、参加者のアイディアを出し合い、討論を行う。) 予復修課題：討論のために、テーマに関する基礎知識を得ておくこと。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						7 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：討論のテーマに関する基礎知識を得ておくこと。授業内容の復修。	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				11 討論(幾つかのテーマを設定して、参加者のアイディアを出し合い、討論を行う。) 予復修課題：討論のために、テーマに関する基礎知識を得ておくこと。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		この科目は、仁部ゼミの再履修用です。 下記の教科書は、ゼミナール まで用いる 予定です。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。			
1. 小テスト、感想文など		20 %		アクティブ・ラーニング 発表、質疑応答、討論、レポート作成などを行う。			
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価				12 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジュメを作り発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジュメの作成・発表の準備と授業内容の復修。			
1. まとめのテスト		%					
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %					
3.		%		13 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジュメを作り発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジュメの作成・発表の準備と授業内容の復修。			
再評価の実施	する	しない		14 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジュメを作り発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジュメの作成・発表の準備と授業内容の復修。			
教科書	河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶応義塾大学出版会、2018年。						15 まとめ 予復修課題：後期の自己評価と目標の確認。
参考書	適宜紹介します。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEL2201		
授業形式		演習		科目区分 セミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科
配当年次		2年生		開講学期 後期				
授業概要		ヒト、モノ、カネ、情報が容易に国境を越えて移動するグローバル化という現象は、世界に大きな影響を及ぼし始めている。グローバル化は経済だけでなくあらゆる分野に変化を求めている。 本演習では母国を離れて生活する留学生の皆さんが、日本の経済や文化などを多角的かつ客観的に検証しながら、母国と比較して考えていく。						1 ガイダンス 演習の内容と進め方 予復修課題： シラバスを読んでおくこと。発表課題を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
授業到達目標		グローバル化が、広い視野に立って考えなければならない現象であるということを理解できる。 また、グローバル化に対応できるため、自分が最も関心のある専門分野だけでなく、外国語や外国の文化などにも関心を持ち、学習の幅を広げることができる。						2 履修確認と演習発表の準備 発表課題について、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								3 課題発表とディスカッション(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								4 課題発表とディスカッション(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								5 課題発表とディスカッション(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								6 課題発表とディスカッション(4) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						7 課題発表とディスカッション(5) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
1) 授業到達目標への到達努力の評価 評価割合		演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。 授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。						8 課題発表とディスカッション(6) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
1. 小テスト、感想文など								9 課題発表とディスカッション(7) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
2. 中間テスト								10 課題発表とディスカッション(8) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
3. 課題レポートなどの提出物								11 課題発表とディスカッション(9) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
4. 授業中の発表、討論 30 %								12 課題発表とディスカッション(10) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
5. 授業への参加意欲 30 %								13 課題発表とディスカッション(11) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
6. 自主的学習(予習・復習など) 10 %								14 課題発表とディスカッション(12) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
7. %								15 まとめ 内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題： 全部の配付資料の整理と復修を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		・ミニッツペーパー：第1回・第7回・第13回						
2. 論文、まとめのレポートなど 30 %		・プレゼンテーション：第5回・第8回・第12回						
3.		・グループディスカッション：第2回～第14回						
再評価の実施		する		しない		・調査学習：毎回、フィールドワーク：1回		
教科書		プリントや資料などを配布する。						
参考書		別途指示する。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール I Seminar I		単位数	授業内容**					
担当者	正田 淳一 (MASADA Junichi)			2	1 ガイダンス 今後の授業の進行方法及び評価の説明 予復修課題： シラバスを熟読する。					
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			EEL2201	2 株式（金融資産運用）① 株価指標、株価の変動要因 予復修課題： 株式とは何かを自分なりに調べておくこと。					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科					
配当年次	2年生	開講学期	後期	(コース)区分*						
授業概要	就職するため及び仕事をするために役立つ資格に簿記検定やFP検定があります。 会社を見極めるために必要な知識として、2年生のうちから簿記検定3級及びFP科目の金融資産運用を学ぶことはとても大切なことです。 上記の知識を活かして、老後の資産形成についてプレゼンテーションを行ってまいります。 2月の日商簿記検定3級の合格を目指すため、授業の8～15回目に検定対策を実施します。									
	授業到達目標	1. 簿記の知識を身につけて、日商簿記検定試験を2月に受験することができるようになる。 2. 金融投資を学ぶことで将来の資産形成を考えられるようになる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕										
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								◎	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								○	
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								○	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 日商簿記検定を積極的に受験すること							
1. 小テスト、感想文など		%	2. 電卓を持参すること							
2. 中間テスト		%	3. 予復修の取組時間：1時間以上							
3. 課題レポートなどの提出物		%	4. 会社会計における各種取引について自身の意見を述べてもらうこともあります。							
4. 授業中の発表、討論		20 %	5. 授業の進捗状況（理解度）によって内容の変更する可能性あり。							
5. 授業への参加意欲		60 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		20 %	企業研究の発表会において、報告を行っていただきます。							
2. 論文、まとめのレポートなど		%	講義内にて、簿記検定の答練を解いて貰う事もあります。							
3. 検定試験合格		%								
再評価の実施	する	しない	○							
教科書	本授業開始時に指示する									
参考書	本授業開始時に指示する									
					11	日商簿記検定第5問対策 決済整理対策 予復修課題： テキストの見直しおよび宿題のプリントを実施し、提出すること。				
					12	日商簿記検定過去試験の問題演習及び考察① 第154回本試験対策 予復修課題： 過去試験問題の解きなおしを実施すること。				
					13	日商簿記検定過去試験の問題演習及び考察② 第155回本試験対策 予復修課題： 過去試験問題の解きなおしを実施すること。				
					14	日商簿記検定過去試験の問題演習及び考察③ 第156回本試験対策 予復修課題： 過去試験問題の解きなおしを実施すること。				
					15	授業の総括（まとめの答練） まとめのテストの実施及び解説 予復修課題： 過去試験問題の解きなおしを実施すること。				

*領域（コース）区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)		2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 シュンペーターの考え方1 予復修課題：シュンペーターについて。				
EEL3101		EEL3101							
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次		3年生		開講学期	前期	(コース)区分*			
授業概要		現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 「イノベーション」に関心を持ち、具体的事例を説明できる。							
授業到達目標		1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。 2 シュンペーター的視点から経済・経営の動きを説明できる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		課題レポートの提出は期限厳守。					
1. 小テスト、感想文など		%		各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。					
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		50 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%		ミニッツペーパーは毎回行う予定。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書									
参考書									
				15 予復修課題：どんな時代が来るか。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	1 ガイダンス 演習の進め方、中心的な学修課題、留意事項について説明し、グループ編成も行う。 予復修課題：授業時に指示				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 教科書第1章「このままでは日本は破綻する!」のグループ内討議 第1章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	後期に論文を執筆することを前提に、分析スキルを習得し、文献読解・要点把握・プレゼンテーションなどの能力を向上させるため、指定教科書の輪読とグループ発表を行います。これと並行して、学期末までに論文テーマの選択と論文執筆に向けた企画書の作成を行います。輪読に際しては、主題に対して、どのような構成としているのか、どのような資料やデータを用いているのか、どのような分析を行っているのかを意識することで、自分の論文執筆に活かします。教科書としては、日本財政の危機的状況を扱っている図書を使用します。								
	授業到達目標	幾つかの分析スキルを習得する 文献読解・要点把握の能力を高める プレゼンテーション能力を高める 適切な論文テーマを選択する							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 教科書第2章「突出して膨らむ日本の借金」の総括 教科書第2章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 教科書第3章「危機のシグナル」のグループ内討議 教科書第3章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 教科書第3章「危機のシグナル」のプレゼンテーション、コメント 教科書第3章のグループ別要約発表、他グループによるコメントを行う。 予復修課題：授業時に指示				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	論文執筆のノウハウは、既存の書籍・論文から学ぶことができます。輪読に際しての事前準備(予修)には最低1時間は費やして下さい。ゼミでは、積極的に発言して下さい。論文テーマは、興味のある事柄というだけでなく、具体的な裏付けを伴う形で執筆できるテーマ、身の丈に合ったテーマを選んで下さい。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物	20	%							
4. 授業中の発表、討論	30	%							
5. 授業への参加意欲	50	%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	通常の輪読、要点報告のためのグループ内討議、グループ毎の要点発表を組み合わせて行います。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない	提出された企画書への個別指導も行います。						
教科書	伊藤隆敏『日本財政「最後の選択」』(日本経済新聞社、2015年)								
参考書	授業の過程で、必要に応じて提示予定。								
					11 教科書第4章「少子高齢化の財政への影響」のグループ内討議 教科書第4章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示				
					12 教科書第4章「少子高齢化の財政への影響」のプレゼンテーション、コメント 教科書第4章のグループ別要約発表、他グループによるコメントを行う。 予復修課題：授業時に指示				
					13 教科書第4章「少子高齢化の財政への影響」の総括 教科書第4章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示				
					14 個人面談(1): 企画書に対する個別指導(受講者の半数を想定) 企画書のとおり分析や論文執筆が可能か、個人面談する。資料収集の準備も行う。 予復修課題：授業時に指示				
					15 個人面談(2): 企画書に対する個別指導(受講者の残りの半数を想定) 企画書のとおり分析や論文執筆が可能か、個人面談する。資料収集の準備も行う。 予復修課題：授業時に指示				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 履修確認とゼミ研究の準備				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	経営学・会計学は実践学であり、一方その理論とは、会社の抱える諸課題の解決策を示しているものと理解できます。そこで、本演習では、卒業までの期間を通して、産業界や企業の現状と抱える課題を調べ、経営学・会計学の知識を応用することで企業体の現状や経営学・会計学への理解を深めます。								
	その際には、各自の進路や興味に経営学・会計学を応用することを重視します。また、レジュメ作成や発表・ディスカッションにより、表現能力をも高めていきます。								
	1. 論文の書き方や調査方法がわかる。								
	2. 企業や業界の現状について理解できる。								
	3. 経営学の知識を応用することができる。								
	4. 会計学の知識を応用することができる。								
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. 連絡、相談を大事にすること。						
2. 中間テスト		%	3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		75 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		15 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。								
					15 総括・レポート提出				
					予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1 イントロダクション 演習の概要と進め方他 予復修課題：前年度の復修				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 C M分析の深化(1) 前年度パワーポイント資料の修正点の顕在化 予復修課題：C M分析パワーポイント資料(前年度作成)の修正作業				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期	(コース)区分*					
授業概要	テーマは「メディアと広告」です。日常に溢れる膨大な情報の信憑性の判断と正確な理解、そしてそれらの有効活用法について、実際のニュース、広告、CM等を対象に、その内容や構造を、情報発信者・受信者双方の視点から批判的に検証します。とりわけ、広告ポスターやCMは、文学・絵画・映画等の芸術作品と同様に分析・解釈しながら、企業戦略や消費者動向との関連及び時代や社会との関連も考察します。また、情報の総合的読解力・分析力を基礎に、自ら情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションコンテンツ制作の実践もします。								
	1. 情報の背後に存在する伝達されなかった事実の演繹的理解ができる								
	2. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる								
	3. CM及びそこで用いられるキャッチコピーなどを、文学テキストの解釈と同様に、時代や社会との関連のなかで分析し解釈できる								
	4. 既成概念や社会通念を批判的視座から再検証する柔軟な思考ができる								
授業到達目標	5. 情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションを意図的に構築・実践できる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書を購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のディスカッション参加への積極性などを総合的に判断して成績を評価します。演習科目ですから、自ら率先して問題に対処することが特に求められます。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		15 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		15 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合がある)								
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合がある)								
					15 予復修課題：C M分析パワーポイント資料提出				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		2	1 ゼミの運営方針を示す。 予復修課題：卒論の構想について(準備する目安時間:120分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 卒論構想の発表1 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分				
EEL3101		EEL3101							
授業形式		演習		科目区分		ゼミナール科目群		経済・経営学科	
配当年次		3年生		開講学期		前期		学科・領域 (コース)区分*	
授業概要		卒論構想の発表者は要約(レジメ)を作成し、それ以外の学生は発表を聞いて、その場で質問をしてもらいます。発表者は、その質問にその場で回答を行なってもらいます。							
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> その場で質問をすることを通じて、何が重要であるのかを理解する能力を修得する。 発表者は十分な準備を行なうことの重要性を体得する。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】					学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				
【思考力・判断力・表現力】					実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				
【主体性・協働性】					経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			出席を極めて重視するので、できるだけ出席するようにしてください。もし、欠席・遅刻をする場合には、必ず連絡してください。 本ゼミの最終目的が卒論作成であることに留意して、積極的にゼミに参加してください。				
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		80 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%			発表者や質問者に対して、コメントを行なうことで、気づきを与える。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施		する しない			11 卒論構想の発表10 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分				
教科書		最初の時間に話し合ってください。							
参考書		12 卒論構想の発表11 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分							
		13 卒論構想の発表12 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分							
		14 卒論構想の発表13 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分							
		15 卒論構想の発表14 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分							
		15 卒論構想の発表15 予復修課題：他のゼミ生卒論構想についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナールⅡ Seminar Ⅱ		単位数	授業内容**			
担当者	國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)			2	専任			
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			EEL3101				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科			
配当年次	3年生	開講学期	前期	(コース)区分*				
授業概要	経営管理、マーケティングなど企業活動についての基礎知識を養うとともに、対象とする業界や企業に関する問題や課題、その取り組みについて考察を行います。 業界や企業の活動状況を捉えることにより、企業活動について学習するとともに、データを分析する方法、研究結果から経営状態を読み取る力を身に付けることを目標とします。 本ゼミナールでは、企業経営において必要な会計と税金の関わりについて学び、税務会計の基礎知識を身につけるためにグループワークを通して研究・発表を行います。							
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・問題認識、データ収集、データ分析、レポート作成、発表などのスキルを身につける。 ・グループワークやディスカッションに参加することで自分の意見を伝えることができる。 ・企業経営に必要な税務会計の基礎知識を身につける。 						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							○
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							◎
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							◎
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	企業経営に必要な税務会計の基礎知識を養い、グループワークでの研究を通して、企業の活動とは何か、どのような課題があるのかについて自ら考え考察する力を身につけてください。						
1. 小テスト、感想文など	%	グループワークを通して、コミュニケーション能力を育成できるよう心がけましょう。						
2. 中間テスト	%							
3. 課題レポートなどの提出物	20 %							
4. 授業中の発表、討論	20 %							
5. 授業への参加意欲	20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %							
7.	%							
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	ミニッツ・ペーパー(第2回~第15回)						
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %							
3.	%							
再評価の実施	する							
教科書	プリントを配付する。							
参考書	必要に応じて適宜紹介する。							
1	ガイダンス	シラバスをもとに本ゼミナールの進め方を説明する 予復修課題: ガイダンス資料をよんでおくこと						
2	ゼミ研究の課題設定	テーマの選定について説明する 予復修課題: 対象とするテーマについて考えておくこと						
3	テーマ設定の基礎知識(1) 財政と租税	財政と租税について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
4	課題発表とディスカッション(1)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
5	テーマ設定の基礎知識(2) 税金の種類と納税の仕組み	税金の種類と納税の仕組みについて理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
6	課題発表とディスカッション(2)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
7	テーマ設定の基礎知識(3) 税制改革	税制改革の意義と動向について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
8	課題発表とディスカッション(3)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 研究活動を行い、発表資料をまとめる						
9	テーマ設定の基礎知識(4) 企業会計と税務会計の関係性	税務会計の意義について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
10	課題発表とディスカッション(4)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
11	テーマ設定の基礎知識(5) 企業会計の利益と課税所得	企業会計の利益と課税所得の違いについて理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
12	課題発表とディスカッション(5)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
13	テーマ設定の基礎知識(6) 益金について	益金について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
14	課題発表とディスカッション(6)	グループに分かれて研究成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)						
15	まとめ	研究レポートを提出する 予復修課題: まとめの確認を行う						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)		2	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 複式簿記の構造(1) 予復修課題：日商簿記検定試験3級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期	(コース)区分*					
授業概要	本授業では、複式簿記の構造について理解する。加えて、その応用として問題基盤型学習、サービスラーニングなどを取り入れて実践を図り、地域連携・地域貢献活動を行う。前者では、日商簿記検定試験合格などを手段として、複式簿記の構造について追究する。後者では、産学官連携活動および域学連携活動を実施する。産学官連携活動では、地方公共団体や公共性・公益性が高い企業とともに、域学連携活動では地域住民や商店街などとともに調査・分析をおこない、その結果について発表する。								
	1. 複式簿記の構造について、具体的に説明することができる。								
	2. 営利企業の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、解釈することができる。								
	3. アンケート調査をおこない、その結果をレポートにまとめ、発表することができる。								
	4. 地域社会の現状と課題について、経営学の観点から、具体的に述べるすることができる。								
	5. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。								
授業到達目標	6. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：日商簿記検定試験2級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：日商簿記検定試験2級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 地域連携・地域貢献活動(1) 産学官連携活動 予復修課題：産学官連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 日商簿記検定試験2級または3級を積極的に受験することを要求する。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. チームとして参加するプロジェクトでは、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。						
2. 中間テスト		%	3. 各授業ごとに120分以上の予復修をおこなうことを要求する。						
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング						
4. 授業中の発表、討論		%	地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスラーニングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する						
5. 授業への参加意欲		80 %	解決策を策定して、それを発表する。						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	11 予復修課題：産学官連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分						
7.		%	12 地域連携・地域貢献活動(4) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分						
2) 最終到達度の評価			13 予復修課題：域学連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分						
1. まとめのテスト		%	14 地域連携・地域貢献活動(6) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	15 授業の総括 予復修課題：地域社会の現状と課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分						
3. 資格取得		20 %							
再評価の実施	する	しない							
教科書	ガイダンスの際に指示する。								
参考書	ガイダンスの際に指示する。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 ガイダンス...ゼミ内容と方向性の説明、各自己紹介 予復修課題：それぞれ、年間の行動内容と目標を考えて来ること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 各自の学習計画の発表 計画フォームに基づき、個人別・チーム別のディスカッションを行う。 予復修課題：第1回のゼミで配布した計画フォームを記入してくる				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 金融基礎理論チーム/プライベート・ファイナンス・チーム(資格)および実践学習チームに分けてゼミ活動を行う。 金融基礎チームはテキストおよび各種資料(統計/ニュース・記事等)を通じて学ぶ。 資格取得チームは学習方法について検討を行ったあと、実践的な学習内容に入る。 実践学習チームは、社会人として必要な実務スキル(企画立案/運営/発表)を身につけてもらいます(実務経験)。 								
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プライベート・ファイナンスチームは、FPの全体像について理解したうえで、各細分野の重点事項を深いレベルで理解できることを目的とする。 金融基礎チームは、理論とデータ、世の中の現実から金融現象を観察する力を養うことを目的とする。 実践学習チームは活動を通じてプロジェクトのPDCAを回せるようになる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 進捗報告に際しては、単に原稿を作成してだけでなく、To Doリストやスケジュールなどと併せて準備してきてください。 途中で困難に当たっても、常に乗り越える方法・手段を考え抜いてください。 予復修は最低でも1時間、できれば内容が発表に耐えうる完成度にまでしてください。 ゼミ連絡はGoogle Driveで行います。 						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング <ul style="list-style-type: none"> 他のゼミ員の発表や発言に関心をもち、自分でも意見を積極的に述べられるよう、自分をトレーニングしてください。 						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		30 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	ゼミ中に指示します。								
参考書	ゼミ中に指示します。								
					11 中間レビュー：これまでの発表内容をまとめる 予復修課題：進捗状況を報告すること				
					12 中間レビュー2：今後の方針についての検討を行う 予復修課題：進捗状況を報告すること				
					13 担当箇所の発表、および次回内容と資料収集の計画作成 予復修課題：進捗状況を報告すること				
					14 担当箇所の発表、および次回内容と資料収集の計画作成 予復修課題：進捗状況を報告すること				
					15 まとめと今後の進め方について 予復修課題：進捗状況をまとめておくこと				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	1 履修指導および個別面談 予復修課題： 修得科目と卒業要件修得単位を調べておく	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEL3101				専任	2 好きな仕事の役割 例題にキャンブを遂行するための6つの役割を提示し、自己分析を行う 予復修課題： 分析結果を就活ノートに書きためておく	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	前期				
授業概要	各自でライフデザインおよびキャリアデザインをイメージし、必要とされる能力を養う ビジネス社会で必要とされている「ビジネスマナー」について理解する コミュニケーション能力(聞く・話す)を高める					3 表現力を養う 「基礎」「経験」 「20代をどう生きるか」の中からKeywordを見つける 予復修課題： 意見をまとめ、就活ノートに書きためておく	
授業到達目標	社会人基礎力を高め、自己PRにつなげることができる コミュニケーション能力に自信が持てるようになる ライフデザイン・キャリアデザインが明確になる					4 表現力を養う 「仕事」「能力」 「20代をどう生きるか」の中からKeywordを見つける 予復修課題： 意見をまとめ、就活ノートに書きためておく	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修の時間の目安は、40~60分です。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	小論文(第7回、第9回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	グループディスカッション(第10回)				
3.		%	ゼミ研究 進捗状況発表(第13回、第15回)				
再評価の実施	する	しない					
教科書	適宜、資料を配布する						
参考書							
						11 ゼミ研究報告会準備 メンバー決めとテーマ決め 予復修課題： それぞれのテーマの情報を収集する	
						12 ゼミ研究報告会準備 資料を持ち寄り、発表の骨子をまとめる 予復修課題： それぞれのテーマの情報を収集する	
						13 ゼミ研究報告会準備 テーマと骨子を発表し、グループ内外で意見を徴収する 予復修課題： それぞれのテーマの情報を収集する	
						14 ゼミ研究報告会準備 骨子を修正し、序論をまとめる 予復修課題： それぞれのテーマの情報を収集する	
						15 ゼミ研究報告会準備 序論を発表し、グループ内外で意見を徴収する 予復修課題： それぞれのテーマの情報を収集する	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)		2	1 演習の進め方について 予復修課題： シラバスを読む				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 〔事例研究〕山本海苔店(1) 顧客の生涯価値について 予復修課題： 顧客の生涯価値				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	本演習では、ゼミナール に引き続き、老舗企業を研究対象とする。長期にわたって存続してきた秘訣を探りつつ、企業にとって継続することの意味を考える。ここでは、老舗企業の具体的な事例をとりあげる。								
授業到達目標	老舗企業が存続できた要因として「変わるもの」と「変わらないもの」があることを理解し、そこから各自の物事の見方・考え方を形づくることことができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 〔事例研究〕千疋屋総本店(2) 概要と歴史 予復修課題： 千疋屋総本店の概要と歴史				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 〔事例研究〕千疋屋総本店(3) 社長のインタビュー 予復修課題： 社長のインタビューを読む				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 〔事例研究〕文明堂(1) ジングルについて 予復修課題： ジングル				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			1) 履修するうえで、積極的に学ぶ姿勢・態度はきわめて重要である。				
1. 小テスト、感想文など		%			2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。				
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		10 %							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		60 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%			1) 発表・プレゼンテーション(第2回ほか)				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %			2) ミニレポート(第4・7・10・13回)				
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	鶴岡公幸『老舗 時代を超えて愛される秘密』産業能率大学出版部 2012年								
参考書	15 まとめ 老舗企業の製品について 予復修課題： 老舗企業の製品								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 再履修用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	仁部 新一 (NIBU Shinichi)				2	1 この授業の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*		3 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
配当年次	3年生	開講学期	前期			4 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
授業概要	このゼミナールでは、経済政策について研究します。そのために、ゼミナールでは、ゼミナールで学んだ経済学の基礎を踏まえ、各自の問題意識にしたがって、順番に、発表・討論を行い、次のことを目標とします。						
	経済政策に関する問題意識を明確にし、経済学の基礎理論とのかかわりを考えることができること。 発表用資料の作成、発表、質疑応答により、経済政策の課題についての理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の大切さに気づくことができること。 短い論文を執筆できること。						
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
	成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	前期開講の「経済政策」を受講することが望ましい。					11 討論(幾つかのテーマを設定して、参加者のアイディアを出し合い、討論を行う。)
1. 小テスト、感想文など	20 %	前期開講の「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」を未修得の者は併せて履修することが望ましい。					予復修課題：討論のために、テーマに関する基礎知識を得ておくこと。
2. 中間テスト	%	この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。					12 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジュメを作り発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジュメの作成・発表の準備と授業内容の復修。
3. 課題レポートなどの提出物	%						13 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジュメを作り発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジュメの作成・発表の準備と授業内容の復修。
4. 授業中の発表、討論	20 %						14 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジュメを作り発表する。 発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジュメの作成・発表の準備と授業内容の復修。
5. 授業への参加意欲	30 %						15 まとめ
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %						予復修課題：前期の学修の自己評価と後期の目標の確認をすること。
7.	%						
2) 最終到達度の評価							アクティブ・ラーニング
1. まとめのテスト	%	発表、質疑応答、討論、レポート作成などを行う。					
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶応義塾大学出版会、2018年。						
参考書	適宜紹介します。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談。 予復修課題: 講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 研究グループ分けの決定と戦略分析の対象企業 ・各グループごとに研究テーマ(研究対象企業)を話し合いで決定。 予復修課題: 各自自分の研究したいテーマ(企業)を考えてくること。(予復修時間目安 90分)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	本演習では、「日本企業の経営戦略分析レポート」の作成をおこないます。3年次配当の本演習では、2年前期におこなった戦略の「簡易分析」をグレードアップさせる形で日本の「今現在の」優良企業/話題の企業について経営戦略、あるいは経営現象についての分析を行います。3年前期に行う企業・経営研究は、3年後期に行われる「学生研究報告会」での発表を目指します。また、3年後期はこれまでの学習成果を基に各自『卒業論文』の作成準備・執筆に着手していきます。								
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文作成の前段階として、企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する基礎レベルのレポートを作成することができる。 ・グループの中で計画的かつ協力的に目的とする課題遂行に取り組む、その中でも自分の意見・主張を積極的に述べるることができる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 戦略分析の対象企業の決定 ・各グループごとに研究テーマ(研究対象企業)を話し合いで決定。 予復修課題: 各自自分の研究したいテーマ(企業)を考えてくること。(予復修時間目安 90分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 (解説)経営戦略分析の要点確認 ・2年前期の経営戦略分析の内容・方法について再確認する。 予復修課題: 2年前期に各自作成した戦略レポートに目を通しておくこと。(予復修時間目安 90分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 グループ作業(1) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
成績評価の方法(全体で100%)					6 グループ作業(2) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修における留意事項						
1. 小テスト、感想文など		%	・3年次の演習は、学生研究報告会での報告 ・発表や卒業論文の作成を目的とする。受講生諸君には学習成果を大いに高めるためにも積極的・主体的な参加を望みたい。						
2. 中間テスト		%	・当演習の内容(日本企業の戦略分析)と「経営戦略論」(3年前期:演習教員が担当)の講義内容に強い対応関係があるため、原則として同科目を履修しておくこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	アクティブ・ラーニング ・個人およびチーム単位で、特定のテーマに関する報告・発表の実施を前提に参考資料の収集から発表資料の作成、プレゼンテーションを行う。						
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	受講者の興味・関心(進路等)及び報告・論文作成の必要性をふまえて適宜指定。								
参考書	15 総まとめ ・個別キャリア面談/夏期休暇課題の説明。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	森江 由美子 (MORIE Yumiko)				2	1 ガイダンス ゼミナール の進め方 予復修課題： 予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEL3101				専任	2 【講義】 ゼミ研究の準備 テーマ選定の方法 予復修課題： 研究対象としたい企業を判例やEDINETで調べておくこと。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	前期				
授業概要	企業の脱税、粉飾決算、偽装表示といった事件を新聞やニュースで見聞きしたことがあると思いますが、なぜこのような違法行為を行う企業が後を絶たないのでしょうか。本ゼミでは、その原因やメカニズムを決算書や裁判例を基に分析し、会社法を中心とした企業法の観点から企業不祥事の防止について考えていきます。						
	ゼミナール で身に付けた法律や決算書の読み方に関する知識に基づいて、研究に入っていきます。						
授業到達目標	ビジネスパーソンとして実践的な法律知識を学ぶことができる。 企業法に位置づけられる各法律の考え方や会計との関連性を理解することができる。 決算書より財務体質や法的問題点を読み取り問題解決力を身につけることができる。 プレゼンテーション能力を身につけることができる。						
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		30 %					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー (随時)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	Think-Pair-Share				
3.		%	グループディスカッション				
再評価の実施	する	しない	グループワーク				
教科書	講義レジュメを使用する。						
参考書	別途指示する。						
						15	まとめ 予復修課題： これまでの研究の成果をレジュメ化して提出する。

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者	中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)			2	1	面談 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEL3101	2	地球環境問題 地球温暖化の原因と対策について討論する。 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(温暖化)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	3年生	開講学期	前期							
授業概要	環境・産業を主体とするゼミに配属された学生としての自覚を持つ。 地球環境とエネルギー問題の基礎を学ぶ。 エコ検定に対応できる知識を持つ。 グローバル社会に対応できる素養を身に着けるために、幅広い内容の文献を輪読する。				3	エネルギー政策(1) アメリカのエネルギー政策 予復修課題：アメリカのシェールガスについて調べる				
授業到達目標	IS014001環境マネジメント内部監査員に相応しい素養を身に付ける。 地球環境問題を緩和するための政策の基礎を理解する。 地球環境問題を緩和するための技術の基礎を理解する。 環境に配慮する企業努力を理解する基礎的能力を身に付ける。 エコ検定に出題される最も基本的な知識を身に付ける。 世界の政治経済の動きを敏感に感じ取り環境の観点からそれに対して自分の意見が持てる。				4	エネルギー政策(2) ドイツのエネルギー政策 予復修課題：ドイツが環境立国に変化したきっかけを調べる				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5	エネルギー政策(3) ベルギーのエネルギー政策 予復修課題：ベルギーの養生風力発電について調べる				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6	エネルギー政策(4) 中国のエネルギー政策 予復修課題：中国の石炭火力発電所について調べる				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7	エネルギー政策(5) フランスのエネルギー政策 予復修課題：フランスが原子力エネルギー政策を選択した理由について調べる				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8	エネルギー政策(6) ロシアのエネルギー政策 予復修課題：旧ソ連時代からのエネルギー政策の変革について調べる				
成績評価の方法(全体で100%)					9	エネルギー政策(7) イタリアのエネルギー政策 予復修課題：日本と同じ火山国イタリアにおける地熱発電について調べる				
履修における留意事項					10	エネルギー政策(8) ヒマラヤ諸国のエネルギー政策 予復修課題：ブータンのエネルギー政策について調べる				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。		11	社会人基礎・公務員対策 漢字練習・過去問を解く 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(スマートシティ)				
1. 小テスト、感想文など		20 %			12	社会人基礎・公務員対策 漢字練習・過去問を解く 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(スマートシティ)				
2. 中間テスト		%			13	社会人基礎・公務員対策 漢字練習・過去問を解く 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(原発)				
3. 課題レポートなどの提出物		10 %			14	社会人基礎・公務員対策 漢字練習・過去問を解く 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(原発)				
4. 授業中の発表、討論		10 %			15	まとめ これまでの内容を振り返り、次期のゼミにいかす。 予復修課題：今期のゼミを振り返り、自分がどう変わったかを文章にする。				
5. 授業への参加意欲		50 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめのテスト		%	アクティブ・ラーニング 毎回、グループディスカッションを行う。							
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	プリント配布									
参考書	各企業のCSR報告書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 今年度の目標設定 予復修課題：自分の進路について考えておく。計画表の作成。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101					
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次		3年生		開講学期	前期	(コース)区分*			
授業概要		<p>憲法、法学の基本的論点について学んでいきます。 特に、現代社会で問題になっているテーマを中心とします。 その他、公務員試験教養試験対策を毎回時間をとっておこないます。</p>							
授業到達目標		<p>指定するテーマについて調べ、論点についてまとめることができるようになる。 指定されたテーマについて討論できるようになる。 教養試験対策、就職試験対策の問題に対応できるようになる。</p>							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：憲法のテキストを読み直しておく。問題の復修。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：テキストの予修と演習の見直し。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：テキストの予修と演習の見直し。				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	各学生の自主性を重んじますが、出席に関しては厳重にチェックします。学習テーマに関しては、各学生の志望進路に併せて自由に決定できるようにします。						
1. 小テスト、感想文など		%	自宅学習の時間は1時間程度とする。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	小テスト、資料収集等を行う。						
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施		する	しない	11 予復修課題：配布プリントを復修する。					
教科書		必要に応じて別途指定。							
参考書		12 研究テーマを各自決めよう。 予復修課題：自分の進路に沿って、自分の研究テーマを決める。							
		13 予復修課題：資料収集を行っておく。 卒論・ゼミ論の書き方。							
		14 予復修課題：卒論・ゼミ論について内容を検討する。 チェックテストと解説							
		15 予復修課題：演習で行った問題について全体的に見直しておくこと。							

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)		2	1 ガイダンス：成績評価基準と評価方法について説明します。また、一年を通じての活動内容についてスケジュールの調整を行います。 予復修課題：2019年度の活動内容を振り返り、今年の課題を具体的にまとめて提出してください。(1.0時間)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：グループ別に業務スケジュール表を作成してください。(1.0時間)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	本講義では、まですを通じて行っていく「自己ブランディング」について「就職」という視点から考えていきます。ゼミナール入門～ゼミナール にかけて経験したゼミの運営方針についての振り返りから、現時点での自分に足りない社会人基礎力の要素について課題を設定し、解決策を検討します。前期の3週目までにゼミナール まで含めての取り組みについて計画を立て、ルーブリックを作成します。個人のルーブリックとチームのルーブリックを連立させて目標設定をして取り組んでいきます。企業・社団法人の現役経営者として授業を展開します。								
	授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 個人の成長を助けるルーブリックを作成できる。 チームの成長を助けるルーブリックを作成できる。 情報化社会に対応した基本的なスキルを發揮することができる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアルを作成してください。(約1.0時間)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 各自の課題を共有 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 ゼミ全体での確認 4週目までの各グループの進捗報告を行います。 予復修課題：全体での共有内容をまとめてください。(約1.0時間)				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では社会人即戦力としての具体的なスキルを何か一つ以上身に付けることを目標とする他にその目標の達成度合いを判定するルーブリックを作成して、自己評価を行えるようにしていきます。そのことで、早い段階から自分の弱点や改善点に気付いて対処することが可能となります。2019年度前期を振り返りながら、確実に成長していきましょう。						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ゼミナール入門から一貫してPBLを採用して実務能力を高めていきます。常に歴代最高を目指して新しい取り組みにチャレンジしてください。最低二つ以上の学外案件に取り組みます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。								
11 プレゼンテーション 個人発表とグループ発表を行います。 予復修課題：発表で使用したPowerPointを完成させて提出してください。(1.0時間)					6 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：イベントの裏側にある想定可能な問題点についてまとめてください。(約1.0時間)				
12 プレゼンテーション 個人発表とグループ発表を行います。 予復修課題：発表で使用したPowerPointを完成させて提出してください。(1.0時間)					7 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：好きなスポーツメーカーが所有している特許権について調べてください。(約1.0時間)				
13 プレゼンテーション 個人発表とグループ発表を行います。 予復修課題：発表で使用したPowerPointを完成させて提出してください。(1.0時間)					8 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：好きなスポーツメーカーが所有している意匠権について調べてください。(約1.0時間)				
14 プレゼンテーション 個人発表とグループ発表を行います。 予復修課題：発表で使用したPowerPointを完成させて提出してください。(1.0時間)					9 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：好きなスポーツメーカーが所有している商標権について調べてください。(約1.0時間)				
15 総括：前期の振り返りを行い、後期の課題について示唆します。予定されている全てのイベントを確認し、日程と担当業務について全員の前で意気込みを発表してもらいます。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)					10 ゼミ全体での確認 9週目までの各グループの進捗報告を行います。 予復修課題：全体での共有内容をまとめてください。(約1.0時間)				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**										
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 履修確認とゼミ研究・就職活動の状況確認 取得単位数と履修科目を確認し、研究・就職活動状況を把握する。 予復修課題：取得単位数を確認しておくこと。また、研究・就職活動状況を整理しておくこと。(予修:2時間)										
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 ゼミ研究と就職活動のスケジュール確認 研究・就職活動の年間スケジュールを把握するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究・就職活動の年間スケジュールを調べて、年間スケジュールを作成しておくこと。(予修:2時間)										
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				3 ゼミ研究の準備(1) ゼミ研究のチームを作り、チームごとに新聞や書籍などを活用して、研究課題を探す。 予復修課題：ゼミ研究の準備として、課題やテーマとなる題材を新聞等から探しておくこと。(予修:4~5時間)				
配当年次		3年生		開講学期	前期	(コース)区分*					4 ゼミ研究の準備(2) チームごとに研究課題(仮)を決定し、課題を選んだ理由などを報告する。 予復修課題：研究課題を選択し、その理由をチームで話し合いを行っておくこと(予修:3~4時間)				
授業概要		就職活動および公務員試験などに関する理解を深めるだけでなく、それらに対する対策演習を行っていきます。また、毎回、就職試験対策などの演習を実施することで、問題慣れするとともに知識を深めてもらいます。なお、必要に応じて、個別面談や履歴書等の書類を作成・指導していきます。									5 ゼミ研究の準備(3) 研究ノートの作成方法を習得して、研究課題に対するノートを作成する。 予復修課題：研究課題について調査し、チームで話し合いを行っておくこと(予修:3~4時間)				
授業到達目標		就職活動などで必要なコミュニケーション能力を実践できるようにする 就職活動の情報などを適切に分析・判断できる能力を身につける 社会の問題点を見出し、それに対する解決方法を提案できるだけでなく実践力を習得する。									6 ゼミ研究の準備(4) ゼミ研究の分析方法などを文献やインターネットなどを通じて把握して習得する。 予復修課題：研究課題について調査し、チームで話し合いを行っておくこと(予修:3~4時間)				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											7 データ分析の方法と調査方法(1) データ分析の方法などを習得して、表計算ソフトなどで実践する。 予復修課題：必要な分析方法を調べて、表計算ソフトの分析方法を予修(2時間)・復修(2時間)しておくこと。				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											8 データ分析の方法と調査方法(2) データ分析の方法などを習得して、表計算ソフトなどで実践する。 予復修課題：必要な分析方法を調べて、表計算ソフトの分析方法を予修(2時間)・復修(2時間)しておくこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											9 研究計画書の書き方と作成(1) 研究ノートに基づく研究計画書を作成・報告するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究ノートと研究計画書を作成するとともに、疑問点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											10 研究計画書の書き方と作成(2) 研究ノートに基づく研究計画書を作成・報告するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究ノートと研究計画書を作成するとともに、疑問点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)				
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項							11 研究計画書の書き方と作成(3) 研究ノートに基づく研究計画書を作成・報告するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究ノートと研究計画書を作成するとともに、疑問点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		進学・就職に向けた具体的な活動状況を報告・連絡・相談すること。 報告などはできるだけ文書化する様に心がけて下さい。また、継続的かつ自発的に取り組む様に心がけてください。 事後に見直し、疑問点の質問、問題の復修(60時間以上)などを行う様に心がけてください。							12 ゼミ研究の執筆指導(1) 研究計画書などに基づいて研究結果を執筆・報告するとともに、就職関連指導を行う。 予復修課題：研究計画書や論文構成に基づいて、卒業論文の執筆を行うこと。(予修:4~5時間)				
1. 小テスト、感想文など		15 %		アクティブ・ラーニング 基本的に、毎回、報告を行ってまいります。また、適宜、プレゼンテーションや調査学習に取り組んでまいります。							13 ゼミ研究の執筆指導(2) 研究計画書などに基づいて研究結果を執筆・報告するとともに、就職関連指導を行う。 予復修課題：研究計画書や論文構成に基づいて、卒業論文の執筆を行うこと。(予修:4~5時間)				
2. 中間テスト		%									14 ゼミ研究の執筆指導(3) 研究計画書などに基づいて研究結果を執筆・報告するとともに、就職関連指導を行う。 予復修課題：研究計画書や論文構成に基づいて、卒業論文の執筆を行うこと。(予修:4~5時間)				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %									15 ゼミ研究の一次報告 ゼミ研究の執筆状況を提出し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：ゼミ研究の執筆を行うとともに、一次報告書を準備しておくこと。(予修:4~5時間)				
4. 授業中の発表、討論		10 %													
5. 授業への参加意欲		5 %													
6. 自主的学習(予習・復習など)		%													
7.		%													
2) 最終到達度の評価		評価割合													
1. まとめのテスト		%													
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %													
3.		%													
再評価の実施		する		しない											
教科書		使用しない。													
参考書		配布資料に記載予定。													

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)		2	1 ガイダンス 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101	2 簿記の基礎 簿記の意義とその仕組みについて理解する。 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	ビジネスパーソンに必須なスキルとして簿記があります。ビジネスランゲージともいわれる会計情報を読み取るためにも、その基礎である簿記を学ぶことはとても大事なことです。その簿記を学んだことを証明できるまたとない検定試験が存在します。それが日商簿記検定試験です。本ゼミでは、会計情報を読み取るための基礎的な知識となる簿記を学び、その証となる検定試験合格を目指します。				3 取引について理解する。 仕訳問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
授業到達目標	1. 簿記の基本を理解し、記帳することができる。 2. 財務諸表に記載されている各項目が理解できる。 3. 財務諸表が作成できる。				4 商品売買取引について理解する。 仕訳問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5 その他の取引について理解する。 仕訳問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 合計試算表及び合計残高試算表について理解する。 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 主要簿と補助簿(1) 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 主要簿と補助簿(2) 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
成績評価の方法(全体で100%)					9 主要簿と補助簿(3) 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
履修における留意事項					10 伝票会計 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	日商簿記検定試験を受験すること。 電卓を持参すること。 予復修時間の目安は、120分です。		11 証ひょうの仕訳問題 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
1. 小テスト、感想文など		20 %			12 決算整理仕訳(1) 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
2. 中間テスト		%			13 決算整理仕訳(2) 問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
3. 課題レポートなどの提出物		%			14 決算(1) 精算表の作成問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
4. 授業中の発表、討論		40 %			15 決算(2) 貸借対照表および損益計算書の作成問題への解答 予復修課題：各自配布プリントを参照し、問題を解答してくる。				
5. 授業への参加意欲		40 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	グループ(ペア)ワーク(第2回から第14回)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)				2	1 ガイダンス ゼミナール の進め方 予復修課題： 地域経済の現状・問題点について予復修する。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 外部講師（女性起業家） 予復修課題： 起業について調べておく。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 テキスト輪読・発表 予復修課題： テキストの該当部分について予復修する。発表者は事前に資料を作成する。	
配当年次	3年生	開講学期	前期			4 グループディスカッション 予復修課題： 新聞やニュースをよく読んでおく。	
授業概要	財務省・金融庁での経験を活かして、授業展開を行う。 本ゼミのテーマは、金融を学び、地方創生に貢献し、財政を知るである。 金融に関するテキストを輪読するほか、時事問題について、アクティブラーニングを中心に進めていく。 また、北九州市・遠賀郡地域の地方創生のため、地元商店街の活性化や地域行事の手伝いに積極的に関わる。						
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・金融理論と実際の金融政策決定メカニズムの対比を学ぶことにより、専門知識を身に付けることができる。 ・地元商店街の活性化や地域行事に参加することにより、実社会で必要となる教養を学ぶことができる。 ・地域活動を体験することにより、地域経済の現状と課題を認識するようになる。 ・自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けることができる。 						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・ゼミ生を中心に運営するので、今期の具体的な運営方針は、初回に相談する。					
1. 小テスト、感想文など	%	・ゼミ生が主体的に運営するので、積極的に意見を述べ、質問することを期待する。					
2. 中間テスト	%	・Power PointやWordを発表で使う。					
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	・無断欠席厳禁。外部講師が来られるときは遅刻厳禁。					
4. 授業中の発表、討論	30 %	・各回に1時間程度の予復修を行うこと。					
5. 授業への参加意欲	30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブラーニング					
1. まとめのテスト	%	調査学習〔第3,5,7,10,12,14回〕、グループワーク〔第8,15回〕、グループディスカッション〔第4,11回〕、フィールドワーク〔第6回〕、ディベート〔第9回〕					
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	家森信善『金融論<第2版>ベーシック+』中央経済社、2018						
参考書	予復修課題： 行動計画を作成しておく。						
						15 地域イベント、来期の打合せ	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3101					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	前期						
授業概要	ゼミナール までに学んできたスポーツビジネス分野における専門知識や技能を精査し、他のビジネスにも応用できるように変換していく。就職活動に役立つ面接練習やプレゼンテーションの制度も高め、社会人になっても通用するスキルとして習得する。								
	澤田ゼミの定番イベントとして、福原学園傘下の3幼稚園での「はじめてのラグビー体験」を準備し、実施する。多くの人を巻き込んで準備する体験を持つ。								
授業到達目標	ビジネスパーソンとして必要な心構えを学ぶ ビジネスで必要な「報告・連絡・相談」を身につける ゼミ内外で円滑なコミュニケーションが取れるようになる 面接やプレゼンテーションの実際の現場で、自分らしく表現することができる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					1 ガイダンス 授業の概要について説明する 予復修課題: 前年度の課題を明確にし、方針を立てる				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					2 ビジネス現場で求められること 私のサラリーマン生活を紹介しつつ、どのようなことが必要かヒントを話す 予復修課題: 自分の課題に照らし合わせ整理する				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					3 自己分析 これまでのコースでの活動をまとめて、強み・弱みを考える 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本科目は、ゼミナール からの継続課題も含めた授業となります。						
1. 小テスト、感想文など		%	様々なプロジェクトを行うので、予復修修を含めた授業時間外での活動についても評価の対象となります。						
2. 中間テスト		%	予復修課題の取組時間: 1~2時間程度						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	[第6回] プレゼンテーション						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	[第9~11回] イベント						
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					11 ゼミイベントの実施(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 協力者(ゼミ・WS生)、先生を巻き込んで、安全に園児向けのイベントを行う 予復修課題: 先生、園児に伝わりやすいコミュニケーション方法を考える				
					12 ゼミイベント報告書作成 ラグビー体験についての報告書の作成 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					13 模擬面接 個人面接の模擬テストを行う 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					14 模擬面接 グループディスカッションの模擬テストを行う 予復修課題: 各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					15 まとめ 修得したプレゼンテーション技術を現場で活かせるようにまとめる 予復修課題: まとめの確認をする				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEL3101		
授業形式		演習		科目区分 セミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科
配当年次		3年生		開講学期 前期				
授業概要		ヒト、モノ、カネ、情報が容易に国境を越えて移動するグローバル化という現象は、世界に大きな影響を及ぼし始めている。グローバル化は経済だけでなくあらゆる分野に変化を求めている。 本演習では母国を離れて生活する留学生の皆さんが、日本の経済や文化などを多角的かつ客観的に検証しながら、母国と比較して考えていく。						1 ガイダンス 演習の内容と進め方 予復修課題： シラバスを読んでおくこと。発表課題を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
授業到達目標		グローバル化が、広い視野に立って考えなければならない現象であるということを理解できる。 また、グローバル化に対応できるため、自分が最も関心のある専門分野だけでなく、外国語や外国の文化などにも関心を持ち、学習の幅を広げることができる。						2 履修確認と演習発表の準備 発表課題について、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								3 課題発表とディスカッション(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								4 課題発表とディスカッション(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								5 課題発表とディスカッション(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								6 課題発表とディスカッション(4) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						7 課題発表とディスカッション(5) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
1) 授業到達目標への到達努力の評価 評価割合		演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。 授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。						8 課題発表とディスカッション(6) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
1. 小テスト、感想文など								9 課題発表とディスカッション(7) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
2. 中間テスト								10 課題発表とディスカッション(8) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
3. 課題レポートなどの提出物								11 課題発表とディスカッション(9) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
4. 授業中の発表、討論 30 %								12 課題発表とディスカッション(10) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
5. 授業への参加意欲 30 %								13 課題発表とディスカッション(11) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
6. 自主的学習(予習・復習など) 10 %								14 課題発表とディスカッション(12) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
7. %								15 まとめ 内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題： 全部の配付資料の整理と復修を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		・ミニッツペーパー：第1回・第7回・第13回						
2. 論文、まとめのレポートなど 30 %		・プレゼンテーション：第5回・第8回・第12回						
3.		・グループディスカッション：第2回～第14回						
再評価の実施		する		しない		・調査学習：毎回、フィールドワーク：1回		
教科書		プリントや資料などを配布する。						
参考書		別途指示する。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)				2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEL3101				専任	2 シュンペーターの考え方1 予復修課題：シュンペーターについて。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 シュンペーターの考え方2 予復修課題：シュンペーターとケインズ	
配当年次	3年生	開講学期	前期			4 シュンペーターとイノベーション 予復修課題：新結合とは何か。	
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 「イノベーション」に関心を持ち、具体的事例を説明できる。					5 シュンペーター的競争の時代。 予復修課題：革新の本質。	
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。 2 シュンペーター的視点から経済・経営の動きを説明できる。					6 格差について 予復修課題：現代の格差について。	
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 格差は広がっているのか。 予復修課題：格差について感じること。	
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8 世界で広がる格差について 予復修課題：なぜ格差は広がるのか。	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9 格差と歴史 予復修課題：いつから格差は広がってきたのか。		
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10 豊かな国の格差について 予復修課題：豊かな国でなぜ格差は広がるか。		
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。				
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		50 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
						15 予復修課題：どんな時代が来るか。	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**				
担当者	李 只香 (LEE Jihyang)				2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 履修確認とゼミ課題の準備				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	EEL3101	予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
配当年次	3年生	開講学期	前期			2 履修確認とゼミ課題の準備				
授業概要	業界研究や企業研究をしていきます。まずは、日本や中国などアジアの主要産業界や有力企業について調べていきます。産業界や有力企業の状況について理解を深めてからは産業界や企業の抱える課題について理解を深めていきます。					3 講義&演習(1): 研究課題の設定				
	その際には、各自の進路や興味に経営理論を応用することを重視します。また、レポートの作成・発表・ディスカッションを行うことで、表現能力を高めていきます。					予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
授業到達目標	1. 論文の書き方や調査方法がわかる。 2. 企業や業界の現状について理解できる。 3. 経営学の知識を応用することができる。					4 講義&演習(2): 研究課題の設定				
						予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						5 演習(1): 課題発表とディスカッション				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						6 演習(2): 課題発表とディスカッション				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
成績評価の方法(全体で100%)						7 講義&演習(3): 課題発表と課題の発展				
履修における留意事項						予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。			8 講義&演習(4): 課題発表と課題の発展				
1. 小テスト、感想文など		%	2. 連絡、相談を大事にすること。			予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
2. 中間テスト		%	3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。			9 演習(3): 課題発表とディスカッション				
3. 課題レポートなどの提出物		%				予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
4. 授業中の発表、討論		10 %				10 演習(4): 課題発表とディスカッション				
5. 授業への参加意欲		75 %				予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				11 講義&演習(5): ゼミテーマの設定とレポート作成				
7.		%				予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
2) 最終到達度の評価						12 講義&演習(6): ゼミテーマの設定とレポート作成				
1. まとめのテスト		%	アクティブ・ラーニング			予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
2. 論文、まとめのレポートなど		15 %	自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。			13 講義&演習(7): ゼミテーマの設定とレポート作成				
3.		%				予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
再評価の実施	する	しない				14 講義&演習(8): ゼミテーマの設定とレポート作成				
教科書						15 総括・レポート提出				
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。					予復修課題: 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。				

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生対象 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)				2	1	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	イントロダクション 授業概要	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*		2	
配当年次	3年生	開講学期	前期	経済・経営学科	EEL3101	予復修課題：自己紹介の内容を準備、執筆(約1時間)	
授業概要	「グローバル化」「ポータレス化」が一般化した今日でも、留学生の皆さんは毎日のように「異文化」の存在を強烈に意識させられる場面に遭遇するはず。本演習では、皆さん各人が日々体験する「日本という異文化」を、多角的かつ客観的に検証しながら、そもそも「異文化」とは何であるかという問題にアプローチしていきます。そして皆さんが、このことを自国の文化を外側から再認識するための契機としてほしいと考えています。						
	1. 自分のなかにすでに構築されていた日本のイメージと現実のギャップを客観化して文章にまとめることができる。 2. 出身国と日本の文化的相違を認識し、相互理解のために有効な情報の発見と当該情報の文章による伝達ができる。 3. 日本語に含まれる修辭的技法を理解し、行間に込められた筆者(作者)の意図の読解ができる。						
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
	成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
	1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	特別な教科書は使用しません。板書事項(プロジェクターなどで投影するものも含む)や配布プリント、さらには口頭で説明した内容はどれも重要ですから、授業外の反復学習(少なくとも1時間程度の予復修)を心がけてください。日本語そのものを学ぶ授業ではありませんが、日本語の運用能力の向上を常に意識してください。				
	1. 小テスト、感想文など	%	アクティブ・ラーニング				
	2. 中間テスト	%					
	3. 課題レポートなどの提出物	40 %					
	4. 授業中の発表、討論	25 %					
	5. 授業への参加意欲	25 %					
	6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %					
	7.	%					
	2) 最終到達度の評価		レポート				
	1. まとめのテスト	%	プレゼンテーション(発表)				
	2. 論文、まとめのレポートなど	%	ディスカッション				
	3.	%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	特定の教科書は使用しない。						
参考書							
	15						
	予復修課題：他学生のレポートの精読と日本語(表現)の事前チェック(約1時間)						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	末木 将史 (SUEKI Masachika)				2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL3101		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	前期				
授業概要	このゼミは、各人の興味や関心、卒業後の予定進路を踏まえてテーマを設定し、探求するというプロジェクトを内容とします。各人のテーマを1年間かけて掘り下げていきます。まず、ガイダンスと導入部で、基礎ロジカル・シンキングを学び、方法論・アプローチを習得します。次に、自らが選んだテーマを実践的に掘り下げるにより、ロジカル・シンキングの体得を目指します。会社実務経験に基づくプロジェクト運営の実際を指導します。						
授業到達目標	基礎的なロジカル・シンキングの方法論、アプローチを体得する。 対象観察・認識の仕方、分析の仕方、情報の集め方・整理の仕方を学ぶ。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	PC必須。ソフトをインストールの上、持参のこと。スマホは能力が不十分なので不可。クラウド・ドライブ (Google Drive)、アイデア・プロセッサ (Mind Map)、フローチャート作成 (yEd)、プロジェクト管理 (Open Project)、クリッピング (Evernote) の各ツールは必須。手書き用のノートは絶対必須。予復修時間の目安は、2時間程度です。					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	20 %						
4. 授業中の発表、討論	30 %						
5. 授業への参加意欲	30 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	20 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	・討論には全員参加です。口頭での発言か、オンライン上での発言のいずれかは必ず求めます。記録 (LOG) もGDかEvernoteに					
2. 論文、まとめのレポートなど	%	残してもらいます。					
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	奥村隆一 『自分の考えをまとめる技術』、中経出版、2012						
参考書	平井孝志、渡部高士 『ロジカル・シンキング』、日本経済新聞社、2012						
1	ガイダンス1 ゼミの内容と方針について、シラバスに基づき説明します。 予復修課題：予)教科書の第1章、第2章を読んできておいてください。						
2	ガイダンス2 勉強方法、本・資料・ネットの読み方、ノートの取り方・まとめ方について説明します。 予復修課題：復)これまでの勉強方法等との比較をしてみてください。						
3	各自のテーマ発表 テーマを教科書の第1章、第2章のロジカル・シンキングに基づき検討します。 予復修課題：予)各自、追求したい事柄やテーマを考え、Google DriveにUp Loadしておいてください						
4	各自のテーマの検討1 テーマを全員でディスカッションし、整理した上でメモを修正します。 予復修課題：復)前回提出したテーマ等を修正・拡張してGDにULしてきてください。						
5	各自のテーマの検討2 (続き)テーマを全員でディスカッションし、整理した上でメモを修正します 予復修課題：復)前回提出したテーマ等を修正・拡張してGDにULしてきてください。						
6	各自のテーマの検討3 (続き)テーマを全員でディスカッションし、整理した上でメモを修正します。 予復修課題：復)前回提出したテーマ等を修正・拡張してGDにULしてきてください。						
7	各自のテーマの検討4 (続き)テーマを全員でディスカッションし、整理した上でメモを修正します。 予復修課題：復)前回提出したテーマ等を修正・拡張してGDにULしてきてください。						
8	中間まとめ 進捗と品質・出来栄をチェックします。PDCAについても説明します。 予復修課題：予)進捗したポイントと、これからすべきこと (ToDo) を整理してきてください。						
9	各自のテーマの検討5 ロジカル・シンキングの実践。教科書の第3章に基づき、テーマを深く検討します。 予復修課題：予)教科書の第3章を読んできておいてください。						
10	各自のテーマの検討6 (続き)ロジカル・シンキングの実践。教科書の第3章に基づき、テーマを深く検討しま 予復修課題：予)教科書の第3章を再度、読んできておいてください。						
11	各自のテーマの検討7 (続き)ロジカル・シンキングの実践。教科書の第3章に基づき、テーマを深く検討しま 予復修課題：予) 前回提出したテーマ等を修正・拡張してGDにULしてきてください。						
12	各自のテーマの検討8 ロジカル・シンキングの実践。教科書の第4章に基づき、テーマを深く検討します。 予復修課題：予)教科書の第4章を読んできておいてください。						
13	各自のテーマの検討9 (続き)ロジカル・シンキングの実践。教科書の第4章に基づき、テーマを深く検討しま 予復修課題：予) 前回提出したテーマ等を修正・拡張してGDにULしてきてください。						
14	まとめ準備 これまでの作業のまとめをします。 予復修課題：予)前回まで修正・拡張したドキュメントと資料を整理してGDにULしてきてください。						
15	まとめ これまでの作業のプロセスと結果を発表します。 予復修課題：予)学んだこと、これからすべきこと (ToDo) を整理してきてください。						

*領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar		単位数	授業内容**	
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談 予復修課題: シラバスを読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 企業の経営分析の方法(情報収集/レポート作成の方法と留意点) ・「企業の経営分析」の内容/レポート作成のスケジュール説明/面談 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)	
EEL3101		EEL3101				
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*
経済・経営学科		EEL3101				
配当年次		3年生		開講学期	前期	
授業概要		「日本企業の経営戦略について知る・学ぶ」をテーマとした演習を行います。3年前期は、興味・関心のある企業を選んで簡易な企業レポートの作成に挑戦し、企業を理解しようとするとき、必ず注目すべき要点について学習します。3年後期は、『教科書(後日指定)』を主な題材としてレジュメ作成・購読・討論を行うことにより、企業分析の方法を理解すると共に、自分の主張を明確かつ論理的展開できるコミュニケーション能力の向上の向上を目指します。				
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文作成の前段階として、企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する基礎レベルのレポートを作成することができる。 ・グループの中で計画的かつ協力的に目的とする課題遂行に取り組む、その中でも自分の意見・主張を積極的に述べるができる。 				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・当演習の内容(日本企業の戦略分析)と関連性のある2年次配当の「経営戦略論」等経営学系講義や「研究会G(経営学検定対策)」を受講することが望ましい。			
1. 小テスト、感想文など		%	・当演習では、授業が進行するに従って順次「企業レポート」の内容が蓄積されながら最終的な完成を目指す形をとります。ゆえにUSBメモリ等の記録メディアを持参のこと。			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表、討論		30 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	・会社ホームページ等から資料を収集し、各自指定された事項を満たす「企業レポート」を作成し、報告・発表を行います。			
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %				
3.		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		参加者の興味・関心(進路等)もふまえて適宜指定。				
参考書						
1		2 15				
3		4				
5		6				
7		8				
9		10				
11		12				
13		14				
15		総まとめ				
		・個別キャリア面談/夏季休暇課題の説明。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar			単位数	授業内容**	
担当者	石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)			2	専任		1 ガイダンス 演習の進め方、中心的な学修課題、留意事項について説明し、グループ編成も行う。 予復修課題：授業時に指示
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEL3101		2 教科書第1章「このままでは日本は破綻する!」のグループ内討議 第1章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	前期	(コース)区分*			
授業概要	後期に論文を執筆することを前提に、分析スキルを習得し、文献読解・要点把握・プレゼンテーションなどの能力を向上させるため、指定教科書の輪読とグループ発表を行います。これと並行して、学期末までに論文テーマの選択と論文執筆に向けた企画書の作成を行います。輪読に際しては、主題に対して、どのような構成としているのか、どのような資料やデータを用いているのか、どのような分析を行っているのかを意識することで、自分の論文執筆に活かします。教科書としては、日本財政の危機的状況を扱っている図書を使用します。						3 教科書第1章「このままでは日本は破綻する!」のプレゼンテーション、コメント 教科書第1章のグループ別要約発表、他グループによるコメントを行う。 予復修課題：授業時に指示
授業到達目標	幾つかの分析スキルを習得する 文献読解・要点把握の能力を高める プレゼンテーション能力を高める 適切な論文テーマを選択する						4 教科書第1章「このままでは日本は破綻する!」の総括 教科書第1章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	論文執筆のノウハウは、既存の書籍・論文から学ぶことができます。輪読に際しての事前準備(予修)には最低1時間は費やして下さい。ゼミでは、積極的に発言して下さい。論文テーマは、興味のある事柄というだけでなく、具体的な裏付けを伴う形で執筆できるテーマ、身の丈に合ったテーマを選んで下さい。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		30 %					
5. 授業への参加意欲		50 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	通常の輪読、要点報告のためのグループ内討議、グループ毎の要点発表を組み合わせて行います。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない	提出された企画書への個別指導も行います。				
教科書	伊藤隆敏『日本財政「最後の選択」』(日本経済新聞社、2015年)						
参考書	授業の過程で、必要に応じて提示予定。						
						11 教科書第4章「少子高齢化の財政への影響」のグループ内討議 教科書第4章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示	
						12 教科書第4章「少子高齢化の財政への影響」のプレゼンテーション、コメント 教科書第4章のグループ別要約発表、他グループによるコメントを行う。 予復修課題：授業時に指示	
						13 教科書第4章「少子高齢化の財政への影響」の総括 教科書第4章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示	
						14 個人面談(1): 企画書に対する個別指導(受講者の半数を想定) 企画書のとおり分析や論文執筆が可能か、個人面談する。資料収集の準備も行う。 予復修課題：授業時に指示	
						15 個人面談(2): 企画書に対する個別指導(受講者の残りの半数を想定) 企画書のとおり分析や論文執筆が可能か、個人面談する。資料収集の準備も行う。 予復修課題：授業時に指示	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)		2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 マルクスの考え方1 予復修課題：マルクスについて。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 マルクスの関心を持ち、その考え方を理解する。								
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。 2 マルクス的視点から経済・経営の動きを説明できる。								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。						
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		50 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					11 社会主義はなぜ崩壊したか。 予復修課題：ソ連の歴史。				
					12 社会主義と社会の変化 予復修課題：格差はどうなるのか。				
					13 職業の変遷、人工知能の時代。 予復修課題：無くなる職業。				
					14 職業の変遷、生まれる仕事。 予復修課題：どんな能力が重要か。				
					15 まとめのレポート 予復修課題：どんな時代が来るか。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	1 ガイダンス 演習の進め方、中心的な課題について説明する。論文第1次稿の提出を受ける。 予復修課題：授業時に指示				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 論文第1次稿についての簡易報告会の実施(全体) 何をテーマに選び、どのような調査・分析を行い、どのような結論を得たか報告する。 予復修課題：授業時に指示				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	中心課題は個人研究論文の完成とゼミ内での報告会の実施です。就職活動での面接の際、授業に関して何に取組んだかを問われた場合も、自信を持った受け答えができるように、論文執筆と研究報告の経験を3年次に蓄積します。 論文は、1回で完璧なものを執筆しようとするのではなく、説得力の乏しい箇所を補強したり、構成を改めたりする状況も想定しておきます。そのため、夏休み中に第1次稿を作成し、後期に完成させます。その間、指定図書の輪読も続け、論文を見直すうえで参考になります。								
	授業到達目標	個人研究論文の完成 研究報告会での発表							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 論文第2次稿についての簡易報告会の実施(全体) 第1次稿からどのような修正・補強を行ったのか報告する。第2次稿の提出を受ける。 予復修課題：授業時に指示				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 論文第2次稿の講評 全般的な講評を行うとともに、再補強が必要な箇所について個別指導を実施する。 予復修課題：授業時に指示				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 教科書第6章「今後の財政政策を考える」のグループ内討議 教科書第6章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	結論を導き出したり、主張・提言をしたりするには、その拠り所となる根拠、調査や分析に裏付けられた根拠が必要です。従って、論文全体を支える根拠の部分を最初に固める必要があります。 調査・分析には、延べ30時間以上かかると思って、取組んで下さい。						
1. 小テスト、感想文など		%	11 教科書第6章「今後の財政政策を考える」の総括 教科書第6章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	完成途上の論文への個別指導も行います。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	また、ゼミ全体での研究報告会を実施する前に、論文の中心箇所についての相互開示・意見交換の機会を設け、論文の弱点を補強します。						
3.		%	12 論文第3次稿についてのグループ内意見交換会の実施 論文をグループ内で相互開示、意見交換する。その結果は論文の補強材料とする。 予復修課題：授業時に指示						
再評価の実施	する	しない	13 個人研究報告会の実施 (受講者の半数を想定) 最終稿に基づき、個人毎に論文の発表を行う。必要に応じて、修正・補強も行う。 予復修課題：授業時に指示						
教科書	伊藤隆敏『日本財政「最後の選択」』(日本経済新聞社、2015年)								
参考書	授業の過程で、必要に応じて提示予定。								
					14 個人研究報告会の実施 (受講者の残りの半数を想定) 最終稿に基づき、個人毎に論文の発表を行う。必要に応じて、修正・補強も行う。 予復修課題：授業時に指示				
					15 完成された個人論文の講評 最終稿の講評を行い、特に優れた着目点、優れた分析、優れた論理構成を紹介する。 予復修課題：授業時に指示				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 履修確認とゼミ研究の準備				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	経営学・会計学は実践学であり、一方その理論とは、会社の抱える諸課題の解決策を示しているものと理解できます。そこで、本演習では、卒業までの期間を通して、産業界や企業の現状と抱える課題を調べ、経営学・会計学の知識を応用することで企業体の現状や経営学・会計学への理解を深めます。								
	その際には、各自の進路や興味に経営学・会計学を応用することを重視します。また、レジュメ作成や発表・ディスカッションにより、表現能力をも高めていきます。								
	1. 論文の書き方や調査方法がわかる。								
	2. 企業や業界の現状について理解できる。								
	3. 経営学の知識を応用することができる。								
	4. 会計学の知識を応用することができる。								
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. 連絡、相談を大事にすること。						
2. 中間テスト		%	3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		75 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		15 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。								
					15 総括・レポート提出				
					予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1 イントロダクション 後期演習の概要と進め方他 予復修課題： 前期CM分析プレゼンテーションの修正・改善				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 CM映像表現の効果分析(1) 分析対象CMについてのディスカッション 予復修課題： 対象CMの多角的分析とレポート				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	テーマは「メディアと広告」です。日常に溢れる膨大な情報の信憑性の判断と正確な理解、そしてそれらの有効活用法について、実際のニュース、広告、CM等を対象に、その内容や構造を、情報発信者・受信者双方の視点から批判的に検証します。とりわけ、広告ポスターやCMは、文学・絵画・映画等の芸術作品と同様に分析・解釈しながら、企業戦略や消費者動向との関連及び時代や社会との関連も考察します。また、情報の総合的読解力・分析力を基礎に、自ら情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションコンテンツ制作の実践もします。								
	1. 情報の背後に存在する伝達されなかった事実の演繹的理解ができる								
	2. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる								
	3. CM及びそこで用いられるキャッチコピーなどを、文学テキストの解釈と同様に、時代や社会との関連のなかで分析し解釈できる								
	4. 既成概念や社会通念を批判的視座から再検証する柔軟な思考ができる								
授業到達目標	5. 情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションを意図的に構築・実践できる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書を購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のディスカッション参加への積極性などを総合的に判断して成績を評価します。演習科目ですから、自ら率先して問題に対処することが特に求められます。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		15 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		15 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合がある)								
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合がある)								
					11 CM分析プレゼンテーション(1) 発表とディスカッション 予復修課題： 他学生のプレゼンテーションへのコメントレポート				
					12 CM分析プレゼンテーション(2) 発表とディスカッション 予復修課題： 他学生のプレゼンテーションへのコメントレポート				
					13 映像コンテンツ作成(1) シナリオと撮影・編集 予復修課題： 映像コンテンツシナリオ作成、編集作業				
					14 映像コンテンツ作成(2) 映像編集 予復修課題： 映像編集作業				
					15 まとめ 予復修課題： 編集映像コンテンツ完成と提出				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**							
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)		2	1 ゼミの運営方針を示す。 予復修課題：卒論の第1次草稿について(予修する目安時間:120分)							
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 卒論第 次草稿の発表1 予復修課題：他のゼミ生卒論第 次草稿についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分							
EEL3201		EEL3201										
授業形式		演習		科目区分		ゼミナール科目群			経済・経営学科			
配当年次		3年生		開講学期		後期			(コース)区分*			
授業概要		卒論の第1次草稿の発表者は発表原稿を作成し、それ以外の学生は発表を聞いて、その場で質問を行なう。発表者はその場で、質問者との間で質疑応答を行なってもらいます。										
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> その場で質問をすることを通じて、何が重要であるのかを理解する能力を修得する。 発表者は十分な準備を行なうことの重要性を体得する。 										
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)												
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。												
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。												
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。												
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項								
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		出席を極めて重視するので、できるだけ出席するようにしてください。もし、欠席・遅刻をする場合には、必ず連絡してください。本ゼミの最終目的が卒論作成であることに留意して、積極的にゼミに参加してください。								
1. 小テスト、感想文など		%										
2. 中間テスト		%										
3. 課題レポートなどの提出物		%										
4. 授業中の発表、討論		80 %										
5. 授業への参加意欲		20 %										
6. 自主的学習(予習・復習など)		%										
7.		%										
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%		発表者や質問者に対して、コメントを行なうことで、気づきを与える。								
2. 論文、まとめのレポートなど		%										
3.		%										
再評価の実施		する		しない								
教科書		なし										
参考書												
				15					予復修課題：今まで発表された卒論第 次草稿の総括を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分			

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)		2	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 複式簿記の構造(1) 予復修課題：日商簿記検定試験2級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期	(コース)区分*					
授業概要	本授業では、複式簿記の構造について理解する。加えて、その応用として問題基盤型学習、サービスラーニングなどを取り入れて実践を図り、地域連携・地域貢献活動を行う。前者では、日商簿記検定試験合格などを手段として、複式簿記の構造について追究する。後者では、産学官連携活動および域学連携活動を実施する。産学官連携活動では、地方公共団体や公共性・公益性が高い企業とともに、域学連携活動では地域住民や商店街などとともに調査・分析をおこない、その結果について発表する。								
	1. 複式簿記の構造について、具体的に説明することができる。								
	2. 営利企業の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、解釈することができる。								
	3. アンケート調査をおこない、その結果をレポートにまとめ、発表することができる。								
	4. 地域社会の現状と課題について、経営学の観点から、具体的に述べるすることができる。								
	5. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。								
授業到達目標	6. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 地域連携・地域貢献活動(1) 産学官連携活動 予復修課題：産学官連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 日商簿記検定試験1級または2級を積極的に受験することを要求する。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. チームとして参加するプロジェクトでは、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。						
2. 中間テスト		%	3. 各授業ごとに120分以上の予復修をおこなうことを要求する。						
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング						
4. 授業中の発表、討論		%	地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスラーニングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する						
5. 授業への参加意欲		80 %	解決策を策定して、それを発表する。						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	11 予復修課題：産学官連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分						
7.		%	12 地域連携・地域貢献活動(4) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分						
2) 最終到達度の評価			13 予復修課題：域学連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分						
1. まとめのテスト		%	14 地域連携・地域貢献活動(6) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	15 授業の総括 予復修課題：地域社会の現状と課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分						
3. 資格取得		20 %							
再評価の実施	する	しない							
教科書	ガイダンスの際に指示する。								
参考書	ガイダンスの際に指示する。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナールⅢ Seminar Ⅲ		単位数	授業内容**	
担当者	國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			EEL3201		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科	
配当年次	3年生	開講学期	後期	(コース)区分*		
授業概要	<p>経営管理、マーケティングなど企業活動についての基礎知識を養うとともに、対象とする業界や企業に関する問題や課題、その取り組みについて考察を行います。</p> <p>業界や企業の活動状況を捉えることにより、企業活動について学習するとともに、データを分析する方法、研究結果から経営状態を読み取る力を身に付けることを目標とします。</p> <p>本ゼミナールでは、企業経営において必要な会計と税金の関わりについて学び、税務会計の基礎知識を身につけるためにグループワークを通して研究・発表を行います。</p>					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・問題認識、データ収集、データ分析、レポート作成、発表などのスキルを身につける。 ・グループワークやディスカッションに参加することで自分の意見を伝えることができる。 ・企業経営に必要な税務会計の基礎知識を身につける。 					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	企業経営に必要な税務会計の基礎知識を養い、グループワークでの研究を通して、企業の活動とは何か、どのような課題があるのかについて自ら考え考察する力を身につけてください。				
1. 小テスト、感想文など	%					
2. 中間テスト	%					
3. 課題レポートなどの提出物	20 %					
4. 授業中の発表、討論	20 %					
5. 授業への参加意欲	20 %	グループワークを通して、コミュニケーション能力を育成できるよう心がけましょう。				
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %					
7.	%					
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	ミニッツ・ペーパー(第2回~第15回)				
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %					
3.	%					
再評価の実施	する	しない	○			
教科書	プリントを配付する。					
参考書	必要に応じて適宜紹介する。					
1	ガイダンス	シラバスをもとに本ゼミナールの進め方を説明する 予復修課題: ガイダンス資料をよんでおくこと				
2	テーマ設定の基礎知識(1) 益金と損金の計算	益金と損金について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
3	課題発表とディスカッション(1)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
4	テーマ設定の基礎知識(2) 収益の計上時期	課税と収益の計上時期の関係について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
5	課題発表とディスカッション(2)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
6	テーマ設定の基礎知識(3) 費用・損失等の計上時期	課税と費用・損失等の計上時期の関係について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
7	課題発表とディスカッション(3)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
8	テーマ設定の基礎知識(4) 租税公課	租税公課について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
9	課題発表とディスカッション(4)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
10	テーマ設定の基礎知識(5) 国際課税	国際課税の現状と課題について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
11	課題発表とディスカッション(5)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
12	テーマ設定の基礎知識(6) 申告と納付	申告と納付の概要を理解する 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
13	課題発表とディスカッション(6)	グループに分かれて、活動成果を発表し、ディスカッションする 予復修課題: 今回の内容の整理と発表準備(予・復修目安時間90分)				
14	テーマ設定の基礎知識(7) 徴収手続き等と納税者の権利救済	徴収手続きと納税者の権利救済制度について理解する 予復修課題: 今回の内容の整理とレポート準備(予・復修目安時間90分)				
15	まとめ	研究レポートを提出する 予復修課題: まとめの確認を行う				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 ガイダンス：ゼミ内容・進め方の解説、および履修指導・キャリア面談 予復修課題：自分がゼミで追及したいテーマについてまとめておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 準備1：分析方法・手順など計画についての解説、チーム分けと対象テーマの決定 ・テーマに基づきチーム分けし、分析フローや具体的な方法・手順を検討する。 予復修課題：自分がゼミで追及したいテーマの分析計画について構想を準備しておくこと。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	金融取引、市場および業界に関連するテーマについて研究します。 まず分析の実際的な進め方を習得し、その後に分析を手掛けます。 チーム内で分担し、自らが立てた計画に基づいて進めてもらいます。社会人として必要な実務スキル(企画立案/運営/発表)を身につけてもらいます(実務経験) ・資格試験の受験者が相当数いる場合、その演習などを行うことも検討します。 ・ゼミ内容は、初回・2回目に話し合いを行い、最終的に決定させます。				3 準備2：文献・資料、データの収集計画および発表資料作成の解説 ・準備してきた文献等の採否や追加すべき資料等を検討する。 予復修課題：チームで決めたテーマに利用できそうな文献等を準備しておくこと。				
授業到達目標	・分析可能な具体的なテーマを設定することができる。 ・必要な分析フローや採用すべき分析手法など計画することができる。 ・チーム内でコミュニケーションを取りながら、責任をもって担当を遂行することができる。				4 準備3：分析手法案についての解説、チーム内での役割分担の決定 ・理論分析、データ分析ならびにフィールド・ワークなど手法について解説する。 予復修課題：自分の構想に対して、方法・手順などの計画を立案してくること。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 準備4：分析アウトラインの発表と検討 ・チーム毎に立てた分析計画と工程を検討する。 予復修課題：資料、分析方法、想定結論を考慮した分析計画を準備しておくこと。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 進捗報告1：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 進捗報告2：途中経過と問題・課題の発表、問題に対する対応案の検討 ・発表内容に対して全員でディスカッションする。 予復修課題：発表資料を準備してくること。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・進捗報告に際しては、単に原稿を作成して くるだけでなく、To Doリストやスケジュー ラなどと併せて準備してきてください。 ・途中で困難に当たっても、常に乗り越える 方法・手段を考え抜いてください。 ・予復修は最低でも1時間、できれば内容が 発表に耐えうる完成度にまでしてください。 ・ゼミ連絡はGoogle Driveで行います。						
1. 小テスト、感想文など		%	2) 最終到達度の評価						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物	20	%							
4. 授業中の発表、討論	30	%							
5. 授業への参加意欲	20	%							
6. 自主的学習(予習・復習など)	30	%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング ・他のゼミ員の発表や発言に関心をもち、自分 でも意見を積極的に述べられるよう、自分を トレーニングしてください。						
1. まとめのテスト		%	14 最終発表：分析成果の発表。 ・成果発表と併せて、当初計画からのずれ、軌道修正の履歴、得られたことを提示する。 予復修課題：最終発表用のプレゼン資料を用意しておくこと。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない	15 最終レビュー：成果について全員で講評する。 ・前回の最終発表を聞いて、まとめと今後の課題を明らかにする。 予復修課題：今後の勉強計画、実習・研修計画及び卒業後の進路等の計画をまとめて来ること。						
教科書	ゼミ中に指示します。								
参考書	ゼミ中に指示します。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)				2	1 履修指導および個別面談 予復修課題： 修得科目と卒業要件修得単位を調べておく	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 ゼミ研究報告会準備 進捗状況報告(発表) 予復修課題： 各自のテーマの資料収集	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 プレゼンテーションスキル プレゼンテーションスキルを学ぶ 予復修課題： 各自のテーマの資料収集	
配当年次	3年生	開講学期	後期			4 プレゼンテーションスキル パワーポイント資料の作り方を学ぶ 予復修課題： 各自のテーマの資料収集	
授業概要	各自でライフデザインおよびキャリアデザインをイメージし、必要とされる能力を養う ビジネス社会で必要とされている「ビジネスマナー」について理解する コミュニケーション能力(聞く・話す)を高める					5 ゼミ研究報告会準備 パワーポイントや原稿を作成する 予復修課題： それぞれのテーマの資料収集	
授業到達目標	社会人基礎力を高め、自己PRにつなげることができる コミュニケーション能力に自信が持てるようになる ライフデザイン・キャリアデザインが明確になる					6 ゼミ内中間報告会 ゼミ内で発表し、進捗状況を確認しあう 予復修課題： それぞれのテーマの資料収集	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修の時間の目安は、40~60分です。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	発表(第2、6、10回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	ディスカッション(第11、12回)				
3.		%	ゼミ研修(第13回)				
再評価の実施	する	しない					
教科書	適宜、資料を配布する						
参考書							
	15 ゼミ研究報告会の資料(パワポ・原稿)を提出 予復修課題： パワーポイントの見直し						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)		2	1	演習の進め方について 予復修課題： シラバスを読む				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2	老舗企業の事例研究(1) 企業の選定 予復修課題： 選定基準				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	3年生	開講学期	後期							
授業概要	本演習では、ゼミナール に引き続き、老舗企業を研究対象とする。長期にわたって存続してきた秘訣を探りつつ、企業にとって継続することの意味を考える。ここでは、対象とする老舗企業を選んでその事例研究を行う。									
	老舗企業が存続できた要因として「変わるもの」と「変わらないもの」があることを理解し、そこから各自の物事の見方・考え方を形づくることことができる。									
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			1) 履修するうえで、積極的に学ぶ姿勢・態度はきわめて重要である。 2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。					
1. 小テスト、感想文など		%								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		10 %								
4. 授業中の発表、討論		10 %								
5. 授業への参加意欲		60 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%			1) 発表・プレゼンテーション(第8・15回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %			2) 調査研究(第2回ほか)					
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	プリントを配布する予定									
参考書										
					11	老舗企業の事例研究(9) 経営理念について 予復修課題： 経営理念				
					12	老舗企業の事例研究(10) 経営理念について 予復修課題： 経営理念				
					13	老舗企業の事例研究(11) 事業について 予復修課題： 事業内容				
					14	老舗企業の事例研究(12) 事業について 予復修課題： 事業展開				
					15	まとめ 企業調査の結果報告 予復修課題： これまでの調査結果				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 再履修用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	仁部 新一 (NIBU Shinichi)				2	1 この授業の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*		3 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
配当年次	3年生	開講学期	後期			4 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
授業概要	このゼミナールでは、経済政策について研究します。そのために、ゼミナールでは、ゼミナールで学んだことを踏まえ、引き続き各自の問題意識にしたがって、順番に、発表・討論を行い、次のことを目標とします。					5 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：討論のテーマに関する基礎知識を得ておくこと。授業内容の復修。	
	経済政策に関する問題意識を明確にし、経済学の基礎理論とのかかわりを考えることができること。 発表用資料の作成、発表、質疑応答により、経済政策の課題についての理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の大切さに気づくことができること。 短い論文を執筆することができること。					6 討論(幾つかのテーマを設定して、参加者のアイディアを出し合い、討論を行う。)後期のレポートの、テーマとねらい、について考えていきます。 予復修課題：討論のテーマに関する基礎知識を得ておくこと。授業内容の復修。	
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 討論(幾つかのテーマを設定して、参加者のアイディアを出し合い、討論を行う。)後期のレポートの、テーマとねらい、について考えていきます。 予復修課題：討論のテーマに関する基礎知識を得ておくこと。授業内容の復修。	
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。	
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10 教科書を交代で発表し、質疑応答を行う。併せてテキスト批評も行い、各自、教材の文書を要約し、内容に対する意見を述べる。 予復修課題：討論のテーマに関する基礎知識を得ておくこと。授業内容の復修。	
	成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			11 討論(幾つかのテーマを設定して、参加者のアイディアを出し合い、討論を行う。)後期のレポートの、テーマとねらい、について考えていきます。 予復修課題：討論のために、テーマに関する基礎知識を得ておくこと。	
	1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	下記の教科書は、ゼミナールまで用いる予定です。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。			12 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジюмеを作り発表する。発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジюмеの作成・発表の準備と授業内容の復修。	
	1. 小テスト、感想文など	20 %				13 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジюмеを作り発表する。発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジюмеの作成・発表の準備と授業内容の復修。	
	2. 中間テスト	%				14 レポートを交代で発表し、質疑応答を行う。発表者はレジюмеを作り発表する。発表者でない者は、質問や意見を述べ、参加者で討論を行う。 予復修課題：レジюмеの作成・発表の準備と授業内容の復修。	
	3. 課題レポートなどの提出物	%				15 まとめ 予復修課題：後期の自己評価と目標の確認。	
	4. 授業中の発表、討論	20 %					
	5. 授業への参加意欲	30 %					
	6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %					
	7.	%					
	2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 発表、質疑応答、討論、レポート作成などを行う。				
	1. まとめのテスト	%					
	2. 論文、まとめのレポートなど	20 %					
	3.	%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶応義塾大学出版会、2018年。						
参考書	適宜紹介します。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談。 予復修課題: 講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 グループ作業(1) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	本演習では、「日本企業の経営戦略分析レポート」の作成をおこないます。3年次配当の本演習では、2年前期におこなった戦略の「簡易分析」をグレードアップさせる形で日本の「今現在の」優良企業/話題の企業について経営戦略、あるいは経営現象についての分析を行います。3年前期に行う企業・経営研究は、3年後期に行われる「学生研究報告会」での発表を目指します。また、3年後期はこれまでの学習成果を基に各自『卒業論文』の作成準備・執筆に着手していきます。								
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文作成の前段階として、企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する基礎レベルのレポートを作成することができる。 ・グループの中で計画的かつ協力的に目的とする課題遂行に取り組む、その中でも自分の意見・主張を積極的に述べることができる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 グループ作業(2) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 グループ作業(3) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 中間報告 ・グループごとに現在までの研究成果を発表し、質疑応答を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
成績評価の方法(全体で100%)					6 グループ作業(4) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価					7 グループ作業(5) ・各グループごとに作成した研究計画に沿って研究を進める。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決め準備をすること。(予復修時間目安 90分)				
評価割合		履修における留意事項							
1. 小テスト、感想文など	%	・3年次の演習は、学生研究報告会での報告・発表や卒業論文の作成を目的とする。受講生諸君には学習成果を大いに高めるためにも積極的・主体的な参加を望みたい。							
2. 中間テスト	%	・報告・論文作成のための資料収集にあたり図書館を十二分に使いこなす'ことができよう、普段から積極的に活用すること。							
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	アクティブ・ラーニング							
4. 授業中の発表、討論	30 %								
5. 授業への参加意欲	10 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)	%								
7.	%								
2) 最終到達度の評価					8 卒業論文の作成 ・各自卒業論文のテーマ決め、情報収集、概要(レジュメ)作成を行う。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3.		%							
再評価の実施		する しない							
教科書	受講者の興味・関心(進路等)及び報告・論文作成の必要性をふまえて適宜指定。								
参考書	15 総まとめ ・個別キャリア面談/春期休暇課題の説明。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えておくこと。(予復修時間目安 90分)								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		2	1 ガイダンス ゼミナール の進め方					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修をすること。 【演習】グループ発表とディスカッション1					
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				2 予復修課題：研究対象の資料の収集を行うこと。 【演習】グループ発表とディスカッション2
配当年次		3年生	開講学期	後期	(コース)区分*					3 予復修課題：研究対象の資料の収集を行うこと。 【演習】グループ発表とディスカッション3
授業概要		企業の脱税、粉飾決算、偽装表示といった事件を新聞やニュースで見聞きしたことがあると思いますが、なぜこのような違法行為を行う企業が後を絶たないのでしょうか。本ゼミでは、その原因やメカニズムを決算書や裁判例を基に分析し、会社法を中心とした企業法の観点から企業不祥事の防止について考えていきます。 ゼミナール に引き続き、研究を進めていきます。								
授業到達目標		ビジネスパーソンとして実践的な法律知識を学ぶことができる。 企業法に位置づけられる各法律の考え方や会計との関連性を理解することができる。 決算書より財務体質や法的問題点を読み取り問題解決力を身につけることができる。 プレゼンテーション能力を身につけることができる。								
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：プレゼンテーション資料の作成。 【演習】学生研究報告会への準備活動2					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：プレゼンテーション資料の作成。 【演習】学生研究報告会への準備活動3					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：プレゼンテーション資料の作成。 【演習】学生研究報告会への準備活動4					
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。 研究を計画的に進めていくこと。 電卓を必ず持参すること。							
1. 小テスト、感想文など		%	11 予復修課題：これまでの研究の成果をデータで提出する。 【演習】就職活動と業界分析							
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		30 %								
4. 授業中の発表、討論		30 %								
5. 授業への参加意欲		30 %								
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー (随時)							
2. 論文、まとめのレポートなど		%	Think-Pair-Share							
3.		%	グループディスカッション							
再評価の実施		する	しない	グループワーク						
教科書		講義レジュメを使用する。								
参考書		別途指示する。								
					15 予復修課題：分析対象とする業界の資料収集を行う。 まとめ					

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**		
担当者		中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)		2	1	面談 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2	地球環境に関わる映像を視聴する 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(温暖化)	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	経済・経営学科	3	国内の自動車産業(1) トヨタ自動車の経営戦略について 予復修課題：トヨタ自動車の歴史について調べる	
配当年次	3年生	開講学期	後期	(コース)区分*	4	国内の自動車産業(2) 日産自動車の経営戦略について 予復修課題：日産自動車の歴史について調べる	
授業概要	環境・産業を主体とするゼミに配属された学生としての自覚を持つ。 地球環境とエネルギー問題の基礎を学ぶ。 エコ検定に対応できる知識を持つ。 グローバル社会に対応できる素養を身に着けるために、幅広い内容の文献を輪読する。				5	国内の自動車産業(3) ホンダの経営戦略について 予復修課題：ホンダの歴史について調べる	
	授業到達目標	ISO14001環境マネジメント内部監査員に相応しい素養を身に付ける。 地球環境問題を緩和するための政策の基礎を理解する。 地球環境問題を緩和するための技術の基礎を理解する。 環境に配慮する企業努力を理解する基礎的能力を身に付ける。 エコ検定に出題される最も基本的な知識を身に付ける。 世界の政治経済の動きを敏感に感じ取り環境の観点からそれに対して自分の意見が持てる。				6	国内の自動車産業(4) マツダの経営戦略について 予復修課題：マツダの歴史について調べる
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7	国内の自動車産業(5) スバルの経営戦略について 予復修課題：スバルの歴史について調べる	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8	国内の自動車産業(6) スズキの経営戦略について 予復修課題：スズキの歴史について調べる	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9	国内の自動車産業(7) 三菱自動車の経営戦略について 予復修課題：三菱の歴史について調べる	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10	国内の自動車産業(8) いすゞの経営戦略について 予復修課題：いすゞの歴史について調べる	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			11	社会人基礎・公務員対策(1) 警察官の採用試験について 予復修課題：福岡県警について調べる	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。			12	社会人基礎・公務員対策(2) 消防士の採用試験について 予復修課題：北九州市消防局について調べる	
1. 小テスト、感想文など	20 %				13	社会人基礎・公務員対策(3) 自衛官の採用試験について 予復修課題：自衛官の種類について調べる	
2. 中間テスト	%				14	社会人基礎・公務員対策(4) 海上保安官の採用試験について 予復修課題：海上保安官について調べる	
3. 課題レポートなどの提出物	10 %				15	まとめ これまでの内容を振り返り、次期のゼミにいかす。 予復修課題：今期のゼミを振り返り、自分がどう変わったかを文章にする。	
4. 授業中の発表、討論	10 %						
5. 授業への参加意欲	50 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 毎回、グループディスカッションを行う。					
1. まとめのテスト	%						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリント配布						
参考書	各企業のCSR報告書						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 公務員試験教養試験対策 社会科学、憲法 予復修課題：教科書を見直しておくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 公務員試験教養試験対策 憲法 予復修課題：憲法の教科書を読み直しておくこと。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	憲法、法学の基本的論点について学んでいきます。 特に、現代社会で問題になっているテーマを中心とします。 その他、公務員試験対策問題演習も行います。 ゼミ論、卒論に取り組みます。								
	指定するテーマについて調べ、論点についてまとめることができるようになる。 指定されたテーマについて討論できるようになる。 その他、公務員試験対策問題に対応できるようになる。 卒論、ゼミ論に取り掛かり論文内容を説明できるようになる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	各学生の自主性を重んじます。 研究テーマに関しては、各学生の希望・進路に併せて自由に決定できるようにします。 各自目標達成のための力をつけていきましょう。 * 自宅学習時間は1時間以上とする。							
1. 小テスト、感想文など	%								
2. 中間テスト	%								
3. 課題レポートなどの提出物	20 %								
4. 授業中の発表、討論	30 %								
5. 授業への参加意欲	30 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)	%								
7.	%								
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト	%	ミニッツペーパー実施。							
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %								
3.	%								
再評価の実施	する	しない							
教科書	指定しない								
参考書	指定しない								
		3 公務員試験教養試験対策 法学 文章理解 予復修課題：今までの問題を全部解きなおしておくこと。							
		4 研究テーマの決定 予復修課題：いくつもの候補から自分が長期的に調べてみたいテーマを決定する。 各自のテーマについて判例・参考文献についての理解を深める。							
		5 予復修課題：文献を読む。まとめる。 各自のテーマについて判例・参考文献についての理解を深める。							
		6 予復修課題：文献の収集・理解。							
		7 SPI対策 予復修課題：問題に関して苦手分野を復修すること。							
		8 SPI 対策 予復修課題：問題に関して苦手分野を復修すること。							
		9 学生研究報告会の事前準備 予復修課題：グループごとに規格案をまとめ資料を作成しておくこと。							
		10 学生研究報告会用プレゼン資料の作成 予復修課題：資料作成。							
		11 学生研究報告会発表・参加 予復修課題：資料作成、リハーサル等行っておくこと。							
		12 ゼミ論・卒論に取り掛かる 予復修課題：論文構成をを考えておくこと。							
		13 就職活動のスケジュールを立て、必要な取り組みについて考える 予復修課題：スケジュール表作成。							
		14 エントリーシート、自分の長所短所等、について作成してみる。 予復修課題：修正を繰り返し、より良いものにすること。							
		15 ゼミ論・卒論の骨子を作成し提出する。 予復修課題：2ページほどの骨子の作成に取り掛かること。							

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	森部 昌広 (MORIBE Masahiro)				2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL3201		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	後期				
授業概要	<p>本講義では、ままでを通じて行っていく「自己ブランディング」について「就職」という視点から考えていきます。企業の人事担当者はどのような「人材」を求めているのでしょうか？求められる新人の資質とどのようなものかについて「インターンシップ」や「企業研究」を学んでいくことにします。特に「企画力」、「プレゼンテーション力」と「気配り」の能力について重視し、それらを身に付けるためのワーキングを行います。企業・社団法人の現役経営者として現場で使える能力を高めてもらえるような授業を展開します。</p>						
授業到達目標	<p>授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問によって確認することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめることができる。 情報化社会に対応した能力を活用し、外部へ上手に発信できる。 活動の中心メンバーとしてリーダーシップを発揮することができる。</p>						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で 100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	本授業では社会人即戦力としての具体的なスキルを何か二つ以上身に付けることを目標として取り組んでもらいます。そのためにイベント企画や運営を通じてコミュニケーションスキルを発揮していきましょう。特に情報を発信する力を高めて、自分たちの取り組みに一人でも多くの方を引き込むことにチャレンジしていきます。リーダーシップも高めていきましょう。					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	20 %						
5. 授業への参加意欲	20 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	20 %						
7. 学習の進捗報告	20 %						
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%	ゼミナール入門から一貫してPBLを採用して実務能力を高めていきます。常に歴代最高を目指して新しい取り組みにチャレンジしてください。最低二つ以上の学外案件に取り組みます。					
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。						
1	ガイダンス： 後期に該当するイベント等の業務の案件についてスケジュールを確認します。 予復修課題： 昨年度実績についてまとめておきましょう。						
2	グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： グループ別に業務スケジュール表を作成しておきましょう。(約1.0時間)						
3	グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)						
4	グループワーク と個人面談 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題： 自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)						
5	イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題： 全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)						
6	グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： グループ別に業務スケジュール表を作成しておきましょう。(約1.0時間)						
7	グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)						
8	グループワーク と個人面談 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題： 自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)						
9	イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題： 全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)						
10	グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： グループ別に業務スケジュール表を作成しておきましょう。(約1.0時間)						
11	グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題： 自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)						
12	グループワーク と個人面談 集められた課題を共有しプライオリティーを決定します。 予復修課題： 自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)						
13	報告会準備 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題： 発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)						
14	報告会準備 リハーサル 予復修課題： 本番を予測した課題を具体的に書き出します。(0.5時間)						
15	総括：後期で関わった全てのイベントを振り返ります。どのような気付きや学びがあったでしょうか。 予復修課題： 自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 履修確認とゼミ研究・就職活動の状況確認 取得単位数と履修科目を確認し、研究・就職活動状況を把握する。 予復修課題：取得単位数を確認しておくこと、また、研究・就職活動状況を整理しておくこと。(予修:2時間)					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 前期の活動実績と反省 前期の研究・就職活動を振り返り、改善点をまとめて報告する。 予復修課題：前期の振り返りと改善点をまとめておくこと。(予修:3時間)					
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次		3年生	開講学期	後期	(コース)区分*					
授業概要		就職活動および公務員試験などに関する理解を深めるだけでなく、それらに対する対策演習を行っていきます。また、就職試験対策などの演習を実施することで、報告慣れするとともにプレゼンテーション能力を高めてもらいます。なお、必要に応じて、個別面談や履歴書等の指導を行います。 卒業論文に向けた準備を始めて、資料収集の方法などを習得してもらいます。また、必要に応じて、個別指導を行います。			3 ゼミ研究の発表準備 プレゼンテーション資料の作成に必要な技術を習得する。 予復修課題：パワーポイントの作成方法を予修・復修しておくこと。(予修4~5時間)					
授業到達目標		就職活動などで必要なコミュニケーション能力を実践できるようにする 就職活動の情報などを適切に分析・判断できる能力を身につける 卒業論文に向けた課題を探すとともに、資料収集の方法を習得する。			4 ゼミ研究に関するプレゼンテーション資料の構成を練り、資料を作成・報告する。 予復修課題：パワーポイントの作成方法を予修・復修しておくこと。(予修4~5時間)					
		卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)			5 ゼミ研究に関するプレゼンテーション資料を作成・報告する。 予復修課題：パワーポイントの作成方法を予修・復修しておくこと。(予修4~5時間)					
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。			6 ゼミ研究に関するプレゼンテーション資料を完成させる。 予復修課題：パワーポイントの作成方法を予修・復修しておくこと。(予修4~5時間)					
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。			7 ゼミ研究に関するプレゼンテーションの練習を行い、他チームの改善点を整理する。 予復修課題：プレゼンテーションの練習を行い、評価基準を考察しておくこと。(予修:4~5時間)					
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。			8 ゼミ研究に関するプレゼンテーションの練習を行い、他チームの改善点を整理する。 予復修課題：プレゼンテーションの練習を行い、評価基準を考察しておくこと。(予修:4~5時間)					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			9 ゼミ研究に関するプレゼンテーションの練習を行い、他チームの改善点を整理する。 予復修課題：プレゼンテーションの練習を行い、評価基準を考察しておくこと。(予修:4~5時間)					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	進学・就職に向けた具体的な活動状況を報告・連絡・相談すること。 報告などはできるだけ文書化する様に心がけて下さい。また、継続的かつ自発的に取り組む様に心がけてください。 事後に見直し、疑問点の質問、問題の復修(60時間以上)などを行う様に心がけてください。			10 プレゼンテーションの練習で明らかになった改善点を直し、資料の修正を行う。 予復修課題：改善点についてチームで話し合いを行い、改善点を整理しておくこと(予修4~5時間)				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			11 プレゼンテーションの練習で明らかになった改善点を直し、資料の修正を行う。 予復修課題：改善点についてチームで話し合いを行い、改善点を整理しておくこと(予修4~5時間)				
1. まとめのテスト		%	基本的に、毎回、報告を行ってもらいます。また、適宜、プレゼンテーションや調査学習に取り組んでもらいます。			12 ゼミ研究に関する最終報告を行い、他チームの評価を行う。 予復修課題：プレゼンテーション資料を完成させ、報告の練習をしておくこと(予修4~5時間)				
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %				13 ゼミ研究に関する最終報告を行い、他チームの評価を行う。 予復修課題：研究・就職活動の状況を報告書として文書化しておくこと。(予修:4~5時間)				
3.		%				14 研究・就職活動状況の報告書に基づいて研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究・就職活動の状況を報告書として文書化しておくこと。(予修:4~5時間)				
再評価の実施		する	しない			15 研究・就職活動の準備を振り返り、不足する点を改善する。 予復修課題：準備不足や疑問点があれば、整理して質問事項を文章にまとめておくこと。(予修:4~5時間)				
教科書		使用しない。								
参考書		配布資料に記載予定。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)				2	1 ガイダンス ゼミナール の進め方 予復修課題： 地域経済の現状・問題点について予復修する。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEL3201				専任	2 フィールドワーク (福津、宗像) 予復修課題： 福津、宗像の産業・観光について調べておく。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	後期	(コース)区分*			
授業概要	<p>財務省・金融庁での経験を活かして、授業展開を行う。 本ゼミのテーマは、金融を学び、地方創生に貢献し、財政を知るである。 金融に関するテキストを輪読するほか、時事問題について、アクティブラーニングを中心に進めていく。 また、北九州市・遠賀郡地域の地方創生のため、地元商店街の活性化や地域行事の手伝いに積極的に関わる。</p>						
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・金融理論と実際の金融政策決定メカニズムの対比を学ぶことにより、専門知識を身に付けることができる。 ・地元商店街の活性化や地域行事に参加することにより、実社会で必要となる教養を学ぶことができる。 ・地域活動を体験することにより、地域経済の現状と課題を認識できるようになる。 ・自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けることができる。 						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で 100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・ゼミ生を中心に運営するので、今期の具体的な運営方針は、初回に相談する。					
1. 小テスト、感想文など	%	・ゼミ生が主体的に運営するので、積極的に意見を述べ、質問することを期待する。					
2. 中間テスト	%	・Power Point や Word を発表で使う。					
3. 課題レポートなどの提出物	30 %	・無断欠席厳禁。外部講師が来られるときは遅刻厳禁。					
4. 授業中の発表、討論	30 %	・各回に 1 時間程度の予復修を行うこと。					
5. 授業への参加意欲	30 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	10 %						
7.	%						
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%	調査学習 [第 3, 4, 5, 7, 13, 14 回]、グループワーク [第 8, 10 ~ 12 回]、グループディスカッション [第 9 回]、フィールドワーク [第 2 回]					
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	前期の最終日に示します。						
参考書							
						15	予復修課題： これまでのゼミ活動を予復修する。

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)		2	1 ガイダンス 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 財務会計の基礎概念 - 財務会計の目的と機能 - 予復修課題：配布プリントを熟読し、不明な語句は調べてくること。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	ビジネスパーソンに必要なスキルとして簿記があります。ビジネスランゲージともいわれる会計情報を読み取るためにも、その基礎である簿記を学ぶことはとても大切なことです。社会人に必要な情報を集め、就職活動へと繋げていきましょう。またインプット・アウトプットの仕方について学びながら、経営分析についても学びます。								
授業到達目標	1. 簿記の基本を理解し、記帳することができる。 2. 財務諸表に記載されている各項目が理解できる。 3. 財務諸表が作成できる。 4. 貸借対照表が分析できる								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 株主資本等変動計算書の理解 株主資本等変動計算書の構造及びその意味について理解する。 予復修課題：配布プリントを熟読し、不明な語句は調べてくること。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 会計におけるインプットとアウトプット 会計責任説VS意思決定有用性説 予復修課題：配布プリントを熟読し、不明な語句は調べてくること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 財務分析 収益性分析と安定性分析について理解する。 予復修課題：配布プリントを熟読し、不明な語句は調べてくること。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	電卓を持参すること。 予復修時間の目安は、120分です。						
1. 小テスト、感想文など		20 %							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		40 %							
5. 授業への参加意欲		40 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	グループ(ペア)ワーク(第2回から第14回)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					15 経営者の視点からの財務報告と投資家の視点からの財務報告 予復修課題：配布プリントを熟読し、不明な語句は調べてくること。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)		2	1 ガイダンス 授業の概要について説明する 予復修課題：前期を振り返り、やり残した課題を明確にする				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL3201	2 ビジネスパーソン(BP)のパフォーマンス 職種による違いを考慮した上で、一般に好まれる第一印象を理解する 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	3年生	開講学期	後期						
授業概要	ゼミナール までに学んできたビジネス現場で必要とされる専門知識や技能の幅を広げ現場に即応できる柔軟性を身につける。特に、職業の多様性を理解できるような企業研究を行う。就職活動に向けて、特に企業を対象とした面接やエントリーシートの書き方など実習する。可能であれば、企業訪問を行う。								
	前期に引き続き、澤田ゼミのイベントである「ラグビー体験」の2回目を実施し、アンケートを活用して園児、家族のラグビーに対する態度変容を把握する。								
授業到達目標	社会人を見据えた行動(ビジネスマナー)が習慣化されている 下級生への目配り・気配り・心配りをし、引継ぎができる 課題を自ら発見し、課題解決のために動くことができる イベントを自ら企画し、運営し、課題を抽出することができる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 大学祭イベントのサポート 4年生が企画、運営する活動のスタッフとして活動する 予復修課題：企画の盛り上げ方法について検討する				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 ゼミイベントの準備(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 実施メニューを検討し、図などをわかりやすく準備する。事前の打合せを行う。 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 ゼミイベントの実施(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 協力者(ゼミ・WS生)、先生を巻き込んで、安全に園児向けのイベントを行う 予復修課題：先生、園児に伝わりやすいコミュニケーション方法を考える				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本演習科目は、ゼミナールからの継続課題も含めた授業となります。また、様々なプロジェクトを行うので、予復修を含め授業時間外での活動についても評価の対象となります。						
1. 小テスト、感想文など		%	予復修課題の取組時間：1~2時間程度						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30%							
4. 授業中の発表、討論		30%							
5. 授業への参加意欲		30%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	[第9~11回] イベント						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	[第14回] グループワーク						
3.		%	[第15回] プレゼンテーション						
再評価の実施	する	しない	11 ゼミイベントの実施(福原学園傘下の幼稚園ではじめてのラグビー体験) 協力者(ゼミ・WS生)、先生を巻き込んで、安全に園児向けのイベントを行う 予復修課題：先生、園児に伝わりやすいコミュニケーション方法を考える						
教科書	12 模擬面接の実施 企業を想定した面接体験を通じ、自分の強み・弱みを把握する 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める								
参考書	13 模擬面接の実施 企業を想定した面接体験を通じ、自分の強み・弱みを把握する 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める								
					14 活動の振り返りとプレゼンテーションの準備 活動レビューはグループワークとして行い、プレゼンの準備は各自の作業とする。 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める				
					15 プレゼンテーションとまとめ 一年を振り返り、ゼミ活動についてプレゼンを行う。まとめを全員で確認する。 予復修課題：まとめの確認をする				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar			単位数	授業内容**		
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)			2	専任		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEL3201			
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次		3年生	開講学期	後期	(コース)区分*			
授業概要		ヒト、モノ、カネ、情報が容易に国境を越えて移動するグローバル化という現象は、世界に大きな影響を及ぼし始めている。グローバル化は経済だけでなくあらゆる分野に変化を求めている。 本演習では母国を離れて生活する留学生の皆さんが、日本の経済や文化などを多角的かつ客観的に検証しながら、母国と比較して考えていく。					1 ガイダンス 演習の内容と進め方 予復修課題： シラバスを読んでおくこと。発表課題を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
授業到達目標		グローバル化が、広い視野に立って考えなければならない現象であるということを理解できる。 また、グローバル化に対応できるため、自分が最も関心のある専門分野だけでなく、外国語や外国の文化などにも関心を持ち、学習の幅を広げることができる。					2 履修確認と演習発表の準備 発表課題について、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
		卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					3 課題発表とディスカッション(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
		【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					4 課題発表とディスカッション(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
		【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					5 課題発表とディスカッション(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
		【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					6 課題発表とディスカッション(4) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
		成績評価の方法(全体で100%)					7 課題発表とディスカッション(5) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
		履修における留意事項					8 課題発表とディスカッション(6) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。 授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。			9 課題発表とディスカッション(7) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。		
1. 小テスト、感想文など						10 課題発表とディスカッション(8) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。		
2. 中間テスト						11 課題発表とディスカッション(9) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。		
3. 課題レポートなどの提出物						12 課題発表とディスカッション(10) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。		
4. 授業中の発表、討論		30 %				13 課題発表とディスカッション(11) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。		
5. 授業への参加意欲		30 %				14 課題発表とディスカッション(12) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。		
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %				15 まとめ 内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題： 全部の配付資料の整理と復修を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。		
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト			・ミニッツペーパー：第1回・第7回・第13回					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	・プレゼンテーション：第5回・第8回・第12回					
3.			・グループディスカッション：第2回～第14回					
再評価の実施		する	しない	・調査学習：毎回、フィールドワーク：1回				
教科書		プリントや資料などを配布する。						
参考書		別途指示する。						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar			単位数	授業内容**		
担当者	遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)			専任	1	ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEL3201	2	マルクスの考え方1 予復修課題：マルクスについて。		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科			
配当年次	3年生	開講学期	後期					
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 マルクスの関心を持ち、その考え方を理解する。							
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。 2 マルクスの視点から経済・経営の動きを説明できる。							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。					11	社会主義はなぜ崩壊したか。
1. 小テスト、感想文など	%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。					12	予復修課題：ソ連の歴史。
2. 中間テスト	%							
3. 課題レポートなどの提出物	30 %							
4. 授業中の発表、討論	50 %							
5. 授業への参加意欲	20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)	%							
7.	%							
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング						13	予復修課題：無くなる職業。
1. まとめのテスト	%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。					14	職業の変遷、生まれる仕事。
2. 論文、まとめのレポートなど	%						15	予復修課題：どんな能力が重要か。
3.	%							まとめのレポート
再評価の実施	する	しない						予復修課題：どんな時代が来るか。
教科書								
参考書								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**					
担当者	李 只香 (LEE Jihyang)				2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し) 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。					
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEL3201				専任	2 履修確認とゼミ課題の準備 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科						3 講義&演習(1): 研究課題の見直し 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。
配当年次	3年生	開講学期	後期								4 講義&演習(2): 研究課題の見直し 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。
授業概要	業界研究や企業研究をしていきます。まずは、日本や中国などアジアの主要産業界や有力企業について調べていきます。産業界や有力企業の状況について理解を深めてからは産業界や企業の抱える課題について理解を深めていきます。 その際には、各自の進路や興味に経営理論を応用することを重視します。また、レポートの作成・発表・ディスカッションを行うことで、表現能力を高めていきます。										
	1. 論文の書き方や調査方法がわかる。 2. 企業や業界の現状について理解できる。 3. 経営学の知識を応用することができる。										
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
	成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項						
	1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。 2. 連絡、相談を大事にすること。 3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。							
	1. 小テスト、感想文など		%								
	2. 中間テスト		%								
	3. 課題レポートなどの提出物		%								
	4. 授業中の発表、討論		10 %								
	5. 授業への参加意欲		75 %								
	6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
	7.		%								
	2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング 自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。							
	1. まとめのテスト		%								
	2. 論文、まとめのレポートなど		15 %								
	3.		%								
再評価の実施	する		しない								
教科書											
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。										
						15 総括・レポート提出 予復修課題: 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。					

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1 イントロダクション 後期授業概要 予復修課題：自己紹介の内容を準備、執筆(約1時間)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 日本語の高度な文章理解とその解釈の実践(1) 内容に関するディスカッション 予復修課題：素材文章の精読と日本語(表現)の事前チェック(約1時間)				
EEL3201		EEL3201			3 日本語の高度な文章理解とその解釈の実践(2) 内容に関するディスカッション 予復修課題：素材文章の精読と日本語(表現)の事前チェック(約1時間)				
授業形式		科目区分		科目群		学科・領域		経済・経営学科	
配当年次		開講学期		(コース)区分*					
3年生		後期							
授業概要		「グローバル化」「ポータレス化」が一般化した今日でも、留学生の皆さんは毎日のように「異文化」の存在を強烈に意識させられる場面に遭遇するはず。本演習では、皆さん各人が日々体験する「日本という異文化」を、多角的かつ客観的に検証しながら、そもそも「異文化」とは何であるかという問題にアプローチしていきます。そして皆さんが、このことを自国の文化を外側から再認識するための契機としてほしいと考えています。							
授業到達目標		1. 自分のなかにすでに構築されていた日本のイメージと現実のギャップを客観化して文章にまとめることができる。 2. 出身国と日本の文化的相違を認識し、相互理解のために有効な情報の発見と当該情報の文章による伝達ができる。 3. 日本語に含まれる修辭的技法を理解し、行間に込められた筆者(作者)の意図の読解ができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		特別な教科書は使用しません。板書事項(プロジェクターなどで投影するものも含む)や配布プリント、さらには口頭で説明した内容はどれも重要ですから、授業外の反復学習(少なくとも1時間程度の予復修)を心がけてください。日本語そのものを学ぶ授業ではありませんが、日本語の運用能力の向上を常に意識してください。					
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		25 %							
5. 授業への参加意欲		25 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%		レポート					
2. 論文、まとめのレポートなど		%		プレゼンテーション(発表)					
3.		%		ディスカッション					
再評価の実施		する		しない					
教科書		特定の教科書は使用しない。							
参考書									
								15 予復修課題：他学生の発表へのコメントレポート(約1時間)	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**		
担当者	末木 将史 (SUEKI Masachika)				2	専任		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL3201			
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科			
配当年次	3年生	開講学期	後期					
授業概要	このゼミでは、ゼミで手掛けたテーマ・プロジェクトを引き続き深堀することを内容とします(横堀/横展開はゼミで行います)。テーマについて、各人もしくはグループで、定義、要因分解、前提条件、必要/十分条件など論理面を固め、分析を進めてもらいます。会社実務経験に基づくプロジェクト運営の実際を指導します。				1	ガイダンス ゼミの内容と方針、進め方について、シラバスに基づき説明します。 予復修課題：予)ゼミでのドキュメントを整理してきてください。		
授業到達目標	普遍的なロジカル・シンキングの方法論、アプローチを体得する。 ゼミでの成果を踏まえ、意見や質問を求められても自分なりの発言ができるようになる。 自分なりの考えを図式化・箇条書きできるようになる。				2	ロジカル・シンキングの復修1 ゼミで勉強したところの復修と、教科書の第1章を取り上げます。 予復修課題：予)教科書の第1~4章と、教科書の第1章を読んできてください。		
					3	ロジカル・シンキングの復修2 教科書の第2章を取り上げます。 予復修課題：予)教科書の第2章を読んできてください。		
					4	ロジカル・シンキングの復修3 教科書の第3,4章を取り上げます。 予復修課題：予)教科書の第3,4章を読んできてください。		
					5	各自のプロジェクトの再検討 ゼミで学んだこと、これからすべきこと(To Do)を再検討します。 予復修課題：復)教科書の内容を踏まえ、これからすべきことを計画してください。		
					6	各自のプロジェクトの計画 計画書を作成します。 予復修課題：復)計画書を修正・拡張してGDにULしてください。		
					7	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					8	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					9	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					10	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					11	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					12	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					13	各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。		
					14	まとめ準備 これまでの作業のまとめをします。 予復修課題：予)前回まで修正・拡張したドキュメントと資料を整理してGDにULしてください。		
					15	まとめ これまでの作業のプロセスと結果を発表します。 予復修課題：予)学んだこと、これからすべきこと(ToDo)を整理してきてください。		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	準備すべきツール(PCやソフトウェア/アプリ)はゼミを参照してください。 予復修時間の目安は、2時間程度です。			各自のプロジェクト実施			
1. 小テスト、感想文など	%				11 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。			
2. 中間テスト	%				12 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。			
3. 課題レポートなどの提出物	20 %				13 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてください。			
4. 授業中の発表、討論	30 %				14 まとめ準備 これまでの作業のまとめをします。 予復修課題：予)前回まで修正・拡張したドキュメントと資料を整理してGDにULしてください。			
5. 授業への参加意欲	30 %				15 まとめ これまでの作業のプロセスと結果を発表します。 予復修課題：予)学んだこと、これからすべきこと(ToDo)を整理してきてください。			
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %							
7.	%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング ・討論には全員参加です。口頭での発言か、オンライン上での発言のいずれかは必ず求めます。記録(LOG)もGDかEvernoteに残してまいります。						
1. まとめのテスト	%							
2. 論文、まとめのレポートなど	%							
3.	%							
再評価の実施	する	しない						
教科書	奥村隆一『自分の考えをまとめる技術』、中経出版、2012							
参考書	平井孝志、渡部高士『ロジカル・シンキング』、日本経済新聞社、2012							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)				2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL3201		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	3年生	開講学期	後期				
授業概要	<p>「日本企業の経営戦略について知る・学ぶ」をテーマとした演習を行います。3年前期は、興味・関心のある企業を選んで簡易な企業レポートの作成に挑戦し、企業を理解しようとするとき、必ず注目すべき要点について学習します。3年後期は、『教科書(後日指定)』を主な題材としてレジュメ作成・購読・討論を行うことにより、企業分析の方法を理解すると共に、自分の主張を明確かつ論理的展開できるコミュニケーション能力の向上の向上を目指します。</p>				1	授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談 予復修課題: シラバスを読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文作成の前段階として、企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する基礎レベルのレポートを作成することができる。 ・グループの中で計画的かつ協力的に目的とする課題遂行に取り組む、その中でも自分の意見・主張を積極的に述べるができる。 				2	企業の経営分析の方法(情報収集/レポート作成の方法と留意点) ・「企業の経営分析」の内容/レポート作成のスケジュール説明/面談 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)	
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				3	講読する書籍の選定/グループ分け等 ・購読する書籍の選定とグループ分け、及びレジュメ作成範囲の指定 予復修課題: 各自希望する書籍を選定し、PRの準備をしておくこと。(予復修時間目安 90分)	
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				4	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				5	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				6	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
	成績評価の方法(全体で100%)				7	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	履修における留意事項			8	学生研究報告会への参加(日程変更の可能性あり) ・教員指定の会場にて「聴講者」として参加(必須) 予復修課題: 研究報告会に関する指定課題を作成・提出すること。(予復修時間目安 90分)	
1. 小テスト、感想文など	%	・当演習の内容(日本企業の戦略分析)と「経営戦略論」(3年前期:演習教員が担当)の講義内容に強い対応関係があるため、原則として同科目を履修しておくこと。 ・本演習は、入門編として選定書籍・文献の購読とレジュメ作成・発表が中心となる。書籍・文献の選定には、学生諸君の意見も反映させる。自分の関心を明確にしておくこと。			9	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
2. 中間テスト	%				10	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
3. 課題レポートなどの提出物	30 %				11	選定書籍の講読 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
4. 授業中の発表、討論	30 %				12	レポート/論文の書き方 ・グループごとに担当部分のレジュメを作成・配布し、説明を行う。 予復修課題: グループ内で担当範囲を決めレジュメの準備をすること。(予復修時間目安 90分)	
5. 授業への参加意欲	10 %				13	レポート/論文の書き方 ・レポート及び論文作成のための適切な文章(の構造)について解説 予復修課題: 事前配布資料を読み、所定の課題を作成しておくこと。(予復修時間目安 90分)	
6. 自主的学習(予習・復習など)	%				14	レポート/論文の書き方 ・企業レポートの実例(事前配布)から「論理の組み立て方」を学ぶ。 予復修課題: 事前配布資料を読み、所定の課題を作成しておくこと。(予復修時間目安 90分)	
7.	%				15	総まとめ ・個別キャリア面談/春季休暇課題の説明。 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路等を考えてくること。(予復修時間目安 90分)	
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	・個人およびチーム単位で、特定のテーマに関する報告・発表の実施を前提に参考資料の収集から発表資料の作成、報告・発表を行う。					
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	参加者の興味・関心(進路等)もふまえて適宜指定。						
参考書							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**						
担当者	石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)				2	1 ガイダンス 演習の進め方、中心的な課題について説明する。論文第1次稿の提出を受ける。 予復修課題：授業時に指示						
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2 論文第1次稿についての簡易報告会の実施(全体) 何をテーマに選び、どのような調査・分析を行い、どのような結論を得たか報告する。 予復修課題：授業時に指示						
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科							
配当年次	3年生	開講学期	後期									
授業概要	中心課題は個人研究論文の完成とゼミ内での報告会の実施です。就職活動での面接の際、授業に関して何に取組んだかを問われた場合も、自信を持った受け答えができるように、論文執筆と研究報告の経験を3年次に蓄積します。 論文は、1回で完璧なものを執筆しようとするのではなく、説得力の乏しい箇所を補強したり、構成を改めたりする状況も想定しておきます。そのため、夏休み中に第1次稿を作成し、後期に完成させます。その間、指定図書の輪読も続け、論文を見直すうえで参考になります。					3 論文第1次稿の講評 全般的な講評を行うとともに、テーマの選び直しが必要な場合の個別相談を受ける。 予復修課題：授業時に指示						
授業到達目標	個人研究論文の完成 研究報告会での発表					4 教科書第5章「日本の債務はどこまで維持可能か」のグループ内討議 教科書第5章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						5 教科書第5章「日本の債務はどこまで維持可能か」のプレゼンテーション、コメント 教科書第5章のグループ別要約発表、他グループによるコメントを行う。 予復修課題：授業時に指示						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						6 教科書第5章「日本の債務はどこまで維持可能か」の総括 教科書第5章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						7 論文第2次稿についての簡易報告会の実施(全体) 第1次稿からどのような修正・補強を行ったのか報告する。第2次稿の提出を受ける。 予復修課題：授業時に指示						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						8 論文第2次稿の講評 全般的な講評を行うとともに、再補強が必要な個所について個別指導を実施する。 予復修課題：授業時に指示						
成績評価の方法(全体で100%)						9 教科書第6章「今後の財政政策を考える」のグループ内討議 教科書第6章の要約、プレゼンテーション用図表の選択をグループ内討議で行う。 予復修課題：授業時に指示						
履修における留意事項						10 教科書第6章「今後の財政政策を考える」のプレゼンテーション、コメント 教科書第6章のグループ別要約発表、他グループによるコメントを行う。 予復修課題：授業時に指示						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	結論を導き出したり、主張・提言をしたりするには、その拠り所となる根拠、調査や分析に裏付けられた根拠が必要です。従って、論文全体を支える根拠の部分を最初に固める必要があります。			11 教科書第6章「今後の財政政策を考える」の総括 教科書第6章の総括を行う。 予復修課題：授業時に指示						
1. 小テスト、感想文など		%	調査・分析には、延べ30時間以上かかると思って、取り組んで下さい。			12 論文第3次稿についてのグループ内意見交換会の実施 論文をグループ内で相互開示、意見交換する。その結果は論文の補強材料とする。 予復修課題：授業時に指示						
2. 中間テスト		%	アクティブ・ラーニング 完成途上の論文への個別指導も行います。また、ゼミ全体での研究報告会を実施する前に、論文の中心箇所についての相互開示・意見交換の機会を設け、論文の弱点を補強します。			13 個人研究報告会の実施(受講者の半数を想定) 最終稿に基づき、個人毎に論文の発表を行う。必要に応じて、修正・補強も行う。 予復修課題：授業時に指示						
3. 課題レポートなどの提出物		40 %				14 個人研究報告会の実施(受講者の残りの半数を想定) 最終稿に基づき、個人毎に論文の発表を行う。必要に応じて、修正・補強も行う。 予復修課題：授業時に指示						
4. 授業中の発表、討論		30 %				15 完成された個人論文の講評 最終稿の講評を行い、特に優れた着目点、優れた分析、優れた論理構成を紹介する。 予復修課題：授業時に指示						
5. 授業への参加意欲		30 %										
6. 自主的学習(予習・復習など)		%										
7.		%										
2) 最終到達度の評価												
1. まとめのテスト		%										
2. 論文、まとめのレポートなど		%										
3.		%										
再評価の実施	する	しない										
教科書	伊藤隆敏『日本財政「最後の選択」』(日本経済新聞社、2015年)											
参考書	授業の過程で、必要に応じて提示予定。											

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)		2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 スミスの考え方1 予復修課題：スミスについて。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 アダム・スミスの関心を持ち、その考え方を理解する。								
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。 2 自由競争の視点から経済・経営の動きを説明できる。								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 格差について 予復修課題：現代の格差について。 格差は広がっているのか。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：格差について感じること。 世界で広がる格差について				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：なぜ格差は広がるのか。 格差と歴史				
成績評価の方法(全体で100%)					10 予復修課題：いつから格差は広がってきたのか。 豊かな国の格差について				
履修における留意事項					11 予復修課題：豊かな国でなぜ格差は広がるか。 グローバルエコノミーはなぜ崩壊したか。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。						
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		50 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					12 予復修課題：ソ連の歴史。 社会主義と社会の変化				
1. まとめのテスト		%	アクティブ・ラーニング ミニッツペーパーは毎回行う予定。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	13 予復修課題：無くなる職業。 職業の変遷、生まれる仕事。						
3.		%							
再評価の実施	する	しない	14 予復修課題：どんな能力が重要か。 まとめのレポート						
教科書									
参考書	15 予復修課題：どんな時代が来るか。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	1 ガイダンス 演習の進め方、中心的な学修課題、留意事項について説明する。 予復修課題：授業時に指示				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 教科書第1章「人口減少時代」(第1~4節)の要約発表 第1章第1~4節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	これまでゼミ論文を執筆した経験がなく、4年次に集大成として論文を執筆したいと考えている人、ゼミ論文を執筆したことはあっても卒業論文を別途執筆したいと考えている人が主たる対象です。後期に論文を執筆することを前提に、分献読解・要点把握・プレゼンテーションの能力を向上させるため、指定図書を輪読します。それを題材にした自由討議も行います。4年次の前期が就職活動のピークと重なる可能性を考慮して、輪読図書の要約発表は個人単位で行います。また、状況に応じて、ゼミの運営の仕方は調整します。								
授業到達目標	分析スキルの習得 文献読解・要点把握の能力向上 プレゼンテーション能力の向上 自由討議能力の向上								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 教科書第3章「日銀と政府の関係、出口戦略、…」(第3~4節)の要約発表 第3章第3~4節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 教科書第4章「公的医療・介護・福祉は立て直せるか?」(第1~2節)の要約発表 第4章第1~2節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 教科書第4章「公的医療・介護・福祉は立て直せるか?」(第3~4節)の要約発表 第4章第3~4節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	論文執筆のノウハウは、既存の書籍・論文から学ぶことができます。輪読に際しては、どのような資料やデータを使っているのか、自分の関心があるテーマに同じ分析方法が適用できるのかどうかも、常に意識して下さい。輪読の順番に当たっていない人も事前準備(予修)には1時間以上かけ、また、ゼミでは積極的に発言することが望まれます。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング 要約発表はプレゼンテーション能力鍛錬の場です。また、希望者には、後期に論文を執筆するためのテーマ探しの支援や読むべき図書の推奨を相談しながら行います。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		50 %							
5. 授業への参加意欲		50 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	小林慶一郎編著『財政破綻後』(日本経済新聞社、2018年)								
参考書	授業の過程で、必要に応じて提示予定。								
					10 教科書第5章「長期の財政再構築」(第1~3節)の要約発表 第5章第1~3節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
					11 教科書第5章「長期の財政再構築」(第4~5節)の要約発表 第5章第4~5節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
					12 教科書第6章「経済成長と新しい社会契約」(第1~2節)の要約発表 第6章第1~2節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
					13 教科書第6章「経済成長と新しい社会契約」(第3~4節)の要約発表 第6章第3~4節の要約発表を複数の担当者が行い、要約や発表の仕方を向上させる。 予復修課題：授業時に指示				
					14 自由討議(1): 第1~3章について 教科書第1~3章の内容を踏まえた自由討議を行う。その際、明確な論拠を示す。 予復修課題：授業時に指示				
					15 自由討議(2): 第4~6章について 教科書第4~6章の内容を踏まえた自由討議を行う。その際、明確な論拠を示す。 予復修課題：授業時に指示				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 履修確認とゼミ研究の準備				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	経営学・会計学は実践学であり、一方その理論とは、会社の抱える諸課題の解決策を示しているものと理解できます。そこで、本演習では、卒業までの期間を通して、産業界や企業の現状と抱える課題を調べ、経営学・会計学の知識を応用することで企業体の現状や経営学・会計学への理解を深めます。								
	その際には、各自の進路や興味に経営学・会計学を応用することを重視します。また、レジュメ作成や発表・ディスカッションにより、表現能力をも高めていきます。								
授業到達目標	1. 論文の書き方や調査方法がわかる。 2. 企業や業界の現状について理解できる。 3. 経営学の知識を応用することができる。 4. 会計学の知識を応用することができる。								
	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 講義 & 演習: ゼミ研究課題の設定と計画 (1)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 講義 & 演習: ゼミ研究課題の設定と計画 (2)				
成績評価の方法 (全体で100%)					6 演習 (1): 課題発表とディスカッション				
履修における留意事項					7 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価 評価割合					8 演習 (2): 課題発表とディスカッション				
1. 小テスト、感想文など %					9 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
2. 中間テスト %					10 講義 & 演習: レポートの書き方 (1)				
3. 課題レポートなどの提出物 %					11 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
4. 授業中の発表、討論 10 %					12 講義 & 演習: レポートの書き方 (2)				
5. 授業への参加意欲 75 %					13 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
6. 自主的学習 (予習・復習など) %					14 演習 (5): 課題発表とディスカッション				
7. %					15 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
2) 最終到達度の評価					16 演習 (6): 課題発表とディスカッション				
1. まとめのテスト %					17 予復修課題: 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。				
2. 論文、まとめのレポートなど 15 %					18 演習 (7): 課題発表とディスカッション				
3. %					19 演習 (8): 課題発表とディスカッション				
再評価の実施	する	しない			20 総括・レポート提出				
教科書									
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。								
					21 予復修課題: 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1 イントロダクション 演習の概要と進め方他 予復修課題：前年度の復修				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 C M分析の学術的客観化(1) 前年度プレゼンテーションの修正点の顕在化 予復修課題：C M分析パワーポイント資料(前年度作成)の修正作業と論文(レポート)への編成				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期	(コース)区分*					
授業概要	テーマは「メディアと広告」です。日常に溢れる膨大な情報の信憑性の判断と正確な理解、そしてそれらの有効活用法について、実際のニュース、広告、CM等を対象に、その内容や構造を、情報発信者・受信者双方の視点から批判的に検証します。とりわけ、広告ポスターやCMは、文学・絵画・映画等の芸術作品と同様に分析・解釈しながら、企業戦略や消費者動向との関連及び時代や社会との関連も考察します。また、情報の総合的読解力・分析力を基礎に、自ら情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションコンテンツ制作の実践もします。								
	1. 情報の背後に存在する伝達されなかった事実の演繹的理解ができる								
	2. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる								
	3. CM及びそこで用いられるキャッチコピーなどを、文学テキストの解釈と同様に、時代や社会との関連のなかで分析し解釈できる								
	4. 既成概念や社会通念を批判的視座から再検証する柔軟な思考ができる								
授業到達目標	5. 情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションを意図的に構築・実践できる								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書の購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のディスカッション参加への積極性などを総合的に判断して成績を評価します。演習科目ですから、自ら率先して問題に対処することが特に求められます。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		15 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		15 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合がある)								
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合がある)								
					11 C M分析の学術的客観化(10) 論文(レポート) 暫定完成版発表とディスカッション 予復修課題：他学生の発表へのコメントレポート				
					12 CM制作(1) コンセプトとターゲット 予復修課題：CMコンセプト設定				
					13 CM制作(2) シナリオとコンテ 予復修課題：CMシナリオとコンテ作成準備				
					14 CM制作(3) シナリオとコンテ 予復修課題：CMシナリオとコンテ作成				
					15 前期のまとめと後期作業確認 予復修課題：映像編集作業の準備				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)			2	1	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	ゼミの運営方針を示す。	
EEL4101						2	
授業形式		演習				予復修課題：卒論の第2次草稿について(予修する目安時間:120分)	
科目区分		ゼミナール科目群				卒論第2次草稿の発表1	
学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科				3	
配当年次		4年生				予復修課題：他のゼミ生卒論第2次草稿についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分	
開講学期		前期				卒論第2次草稿の発表2	
授業概要		卒論第2次草稿の発表者は、発表原稿を作成し、それ以外の学生は発表を聞いて、その場で質問を行なう。発表者はその場で、質問者との間で質疑応答を行なってもらいます。				4	
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> その場で質問をすることを通じて、何が重要であるのかを理解する能力を修得する。 発表者は十分な準備を行なうことの重要性を体得する。 				5	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						卒論第2次草稿の発表3	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				6	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				7	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				8	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				9	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合				10	
1. 小テスト、感想文など		%				予復修課題：他のゼミ生卒論第2次草稿についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分	
2. 中間テスト		%				卒論第2次草稿の発表10	
3. 課題レポートなどの提出物		%				11	
4. 授業中の発表、討論		80 %				予復修課題：他のゼミ生卒論第2次草稿についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分	
5. 授業への参加意欲		20 %				卒論第2次草稿の発表11	
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				12	
7.		%				予復修課題：他のゼミ生卒論第2次草稿についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分	
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				13	
1. まとめのテスト		%				卒論第2次草稿の発表12	
2. 論文、まとめのレポートなど		%				14	
3.		%				予復修課題：他のゼミ生卒論第2次草稿についての議論を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分	
再評価の実施		する しない				15	
教科書		なし				まとめ	
参考書						予復修課題：今まで発表された卒論第2次草稿の総括を基にして、自分の卒論の改善の目安時間:120分	

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)		2	1 授業方法, 評価方法などの全体説明				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 予復修課題: 【予修】シラバスの熟読 【復修】論文テーマの模索 【レクチャー】卒業論文(ゼミ論文)のテーマ設定				
EEL4101		科目区分		経済・経営学科					
授業形式		演習		科目区分		ゼミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*	
配当年度		4年生		開講学期		前期			
授業概要		ひとり1テーマを基本とする卒業論文またはゼミ論文の執筆を通じてひとかどの社会人に足る教養と専門知識・思考力を自分のものにする。							
授業到達目標		1. 明確な問題意識を説明できるテーマについて, 周辺知識を調査・整理することができる。 2. テーマについてオリジナリティが認められる論理展開による解決策を提示することができる。 3. テーマに関する卒業論文(ゼミ論)を作成し, その内容をプレゼンテーションすることができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ, 経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し, 専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養, および専門分野の知識・技能を用いて, 職業人として適切な企画・計画力, 的確な判断力を有し, それらを実践できる力を身につけている。また, 知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし, 自ら課題を解決する力, 論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として, 自らを律し, 主体的に物事を考え, 自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また, 地域および国際社会の一員として, 自ら進んで他者と協働し, 社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		構想発表, 中間発表では, レジューメ配布とパワーポイントによるプレゼンテーションを義務付ける。 予修・復修の時間の目安は合計4時間である。					
1. 小テスト, 感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表, 討論		%							
5. 授業への参加意欲		50%							
6. 自主的学習(予習・復習など)		50%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%		ディスカッション【4~7回, 10~13回】					
2. 論文, まとめのレポートなど		%		構想発表・中間発表【4~7回, 10~14回】					
3.		%							
再評価の実施		する		しない					
教科書		使用しない(配布資料)							
参考書		15 予復修課題: 【予・復修】夏季休業中に論文第1次原稿執筆							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので, 授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		成富 勝 (NARITOMI Masaru)		2	1 ガイダンス：卒業論文のテーマと今後の展開 予復修課題：卒業論文のテーマと今後の展開についてよく考えておくこと				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 履修状況の確認と就職活動についてのディスカッション 予復修課題：修得単位数と卒業要件の調査と、進路・就職についてよく考えておくこと				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	この授業では、卒業論文のテーマを決定し、その完成に向けたアプローチを行う。決定したテーマについて、参考文献・参考資料を収集を行い、論文を作成する。また各々のテーマについて、ディスカッションを行い、ゼミでの相互理解を図る。卒業後の進路決定につながる学習を継続して行う。								
	3 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと								
授業到達目標	1. 卒業論文のテーマの決定することができる。 2. 卒業論文を作成することができる 3. 卒業後の進路決定のための基礎的な知識と学力を身につけることができる。								
	4 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(2) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと								
5 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(3) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
6 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(4) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
7 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(5) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
8 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(6) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
9 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(7) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
10 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(8) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
11 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(9) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
12 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(10) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
13 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(11) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
14 卒業論文の作成・発表、進路研究と就職活動支援(12) 予復修課題：卒業論文と進路・就職についての課題を整理しておくこと									
15 授業の総括及び後期に向けた就学指導 予復修課題：進路が未定の者は、業種について見直しを行うこと									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	図書館の資料やインターネットを活用して調べること(目安の時間は120分)。						
1. 小テスト、感想文など		%	授業では、積極的に質問し、学習の展開を図ること。また重要と思われること、あるいは印象に残ったことは適宜ノートに書き留める習慣を身につけること。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		20 %							
5. 授業への参加意欲		40 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	ディスカッション及び発表(第2回~第14回)						
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	配布資料								
参考書	適宜、提示する								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)		2	1 ガイダンス 予復修課題：シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 複式簿記の構造(1) 予復修課題：日商簿記検定試験2級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	本授業では、会計学とその周辺領域を考究する。加えて、その応用として問題基盤型学習、サービスラーニングなどを取り入れて実践を図り、地域連携・地域貢献活動を行う。前者では、日商簿記検定試験合格などを手段として、複式簿記の構造について追究する。後者では、産学官連携活動および域学連携活動を実施する。産学官連携活動では、地方公共団体や公共性・公益性が高い企業とともに、域学連携活動では地域住民や商店街などとともに調査・分析をおこない、その結果について発表する。								
	1. 会計学とその周辺領域について、説明することができる。								
	2. 非営利企業の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、解釈することができる。								
	3. アンケート調査をおこない、その結果をレポートにまとめ、発表することができる。								
	4. 地域社会の現状と課題について、経営学の観点から、具体的に述べるることができる。								
	5. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。								
授業到達目標	6. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分 複式簿記の構造(6)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分 地域連携・地域貢献活動(1) 産学官連携活動				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：産学官連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分 地域連携・地域貢献活動(2) 産学官連携活動				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 日商簿記検定試験1級または2級を積極的に受験することを要求する。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. チームとして参加するプロジェクトでは、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。						
2. 中間テスト		%	3. 各授業ごとに120分以上の予復修をおこなうことを要求する。						
3. 課題レポートなどの提出物		%	アクティブ・ラーニング						
4. 授業中の発表、討論		%	地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスラーニングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する						
5. 授業への参加意欲		80 %	解決策を策定して、それを発表する。						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	11 予復修課題：産学官連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分						
7.		%	12 地域連携・地域貢献活動(4) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分						
2) 最終到達度の評価			13 予復修課題：域学連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分						
1. まとめのテスト		%	14 地域連携・地域貢献活動(6) 域学連携活動 予復修課題：域学連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	15 授業の総括 予復修課題：地域社会の現状と課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分						
3. 資格取得		20 %							
再評価の実施	する	しない							
教科書	ガイダンスの際に指示する。								
参考書	ガイダンスの際に指示する。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナールⅣ Seminar Ⅳ		単位数	授業内容**	
担当者	國崎 歩 (KUNISAKI Ayumi)			2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			EEL4101		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科	
配当年次	4年生	開講学期	前期	(コース)区分*		
授業概要	本ゼミナールでは、日本の企業と経営について関連した演習課題を各自設定し、研究成果を発表することを通して、自ら課題を設定し解決することのできる能力の育成を目指します。業界や企業の活動状況を捉えることにより、企業活動について学習するとともに、データを分析する方法、研究結果から経営状態を読み取る力を身に付けることを目標とします。興味を持った企業の創業理念や経営戦略等について調べ、その研究結果の発表を行います。					
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・問題認識、データ収集、データ分析、レポート作成、発表などのスキルを身につける。 ・グループワークやディスカッションに参加することで自分の意見を伝えることができる。 ・経営学に関する基礎知識を身につける。 				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕						
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系的基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎
【主体性・協働性】	経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	経営管理、マーケティング等に関する基礎知識を養い、企業の創業理念や経営戦略の調査を通じて、企業の活動とは何か、どのような課題があるのかについて、自ら考え考察する力を身に付けてください。				
1. 小テスト、感想文など	%					
2. 中間テスト	%					
3. 課題レポートなどの提出物	20 %					
4. 授業中の発表、討論	20 %					
5. 授業への参加意欲	20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %					
7.	%					
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	ミニッツ・ペーパー(第2回~第15回)				
2. 論文、まとめのレポートなど	20 %					
3.	%					
再評価の実施	する	しない	○			
教科書	プリントを配付する					
参考書	必要に応じて適宜紹介する。					
						1
						2
						3
						4
						5
						6
						7
						8
						9
						10
						11
						12
						13
						14
						15

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 ガイダンス 予復修課題： シラバスを読み、論文作成プロジェクトの全体イメージを構築しておくこと				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 準備1： テーマと仮説設定について1 予復修課題： テーマ案を準備すること				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の作成を行う。 就職や進学等を考慮した論文または学習の指導を行う。 卒論作成、就職活動、進学準備はいずれもプロジェクトです。卒業後に社会人として必要になるスキルであるプロジェクト計画/実施/改善スキルを身につけてもらいます(実務能力)。 								
	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な考えを構築し、文章や資料としてまとめることができる。 プレゼンテーションを効果的に行うことができる。 卒業論文を作成する。 								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 準備6： 資料・データおよび仮説(再)について2 チーム内でコミュニケーションを取りながら、責任をもって担当を遂行することができる 予復修課題： 仮説の再構築または深化させること				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 準備7： 論文の構成について1： 概要 予復修課題： 論文の構成案を準備してくること				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 準備8： 論文の構成について2： 詳細 良い点/改善すべき点、これからの運用・投資方針について検討する 予復修課題： 論文の構成案を準備してくること				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	PC必須。ソフトをインストールの上、持参のこと。スマホは能力が不十分なので不可。クラウド・ドライブ(Google Drive)、アイディア・プロセッサ(Mind Map)、フローチャート作成(yEd)、プロジェクト管理(Open Project)、クリッピング(Evernote)の各ツールは必須。手書き用のノートは絶対必須。予復修は、最低でも1時間確保してください。						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング ・他のゼミ員の発表や発言に関心をもち、自分でも意見を積極的に述べられるよう、自分をトレーニングしてください。						
再評価の実施	する	しない							
教科書	ゼミ中に指示します。								
参考書	ゼミ中に指示します。								
					10 草稿執筆1： 論文の核心部分に関する資料・データから草稿を構築する 予復修課題： 草稿を準備してくること				
					11 草稿執筆2： 草稿1を修正する 予復修課題： 前回の指摘などに基づき草稿を修正してくること				
					12 草稿執筆3： 論文の結論部分に関する構想をつくる 予復修課題： 草稿を準備してくること				
					13 草稿執筆4： 草稿2を修正する 予復修課題： 前回の指摘などに基づき草稿を修正してくること				
					14 草稿執筆5： 論文の序章部分に関する構想をつくる 全プロセスに関するレビューを報告書に基づき行う 予復修課題： 草稿を準備してくること				
					15 前期レビュー 予復修課題： 全体の草稿ならびに今後の計画を作成してくること				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)		2	1 履修指導					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 予復修課題： 修得科目と卒業要件修得単位を調べておく 個別面談(卒業・就活)					
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				2 予復修課題： 前期の履修日程と就活日程の計画を立てる
配当年次		4年生	開講学期	前期	(コース)区分*					3 「第一印象の大切さ」 第一印象の大切さのヒントを読み取り、感想を交えてレポートする 予復修課題： 新聞や本を読み、ボキャブラリーを増やす
授業概要		各自でライフデザインおよびキャリアデザインをイメージし、必要とされる能力を養う。 コミュニケーション能力(聞く・話す)を高める。								
授業到達目標		社会人基礎力を高め、自己PRにつなげることができる コミュニケーション能力に自信が持てるようになる ライフデザイン・キャリアデザインが明確になる								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 「“人間力”を根底にちと実践の融合をめざす」 記事からキーワードを取り上げ、ミニレポートを書く 予復修課題： 新聞や本を読み、ボキャブラリーを増やす					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 「新入社員に期待する7つの言葉」 記事からキーワードを取り上げ、ミニレポートを書く 予復修課題： 新聞や本を読み、ボキャブラリーを増やす					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 「新入社員として企業から期待されていること」 記事からキーワードを取り上げ、ミニレポートを書く 予復修課題： 新聞や本を読み、ボキャブラリーを増やす					
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修の時間の目安は、40~60分です。							
1. 小テスト、感想文など		%								
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		30 %								
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		20 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト		%	小論文(第15回)							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	グループディスカッション(第13回)							
3.		%	ミニレポート(第3回~第9回、第14回)							
再評価の実施		する	しない	13 ビジネス実務マナー検定1級の問題にチャレンジ 記述編 過去問題にチャレンジし、ビジネスマナーを理解する 予復修課題： 間違えた個所を見直し、キーワードを理解する						
教科書		適宜、資料を配布する								
参考書		0								
		15 総括・レポート テーマ：「社会で生き抜く力」 レポート作成 予復修課題： 新聞や本を読み、ボキャブラリーを増やす								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)			2	1 演習の進め方について 就職指導 予復修課題： シラバスを読む	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEL4101	2 個人研究の仮テーマを設定する(1) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマを考える	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	3 個人研究の仮テーマを設定する(2) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマを考える	
配当年次	4年生	開講学期	前期			4 個人研究の仮テーマを設定する(3) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマを考える	
授業概要	本演習では、卒業論文またはゼミ論文作成のための指導とともに就職指導を行う。						5 個人研究のテーマに関する資料を収集する(1) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマに関する研究書を調べる
授業到達目標	研究の総括として、卒業論文またはゼミ論文を完成させる。その過程で、自らの見方・考え方を示すことができる。						6 個人研究のテーマに関する資料を収集する(2) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマに関する論文を調べる
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 履修するうえで、積極的に学ぶ姿勢・態度はきわめて重要である。			
1. 小テスト、感想文など		%		2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。			
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		10 %					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		60 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%		1) 発表・プレゼンテーション(第15回)			
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %		2) 調査研究(第2~14回)			
3.		%					
再評価の実施	する	しない		11 個人研究の本テーマを設定する(2) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマの候補をあげる			
教科書	特に指定しない						
参考書	12 個人研究の本テーマを設定する(3) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマの候補をあげる						
13 個人研究の本テーマを設定する(4) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマを絞る							
14 個人研究の本テーマを設定する(5) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマを絞る							
15 個人研究の本テーマを設定する(6) 就職指導 予復修課題： 卒論またはゼミ論のテーマを絞る							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)		2	1 この授業の目的 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEL4101	2 論文の書き方・論文作成計画 教科書等で上記について準備し交代で発表し、質疑応答を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	4年生の前期の演習では、演習～演習で行った、課題の調査・考察の発表をさらに発展させるため、論文の作成に取り組みます。この授業では、各自の問題意識にしたがって、順番に、発表・討論を行い、さらにディベートなども行い、次のことを目標とします。								
	この授業における発表・討論を通じて経済政策を学び、経済政策に関する各自の研究内容を、演習終了時に20,000字程度の論文としてまとめる準備を進め、論文の構成案・草稿を作成すること。論文作成過程での発表用資料の作成、発表、質疑応答により、コミュニケーション能力を高める得ること。								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 テーマについての討論・資料収集 討論(論文のテーマとねらい、構成案、について各自発表し、討論を行う。併せて、資料収集も進める。) 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 テーマについての討論・資料収集 討論(論文のテーマとねらい、構成案、について各自発表し、討論を行う。併せて、資料収集も進める。) 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修、資料の整理。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 資料整理・論文の構成 教科書等を参考に上記について準備し交代で発表し、質疑応答と論文の構成の検討を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：論点の整理と資料の整理。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			就職活動、論文執筆、発表・討論、等々を計画的に進めること。 下記の教科書は、演習 まで用いる予定。 この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。				
1. 小テスト、感想文など		10 %							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		20 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			11 論文の構成・討論 教科書等を参考に上記について準備し交代で発表し、質疑応答と論文の構成の検討を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：目次案の作成と資料整理。				
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3.		%			12 論文の構成・討論 教科書等を参考に上記について準備し交代で発表し、質疑応答と論文の構成の検討を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：目次案の作成と資料整理。				
再評価の実施	する		しない		13 執筆原稿の発表・討論 論文の草稿を交代で発表し、質疑応答を行う。発表のレジュメを準備し、授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：草稿の発表の予修と授業内容の復修。				
教科書	河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶応義塾大学出版会、2018年。								
参考書	適宜紹介します。								
					14 執筆原稿の発表・討論 論文の草稿を交代で発表し、質疑応答を行う。発表のレジュメを準備し、授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：草稿の発表の予修と授業内容の復修。				
					15 4年次の中間のまとめと後期の演習 について 予復修課題：前期の学習の自己評価と後期の目標の確認をすること。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談。 予復修課題：講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	本演習では、2年後期-3年次に自分の興味・関心のある企業あるいは特定の経営現象をテーマとして個人・グループでの研究を行ってきた。4年次では、就職活動および大学院進学などの進路に関する指導と並行して、3年後期から取り組んでいる「卒業論文」の作成が中心となる。卒論提出は4年後期の末(1月)になるが、可能な限り12月の学生研究報告会等での発表も目指してほしい。								
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文の準備・作成を通じて企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する社会人レベルのレポートを作成することができる。 ・これまでの学習成果に基づいて、自分の意見・主張を卒業論文として、またプレゼンテーションの場において、論理的かつ主体的に述べることができる。 								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
成績評価の方法(全体で100%)					6 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価					7 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
1. 小テスト、感想文など		評価割合		8 校外実習(工場見学等) 日程は変更の可能性アリ。 ・受講者の関心・希望を踏まえて内容については適宜決定する。 予復修課題：実習内容について事前学習を行う。(予復修時間目安 90分)					
2. 中間テスト		%		9 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)					
3. 課題レポートなどの提出物		%		10 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)					
4. 授業中の発表、討論		20%		11 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)					
5. 授業への参加意欲		10%		12 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%		13 中間報告 ・卒業論文の進捗状況、現段階における論文要旨について発表する。 予復修課題：報告用レジュメ、プレゼンテーションの準備をしっかりと行うこと。(予復修時間目安 90分)					
7.		%		14 中間報告 ・卒業論文の進捗状況、現段階における論文要旨について発表する。 予復修課題：報告用レジュメ、プレゼンテーションの準備をしっかりと行うこと。(予復修時間目安 90分)					
2) 最終到達度の評価					15 総まとめ ・個別キャリア面談。 予復修課題：今後の学習計画、卒業後の進路(就職活動の状況)をまとめておくこと。(予復修時間目安 90分)				
1. まとめのテスト		%		履修における留意事項					
2. 論文、まとめのレポートなど		70%		・4年次の演習は、就職活動/大学院進学など卒業後の進路に関する活動が主となるが、そうした中でも卒業論文の執筆においては、授業以外での十分な自主的学習を望みたい。 ・報告・論文作成のための資料収集にあたり図書館を十二分に使いこなす'ことができよう、普段から積極的に活用すること。					
3.		%		アクティブ・ラーニング					
再評価の実施		する		しない		・卒業論文の執筆およびその要旨に関するプレゼンテーション(中間報告)を行う。			
教科書	受講者の興味・関心(進路等)及び報告・論文作成の必要性をふまえて適宜指定。								
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		2	1 ガイダンス 演習 の進め方 予復修課題：予修：シラバスを読んでくること。復修：配布レジュメを復修すること。					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 進学・就職指導 予復修課題：ゼミ研究・卒業研究の対象とする業界の資料収集を行う。					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	4年生	開講学期	前期							
授業概要	本演習では、ゼミ研究・卒業研究の指導および卒業後の進路に対する相談指導を行います。3年時の研究テーマをもとに研究を拡大深化させていき、ゼミ研究としてあるいは卒業研究として完成を目指します。 また、随時進学・就活支援を行いますので、積極的に取り組んでいきましょう。									
	論文の書き方を理解する。 ゼミ研究・卒業研究を完成させる。 プレゼンテーション能力を身につけることができる。 卒業後の進路を決定する。									
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 ゼミ研究・卒業研究 研究2 進学・就職指導 予復修課題：ゼミ研究・卒業研究の対象とする業界の資料収集を行う。					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 ゼミ研究・卒業研究 研究3 進学・就職指導 予復修課題：ゼミ研究・卒業研究の対象とする業界の資料収集を行う。					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 ゼミ研究・卒業研究 作成指導1 進学・就職指導 予復修課題：研究内容をまとめていく。					
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。 研究を計画的に進めていくこと。 進路に向けた各自の課題に積極的に取り組んでいくこと。 相談・報告を随時行うこと。							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー(随時)							
2. 論文、まとめのレポートなど		%	Think-Pair-Share							
3.		%	グループディスカッション							
再評価の実施		する	しない	グループワーク						
教科書	講義レジュメを使用する。									
参考書	別途指示する。									
					11 ゼミ研究・卒業研究 作成指導3 進学・就職指導 予復修課題：研究内容をまとめていく。					
					12 ゼミ研究・卒業研究 作成指導4 進学・就職指導 予復修課題：研究内容をまとめていく。					
					13 ゼミ研究・卒業研究 作成指導5 進学・就職指導 予復修課題：研究内容をまとめていく。					
					14 ゼミ研究・卒業研究 作成指導6 進学・就職指導 予復修課題：研究内容をまとめていく。					
					15 ゼミ研究・卒業研究 作成指導7 進学・就職指導 予復修課題：研究内容をまとめていく。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)		2	1 面談				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む 自動車に関わる映像を視聴する				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	環境・産業を主体とするゼミに配属された学生としての自覚を持つ。 地球環境とエネルギー問題の基礎を学ぶ。 エコ検定に対応できる知識を持つ。 グローバル社会に対応できる素養を身に着けるために、幅広い内容の文献を輪読する。				3 自然エネルギー(1) 太陽光発電について 予復修課題：太陽光発電の原理について調べる				
	授業到達目標 ISO14001環境マネジメント内部監査員に相応しい素養を身に付ける。 地球環境問題を緩和するための政策の基礎を理解する。 地球環境問題を緩和するための技術の基礎を理解する。 環境に配慮する企業努力を理解する基礎的能力を身に付ける。 エコ検定に出題される最も基本的な知識を身に付ける。 世界の政治経済の動きを敏感に感じ取り環境の観点からそれに対して自分の意見が持てる。				4 自然エネルギー(2) 地熱発電について 予復修課題：地熱発電の原理について調べる				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				5 自然エネルギー(3) 水力発電について 予復修課題：水力発電の国内のポテンシャルについて調べる					
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				6 自然エネルギー(4) 風力発電について 予復修課題：風力発電の国内のポテンシャルについて調べる					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				7 自然エネルギー(5) 潮力発電について 予復修課題：潮力発電の国内のポテンシャルについて調べる					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				8 自然エネルギー(6) 太陽光発電(鏡による集光型)について 予復修課題：太陽光発電(鏡による集光型)について調べる					
成績評価の方法(全体で100%)				9 自然エネルギー(7) バイオマス発電について 予復修課題：バイオマス発電の利点と欠点について調べる					
履修における留意事項				10 自然エネルギー(8) マイクロ水力発電について 予復修課題：マイクロ水力発電の普及について					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのでしっかりと復修すること。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。						
1. 小テスト、感想文など		20 %	アクティブ・ラーニング 毎回、グループディスカッションを行う。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		10 %							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		50 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	プリント配布								
参考書	各企業のCSR報告書								
				15 これまでの内容を振り返り、次期のゼミにいかす。 予復修課題：今期のゼミを振り返り、自分がどう変わったかを文章にする。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 就職活動の進捗状況確認と今後のスケジュール作成 予復修課題：就職活動スケジュールの作成。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 作文・面接試験対策 予復修課題：添削・チェックを参考に作り直す。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	現代社会で問題になっているテーマを中心として理解を深めます。 その他、公務員試験対策問題演習も行います。 ゼミ論、卒論に取り組みます。 就職活動に必要な面接・作文指導を行います。				3 予復修課題：各自自分に必要な資料等をそろえておく。				
授業到達目標	指定するテーマについて調べ、論点についてまとめることができるようになる。 指定されたテーマについて討論できるようになる。 その他、公務員試験対策問題に対応できるようになる。 卒論、ゼミ論に取り掛かり論文内容を説明できるようになる。				4 公務員試験対策等。 問題演習、作文指導など。 予復修課題：各自必要な資料等を用意すること。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5 学外研修事前打ち合わせ会 予復修課題：研修先に関して調べておく。				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 学外研修参加 予復修課題：研修報告書作成。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 ゼミ論・卒論作成 予復修課題：資料検索、資料に目を通しておくこと。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 ゼミ論・卒論作成 予復修課題：資料検索、資料に目を通しておくこと。				
成績評価の方法(全体で100%)					9 ゼミ論・卒論作成 構成のチェック 予復修課題：資料検索、資料に目を通しておくこと。				
履修における留意事項					10 就職活動の進捗状況確認及び就職活動支援、公務員試験対策 予復修課題：就職活動報告書を作成しうること。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			11 就職活動の進捗状況確認及び就職活動支援、公務員試験対策 予復修課題：報告書の作成。				
1. 小テスト、感想文など		%	各学生の自主性を重んじます。		12 ゼミ論・卒論の作成 予復修課題：資料収集と作成。				
2. 中間テスト		%	研究テーマに関しては、各学生の希望・進路に		13 ゼミ論・卒論の作成 予復修課題：資料収集と作成。				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %	併せて自由に決定できるようにします。		14 ゼミ論・卒論の作成 予復修課題：資料収集と作成。				
4. 授業中の発表、討論		30 %	各自目標達成のための力を		15 中間提出 予復修課題：中間報告書を作成しておくこと。				
5. 授業への参加意欲		30 %	つけていきましょう。						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	* 自宅学習時間は1時間以上とする。						
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー実施。						
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	指定しない								
参考書	指定しない								

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)		2	1 ガイダンス：成績評価基準と評価方法について説明します。また、一年を通じての活動内容についてスケジュールの調整を行います。 予復修課題：2019年度の活動内容を振り返り、今年の課題を具体的にまとめて提出してください。(1.0時間)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：グループ別に業務スケジュール表を作成してください。(1.0時間)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	本講義では、まですを通じて行っていく「自己ブランディング」について「就職」という視点から考えていきます。既に始まっている就職活動と並行してゼミの最高学年として責任ある行動を心がけてもらいます。報告・連絡・相談という個人的スキルと指示・手本・助言という組織的スキルを使い分けながら、より良いゼミ参加の在り方について模索していきます。特に忘れがちな業務タスクについては、万一のことを考えて引継ぎや共有といったスキルが必要ですので、現役経営者の立場で「即戦力の基礎づくり」について授業を展開します。								
	授業到達目標	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示すことができる。 状況を判断しながら質問することができる。 他者の考えを傾聴し、自分の考えも上手に伝えることができる。 個人の成長を助けるルーブリックを作成できる。 チームの成長を助けるルーブリックを作成できる。 情報化社会に対応した基本的なスキルを発揮することができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアルを作成してください。(約1.0時間)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 各自の課題を共有 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 ゼミ全体での確認 4回目までの各グループの進捗報告を行います。 予復修課題：全体での共有内容をまとめてください。(約1.0時間)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では社会人即戦力としての具体的なスキルを何か二つ以上身に付けることを目標とする他にその目標の達成度合いを判定するルーブリックを作成して、自己評価を行えるようにしていきます。そのことで、自分の弱点や改善点を積極的に改善していく具体的な取り組みを進めていきましょう。2019年度の振り返りから課題を設定してください。						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ゼミナール入門から一貫してPBLを採用して実務能力を高めていきます。歴代最高を目標に、昨年度と同じ轍を踏まないようにチームワーク力をテーマに取り組んでいきます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。								
					15 総括：前期の振り返りを行い、後期の課題について示唆します。予定されている全てのイベントを確認し、日程と担当業務について全員の前で意気込みを発表してもらいます。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)				

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	1 履修確認と卒業論文・就職活動の状況確認 取得単位数と履修科目を確認し、研究・就職活動状況を把握する。 予復修課題：取得単位数を確認しておくこと。また、研究・就職活動状況を整理しておくこと。(予修:2時間)					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 卒業研究と就職活動のスケジュール確認 研究・就職活動の年間スケジュールを把握するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究・就職活動の年間スケジュールを調べて、年間スケジュールを作成しておくこと。(予修:2時間)					
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次		4年生	開講学期	前期	(コース)区分*					
授業概要		就職活動および公務員試験などに関する理解を深めるだけでなく、それらに対する対策演習を行っていきます。また、就職試験対策などの演習を実施することで、報告慣れするとともにプレゼンテーション能力を高めてもらいます。なお、必要に応じて、個別面談や履歴書等の指導を行います。 卒業研究に向けた研究計画書の作成方法と卒業研究の執筆を実践してもらいます。なお、資料収集の方法や分析方法などを、必要に応じて、個別指導していく予定です。			3 卒業研究の課題選びと研究ノートの作成方法 卒業研究の課題を報告し、研究ノートを準備・作成する。 予復修課題：卒業研究の課題をまとめるとともに、研究ノートを準備しておくこと。(予修:4~5時間)					
授業到達目標		就職試験に関する過去問などに解答できるだけの知識を身につける 就職活動などで必要なコミュニケーション能力を実践できるようにする 就職活動の情報などを適切に分析・判断できる能力を身につける 社会の問題点を見出し、それに対する解決方法を提案できるだけでなく実践力を習得する。 卒業研究に向けた課題を探るとともに、資料収集の方法を習得する。 研究計画書を作成し、分析法などを身につけた上で、卒業研究を執筆する。			4 卒業研究の課題決定と卒業研究の執筆準備 卒業研究の課題を決定した上で、研究ノートを充実させ、卒業研究の執筆準備を行う。 予復修課題：研究ノートを作成するとともに、疑問点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
		卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)			5 面接対策 履歴書とエントリーシートなどに基づいて、面接練習などの研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：履歴書とエントリーシートを準備して、面接の質問事項などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。			6 研究計画書の作成 研究ノートに基づく研究計画書を作成・報告するとともに、研究・就職関連指導を行う。 予復修課題：研究ノートと研究計画書を作成するとともに、疑問点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。			7 研究計画の確認と個別指導 卒業研究の進捗状況などを確認し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：添削指導した研究計画書を修正しておくこと。(予修:4~5時間)					
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。			8 データ分析の方法と調査方法(1) データ分析の方法などを習得して、表計算ソフトなどで実践する。 予復修課題：必要な分析方法を調べて、表計算ソフトの分析方法を予修(2時間)・復修(2時間)しておくこと。					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			9 データ分析の方法と調査方法(2) データ分析の方法などを習得して、表計算ソフトなどで実践する。 予復修課題：必要な分析方法を調べて、表計算ソフトの分析方法を予修(2時間)・復修(2時間)しておくこと。					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	進学・就職に向けた具体的な活動状況を報告・連絡・相談すること。 報告などはできるだけ文書化する様に心がけて下さい。また、継続的かつ自発的に取り組む様に心がけてください。 事後に見直し、疑問点の質問、問題の復修(60時間以上)などを行う様に心がけてください。			10 卒業研究の執筆指導(1) 研究計画書などに基づいて卒業研究を執筆・報告するとともに、就職関連指導を行う。 予復修課題：研究計画書や論文構成に基づいて、卒業研究の執筆を行うこと。(予修:4~5時間)				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			11 卒業研究の執筆指導(2) 研究計画書などに基づいて卒業研究を執筆・報告するとともに、就職関連指導を行う。 予復修課題：研究計画書や論文構成に基づいて、卒業研究の執筆を行うこと。(予修:4~5時間)				
1. まとめのテスト		%	基本的に、毎回、報告を行ってまいります。また、適宜、プレゼンテーションや調査学習に取り組んでもらいます。			12 就職活動の報告 就職活動の状況について報告してもらい、就職関連指導を行う。 予復修課題：就職活動の状況を整理し、質問された事項などをまとめておくこと。(予修4~5時間)				
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %				13 卒業研究の一次報告(1) 卒業研究の執筆状況を提出し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：卒業研究の執筆を行うとともに、卒業研究の一次報告書を準備しておくこと。(予修:4~5時間)				
3.		%				14 卒業研究の一次報告(2) 卒業研究の執筆状況を提出し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：卒業研究の執筆を行うとともに、卒業研究の一次報告書を準備しておくこと。(予修:4~5時間)				
再評価の実施		する	しない			15 まとめ 前期の研究・就職活動を振り返り、不足する点や改善していく点などを報告する。 予復修課題：準備不足や疑問点があれば、整理して質問事項を文章にまとめておくこと。(復修:4~5時間)				
教科書		使用しない。								
参考書		配布資料に記載予定。								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)		2	1 ガイダンス 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4101	2 論文作成指導と就職活動支援(1) テーマの検討 予復修課題：テーマの検討				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	前期						
授業概要	ビジネスパーソンに必要なスキルとして簿記があります。ビジネスランゲージともいわれる会計情報を読み取るためにも、その基礎である簿記を学ぶことはとても大切なことです。社会人に必要な情報を集め、就職活動へと繋げていきましょう。またインプット・アウトプットの仕方について学びながら、経営分析についても学びます。				3 論文作成指導と就職活動支援(2) テーマの検討 予復修課題：テーマの検討				
授業到達目標	1. 簿記の基本を理解し、記帳することができる。 2. 財務諸表に記載されている各項目が理解できる。 3. 財務諸表が作成できる。 4. 貸借対照表が分析できる。 5. 損益計算書が分析できる。				4 論文作成指導と就職活動支援(3) テーマの決定 予復修課題：テーマに関連する書籍を探すこと				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5 論文作成指導と就職活動支援(4) 関連書籍の調査 予復修課題：テーマに関連する書籍を探すこと				
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6 論文作成指導と就職活動支援(5) 関連書籍の調査 予復修課題：テーマに関連する書籍を探すこと				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7 論文作成指導と就職活動支援(6) 論文の全体像の作成 予復修課題：論文の全体像の作成				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8 論文作成指導と就職活動支援(7) 論文の全体像の作成 予復修課題：論文のアウトラインを作成していただくこと				
成績評価の方法(全体で100%)					9 論文作成指導と就職活動支援(8) アウトライン修正 予復修課題：指摘された点を中心にアウトラインを修正すること				
履修における留意事項					10 論文作成指導と就職活動支援(9) 関連書籍の調査2 予復修課題：テーマに関連する書籍を探し、熟読すること				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	特に時間が指定されていなければ120分以上予復修すること。			11 論文作成指導と就職活動支援(10) 関連書籍の調査2 予復修課題：テーマに関連する書籍を探し、熟読すること			
1. 小テスト、感想文など		20 %	剽窃は絶対に許されない。			12 論文作成指導と就職活動支援(11) 節ごとの執筆 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。			
2. 中間テスト		%	毎回出席および進行状況報告を行うこと			13 論文作成指導と就職活動支援(12) 節ごとの執筆 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				14 論文途中経過発表会でのプレゼンテーション作成 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。			
4. 授業中の発表、討論		40 %				15 論文途中経過発表会 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。			
5. 授業への参加意欲		40 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	グループ(ペア)ワーク(第2回から第14回)			14 論文途中経過発表会でのプレゼンテーション作成 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	プレゼンテーション(第15回)						
3.		%	ワークショップ(第2回から第14回)						
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**				
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				2	1 ガイダンス 授業の概要について説明する。 予復修課題：前年度を振り返り、やりのこした課題を明確にする				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 就職活動報告書作成 現在の状況と、課題と改善点をまとめる 予復修課題：自分の課題に照らし合わせ整理する				
EEL4101											
授業形式		演習		科目区分 セミナール科目群		学科・領域 (コース)区分*		経済・経営学科			
配当年次		4年生		開講学期 前期							
授業概要		ゼミナール までの活動をもとに、実際のビジネスの現場で即戦力に近づけるように、さらに知識・技能のレベルを上げていく。						3 個人面談 就職活動の状況について面談を行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
授業到達目標		大学4年間の総仕上げとして、自分ができ、できないことについて把握することができる。 これまでのゼミナール(~)で、自分が何をしてきたのか、説明することができる。						4 個人面談 就職活動の状況について面談を行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								5 グループディスカッション テーマに従いグループディスカッションを行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						6 グループディスカッション テーマに従いグループディスカッションを行う 予復修課題：就職活動の報告書をまとめ今後の対策を考える			
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						7 就職活動中間報告書作成 企業研究、会社説明会、ES等をまとめる 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						8 就職活動中間報告書作成 を分析し、改善点を探る 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						9 ゼミイベント(幼稚園でのラグビー体験)をバックアップする 3年生のゼミ活動をサポートする 予復修課題：イベントの実施がスムーズになる方法について考えておく			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		本演習科目は、ゼミナール からの継続課題も含めた授業となります。また、様々なプロジェクトを行うので、予復修を含め授業時間外での活動についても評価の対象となります。				10 ゼミイベント(幼稚園でのラグビー体験)をバックアップする 3年生のゼミ活動をサポートする 予復修課題：イベントの実施がスムーズになる方法について考えておく			
1. 小テスト、感想文など		%		毎回、おおむね120分程度の予修・復修の時間を確保して下さい。				11 ゼミイベント(幼稚園でのラグビー体験)をバックアップする 3年生のゼミ活動をサポートする 予復修課題：イベントの実施がスムーズになる方法について考えておく			
2. 中間テスト		%						12 ゼミ内プレゼンテーションの準備 ゼミ活動についてプレゼンテーションを行う準備をする 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
3. 課題レポートなどの提出物		30%						13 ゼミ内プレゼンテーションの実施 ゼミ活動についてプレゼンテーションを行う 予復修課題：伝わりやすい資料、プレゼン方法を準備する			
4. 授業中の発表、討論		30%						14 引継ぎマニュアルの作成 3年間のゼミ活動を通じた報告書の作成と下級生への引継ぎ 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
5. 授業への参加意欲		30%						15 まとめ 各プロジェクトの引継ぎを多学年と行う 予復修課題：まとめの確認をする			
6. 自主的学習(予習・復習など)		10%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%		〔第5~6回〕グループディスカッション							
2. 論文、まとめのレポートなど		%		〔第9~11回〕イベント実施							
3.		%		〔第13回〕プレゼンテーション							
再評価の実施		する		しない							
教科書											
参考書											

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)			2	1 ガイダンス 演習の内容と進め方 予復修課題： シラバスを読んでおくこと。発表課題を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 履修確認と演習発表の準備 発表課題について、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
EEL4101		EEL4101				3 課題発表とディスカッション(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
授業形式		演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	
配当年次		4年生	開講学期	前期			
授業概要		ヒト、モノ、カネ、情報が容易に国境を越えて移動するグローバル化という現象は、世界に大きな影響を及ぼし始めている。グローバル化は経済だけでなくあらゆる分野に変化を求めている。 本演習では母国を離れて生活する留学生の皆さんが、日本の経済や文化などを多角的かつ客観的に検証しながら、母国と比較して考えていく。				4 課題発表とディスカッション(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
授業到達目標		グローバル化が、広い視野に立って考えなければならない現象であるということを理解できる。 また、グローバル化に対応できるため、自分が最も関心のある専門分野だけでなく、外国語や外国の文化などにも関心を持ち、学習の幅を広げることができる。				5 課題発表とディスカッション(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予習と復習を行うこと。 授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		30 %					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト			・ミニッツペーパー：第1回・第7回・第13回				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	・プレゼンテーション：第5回・第8回・第12回				
3.			・グループディスカッション：第2回～第14回				
再評価の実施		する	・調査学習：毎回、フィールドワーク：1回				
教科書		プリントや資料などを配布する。					
参考書		別途指示する。					
		15 内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題： 全部の配付資料の整理と復習を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**		
担当者		遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)				2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング EEL4101				専任	2 スミスの考え方1 予復修課題：スミスについて。		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		3 スミスの考え方2 予復修課題：マルクスとスミス		
配当年次	4年生	開講学期	前期				4 スミスと格差 予復修課題：スミスの見方。		
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 アダム・スミスの関心を持ち、その考え方を理解する。							5	なぜ格差は広がるのか。 予復修課題：格差の本質。
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。 2 自由競争の視点から経済・経営の動きを説明できる。							6	格差について 予復修課題：現代の格差について。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							7	格差は広がっているのか。 予復修課題：格差について感じること。
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							8	世界で広がる格差について 予復修課題：なぜ格差は広がるのか。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							9	格差と歴史 予復修課題：いつから格差は広がってきたのか。	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							10	豊かな国の格差について 予復修課題：豊かな国でなぜ格差は広がるか。	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				11	グローバルエコノミーはなぜ崩壊したか。 予復修課題：ソ連の歴史。
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。 各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。					12	社会主義と社会の変化 予復修課題：格差はどうなるのか。
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ミニッツペーパーは毎回行う予定。					13	職業の変遷、人工知能の時代。 予復修課題：無くなる職業。
2. 中間テスト		%						14	職業の変遷、生まれる仕事。 予復修課題：どんな能力が重要か。
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						15	まとめのレポート 予復修課題：どんな時代が来るか。
4. 授業中の発表、討論		50 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者	末木 将史 (SUEKI Masachika)				2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL4101		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	4年生	開講学期	前期				
授業概要	ゼミ までで取り上げた内容に関するゼミ論、卒論の作成、または大学院受験準備のプロジェクトを実施します。 会社実務経験に基づくプロジェクト運営の実際を指導します。					1	ガイダンス ゼミの内容と方針、進め方について、シラバスに基づき説明します。 予復修課題： 予)ゼミ でのドキュメントを整理してきてください。
授業到達目標	普遍的なロジカル・シンキングの方法論、アプローチを体得する。 必要十分な説明資料・ドキュメントの作成ができる。					2	ロジカル・シンキングの復修 教科書、 の復修をします。 予復修課題： 予)教科書 の第1~4章と、教科書 の第1~3章を読んできてください
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	準備すべきツール(PCやソフトウェア/アプリ)		各自のプロジェクト実施			
1. 小テスト、感想文など	%	はゼミ を参照してください。		11 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題： 復) ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
2. 中間テスト	%	予復修時間の目安は、2時間程度です。		各自のプロジェクト実施			
3. 課題レポートなどの提出物	20 %			12 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題： 復) ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
4. 授業中の発表、討論	30 %			各自のプロジェクト実施			
5. 授業への参加意欲	30 %			13 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題： 復) ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
6. 自主的学習 (予習・復習など)	20 %			各自のプロジェクト実施			
7.	%			14 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題： 復) ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング		まとめ準備			
1. まとめのテスト	%	・討論には全員参加です。口頭での発言か、		15 これまでの作業のまとめをします。 予復修課題： 予)前回まで修正・拡張したドキュメントと資料を整理してGDにULしてきてください。			
2. 論文、まとめのレポートなど	%	オンライン上での発言のいずれかは必ず求め		まとめ			
3.	%	ます。記録 (LOG) もGDかEvernoteに		15 これまでの作業のプロセスと結果を発表します。 予復修課題： 予)学んだこと、これからすべきこと (ToDo) を整理してきてください。			
再評価の実施	する	しない	残してもらいます。				
教科書	奥村隆一 『自分の考えをまとめる技術』、中経出版、2012						
参考書	平井孝志、渡部高士 『ロジカル・シンキング』、日本経済新聞社、2012						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)			2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEL4101		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	4年生	開講学期	前期				
授業概要	本演習では、3年次後期からに自分の興味・関心のある企業あるいは特定の経営現象をテーマとして個人・グループでの研究を行ってきた。4年次では、就職活動および大学院進学などの進路に関する指導と並行して、「卒業論文」、あるいは卒業研究レポートの作成が中心となる。卒論提出は4年後期の末(1月)になるが、可能な限り12月の学生研究報告会等での発表も目指してほしい。						
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 卒業論文の準備・作成を通じて企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する社会人レベルのレポートを作成することができる。 これまでの学習成果に基づいて、自分の意見・主張を卒業論文として、またプレゼンテーションの場において、論理的かつ主体的に述べるができる。 						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・4年次の演習は、就職活動/大学院進学など卒業後の進路に関する活動が主となるが、そうした中でも卒業論文の執筆においては、授業以外での十分な自主的学習を望みたい。				
1. 小テスト、感想文など		%	・報告・論文作成のための資料収集にあたり図書館を十二分に使いこなす'ことができよう、普段から積極的に活用すること。				
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	・卒業論文の執筆およびその要旨に関するプレゼンテーション(中間報告)を行う。				
2. 論文、まとめのレポートなど		70 %					
3.		%					
再評価の実施	する		しない				
教科書	受講者の興味・関心(進路等)及び報告・論文作成の必要性をふまえて適宜指定。						
参考書							
1	授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談 予復修課題: 講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)						
2	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
3	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
4	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
5	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
6	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
7	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
8	校外実習(工場見学等) 日程は変更の可能性アリ。 ・受講者の関心・希望を踏まえて内容については適宜決定する。 予復修課題: 実習内容について事前学習を行う。(予復修時間目安 90分)						
9	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
10	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
11	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
12	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
13	中間報告 ・卒業論文の進捗状況、現段階における論文要旨について発表する。 予復修課題: 報告用レジュメ、プレゼンテーションの準備をしっかりと行うこと。(予復修時間目安 90分)						
14	中間報告 ・卒業論文の進捗状況、現段階における論文要旨について発表する。 予復修課題: 報告用レジュメ、プレゼンテーションの準備をしっかりと行うこと。(予復修時間目安 90分)						
15	総まとめ ・個別キャリア面談 予復修課題: 今後の学習計画、卒業後の進路(就職活動の状況)をまとめておくこと。(予復修時間目安 90分)						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)		2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 スミス、マルクス、シュンペーター 予復修課題：スミスについて。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 アダム・スミス、マルクス、シュンペーターに関心を持ち、その考え方を理解する。								
	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。								
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。						
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		50 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					15 予復修課題：どんな時代が来るか。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石川 達哉 (ISHIKAWA Tatsuya)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	4年間の集大成となる個人研究論文の執筆を行い、ゼミ内での報告会を実施します。在学中に論文を執筆した経験が実社会に出た後も財産となるように、分析、執筆、報告を通じて、研究を企画して実行する能力、論理的に説明する能力を向上させます。								
	論文は、1回で完璧なものを執筆しようとするのではなく、説得力の乏しい箇所を補強したり、構成を改めたりする状況を想定し、論文完成は時間をかけて行います。その間、指定教材の輪読も並行的に行い、論文を改善するうえでの参考にします。								
授業到達目標	個人研究論文の執筆 研究報告会での個人発表 グループのメンバーと協働によるグループ発表								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	結論を導き出したり、主張・提言をしたりするには、その拠り所となる根拠、調査や分析に裏付けられた根拠が必要です。従って、論文全体を支える根拠の部分を最初に固める必要があります。						
1. 小テスト、感想文など		%	調査・分析には、延べ30時間以上かかると思って、取組んで下さい。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		40 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	完成途上の論文への個別指導も行います。						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	また、ゼミ全体での研究報告会を実施する前に、論文の中心箇所についての相互開示・意見交換の機会を設け、論文の弱点を補強します。						
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	内閣府『世界経済の潮流 2020年 1』(内閣府WEBサイト、2020年7月公表見込み)								
参考書	授業の過程で、必要に応じて提示予定。								
1	ガイダンス 演習の進め方、中心的な課題について説明する。グループ編成も行う。 予復修課題：授業時に指示								
2	研究企画案の相互発表 何をテーマに選び、どのような調査・分析を行うかを事前に考えておき、報告する。 予復修課題：授業時に指示								
3	『世界経済の潮流』第1章第1、2節のグループ内討議 要約すべき内容、プレゼンテーション資料で採用する図表をグループ内で討議する。 予復修課題：授業時に指示								
4	『世界経済の潮流』第1章第1、2節の要約プレゼンテーション、コメント グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
5	論文テーマの選定と研究・執筆企画書の作成・提出 研究・執筆企画書の提出に伴う個人面談を実施する。 予復修課題：授業時に指示								
6	『世界経済の潮流』第2章第1、2節のグループ内討議 要約すべき内容、プレゼンテーション資料で採用する図表をグループ内で討議する。 予復修課題：授業時に指示								
7	『世界経済の潮流』第2章第1、2節の要約プレゼンテーション、コメント グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
8	主要分析結果の報告会実施(受講者の半数を想定) 論文の中心部分となる分析結果について、図表を用いてプレゼンテーションする。 予復修課題：授業時に指示								
9	主要分析結果の報告会実施(受講者の残りの半数を想定) 論文の中心部分となる分析結果について、図表を用いてプレゼンテーションする。 予復修課題：授業時に指示								
10	『世界経済の潮流』第2章第3、4節のグループ内討議 要約すべき内容、プレゼンテーション資料で採用する図表をグループ内で討議する。 予復修課題：授業時に指示								
11	『世界経済の潮流』第2章第3、4節の要約プレゼンテーション、コメント グループ別の要約発表、他グループによるコメント、それに対するリプライを行う。 予復修課題：授業時に指示								
12	論文暫定稿についてのグループ内意見交換会の実施 論文暫定版をグループ内で相互開示、意見交換した後、修正して完成稿を作成する。 予復修課題：授業時に指示								
13	個人研究報告会の実施(受講者の半数を想定) 最終稿に基づき、個人毎に論文の発表を行う。必要に応じて、修正・補強も行う。 予復修課題：授業時に指示								
14	個人研究報告会の実施(受講者の残りの半数を想定) 最終稿に基づき、個人毎に論文の発表を行う。必要に応じて、修正・補強も行う。 予復修課題：授業時に指示								
15	完成された個人論文の講評 最終稿の講評を行い、特に優れた着目点、優れた分析、優れた論理構成を紹介する。 予復修課題：授業時に指示								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		李 只香 (LEE Jihyang)		2	1 ガイダンス・履修指導 (単位の管理・履修見直し)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 履修確認とゼミ研究の準備				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	経営学・会計学は実践学であり、一方その理論とは、会社の抱える諸課題の解決策を示しているものと理解できます。そこで、本演習では、卒業までの期間を通して、産業界や企業の現状と抱える課題を調べ、経営学・会計学の知識を応用することで企業体の現状や経営学・会計学への理解を深めます。 その際には、各自の進路や興味に経営学・会計学を応用することを重視します。また、レジュメ作成や発表・ディスカッションにより、表現能力をも高めていきます。								
	3 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	4 講義&演習：ゼミ研究課題の設定と計画(2)								
	5 演習(1)：課題発表とディスカッション								
	6 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	7 演習(2)：課題発表とディスカッション								
	8 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	9 演習(3)：課題発表とディスカッション								
	10 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。								
	11 演習(4)：課題発表とディスカッション								
12 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
13 講義&演習：レポートの書き方(1)									
14 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
15 講義&演習：レポートの書き方(2)									
16 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
17 演習(5)：課題発表とディスカッション									
18 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
19 演習(6)：課題発表とディスカッション									
20 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
21 演習(7)：課題発表とディスカッション									
22 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
23 演習(8)：課題発表とディスカッション									
24 予復修課題： 次回の準備事項を授業中に確認し、疑問点などは質問すること。									
25 総括・レポート提出									
26 予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。									
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1. 疑問点は質問し、早期に解決を計る。						
1. 小テスト、感想文など		%	2. 連絡、相談を大事にすること。						
2. 中間テスト		%	3. 作成要領に従いながらも、指摘された点については、1時間以上の時間をかけ、検討修正を行うこと。						
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		75 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	自分の課題について、資料を収集し、課題を作成します。課題発表とディスカッションを通じて課題を発展させていきます。						
2. 論文、まとめのレポートなど		15 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書	持っている経営学関連の書籍を持参し参考にしてもらっても良いです。								
15 予復修課題： 新学期開始時までの準備事項を確認し、疑問点などは質問すること。									

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		山本 洋一 (YAMAMOTO Yoichi)		2	1 イントロダクション 後期演習の概要と進め方他 予復修課題：CMシナリオ完成作業					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 CM制作(4) 映像撮影と編集 予復修課題：映像編集作業					
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					3 CM制作(5) 映像撮影と編集 予復修課題：映像編集作業
配当年次	4年生	開講学期	後期							4 CM制作(6) 映像撮影と編集 予復修課題：映像編集作業
授業概要	テーマは「メディアと広告」です。日常に溢れる膨大な情報の信憑性の判断と正確な理解、そしてそれらの有効活用法について、実際のニュース、広告、CM等を対象に、その内容や構造を、情報発信者・受信者双方の視点から批判的に検証します。とりわけ、広告ポスターやCMは、文学・絵画・映画等の芸術作品と同様に分析・解釈しながら、企業戦略や消費者動向との関連及び時代や社会との関連も考察します。また、情報の総合的読解力・分析力を基礎に、自ら情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションコンテンツ制作の実践もします。									
授業到達目標	1. 情報の背後に存在する伝達されなかった事実の演繹的理解ができる 2. 情報を発信者の意図を含めて批判的に検証し客観的に理解できる 3. CM及びそこで用いられるキャッチコピーなどを、文学テキストの解釈と同様に、時代や社会との関連のなかで分析し解釈できる 4. 既成概念や社会通念を批判的視座から再検証する柔軟な思考ができる 5. 情報発信者として、合理的かつ効果的プレゼンテーションを意図的に構築・実践できる									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：音楽編集作業とキャッチコピー考案 CM制作(8) 音楽(BGM)とキャッチコピー					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：音楽編集作業とキャッチコピー考案 CM制作(9) 音楽(BGM)とキャッチコピー					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：音楽編集作業とキャッチコピー考案 CM制作(10) CM発表とディスカッション					
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	教科書は当初使用しませんが、授業のプロセスで、関係図書の購入が必要になる場合があります。課題提出(レポート、作品等)や授業中のディスカッション参加への積極性などを総合的に判断して成績を評価します。演習科目ですから、自ら率先して問題に対処することが特に求められます。予復修には、毎回少なくとも1時間程度かけることが求められます。							
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ディスカッション グループワーク プレゼンテーション レポート執筆、資料作成実践							
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		40 %								
4. 授業中の発表、討論		30 %								
5. 授業への参加意欲		15 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		15 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめのテスト		%								
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	特定の教科書は使用しない(必要に応じて指示する場合がある)									
参考書	特になし(必要に応じて指示する場合がある)									
					11 予復修課題：発表準備、他学生の発表へのコメントレポート CM分析のまとめ(1) 論文(レポート)完成版発表					
					12 予復修課題：他学生の発表へのコメントレポート CM分析のまとめ(2) 論文(レポート)完成版発表					
					13 予復修課題：他学生の発表へのコメントレポート ゼミナール入門から までの総括(1) 発表とディスカッション					
					14 予復修課題：他学生の発表へのコメントレポート ゼミナール入門から までの総括(2) 発表とディスカッション					
					15 予復修課題：他学生の発表へのコメントレポート ゼミナール入門から までの総括(3) 発表とディスカッション					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar			単位数	授業内容**					
担当者		水戸 康夫 (MITO Yasuo)			2	1 ゼミの運営方針を示す。 予復修課題：個別指導するので、個別指導に耐えうるだけの準備の目安時間：120分					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 個別指導1 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分					
授業形式		演習			科目区分	ゼミナール科目群		経済・経営学科		EEL4201	3 個別指導2 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分
配当年次		4年生			開講学期	後期		学科・領域 (コース)区分*			4 個別指導3 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分
授業概要		卒論を完成させます。									
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをもらうことを通じて、何が重要であるのかを理解する能力を修得する。 ・十分な準備を行なうことの重要性を体得する。 									
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			出席を極めて重視するので、できるだけ出席するようにしてください。もし、欠席・遅刻をする場合には、必ず連絡してください。						
1. 小テスト、感想文など		%			本ゼミの最終目的が卒論作成であることに留意して、積極的にゼミに参加してください。						
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		%									
4. 授業中の発表、討論		80 %									
5. 授業への参加意欲		20 %									
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング			発表者や質問者に対して、コメントを行なうことで、気づきを与える。						
1. まとめのテスト		%			11 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
2. 論文、まとめのレポートなど		%			12 個別指導11 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
3.		%			13 個別指導12 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
再評価の実施		する			14 予復修課題：個別指導に基づく、修正の目安時間：120分						
教科書		なし			15 総括						
参考書					予復修課題：これまでの卒論作成の振り返りの目安時間：120分						

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**					
担当者	三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)				2	1	【演習】卒業論文(ゼミ論文)の第2次中間発表・ディスカッション(1) 予復修課題:【予・復修】論文第2次原稿執筆				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				専任	2	【演習】卒業論文(ゼミ論文)の第2次中間発表・ディスカッション(2) 予復修課題:【予・復修】論文第2次原稿執筆				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科						
配当年次	4年生	開講学期	後期	(コース)区分*							
授業概要	ひとり1テーマを基本とする卒業論文またはゼミ論文の執筆を通じてひとかどの社会人に足る教養と専門知識・思考力を自分のものにする。										
授業到達目標	1. 明確な問題意識を説明できるテーマについて、周辺知識を調査・整理することができる。 2. テーマについてオリジナリティが認められる論理展開による解決策を提示することができる。 3. テーマに関する卒業論文(ゼミ論)を作成し、その内容をプレゼンテーションすることができる。										
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)											
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。											
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。											
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。											
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		第2・3次中間発表では、レジュメ配布とパワーポイントによるプレゼンテーションを義務付ける。 予修・復修の時間の目安は合計4時間である。							
1. 小テスト、感想文など		%									
2. 中間テスト		%									
3. 課題レポートなどの提出物		%									
4. 授業中の発表、討論		%									
5. 授業への参加意欲		50%									
6. 自主的学習(予習・復習など)		50%									
7.		%									
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%		ディスカッション【1~8回】 中間発表【1~8回】、最終発表【15回】							
2. 論文、まとめのレポートなど		%									
3.		%									
再評価の実施	する	しない									
教科書	使用しない(配布資料)										
参考書											
						15	予復修課題:【予修】授業の到達目標に関する自己評価				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者		成富 勝 (NARITOMI Masaru)		2	1 ガイダンス：卒業論文と進路についての確認 予復修課題：卒業論文のテーマと今後の展開についてよく考えておくこと					
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 履修状況の確認と進路についてのディスカッション 予復修課題：修得単位数と卒業要件の調査と、進路・就職についてよく考えておくこと					
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科			
配当年次		4年生		開講学期	後期					
授業概要		決定したテーマについて、追加の参考文献・参考資料を収集を行い、論文を完成させる。 また各々のテーマについて、ディスカッションを行い、ゼミでの相互理解を図る。 卒業後の進路決定につながる学習を継続して行う。								
授業到達目標		1. 卒業論文を完成させることができる。 2. 卒業後の進路決定のための基礎的な知識と学力を身につけることができる。 3. 進路を決定することができる。								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。										
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		図書館の資料やインターネットを活用して調べること(目安の時間は120分)。 授業では、積極的に質問し、学習の展開を図ること。また重要と思われること、あるいは印象に残ったことは適宜ノートに書き留める習慣を身につけること。						
1. 小テスト、感想文など		%		2) 最終到達度の評価						
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		20%								
4. 授業中の発表、討論		20%								
5. 授業への参加意欲		40%								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
再評価の実施				アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%		ディスカッション(第2回)						
2. 論文、まとめのレポートなど		20%		卒業論文個別指導及び進路相談(第2回~9回)						
3.		%		卒業論文の完成作業(第10回~14回)						
11 卒業論文の完成作業(2)		予復修課題：卒業論文についての質問事項をまとめておくこと								
12 卒業論文の完成作業(3)		予復修課題：卒業論文についての質問事項をまとめておくこと								
13 卒業論文の完成作業(4)		予復修課題：卒業論文についての質問事項をまとめておくこと								
14 卒業論文の完成作業(5)		予復修課題：卒業論文についての質問事項をまとめておくこと								
15 授業の総括		予復修課題：授業の振り返りを行うこと								
教科書		配布資料								
参考書		適宜、提示する								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**	
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)		2	1 ガイダンス 予復修課題： シラバスを熟読する。予復修の目安時間：各120分	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 複式簿記の構造と会計理論の潮流(1) 予復修課題： 日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
EEL4201		EEL4201			3 複式簿記の構造と会計理論の潮流(2) 予復修課題： 日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
授業形式		演習			4 複式簿記の構造と会計理論の潮流(3) 予復修課題： 日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
科目区分		ゼミナール科目群			5 複式簿記の構造と会計理論の潮流(4) 予復修課題： 日商簿記検定試験1級の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
学科・領域		経済・経営学科			6 複式簿記の構造と会計理論の潮流(5) 予復修課題： 税理士試験簿記論の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
(コース)区分*					7 複式簿記の構造と会計理論の潮流(6) 予復修課題： 税理士試験簿記論の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
配当年次		4年生			8 複式簿記の構造と会計理論の潮流(7) 予復修課題： 税理士試験財務諸表論の過去問題を解く。予復修の目安時間：各120分	
開講学期		後期			9 地域連携・地域貢献活動(1) 産学官連携活動 予復修課題： 産学官連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分	
授業概要		本授業では、会計学とその周辺領域を考究する。加えて、その応用として問題基盤型学習、サービスラーニングなどを取り入れて実践を図り、地域連携・地域貢献活動を行う。前者では、日商簿記検定試験合格などを手段として、複式簿記の構造について追究する。後者では、産学官連携活動および域学連携活動を実施する。産学官連携活動では、地方公共団体や公共性・公益性が高い企業とともに、域学連携活動では地域住民や商店街などとともに調査・分析をおこない、その結果について発表する。			10 地域連携・地域貢献活動(2) 産学官連携活動 予復修課題： 産学官連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分	
授業到達目標		1. 会計学とその周辺領域について、説明することができる。 2. 非営利企業の現状と課題について、経営分析の方法を用いて、解釈することができる。 3. アンケート調査をおこない、その結果をレポートにまとめ、発表することができる。 4. 地域社会の現状と課題について、経営学の観点から、具体的に述べるすることができる。 5. 地域連携・地域貢献活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。 6. 大学での学びを、社会貢献活動と関係づけることができる。			11 地域連携・地域貢献活動(3) 産学官連携活動 予復修課題： 産学官連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					12 地域連携・地域貢献活動(4) 域学連携活動 予復修課題： 域学連携活動計画を立案する。予復修の目安時間：各120分	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。			13 地域連携・地域貢献活動(5) 域学連携活動 予復修課題： 域学連携活動の実施とその効果について調査・分析する。予復修の目安時間：各120分	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。			14 地域連携・地域貢献活動(6) 域学連携活動 予復修課題： 域学連携活動の成果について検証する。予復修の目安時間：各120分	
【主体性・協働性】		経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。			15 授業の総括 予復修課題： 地域社会の現状と課題について、レポートを作成する。予復修の目安時間：各120分	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1. 日商簿記検定試験1級または税理士試験を積極的に受験することを要求する。		
1. 小テスト、感想文など		%		2. チームとして参加するプロジェクトでは、積極的に参加することを要求する。加えて、積極的にコミュニケーションを図ることも要求する。		
2. 中間テスト		%		3. 各授業ごとに120分以上の予復修をおこなうことを要求する。		
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		80 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		地域連携・地域貢献活動では、PBL・TBL・サービスラーニングを取り入れて実践を図り、経営学の観点から、最終的に地域課題に対する		
2. 論文、まとめのレポートなど		%		解決策を策定して、それを発表する。		
3. 資格取得		20 %				
再評価の実施		する		しない		
教科書		ガイダンスの際に指示する。				
参考書		ガイダンスの際に指示する。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		末木 将史 (SUEKI Masachika)		2	1 後期ゼミの進め方に関する説明、および夏休み中執筆分の各自発表 予復修課題： 休みに作成した箇所を整理しておくこと				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 調査・分析、および卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の作成を行う。 就職や進学等を考慮した論文または学習の指導を行う。 卒論作成、就職活動、進学準備はいずれもプロジェクトです。卒業後に社会人として必要になるスキルであるプロジェクト計画/実施/改善スキルを身につけてもらいます(実務能力)。 								
	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な考えを構築し、文章や資料としてまとめることができる。 プレゼンテーションを効果的に行うことができる。 卒業論文を作成する。 大学4年間の学習に自信をつける。 								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
	成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	PC必須。ソフトをインストールの上、持参のこと。スマホは能力が不十分なので不可。クラウド・ドライブ(Google Drive)、アイディア・プロセッサ(Mind Map)、フローチャート作成(yEd)、プロジェクト管理(Open Project)、クリッピング(Evernote)の各ツールは必須。手書き用のノートは絶対必須。予復修は、最低でも1時間確保してください。						
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ・他のゼミ員の発表や発言に関心をもち、自分でも意見を積極的に述べられるよう、自分をトレーニングしてください。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		30 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		30 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	ゼミ中に指示します。								
参考書	ゼミ中に指示します。								
					3 調査・分析、および卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					4 調査・分析、および卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					5 調査・分析、および卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					6 調査・分析、および卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					7 調査・分析、および卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					8 卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					9 卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					10 卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					11 卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					12 卒論の執筆 予復修課題： 進捗分の報告をすること。指摘部分の修正をすること				
					13 卒論報告会1：発表、および卒業後の計画 予復修課題： 発表用資料および卒業後の計画を作成してくること				
					14 卒論報告会2；発表、および卒業後の計画 予復修課題： 発表用資料および卒業後の計画を作成してくること				
					15 卒論およびゼミの総まとめ 予復修課題： 卒論の提出				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		西川 三恵子 (NISHIKAWA Mieko)		2	1 履修指導 予復修課題： 修得科目と卒業要件修得単位を調べておく 個別面談(卒業・就活)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 予復修課題： 前期の履修日程と就活日程の計画を立てる				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	各自でライフデザインおよびキャリアデザインをイメージし、必要とされる能力を養う。 コミュニケーション能力(聞く・話す)を高める。								
	3 予復修課題： 社会人基礎力について 3つの能力、12の能力要素を理解する 予復修課題： 社会人基礎力について事前学習をしておく								
授業到達目標	4 ケーススタディ 「前に踏み出す力」 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす								
	5 ケーススタディ 「考え抜く力」 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす								
6 ケーススタディ 「考え抜く力」実践 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす									
7 ケーススタディ 「チームで働く力」 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす									
8 ケーススタディ 「チームで働く力」実践 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす									
9 ケーススタディ まとめ 社会人基礎力についての総括 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす									
10 サービス接遇検定1級の問題にチャレンジ 記述編 過去問題にチャレンジし、ビジネスマナーを理解する 予復修課題： 間違えた個所を見直し、キーワードを理解する									
11 ビジネス実務マナー検定1級の問題にチャレンジ 理論編 過去問題にチャレンジし、ビジネスマナーを理解する 予復修課題： 間違えた個所を見直し、キーワードを理解する									
12 組織に求められる人材について Keywordをもとに、ディスカッションを行う 予復修課題： 3分スピーチの原稿を作成する									
13 組織に求められる人材について 3分スピーチ 予復修課題： 振り返り、まとめる									
14 2021年 新社会人の抱負 ディスカッションを行う 予復修課題： 振り返り、まとめる									
15 総括・レポート テーマ：「大学生活で必要なコト」 後輩に向けたレポート作成 予復修課題： 新聞や本を読み、ポキャブラリーを増やす									
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。									
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。									
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価 評価割合		予復修の時間の目安は、40~60分です。							
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		30 %							
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3.		%							
再評価の実施		する しない							
教科書		適宜、資料を配布する							
参考書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		岡田 有功 (OKADA Yuko)		2	1 演習の進め方について 就職指導 予復修課題： シラバスを読む				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEL4201	2 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(1) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論の報告の準備をする				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	本演習では、卒業論文またはゼミ論文作成のための指導とともに就職指導を行う。				3 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(2) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論の報告の準備をする				
授業到達目標	研究の総括として、卒業論文またはゼミ論文を完成させる。その過程で、自らの見方・考え方を示すことができる。				4 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(3) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論の報告の準備をする				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(4) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論の報告の準備をする				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(5) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論の報告の準備をする				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(6) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論の報告を再検討する				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			1) 履修するうえで、積極的に学ぶ姿勢・態度はきわめて重要である。				
1. 小テスト、感想文など		%			2) 予復修に必要な時間は、60時間を目安とする。				
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		25 %							
5. 授業への参加意欲		25 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%			1) 発表・プレゼンテーション(第7~11回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %			2) 調査研究(第2~6・12~15回)				
3.		%							
再評価の実施	する	しない			13 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(12) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論を完成させる				
教科書	特に指定しない				14 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(13) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論を完成させる				
参考書					15 卒論・ゼミ論の個人報告と指導(14) 就職指導 予復修課題： 各自の卒論・ゼミ論文作成をふりかえる				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		仁部 新一 (NIBU Shinichi)		2	1 この授業の目的、後期の演習の計画 予復修課題：講義要項(シラバス)を読んでおくこと。後期の目標を確認すること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 論文の構成の再検討・資料の補充・確認 左記について各自行い、状況を交代で発表し、質疑応答を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	4年生の後期の演習では、演習～演習で行った課題の調査・考察の発表をさらに発展させるため、論文の作成に取り組みます。この授業では、各自の問題意識にしたがって設定した課題について、順番に、発表・討論を行い、さらにディベートなども行い、次のことを目標とします。				3 論文の構成の再検討・資料の補充・確認 左記について各自行い、状況を交代で発表し、質疑応答を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：教科書の予定箇所の予修と授業内容の復修。				
授業到達目標	この授業における発表・討論を通じて経済政策を学び、経済政策に関する各自の研究内容を、演習終了時に20,000字程度の論文としてまとめること。 論文作成過程での発表用資料の作成、発表、質疑応答により、コミュニケーション能力を高める得ること。				4 執筆原稿の発表・討論 執筆した原稿(草稿)の一部分を交代で発表し、質疑応答を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：草稿の発表の予修と授業内容の復修。				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 執筆原稿の発表・討論 執筆した原稿(草稿)の一部分を交代で発表し、質疑応答を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：草稿の発表の予修と授業内容の復修。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 執筆原稿の発表・討論 執筆した原稿(草稿)の一部分を交代で発表し、質疑応答を行う。授業の後は論文作成を進めること。 予復修課題：草稿の発表の予修と授業内容の復修。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 論文草稿の提出。論文草稿の概要を各自発表し、討論を行う。 予復修課題：草稿の発表の予修と授業内容の復修。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合			就職活動、論文執筆、発表・討論、等々を計画的に進めること。				
1. 小テスト、感想文など		10 %			この科目の15回の授業の予復修の目安時間は合計60時間です。				
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		20 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%			発表、質疑応答、討論、レポート、ゼミの論文作成などを行う。				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %			12 完成論文の発表 各自、論文を交代で発表し、討論を行う。 予復修課題：原稿の再修正や発表の予修と授業内容の復修。				
3.		%							
再評価の実施	する		しない		13 完成論文の発表 各自、論文を交代で発表し、討論を行う。 予復修課題：原稿の再修正や発表の予修と授業内容の復修。				
教科書	河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶応義塾大学出版会、2018年。				14 完成論文の発表 各自、論文を交代で発表し、討論を行う。 予復修課題：原稿の再修正や発表の予修と授業内容の復修。				
参考書	適宜紹介します。				15 まとめ 予復修課題：後期の自己評価と目標の確認。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)		2	1 授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談。 予復修課題：講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	本演習では、2年後期-3年次に自分の興味・関心のある企業あるいは特定の経営現象をテーマとして個人・グループでの研究を行ってきた。4年次では、就職活動および大学院進学などの進路に関する指導と並行して、3年後期から取り組んでいる「卒業論文」の作成が中心となる。卒論提出は4年後期の末(1月)になるが、可能な限り12月の学生研究報告会等での発表も目指してほしい。								
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 ・卒業論文の準備・作成を通じて企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する社会人レベルのレポートを作成することができる。 ・これまでの学習成果に基づいて、自分の意見・主張を卒業論文として、またプレゼンテーションの場において、論理的かつ主体的に述べることができる。 							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					3 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					4 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					5 卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題：教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・4年次の演習は、就職活動/大学院進学など卒業後の進路に関する活動が主となるが、そうした中でも卒業論文の執筆においては、授業以外での十分な自主的学習を望みたい。						
1. 小テスト、感想文など		%	・報告・論文作成のための資料収集にあたり図書館を十二分に使いこなす'ことができよう、普段から積極的に活用すること。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	・卒業論文の執筆およびその要旨に関するプレゼンテーション(中間報告)を行う。						
2. 論文、まとめのレポートなど		80 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	受講者の興味・関心(進路等)及び報告・論文作成の必要性をふまえて適宜指定。								
参考書	15 総まとめ ・個別キャリア面談。 予復修課題：卒業後の進路(就職活動の状況)をまとめておくこと。(予復修時間目安 90分)								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		森江 由美子 (MORIE Yumiko)		2	1 ガイダンス ゼミナール の進め方 予復修課題： 予修:シラバスを読んでくること。復修:配布レジュメを復修をすること。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 進学・就職指導 予復修課題： 研究内容をまとめていく。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	<p>本科目では、ゼミナール に引き続き、研究の指導および卒業後の進路に対する相談指導を行うとともに、社会人としてのルールやマナーをアドバイスします。 3年時の研究テーマをもとに研究を拡大深化させていき、ゼミ研究としてあるいは卒業研究として完成を目指します。 また、随時進学・就活支援を行いますので、積極的に取り組んでいきましょう。</p>								
授業到達目標	<p>論文の書き方を理解する。 ゼミ研究・卒業研究を完成させる。 プレゼンテーション能力を身につけることができる。 卒業後の進路を決定する。</p>								
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 5 進学・就職指導 予復修課題： 研究内容をまとめていく。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 6 進学・就職指導 予復修課題： 研究内容をまとめていく。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 7 進学・就職指導 予復修課題： 研究内容をまとめていく。				
成績評価の方法 (全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	疑問点は質問し早期に解決すること。 授業の予復修を約1時間おこなうと、一層理解が深まる。 研究を計画的に進めていくこと。 進路に向けた各自の課題に積極的に取り組んでいくこと。 相談・報告を随時行うこと。						
1. 小テスト、感想文など		%							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		10 %							
5. 授業への参加意欲		30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー (随時)						
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %	Think-Pair-Share						
3.		%	グループディスカッション						
再評価の実施		する	しない	グループワーク					
教科書	講義レジュメを使用する。								
参考書	別途指示する。								
					10 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 8 進学・就職指導 予復修課題： 研究プレゼン資料の修正を行う。				
					11 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 9 進学・就職指導 予復修課題： 研究プレゼン資料の修正を行う。				
					12 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 10 進学・就職指導 予復修課題： 研究プレゼン資料の修正を行う。				
					13 ゼミ研究・卒業研究 作成指導 11 進学・就職指導 予復修課題： 研究プレゼン資料の修正を行う。				
					14 研究報告会 進学・就職指導 予復修課題： 報告会用資料の作成・提出。				
					15 総括 進学・就職指導 予復修課題： 研究報告会の感想をまとめる。				

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**					
担当者	中山 伸介 (NAKAYAMA Shinsuke)			2	1	面談 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEL4201	2	面談 予復修課題：日経の各種ジャーナルを読む(温暖化)				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	4年生	開講学期	後期							
授業概要	環境・産業を主体とするゼミに配属された学生としての自覚を持つ。 地球環境とエネルギー問題の基礎を学ぶ。 エコ検定に対応できる知識を持つ。 グローバル社会に対応できる素養を身につけるために、幅広い内容の文献を輪読する。				3	SDGsについて(1) 貧困をなくそう、 飢餓をゼロに 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
授業到達目標	IS014001環境マネジメント内部監査員に相応しい素養を身に付ける。 地球環境問題を緩和するための政策の基礎を理解する。 地球環境問題を緩和するための技術の基礎を理解する。 環境に配慮する企業努力を理解する基礎的能力を身に付ける。 エコ検定に出題される最も基本的な知識を身に付ける。 世界の政治経済の動きを敏感に感じ取り環境の観点からそれに対して自分の意見が持てる。				4	SDGsについて(2) すべての人に健康と福祉を、 質の高い教育をみんなに 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				5	SDGsについて(3) ジェンダー平等を実現しよう、 安全な水とトイレを世界中に 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				6	SDGsについて(4) エネルギーをみんなに、そしてクリーンに、 働きがいも、経済成長も 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				7	SDGsについて(5) 産業と技術革新の基盤をつくろう、 人や国の不平等をなくそう 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				8	SDGsについて(6) 住み続けられるまちづくりを、 つくる責任、つかう責任 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
	成績評価の方法(全体で100%)				9	SDGsについて(7) 気候変動に具体的な対策を、 海の豊かさを守ろう 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
	履修における留意事項				10	SDGsについて(8) 陸の豊かさも守ろう、 平和と公正をすべての人に 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	時々、ミニテストを実施することがあるのもしっかりと復修すること。各授業ごとに1時間を目安に予復修をおこなうことを希望する。			11	SDGsについて(9) パートナーシップで目標を達成しよう 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
1. 小テスト、感想文など	20 %				12	社会人基礎力養成 面接練習、自己PRについて(1) 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
2. 中間テスト	%				13	社会人基礎力養成 面接練習、自己PRについて(2) 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
3. 課題レポートなどの提出物	10 %				14	社会人基礎力養成 面接練習、自己PRについて(3) 予復修課題：最新の日経ビジネスを読む				
4. 授業中の発表、討論	10 %				15	まとめ これまでの内容を振り返り、次期のゼミにいかす。 予復修課題：今期のゼミを振り返り、自分がどう変わったかを文章にする。				
5. 授業への参加意欲	50 %									
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %									
7.	%									
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 毎回、グループディスカッションを行う。								
1. まとめのテスト	%									
2. 論文、まとめのレポートなど	%									
3.	%									
再評価の実施	する	しない								
教科書	プリント配布									
参考書	各企業のCSR報告書									

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		大谷 美咲 (OTANI Misaki)		2	1 就職活動の進捗状況の確認と今後のスケジュール確認				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任		2 予復修課題：単位取得状況の確認と履修状況の確認をしておくこと、ゼミ論の作成			
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科	2 ゼミ論・卒論作成			
配当年次	4年生	開講学期	後期	(コース)区分*		3 予復修課題：資料収集と論文作成			
授業概要	現代社会で問題になっているテーマを中心として理解を深めます。				3 予復修課題：資料収集と論文作成				
	その他、公務員試験対策問題演習も行います。				4 ゼミ論・卒論作成				
授業到達目標	ゼミ論、卒論に取り組みます。				4 予復修課題：資料収集と論文作成				
	就職活動に必要な面接・作文指導を行います。				5 ゼミ論・卒論作成				
指定するテーマについて調べ、論点についてまとめることができるようになる。				5 予復修課題：資料収集と論文作成					
指定されたテーマについて討論できるようになる。				6 注釈・参考文献のつけ方					
その他、公務員試験対策問題に対応できるようになる。				6 予復修課題：参考文献の一覧表を作っておくこと					
8000字もしくは20000字の論文を作成する。				7 ゼミ論・卒論をもとに学生研究報告会の資料作成、ゼミ論卒論作成					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				7 予復修課題：資料収集と論文作成					
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 ゼミ論・卒論をもとに学生研究報告会の資料作成、ゼミ論卒論作成					
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 予復修課題：資料収集と論文作成					
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 ゼミ論・卒論をもとに学生研究報告会の資料作成、ゼミ論卒論作成					
成績評価の方法(全体で100%)				10 予復修課題：資料作成					
履修における留意事項				10 学生研究報告会参加					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	各学生の自主性を重んじます。		11 予復修課題：資料作成、発表準備 資料収集と論文作成				
1. 小テスト、感想文など		%	研究テーマに関しては、各学生の希望・進路に		11 ゼミ論・卒論作成				
2. 中間テスト		%	併せて自由に決定できるようにします。		12 予復修課題：資料収集と論文作成				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %	各自目標達成のための力を		12 ゼミ論・卒論作成				
4. 授業中の発表、討論		%	つけていきましょう。		13 予復修課題：資料収集と論文作成				
5. 授業への参加意欲		%	* 自宅学習時間は1時間以上とする。		13 ゼミ論・卒論作成				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			14 予復修課題：資料収集と論文作成				
7.		%			14 ゼミ論・卒論作成				
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー実施。		14 予復修課題：資料収集と論文作成				
2. 論文、まとめのレポートなど		80 %			15 予復修課題：資料収集と論文作成				
3.		%			15 学生生活の振り返り。今後の目標について。				
再評価の実施	する	しない			15 予復修課題：特になし。				
教科書	指定しない								
参考書	指定しない								

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		森部 昌広 (MORIBE Masahiro)		2	1 ガイダンス： 最後の合同活動報告会へ向けての 予復修課題：昨年度実績についてまとめておきましょう。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：グループ別に業務スケジュール表を作成しておきましょう。				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	本講義では就職内定または公務員合格を手中にするか、起業を実現するかを目標に「自己ブランディング」を進めます。社会が求める人材に共通する資質を養い、その上でしっかりと自分				3 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)				
	動を先読みすることや「最悪の状態を回避すること」について実践力を磨いていきます。ビジネス実務の現場は裏方の周到的な働きがあってこそ成立するものであることを、スポーツ関連の企業や社団法人の現役経営者として具体的な課題を与えて指導します。				4 グループワーク と個人面談 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)				
	授業に臨む真剣な姿勢を具体的な行動で示し、リーダーシップを発揮することができる。状況を判断しながら質問し、適宜指示を与える等のマネジメント力を発揮できる。他者の考えを傾聴し、自分の考えや行動を調整することができる。				5 イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)				
	自分のアイデアを他者に伝わるような資料にまとめてお手本を見せることができる。情報化社会に対する適応能力を発揮し、望ましい形で取り組みを発信することができる。イベント運営においてゼミ最上級生に相応しいパフォーマンスを発揮することができる。				6 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：グループ別に業務スケジュール表を作成しておきましょう。(約1.0時間)				
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)				7 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)				
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				8 グループワーク と個人面談 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)				
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				9 イベント について 遅滞なく作業を進めるために担当業務表と制作スケジュールを完成します。 予復修課題：全員の業務タスクと完成までのスケジュールを確認してください。(約1.0時間)				
	【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				10 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：グループ別に業務スケジュール表を作成しておきましょう。(約1.0時間)				
	成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
	1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では社会人即戦力としての具体的なスキルを何か二つ以上身に付けることを目標として取り組んでもらいます。そのためにイベント企画や運営を通じて下級生の取り組みを後方から支援する余裕を持って目を光らせてください。学外でのイベントに関わる上で本学生の最後の砦として責任ある行動を心がけてください。過去最高の成果を報告してもらいます。					
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ゼミナール入門から一貫して取り組んできたPBLの集大成となります。就職活動と並行してできるゼミ活動の支援方法を考えて取り組んでいきます。						
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		20 %							
4. 授業中の発表、討論		20 %							
5. 授業への参加意欲		20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %							
7. 学習の進捗報告		%							
2) 最終到達度の評価									
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	使用しない。								
参考書	授業時間内において必要に応じて適宜指示する。								
				11 グループワーク と個人面談 それぞれのグループに分かれて担当業務を行います。 予復修課題：自分の役割を考慮して業務マニュアル原本を書いてみましょう(約1.0時間)					
				12 グループワーク と個人面談 集められた課題を共有しプライオリティを決定します。 予復修課題：自分が担当する業務のポイントについてまとめてください。(約1.0時間)					
				13 報告会準備 1人10分でプレゼンテーションをします。 予復修課題：発表者へのフィードバックシートを完成させてください。(0.5時間)					
				14 報告会準備 リハーサル 予復修課題：本番を予測した課題を具体的に書き出します。(0.5時間)					
				15 総括：後期で関わった全てのイベントを振り返ります。どのような気づきや学びがあったでしょうか。 予復修課題：自己評価シートをPowerPointにまとめて提出してください。(1.0時間)					

* 領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		入江 雅仁 (IRIE Masahito)		2	専任				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201					
授業形式		演習		科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科		
配当年次		4年生		開講学期	後期	(コース)区分*			
授業概要	就職活動および公務員試験などに関する理解を深めるだけでなく、それらに対する対策演習を行っていきます。また、就職試験対策などの演習を実施することで、報告慣れするとともにプレゼンテーション能力を高めてもらいます。なお、必要に応じて、個別面談や履歴書等の指導を行います。								
	卒業論文を執筆・報告してもらいます。また、各自の研究に応じた分析方法などを実践してその結果をまとめてもらいます。なお、必要に応じて、個別指導を行います。								
授業到達目標	就職活動などで必要なコミュニケーション能力を実践できるようにする 就職活動の情報などを適切に分析・判断できる能力を身につける 社会の問題点を見出し、それに対する解決方法を提案できるだけでなく実践力を習得する。 卒業論文に向けた課題を探すとともに、資料収集の方法を習得する。 研究計画書の作成方法を習得し、分析手法などを身につけて実践する。 卒業論文を完成させるだけでなく、研究報告書を作成する能力を身につける。								
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					1 履修確認と卒業研究・就職活動の状況確認 取得単位数と履修科目を確認し、研究・就職活動状況を把握する。 予復修課題：取得単位数を確認しておくこと。また、研究・就職活動状況を整理しておくこと。(予修:2時間)				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					2 前期の活動実績と反省 前期の研究・就職活動を振り返り、改善点をまとめて報告する。 予復修課題：前期の振り返りと改善点をまとめておくこと。(予修:3時間)				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					3 卒業研究の進捗状況などを確認し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：卒業研究の執筆を行い、添削指導などの点などを修正しておくこと。(予修:4~5時間)				
成績評価の方法(全体で100%)					卒業研究の中間報告と個別指導(1) 卒業研究の執筆状況などを提出・報告し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：卒業研究の執筆を行うとともに、卒業研究の中間報告書を準備しておくこと。(予修:4~5時間)				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		7 就職活動の報告 就職活動の状況について報告してもらい、就職関連指導を行う。 予復修課題：就職活動の状況を整理し、質問された事項などをまとめておくこと。(予修4~5時間)					
1. 小テスト、感想文など		15 %		8 卒業研究の最終報告と討論(1) 卒業研究の執筆状況などを提出・報告し、討論や添削指導を行う。 予復修課題：卒業研究の執筆を行うとともに、卒業研究の最終報告書を準備しておくこと。(予修:4~5時間)					
2. 中間テスト		%		9 卒業研究の最終報告と討論(2) 卒業研究の執筆状況などを提出・報告し、討論や添削指導を行う。 予復修課題：卒業研究の執筆を行うとともに、卒業研究の最終報告書を準備しておくこと。(予修:4~5時間)					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %		10 卒業研究の修正と個別指導(1) 修正した卒業研究を提出・報告し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：討論や添削指導から変更した点をまとめて、卒業研究を修正しておくこと。(予修:4~5時間)					
4. 授業中の発表、討論		10 %		11 卒業研究の修正と個別指導(2) 修正した卒業研究を提出・報告し、添削や就職関連指導を行う。 予復修課題：討論や添削指導から変更した点をまとめて、卒業研究を修正しておくこと。(予修:4~5時間)					
5. 授業への参加意欲		5 %		12 卒業研究の反省と発展(1) 卒業研究を完成させるとともに、卒業研究の反省点などを研究ノートにまとめる。 予復修課題：卒業研究を完成させ、研究ノートに反省点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%		13 卒業研究の反省と発展(2) 卒業研究を完成させるとともに、卒業研究の反省点などを研究ノートにまとめる。 予復修課題：卒業研究を完成させ、研究ノートに反省点などをまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
7.		%		14 就職活動の反省と発展 就職活動を振り返り、今後の生活で改善していきたい点などを整理・報告する。 予復修課題：就職活動の活動実績をまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
2) 最終到達度の評価				15 まとめ 研究・就職活動を振り返り、研究・就職報告書を作成する。 予復修課題：これまでの活動を振り返り、それらを文章にまとめておくこと。(予修:4~5時間)					
1. まとめのテスト		%		再評価の実施					
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %		する		しない			
3.		%		教科書 使用しない。					
再評価の実施		する		しない				参考書 配布資料に記載予定。	
教科書		使用しない。							
参考書		配布資料に記載予定。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar		単位数	授業内容**				
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)		2	1 ガイダンス 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEL4201	2 論文作成指導と就職活動支援(1) 節ごとに執筆 予復修課題：節ごとに執筆してくる				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期	(コース)区分*					
授業概要	ビジネスパーソンに必要なスキルとして簿記があります。ビジネスランゲージともいわれる会計情報を読み取るためにも、その基礎である簿記を学ぶことはとても大切なことです。社会人に必要な情報を集め、就職活動へと繋げていきましょう。またインプット・アウトプットの仕方について学びながら、経営分析についても学びます。				3 論文作成指導と就職活動支援(2) 節ごとに執筆 予復修課題：節ごとに執筆してくる				
授業到達目標	1. 簿記の基本を理解し、記帳することができる。 2. 財務諸表に記載されている各項目が理解できる。 3. 財務諸表が作成できる。 4. 貸借対照表が分析できる。 5. 損益計算書が分析できる。 6. 論文が作成できる。				4 論文一時提出 予復修課題：第4回を目的に論文を作成してくる				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)									
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					5 論文作成指導と就職活動支援(4) 論文の作成と追加関連書籍の調査 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					6 論文作成指導と就職活動支援(5) 論文の作成と先行研究論文の調査 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					7 論文作成指導と就職活動支援(6) 論文の作成と先行研究論文の調査 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				
成績評価の方法(全体で100%)					履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	特に時間が指定されていなければ120分以上予復修すること。 剽窃は絶対に許されない。 毎回出席および進行状況報告を行うこと						
1. 小テスト、感想文など		20 %							
2. 中間テスト		%							
3. 課題レポートなどの提出物		%							
4. 授業中の発表、討論		40 %							
5. 授業への参加意欲		40 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
7.		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		%	グループ(ペア)ワーク(第2回から第14回)						
2. 論文、まとめのレポートなど		%	プレゼンテーション(第15回)						
3.		%	ワークショップ(第2回から第14回)						
再評価の実施	する	しない							
教科書									
参考書									
					15 論文発表会 予復修課題：授業の進展に応じて指示を行う。				

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール Seminar				単位数	授業内容**			
担当者		澤田 和英 (SAWADA Kazuhide)				2	専任			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EEL4201				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科					
配当年次	4年生	開講学期	後期							
授業概要	就職活動中の学生は、内定を目指してパフォーマンスを高めることに専念する。 4年間の大学生活、3年間のゼミ活動の集大成として、報告書の仕上げと スポーツビジネスコースの縦のつながりを意識した引継ぎマニュアルの作成を行う。 今後の社会人としての第一歩を踏み出す準備を行う。					3	大学祭イベントの企画 イベントの企画についての実習を行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
授業到達目標	先輩にスポーツビジネス領域(ゼミ)の活動を引き継ぐことができる 自分のこれまでの大学生活、ゼミ活動をまとめることができる 社会人としての生活の準備ができる					4	大学祭イベントの計画 イベントの計画についての実習を行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						5	大学祭イベントの準備 イベントの準備を開始する 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						6	大学祭イベントの準備 イベントの準備を具体化する 予復修課題：各自の分担に基づいてモレがないかチェックする			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						7	大学祭イベントの実施 研究報告会および外部プレゼンテーション大会への準備 予復修課題：3年生とも連動できるようにコミュニケーションを図る			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						8	大学祭イベントの反省 実施結果について反省会を行う 予復修課題：定量的、定性的なレビュー案を用意する			
成績評価の方法(全体で100%)						9	ゼミ内プレゼンテーションの準備 一年間の活動についてプレゼンできる準備を行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
履修における留意事項						10	ゼミ内プレゼンテーションの準備 一年間の活動についてプレゼンできる準備を行う 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	4年間のまとめを心置きなく行いましょう。			11	ゼミ内プレゼンテーション大会の実施 3年間のゼミ活動を通じた報告書の作成と下級生への引継ぎ 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
1. 小テスト、感想文など		%	毎回120分程度の活動時間を確保して下さい			12	引継ぎマニュアルの作成 3年間のゼミ活動を通じた報告書の作成と下級生への引継ぎ 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
2. 中間テスト		%				13	引継ぎマニュアルの作成 3年間のゼミ活動を通じた報告書の作成と下級生への引継ぎ 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
3. 課題レポートなどの提出物		30%				14	活動報告会 活動報告会の開催 予復修課題：各自与えられた課題(プロジェクト)を進める			
4. 授業中の発表、討論		30%				15	まとめ 4年間の学生生活について各自でまとめる 予復修課題：まとめの確認をする			
5. 授業への参加意欲		30%								
6. 自主的学習(予習・復習など)		10%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価							アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	[第7回] イベント実施							
2. 論文、まとめのレポートなど		%	[第11回] プレゼンテーション							
3.		%	[第14回] 活動報告会							
再評価の実施	する	しない								
教科書										
参考書										

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**		
担当者		黄 冬柏 (HUANG Dongbai)				2	専任		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング EEL4201							
授業形式		演習		科目区分 セミナール科目群		学科・領域 経済・経営学科			
配当年次		4年生		開講学期 後期		(コース)区分*			
授業概要		ヒト、モノ、カネ、情報が容易に国境を越えて移動するグローバル化という現象は、世界に大きな影響を及ぼし始めている。グローバル化は経済だけでなくあらゆる分野に変化を求めている。 本演習では母国を離れて生活する留学生の皆さんが、日本の経済や文化などを多角的かつ客観的に検証しながら、母国と比較して考えていく。						1	ガイダンス 演習の内容と進め方 予復修課題： シラバスを読んでおくこと。発表課題を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
授業到達目標		グローバル化が、広い視野に立って考えなければならない現象であるということを理解できる。 また、グローバル化に対応できるため、自分が最も関心のある専門分野だけでなく、外国語や外国の文化などにも関心を持ち、学習の幅を広げることができる。						2	履修確認と演習発表の準備 発表課題について、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								3	課題発表とディスカッション(1) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								4	課題発表とディスカッション(2) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								5	課題発表とディスカッション(3) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								6	課題発表とディスカッション(4) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						7	課題発表とディスカッション(5) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
1) 授業到達目標への到達努力の評価 評価割合		演習の発表やレポートなど、日常の学習が非常に大切なので、必ず予修と復修を行うこと。 授業中は、積極的にディスカッションに参加すること。						8	課題発表とディスカッション(6) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
1. 小テスト、感想文など								9	課題発表とディスカッション(7) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
2. 中間テスト								10	課題発表とディスカッション(8) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
3. 課題レポートなどの提出物								11	課題発表とディスカッション(9) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
4. 授業中の発表、討論 30 %								12	課題発表とディスカッション(10) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
5. 授業への参加意欲 30 %								13	課題発表とディスカッション(11) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
6. 自主的学習(予習・復習など) 10 %								14	課題発表とディスカッション(12) 担当者の発表、教員の解説、受講者全員によるディスカッションを行う。 予復修課題： 配布資料を熟読し、次回の内容を調べてくること。予復修の目安時間：各120分。
7. %								15	まとめ 内容の総括と質疑応答を行った後、課題レポートを課す。 予復修課題： 全部の配付資料の整理と復習を行ってレポートを書くこと。予復修の目安時間：各120分。
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト		・ミニッツペーパー：第1回・第7回・第13回							
2. 論文、まとめのレポートなど 30 %		・プレゼンテーション：第5回・第8回・第12回							
3.		・グループディスカッション：第2回～第14回							
再評価の実施		する しない							
教科書		プリントや資料などを配布する。							
参考書		別途指示する。							

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**	
担当者		遠藤 哲広 (ENDOU Tetsuhiro)				2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング EEL4201				専任	2 スミス、マルクス、シュンペーター 予復修課題：スミスについて。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科			
配当年次	4年生	開講学期	後期					
授業概要	現代経済の流れを大きく理解する。 経済の専門用語を理解する。 アダム・スミス、マルクス、シュンペーターに関心を持ち、その考え方を理解する。							
	授業到達目標	1 経済の動きについて過去から現在へ説明できる。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。					
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。					
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		50 %						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書								
								15 予復修課題：どんな時代が来るか。

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	ゼミナール 編入留学生用 Seminar				単位数	授業内容**			
担当者	末木 将史 (SUEKI Masachika)				2	専任			
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEL4201				
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科				
配当年次	4年生	開講学期	後期						
授業概要	これまでのゼミ ~ までの総まとめとプロジェクトの最終的なドキュメンテーションをします。 会社実務経験に基づくプロジェクト運営の実際を指導します。					1 ガイダンス ゼミの内容と方針、進め方について、シラバスに基づき説明します。 予復修課題：予)ゼミ でのドキュメントを整理してきてください。			
授業到達目標	普遍的なロジカル・シンキングの方法論、アプローチを体得する。 必要十分な説明資料・ドキュメントの作成ができる。					2 ロジカル・シンキングの復修 教科書、 の復修をします。 予復修課題：予)教科書 の第1~4章と、教科書 の第1~3章を読んできてください。			
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						3 各自のプロジェクトの再検討 ゼミ で学んだこと、これからすべきこと (To Do) を再検討します。 予復修課題：復)教科書の内容を踏まえ、これからすべきことを計画してきてください。			
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						4 各自のプロジェクトの計画 To Do を基に計画書を作成します。 予復修課題：復)計画書の修正・拡張とスケジュール (Open Project) をGDにULしてきてください。			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						5 各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						6 各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
成績評価の方法 (全体で100%)						7 各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
履修における留意事項						8 各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	準備すべきツール (PCやソフトウェア/アプリ) はゼミ を参照してください。 予復修時間の目安は、2時間程度です。			9 各自のプロジェクト実施 計画書に基づいてプロジェクトを進捗させます。 予復修課題：復)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
1. 小テスト、感想文など		%				10 中間まとめ これまでの進捗について発表し、ディスカッションします。 予復修課題：予)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
2. 中間テスト		%				11 ドキュメント作成 今まで作成したドキュメントを整理し、最終版を作成します。 予復修課題：予)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				12 ドキュメント作成 今まで作成したドキュメントを整理し、最終版を作成します。 予復修課題：予)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
4. 授業中の発表、討論		30 %				13 ドキュメント作成 今まで作成したドキュメントを整理し、最終版を作成します。 予復修課題：予)ドキュメントを修正・拡張してGDにULしてきてください。			
5. 授業への参加意欲		30 %				14 ドキュメント完成 今まで作成したドキュメントを整理して、完成させます。 予復修課題：予)上記のドキュメントをGDにULしてきてください。			
6. 自主的学習 (予習・復習など)		20 %				15 まとめ準備 これまでに学んだこと、実行したことをまとめます。 予復修課題：予)第13回までに作成したドキュメントと、第14回で作成したドキュメントを準備してきて			
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング ・討論には全員参加です。口頭での発言か、オンライン上での発言のいずれかは必ず求めます。						
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		%							
3.		%							
再評価の実施	する	しない							
教科書	奥村隆一 『自分の考えをまとめる技術』、中経出版、2012								
参考書	平井孝志、渡部高士 『ロジカル・シンキング』、日本経済新聞社、2012								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ゼミナール 編入留学生用 Seminar			単位数	授業内容**	
担当者		石坂 庸祐 (ISHIZAKA Yousuke)			2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEL4201		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科		
配当年次	4年生	開講学期	後期				
授業概要	本演習では、3年次より自分の興味・関心のある企業あるいは特定の経営現象に関するテーマについて個人・グループでの研究を行ってきた。4年次では、就職活動および大学院進学などの進路に関する指導と並行して、3年後期から取り組んでいる「卒業論文」の作成が中心となる。卒論提出は4年後期の末(1月)になるが、可能な限り12月の学生研究報告会等での発表も目指してほしい。						
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 新聞・雑誌記事等に掲載された企業行動事例について、その理由・ポイントを適切に説明することができる。 卒業論文の準備・作成を通じて企業のケース研究、またはそれに基づく特定の企業行動に関する社会人レベルのレポートを作成することができる。 これまでの学習成果に基づいて、自分の意見・主張を卒業論文として、またプレゼンテーションの場において、論理的かつ主体的に述べるができる。 					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> 4年次の演習は、就職活動/大学院進学など卒業後の進路に関する活動が主となるが、そうした中でも卒業論文の執筆においては、授業以外での十分な自主的学習を望みたい。 報告・論文作成のための資料収集にあたり図書館を十二分に使いこなす'ことができよう、普段から積極的に活用すること。 				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	卒業論文の執筆およびその要旨に関するプレゼンテーション(中間報告)を行う。				
2. 論文、まとめのレポートなど		80 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	受講者の興味・関心(進路等)及び報告・論文作成の必要性をふまえて適宜指定。						
参考書							
1	授業の内容・進行方法の説明 ・演習の進め方/行事予定等に関する説明/個別キャリア面談 予復修課題: 講義内容・評価に関するシラバスの内容をよく読んでおくこと。(予復修時間目安 90分)						
2	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
3	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
4	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
5	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
6	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
7	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
8	学生研究報告会への参加 授業時間の変更&日程の変更の可能性アリ。 ・発表者および聴講者(2, 3年生の指導含む)として参加。 予復修課題: 発表者以外(聴講者)は、指定された課題を提出すること。(予復修時間目安 90分)						
9	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
10	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
11	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
12	卒業論文の作成 ・各自卒業論文の執筆計画に従って作業を進める。 予復修課題: 教員と適宜話し合いの上、各自準備を進めること。(予復修時間目安 90分)						
13	卒業論文の最終報告(発表) ・各自卒業論文の概要(レジュメ)をもとに発表を行う。 予復修課題: 報告用レジュメ、プレゼンテーションの準備をしっかりと行うこと。(予復修時間目安 90分)						
14	卒業論文の最終報告(発表) ・各自卒業論文の概要(レジュメ)をもとに発表を行う。 予復修課題: 報告用レジュメ、プレゼンテーションの準備をしっかりと行うこと。(予復修時間目安 90分)						
15	総まとめ ・個別キャリア面談 予復修課題: 卒業後の進路(就職活動の状況)をまとめておくこと。(予復修時間目安 90分)						

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		プログラミング論 再履修用 Computer Programming			単位数	授業内容**				
担当者		三原 徹治 (MIHARA Tetsuji)			2	1 授業方法, 評価方法などの全体説明 予復修課題: 【予修】シラバスの熟読 【復修】履修を継続するか否かを真剣に考えて履修登録				
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			専任	2 種々のプログラム言語 コンピュータとプログラム, 種々のプログラム言語 予復修課題: 【予修】プログラムとは 【復修】種々のプログラム言語				
授業形式	講義・実習	科目区分	旧・コース科目	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	旧会				
配当年次	3年生	開講学期	前期							
授業概要	コンピュータによる情報処理についての真の能力が求められる実力社会では, 市販ソフトを活用する技術に加えて解決すべき問題について問題解析能力・アルゴリズム構成能力・プログラミング能力が求められる. 本講義では, 種々のプログラム言語の概要, 問題分析とアルゴリズム全般について基礎的事項を学習したうえで, 簡易プログラム言語Spread Sheetによる具体的な問題解決手法について学習する.									
	授業到達目標	1. 任意の2つ以上のプログラム言語の概要について説明することができる. 2. 比較的簡単な問題の70%以上について, 問題分析し, その解法アルゴリズムを構築することができる. 3. 簡易プログラミング言語Spread Sheetを用いて比較的簡単な問題の60%以上を解決することができる.								
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)										
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ, 経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し, 専門知識と技能を身につけている.										
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養, および専門分野の知識・技能を用いて, 職業人として適切な企画・計画力, 的確な判断力を有し, それらを実践できる力を身につけている. また, 知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし, 自ら課題を解決する力, 論理的に表現できる力を身につけている.										
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として, 自らを律し, 主体的に物事を考え, 自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている. また, 地域および国際社会の一員として, 自ら進んで他者と協働し, 社会貢献できる力を身につけている.										
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項							
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・予・復修にPCが必要な場合がある. 個人所有PCがないひとは, 大学PC教室を利用して予・復修に努めてもらいたい. ・予・復修に必要な情報は, ユニバーサルパスポートに掲載するので, 活用してもらいたい. ・予修・復修の時間の目安は, それぞれ2時間である.							
1. 小テスト, 感想文など		30 %	アクティブ・ラーニング ・ミニッツペーパー【毎回】 ・予告なし小テスト【2~7回】 ・課題ファイル【14回】							
2. 中間テスト		%								
3. 課題レポートなどの提出物		50 %								
4. 授業中の発表, 討論		%								
5. 授業への参加意欲		20 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		%								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめのテスト		%								
2. 論文, まとめのレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施	する	しない								
教科書	使用しない(配布資料)									
参考書										
					15 授業全体のまとめ 予復修課題: 【予修】授業到達目標に関する自己評価					

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので, 授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		国際・地域特講 A【地域共同体】 Special Lecture				単位数	授業内容**	
担当者		遠藤 哲広 (ENDO Tetsuhiro)				2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 共同体の基礎理論 予復修課題：共同体とは何か。	
授業形式	講義	科目区分	コース科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	旧国	3 共同体の歴史的生成 予復修課題：共同体の特徴について。	
配当年次	2年生	開講学期	前期				4 共同体の特質について 予復修課題：共同体の内と外について。	
授業概要	地域共同体とは何か歴史的に学ぶ。 また、市場経済、貨幣経済との関連を学ぶ。 現代において、地域共同体について考える意義は何か考える。							5 農村共同体について 予復修課題：昔の農村について考える。
	共同体とはなにか、説明できる。 共同体の現代的意義について説明できる。							6 市場経済とは何か。 予復修課題：市場とは何か理解する。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							7 市場経済の浸透で起きることについて考える。 予復修課題：経済の発展は何をもたらすか考える。
	【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							8 市場経済の進展、グローバル化について考える。 予復修課題：グローバル化は何をもたらすか、考える。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							9 市場経済の進展と共同体について 予復修課題：共同体の変化について考える。	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							10 機能集団と共同体について 予復修課題：集団の違いについて考える。	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				11 組織の特質について 予復修課題：組織の特徴を考える。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。				12 機能集団の共同体化について 予復修課題：組織の問題を考える。	
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。				13 グローバル経済化の共同体について 予復修課題：カルト的共同体について考える。	
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		50 %						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				14 現代のカルト集団について考える。 予復修課題：カルトについて考える。	
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパーは毎回行う予定。				15 まとめのレポート 予復修課題：どんな時代が来るか。	
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書								

*領域(コース)区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		国際・地域特講 B【リカード貿易論】 Special Lecture				単位数	授業内容**	
担当者		遠藤 哲広 (ENDO Tetsuhiro)				2	1 ガイダンス、世の中の動き 予復修課題：政治経済に関すること。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 アダム・スミスの自由経済論について 予復修課題：スミスの考えたことを知る。	
授業形式	講義	科目区分	コース科目群	学科・領域 (コース)区分*	経済・経営学科	旧国	3 自由経済肯定論の理論を学ぶ。 予復修課題：自由経済とは何か。	
配当年次	2年生	開講学期	後期				4 重商主義と古典派自由経済論。 予復修課題：スミスがなぜ、重商主義を批判したか知る。	
授業概要	自由貿易について、賛成論と反対論を学ぶ。 リカードがどのような論拠で、自由貿易を肯定しているか、理解する。							5 スミスの自由貿易論について 予復修課題：スミスの考えを知る。
	自由貿易の是非について説明できる。							6 リストの異論 予復修課題：スミスとリストの考え方の違いを知る。
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							7 ドイツ歴史学派とイギリス古典派。 予復修課題：歴史的状況と理論について。
	【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学 2 領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							8 リカードの自由貿易論 予復修課題：スミスを受け継ぐリカードについて知る。
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							9 リカード穀物法批判について 予復修課題：リカードの時代について知る。	
【主体性・協働性】 経済・生産活動の担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							10 マルサスの農業保護論について 予復修課題：マルサスの考えを知る。	
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				11 穀物法と古典派経済学者たち。 予復修課題：穀物法とは何か知る。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	課題レポートの提出は期限厳守。				12 リカードの自由貿易論、比較生産費説。 予復修課題：リカードの理論を詳しく知る。	
1. 小テスト、感想文など		%	各授業の予復修課題に必要な時間は、平均4時間程度です。				13 リカードのマルサス批判 予復修課題：マルサスの保護主義を知る。	
2. 中間テスト		%					14 マルサス農業保護論と、リカードの批判について 予復修課題：農業保護論批判を知る。	
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					15 まとめのレポート 予復修課題：自由貿易と保護主義について知る。	
4. 授業中の発表、討論		50 %						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング ミニッツペーパーは毎回行う予定。					
1. まとめのテスト		%						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書								
参考書								

* 領域 (コース) 区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

地域創造学科 専門教育科目

《地域創造学科 専門教育科目の教育目標》

【知識・技能】

学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。

【主体性・協働性】

地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。

《卒業に要する単位》

2019～2020年度入学生

履修区分	最低修得単位数		要卒単位数
コア科目群	必修6単位	12単位以上	76単位
地域創造基礎科目群	必修16単位	26単位以上	
コース科目群		18単位以上	
実践科目群	必修4単位	4単位以上	
ゼミナール科目群	必修16単位		

シラバス一覧 F 《 地域創造学科 専門教育科目 》

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載ページ	
コア科目群	経営学概論	1	前	478	
	経済学概論	1	後	479	
	統計学入門	2	前	480	
	統計学	2	後	481	
	マクロ経済学	2	後	482	
	ミクロ経済学	2	後	483	
	日本経済史	2	後	484	
地域創造基礎科目群	KKU北九州学	1	前	485	
	簿記入門	1	前	486	
	簿記入門演習	1	前	487	
	初級簿記	1	後	488	
	初級簿記演習	1	後	489	
	地域貢献概論	1	後	490	
	地域のまちづくり入門	2	前	491	
	民法	2	前	492	
	人口学	2	前	493	
	社会調査法	2	前	494	
	ビジネスとICT	2	後	495	
	社会調査法演習	2	後	496	
	おもてなし総論	3	前		
	地域経済論	3	前		
	質的調査法	3	前		
	地域協働論	3	後		
	ソーシャルビジネス論	3	後		
コース科目群	社会貢献コース科目	財政学	2	後	497
		地域のまちづくり	2	後	498
		地域環境政策論	3	前	
		行政法	3	前	
		地方自治体の財政	3	前	
		公共経済学	3	前	
		地域の教育と文化	3	後	
		地域リーダー育成演習	3	後	
		社会保障論	3	後	
		経済政策	4	前	
		地域の健康福祉	4	後	

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載ページ	
コース科目群	地域経済コース科目	会社法	2	前	499
		経済史	2	後	500
		経営管理論	3	前	
		金融論	3	前	
		流通管理論	3	前	
		事業創造論	3	前	
		経営戦略論	3	後	
		マーケティング論	3	後	
		事業創造演習	3	後	
		ゲーム理論	4	前	
経営組織論	4	後			
実践科目群	地域創造実習Ⅰ	1	前	501-504	
	地域創造実習Ⅱ	1	後	505-508	
	地域創造実習Ⅲ	2	前	509-512	
	地域創造実習Ⅳ	2	後	513-516	
	地域創造実習Ⅴ	3	前		
	地域創造実習Ⅵ	3	後		
	地域調査実習Ⅰ	4	前		
	地域調査実習Ⅱ	4	後		
	地域ワークショップ	2-4	集中	517	
	職業研修A	2-4	集中	518	
	職業研修B	2-4	集中	519	
	チャレンジA	2	前期前半	520-522	
	チャレンジB	2	前期後半	523-525	
チャレンジC	2	後期前半	526-528		
チャレンジD	2	後期後半	529-531		
海外地域学研修	2-4	集中	532		
ゼミナール科目群	地域創造ゼミナールⅠ	1	前	533	
	地域創造ゼミナールⅡ	1	後	534	
	地域創造ゼミナールⅢ	2	前	535	
	地域創造ゼミナールⅣ	2	後	536	
	地域創造ゼミナールⅤ	3	前		
	地域創造ゼミナールⅥ	3	後		
	地域創造ゼミナールⅦ	4	前後		

授業科目名 (Subject)		経営学概論 Introduction to Management		単位数	授業内容**	
担当者		池内 秀己 (IKENOUCHI Hideki)		2	1 【1】a「現代社会と経営学」 経営学の対象と方法、課題、現代的意義 予復修課題：教科書(『企業論』序章、『ひとりで学べる経営学』第1・2章)・配付資料の確認・熟読	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		ERH1101	2 【1】b「現代社会と経営学」(事例) 生活すべてが"Amazon化!?" ~ 巨大IT企業の光と影~ 予復修課題：NHK『クローズアップ現代』 http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4137/index.html	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース
配当年次	1年生	開講学期	前期			
授業概要	企業(営利経営)を中心に、政府・官庁・学校・病院・軍隊・労組・スポーツチーム・文化団体など様々な組織体(非営利経営)の「組織と管理」を研究対象とする経営学は、現代社会を支えるだけでなく、地域の振興とその担い手である人材の育成にも不可欠の学問である。本講義では現代の決定的制度である企業の社会的な重要性に注目し、企業経営を中心として経営学の基礎的な知識・理論を学んでいくが、そこでの学修は非営利経営にも応用可能である。経営学の習得は、地域創造学科での4年間の学びにとって有効な土台となるであろう。					3 【2】a「現代企業の諸相(1)」 経済学・経営学における企業観、6つの企業観 予復修課題：教科書(『企業論』序章、『ひとりで学べる経営学』第2章)・配付資料の確認・熟読
授業到達目標	経済学部、地域創造学科の学生にとって必要な、経営学の基礎知識・理論を習得すること。その過程で、「経営学の視点から、現代企業・現代社会を見る目」を養うこと。同時に「地域創造について考えられる」ようになること。様々な問題に対して、経営学によって「自分で、ものを考えられる」ようになること。経営学の知識・理論を、地域創造学科での専門的な学修(PBLを含む)に活用できるようにすること。					4 【2】b「現代企業の諸相(2)」 企業の諸形態、株式会社の機能と構造 予復修課題：教科書(『企業論』第2章、『ひとりで学べる経営学』第2章)・配付資料の確認・熟読
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	(1)「授業到達目標」の達成度を成績評価の基準とします。(2)大学設置基準では、1単位の修得に必要な学修時間は45時間(講義の場合、授業15時間、予修・復修30時間)と定められています。授業内容を理解するために「予復修課題」に示した教科書・配付資料を事前・事後に熟読して下さい。その過程で生じた疑問や異見は、授業担当者(池内)に質問して下さい。			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		60%	毎回提出のミニッツペーパーにより、学生の関心・理解度・授業に取り組む姿勢を確認します。ミニッツペーパーに記載された意見			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	質問・感想を、次の授業内で活用します。			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	三戸・池内・勝部『企業論(第4版)』有斐閣アルマ、2018年、ISBN9784641221192					15 【5】「総括」 グローバル社会/地域社会と21世紀の企業像 予復修課題：教科書(『企業論』第3・4・6章、『ひとりで学べる経営学』第5・6章)・配付資料の確認・熟読
参考書	三戸・池内・勝部『ひとりで学べる経営学(補訂版)』文真堂、2012年、ISBN9784830947698					

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済学概論 Introduction to Economics				単位数	授業内容**	
担当者		甘 長青 (KAN Chousei)				2	1 Part1 経済とは何か(経済活動は財・サービスの生産、分配、消費の連続) Work1 経済活動とは何か、Work2 消費とは何か(テキスト12-19頁) 予復修課題: 日々の生活を連想し経済の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 Part1 経済とは何か(労働、土地、資本からなる生産の三要素の関係性) Work3 生産とは何か、Work4 資本とは何か(テキスト20-27頁) 予復修課題: 企業活動を連想し生産や資本の概念を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間	
授業形式		講義	科目区分	コア科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	
配当年次		1年生		開講学期	後期			
授業概要		高校時代に「現代社会」や「政治・経済」を履修していても、経済学部に進学してですら経済または経済学に興味を示さない学生が少なくない。こうした状況を踏まえれば、経済学を学ぶには、まず経済学特有の言葉に慣れ親しむことから始め、その後により現実の経済に則した題材を基に社会の経済現象から経済学のロジックを学んでいった方が効果的であろう。この学習プロセスを実現するために、調査、分析、比較、発表等といった側面から深く理解できるようにし、ディスカッションなどのアクティブ・ラーニング手法も体得させていく計画である。						
授業到達目標		世の中の経済的な動きに深い関心を持ち、経済学特有の言葉とはどのようなものなのかを知り、およその経済現象を自分の言葉で説明できる。また、このコア科目の受講により、2年次以降の経済専門教育科目を理解するための橋渡しとすることができ、より高い次元の経済リテラシーを身に付けることができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	日々の日本経済、世界経済の動きを知るために新聞やテレビなどのマスコミを通じ、世の中の経済現象のおよそのトレンドを把握することを求める。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		40 %						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		60 %	学習効果を高めるために、中間テスト[第8回]を実施し、翌日に解説する。また、「work shop」[第8回、第15回以外の回]を導入し、「work」で選んだテーマを掘り下げて考える。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施		する	しない					
教科書		山田久ほか『Primary大学テキスト これだけはおさえたい経済学』実教出版、2014年						
参考書								
		11 Part3 経済の大きさを測る(生産、支出、分配の三側面から見た経済規模) Work5 経済の三面等価の原理、Work6 物価とは何か(テキスト84-91頁) 予復修課題: 生産・支出・分配の経済活動三側面を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間						
		12 Part3 経済の大きさを測る(1ドル=100円 110円は円高?円高と輸出入の関係) Work7 為替レートとは(テキスト92-95頁)、円高と景気(ディスカッション) 予復修課題: 円高・円安と対外貿易・景気の関係は?テキストを予修する目安時間:2時間						
		13 Part4 政府の役割を知る(大きな政府、小さな政府、政府・企業・家計の役割分担) Work1 政府の役割、work2 社会保障政策(テキスト98-105頁) 予復修課題: 経済や、我々の生活と政府の関係を理解する。テキストを予修する目安時間:2時間						
		14 Part4 政府の役割を知る(生活保護の財源、消費税引き上げ、政府債務残高など) Work3 財政政策、Work4 租税政策、Work5 日本の借金(テキスト106-117頁) 予復修課題: 増・減税と政府債務の関係はどうなっている?テキストを予修する目安時間:2時間						
		15 まとめのテストおよび講義の総括(残された課題など) 予復修課題: 1~14回の授業内容を総復修する目安時間:2時間						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		統計学入門 Introductory Statistics				単位数	授業内容**	
担当者		木村 美奈子 (KIMURA Minako)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング ERH2101						
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	前期					
授業概要	統計学の基礎的、標準的手法について解説する。なるべく数式を用いず考え方を大切にしたい。講義にする。例題を多く取り入れ、コンピュータを使った演習を行う。							
	授業到達目標 ・統計学の基本的な知識を学び、考え方を理解できる。 ・データの種類とそれぞれの取り扱い方について理解できる。 ・コンピュータを用いて、データの処理、分析ができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・毎時間、講義+演習を行う。 ・演習時には、グループごとの学習活動を予定 ・予復修は、概ね各45分程度の自学自習の課題を与える。 ・評価の「授業への参加意欲」はイコール出席点ではない。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7. ピアアセスメント		10 %						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	講義の中で、予復修を活用した「LTD話し合い学習法」でグループごとの学び合い活動を行う。					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	毎時間、LMSにて提示。							
参考書	適宜、プリント配布。参考図書は講義中に紹介する。							
1	ガイダンス		・本講義の到達目標と評価について ・LMSの利用について 予復修課題：予修：シラバスを熟読しておくこと。復修：LMSに提示					
2	統計学について		生のデータから、意味のある情報を引き出すための統計学の意義について学習する 予復修課題：LMSに提示					
3	度数分布(データ整理の最初の一步)		データの特徴を見る最初の一步である、度数分布表の意味、見方、作り方を学習する 予復修課題：LMSに提示					
4	ヒストグラム(度数分布の視覚化)		度数分布表をもとにしたヒストグラムについて見方や作成方法を学習する 予復修課題：LMSに提示					
5	データ処理(演習)		度数分布について、実際のデータを処理することで理解を深める 予復修課題：LMSに提示					
6	代表値		平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味及び計算方法を学習する 予復修課題：LMSに提示					
7	分散と標準偏差(データのばらつき)		データのばらつき具合を表す分散や標準偏差の意味と計算方法を学習する 予復修課題：LMSに提示					
8	度数分布と平均値、分散		度数分布と平均値、分散の関係を学習する 予復修課題：LMSに提示					
9	変量の標準化		変量の標準化の意味及び計算方法について学習する 予復修課題：LMSに提示					
10	データ処理(演習)		度数分布、代表値、ばらつき、標準化について実際のデータ処理で理解を深める 予復修課題：LMSに提示					
11	関連と回帰		2種類のデータの関連を見るため方法、相関関係と因果関係の違いなどを学習する 予復修課題：LMSに提示					
12	クロス集計		クロス集計の意味と作成方法を学習する 予復修課題：LMSに提示					
13	データ処理(演習)		2種類のデータの関連について、実際のデータ処理で理解を深める 予復修課題：LMSに提示					
14	確率変数と確率分布		確率変数と確率分布について学習する 予復修課題：LMSに提示					
15	データ処理(演習)		まとめとして、既存統計資料からデータを収集し、処理することで理解を深める 予復修課題：LMSに提示					

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		統計学 Statistics				単位数	授業内容**	
担当者		久保 宏和 (KUBO Hirokazu)				2	1 ガイダンス、導入講義 予復修課題：統計学がどんな学問であるかを確認すること	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング ERH2201				非常勤講師	2 データの種類と収集 予復修課題：データの種類の違い、記述統計と推測統計の違いを確認	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース	3 データを図や表にする 予復修課題：与えられたデータを図や表にまとめてみる 課題提出	
配当年次	2年生	開講学期	後期				4 平均 予復修課題：平均値を計算できるようになること	
授業概要	近年ビッグデータの時代とされていますが、そのデータをどのように活用するかに関する基本を学びます。また本講義を通じて実際にデータを問題解決に結びつけるための基礎となる理論を中心に学びます。得られたデータをどのように加工するか、どのような特徴・特性を持っているのかについて学習し、大量のデータから意味のある結論を導くための第一歩を踏み出しましょう。							
	授業到達目標 1. データの種類とそれぞれの取り扱い方について理解できる 2. データの平均・分散(標準偏差)を求め、データの特徴を掴むことができる 3. 記述統計と推測統計の違いを理解できる 4. 統計を用いて自分が分析したいことを想定できる							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回講義の最後に簡単な確認テストを実施します。					
1. 小テスト、感想文など		15 %	統計分析の方法をただ聞くだけではなく、実際に自分の手を動かしてやってみることが重要です。					
2. 中間テスト		%	予復修に要する時間は60時間を目安として、特に復修と問題演習に積極的に取り組んでください。					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		15 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		50 %	適宜ミニッツペーパーとグループディスカッションを利用し、自ら考え意見として発表し、他人の意見も尊重する姿勢を育む。					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	川出真清『コンパクト統計学』新世社、2011年							
参考書	石井俊全『まずはこの一冊から意味がわかる統計学(BERET SCIENCE)』ベレ出版、2012年							
							15 予復修課題：各自、統計を何に使ってみたいか考えておく	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	マクロ経済学 Macroeconomics					単位数	授業内容**	
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)					2	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング					ERH2202		
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生		開講学期	後期				
授業概要	マクロ経済学 (macroeconomics) は、個別の経済活動を集計した一国経済全体を扱うものである。マクロ経済学の対語は、経済を構成する個々の主体の行動を対象にするミクロ経済学である。マクロ経済学の誕生は、一般的に1936年に刊行されたイギリスの経済学者ジョン・メイナード・ケインズの著書『雇用・利子および貨幣の一般理論』に始まるとされる。この科目では、マクロ経済学の入門知識の基礎的内容を中心に学ぶ。							
授業到達目標	マクロ経済学の考察対象や、政府と民間企業などの役割の違いを理解することができる。マクロ経済統計の諸概念、たとえばGDP、デフレ・デフレギャップ、インフレ・インフレギャップ、利子率、失業率、名目値、実質値の違い、三面等価の原則、国民経済計算による諸統計の定義や概念、さらに景気動向を捉える指標について自分の言葉で説明できる。マクロ経済学の中核をなすケインズ経済学が想定する需要と供給の関係を理解できる。貨幣市場の需給均衡と利子率、GDPなどとの関係を理解し、自分の言葉で説明できる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	毎回授業の前と後に予・復修が必要不可欠。授業の前と後に最低1時間以上の予修と復修がなければ、教科書の内容を理解できない。日々の日本経済、世界経済の動きを知るために新聞やテレビなどのマスコミを通じ、世の中の経済現象のおよそのトレンドを把握することを求める。						
1. 小テスト、感想文など	%							
2. 中間テスト	40 %							
3. 課題レポートなどの提出物	%							
4. 授業中の発表、討論	%							
5. 授業への参加意欲	%							
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%							
7.	%							
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	60 %	学習効果を高めるために、中間テスト [第8回] を実施し、翌日に解説する。						
2. 論文、まとめのレポートなど	%	また、質問時間を設けて、受講者と対話を重ねて、より効果的な理解と学習を促していく。						
3.	%							
再評価の実施	する	しない						
教科書	二神孝一『マクロ経済学入門』第三版、日本評論社、2017年							
参考書	受講者の理解度を見ながら、必要に応じて指示する。							
1	ガイダンスの後、教科書第1章 マクロ経済学の役割 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
2	第2章 経済の活動水準を測る 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
3	第3章 物価の測り方 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
4	第4章 経済の成長 (1) テキスト49 ~ 63頁 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
5	第4章 経済の成長 (2) テキスト63 ~ 75頁 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
6	第5章 貯蓄と投資を結ぶもの 資本市場 (1) テキスト77 ~ 84頁 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
7	第5章 貯蓄と投資を結ぶもの 資本市場 (2) テキスト84 ~ 96頁 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
8	中間テスト 予復修課題：中間テストの前にこれまでの学習内容を復修し、中間テストに備えること。							
9	中間テストの標準回答の解説 予復修課題：中間テストの間違った箇所について、理解を深めること							
10	第6章 貨幣と日本銀行 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
11	第7章 インフレーション 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
12	第8章 開放経済 - 海外との取引の描写 第9章 開放マクロ経済学 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
13	第10章 短期の経済分析 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
14	第11章 失業 第12章 財政赤字はいつまで続けられるか 予復修課題：授業前に教科書該当ページに目を通しておくこと。事後の復修を必ずすること。							
15	これまでの授業内容の振り返りのあと、まとめのテスト 予復修課題：まとめのテストの前にこれまでの学習内容を復修し、テストに備えること。							

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ミクロ経済学 Microeconomics		単位数	授業内容**	
担当者		柏木 士郎 (KASIWAGI Shirou)		2	1 消費者理論 効用関数がどのように表されるのか、限界代替率とは何か、消費者の合理的な選択はどのようになされるのかを理解しましょう。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		ERH2203	2 消費者理論 所得の変化と価格の変化が消費者の財の選択にどのような影響を及ぼすのかについて学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	ミクロ経済学は近代経済学の多くの科目の基盤となる学問であり、個々の生産者や消費者の意思決定から出発して、誰が何をどれだけ生産・消費するのかという資源配分の問題に対して市場価格のメカニズムが果たす役割を明らかにしようとするものである。この授業では市場を構成する家計や企業といった各経済主体の選択行動の基礎理論、市場経済の仕組みについて基礎的な知識、経済学的な考え方及び分析手法を習得することを目的としている。					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市場価格の決定プロセスについて説明することができる。 ・消費者の行動基準について説明することができる。 ・生産者の行動基準について説明することができる。 					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	毎回の授業終了時にミニツッパーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。				
1. 小テスト、感想文など	%	知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。				
2. 中間テスト	25 %					
3. 課題レポートなどの提出物	%					
4. 授業中の発表、討論	%					
5. 授業への参加意欲	50 %					
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%					
7.	%					
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	25 %	・ミニツッパーパー [第1~7、9~14回]				
2. 論文、まとめのレポートなど	%	・中間テスト [第8回]				
3.	%					
再評価の実施	する	しない				
教科書	なし					
参考書	なし					
						3 生産者理論 コブ=ダグラス型生産関数の特徴について学びます。また、コブ=ダグラス型生産関数と等費用線から費用最小化問題について学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						4 生産者理論 短期の費用曲線と長期の費用曲線について学びます。ここから、平均費用や限界費用などを導出し、完全競争市場での利潤最大化について学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						5 市場均衡の理論。需要曲線と供給曲線のシフトについて学びます。また、市場が不均衡の状態にあるときの調整過程について理解しましょう。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						6 派生需要と生産要素市場。生産要素に対する需要がどのようにされるのかを学びます。労働需要がどのようにされるのか、地代がどのように決まるのかを理解しましょう。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						7 多期間資源配分。利子率の変化により貯蓄額がどのように変化するか、また、投資がどのように決定されるのかを学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						8 中間テストを実施します。これまでの内容について、皆さん自身が何をどれくらい理解している (していない) のかを確認しましょう。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						9 競争均衡。エッジワースのボックスダイアグラムを用いて、消費者が2人いる場合の財の配分とパレート最適について学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						10 不確実性と情報の経済学。未来が見通せない不確実な状況で、消費者がどのような行動をするのかを学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						11 市場の失敗。外部性と公共財の供給について学びます。公害が発生したとき、経済はどのような状況なのか、そのときどのようにすれば良いのか等について学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						12 市場の失敗。公共財の供給量がどのように決定されるのかについて学びます。また、公共財を自発的に最適な量を供給できるのかについても学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						13 不完全競争市場。独占市場や複占市場ではどのように最適な生産量が決定されるのかについて学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						14 ゲームの理論。純粹戦略のゲーム理論やナッシュ均衡、繰り返しゲームについて学びます。個人だけでなく組織内の人間関係をゲーム理論で学びます。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。
						15 これまでの授業内容について再確認します。何が理解できて何が理解できているのかひとりひとりよく確認し、テストに備えましょう。 予復修課題：専門用語の意味、式の意味をひとつひとつ理解し、説明できるようにする。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		日本経済史 Japanese Economic History		単位数	授業内容**	
担当者		新鞍 拓生 (NIIKURA Takuo)		2	1 ガイダンス この授業では、日本経済史を学ぶにあたってのガイダンスを行います 予復修課題：配布資料を復修すること	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERH2204	2 この授業では近世におけるマクロ経済の動態を講義します 予復修課題：配布資料を復修すること	
授業形式	講義	科目区分	コア科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	この講義では、近世から近代の日本経済の概要を見た上で、産業や市場の展開を通じた地域創造について講義します。近世は土地に依拠する石高制にもとづく幕藩制的経済構造が成立し、大坂を中心とする市場構造が発展しました。しかしその後、各種産業が地方を中心に発展し、近代には産業革命・工業化が進展して、それに相応する地域が各地で創出されました。産業は資金、雇用、原材料賦存、市場などに応じ地域を変える、あるいは地域を創造する力を持っています。講義を通じ、産業の発展や衰退を通じた地域変革の歴史をみたいと思います。					
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的観点から経済の歴史を知ることができる ・土地に依拠した地域から産業に応じた地域の創造を知ることができる ・将来社会人として仕事に携わる際の心構えを身につけることができる 				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義は配布資料にもとづき行います。高校の授業で日本史に関する科目を履修していることが望ましいです。ただし配布資料で十分に学習できるようにします。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	授業中に小テストあるいは感想文などを書いてもらうことがあります。			
2. 中間テスト		%	授業の予復習を1時間程度行うことにより一層理解が深まります。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		80 %	授業中に小テストを行うことがあります。これは出席点として評価します。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特に指定しません					
参考書	浜野潔ほか『日本経済史1600-2000』慶應義塾大学出版会、2009年					
3		近世の経済社会(1) マクロ経済の動態		この授業では近世におけるマクロ経済の動態を講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
4		近世の経済社会(2) 貿易		この授業では近世における貿易と日本経済への影響について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
5		近世の経済社会(3) 地方の産業発展		この授業では地方における産業経済の発展について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
6		近代の経済社会(1) 幕末開港		この授業では近代化の起点となった幕末開港とその影響を講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
7		近代の経済社会(2) 殖産興業		この授業では政府主導による工業化としての殖産興業政策について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
8		近代の経済社会(3) 産業革命・工業化		この授業では明治中後期の産業革命・工業化について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
9		近代の経済社会(4) 第一次世界大戦と重化学工業化		この授業では第一次世界大戦前後の重化学工業化について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
10		近代の経済社会(5) 重化学工業化・大衆消費社会の進展		この授業では第一次大戦以後の重化学工業化・大衆消費社会の進展を講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
11		産業を通じた地域創造(1)		この授業では中国地方のたたら製鉄を事例に産業と地域との関係について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
12		産業を通じた地域創造(2)		この授業では地方産業の発展を事例に新たな地域とのつながりについて講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
13		産業を通じた地域創造(3)		この授業では北九州工業地帯の形成を通じた地域創造について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
14		産業を通じた地域創造(4)		この授業では電力業の発展に相応する電力経済圏の成立について講義します 予復修課題：配布資料を復修すること		
15		これまでの講義のまとめ		これまでの講義のまとめ まとめを講義します 予復修課題：まとめに関する配布資料をすべて見直すこと		
15		まとめのテストおよび解説		まとめのテストおよび解説 これまで学んだことをテストします 予復修課題：授業中の配布資料をすべて見直すこと		

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		K K U北九州学 Learning Kitakyusyu				単位数	授業内容**	
担当者		成富 勝 (NARITOMI Masaru)				2	1 ガイダンス (成富) 予復修課題: 北九州市及び周辺自治体の概要について調べておくこと	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング ERI1101				専任	2 未来環境都市SDGs (北九州市) ...連絡調整: 甘 予復修課題: SDGsについて調べておくこと	
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	1年生	開講学期	前期					
授業概要	これからのさまざまな取組みに対する心構えを学ぶ科目である。 大学が立地している北九州市を取り巻く行政や自治体の取り組み、企業やビジネス活動、自然環境などについて理解を深めることを目的とし、地域の現状と課題について説明する。							
	3 予復修課題: 北九州市の観光の特徴について調べておくこと							
	4 地域と企業 (社会起業家) ...連絡調整: 甘 予復修課題: 地域で必要とされる企業について調べておくこと							
	5 国際協力 (JICA 独立行政法人・国際協力機構) ...連絡調整: 甘 予復修課題: NGO、NPOについて調べておくこと							
	6 地域と社会インフラ (北九州市) ...連絡調整: 成富 予復修課題: 折尾の街並みと都市計画について調べておくこと							
授業到達目標	1. 北九州市及び周辺自治体の取り組みについて説明ができる。 2. 北九州市及び周辺自治体の企業やビジネス活動について説明ができる。 3. 北九州市及び周辺自治体の自然環境や伝統文化などについて説明ができる。							
	7 地域の自然環境と災害 (成富) 予復修課題: 北九州市及び周辺自治体の自然環境と災害について調べておくこと							
	8 地域経済と金融 (西山) ...連絡調整: 成富 予復修課題: 地域の経済発展と金融機関の関係について調べておくこと							
	9 地域文化と伝統行事 (日峯神社) ...連絡調整: 甘 予復修課題: 大学周辺地域の歴史と伝統文化について調べておくこと							
	10 共生社会を生きる (社会福祉法人) ...連絡調整: 甘 予復修課題: 助け合う社会について調べておくこと							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)		履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	課題解決のため、実際に足を運び、現地を「知る、学ぶ、理解する」ことが大切です。						
1. 小テスト、感想文など	%							
2. 中間テスト	%							
3. 課題レポートなどの提出物	%							
4. 授業中の発表、討論	40 %							
5. 授業への参加意欲	30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%							
7.	%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%	フィールドワーク (第12回)						
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	グループディスカッション (第13回)						
3.	%	グループ発表・ディスカッション (第14回)						
再評価の実施	する	しない	グループ発表・ディスカッション (第15回)					
教科書	使用しない							
参考書								
		15 予復修課題: パワーポイントの使用法について熟知し、発表練習をしておくこと						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		簿記入門 Introduction to Bookkeeping		単位数	授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)		2	1 ガイダンス 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンスを行う。 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。簿記について簡単に調べておくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 簿記の意義・種類及びルール 簿記の意義・種類及びルールについて簡単な説明を行い、重要ポイントの説明をする。 予復修課題： 教科書第一章及び第二章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
授業形式		講義	科目区分	3科目群	学科・コース	全コース
配当年次		1年生	開講学期	前期	地域創造学科	
授業概要		簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソンの必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソンの必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。				
授業到達目標		簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。				
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				7 固定資産取引 固定資産について説明 (売却時を除く) を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十四章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				8 有価証券取引 有価証券について説明を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十五章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				9 その他の債権・債務取引 その他の債権・債務について説明を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十六章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は90分以上行うこと。			
1. 小テスト、感想文など		10 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		20 %				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト (第2回から第14回)			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニツッペーパー (第1回から第14回)			
3.		%	ペアワーク (第2回から第14回)			
再評価の実施		する	しない			
教科書		第一回目の授業時に指示する。				
参考書		15 まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。				

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		簿記入門演習 Introduction to Bookkeeping Practice		単位数	授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru) 林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		2	1 ガイダンス 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンスを行う。 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。簿記について簡単に調べておくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 簿記の意義・種類及びルールの演習 簿記の意義・種類及びルールについて簡単な説明を行い、重要ポイントの説明をする。 予復修課題： 教科書第一章及び第二章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
授業形式		科目区分		全コース	3 取引の要素と財務諸表の演習 資産・負債・純資産及び収益・費用と財務諸表について説明を行う。 予復修課題： 教科書第六章及び第七章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
配当年次		開講学期		全コース	4 商品売買の演習 商品売買(分記法・三分法、値引き・返品等)について説明を行う。 予復修課題： 教科書第三章から第五章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
授業概要		地域創造基礎科目群		全コース	5 現金・預金取引の演習 現金勘定及び当座預金勘定等の銀行預金について説明を行い、仕訳の説明及び例示する。 予復修課題： 教科書第十一章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
授業到達目標		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	6 掛け取引・手形取引の演習 掛け取引及び手形取引について説明を行い、仕訳の説明および例示する。 予復修課題： 教科書第十二章及び第十三章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		前期		全コース	7 固定資産取引の演習 固定資産について説明(売却時を除く)を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十四章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		地域創造学科		全コース	8 有価証券取引の演習 有価証券について説明を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十五章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	9 その他の債権・債務取引の演習 その他の債権・債務について説明を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十六章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	10 資本取引と税金の演習 個人企業の資本取引と税金について説明を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十七章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	11 費用・収益の繰り延べと見越しの演習 費用・収益の繰り延べと見越しについて説明を行い、仕訳の説明及び例示をする。 予復修課題： 教科書第十八章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	12 決算整理仕訳の演習 売上原価の算定、貸倒引当金の設定等などの説明を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	13 減価償却費の計上、消耗品の処理、引出金の処理等の説明を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	14 仕訳の実務対応の演習 実務で行われている実際の取引等を説明し、その解答方法について例示する。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	15 まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。	
【知識・技能】		学修範囲の仕訳について、説明することができる。		全コース	15 まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		事前		事前に電卓を準備しておくこと		
1. 小テスト、感想文など		事前		事前に教科書を購入しておくこと		
2. 中間テスト		事前		日商簿記検定受験を前提とする		
3. 課題レポートなどの提出物		事前		毎回小テスト及び予復修課題を課す		
4. 授業中の発表、討論		事前		特に表記がない場合、予復修の時間は90分		
5. 授業への参加意欲		事前		以上行うこと。		
6. 自主的学習(予習・復習など)		事前				
7.		事前				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		ミニテスト(第2回から第14回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		ミニツッペーパー(第1回から第14回)				
3.		ペアワーク(第2回から第14回)				
再評価の実施		する		しない		
教科書		第一回目の授業時に指示する。				
参考書						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級簿記 Elementary Bookkeeping		単位数	2		授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)				専任		1 ガイダンス 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンスを行う。 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。簿記について簡単に調べておくこと。
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		ERI1201				2 仕訳と転記 簿記入門における仕訳のルールを再確認し、その後、転記について説明を行う。 予復修課題： 教科書第六章及び第七章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース		3 小口現金出納帳 小口現金出納帳の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 小口現金出納帳について、疑問点などを調べておくこと。
配当年次	1年生	開講学期	後期					4 商品有高帳 商品有高帳の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 商品有高帳について、疑問点などを調べておくこと。
授業概要	簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソン必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソン必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。							
	授業到達目標 簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。 各種帳簿の作成について、説明することができる。							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は90分以上行うこと。					
1. 小テスト、感想文など		10 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト (第2回から第14回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニツツペーパー (第1回から第14回)					
3.		%	ペアワーク (第2回から第14回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	第一回目の授業時に指示する。							
参考書								
						11 損益計算書 損益計算書の作成方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 損益計算書の作成について疑問点等は調べておくこと。		12 実務における簿記 実務における簿記の取引について、主に銀行預金に関する説明をし、例示を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。
						13 実務における簿記 実務における簿記の取引について、主に賃貸借契約に関する説明をし、例示を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。		14 実務における簿記 実務における簿記の取引について、主に税金に関する説明をし、例示を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。
						15 まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。		

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		初級簿記演習 Elementary Bookkeeping Practice			単位数	授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru) 林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		専任		1 ガイダンス 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンスを行う。 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。簿記について簡単に調べておくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERI1202		2 仕訳と転記の演習 簿記入門における仕訳のルールを再確認し、その後、転記について説明を行う。 予復修課題： 教科書第六章及び第七章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
授業形式	演習	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース	
配当年次	1年生	開講学期	後期				
授業概要	簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソン必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソン必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。						
授業到達目標	簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。 各種帳簿の作成について、説明することができる。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は90分以上行うこと。				
1. 小テスト、感想文など		10 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト (第2回から第14回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニツツペーパー (第1回から第14回)				
3.		%	ペアワーク (第2回から第14回)				
再評価の実施	する	しない					
教科書	第一回目の授業時に指示する。						
参考書							
						3 小口現金出納帳の演習 小口現金出納帳の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 小口現金出納帳について、疑問点などを調べておくこと。	
						4 商品有高帳の演習 商品有高帳のの記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 商品有高帳について、疑問点などを調べておくこと。	
						5 仕入先元帳と得意先元帳の演習 仕入先元帳と得意先元帳の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 仕入先元帳と得意先元帳について疑問点等は調べておくこと。	
						6 受取手形記入帳及び支払手形記入帳とその他の帳簿の演習 受取手形記入帳及び支払手形記入帳とその他の帳簿の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： テーマの帳簿について、疑問点等は調べておくこと。	
						7 試算表の演習 試算表の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 試算表について、疑問点等は調べておくこと。	
						8 帳簿と伝票の演習 伝票会計と帳簿とのかわりについて説明し、例示を行う。 予復修課題： 伝票について、疑問点等は調べておくこと。	
						9 精算表の演習 精算表の記帳方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 教科書第十九章を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
						10 貸借対照表の演習 貸借対照表の作成方法の説明と例示を行う。 予復修課題： 貸借対照表について、疑問点等は調べておくこと。	
						11 損益計算書の演習 損益計算書の作成方法の説明及び例示を行う。 予復修課題： 損益計算書の作成について疑問点等は調べておくこと。	
						12 実務における簿記 の演習 実務における簿記の取引について、主に銀行預金に関する説明をし、例示を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
						13 実務における簿記 の演習 実務における簿記の取引について、主に賃貸借契約に関する説明をし、例示を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
						14 実務における簿記 の演習 実務における簿記の取引について、主に税金に関する説明をし、例示を行う。 予復修課題： 事前配付プリントを熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
						15 まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域貢献概論 Introduction to Community Contribution				単位数	授業内容**	
担当者	成富 勝 (NARITOMI Masaru)				2	専任	1 ガイダンス 予復修課題： 地域貢献活動の概要について調べておくこと
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				ERI1203		2 ボランティア活動の概要 予復修課題： 興味のあるボランティア活動について調べておくこと
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	3 非政府組織 (NGO) と非営利組織 (NPO) 予復修課題： NGOとNPOの違いについて調べておくこと
配当年次	1年生	開講学期	後期				4 市民の地域社会貢献 予復修課題： 市民を対象としたボランティア活動について調べておくこと
授業概要	地域社会と地域貢献との関係を中心に、特にボランティアに焦点を当てた科目である。ボランティアに関する歴史の変遷を概観しながら、基礎的な知識と現状を説明すると、ともに、ボランティアの思想および社会的な背景と現状について説明する。						5 企業の地域社会貢献 (CSR) 予復修課題： 興味のある企業の社会貢献活動について調べておくこと
授業到達目標	1. 地域社会と地域貢献との関係について説明することができる。 2. 地域のボランティアに関する歴史的背景について説明ができる。 3. 地域のボランティア活動の現状について説明ができる。						6 市民センターを核とした地域貢献 予復修課題： 市民センターの役割について調べておくこと
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	図書館の資料やインターネットを活用して調べること (目安の時間は120分)。				
1. 小テスト、感想文など		40 %	授業では、積極的に質問し、学習の展開を図ること。また重要と思われること、あるいは印象に残ったことは適宜ノートに書き留める習慣を身につけること。				
2. 中間テスト		%	アクティブ・ラーニング 適宜、小テストを実施する。				
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		%					
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		60 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	使用しない						
参考書							
							15 予復修課題： 授業及びまとめのテストの振り返りを行うこと

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域のまちづくり入門 Intoroduction to Community Development				単位数	授業内容**	
担当者	尾上 百合加 (ONOUE Yurika)				2	専任	1 オリエンテーション (講義の概要・目的・注意点) 予復修課題: シラバスを熟読しておくこと
実務経験のある教員による授業	ナンパリング ERI2101						2 まちづくりに関する概念 予復修課題: まちづくりとは何かについて調べておくこと
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	3 まちづくり事例 中心市街地のまちづくり 予復修課題: 事前配布プリントを熟読し、疑問点を調べておくこと
配当年次	2年生	開講学期	前期				4 まちづくり事例 リノベーションによるまちづくり 予復修課題: リノベーションについて調べておくこと
授業概要	本授業では、まちづくりを担うための基本的な知識を理解することを目的としています。これまで行政主体のハード整備からのまちづくりが進められてきましたが、今後はそのような取り組みに加え、地域ごとの課題や魅力を踏まえたまちづくりに多様な主体が協力しながら取り組むことが大切になってきます。まちづくりの形は、地域によってさまざまですが、これからの持続可能なまちづくりをどう行うべきかを、主に北九州市やその周辺エリアでの取組事例を題材にしながら、地域が抱える現代の問題を採り上げて解決の方法を検討します。						5 まちづくり事例 エリアマネジメントによるまちづくり 予復修課題: エリアマネジメントについて調べておくこと
授業到達目標	まちづくりを担うための基本的な知識を説明できる。 取組事例を参考にしながら、身近な地域を念頭に、地域創造のために何が必要であるのかを考える力を身に付ける。 地域の特徴と直面している課題を統計データ等から把握し、分析して人に伝えられるようになる。						6 第2～第5までのまとめ 予復修課題: これまで学んだ内容を振り返り、復修しておくこと
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	学習効果を高めるために、中間と期末にレポートを実施します。重要と思われることは適宜ノートに書き留め、内容をまとめて下さい配布物が多いのでA4サイズのファイルを持参してください。 予復修の取組時間: 30分					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	30 %						
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	10 %						
5. 授業への参加意欲	30 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%	フィールドワーク (第13回) 施設見学					
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリントを配布します。						
参考書							
							15 これまでの振り返り、期末レポート 予復修課題: これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		民法 Civil Law		単位数	2		授業内容**	
担当者				非常勤講師	1	授業内容の詳細については、第1回授業時に提示する。		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング	ERI2102	2				
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース区分*	全コース			
配当年次	2年生	開講学期	前期	地域創造学科				
授業概要	この授業では、我々市民の日常生活における基本となる法律である民法について解説を行う。中でも特に民法総則、物権法、債権総則・契約法総論・契約法各論についての基礎的な知識の理解および習得をめざす。				3			
					4			
授業到達目標	・日常生活中に生じているさまざまな問題をどのように解決しているのかについて民法的な観点から考えることのできるリーガルマインドを涵養する。 ・民法は会社法などの私法一般の出発点となるものであるから、今後、司法の学習方法についても習得をすることができる。				5			
					6			
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔特に関係する 関係する〕					7			
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8			
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9			
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10			
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業内容は、変更されることがあります。			11			
1. 小テスト、感想文など	%	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。			12			
2. 中間テスト	%				13			
3. 課題レポートなどの提出物	%							
4. 授業中の発表、討論	%							
5. 授業への参加意欲	%							
6. 自主的学習(予習・復習など)	%							
7.	%							
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%				14			
2. 論文、まとめのレポートなど	%							
3.	%							
再評価の実施	する	しない						
教科書					15			
参考書								

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人口学 Economic Demography		単位数	授業内容**	
担当者		甘 長青 (KAN Chousei)		2	1 当講義の概要および目的、世界各国の人口動態や日本や福岡県の総人口・人口構成 福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略(福岡県公開資料) 予復修課題: 増・減税と政府債務の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 概観(日本の人口・経済・地域社会の現状と未来像) 平成30年版高齢社会白書(PDF版、概要版) 出所: 内閣府 予復修課題: 日本の人口・経済・地域社会はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
授業形式		講義	科目区分	ER12103	3 人口急減・超高齢化の問題点および少子化対策 福岡県の高齢者人口及び高齢化率の推移(平成31年4月1日現在) 県の 参照 予復修課題: 増・減税と政府債務の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
配当年次		2年生	開講学期	前期	4 人口と経済成長、イノベーションの関係(日米中の比較を含む) 女性の政治参画の遅れにより、低位推移中の日本男女平等指(主要国比較)など 予復修課題: 人口と経済成長の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
授業概要		少子化・高齢化が進む中での人口減少は、日本の経済や社会に多大な影響を及ぼすことが懸念されている。そのような状況下では、人口データの性質を把握し人口が経済や社会に及ぼす影響を客観的に分析することとその分析結果の意味を理解する能力が重要ではないかと思われる。本講義では、上記のような事を念頭に置いて、これまでの日本などの人口動態と経済成長の関係に焦点を絞り、総人口に占める働く人の割合が上昇し、経済成長が促進される「人口ボーナス期」を2005年頃に過ぎてしまった日本の取るべき対策を考える。		全コース	5 人口と経常収支、財政収支の関係、人口増で税収増が続く福岡市の財政 人口増で市立小・中学校の分割・新設が続く福岡市の事例を挙げる予定。 予復修課題: 人口と経常収支の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
授業到達目標		世界や日本、とりわけ九州・沖縄地域の人口動態等に深い関心を持ち、人口学特有の言葉とはどのようなものなのかを理解し、人口動態等の変化が経済や社会に及ぼしうる様々な影響を自分の言葉で説明できる。また、この科目の受講により、より高年次の科目である地域経済論、地方自治体の財政、社会保障論、経済政策などといった経済専門教育科目を理解するための橋渡しとすることができ、より高い次元の経済素養を身に付けることができる。		地域創造学科	6 人口と財政・社会保障の関係および高齢化が進む北九州市の財政の現状 予復修課題: 人口と社会保障の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					7 各都道府県や市区町村別の人口動向および北九州市の高齢者人口・高齢化率の推移 予復修課題: 各地方間の人口移動はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。			8 中間テスト 予復修課題: これまでの学習内容を振り返り、理解不足箇所を深掘りする。復修目安時間: 2時間	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。			9 中間テストの解説 予復修課題: 少子高齢化と政府債務の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
【主体性・協働性】		地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。			10 各都道府県や市区町村別の経済動向 予復修課題: 各都道府県や市町村の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項			11 人口をめぐる現状と課題(各都道府県や政令指定都市の比較を含む) 予復修課題: 人口動態の現状はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	日本や世界の人口動態や、世の中の経済、社会の動きを知るために新聞やテレビなどのマスコミを通じておよそのトレンドを把握する事。 なお、内閣府の、総務省の、福岡県のにアクセスし、人口関係データに留意する事。		12 各都道府県や市区町村別の経済動向 予復修課題: 各都道府県や市町村の経済動向はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		13 少子高齢化の日本における人口の現状と課題 予復修課題: 地方の少子高齢化の進み具合はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
1. まとめのテスト		60 %	学習効果を高めるために、中間テスト[第8回]を実施し、翌日に解説する。また、折に触れて、テーマを選んで深掘りをし、受講者に社会問題を真剣に考えさせる契機等を工夫する。		14 人口減が続く再生団体夕張市、2026年度にも再生団体転落の恐れがある田川市などの事例 予復修課題: 少子高齢化と経済社会の関係はどうなっている? テキストを予修する目安時間: 2時間	
2. 論文、まとめのレポートなど		%			15 まとめのテストおよび講義の総括(残された課題など) 予復修課題: 1~14回の授業内容を総復修する目安時間: 2時間	
3. %		%				
再評価の実施		する	しない			
教科書		特定の教科書を使用しない				
参考書		平成30年版高齢社会白書(PDF版、概要版) 出所: 内閣府				

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	社会調査法 Research Methods				単位数	授業内容**	
担当者	篠原 さやか (SHINOHARA Sayaka)				2	1 社会調査とは 社会調査の目的と意義、および社会調査史について学ぶ 予復修課題： 今回の授業内容を配付資料で復修する	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				ER12104	2 社会調査の実際 具体的な社会調査の例を学ぶ 予復修課題： 身の回りの調査結果を探し、内容をまとめる	
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科学区	ER12104	3 社会調査の実際 既存の社会調査を探し、結果を読み取る 予復修課題： 今回の授業内容を配付資料で復修する	
配当年次	2年生	開講学期	前期	区分*	地域創造学科	4 社会調査の実際 社会調査を実施する上での基本的なルール、および調査倫理について理解する 予復修課題： 今回の授業内容を配付資料で復修する	
授業概要	社会調査は社会生活に関連する事から理解するために重要な役割を果たす。同時に、現代社会においては多数の社会調査が存在し、調査の結果が身の回りにあふれている。そこで、それらの情報を自ら精査し、解釈する能力の重要性が一層高まっている。この授業では、さまざまな社会調査の手法や計画・実施の手順について解説することに加え、社会調査の目的や意義を理解し、調査から得られたデータを適切に解釈できる力を養うことを目的とする。				5 社会調査の動機 問題意識や仮説の設定、概念との関連について学ぶ 予復修課題： 問題意識、仮説、概念の違いについて復修する		
授業到達目標	社会調査の意義や、結果の解釈の重要性を理解することができる。 社会調査の一連の過程を理解し、目的に応じた手法を判断することができる。 調査票の作成について理解し、自ら設問を作成することができる。				6 社会調査の手法 量的調査について学ぶ 予復修課題： 配布資料を用いて量的調査について復修する		
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業中は積極的に発言し、個人やグループでの活動に熱心に取り組むことが期待されます。各授業ごとに1時間を目安に予復修を行うと、より一層理解が深まります。					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	20 %						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	10 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	70 %	ロールプレイ [第8回]					
2. 論文、まとめのレポートなど	%	グループワーク [第10回、第11回]					
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	使用しない						
参考書	「新・社会調査へのアプローチ 論理と方法」大谷信介ほか (編) ミネルヴァ書房						
						7 社会調査の手法 質的調査について学ぶ 予復修課題： 半構造化インタビュー調査のテーマと質問項目を考えてまとめる	
						8 社会調査の手法 量的調査と質的調査それぞれの特徴の整理を行い、調査目的との関連について学ぶ 予復修課題： 今回の授業内容を配付資料で復修し、ワークシートにまとめる	
						9 調査方法の選択 自らの問題意識や仮説検証に適した調査手法の選択について考える 予復修課題： 今回の授業内容を配布資料で復修する	
						10 調査票の作成 設問文や選択肢の作成方法や注意点について学ぶ 予復修課題： 配布資料を用いて設問文や選択肢の作成方法について復修する	
						11 調査票の作成 実際に設問を作成してみる 予復修課題： 次回までに調査票を完成させる	
						12 サンプルング 調査の目的に合わせた対象者の選定、抽出について学ぶ 予復修課題： 配布資料を用いてサンプルングについて復修する	
						13 データ分析 データの入力、集計、分析について学ぶ 予復修課題： 今回の授業内容を配布資料で復修する	
						14 調査結果の発信 分析から得られた結果の記述や公表、データ管理の注意点について学ぶ 予復修課題： 試験に向けてこれまでの授業内容を復修する	
						15 授業のまとめと試験 これまでの授業のまとめと試験を行う 予復修課題： これまでの授業内容を復修する	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		ビジネスとICT Information and Communication Technique for Business Scene				単位数	授業内容**	
担当者		木村 美奈子 (KIMURA Minako)				2	1 ガイダンス ・本講義の到達目標と評価について ・LMSの利用について 予復修課題： 予修：シラバスを熟読しておくこと。 復修：LMSに提示	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング ERI2201				専任	2 コンピュータの基本操作と情報検索 予復修課題： LMSに提示	
授業形式	講義	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	後期					
授業概要	近年、「ビックデータ」「パーソナルデータ」といった用語を目にする機会が増えてきている。今日の情報化社会の中で、経済活動の全体像の把握や効率的な経営を遂行していくためには、情報通信技術（ICT）を活用した統計学的知識やデータ分析の技術を欠かすことができない。本講義では、経済データを理解し、ICTを用いて加工編集し、それをもとにレジュメや論文を作成することのできる力を身につけることを目標とする。							
	授業到達目標	1.情報通信技術（ICT）についての概要を理解し、活用することができる。 2.情報収集の多様な手段とその情報の信憑性の適切な判断が多角的視点をもつことができる。 3.提示されたデータを正確に読み解き活用することができる。 4.ビジネスにおける経済データをExcelで加工編集することができる。 5.これらのデータを活用し、レジュメや論文を作成することができる。						
卒業認定・学位授与の方針（DP）と授業到達目標との関係（特に関係する 関係する）								
【知識・技能】学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法（全体で100%）				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・情報処理演習 と情報処理演習 を履修していること。 ・WordやExcelの基本操作を理解していること ・毎時、講義＋演習を行う。 ・予復修を前提としたグループによる学び合い学習を行う。 ・予復修は概ね各60分程度の課題を与える。 ・ピアアセスメントを行う。					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習（予習・復習など）		20 %						
7. ピアアセスメント		10 %						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 予復修を前提とした「LTD話し合い学習法」でグループによる学び合い学習を行う。						
1. まとめのテスト		%						
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	経済系のための情報活用（実教出版）							
参考書	別途配布資料や課題についてはLMSにて配布。							
						15 予復修課題： LMSに提示		

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会調査法演習 Research Methods Lab			単位数	授業内容**	
担当者	篠原 さやか (SHINOHARA Sayaka)			非常勤講師	1	社会調査とは 社会調査とは何かについて、具体例を挙げながら学ぶ 予復修課題： 今回の授業内容を配布資料で復修する	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			ERI2202	2	社会調査の基本 社会調査を実施する上での基本的なルールや、社会調査の意義について理解する 予復修課題： 社会調査のルールや意義について復修する	
授業形式	演習	科目区分	地域創造基礎科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース	
配当年次	2年生	開講学期	後期				
授業概要	社会調査は社会生活に関連する事からについて理解するために重要な役割を果たす。そして、現代社会においては、多数の社会調査から得られた結果を精査し、解釈する能力が求められている。この授業では、社会調査の意義や結果の解釈の重要性を解説した後、学生が自らの問題意識や仮説にもとづき社会調査を計画・実施し、調査から得られたデータの統計分析を行い、その結果を適切に解釈し、公表するための能力を養うことを目的とする。				3	社会調査の計画 問題意識や仮説の設定、概念との関連、調査目的に応じた手法の選択について学ぶ 予復修課題： 今回の授業内容を配布資料で復修し、自らの問題意識や仮説を考える	
授業到達目標	自らの問題意識や仮説にもとづき、調査を計画することができる。調査を実施し、得られたデータを統計的に分析することができる。分析結果を適切に解釈して公表することができる。				4	社会調査の手法 質的調査と量的調査それぞれの特徴を整理し、調査目的との関連について学ぶ 予復修課題： 自らの調査テーマを考えてまとめる	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)					5	調査票の作成 設問文や選択肢の作成の方法や注意点について学ぶ 予復修課題： 今回の授業内容を配布資料で復修し、自らの設問項目を考える	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					6	調査票の作成 実際に調査票を作成する 予復修課題： 自らの設問項目を精査する	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					7	調査票の作成 実際に調査票を作成する 予復修課題： 調査票を完成させる	
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					8	サンプリング 調査の目的に合わせた対象者の抽出について学ぶ 予復修課題： サンプリングについて配布資料で復修する	
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	自らの問題意識に基づき、意欲的に調査を計画・実施する姿勢が求められます。		11	データの整理 回収した調査票のデータを数値化し、入力する 予復修課題： データ入力を完了する		
1. 小テスト、感想文など	%	各授業ごとに1時間を目安に予復修を行うと、より一層理解が深まります。		12	データの分析 データの集計や分析手法について学び、実際に分析を行う 予復修課題： 今回の授業の配布資料を参照しながら、パソコンを使用して復修する		
2. 中間テスト	%			13	データの分析 自らのデータの分析を行う 予復修課題： データ分析を進める		
3. 課題レポートなどの提出物	%			14	調査結果のまとめ 結果の解釈や考察を行う 予復修課題： 期末レポートの作成を進める		
4. 授業中の発表、討論	10 %			15	発表とまとめ 調査結果の発表と授業のまとめを行う 予復修課題： これまでの授業内容を復修する		
5. 授業への参加意欲	20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7. 中間レポート	20 %						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	実践学習(調査票の作成：第6回、第7回、調査の実施：第10回、データ入力：第11回、データ分析：第12回、第13回)					
2. 論文、まとめのレポートなど	50 %	プレゼンテーション(第15回)					
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	使用しない						
参考書	「新・社会調査へのアプローチ 論理と方法」大谷信介ほか(編)ミネルヴァ書房						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		財政学 Public Finance		単位数	授業内容**	
担当者		宮本 昌典 (MIYAMOTO Masanori)		2	1 はじめに 予復修課題： シラバスを読んでおくこと	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERJ2101	2 市場の失敗と政府の役割 市場の失敗、資源配分機能、所得再分配機能、景気調整機能、小さな政府、大きな政府 予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。	
授業形式	講義	科目区分	コース科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	社会貢献コース
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	財政は政府の経済活動を意味し、財政学は政府の経済活動を分析・研究する学問である。そこで、この授業では、市場メカニズムを前提としながら、政府の経済活動がどのような観点から行われ、国民とどのようにかかわっているかを紹介する。この授業は、国民経済と財政の関係から始まり、財政の目的及び公共支出について解説を行う。また、現在我が国が抱えている経済問題の中から、高齢化社会における財政の問題を世代間の公平の観点から取り上げる。					
授業到達目標	* 財政のしくみを説明できる。 * 財政に関する新聞記事が理解できる。					
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)						
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	* 財政に関する新聞記事を読むこと。 * 分からないことがあれば、質問すること。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	* 公務員試験の受験希望者には、受験の前年度までに本講義を履修するよう勧めます。			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		80 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	麻生良文・小黒一正・鈴木将覚『財政学15講』新生社、2018年。					
参考書	佐藤主光『財政学』放送大学教育振興会、2010年。					
15 講義の総括		予復修課題： テスト勉強をしてくること。				
11 間接税		予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。				
12 フィスカル・ポリシー		予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。				
13 財政赤字と公債		予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。				
14 高齡化社会における財政問題		予復修課題： 上記事項について事前に教科書の該当部分を読み(30分)、事後にノートと教科書を照合して読むこと(60分)。				

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域のまちづくり Community Development			単位数	授業内容**	
担当者		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)			2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			ERJ2201		
授業形式		講義	科目区分	コース科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	社会貢献コース
配当年度		2年生		開講学期	後期		
授業概要	本授業では、「地域のまちづくり入門」を踏まえ、「まちづくり」という視点から、地域社会（とりわけ大学が位置する北九州市やその周辺の市町村）を見つめ、考えることを目的とする。これまで、どのような「まちづくり」が地域社会で実践されてきたのか。いかなる契機と形態で展開されてきたのか等を対象地域を選定し検討する。						
	授業到達目標 まちづくりについての基本的な知識を説明できる。 取組事例を参考にしながら、身近な地域を念頭に、地域創造のために何が必要であるのかを考える力を身に付ける。 地域の特徴を文献データ等を活用し、人に伝えられるようになる。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							
【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1 積極的に質問し、学習の展開を図ること 2 授業中は必ずノートをとること 3 各授業回毎に30分を目安に予復修を行うこと				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	第8回～9回 フィールドワーク				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	第14回 発表				
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		プリントを配布します。					
参考書		棧 比呂子『運河堀川 四百年の歴史を語る』海鳥社 2019年					
1		オリエンテーション（講義の概要・目的・注意点）					
2		予復修課題： シラバスを熟読しておくこと 【ゲスト講和】堀川と折尾地区の歴史（堀川開通前の洞海湾）					
3		予復修課題： 事前配布プリントを熟読し、疑問点をしらべておくこと 第2回の要点整理とディスカッション（折尾の歴史を堀川を通じて考える）					
4		予復修課題： 前回のゲスト講和の要点をまとめる 【ゲスト講和】堀川と折尾地区の歴史（堀川開通と日本の近代化）					
5		予復修課題： 事前配布プリントを熟読し、疑問点をしらべておくこと 第4回の要点整理とディスカッション（折尾の歴史を堀川を通じて考える）					
6		予復修課題： 前回のゲスト講和の要点をまとめる 【ゲスト講和】堀川と折尾地区の歴史（石炭産業の光と影）					
7		予復修課題： 事前配布プリントを熟読し、疑問点を調べておくこと 第6回の要点整理とディスカッション（第2回から6回までのまとめ）					
8		予復修課題： 前回のゲスト講和の要点をまとめる フィールドワーク（堀川に関連する史跡などの現地調査） 堀川に関連する史跡などを巡り、郷土史家からの説明を受ける 予復修課題： フィールドワークで気づいて書き留めたことをきちんと整理してくる					
9		予復修課題： フィールドワークで書き留めたことを自分なりにきちんと整理してくる フィールドワーク（堀川に関連する史跡などの現地調査） 堀川に関連する史跡などを巡り、郷土史家からの説明を受ける					
10		予復修課題： フィールドワークで書き留めたことを自分なりにきちんと整理してくる 第8～9回のまとめ（現地調査の要点整理とディスカッション） 前回の現地調査について、グループに分かれディスカッションをしながら要点を整理する 予復修課題： フィールドワークで気づいたことや印象的だったこと等をまとめる					
11		文献調査 堀川の歴史を文献から調べて理解を深める 予復修課題： 黒田長政の堀川策定について事前に調べておくこと					
12		報告書の作成 ゲスト講和とフィールドワークで発見した事実などをレポートにまとめる。 予復修課題： レポートの書き方について、各自復修しておくこと					
13		発表資料の作成 レポートにまとめた内容を中心に、パワーポイントを使い発表資料を作成する 予復修課題： パワーポイントの操作方法を復修しておくこと					
14		成果発表 堀川400年の歴史からまちづくりについて発見したことをグループに分かれ発表する。 予復修課題： 事前に発表準備を行い講義に臨むこと					
15		これまでの振り返り、期末レポート 堀川400年の歴史からまちづくりについて発見したことをまとめ、冊子を作成する 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと					

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		会社法 Company Law		単位数	授業内容**		
担当者				2	1	授業内容の詳細については、第1回授業時に提示する。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERJ2102	2		
授業形式	講義	科目区分	コース科目群	学科・コース区分*	地域創造学科		地域経済コース
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	会社法は、企業形態の一つである会社に関する法律である。この会社法は、会社をめぐる様々な利害関係を調整し、法律関係を円滑に処理する役割を担っている。ニュースや新聞紙上でも、株式、株主総会、M & Aといった会社法に関する用語が頻繁に登場するが、会社法は、ビジネスパーソンにとって大変身近な法律である。この授業では、株式会社を中心に、会社の設立や株式、機関、資金調達、組織再編等会社法の基礎を体系的に理解できるように具体的な事例を交えながら解説を行う。						
	授業到達目標	本講義は、社会人となった時に知っておきたいビジネスルールとしての会社法の考え方を修得することを目標とします。具体的には次の通りです。 会社法の基本的仕組みを理解できる。 会社法の基本問題に関して認識できる。 具体的な問題解決に必要な会社法の仕組みと解釈方法を修得できる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔特に関係する 関係する〕							
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	授業内容は、変更されることがあります。 卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係、成績評価の方法、再評価の実施、アクティブ・ラーニング、履修における留意事項を含め、初回授業の際に担当者から指示がありますので、確認してください。					
1. 小テスト、感想文など	%						
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	%						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		経済史 Economic History		単位数	授業内容**	
担当者		新鞍 拓生 (NIIKURA Takuo)		2	1 ガイダンス 講義の構成、使用する教材について説明します 予復修課題：配布プリントを復修しておくこと	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERJ2202	2 歴史の見方を高校の教科書からうかがう(1) 歴史の見方の事例を、歴史教科書を通じてうかがいます 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと、高校の歴史教科書を持っている人は見ておく	
授業形式	講義	科目区分	コース科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	地域経済コース
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	経済は、財やサービスが生産され、流通し、そして消費されるという点から見れば、最も基本的な人間の営為のひとつです。ゆえに経済史は、人間の経済を歴史的営為として叙述したものに他なりません。経済史の叙述は、社会や人がそうであるように多種多様です。一国を軸にしたものからグローバルな視点にもとづくもの、経営や企業家に関するものまで多様です。この講義では、経済史学に関するいくつかの方法を紹介した上で、具体的な叙述について解説したいと思います。				3 ここでも歴史の見方の事例を、歴史教科書を通じてうかがいます 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと、高校の歴史教科書を持っている人は見ておく	
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を見て説明するには筋道を立てることが必要であることが理解できる ・事実を情報として知覚し物の見方を通じ取捨選択する必要性の理解につながる ・経済事象を長期的スパンからストーリーとして見ることができる ・経済を通じて人類共通のシステムを理解することができる 				4 ここでは経済史の方法論について概観します 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				5 ここでも経済史の方法論について概観します 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				6 ここでも経済史の方法論について概観します 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				7 ここでも経済史の方法論について概観します 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	講義は配布資料にもとづき行います。高校の授業で歴史に関する科目を履修されていることが望ましいです。ただし配布資料で十分に学習できるようにします。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	授業中に小テストあるいは感想文などを書いてもらうことがあります。			
2. 中間テスト		%	授業の予復修を1時間程度行うことにより一層理解が深まります。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		80 %	授業中に小テストを行うことがあります。これは出席点として評価します。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特に指定しません。配布プリントをもとに講義します。					
参考書	川勝平太『経済史入門』日経文庫、2003年					
				8 ここでも経済史の方法論について概観します 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
				9 中間のまとめ ここでは方法論に関するまとめをします 予復修課題：これまでの配布プリントを復修しておくこと		
				10 経済史の著作に見る時代背景、問題意識(1) ここでは経済史の著作から、それが執筆された当時の時代背景や問題意識を探ります 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
				11 経済史の著作に見る時代背景、問題意識(2) ここでは経済史の著作から、それが執筆された当時の時代背景や問題意識を探ります 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
				12 経済史の叙述事例(1) ここでは経済史に関する個別事例をもとに、叙述の変遷をうかがいます 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
				13 経済史の叙述事例(2) ここでは経済史に関する個別事例をもとに、叙述の変遷をうかがいます 予復修課題：配布プリントを予復修しておくこと		
				14 まとめ これまでの授業のまとめを講義します 予復修課題：これまでの配布プリントを予復修しておくこと		
				15 まとめのテストおよび解説 これまで学んだことをテストします 予復修課題：これまでの配布プリントを予復修しておくこと		

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習 I 【地域の子育て支援】					単位数	授業内容**	
担当者	林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)			1	1	予復修課題：
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK1101	2	予復修課題：	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	全コース	3	予復修課題：	
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	区分*	地域創造学科	4	予復修課題：	
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の子育て支援領域では「子育て支援」をテーマにした活動を行う予定です。特に1年次には、実践を通じて地域の課題を発見し、必要な基礎知識を習得することを目指します。					5	予復修課題：	
授業到達目標	①仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する ②地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる ③社会人として基本マナーを身に付けることができる					6	予復修課題：	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	7	予復修課題：
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	8	予復修課題：
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	9	予復修課題：
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する						
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること						
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気をつけること						
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること						
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密						
5. 授業への参加意欲	30 %	などは、口外しないこと						
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %							
7.	%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%	・実習(第3回～13回)						
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表(第14回)						
3.	%	・報告書作成(第15回)						
再評価の実施	する	しない	○					
教科書	地域創造実習の手引き							
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。							
15	予復修課題：							

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習 I 【国際社会への貢献】					単位数	授業内容**		
	Practice of Regional Development I					1	1	予復修課題：	
担当者	黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)		田中 雅子 (TANAKA Masako)			専任	2	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK1101	3	予復修課題：		
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	4	予復修課題：	
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	区分*			5	予復修課題：	
授業概要	<p>本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。国際社会への貢献領域における地域創造実習では、本学の国際交流・留学生支援室や地域の国際交流に関わる団体等へ赴き、大学や地域の国際交流活動を通して、異なる文化背景を持つ人と交流することで、日本の文化と外国の文化がどのように異なるのかを考えます。また、特に1年次には、実践を通して、地域の方との交流、礼儀、礼節などの基本的なマナーについても学びます。</p>						6	予復修課題：	
授業到達目標	<p>①仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する ②地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる ③社会人として基本マナーを身に付けることができる</p>						7	予復修課題：	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[◎特に関係する ○関係する]								8	予復修課題：
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	9	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	10	予復修課題：	
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	11	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				12	予復修課題：	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する					13	予復修課題：	
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること					14	予復修課題：	
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気を付けること					15	予復修課題：	
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること							
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密							
5. 授業への参加意欲	30 %	などは、口外しないこと							
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	・実習(第3回～13回)							
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表(第14回)							
3.	%	・報告書作成(第15回)							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	地域創造実習の手引き						15	予復修課題：	
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習 I 【地域の学びの支援】					単位数	授業内容**				
	Practice of Regional Development I					1	1	予復修課題：			
担当者	貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)		尾上 百合加 (ONOUÉ Yurika)			専任					
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK1101	2	予復修課題：				
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース					
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	区分*							
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の学び支援領域では、「市民協働に関する学びとその発展」をテーマにした活動を行う予定です。特に1年次には、実践を通じて地域の課題を発見し、必要な基礎知識を習得することを目指します。					3	予復修課題：				
授業到達目標	①仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する ②地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる ③社会人として基本マナーを身に付けることができる					4	予復修課題：				
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕											
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	7	予復修課題：			
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	8	予復修課題：			
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	9	予復修課題：			
成績評価の方法(全体で100%)						履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合					<ul style="list-style-type: none"> ・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気をつけること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと 	11	予復修課題：			
1. 小テスト、感想文など	%						アクティブ・ラーニング <ul style="list-style-type: none"> ・実習(第3回～13回) ・中間発表(第14回) ・報告書作成(第15回) 	12	予復修課題：		
2. 中間テスト	%							13	予復修課題：		
3. 課題レポートなどの提出物	%								14	予復修課題：	
4. 授業中の発表、討論	20 %									15	予復修課題：
5. 授業への参加意欲	30 %										予復修課題：
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %										
7.	%										
2) 最終到達度の評価											
1. まとめのテスト	%										
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %										
3.	%										
再評価の実施	する	しない				○					
教科書	地域創造実習の手引き										
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。										
							15	予復修課題：			

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習 I 【まちづくりの推進】				単位数	授業内容**		
担当者		西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		1	1	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング		ERK1101	2	予復修課題：	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	3	予復修課題：	
配当年次	1年生	開講学期	後期集中	区分*			4	予復修課題：	
授業概要	「まち」を「つくる」とはどういうことなのか。誰が、どこで、どのようにして、「まちづくり」を実践しているのか。地域にはいかなるステークホルダーがいるのか。彼ら・彼女たちはどのように連携・協働しているのか。地域のニーズや課題とは具体的に何なのだろうか。本授業では、現地での学修（岡垣町の駅前イルミネーション整備事業）への参加を通じて、地域を「まちづくり」という視点から観察し、考えることを目的とする。 財務省、金融庁、（内閣府派遣）地方創生統括官の経験（西山）を活かした授業展開を行う。							5	予復修課題：
授業到達目標	①仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する ②地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる ③社会人として基本マナーを身に付けることができる							6	予復修課題：
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								7	予復修課題：
【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						○	8	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						◎	9	予復修課題：	
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						◎	10	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				11	予復修課題：	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する					12	予復修課題：	
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること					13	予復修課題：	
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気をつけること					14	予復修課題：	
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること					15	予復修課題：	
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと							
5. 授業への参加意欲	30 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	・実習（第3回～13回）							
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表（第14回）							
3.	%	・報告書作成（第15回）							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								
							15	予復修課題：	

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習 【地域の子育て支援】 Practice of Regional Development				単位数	授業内容**	
担当者		林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)		1	1	予復修課題:
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERK1201			2	予復修課題:
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	1年生	開講学期	後期					
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の子育て支援領域では「子育て支援」をテーマにした活動を行う予定です。特に1年次には、実践を通じて地域の課題を発見し、必要な基礎知識を習得することを目指します。						3	予復修課題:
							4	予復修課題:
授業到達目標	仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する 地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる 社会人として基本マナーを身に付けることができる						5	予復修課題:
							6	予復修課題:
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							7	予復修課題:
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							8	予復修課題:
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							9	予復修課題:
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							10	予復修課題:
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気を付けること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと 					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		20 %						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・実習(第3回~13回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	・成果発表(第14回)					
3.		%	・報告書作成(第15回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	地域創造実習の手引き							
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。							
							15	予復修課題:

授業内容については、
第1回授業で説明します。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 ** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習 【国際社会への貢献】 Practice of Regional Development					単位数	授業内容**	
担当者	黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)		田中 雅子 (TANAKA Masako)			1	1	予復修課題:
実務経験のある教員による授業			ナンバリング		ERK1201		2	予復修課題:
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	1年生	開講学期	後期					
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。国際社会への貢献領域における地域創造実習では、前期に引き続き、本学の国際交流・留学生支援室及び地域の国際交流に関わる団体等と関わりを持ち、大学や地域の国際交流活動を通して、異なる文化背景を持つ人と交流します。その交流を通じて、多文化の中で共生することは、どのようなメリット・デメリットが発生するのかを考えます。						3	予復修課題:
	仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する 地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる 社会人として基本マナーを身に付けることができる						4	予復修課題:
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						5	予復修課題:
	【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						6	予復修課題:
	【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						7	予復修課題:
	【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						8	予復修課題:
	成績評価の方法(全体で100%)						9	予復修課題:
	履修における留意事項						10	予復修課題:
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気を付けること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと					11	予復修課題:
1. 小テスト、感想文など	%						12	予復修課題:
2. 中間テスト	%						13	予復修課題:
3. 課題レポートなどの提出物	%							
4. 授業中の発表、討論	20 %							
5. 授業への参加意欲	30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %							
7.	%							
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	・実習(第3回~13回)					14	予復修課題:
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・成果発表(第14回)						
3.	%	・報告書作成(第15回)						
再評価の実施	する	しない					15	予復修課題:
教科書	地域創造実習の手引き							
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。							

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習 【地域の学びの支援】				単位数	授業内容**		
		Practice of Regional Development				1	1	予復修課題：	
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)		専任	2	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング ERK1201					3	予復修課題：	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	4	予復修課題：	
配当年次	1年生	開講学期	後期				5	予復修課題：	
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の学び支援領域では、「市民協働に関する学びとその発展」をテーマにした活動を行う予定です。特に1年次には、実践を通じて地域の課題を発見し、必要な基礎知識を習得することを目指します。						6	予復修課題：	
	仲間と協力して地域の活動に取り組むことにより、地域課題に対する基礎的知識を習得する地域や社会の一員として他者と協働することにより、年齢の異なる人たちとコミュニケーションができる 社会人として基本マナーを身に付けることができる						7	予復修課題：	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								8	予復修課題：
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						9	予復修課題：
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						10	予復修課題：
【主体性・協働性】		地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						11	予復修課題：
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項						12	予復修課題：
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気を付けること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと				13	予復修課題：	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				14	予復修課題：	
1. まとめのテスト		%	・実習(第3回~13回)				15	予復修課題：	
2. 論文、まとめのレポートなど		30%	・成果発表(第14回)						
3.		%	・報告書作成(第15回)						
再評価の実施	する	しない							
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								

授業内容については、
第1回授業で説明します。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習Ⅱ【まちづくりの推進】				単位数	授業内容**	
担当者		西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		1	1	予復修課題：
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング		ERK1201	2	予復修課題：
授業形式		実習		科目区分		実践科目群	3	予復修課題：
配当年次		1年生		開講学期		後期	4	予復修課題：
授業概要		開講学期		後期		区分*	5	予復修課題：
授業到達目標		地域創造学科		全コース			6	予復修課題：
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕							7	予復修課題：
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。				○	8	予復修課題：
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。				◎	9	予復修課題：
【主体性・協働性】		地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。				◎	10	予復修課題：
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					11	予復修課題：
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		・実習先などの詳細は、初回授業で説明する			12	予復修課題：
1. 小テスト、感想文など		%		・実習先でのルールやマナーを守ること			13	予復修課題：
2. 中間テスト		%		・実習を行う際は身だしなみを気をつけること			14	予復修課題：
3. 課題レポートなどの提出物		%		・活動の目的を理解して行動すること			15	予復修課題：
4. 授業中の発表、討論		20 %		・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと				
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		・実習(第3回～13回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %		・中間発表(第14回)				
3.		%		・報告書作成(第15回)				
再評価の実施		する		しない		○		
教科書		地域創造実習の手引き						
参考書		必要に応じて、授業中に適宜示す。						

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

**授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習Ⅲ【地域の子育て支援】					単位数	授業内容**		
	Practice of Regional DevelopmentⅢ					1	1	予復修課題：	
担当者	林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		尾上 百合加 (ONOUÉ Yurika)			専任	2	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK2101	3	予復修課題：		
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	4	予復修課題：	
配当年次	2年生		開講学期	後期集中		区分*	5	予復修課題：	
授業概要	<p>本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の子育て支援領域では「子育て支援」をテーマにした活動を行う予定です。1年次では基本的知識の習得（地域課題の発見）、2年次では実践的な活動（課題解決に向けた提案）と、各ステージにおいて目標をもって取り組んでいきます。</p>							6	予復修課題：
授業到達目標	<p>①地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 ②地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる ③地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる ④リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる</p>							7	予復修課題：
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								8	予復修課題：
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	9	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	10	予復修課題：	
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	11	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					12	予復修課題：
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する					13	予復修課題：	
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること					14	予復修課題：	
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気をつけること					15	予復修課題：	
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること							
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密							
5. 授業への参加意欲	30 %	などは、口外しないこと							
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト	%	・実習（第3回～13回）							
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表（第14回）							
3.	%	・報告書作成（第15回）							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								
								15	予復修課題：

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習Ⅲ【国際社会への貢献】					単位数	授業内容**		
	Practice of Regional DevelopmentⅢ					1	1	予復修課題：	
担当者	黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)		田中 雅子 (TANAKA Masako)			専任	2	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK2101		3	予復修課題：	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	4	予復修課題：	
配当年次	2年生	開講学期	後期集中	区分*			5	予復修課題：	
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。国際社会への貢献領域では、1年次での体験を活かし、国際交流・留学生支援室や地域の国際交流に関わる団体において、主体的に企画や運営を行います。また、多様な文化背景を持つ外国人と積極的に関わるために必要なスキルが何なのかを考えます。						6	予復修課題：	
授業到達目標	①地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 ②地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる。 ③地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる。 ④リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる。						7	予復修課題：	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[◎特に関係する ○関係する]									
【知識・技能】	学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	8	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	9	予復修課題：	
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	10	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				11	予復修課題：	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する					12	予復修課題：	
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること							
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気をつけること							
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること							
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密							
5. 授業への参加意欲	30 %	などは、口外しないこと							
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				13	予復修課題：		
1. まとめのテスト	%	・実習(第3回～13回)					14	予復修課題：	
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表(第14回)							
3.	%	・報告書作成(第15回)							
再評価の実施	する	しない	○					15	予復修課題：
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習Ⅲ【地域の学び支援】					単位数	授業内容**		
	Practice of Regional DevelopmentⅢ					1	1	予復修課題：	
担当者	貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)			専任	2	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK2101	3	予復修課題：		
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	4	予復修課題：	
配当年次	2年生	開講学期	後期集中	区分*			5	予復修課題：	
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の学び支援領域では、「市民協働に関する学びとその発展」をテーマにした活動を行う予定です。1年次では基本的知識の習得（地域課題の発見）、2年次では実践的な活動（課題解決に向けた提案）と、各ステージにおいて目標をもって取り組んでいきます。						6	予復修課題：	
授業到達目標	①地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 ②地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる ③地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる ④リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる						7	予復修課題：	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕									
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	8	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	9	予復修課題：	
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	10	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				11	予復修課題：	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する						12	予復修課題：
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること						13	予復修課題：
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気をつけること						14	予復修課題：
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること						15	予復修課題：
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと							
5. 授業への参加意欲	30 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	・実習（第3回～13回）							
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表（第14回）							
3.	%	・報告書作成（第15回）							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習Ⅲ【まちづくりの推進】					単位数	授業内容**		
	Practice of Regional DevelopmentⅢ					1	1	予復修課題：	
担当者	西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)			専任	2	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK2101		3	予復修課題：	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	4	予復修課題：	
配当年次	2年生	開講学期	後期集中	区分*			5	予復修課題：	
授業概要	「まち」を「つくる」とはどういうことなのか。誰が、どこで、どのようにして、「まちづくり」を実践しているのか。地域にはいかなるステークホルダーがいるのか。彼ら・彼女たちはどのように連携・協働しているのか。地域のニーズや課題とは具体的に何なのだろうか。本授業では、現地での学修（岡垣町の駅前イルミネーション整備事業）への参加を通じて、地域を「まちづくり」という視点から観察し、考えることを目的とする。							6	予復修課題：
	財務省、金融庁、（内閣府派遣）地方創生統括官の経験（西山）を活かした授業展開を行う。							7	予復修課題：
授業到達目標	①地域活動に必要な基本的スキルを身につける。							8	予復修課題：
	②地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる。							9	予復修課題：
③地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる。							10	予復修課題：	
④リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる。							11	予復修課題：	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								12	予復修課題：
【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						○	13	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						◎	14	予復修課題：	
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						◎	15	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				16	予復修課題：	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気をつけること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと 				17	予復修課題：	
1. 小テスト、感想文など		%					17	予復修課題：	
2. 中間テスト		%					18	予復修課題：	
3. 課題レポートなどの提出物		%					19	予復修課題：	
4. 授業中の発表、討論		20 %					20	予復修課題：	
5. 授業への参加意欲		30 %					21	予復修課題：	
6. 自主的学習(予習・復習など)		20 %					22	予復修課題：	
7.		%	23	予復修課題：					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				24	予復修課題：	
1. まとめのテスト		%	・実習（第3回～13回）				25	予復修課題：	
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	・中間発表（第14回）				26	予復修課題：	
3.		%	・報告書作成（第15回）				27	予復修課題：	
再評価の実施		する	しない	○				28	予復修課題：
教科書	地域創造実習の手引き							29	予復修課題：
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。							30	予復修課題：

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習 【地域の子育て支援】 Practice of Regional Development				単位数	授業内容**	
担当者		林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)		1	1	予復修課題:
実務経験のある教員による授業		ナンバリング ERK2201				専任	2	予復修課題:
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	3	予復修課題:
配当年次	2年生	開講学期	後期				4	予復修課題:
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の子育て支援領域では「子育て支援」をテーマにした活動を行う予定です。1年次では基本的知識の習得（地域課題の発見）、2年次では実践的な活動（課題解決に向けた提案）と、各ステージにおいて目標をもって取り組んでいきます。						5	予復修課題:
	地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる 地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる						6	予復修課題:
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔特に関係する 関係する〕						7	予復修課題:
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					8	予復修課題:
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					9	予復修課題:
【主体性・協働性】		地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					10	予復修課題:
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					11	予復修課題:
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気を付けること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと				12	予復修課題:
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					13	予復修課題:
1. まとめのテスト		%	・実習(第3回~13回)				14	予復修課題:
2. 論文、まとめのレポートなど		30%	・成果発表(第14回)				15	予復修課題:
3.		%	・報告書作成(第15回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	地域創造実習の手引き							
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。							

授業内容については、
第1回授業で説明します。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 ** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習 【国際社会への貢献】 Practice of Regional Development				単位数	授業内容**		
担当者		黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)		田中 雅子 (TANAKA Masako)		1	1	予復修課題:	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		ERK2201			2	予復修課題:	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース			
配当年次	2年生	開講学期	後期						
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。国際社会への貢献領域では、1年次の体験を基に、国際交流・留学生支援室や地域の国際交流に関わる団体へ赴き、積極的に国際交流事業の企画や運営に取り組みます。また、国際交流活動を通じて、多様な文化背景を持つ外国人との交流を深め、外国人と協働する方法を学びます。						3	予復修課題:	
							4	予復修課題:	
授業到達目標	地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる。 地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる。 リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる。						5	予復修課題:	
							6	予復修課題:	
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							7	予復修課題:	
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							8	予復修課題:	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							9	予復修課題:	
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							10	予復修課題:	
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項						
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気を付けること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと					11	予復修課題:	
1. 小テスト、感想文など	%						12	予復修課題:	
2. 中間テスト	%						13	予復修課題:	
3. 課題レポートなどの提出物	%								
4. 授業中の発表、討論	20 %								
5. 授業への参加意欲	30 %								
6. 自主的学習 (予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング							
1. まとめのテスト	%	・実習 (第3回~13回)					14	予復修課題:	
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・成果発表 (第14回)							
3.	%	・報告書作成 (第15回)							
再評価の実施	する	しない						15	予復修課題:
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								

授業内容については、
第1回授業で説明します。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 ** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造実習 【地域の学び支援】 Practice of Regional Development				単位数	授業内容**	
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)		尾上 百合加 (ONOUE Yurika)		1	1	予復修課題:
実務経験のある教員による授業		ナンバリング ERK2201					2	予復修課題:
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	後期					
授業概要	本実習では、北九州市及び近隣市町村をフィールドとし、行政、企業やボランティア団体など多様な団体と共に、地域活性化に取り組みます。地域の学び支援領域では、「市民協働に関する学びとその発展」をテーマにした活動を行う予定です。1年次では基本的知識の習得（地域課題の発見）、2年次では実践的な活動（課題解決に向けた提案）と、各ステージにおいて目標をもって取り組んでいきます。						3	予復修課題:
							4	予復修課題:
授業到達目標	地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる。 地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる。 リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる。						5	予復修課題:
							6	予復修課題:
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)							7	予復修課題:
【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							8	予復修課題:
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							9	予復修課題:
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							10	予復修課題:
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先などの詳細は、初回授業で説明する ・実習先でのルールやマナーを守ること ・実習を行う際は身だしなみを気を付けること ・活動の目的を理解して行動すること ・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと 					
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		20 %						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・実習 (第3回～13回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	・成果発表 (第14回)					
3.		%	・報告書作成 (第15回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	地域創造実習の手引き							
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。							
							15	予復修課題:

授業内容については、
第1回授業で説明します。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造実習Ⅳ【まちづくりの推進】					単位数	授業内容**		
担当者	西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)			1	1	予復修課題：	
実務経験のある教員による授業	○		ナンバリング		ERK2201		2	予復修課題：	
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース	3	予復修課題：	
配当年次	2年生		開講学期	後期		区分*	4	予復修課題：	
授業概要	<p>本授業では、地域から提示された課題を、解決する学修を通して、まちづくりの意味と意義を考察することを目的とする。地域にはどのような課題、問題があるのか。それはどのように解決されるのか。課題への解を提示するために、現地での学修（岡垣町の駅前イルミネーション整備事業）への参加を通じて、地域についての理解を深め、まちづくりという視点から地域を分析する。</p> <p>財務省、金融庁、（内閣府派遣）地方創生統括官の経験（西山）を活かした授業展開を行う。</p>							5	予復修課題：
授業到達目標	<p>①地域活動に必要な基本的スキルを身につける。 ②地域が抱える課題を正確に把握し、解決策を提案することができる。 ③地域で実施されている活動に積極的に取り組むことができる。 ④リーダーシップを発揮して、目標に向けた協力的な活動を展開することができる。</p>							6	予復修課題：
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕								7	予復修課題：
【知識・技能】	学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					○	8	予復修課題：	
【思考力・判断力・表現力】	実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					◎	9	予復修課題：	
【主体性・協働性】	地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					◎	10	予復修課題：	
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				11	予復修課題：	
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・実習先などの詳細は、初回授業で説明する					12	予復修課題：	
1. 小テスト、感想文など	%	・実習先でのルールやマナーを守ること					13	予復修課題：	
2. 中間テスト	%	・実習を行う際は身だしなみを気をつけること					14	予復修課題：	
3. 課題レポートなどの提出物	%	・活動の目的を理解して行動すること					15	予復修課題：	
4. 授業中の発表、討論	20 %	・実習先で知り得た他人のプライバシーや秘密などは、口外しないこと							
5. 授業への参加意欲	30 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %								
7.	%								
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング								
1. まとめのテスト	%	・実習（第3回～13回）							
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・中間発表（第14回）							
3.	%	・報告書作成（第15回）							
再評価の実施	する	しない	○						
教科書	地域創造実習の手引き								
参考書	必要に応じて、授業中に適宜示す。								

授業内容については、
第1回授業で説明します。

*コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。 **授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず〈UNIVERSAL PASSPORT〉で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域ワークショップ【北九州市連携授業:折尾まちづくり】 Regional Workshop				単位数	授業内容**	
担当者	西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		2	専任	1 ガイダンス 授業概要の説明、スケジュール、評価方法の説明、グループ決め 予復修課題：シラバスに目を通してくる。
実務経験のある教員による授業			ナンパリング		ERK2301		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	
配当年次	2-4年生		開講学期	通年(集中)			
授業概要	折尾駅周辺の高架工事等により、まちの姿が大きく変化し、高架下および折尾駅周辺の賑わいづくりや地域全体の活性化への期待が高まっている。折尾地区整備事業の進捗に合わせて、新しい図書館を含めた多世代交流拠点の整備が求められている。今回、北九州市との連携により、市職員の視点でまちづくりを体験し、再来年開設予定の多目的施設のコンセプトやネーミングを考え、北九州市長の前でプレゼンを行う。これらにより、地域の課題解決能力を培い、まちづくりに関する知見を深めることを目的とする。						
授業到達目標	<p>地域に関する知識を身につける。 課題を発見し、解決する力を身につける。 他者に自分の考え・意見を論理的に表現する力を身につける。 まちづくりの担い手として、主体的に考え、責任を持って行動する力を身につける。 まちづくりの担い手として、地域の人びとと協働し、まちづくりに貢献できるようになる。</p>						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先は、実社会のフィールドであることを認識し、ルールやマナーを厳守する。 ・活動の目的を理解して行動すること。 ・実習を行うときは身だしなみに気をつけること。 ・学外実習の場合は集団行動になるため、各自が決められた時間を厳守すること。 				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%	・本講義は、PBL(Problem Based Learning、問題解決型学修)で実施する(1~15回)。				
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %	・グループワークを行う(1~15回)。				
3.		%	・プレゼンテーションを行う(15回)。				
再評価の実施	する	しない					
教科書	とくに指定しないが、適宜レジュメ・資料を配布する。						
参考書	猪谷千香『つながる図書館』ちくま書店、2014年。						
						2	15 成果報告会(グループワーク) 予復修課題：発表の練習を行う。発表の際に気づいたことなどをメモしてまとめる。レポートを作成する。
							11 成果報告会準備(2) 成果報告会準備(グループワーク) 予復修課題：成果報告をまとめる。
							12 成果報告会準備(3) 成果報告会準備(グループワーク) 予復修課題：現地調査をまとめる。
							13 成果報告会準備(4) 成果報告会準備(グループワーク) 予復修課題：現地調査をまとめる。発表の練習を行う。
							14 成果報告会準備(5) 成果報告会準備、予行演習(グループワーク) 予復修課題：発表の練習を行う。発表練習の際に気づいたことなどをメモしてまとめる。
							15 成果報告会 予復修課題：発表の練習を行う。発表の際に気づいたことなどをメモしてまとめる。レポートを作成する。

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業研修 A Career Training A				単位数	授業内容**	
担当者		西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki)		林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				ERK2302		
授業形式		実習		科目区分		実践科目群		学科・コース
配当年次		2-4年生		開講学期		前期集中		地域創造学科
授業概要		マナー講座、事前指導を受けた後、1週間程度を目安に、企業または地方公共団体のインターンシップに行く。そのうえで、視野を広くすることを念頭において、大学生活の過ごし方を考える。実習後は、報告書の作成、振り返りを行ったうえで、実習先の方およびコースの学科の専任教員等が出席する報告会において実習内容を発表する。						
授業到達目標		インターンシップの経験を通じて、業界、働くことの意味、厳しさ、やりがいを理解することができる。 自分の適性を理解して、企業で求められている能力を身につけることができる。 仕事内容だけではなく、社会人としての社会での過ごし方も理解するようになる。						
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		1) 研修先選びは担当者に相談しながら行うこと。				
1. 小テスト、感想文など		%		2) 研修先が決まった後に取り消すことはできない。				
2. 中間テスト		%		3) 予復修には、1時間程度取り組むこと。				
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		30 %						
5. 授業への参加意欲		%						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		事前研修【第2回～第4回】				
2. 論文、まとめのレポートなど		70 %		職場体験【第5回～第12回】				
3.		%		事後研修【第13回～第14回】				
再評価の実施		する		活動報告会【第15回】				
教科書		大学指定のインターンシップ研修冊子を用いる。						
参考書								
1		インターンシップについて考え、インターンシップで「何を学び、何を得るのか」について理解を深める 予復修課題：インターンシップとアルバイトの違いを考えておく						
2		事前研修 1 自己紹介書の書き方について理解する 予復修課題：自身の特徴を詳しく書き出しておく						
3		事前研修 2 行動様式やマナーについて理解する 予復修課題：自身の言葉遣いの長所短所を書き出しておく						
4		事前研修 3 実習先別にガイダンスを行い、インターンシップ先の業務を理解する 予復修課題：実習先の情報を収集しておく						
5		職場体験 1 (実習先での活動) インターンシップ先における課題を見つけ、解決策を考える 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
6		職場体験 2 (実習先での活動) インターンシップ先における課題を見つけ、解決策を考える 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
7		職場体験 3 (実習先での活動) 見つかった課題に対して、解決策を実践する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
8		職場体験 4 (実習先での活動) 見つかった課題に対して、解決策を実践する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
9		職場体験 5 (実習先での活動) 実践した解決策を再度検証する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
10		職場体験 6 (実習先での活動) 実践した解決策を再度検証する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
11		職場体験 7 (実習先での活動) 再度検証した解決策を実践する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う						
12		職場体験 8 (実習先での活動) インターンシップの総まとめを行い、更に取り組むべき課題を考える 予復修課題：実習全日程の振り返りを行う						
13		事後研修 1 インターンシップを振り返り、課題と解決策について考える 予復修課題：活動報告書の作成を行う						
14		事後研修 2 課題と解決策についての効果的なプレゼンの仕方について学ぶ 予復修課題：活動記録発表の練習を行う						
15		活動報告会 報告会において実習内容を発表する 予復修課題：自身の成長点を振り返っておく						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業研修 B Career Training B		単位数	授業内容**	
担当者		西山 巨章 (NISHIYAMA Hiroaki) 林山 誠晴 (HAYASHIYAMA Masaharu)		2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		ERK2303		
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース
配当年次	2-4年生	開講学期	後期集中			
授業概要	「職業研修 A」で学んだことをもとにして、企業または地方公共団体のインターンシップを長期間行う。期間は1ヶ月未満とする。 実習前は事前指導を受け、実習後は報告書の作成、振り返りを行ったうえで、実習先の方およびコースの学科の専任教員等が出席する報告会において実習内容を発表する。					
	インターンシップの経験を通じて、業界、働くことの意味、厳しさ、やりがいを理解することができる。 自分の適性を理解して、企業で求められている能力を身につけることができる。 社会人と積極的にコミュニケーションをはかり、社会勉強をすることができる。 課題解決、実務経験を通じて、実習先に貢献できるような成果を出すことができる。					
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)					
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法 (全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	1) 研修先選びは担当者に相談しながら行うこと。			
1. 小テスト、感想文など		%	2) 研修先が決まった後に取り消すことはできない。			
2. 中間テスト		%	3) 予復修には、1時間程度取り組むこと。			
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		30 %				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習 (予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	事前研修【第2回～第4回】			
2. 論文、まとめのレポートなど		70 %	職場体験【第5回～第8回、第10回～第12回】			
3.		%	事後研修【第13回～第14回】			
再評価の実施	する	しない	活動報告会【第15回】			
教科書	大学指定のインターンシップ研修冊子を用いる。					
参考書						
1		ガイダンス 長期的なインターンシップと前回のインターンシップとの違いについて理解する 予復修課題：「職業研修 A」で学んだことを整理しておく				
2		事前研修 1 行動様式やマナーのあり方について他者に説明する 予復修課題：自身の言葉遣いの長所短所を書き出しておく				
3		事前研修 2 インターンシップのあり方についてワークショップを行う 予復修課題：インターンシップの意義について考える				
4		事前研修 3 実習先別にガイダンスを行い、インターンシップ先の業務を理解する 予復修課題：実習先の情報を収集しておく				
5		職場体験 1 (実習先での活動) インターンシップ先における課題を見つけ、解決策を考える 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う				
6		職場体験 2 (実習先での活動) インターンシップ先における課題を見つけ、解決策を考える 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う				
7		職場体験 3 (実習先での活動) 見つかった課題に対して、解決策を実践する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う				
8		職場体験 4 (実習先での活動) 見つかった課題に対して、解決策を実践する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う				
9		中間打合せ 見つかった課題に対して、解決策を話し合う 予復修課題：これまでの実習内容の振り返りを行う				
10		職場体験 5 (実習先での活動) 実践した解決策を再度検証する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う				
11		職場体験 6 (実習先での活動) 再度検証した解決策を実践する 予復修課題：当日の実習内容の振り返りを行う				
12		職場体験 7 (実習先での活動) インターンシップの総まとめを行い、更に取り組むべき課題を考える 予復修課題：実習全日程の振り返りを行う				
13		事後研修 1 インターンシップを振り返り、課題と解決策について考える 予復修課題：活動報告書の作成を行う				
14		事後研修 2 課題と解決策についての効果的なプレゼンの仕方について再確認する 予復修課題：活動記録発表の練習を行う				
15		活動報告会 報告会において実習内容を発表する 予復修課題：自身の成長点を振り返っておく				

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	チャレンジA【旅行業務取扱管理者】					単位数	授業内容**	
	Challenge A (Travel Services Manager)					2		1 当講義の概要および目的(旅行業務取扱管理者試験)について
担当者	貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)					専任		予復修課題: 旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと[30分]
実務経験のある教員による授業	ナンパリング					ERK2102		2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース	地域創造学科	全コース		予復修課題: 将来性を意識しながら職業イメージを持つこと[30分]
配当年次	2年生	開講学期	前期前半	区分*				3 旅行業法、国内観光資源
授業概要	当講義は、旅行業務取扱管理者試験(国内・総合)の重要科目である旅行業法(旅行業法及びこれに基づく命令)および国内の観光資源について、国家試験に合格するために必要な知識およびノウハウを身に付けていく。							総則
	また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。							予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
授業到達目標	・旅行業務を行う上で守るべきルールが定められている法律を修得することができる。							4 旅行業法、国内観光資源
	・国内の観光資源では、各観光名所をはじめ幅広い知識を身に付けることができる。							登録制度
	・国家試験に合格するために必要な基礎力から応用力まで身に付けることができる。							予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
	・観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。							5 旅行業法、国内観光資源
	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							営業保証金制度
	【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
	【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							6 旅行業法、国内観光資源
	【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							旅行業務取扱管理者
	成績評価の方法(全体で100%)							予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
	履修における留意事項							7 旅行業法、国内観光資源
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。						予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
1. 小テスト、感想文など	%	また、当国家試験は4科目あるため、その後に開講するチャレンジB(旅行業務取扱管理者)及び開放科目として設定している経済・経営						8 旅行業法、国内観光資源
2. 中間テスト	%	学科の研究会I J(旅行業務取扱管理者)の計4科目を同時に履修することが望ましい。						取引条件の説明と書面の交付
3. 課題レポートなどの提出物	5 %	(国家試験合格を目標 4科目受講)						予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
4. 授業中の発表、討論	%	アクティブ・ラーニング						9 旅行業法、国内観光資源
5. 授業への参加意欲	45 %	・実践学習						外務員、広告の表示等・誇大広告の禁止
6. 自主的学習(予習・復習など)	%	・ミニッツペーパー						予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
7.	%							10 旅行業法、国内観光資源
2) 最終到達度の評価								旅程管理、受託契約
1. まとめのテスト	50 %							予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
2. 論文、まとめのレポートなど	%							11 旅行業法、国内観光資源
3.	%							旅行業者代理業、禁止行為・登録の取消し等
再評価の実施	する	しない					予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]	
教科書	指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。							12 旅行業法、国内観光資源
参考書								予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
								13 旅行業法、国内観光資源
								旅行サービス手配業
								予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
								14 旅行業法、国内観光資源
								旅行業協会(法定業務・苦情解決業務)
								予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
								15 旅行業法、国内観光資源
								旅行業協会(弁済業務保証金制度)
								予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]
								まとめのテスト(まとめのテスト解説および講義の統括も実施する)
								予復修課題: 総まとめとして、旅行業法の指定した問題集を必ず解くこと[60分]

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	チャレンジA【TOEIC】				単位数	授業内容**	
	Challenge A (TOEIC)				2	1 イントロダクション 授業の構成および進め方、TOEICの概要説明 予復修課題：TOEICの情報についてインターネットなどで調べておくこと【30分】	
担当者	黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)				専任	第1回	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング ERK2102					2 TOEIC Part 1,5練習問題(物質の位置、品詞) 予復修課題：配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	第2回
配当年次	2年生	開講学期	前期前半				3 TOEIC Part 2,6,7練習問題(疑問文の答え方、語順、広告) 予復修課題：配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】
授業概要	本科目は、TOEIC Reading and Listeningテストにおいて、高得点を取得するために必要な知識およびノウハウを身につける。具体的には、400点-550点を獲得するためのリーディング能力、リスニング能力を身につけるために、必要な語彙、文法事項の説明や、ディクテーション、実践問題に取り組みます。						4 TOEIC Part 3,5練習問題(電話の会話、語法) 予復修課題：配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】
授業到達目標	1. TOEICにおいて400-550点レベルの語彙、文法知識、読解力を身につけることができる。 2. TOEICにおいて400-550点レベルのリスニング能力を身につけることができる。 3. TOEICの全パートの問題形式を知り、実際に対応することができる。						5 TOEIC Part 4,6,7練習問題(スピーチ、語法、図表) 予復修課題：配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・英語の辞書(電子辞書)を必ず持参すること。 ・分からない単語が出てきた場合には、必ずメモを取り、単語ノートなどを作成して覚えること。 ・本授業は、チャレンジB・C・Dを継続して履修ことをお勧めします。				
1. 小テスト、感想文など		10 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50 %	小テスト(第2回-第12回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリントを配布する。						
参考書							
							11 TOEIC Part 2,6,7練習問題(問かけ、接続詞、募集の手紙) 予復修課題：配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】
							12 TOEIC Part 3,5練習問題(会社での会話、分詞) 予復修課題：まとめのテストに向けて各自振り返りを行う【60分】
							まとめのテスト 13 TOEICの実戦形式の問題を行います。(13回目・14回目の時間を使います) 予復修課題：まとめのテストの内容の振り返りを各自で行う【60分】
							まとめのテスト 14 TOEICの実戦形式の問題を行います。(13回目・14回目の時間を使います) 予復修課題：まとめのテストの内容の振り返りを各自で行う【60分】
							まとめのテスト解説 15 まとめのテスト 及び で行ったテストの解説を行います。 予復修課題：まとめのテストの内容の振り返りを各自で行う【60分】

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		チャレンジA【簿記2級】 Challenge A (Book-keeping)				単位数	授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				ERK2102		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	前期前半					
授業概要	簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソン必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソン必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。							
	授業到達目標	簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は90分以上行うこと。					
1. 小テスト、感想文など		10 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト(第2回から第14回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパー(第1回から第14回)					
3.		%	ペアワーク(第2回から第14回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	よせだあつこ著『パブプロ流でみんな合格 日商簿記2級商業簿記 テキスト&問題集 第5版』,翔泳社							
参考書								
1		ガイダンス、収益・費用の認識基準 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンスを行う。 予復修課題: シラバスを熟読しておくこと。簿記について簡単に調べておくこと。						
2		商品売買・サービス業および売上原価 教科書のchapter02、03について説明を行う。 予復修課題: 教科書chapter02及び03を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
3		外貨建取引 外貨建取引について説明を行う。 予復修課題: 教科書chapter04を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
4		商品売買・サービス業および売上原価、外貨建取引の演習 商品売買・サービス業および売上原価、外貨建取引の演習を行う。 予復修課題: 教科書chapter02から04を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。						
5		手形・債権の譲渡 手形・債権の譲渡について説明を行う。 予復修課題: 教科書chapter05を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
6		手形・債権の譲渡の演習 手形・債権の譲渡の演習を行う。 予復修課題: 教科書chapter05を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。						
7		当座預金の銀行勘定調整表 当座預金の銀行勘定調整表について説明を行う。 予復修課題: 教科書chapter06を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
8		当座預金の銀行勘定調整表の演習 当座預金の銀行勘定調整表について演習を行う。 予復修課題: 教科書chapter06を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。						
9		固定資産 固定資産の圧縮記帳等や減価償却について説明を行う。 予復修課題: 教科書chapter07を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
10		固定資産の演習 固定資産の圧縮記帳等や減価償却について演習を行う。 予復修課題: 教科書chapter07を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。						
11		リース取引 リース取引について説明を行う。 予復修課題: 教科書chapter08を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
12		リース取引の演習 リース取引について演習を行う。 予復修課題: 教科書chapter08を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。						
13		有価証券 目的別有価証券について説明をする。 予復修課題: 教科書chapter09を熟読し、疑問点等は調べておくこと。						
14		有価証券の演習 有価証券について演習を行う。 予復修課題: 教科書chapter09を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。						
15		まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題: これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		チャレンジB【旅行業務取扱管理者】 Challenge B (Travel Services Manager)				単位数	授業内容**			
担当者		貝掛 祥広 (KAIKAKE Yoshihiro)				2	1 当講義の概要および目的(旅行業務取扱管理者試験)について 予復修課題: 旅行業務取扱管理者の試験概要を把握しておくこと[30分]			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 旅行業界をはじめ「観光」に関する業界を取り巻く環境について 予復修課題: 将来性を意識しながら職業イメージを持つこと[30分]			
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース			
配当年次		2年生		開講学期	前期後半		3 約款、海外観光資源 総則、契約の成立 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]			
授業概要		当講義は、旅行業務取扱管理者試験(国内・総合)の重要科目である約款および海外の観光資源について、国家試験に合格するために必要な知識およびノウハウを身に付けていく。 また、当講義を通じて職業意識も身に付け、自らの将来(就職)を考える機会にする。						4 約款、海外観光資源 契約の変更、契約の解除 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
授業到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者等と旅行者との約束事(約款)を修得することができる。 ・海外の観光資源では、各観光名所をはじめ幅広い知識を身に付けることができる。 ・国家試験に合格するために必要な基礎力から応用力まで身に付けることができる。 ・観光業界の現状を踏まえ、将来性および課題をはじめ自らの意見を論述できるようになる。 						5 約款、海外観光資源 旅行代金の払戻し、団体・グループ、旅程管理、責任 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								6 約款、海外観光資源 旅程保証、特別補償規定 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						7 約款、海外観光資源 特別補償規定 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		8 約款、海外観光資源 旅行相談契約、渡航手続代行契約 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						9 約款、海外観光資源 国際航空運送約款 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		10 約款、海外観光資源 国際航空運送約款 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						11 約款、海外観光資源 国内航空運送約款 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		12 約款、海外観光資源 モデル宿泊約款 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
成績評価の方法(全体で100%)						履修における留意事項		13 約款、海外観光資源 JR旅客営業規則 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	国家試験に合格するための講義であるため、指定の教科書・問題集を必ず購入すること。 また、当国家試験は4科目あるため、前に開講するチャレンジA(旅行業務取扱管理者)および開放科目として設定している経済・経営学科の研究会I J(旅行業務取扱管理者)の計4科目を同時に履修することが望ましい。 (国家試験合格を目標 4科目受講)				14 約款、海外観光資源 貸切バス約款、フェリー標準約款 予復修課題: 当講義のポイントを復修および関連する問題集を必ず解くこと[60分]		15 約款、海外観光資源 まとめのテスト(まとめのテスト解説および講義の統括も実施する) 予復修課題: 総まとめとして、約款の指定した問題集を必ず解くこと[60分]	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				・実践学習			
1. まとめテスト		50%					・ミニッツペーパー			
2. 論文、まとめレポートなど		%								
3.		%								
再評価の実施		する	しない							
教科書		指定教材を本学内の紀伊国屋書店で購入すること。詳細は、1回目の講義で詳しく説明する。								
参考書										

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	チャレンジB【TOEIC】					単位数	授業内容**	
担当者	黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)					2	1 インTRODククション 授業の構成および進め方、TOEICの概要説明、TOEIC IPテストの説明など 予復修課題： TOEICの情報についてインターネットなどで調べておくこと【60分】	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング					専任	2 第1回 TOEIC Part 4,6,7練習問題(案内、分詞、お知らせ) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	3 第2回 TOEIC Part 1,5練習問題(人物描写、動詞の語法) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
配当年次	2年生	開講学期	前期後半				4 第3回 TOEIC Part 2,6,7練習問題(特殊な疑問詞、前置詞、説明文) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業概要	本科目は、TOEIC Reading and Listeningテストにおいて、高得点を取得するために必要な知識およびノウハウを身につける。具体的には、450点-600点を獲得するためのリーディング能力、リスニング能力を身につけるために、必要な語彙、文法事項の説明や、ディクテーション、実践問題に取り組みます。						5 第4回 TOEIC Part 3,5練習問題(ビジネス会話、不定詞) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業到達目標	1. TOEICにおいて450-600点レベルの語彙、文法知識、読解力を身につけることができる。 2. TOEICにおいて450-600点レベルのリスニング能力を身につけることができる。 3. TOEICの全パートの問題形式を知り、実際に対応することができる。 4. TOEIC IPテストを受験し、450点-600点を取得できる。						6 第5回 TOEIC Part 4,6,7練習問題(ガイド、不定詞、社内文書) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・英語の辞書(電子辞書)を必ず持参すること。 ・分からない単語が出てきた場合には、必ずメモを取り、単語ノートなどを作成して覚えること。 ・TOEIC Bridge IPテスト(有料)の受験が義務となります。 ・本授業は、チャレンジAから継続してB、C、Dと受講することをお勧めします。						
1. 小テスト、感想文など	10 %	アクティブ・ラーニング 小テスト(第2回-第11回)						
2. 中間テスト	%							
3. 課題レポートなどの提出物	%							
4. 授業中の発表、討論	%							
5. 授業への参加意欲	30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %							
7.	%							
2) 最終到達度の評価								
1. まとめのテスト	30 %							
2. 論文、まとめのレポートなど	%							
3. TOEIC IPテスト	20 %							
再評価の実施	する	しない						
教科書	プリントを配布							
参考書								
							11 第10回 TOEIC 総合練習問題 予復修課題： まとめのテストに向けて各自振り返りを行う【60分】	
							12 まとめのテスト TOEICの実戦形式の問題を行います。(12回目・13回目の時間を使います) 予復修課題： まとめのテストの内容の振り返りを各自で行う【60分】	
							13 まとめのテスト TOEICの実戦形式の問題を行います。(12回目・13回目の時間を使います) 予復修課題： まとめのテストの内容の振り返りを各自で行う【60分】	
							14 まとめのテスト解説 まとめのテスト 及び で行ったテストの解説を行います。 予復修課題： まとめのテストの内容の振り返りとTOEIC IPに向けて準備する【60分】	
							15 TOEIC IPテスト 予復修課題： TOEIC IPテストに向けて準備を行う【60分】	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		チャレンジB【簿記2級】 Challenge B (Book-keeping)				単位数	授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)				2	専任	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				ERK2103		
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	前期後半					
授業概要	簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソン必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソン必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。							
	簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。 各種帳簿について説明することができる。 税効果会計・合併・本支店会計・連結会計について説明することができる。							
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】		学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					1 ガイダンス、引当金 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンス及び引当金の説明を行う 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。教科書chapter10を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
【思考力・判断力・表現力】		実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					2 引当金の演習 引当金について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter10を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。	
【主体性・協働性】		地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					3 純資産 純資産について説明を行う 予復修課題： 教科書chapter11を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					4 純資産の演習 純資産について演習を行う 予復修課題： 教科書chapter11を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は120分以上行うこと。			5 税金および税効果会計 税金および税効果会計について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter12を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			6 税金および税効果会計の演習 税金および税効果会計について演習を行う 予復修課題： 教科書chapter12を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。		
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト(第2回から第14回)			7 合併、その他の論点 合併、その他の論点について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter13を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパー(第1回から第14回)			8 合併、その他の論点の演習 合併、その他の論点について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter13を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。		
3.		%	ペアワーク(第2回から第14回)			9 精算表・財務諸表 精算表・財務諸表について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter14を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
再評価の実施	する	しない	10 精算表・財務諸表の演習 精算表・財務諸表について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter14を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。					
教科書	よせだあつこ著 『パブロフ流でみんな合格 日商簿記2級商業簿記 テキスト&問題集 第5版』,翔泳社							
参考書	11 本支店会計 本支店会計について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter15を熟読し、疑問点等は調べておくこと。							
12 本支店会計の演習 本支店会計について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter15を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。							13 連結会計 連結会計について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter16を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
13 連結会計の演習 連結会計について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter16を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。							14 連結会計について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter16を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。	
14 まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。							15	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		チャレンジC【FP】 Challenge C (FP)				単位数	授業内容**	
担当者		甘 長青 (KAN Chousei)				2	1 当講義の概要および目的 (ファイナンシャルプランニング技能検定3級) について 予復修課題: ファイナンシャルプランニング技能検定3級の試験概要を把握しておくこと	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 第1章 ライフプランニングと資金計画 (1) FPの倫理と関連法規、ライフプランニングの考え方と手法、社会保険、公的年金 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと	
授業形式		科目区分		実践科目群		ERK2202		
配当年度		2年生		開講学期		後期前半		
授業概要		学科・コース		地域創造学科		全コース		
授業到達目標		開講学期		後期前半		3 第1章 ライフプランニングと資金計画 (2) 企業・個人年金、年金と税金、ライフプラン策定上の資金計画、ローンとカードなど 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)		学科・コース		区分*		4 第2章 リスク管理 (1) リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の基本と保険商品、生命保険と税金など 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。		地域創造学科		全コース		5 第2章 リスク管理 (2) 損害保険の基本と保険商品、損害保険と税金、第三分野の保険、理解度チェックテスト 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。		地域創造学科		全コース		6 第3章 金融資産運用 (1) マーケット環境、預貯金・金融類似商品、投信、債券、株式投資、外貨建て商品など 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。		地域創造学科		全コース		7 第3章 金融資産運用 (2) 金融派生商品、ポートフォリオ運用、金融商品と税金、セーフティネット、関連法規など 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項		全コース		8 第4章 タックスプランニング (1) 日本の税制、所得税の仕組み、各種所得の内容、損益通算、所得控除など 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		毎回授業の前と後に予・復修が必要不可欠。 授業の前と後に最低1時間以上の予修と復修がなければ、三級FP技能士の資格が取れない。 かならず予修をしたうえで、授業終了後にテキストを読み直して重要項目をしっかりと押さえておくこと。なお、テキストについては、1回目の講義時に案内する予定。		9 第4章 タックスプランニング (2) 税額控除、所得税の申告と納付、個人住民税、個人事業税、理解度チェックなど 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
1. 小テスト、感想文など		%				10 第5章 不動産 (1) 不動産の見方、不動産取引、不動産関連法規制、不動産の取得・保有にかかる税金 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
2. 中間テスト		%				11 第5章 不動産 (2) 不動産の譲渡にかかる税金、不動産賃貸と税金、不動産の活用、不動産の証券化など 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
3. 課題レポートなどの提出物		%				12 第6章 相続・事業承継 (1) 贈与と法律、贈与と税金、相続と法律、相続と税金 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
4. 授業中の発表、討論		%				13 第6章 相続・事業承継 (2) 相続財産の評価(不動産以外)、相続財産の評価(不動産)、相続対策、理解度チェック 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書(実戦問題集)の関連ページを解くこと		
5. 授業への参加意欲		40%				14 総合模擬テスト 学科試験(60分)、答え合わせ・解説(30分)		
6. 自主的学習(予習・復習など)		40%				15 試験時間60分、試験後 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:模擬テストの間違った問題を再考すること		
7.		%				総合模擬テスト 実技試験(60分)、答え合わせ・解説(30分)		
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング		F P技能検定3級の実施団体は、一般財団法人金融財政事情研究会とNPO法人日本FP協会。 両法人とも数年分の過去問及び正答をHPにて公開しているため、そちらを利活用する。		予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:模擬テストの間違った問題を再考すること		
1. まとめのテスト		%						
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3. 模擬試験		20%						
再評価の実施		する		しない				
教科書		前田信弘『一発合格FP技能士3級完全攻略テキスト』ナツメ社、2020年(予定)、本体1,400円+税						
参考書		前田信弘『一発合格FP技能士3級完全攻略実戦問題集』ナツメ社、2020年(予定)、本体1,500円+税						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	チャレンジC【TOEIC】					単位数	授業内容**	
	Challenge C (TOEIC)					2	1 イントロダクション 授業の構成および進め方、TOEICの概要説明、TOEIC IPテストの説明など 予復修課題： TOEICの情報についてインターネットなどで調べておくこと【30分】	
担当者	田中 雅子 (TANAKA Masako)					専任	第1回	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング ERK2202						2 TOEIC Part 4,6,7練習問題(案内、分詞、お知らせ) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	第2回	
配当年次	2年生	開講学期	後期前半				3 TOEIC Part 1,5練習問題(人物描写、動詞の語法) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業概要	<p>本科目は、TOEIC Reading and Listeningテストにおいて、高得点を取得するために必要な知識およびノウハウを身につける。具体的には、500点～650点を獲得するためのリーディング能力、リスニング能力を身につけるために、必要な語彙、文法事項の説明や、ディクテーション、実践問題に取り組みます。</p>						4 TOEIC Part 2,6,7練習問題(特殊な疑問詞、前置詞、説明文) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
							5 TOEIC Part 3,5練習問題(ビジネス会話、不定詞) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
授業到達目標	<p>1. TOEICにおいて500～650点レベルの語彙、文法知識、読解力を身につけることができる。 2. TOEICにおいて500～650点レベルのリスニング能力を身につけることができる。 3. TOEICの全パートの問題形式を知り、実際に対応することができる。 4. TOEIC L&R公開テストを受験し、500点～650点を取得できる。</p>						6 TOEIC Part 4,6,7練習問題(ガイド、不定詞、社内文書) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
							7 TOEIC Part 1,5練習問題(風景・人物描写、仮定法) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<p>・英語の辞書(電子辞書)を必ず持参すること。 ・分からない単語が出てきた場合には、必ずメモを取り、単語ノートなどを作成して覚えること。 ・TOEIC L&R公開テスト(有料)の受験が義務となります。 ・本授業は、チャレンジAから継続してB、C、Dと受講することをお勧めします。</p>					
1. 小テスト、感想文など		10 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		50 %	小テスト(第2回-第11回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		%						
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	プリントを配布							
参考書								
							10 TOEIC Paert4,6,7練習問題(ニュース、助動詞、説明書) 予復修課題： 配布プリントを行うこと及び小テストに向けての勉強をする【60分】	
							第10回	
							11 TOEIC 総合練習問題 予復修課題： まとめのテストに向けて各自振り返りを行う【60分】	
							まとめのテスト	
							12 TOEIC実戦形式の問題を行い、解説します(12回目・13回目の時間を使います) 予復修課題： まとめのテストの内容の振り返り及びTOEIC IPテストの勉強を各自で行う【60分】	
							まとめのテスト	
							13 TOEIC実戦形式の問題を行い、解説します(12回目・13回目の時間を使います) 予復修課題： まとめのテストの内容の振り返り及びTOEIC IPテストの勉強を各自で行う【60分】	
							TOEIC IPテスト (14回目・15回目の時間を使います。)	
							14 TOEIC IPテストを実施します(事前説明及び実施)。 予復修課題： TOEIC IPに向けて単語を覚えるなど、各自準備する【60分】	
							TOEIC IPテスト (14回目・15回目の時間を使います。)	
							15 TOEIC IPテストを実施します(実施及び問題用紙・解答用紙回収、授業内容の振り返り)、 予復修課題： TOEIC IPに向けて単語を覚えるなど、各自準備する【60分】	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		チャレンジC【簿記2級】 Challenge C (Book-keeping)				単位数	授業内容**	
担当者		堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)				2	1 ガイダンス、工業簿記とは 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンス及び工業簿記の説明を行う 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。教科書chapter01を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング ERK2202				専任	2 材料費 材料費について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter01及び02を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	後期前半			3 労務費 労務費について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter03を熟読し、疑問点等は調べておくこと。		
授業概要	簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソン必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソン必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。							
	授業到達目標 簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。 各種帳簿について説明することができる。 税効果会計・合併・本支店会計・連結会計について説明することができる。							
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)								
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は120分以上行うこと。					
1. 小テスト、感想文など		10 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		30 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト(第2回から第14回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニッツペーパー(第1回から第14回)					
3.		%	ペアワーク(第2回から第14回)					
再評価の実施	する	しない						
教科書	よせだあつこ著『パブロフ流でみんな合格 日商簿記2級商業簿記 テキスト&問題集 第5版』,翔泳社							
参考書								
15		まとめのテスト、これまでの振り返り まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		チャレンジD【ITパスポート】 Challenge D (Information Technology Passport)				単位数	授業内容**			
担当者		甘 長青 (KAN Chousei)				2	1 当講義の概要および目的 (ITパスポート) について (テキスト、参考書等) 予復修課題: ITパスポート検定の試験概要を把握しておくこと			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				専任	2 第1章 ハードウェア (1) 1-01 情報の表現、1-02 5大装置とCPU、1-03 メモリとキャッシュメモリ 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと			
授業形式		演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	ERK2203 全コース			
配当年次		2年生		開講学期	後期後半		3 第1章 ハードウェア (2) 1-04 補助記憶装置 1-05 入力装置と出力装置 1-06 入出力インタフェース 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと			
授業概要		<p>本科目は、情報処理技術者試験 (ITパスポート検定) の取得を目指す学生のために開講する。なお、本科目は少人数制による授業を行うため、受講人数の制限がなされる場合がある。また、この授業ではクォータ制をとっており、資格取得時期に合わせた開講をし、1週間のうちに2回講義を行うことになるうえ、受講者の積極的な予修・復修が必要不可欠である。</p> <p>ITパスポート検定は、日本の国家試験として初めてCBT方式を導入している。CBT (Computer Based Testing) とは、コンピュータを利用して実施する試験方式のことを指す。</p>						4 第1章 ハードウェア (3) 1-07 確率 1-08 基数変換 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
授業到達目標		<p>ITパスポート検定は情報知識の入門に最適で、パスしやすい国家資格であるため、受講者は自分のペースに合わせて勉強し、随時受けられる検定試験に合格することを到達目標とする。</p> <p>なお、当該検定試験の出題範囲は広いと、受講者は合格を目指して、ネットワークや情報セキュリティといった理系の知識だけでなく、マネジメントなど文系の知識にも関心を持ち、事前の予修・事後の復修の習慣化を身に付けることが期待される。</p>						5 第2章 ソフトウェアとマルチメディア (1) 2-01 ソフトウェア 2-02 ファイル管理 2-03 バックアップ 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								6 第2章 ソフトウェアとマルチメディア (2) 2-04 表計算1 2-05 表計算2 2-06 表計算3 2-07 データ形式とマルチメディア 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								7 第3章 システム構成 (1) 3-01 システムの構成 3-02 クライアントサーバシステム 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								8 第3章 システム構成 (2) 3-03 システムの信頼性 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								9 第4章 ネットワーク 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				10 第5章 セキュリティ 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<p>かならず予修をしたうえで、授業終了後にテキストを読み直して重要項目をしっかりと押さえておくこと。なお、参考書等については、1回目の講義時に詳しく案内する予定。</p> <p>予復修課題の取組時間: 少なくとも2時間程度</p>						11 第6章 データベース 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと	
1. 小テスト、感想文など		%	アクティブ・ラーニング ITパスポートは、すべての社会人やこれから社となる学生が備えておくべきITに関する基礎知識が証明できる国家試験。多くの過去問がネット上に無償公開されている為、活用する予定。						12 第7章 アルゴリズムとプログラミング 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと	
2. 中間テスト		%							13 第8章 マネジメント 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと	
3. 課題レポートなどの提出物		%							14 第9章 企業活動と法務 第10章 経営戦略とシステム戦略 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:参考書の関連ページを解くこと	
4. 授業中の発表、討論		%							15 総合模擬テスト 総合模擬テスト (60分間) および授業の総括 (30分間) を行う 予復修課題: 予修:教科書を熟読しておくこと。復修:模擬テストの間違った問題を再考すること	
5. 授業への参加意欲		40 %								
6. 自主的学習 (予習・復習など)		40 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価										
1. まとめのテスト		%								
2. 論文、まとめのレポートなど		%								
3. 模擬試験		20 %								
再評価の実施		する								
教科書		栢木厚『令和02年 栢木先生のITパスポート教室』、技術評論社、2019年								
参考書		必要に応じて受講者に告知する予定。								

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	チャレンジD【TOEIC】					単位数	授業内容**	
担当者	田中 雅子 (TANAKA Masako)					2	1	
専任							イントロダクション 授業の構成および進め方、TOEICの概要説明、TOEIC IPテストの説明など 予復修課題： TOEICについてインターネットなどで調べ、各自目標を設定しておくこと【60分】	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング					ERK2203	2	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2年生	開講学期	後期後半			2		
授業概要	<p>本科目は、TOEIC Reading and Listeningテストにおいて、高得点を取得するために必要な知識およびノウハウを身につける。具体的には、550点-700点を獲得するためのリーディング能力、リスニング能力を身につけるために、必要な語彙、文法事項の説明や、ディクテーション、実践問題に取り組みます。</p>					3		
授業到達目標	<p>1. TOEICにおいて550-700点レベルの語彙、文法知識、読解力を身につけることができる。 2. TOEICにおいて550-700点レベルのリスニング能力を身につけることができる。 3. TOEICの全パートの問題形式を知り、実際に対応することができる。 4. TOEIC IPテストを受験し、550点-700点を取得できる。</p>					4		
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							5	
【知識・技能】 学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							6	
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							7	
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							8	
成績評価の方法(全体で100%)							9	
履修における留意事項							10	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の辞書(電子辞書)を必ず持参すること。 ・分からない単語が出てきた場合には、必ずメモを取り、単語ノートなどを作成して覚えること。 ・TOEIC IPテスト(有料)の受験が義務となります。 ・本授業は、チャレンジAから継続してB、C、Dと受講することをお勧めします。 				11	
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				12	
1. まとめのテスト		30 %	小テスト(第2回-第11回)				13	
2. 論文、まとめのレポートなど		%					14	
3. TOEIC IPテスト		20 %					15	
再評価の実施	する	しない						
教科書	プリントを配布							
参考書								

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	チャレンジD【簿記2級】 Challenge D (Book-keeping)				単位数	授業内容**	
担当者	堂野崎 融 (DOUNOSAKI Tooru)				2	1 ガイダンス、総合原価計算 授業概要、評価項目、日商簿記検定受験等についてガイダンス及び総合原価計算の説明 予復修課題： シラバスを熟読しておくこと。教科書chapter10を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング ERK2203				専任	2 総合原価計算の演習 総合原価計算について演習を行う。 予復修課題： 教科書chapter10を熟読し、概要を理解し、疑問点等は調べておくこと。	
授業形式	演習	科目区分	実践科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	
配当年次	2年生	開講学期	後期後半			3 工程別総合原価計算 工程別総合原価計算について説明を行う。 予復修課題： 教科書chapter11を熟読し、疑問点等は調べておくこと。	
授業概要	簿記は、世界共通のものであり、企業のみならず、非営利団体、国・地方公共団体なども含めたあらゆる経済主体が行う経済活動を記録する仕組みとして役立てられている。またそれらの記録は、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにすることができる。簿記はビジネスパーソン必須スキルとして挙げられている。このことから授業においては、ビジネスパーソン必須スキルである簿記の基礎を学び、簿記の仕組みを理解することを目的としている。						
	授業到達目標 簿記一巡について、説明することができる。 学修範囲の仕訳について、説明することができる。 各種帳簿について説明することができる。 税効果会計・合併・本支店会計・連結会計について説明することができる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	事前に電卓を準備しておくこと 事前に教科書を購入しておくこと 日商簿記検定受験を前提とする 毎回小テスト及び予復修課題を課す 特に表記がない場合、予復修の時間は120分以上行うこと。				
1. 小テスト、感想文など		10 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		40 %	ミニテスト(第2回から第14回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%	ミニツッペーパー(第1回から第14回)				
3.		%	ペアワーク(第2回から第14回)				
再評価の実施	する	しない					
教科書	よせだあつこ著 『パブロフ流でみんな合格 日商簿記2級商業簿記 テキスト&問題集 第5版』,翔泳社						
参考書							
						15 まとめのテストを行い、これまで学んだ内容を振り返る。 予復修課題： これまで学んだすべての内容を振り返り、復修しておくこと。	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		海外地域学研修 Student's Travel Abroad for Regional Studies				単位数	授業内容**	
担当者		黒木 隆善 (KUROGI Takayoshi)		田中 雅子 (TANAKA Masako)		専任	<p>下記の内容は現時点でのスケジュールです。 具体的なスケジュールは、事前授業の第1回目に提示します。</p> <p>1. 事前授業について (5時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション (1時間) : スケジュール説明、具体的な目標、評価について説明 ・研修先について (1時間) : フィリピン・イロイロ市 Green International Technological Collegeと、NGO法人L00Bについての情報紹介・実際にSkypeを通じてのミーティング ・海外での危機管理について (1時間) ・申込書記入、航空券の発券等について (1時間) ・海外旅行保険、出発時の注意事項、期末レポート等について(1時間) <p>* 事前授業の日程については、履修登録時の学生全員の予定を調整して行います。</p> <p>2. 研修先での授業内容 (10日間：93時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NGO法人L00Bに行き、5日間のSDGsツアーへ参加する (1日7時間学外実習)+1日2時間の義務自習 (5日間合計45時間) <p>* ツアーの内容については、参加学生とのSkypeミーティング等を通してNGO法人L00Bが決定しますが、これまでの実績では下記のような内容が盛り込まれています： [フェアトレード生産者訪問・小学校訪問・現地でのホームステイ体験・フィリピン文化体験・ゴミ処理場訪問・プレゼンテーション等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定校のGITCで、SDGsに関連した英語の授業 (スピーキング中心) を行う (1日9.6時間：マンツーマン授業50分 x 4コマ、グループ授業50分 x 3コマ、ナイトクラス 60分1コマ、義務自習120分) (5日間合計48時間) <p>3. 期末レポートについて 研修先から帰国後に、レポートを提出する。</p> <p>* 具体的な費用等については後日提示しますが、おおよそ20万円程度になる見込みです。</p> <p>予復修課題：</p>	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				ERK2304		
授業形式	実習	科目区分	実践科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース		
配当年次	2-4年生	開講学期	後期集中					
授業概要	海外ボランティア活動を円滑に行う上で、英語等の外国語に関するスキル及び対人コミュニケーション能力は、必須の能力となる。そのため、本研修では実際に海外の教育機関等に赴き、海外のボランティア活動やSDGs活動に取り組むことで、英語等のスキル及び対人コミュニケーション能力の向上を目指す。具体的には、協定校のGITCが提供するNGO法人との共同プログラムに参加し、SDGs活動とそれに関連した語学学習を行う。							
授業到達目標	<p>1. NGO法人のSDGs活動について知る。</p> <p>2. SDGsの活動を行う上で必要な英語の知識と対人コミュニケーション能力を身につける。</p>							
卒業認定・学位授与の方針 (DP) と授業到達目標との関係 (特に関係する 関係する)								
【知識・技能】 学士 (経済学) として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。								
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。								
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。								
成績評価の方法 (全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なスケジュールは、第1回の事前授業の際に提示します。 ・Skypeを使い、現地NGO法人やGITCとの打ち合わせを行います。 ・海外での研修のため、飛行機代、宿泊代、食事代、授業料等が発生します。 ・現地の状況も加味し、スケジュールが変更になる場合もあります。 				
1. 小テスト、感想文など		%						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		20 %						
5. 授業への参加意欲		30 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		20 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%		ディスカッション (研修中)				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %		プレゼンテーション (研修中)				
3.		%						
再評価の実施		する		しない				
教科書								
参考書								

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造ゼミナール Seminar of Regional Development				単位数	授業内容**	
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)		西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)		2	専任	1 ガイダンス、地域創造学科における学びと地域創造ゼミナールの概要について(甘) 科目担当教員全員参加(司会:甘) 各先生(西尾、成富、甘)の自己紹介など。 予復修課題: 予修:シラバスを熟読しておくこと。
	成富 勝 (NARITOMI Masaru)						2 学外実習における心構えや作法について(西尾)
実務経験のある教員による授業			ナンパリング		ERL1101		3 予復修課題: 予修:振り取り学習「課題プリント(マナー編)」
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・コース区分*	地域創造学科	全コース	4 北九州市 市勢概要について(成富)
配当年次	1年生	開講学期	前期				5 予復修課題: 予修:北九州市のホームページで北九州市の市勢の現状について調べる。
授業概要	まず、地域創造学科での学びの全体像や地域との関わりを重視した学びの意義について理解する。また、地域に根差し、人とつながり信頼関係を築くことの大切さや地域における経済や社会の諸問題の解決を地域の方々と共に考え、解決するための方法を工夫する。さらに、地域創造実習 で学ぶ内容とも関連づけながら、「まちづくりの推進」、「国際社会への貢献」、「地域の子育て支援」、「地域の学びの支援」の領域についての理解も深めていく。以上のほか、プレゼンテーションやレポート作成をも適宜取り入れながら授業を展開する。						
	大学であるべき学び方と正しい態度を身に付けることができる。北九州地域の経済や社会の歴史や現状および課題をおおむね理解できる。仲間づくりの意義や方法を理解し、グループ・ワークに積極的に参加できる。自分及び所属するグループのメンバーの考えをまとめてプレゼンテーションができる。将来の進級・就職などを見据えてレポート作成方法の基礎を身に付けることができる。						
授業到達目標	卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)						
	【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。						
	【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。						
	【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	・日頃から新聞やインターネット検索などを通じて、地域社会における諸問題に関心を持つこと。					11 グループワーク SDGsに関する各種取組紹介(甘)やグループワーク(甘、成富、西尾) SDGsは、Sustainable Development Goalsの略で、「持続可能な開発目標」のこと
1. 小テスト、感想文など	40 %	・毎回、予復修課題を60分以上すること。					予復修課題: 「それってSDGsか」など身近な企業や社会の取組を調べて考えること。
2. 中間テスト	%						12 グループワーク ESDに関する各種取組紹介(甘)やグループワーク(甘、成富、西尾) ESDIは、Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」
3. 課題レポートなどの提出物	%						予復修課題: ESDについて、文部科学省の方針及び身近な取組を調べておくこと。
4. 授業中の発表、討論	10 %						13 レポート作成 テクニック・注意事項(甘)、グループワーク(西尾、成富、甘) 甘がレポート作成の手法や課題例等を授業の5日前までにUNIVERSAL PASSPORTに掲載。
5. 授業への参加意欲	10 %						予復修課題: 事前に選択した課題について調べておくこと。
6. 自主的学習(予習・復習など)	10 %						14 レポート作成 実際に作成してみて、担当教員の指導・添削を受ける(西尾、成富、甘)
7.	%						予復修課題: どうすれば説得力のあるレポートを作成できるか事前に調べておくこと。
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					15 レポート作成 レポートを提出することおよび授業の総括(西尾、成富、甘)
1. まとめのテスト	%	・グループワーク(第10、11、12回目)					予復修課題: まとめのレポートを作成する。
2. 論文、まとめのレポートなど	30 %	・レポート作成(第13、14、15回目)					
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	なし						
参考書	福岡県、北九州市、福岡市、財務省、総務省、内閣府、日本経済新聞、西日本新聞などの など						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		地域創造ゼミナール Seminar of Regional Development			単位数	授業内容**	
担当者		甘 長青 (KAN Chousei)		西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)		専任	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		ERL1201			
授業形式		演習		科目区分 セミナール科目群		全コース	
配当年次		1年生		開講学期 後期		地域創造学科	
授業概要		地域創造ゼミナール で学習した内容をベースに、地域の経済や社会で日々発生する諸問題について、様々な知識や経験を学びながら解決方法を探求していく。具体的には、地域創造実習・を通して、学生諸君が各々参加した「まちづくりの推進」「国際社会への貢献」「地域の子育て支援」「地域の学びの支援」の4つの領域のいずれかまたは複数の領域の現状や特徴、課題等について、発表やディスカッションなどを通じて共有するとともに、プレゼンテーションおよびレポートといった形式で学びの成果を報告する力が身につくように指導する。					
授業到達目標		北九州地域の経済や社会の現状および課題を理解し、独自の見解を説明できる。 グループワークに積極的に参加し、自分の考え及びその理由を述べるができる。 自分の考えをパワーポイントなどにまとめてプレゼンテーションをすることができる。 教員やほかの学生のプレゼンテーションをよく聞き、核心を突いた的確な質問ができる。 将来の進級・就職などを見据えてレポート作成のテクニックを身に付けることができる。					
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から新聞やインターネット検索などを通じて、地域社会における諸問題に関心を持つこと。 ・毎回、予復修課題を60分以上すること。 			
1. 小テスト、感想文など		40 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%		・グループワーク(第11、12回目)			
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %		・レポート作成(第13、14、15回目)			
3.		%					
再評価の実施		する		しない			
教科書		なし					
参考書		福岡県、北九州市、福岡市、財務省、総務省、内閣府、日本経済新聞、西日本新聞などの など					
1		ガイダンス、地域創造学科における学びと地域創造ゼミナールの概要について(甘) 科目担当教員全員参加(司会:甘) 各先生(西尾、成富、甘)の自己紹介など。 予復修課題: 予修:シラバスを熟読しておくこと。					
2		地域創造における学び総論(西尾) 地域創造ゼミナール で学んだ内容を復修し、地域創造ゼミナールの全体構想の説明 予復修課題: 予修:地域創造ゼミナール で学んだ内容を振り返り、疑問点など調べてくること。					
3		地域創造における学び総論(成富) 地域創造ゼミナールの分野別の具体的な学修内容の概要説明および方向付け 予復修課題: 予修:地域創造ゼミナール で学んだ内容を振り返り、疑問点など調べてくること。					
4		地域創造実習における「まちづくりの推進」領域での学び(西尾) 地域創造ゼミナールの第4回の学修内容を復修し、まちづくりの推進のケーススタディ 予復修課題: 学生諸君が考える持続可能な都市とは何かについて事前に考えておくこと。					
5		地域創造実習における「国際社会への貢献」領域での学び(成富) 地域創造ゼミナールの第5回の学修内容を復修し、国際社会への貢献のケーススタディ 予復修課題: 地域で行われている国際社会への貢献について事前に調べておくこと。					
6		地域創造実習における「地域の子育て支援」領域での学び(甘) 地域創造ゼミナールの第6回の学修内容を復修し、地域の子育て支援のケーススタディ 予復修課題: 北九州市又は近隣市町村の子育て支援策について、事前に調べておくこと。					
7		地域創造実習における「地域の学びの支援」領域での学び(成富) 地域創造ゼミナールの第7回の学修内容を復修し、地域の学びの支援のケーススタディ 予復修課題: 北九州市又は近隣市町村の学びの支援策について、事前に調べておくこと。					
8		日本の大学などの教育機関(九州や福岡県を中心に)の地域貢献活動について(甘) 甘がパワーポイント資料を作成して解説 予復修課題: 日本の大学などの教育機関の地域貢献活動について事前に調べておくこと。					
9		地域経済概論(九州、福岡県、福岡市、北九州市及び近隣自治体の事例含む)(甘) 甘がパワーポイント資料を作成して解説 予復修課題: 関心を持つ地方自治体のなどで当該自治体の経済統計などを調べておくこと。					
10		地域経済概論(九州、福岡県、福岡市、北九州市及び近隣自治体の事例含む)(甘) 地域創造実習の成果報告会に備え、プレゼン資料の作成・発表の要領をも説明する。 予復修課題: 関心を持つ地方自治体のなどで当該自治体の経済統計などを調べておくこと。					
11		グループワーク 北九州市の夜景観光の取組(甘)やグループワーク(甘、成富、西尾) 予復修課題: 夜景観光について、北九州市や他の市町村の取組を調べておくこと。					
12		グループワーク 北九州市の地域活性化取組(甘)やグループワーク(甘、成富、西尾) 予復修課題: 地域活性化について、北九州市や他の市町村の取組を調べておくこと。					
13		アドバンスト・レポート 作成テクニック(甘)、グループワーク(西尾、成富、甘) 目標: 地域創造ゼミナール で作成したレポートよりも高い質のもの 予復修課題: 事前に選択した課題について調べておくこと。					
14		アドバンスト・レポート 作成して担当教員の指導・添削を受ける(西尾、成富、甘) 学生が担当教員の添削・コメントを受けて、書き直すこと 予復修課題: どうすれば説得力のあるレポートを作成できるか事前に考えておくこと。					
15		アドバンスト・レポート レポートを提出することおよび授業の総括(西尾、成富、甘) 予復修課題: まとめのレポートを作成する。					

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造ゼミナール Seminar of Regional Development				単位数	授業内容**	
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)		西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)		2	1 ガイダンス、地域創造学科における学びと地域創造ゼミナールの概要について(甘) 科目担当教員全員参加(司会:甘) 各先生(西尾、成富、甘)の自己紹介など。 予復修課題: 予修:シラバスを熟読しておくこと。	
担当者	成富 勝 (NARITOMI Masaru)				専任	2 地域創造における学び総論 (西尾) 地域創造ゼミナール・ で学んだ内容を復修し、地域創造ゼミナールの全体構想説明 予復修課題: 予修:地域創造ゼミナール で学んだ内容を振り返り、疑問点など調べてくること。	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング		ERL2101		
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・コース 区分*	地域創造学科	全コース	
配当年次	2年生		開講学期	前期			
授業概要	地域創造ゼミナール・ で学んだ内容を踏まえて、地域の経済や社会の諸問題について、様々な知識や経験を学習しながら解決方法を模索する。具体的には、これまでの地域創造実習・ を通して学生諸君が参加した「まちづくりの推進」「国際社会への貢献」「地域の子育て支援」「地域の学びの支援」の4つの領域のいずれかまたは複数の領域の現状や特徴、課題などについて、報告やディスカッションなどを通じて情報を共有しながら、プレゼンテーション及びレポートといった形式で学びの成果を効果的に報告できる力を養い育てる。						
授業到達目標	北九州地域の経済や社会の現状と課題の背景を理解し、自分なりの解決方法を提示できる。グループワークに積極的に参加し、自分の考え及びその理由を論理的に述べる事ができる。自分の考えをパワーポイントなどに簡潔にまとめ、効果的なプレゼンテーションができる。教員やほかの学生などのプレゼンテーションを理解し、分からない箇所等を質問できる。将来の進級・就職などを見据えて比較的高度なレポート作成テクニックを身に付けられる。						
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。							
【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。							
【主体性・協働性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	・日頃から新聞やインターネット検索などを通じて、地域社会における諸問題に関心を持つこと。 ・毎回、予復修課題を60分以上すること。				
1. 小テスト、感想文など		40 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		10 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	・グループワーク(第11、12回目)				
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %	・レポート作成(第13、14、15回目)				
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	なし						
参考書	福岡県、北九州市、福岡市、財務省、総務省、内閣府、日本経済新聞、西日本新聞などの など						
						15 予復修課題: まとめのレポートを作成する。	
						11 グループワーク 北九州市の強みと弱み(甘)、グループワーク(甘、成富、西尾) 他の政令指定都市との比較を中心に北九州市の強みと弱みを比較する 予復修課題: 北九州市を含む20の政令指定都市の経済や人口・社会など概要を調べておくこと。	
						12 グループワーク 北九州市のポテンシャル(甘)、グループワーク(甘、成富、西尾) 予復修課題: 「北九州市のここが有望だ!」をできるだけ調べておいて、発表に備えておくこと。	
						13 アドバンスト・レポート 作成テクニック(甘)、グループワーク(西尾、成富、甘) 目標: 地域創造ゼミナール で作成したレポートよりも高い質(アドバンスド)のもの 予復修課題: 事前に選択した課題について調べておくこと。	
						14 アドバンスト・レポート 作成して担当教員の指導・添削を受ける(西尾、成富、甘) 学生が担当教員の添削・コメントを受けて、書き直すこと 予復修課題: どうすれば説得力のあるレポートを作成できるか事前に考えておくこと。	
						15 アドバンスト・レポート レポートを提出することおよび授業の総括(西尾、成富、甘)	

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地域創造ゼミナール Seminar of Regional Development				単位数	授業内容**	
担当者	甘 長青 (KAN Chousei)		西尾 恵里子 (NISHIO Eriko)		2	1 ガイダンス、地域創造学科における学びと地域創造ゼミナールの概要について(甘) 科目担当教員全員参加(司会:甘) 各先生(西尾、成富、甘)の自己紹介など。 予復修課題: 予修:シラバスを熟読しておくこと。	
実務経験のある教員による授業	成富 勝 (NARITOMI Masaru)		ナンパリング		専任	2 地域創造における学び総論 (西尾) 地域創造ゼミナール・・・で学んだ内容を復修し、地域創造ゼミナールの全体構想 予復修課題: 予修:地域創造ゼミナールで学んだ内容を振り返り、疑問点など調べてくること。	
授業形式	演習	科目区分	ゼミナール科目群	学科・コース	ERL2201	3 地域創造における学び総論 (成富) 地域創造ゼミナールの分野別の具体的な学修内容の概要説明および方向性 予復修課題: 予修:地域創造ゼミナールで学んだ内容を振り返り、疑問点など調べてくること。	
配当年次	2年生	開講学期	後期	区分*	地域創造学科	4 地域創造実習における「まちづくりの推進」領域での学び(西尾) 地域創造ゼミナール・・・の関連分野の学修内容を復修し、簡潔に報告書に書きとめる 予復修課題: 予修:学生諸君が考える持続可能な都市とは何かについて事前に調べておくこと。	
授業概要	地域創造ゼミナール・・・で学んだ内容をもとに、地域の経済や社会の難題について、様々な知識や経験を生かしながら解決策を提案する。具体的には、これまでの地域創造実習・・・を通して学生諸君が参加した「まちづくりの推進」「国際社会への貢献」「地域の子育て支援」「地域の学びの支援」の4つの領域のいずれかまたは複数の領域の現状や特徴、課題などについて、報告やディスカッションなどを通じて切磋琢磨をしながら、プレゼンテーション及びレポートといった形式で学びの成果を的確に伝える力を高めていく。					5 地域創造実習における「国際社会への貢献」領域での学び(成富) 地域創造ゼミナール・・・の関連分野の学修内容を復修し、簡潔に報告書に書きとめる 予復修課題: 予修:地域で行われている国際社会への貢献について事前に調べておくこと。	
授業到達目標	北九州地域の経済や社会の様々な課題について、自分なりの解決策を論理的に提示できる。グループワークに積極的に参加し、自分の考え及びその理由を効果的に伝える事ができる。自分の意見や考え方をパワーポイントにまとめ、大勢の前でプレゼンテーションができる。教員やほかの学生などのプレゼンテーションを理解し、的を射た的確なコメントができる。将来の進級・就職などを見据えて説得力のあるレポート作成テクニックを身に付けられる。					6 地域創造実習における「地域の子育て支援」領域での学び(甘) 地域創造ゼミナール・・・の関連分野の学修内容を復修し、簡潔に報告書に書きとめる 予復修課題: 予修:北九州市又は近隣市町村の子育て支援策について、事前に調べておくこと。	
卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係(特に関係する 関係する)							
【知識・技能】学士(経済学)として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。					7 地域創造実習における「地域の学びの支援」領域での学び(成富) 地域創造ゼミナール・・・の関連分野の学修内容を復修し、簡潔に報告書に書きとめる 予復修課題: 予修:北九州市又は近隣市町村の学びの支援策について、事前に調べておくこと。		
【思考力・判断力・表現力】実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。					8 多様化かつ実効性がある日本の大学などの教育機関の地域貢献活動について(甘) 北九大、大阪大、熊本大などの地域貢献先進大学の事例を取り上げる 予復修課題: 予修:日本の大学などのさまざまな地域貢献活動について事前に調べておくこと。		
【主体性・協働性】地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。					9 グローバル経済と地方都市の関係(世界・アジア・福岡市・北九州市等を含む)(甘) 福岡市や北九州市などがヒトやモノの移動を通じたグローバル経済とのかかわりを解説 予復修課題: 予修:福岡市や北九州市がグローバル経済との関係について、事前に調べておくこと。		
成績評価の方法(全体で100%)					10 グローバル経済と地方都市の関係(世界・アジア・福岡市・北九州市等を含む)(甘) 地方都市のグローバル経済との接点の多さ・強さを比較し、発展ポテンシャルを考える 予復修課題: 予修:グローバル経済と地方都市の関係について、事前に調べておくこと。		
履修における留意事項					11 グループワーク 福岡地域経済の強みと課題(甘)、グループワーク(甘、成富、西尾) 地域創造実習の成果報告会に備え、プレゼン資料の作成・発表要領をも意識して解説。 予復修課題: 予修:戦後の福岡地域の経済成長のプロセス・主な取り組みを調べておくこと。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価					12 グループワーク 福北連携の取組みと可能性(甘)、グループワーク(甘、成富、西尾) 予復修課題: 予修:福北連携の取組みと構想について、福岡・北九州両市の動向を調べておくこと。		
1. 小テスト、感想文など					アドバンスト・レポート 作成テクニック(甘)、グループワーク(西尾、成富、甘)		
2. 中間テスト					13 目標:地域創造ゼミナールで作成したレポートよりも高い質のもの 予復修課題: 予修:事前に選択した課題について調べておくこと。		
3. 課題レポートなどの提出物					14 アドバンスト・レポート 作成して担当教員の指導・添削を受ける(西尾、成富、甘) 学生が担当教員の添削・コメントを受けて、書き直すこと 予復修課題: 予修:どうすれば説得力のあるレポートを作成できるか事前に考えておくこと。		
4. 授業中の発表、討論					15 アドバンスト・レポート レポートを提出することおよび授業の総括(西尾、成富、甘) 予復修課題: 予修:まとめのレポートを作成する。		
5. 授業への参加意欲							
6. 自主的学習(予習・復習など)							
7.							
2) 最終到達度の評価					アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト					・グループワーク(第11、12回目)		
2. 論文、まとめのレポートなど					・レポート作成(第13、14、15回目)		
3.							
再評価の実施	する	しない					
教科書	なし						
参考書	福岡県、北九州市、福岡市、財務省、総務省、内閣府、日本経済新聞、西日本新聞などの など						

* コース区分の略号表は巻頭索引ページにあります。

** 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

自由選択科目

《卒業に要する単位》

2015～2020年度入学生

履修区分	最低修得単位数	要卒単位数
自由選択科目	1.8 単位以上	1.8 単位

《卒業に要する単位》

2014年度以前入学生

履修区分	最低修得単位数	要卒単位数
自由選択科目	1.2 単位以上	1.2 単位



シラバス一覧 G 《 経済・経営学科 自由選択科目 》

(1)

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載ページ
----------	---------	-------

社会教育主事関連科目（2018年度以前入学生対象）			
生涯学習と社会教育	3年	後	568
生涯学習・社会教育の指導者	3年	前	569
社会教育計画の立案	3年	後	570
社会教育施設の経営	3年	後	571
社会教育実習	3・4年	集中	572
社会教育演習	4年	前	573
インターンシップ（企業研修） 【2018年度以前入学生対象】	2年	集中	65

教職課程関連科目			
教職論	1年	前	542
教育原論	1年	前	543
教育心理学	1年	後	544
教育制度論	1年	後	545
教育史【2018年度以前入学生対象】	3年	前	574
特別支援教育概論	2年	前	546
教職総合講義	3年	前・後	547-548
学校体験活動	3年	前・後	
教職発展ゼミナール 【2018年度以前入学生対象】	3・4年	前・後	575

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載ページ
----------	---------	-------

経済学部 地域創造学科 推奨科目				
実践科目群	職業研修 A 【2019年度入学者のみ】	2年	前	518
	職業研修 B 【2019年度入学者のみ】	2年	後	519
	海外地域学研修 【2019年度入学者のみ】	2年	後	532

スポーツ学部 推奨科目				
共通科目	解剖生理学	1年	前	スポーツ学部「講義要項」の掲載ページ参照
	スポーツ運動学（運動方法学を含む。）	1年	前	
	スポーツバイオメカニクス	1年	後	
	スポーツ社会学	1年	後	
	スポーツ心理学	1年	後	
専攻コース科目				
スポーツ総合	コーチングシステム論	2年	後	
	地域スポーツ論	3年	前	
スポーツ政策	生涯学習と社会体育 【2019年度入学者のみ】	2年	後	

大学コンソーシアム関連関連科目			
科目区分・科目名	実施校	配当年次	掲載ページ
（科目名は別途揭示予定）	九州共立大	別途指定された学年	別途配付
	九州国際大		
	下関市立大		
	西日本工業大		
	北九州市立大		

シラバス一覧 G 《 経済・経営学科 自由選択科目 》

(2)

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載 ページ
----------	---------	-----------

K-CIP科目 (2019年度以降入学生対象)			
文章理解	1年	前・後	549
社会科学【基礎】	1年	前	550
人文・自然科学【基礎】	1年	後	551
数的処理	1年	前	552
数的処理	1年	後	553
数的処理	2年	前	554
社会科学【応用】	2年	前	555
社会科学【応用】	2年	後	556
教養基礎答練	2年	前	557
教養基礎答練	2年	後	558
(K-CIP)憲法演習	2年	前	559
(K-CIP)民法(総則、物権)演習	2年	前	560
(K-CIP)民法(債権、親族・相続)演習	2年	後	561
(K-CIP)行政法演習	2年	後	562
(K-CIP)ミクロ経済学演習	2年	前	563
(K-CIP)マクロ経済学演習	2年	後	564
(K-CIP)教職教養(教育原理・教育心理)	2年	前	565
(K-CIP)社会科	2年	後	566
(K-CIP)教職基礎演習	2年	後	567
(K-CIP)労働法演習	3年	前・後	/
(K-CIP)刑法演習	3年	前・後	/
(K-CIP)財政学・経済事情演習	3年	前・後	/
(K-CIP)行政学・経営学演習	3年	前・後	/
(K-CIP)政治学演習	3年	前・後	/
(K-CIP)国際関係演習	3年	前・後	/
(K-CIP)社会学・社会事情演習	3年	前・後	/

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載 ページ
----------	---------	-----------

K-CIP科目 (2019年度以降入学生対象)			
(K-CIP)会計学演習	3年	前・後	/
(K-CIP)教養科目演習(公安職)	3年	前	/
(K-CIP)教養科目演習(公安職)	3年	後	/
(K-CIP)教養科目演習(行政職)	3年	前	/
(K-CIP)専門科目演習(行政職)	3年	後	/
(K-CIP)SPI演習(行政職)	3年	前	/
(K-CIP)SPI演習(行政職)	3年	後	/
(K-CIP)専門科目記述式演習(行政職)	3年	後	/
(K-CIP)教職教養(教育史・教育法規)	3年	前・後	/
(K-CIP)社会科	3年	前	/
(K-CIP)教職専門演習	3年	後	/
(K-CIP)一次対策(直前模試)	4年	前	/
(K-CIP)二次対策	4年	前	/
(K-CIP)総合対策講座	4年	前	/

シラバス一覧 G 《 地域創造学科 自由選択科目 》

(3)

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載 ページ
----------	---------	-----------

K-CIP科目（2019年度以降入学生対象）			
文章理解	1年	前・後	549
社会科学【基礎】	1年	前	550
人文・自然科学【基礎】	1年	後	551
数的処理	1年	前	552
数的処理	1年	後	553
数的処理	2年	前	554
社会科学【応用】	2年	前	555
社会科学【応用】	2年	後	556
教養基礎答練	2年	前	557
教養基礎答練	2年	後	558
(K-CIP)憲法演習	2年	前	559
(K-CIP)民法(総則、物権)演習	2年	前	560
(K-CIP)民法(債権、親族・相続)演習	2年	後	561
(K-CIP)行政法演習	2年	後	562
(K-CIP)ミクロ経済学演習	2年	前	563
(K-CIP)マクロ経済学演習	2年	後	564
(K-CIP)労働法演習	3年	前・後	
(K-CIP)刑法演習	3年	前・後	
(K-CIP)財政学・経済事情演習	3年	前・後	
(K-CIP)行政学・経営学演習	3年	前・後	
(K-CIP)政治学演習	3年	前・後	
(K-CIP)国際関係演習	3年	前・後	
(K-CIP)社会学・社会事情演習	3年	前・後	

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載 ページ
----------	---------	-----------

K-CIP科目（2019年度以降入学生対象）			
(K-CIP)会計学演習	3年	前・後	
(K-CIP)教養科目演習(公安職)	3年	前	
(K-CIP)教養科目演習(公安職)	3年	後	
(K-CIP)教養科目演習(行政職)	3年	前	
(K-CIP)専門科目演習(行政職)	3年	後	
(K-CIP)SPI演習(行政職)	3年	前	
(K-CIP)SPI演習(行政職)	3年	後	
(K-CIP)専門科目記述式演習(行政職)	3年	後	
(K-CIP)教職教養(教育史・教育法規)	3年	前・後	
(K-CIP)社会科	3年	前	
(K-CIP)教職専門演習	3年	後	
(K-CIP)一次対策(直前模試)	4年	前	
(K-CIP)二次対策	4年	前	
(K-CIP)総合対策講座	4年	前	

シラバス一覧 G 《 地域創造学科 自由選択科目 》

(4)

科目区分・科目名	配当年次・学期	掲載ページ
----------	---------	-------

経済学部 経済・経営学科 推奨科目				
実践科目群	研究会 I 【旅行業務取扱管理者】 【2019年度入学生のみ】	2年	前	337
	研究会 J 【旅行業務取扱管理者】 【2019年度入学生のみ】	2年	前	338

スポーツ学部 推奨科目				
共通科目	解剖生理学	1年	前	スポーツ学部「講義要項」の掲載ページ参照
	スポーツ運動学（運動方法学を含む。）	1年	前	
	スポーツバイオメカニクス	1年	後	
	スポーツ社会学	1年	後	
	スポーツ心理学	1年	後	
専攻コース科目				
スポーツ総合	コーチングシステム論	2年	後	
スポーツ政策	生涯学習と社会体育 【2019年度入学生のみ】	2年	後	

大学コンソーシアム関門関連科目			
科目区分・科目名	実施校	配当年次	掲載ページ
(科目名は別途揭示予定)	九州共立大	別途指定された学年	別途配付
	九州国際大		
	下関市立大		
	西日本工業大		
	北九州市立大		

授業科目名 (Subject)	教職論 Teaching Profession		単位数	授業内容*	
担当者	金子 研太 (KANEKO Kenta)		2	専任	
教員の免許状取得のための必修科目		科目	教育の基礎理論に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む。)			
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEM1101	
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	経済学部
配当年次	1年生	開講学期	前期	・学科	経済・経営学科
授業概要	教職課程の初年度は、学校・教師に関する基礎的事項についての知識の習得及び理解が必要となる。教職論は、具体的に教師の仕事とは何か、学校とはどのような組織か、教師にはどのような資質・能力が求められているのか等を理解していくための教職課程の導入科目である。				
授業到達目標	教師の具体的な仕事内容とそれに伴う義務と責任を理解し、表現できる。 (教員採用試験に出題されるレベルの事項について70%以上の理解) 教師としての基本的な使命感を形成し、実践できる。 学校・教師が置かれている現状を理解し、説明できる。				
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。					
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。					
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。					
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。					
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。					
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	アクティブ・ラーニング 第4回 グループワーク		
1. 小テスト、感想文など		%			
2. 中間テスト		%			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %			
4. 授業中の発表、討論		%			
5. 授業への参加意欲		10 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			
7.		%			
2) 最終到達度の評価					
1. まとめのテスト		60 %			
2. 論文、まとめのレポートなど		%			
3.		%			
再評価の実施	する	しない			
教科書	『新訂版 教育法規エッセンス』花書院、2018年。				
参考書					
1	ガイダンス～「教職論」の意義やねらいについて知ろう。 ・授業の進め方や計画について理解し、自らの目指す教師像を模索する。 予復修課題：(予修)シラバスをよく読んでおくこと(30分)。(復修)配布プリントを自分なりにまとめる(3.5時間)				
2	教員になるためのプロセスについて知ろう。 ・教員免許、採用試験の概要を理解する。 予復修課題：まとめプリント(免許制度)を完成させること。わからない点がないか確認していただくこと(4時間)。				
3	望まれる教師像について考えよう。 中教審答申から見た教師に求められる資質・能力について考える。 予復修課題：(予修)自身の理想の教師像について考えをまとめる(4時間)				
4	望まれる教師像について意見交流をし、自らの考えをまとめよう。 望まれる教師像について自らの考えを他者に説明し、その多様性を理解する。 予復修課題：(復修)自分の意見と、同じ班だった人との意見を比較し、改めて自身の教師像をまとめよう(4時間)。				
5	教師の仕事(労働条件)について知ろう。 他職種との労働条件の比較や組織特性の比較を通して教職の特徴を知る。 予復修課題：教師の仕事のまとめプリントを完成させること。(4時間)				
6	教師の仕事(学習指導)について知ろう。 教育課程及び学習指導と評価の概要について理解する。 予復修課題：(復修)「教職論」前半学習のまとめプリントを完成させること。(4時間)				
7	教師の仕事(学級経営)について知ろう。 学級経営の実践について知る。 予復修課題：(予修)学級担任としてどんな学級をつくりたいかをまとめること。(4時間)				
8	教師の仕事(学級経営)について考えよう。 目指す学級像について意見交流を行い、自らの考えをまとめる。 予復修課題：学級経営についての新たな発見や気付きについてまとめる(4時間)。				
9	教師の仕事(生徒指導)について知ろう。 生徒指導のねらいと特質を理解する。 予復修課題：本時学習内容をしっかりと振り返り、次時の学習につなげること。(4時間)				
10	教師の仕事(生徒指導)について知ろう。 生徒指導上の諸問題への対応と体罰に依らない指導について考える。 予復修課題：学級担任ならどうするか、二つの事例について考えてくる。(4時間)				
11	教師の仕事(教育課題への対応)について知ろう。 「いじめ問題」について、担任、教科担当、組織等様々な視点から事例研究を行う。 予復修課題：本時学習を基にいじめに関わる教師の構えと防止策をまとめること。				
12	学校組織の一員としての教師 前時の内容を含め、学校では様々な場面で組織またはチーム対応が求められる。 予復修課題：後半学習のまとめプリントを仕上げて来ること。(4時間)				
13	教員の研修と服務規程について知ろう。 研修の意義と各種研修及び服務上の規程について理解する。 予復修課題：後半学習のまとめプリントを仕上げて来ること。(4時間)				
14	まとめのテスト及び説明 まとめのテストと説明を行い、理解度を確認する。 予復修課題：学習プリントファイルをきちんと整理していただくこと。(4時間)				
15	本講義のまとめ 将来への展望を持とう。 高校教師の指導の実践(DVD)に学ぶ。・学習プリントファイルの点検を受ける。 予復修課題：ファイルをまとめ((4時間))忘れずに持参すること。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教育原論 Principles of Education		単位数	授業内容*	
担当者	柴田 里彩 (SHIBATA Risa)		2	1 オリエンテーション 授業全体の流れの説明、教育の定義や必要性について説明を行う。 予復修課題：第1回で提示する資料をもとに、人間の発達について考える(2時間)	
教員の免許状取得のための必修科目		科目	教育の基礎理論に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			
実務経験のある教員による授業		ナンバリング	EEM1102		
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	経済学部
配当年次	1年生	開講学期	前期	・学科	経済・経営学科
授業概要	本講義は、教育の必要性や目的・理念、歴史等教育に関する基礎概念に関する学習を通して教員に必要な基礎知識等を身につけることを目的としている。				
	本講義においては、教育の必要性や意義・意味について考察を深めた上で、西洋教育思想の流れとその思想が社会や日本に与えた影響に関する理解、日本における教育思想の流れと教育システムの展開や関連事項について学習する。				
授業到達目標	教育の目的や理念、思想の変遷やそれらを実現する教育システムを学ぶことを通じて教育学の基本的な知識を身につけ、表現できる。				
	教育の歴史に関する基本的な知識を身につけ、現代に至るまでの教育・学校の変遷について理解し、説明することができる。 教育に関する様々な思想と実際の教育現場のかかわりを理解し実践に生かすことができる。				
授業が重視する教育目標〔特に重視 重視〕					
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。					
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。					
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。					
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。					
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。					
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	UNIVERSAL PASSPORTに配布資料・関連資料を掲載しています。予復修に活用してください。		
1. 小テスト、感想文など		%			
2. 中間テスト		%			
3. 課題レポートなどの提出物		30 %			
4. 授業中の発表、討論		%			
5. 授業への参加意欲		10 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)		%			
7.		%			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト		60 %	ミニッツペーパー[第1回~14回]		
2. 論文、まとめのレポートなど		%			
3.		%			
再評価の実施	する	しない			
教科書	プリントを適宜配布				
参考書	随時紹介する				
			11 家庭教育の変化と役割 学校制度の登場前後における家庭教育の役割について複数の視点から考察を行う。 予復修課題：家庭教育の役割について自分なりに考察しまとめておこう。(2時間)		
			12 生涯学習社会における社会教育の役割と課題 生涯学習・社会教育に関する代表的な教育学者と代表的な施策について取り上げる。 予復修課題：生涯学習社会における社会教育の役割について教員の立場から考察しよう。(2時間)		
			13 現代的な教育課題 生徒指導 いじめ、不登校、校内暴力等の変遷と対応の変化について学ぶ。 予復修課題：全ての生徒に教育を受ける権利を保障するためにどのような施策が出されているかまとめよう。(4時間)		
			14 現代的な教育課題 特別支援教育 特別支援教育に関する歴史及び思想を概観し、教員に求められる資質について考察する。 予復修課題：特別支援教育に関する施策の変化についてまとめておこう。(4時間)		
			15 講義の総括・まとめのテスト 授業全体を振り返り、まとめのテストを受ける 予復修課題：テストに向け学修内容を振り返る。(8時間) テスト後に再度学修内容を振り返る。(4時間)		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教育心理学 Educational Psychology		単位数	授業内容*	
担当者		清永 裕子 (KIYONAGA Yuko)		2	専任	
教員の免許状取得のための必修科目		科目		教育の基礎理論に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は科目に含まれることが必要な事項		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEM1201		
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	経済学部	
配当年次	1年生	開講学期	後期	学科	経済・経営学科	
授業概要	認知、学習、発達の主要な理論について知り、教育場面における心理社会的課題とその支援方法について考える。					
	1) 幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程について、基礎的な知識を身につけることができる。 2) 各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。					
授業到達目標	1) 幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程について、基礎的な知識を身につけることができる。 2) 各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回の復修小テストや授業後の小レポートを提出物として評価します。			
1. 小テスト、感想文など		20 %	小レポートについては、その書き方から参加意欲も把握するので、しっかり書き込んでください。課題レポートとまとめのテストについては、時期が近付いたら授業の際に詳細を説明します。			
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめテスト		60 %	小レポート(全回)			
2. 論文、まとめレポートなど		%	復修小テスト(第2回~第14回)			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	特定のテキストは用いず、必要に応じて資料を配布する。					
参考書	西村純一・井森澄江編 2010 教育心理学エッセンシャルズ[第2版] ナカニシヤ出版ほか					
* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。						

授業科目名 (Subject)		教育制度論 Educational Systems		単位数	授業内容*		
担当者		柴田 里彩 (SHIBATA Risa)		2	1 オリエンテーション～教育制度の意義と役割 前期に学んだ教職論との関連性、教職課程における本科目の位置づけ等を理解する。 予復修課題：自分と教育制度とのかわりについてまとめておくこと(4時間)		
教員の免許状取得のための必修科目		科目		教育の基礎理論に関する科目	2 日本国憲法と教育基本法 教育制度の根幹である日本国憲法・教育基本法を中心に我が国の教育法体系を理解する。 予復修課題：授業後配布されたプリントをよく読み考えをまとめておくこと(4時間)		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		科目		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	3 教育基本法改正経緯 教育基本法の改正経緯を理解するとともに、改正に関わる行政機関の役割についても触れる。 予復修課題：授業後配布されたプリントをよく読み考えをまとめておくこと(4時間)		
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEM1202	4 現在の教育基本法と教育改革 現行の教育基本法の解説を行い、教育基本法と今日の教育改革との関連性について確認する。 予復修課題：授業後、改正経緯について自分なりに流れをまとめ、文章化しておこう。(4時間)		
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	5 学校制度(1) 学校の種類と義務教育制度 学校の定義を確認し、学校を支えるシステムについて学習する。適宜、諸外国の外国制度との比較を行う。 予復修課題：授業後、テキストと配布プリントをよく読みポイントを確認すること。(4時間)		
配当年次	1年生	開講学期	後期	・学科	6 学校制度(2) 学校経営 チームとしての学校 (一部ビデオ学習) 学校経営の主体である校長の役割に焦点を当て、組織としての学校・教員の役割について理解する。 予復修課題：授業で提示された問題にもう一度チャレンジしてみよう。(4時間)		
授業概要	本講義は、教育職員免許法施行規則に規定する「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項に関する科目」として大学が開設している科目であり、教員免許状取得に必須の科目である。皆さんにとって学校に通うことは「当たり前」だったと思う。しかし、なぜそれが「当たり前」であったのか。世界に目を転じれば、学校に通うことが「当たり前」でない国も存在する。日本において、教育を受けること、学校に通うことはどのような仕組みの下で成り立っているのか授業を通して考えていく。						
	教育に係る社会的、制度的、又は経営的な事項に関する基礎的知識を習得する 教育制度について課題認識を持ち、説明できるようになる 教育改革の動向と成果に対する理解を深め、自身の考えを表現できるようになる 全体を通して教師の職務は公教育制度という枠組みの中で遂行されていることを理解し、実践に生かすことを目指してほしい。						
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
	1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。 2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。 3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。 4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。 5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				7 学校制度(3) 学習活動と教育制度 学校安全・危機管理の観点から 授業活動と教育制度の関係について具体的事例をもとに解説する。 予復修課題：自分自身の通った学校についてももう一度振り返っておこう。(4時間)	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	8 学校制度(4) 学習活動と教育制度 教育課程行政及び教科書等、学習活動の関する制度的事項について取り扱う。 予復修課題：授業プリントをよく読み、授業で示したポイントを覚えておくこと。(4時間)				
1. 小テスト、感想文など		%	9 学校制度(5) 地域とともにある学校づくり 地域とともにある学校づくりを推進する教育制度とその実態について学ぶ。 予復修課題：配布されたプリントをよく読み考えをまとめておくこと(4時間)				
2. 中間テスト		%	10 学校制度(6) 生徒指導に関する教育制度 近年の生徒指導上の問題を確認するとともに学校において教員が行うことができる懲戒について理解する。 予復修課題：配布されたプリントをよく読み考えをまとめておくこと(4時間)				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %	11 教育委員会制度(1) 教育委員会とは何か？ 教育委員会とは何か、定義とともにその役割について解説する。 予復修課題：配布されたプリントをよく読み考えをまとめておくこと(4時間)				
4. 授業中の発表、討論		10 %	12 教育委員会制度(2) 教育行財政 前時の内容を確認し、予算面に関する仕組みを理解する。 予復修課題：授業で提示する課題プリントをしっかりとめること。(4時間)				
5. 授業への参加意欲		%	13 近年の教育改革と今後の方向性 近年の教育改革を概観し、今後行われる予定の教育改革について解説を行う。 予復修課題：授業後プリントを良く見直しポイントを確認すること。(4時間)				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%	14 まとめと理解度の確認 予復修課題：これまでの内容を全て確認しておくこと。(4時間)				
7.		%	15 講義の総括 予復修課題：来年度の教職課程科目について確認しておこう。(4時間)				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		60 %	ミニッツペーパー(1回～14回)				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	九州大学大学院教育法制研究室『教育法規エッセンス』、花書院、2018年(新訂版)。						
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	特別支援教育概論 Introduction of Education for Children with Special Needs				単位数	授業内容*		
担当者	清永 裕子 (KIYONAGA Yuko)				1	1 特別支援教育とは インクルーシブ教育システムの構築という視点での特別支援教育の取り組みの基本と特別支援教育に関連する制度について知る。 予復修課題： 予:共生社会について調べる(120分)。復:配付資料を振り返る(120分)。		
教員の免許状取得のための必修科目		科目	教育の基礎理論に関する科目			2 特別の支援を必要とする子ども1 発達障害の心理的特性や学習過程について知る。 発達障害の子どもに対する具体的支援の方法について考える。 予復修課題： 予:発達障害について調べる(120分)。復:配付資料を振り返る(120分)。		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解					3 特別の支援を必要とする子ども2 視覚障害・聴覚障害の学習、生活上の困難を知る。 視覚障害・聴覚障害の子どもに対する具体的支援の方法について考える。 予復修課題： 予:視覚障害・聴覚障害について調べる(120分)。復:配付資料を振り返る(120分)。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EEM2101		4 特別の支援を必要とする子ども3 肢体不自由・病弱の学習、生活上の困難について知る。 肢体不自由・病弱の子どもに対する具体的支援の方法について考える。 予復修課題： 予:肢体不自由・病弱について調べる(120分)。復:配付資料を振り返る(120分)。		
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	経済学部			
配当年次	2年生	開講学期	前期	学科	経済・経営学科			
授業概要	発達障害や身体障害等の障害、また母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズをもつ幼児・児童及び生徒の特性や学習上、生活上の困難について知り、関連する制度や支援方法について確認する。							
授業到達目標	1) 幼児・児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について考えることができる。 2) 個別の教育ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応するために必要な知識や支援方法を理解できる。 3) 幼児・児童及び生徒が学習活動の意欲・達成感を持ちながら学び、生きる力を育てるための実践的なかわりについて考えることができる。							
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)								
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。								
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。								
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。								
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。								
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。								
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達力の評価		評価割合	各回で行うディスカッションに積極的に取り組む姿勢が求められます。 専門的な用語が多いため、普段から予復修を行い、まとめのテストに備えること。					
1. 小テスト、感想文など		20 %						
2. 中間テスト		%						
3. 課題レポートなどの提出物		%						
4. 授業中の発表、討論		10 %						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		%						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめテスト		60 %	ミニッツレポート(全回)					
2. 論文、まとめレポートなど		%	グループ・ディスカッション(第2~第7回)					
3.		%						
再評価の実施	する	しない						
教科書	適宜、資料を配付する。							
参考書								
						15 予復修課題：		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教職総合講義 A Course of Lecture on the Teaching Staff			単位数	授業内容*	
担当者	茂見 剛 (SHIGEMI Go)			2	1 オリエンテーション 講義の概要説明, 自己紹介など 予復修課題: 予修: シラバスを読んでくる(20) 復修: 講義の振り返り(40) ()内は目安時間, 単位は分	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			SSM3101	2 教員採用試験対策を始める前に 受験する自治体のことを知る(教育政策, 求められる教師像など) 予復修課題: 予修: 受験する自治体について調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)	
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部 ・学科	経済学部 経済・経営学科	
配当年次	3年生	開講学期	前期			
授業概要	本講義は、教員採用試験対策用の講義として開講されるため、教員採用試験を受験する学生を対象としております。なお、必修科目ではありません。教職教養問題で出題される内容を中心に進行する予定です。したがって、授業の形式は、基本的には、「講義演習(問題演習やグループワーク等)」の繰り返しとなります。					
	<ul style="list-style-type: none"> 自分が受験する自治体の問題の傾向を把握し、それに対応できるようになる。 自分で情報を集めて分析する能力と問題の意味を理解する能力を身に付ける。 近年の教育に関して、どのような議論が展開されているのかを理解し、自分の目指す教師像について説明ができるようになる。 					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分が受験する自治体の問題の傾向を把握し、それに対応できるようになる。 自分で情報を集めて分析する能力と問題の意味を理解する能力を身に付ける。 近年の教育に関して、どのような議論が展開されているのかを理解し、自分の目指す教師像について説明ができるようになる。 					
	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
	1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。					
	2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。					
	3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。					
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法		履修における留意事項				8 教育課程 道徳教育について 予復修課題: 予修: 道徳教育についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		<ul style="list-style-type: none"> 出欠に関しては重く評価します。 必修ではありませんので、教師になりたいと本気で考えている学生を対象とします。 グループワークなどで自分の考えを発表する機会を定期的に設ける可能性があります。 学習した内容の理解を深めるために、論文演習などを設ける可能性があります。 毎回の予修・復修に取り組む時間は、120分を目安とします。 				9 教育課程 特別活動(特活)と総合的な学習/探求の時間(総合)について 予復修課題: 予修: 特活と総合についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
1) 授業到達目標への到達努力の評価		アクティブ・ラーニング <ul style="list-style-type: none"> 授業の最後に講義のまとめと感想を書いてもらいます(各回: ミニツツペーパー) 受験する自治体について調査学習を行ってもらいます(第2回, 第3回) 				10 教育時事 特別支援教育について 予復修課題: 予修: 特別支援教育についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
1. 小テスト、感想文など %						11 教育時事 人権教育について 予復修課題: 予修: 人権教育についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
2. 中間テスト %						12 教育時事 いじめ、体罰、不登校について 予復修課題: 予修: いじめ、体罰、不登校についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
3. 課題レポートなどの提出物 15 %						13 教育時事 学校安全、教育の情報化について 予復修課題: 予修: 教育の情報化についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
4. 授業中の発表、討論 %						14 教育時事 第三期教育振興基本計画について 予復修課題: 予修: 教育振興基本計画についての過去問を調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)
5. 授業への参加意欲 55 %						15 まとめのテスト まとめのテストの解説、講義の総括 予復修課題: 予修: これまでの講義の総復修(120)
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト 30 %						
2. 論文、まとめのレポートなど %						
3. %						
再評価の実施	する	しない				
教科書	特にありません。					
参考書	自分の受験する自治体の過去問を5年分用意できることが望ましい。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教職総合講義 A Course of Lecture on the Teaching Staff			単位数	授業内容*											
担当者	茂見 剛 (SHIGEMI Go)			2	1 オリエンテーション 講義の概要説明, 自己紹介など 予復修課題: 予修: シラバスを読んでくる(20) 復修: 講義の振り返り(40) ()内は目安の時間, 単位は分											
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			SSM3101	2 教員採用試験対策を始める前に 採用試験までの学習スケジュールを立てる 予復修課題: 予修: 合格者体験談を探して読んでくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)											
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部 ・学科	経済学部 経済・経営学科											
配当年次	3年生	開講学期	後期													
授業概要	本講義は、教員採用試験対策用の講義として開講されるため、教員採用試験を受験する学生を対象としております。なお、必修科目ではありません。教職教養問題で出題される内容を中心に進行する予定です。したがって、授業の形式は、基本的には、「講義演習(問題演習やグループワーク等)」の繰り返しとなります。															
	<ul style="list-style-type: none"> 自分が受験する自治体の問題の傾向を把握し、それに対応できるようになる。 自分で情報を集めて分析する能力と問題の意味を理解する能力を身に付ける。 近年の教育に関して、どのような議論が展開されているのかを理解し、自分の目指す教師像について説明ができるようになる。 															
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分が受験する自治体の問題の傾向を把握し、それに対応できるようになる。 自分で情報を集めて分析する能力と問題の意味を理解する能力を身に付ける。 近年の教育に関して、どのような議論が展開されているのかを理解し、自分の目指す教師像について説明ができるようになる。 															
	<p>授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。 2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。 3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。 4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。 5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。 															
成績評価の方法			履修における留意事項													
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			<ul style="list-style-type: none"> ・出欠に関しては重く評価します。 ・必修ではありませんので、教師になりたいと本気で考えている学生を対象とします。 ・グループワークなどで自分の考えを発表する機会を定期的に設ける可能性があります。 ・学習した内容の理解を深めるために、論文演習などを設ける可能性があります。 ・毎回の予修・復修の取り組み時間は、120分を目安とします。 													
1) 授業到達目標への到達努力の評価			<p>アクティブ・ラーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を作成し、模擬授業を実施してもらいます(第7, 8回: 実践学習) ・受験する自治体について調査学習を行ってもらいます(第2回, 第3回) 													
<table border="1"> <tr><td>1. 小テスト、感想文など</td><td>%</td></tr> <tr><td>2. 中間テスト</td><td>%</td></tr> <tr><td>3. 課題レポートなどの提出物</td><td>15 %</td></tr> <tr><td>4. 授業中の発表、討論</td><td>%</td></tr> <tr><td>5. 授業への参加意欲</td><td>55 %</td></tr> <tr><td>6. 自主的学習(予習・復習など)</td><td>%</td></tr> <tr><td>7.</td><td>%</td></tr> </table>							1. 小テスト、感想文など	%	2. 中間テスト	%	3. 課題レポートなどの提出物	15 %	4. 授業中の発表、討論	%	5. 授業への参加意欲	55 %
1. 小テスト、感想文など	%															
2. 中間テスト	%															
3. 課題レポートなどの提出物	15 %															
4. 授業中の発表、討論	%															
5. 授業への参加意欲	55 %															
6. 自主的学習(予習・復習など)	%															
7.	%															
2) 最終到達度の評価			<table border="1"> <tr><td>1. まとめのテスト</td><td>30 %</td></tr> <tr><td>2. 論文、まとめのレポートなど</td><td>%</td></tr> <tr><td>3.</td><td>%</td></tr> </table>				1. まとめのテスト	30 %	2. 論文、まとめのレポートなど	%	3.	%				
1. まとめのテスト	30 %															
2. 論文、まとめのレポートなど	%															
3.	%															
再評価の実施			<table border="1"> <tr><td>再評価の実施</td><td>する</td><td>しない</td></tr> </table>				再評価の実施	する	しない							
再評価の実施	する	しない														
教科書			特にありません。													
参考書			自分の受験する自治体の過去問を5年分用意できることが望ましい。													
			<p>8 模擬授業対策 模擬授業の実施 予復修課題: 予修: 指導案を完成させる(60) 復修: 講義の振り返り(60)</p> <p>9 論作文対策 書き方を知る 予復修課題: 予修: 論作文や集団討論の課題について調べてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)</p> <p>10 論作文対策 論作文作成 予復修課題: 予修: 特になし 復修: 論作文の修正(120)</p> <p>11 教育原理 頻出箇所について 予復修課題: 予修: 自分の受ける自治体の過去問を確認してくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)</p> <p>12 問題演習 予想問題演習(やり直し含む) 予復修課題: 予修: 特になし 復修: 演習課題のやり直し(120)</p> <p>13 集団討論対策 集団討論対策 予復修課題: 予修: 教育問題を調べ、意見をまとめてくる(60) 復修: 講義の振り返り(60)</p> <p>14 集団討論対策 集団討論の実施 予復修課題: 予修: 特になし 復修: 講義の振り返り(60)</p> <p>15 まとめのテスト まとめのテストの解説, 講義の総括 予復修課題: 予修: 講義全体を振り返っておく(120)</p>													

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	文章理解 Literal Realization			単位数	授業内容*		
担当者	前田 恵美 (MAEDA Emi)			1	1	ガイダンス 予復修課題：公務員試験制度やSPI3試験について調べる	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEN1101・ERN1101・SSN1101	2	趣旨問題の考え方(1) 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	2	趣旨問題の考え方(2) 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
配当年次	1年生	開講学期	前期/後期			3	内容合致問題の考え方 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
授業概要	公務員採用試験での「文章理解」や民間企業採用試験で実施されるSPI3試験の「非言語分野」などで課せられる日本語現代文の長文読解を中心に講義を行う。文章読解能力は採用試験で必要となるだけでなく、日常的なコミュニケーションやあらゆる科目の学習の基礎となる能力であり、社会で活躍する人材になる上で必要不可欠な能力である。この講義ではより多くの文章に触れながら自ら文章を読み、自ら考えることを重視し、読解能力の向上を目指す。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・就職試験で出題される文章読解問題の形式に慣れ、問題を解くことができる。 ・文章を読む時に気を付けるポイントや、内容を理解するために必要な考え方を身につける。 ・就職試験に向けて、問題演習の進め方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。 						
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
	1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点を身につける。						
	2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。							
成績評価の方法			履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回の授業終了時にミニツッペーパーを書いてもらいます。文章読解能力を向上させるには、文章を自分で書くことも大事です。感想や疑問などを積極的に書くようにしてください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。				
1. 小テスト、感想文など 20%			アクティブ・ラーニング ・ミニツッペーパー[第1~6、8~14回] ・中間テスト[第7回]				
2. 中間テスト 20%							
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30%							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト 30%							
2. 論文、まとめのレポートなど %							
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	TAC株式会社(公務員講座) 編著 『地上・国家・国税対策 公務員Vテキスト 23 文章理解』 TAC出版 2014年						
参考書							
						15	講義の振り返り、まとめのテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	社会科学【基礎】 Social Science (Basic)			単位数	授業内容*		
担当者	村田 祐貴子 (MURATA Yukiko)			1	1 ガイダンス、「大日本帝国憲法と日本国憲法」 新旧憲法を比較し、日本国憲法の全体像をつかむ 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEN1102・ERN1101・SSN1102	2 「国会」小テスト1回 国会の地位や役割、衆議院の優越などを理解する 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部	3 「内閣」小テスト2回 内閣の地位や役割、議院内閣制を理解する 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
配当年次	1年生	開講学期	前期		スポーツ学部	4 「裁判所」小テスト3回 裁判所の地位や役割、裁判員制度等を理解する 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業概要	社会科学分野の基礎として、政治、法律、経済について中学校、高等学校での学習内容を中心に講義を行う。この講義で学習する内容は民間企業、公務員、教員を問わず、就職試験で一般常識として問われる内容でもあり、日頃の政治や経済のニュースを理解する上でも必要な知識である。また、大学で専門的に学習する法律や経済の基礎となる内容でもあるので重要度はとても高い。この講義では、社会科学の基礎的な内容を広く学習し、知識を着実に身につけ今後の学習につなげることを目的とする。						
	授業到達目標 ・社会科学の基礎的な内容、基本的事項について理解し、問題を解くことができる。 ・今後の就職試験に向けて、社会科学の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。 ・大学で学習する法律や経済学の基礎として、中学校、高等学校での学習内容の復修を行い、今後の学習の土台作りを行う。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。							
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。							
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。							
成績評価の方法			履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回授業の初めに前回の内容の復修テストを行います。毎回集計して成績をつけていきますので、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取り知識を定着させるようにしてください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			アクティブ・ラーニング ・復修テスト全11回[第2~6、9~14回] ・中間テスト[第7回]				
1. 小テスト、感想文など							30 %
2. 中間テスト							20 %
3. 課題レポートなどの提出物							%
4. 授業中の発表、討論							%
5. 授業への参加意欲							20 %
6. 自主的学習(予習・復習など)							%
7.			%				
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト			30 %				
2. 論文、まとめのレポートなど			%				
3.			%				
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリント配布						
参考書							
					15 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	人文・自然科学【基礎】 Humanities & Natural science (Basic)			単位数	授業内容*		
担当者	松ヶ下 剛士 (MATSUGASHITA Tsuyoshi)		島 一弘 (SHIMA Kazuhiro)		1	ガイダンス、物理 (松ヶ下) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング	EEN1201・ERN1201・SSN1201		2	生物 (松ヶ下) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部		
配当年次	1年生	開講学期	後期		3	生物 (松ヶ下) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業概要	人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学)の基礎として、中学校、高等学校での学習内容を中心に講義を行う。この講義で学習する内容は、民間企業、公務員、教員を問わず、就職試験で一般常識として問われる内容でもあり、社会人として必要な知識を習得する。各科目ごとの講義回数は少ないので、特に採用試験で頻出のテーマや一般常識として身につけておきたいテーマを中心に講義を行い、今後の学習に繋げることを目的とする。						
	授業到達目標 ・人文科学、自然科学の就職試験での頻出事項や基本的事項について理解し、問題を解くことができる。 ・今後の就職試験に向けて、各科目の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点を身につける。					8		
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。					予復修課題: テストに備えて今までの総復修を行う		
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。					9		
					日本史 江戸時代 (島) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
					10		
					日本史 明治時代 (島) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
成績評価の方法					履修における留意事項		
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。					毎回の授業終了時にミニツッペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価					知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。		
1. 小テスト、感想文など 20 %					アクティブ・ラーニング ・ミニツッペーパー[第1~7、9~14回] ・中間テスト[第8回]		
2. 中間テスト 25 %							
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価					11		
1. まとめのテスト 25 %					地理 気候と土壌 (島) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
2. 論文、まとめのレポートなど %					12		
3. %					地理 東南アジア (島) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
再評価の実施					13		
する					世界史 近代ヨーロッパ (島) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
しない					14		
教科書					世界史 近代ヨーロッパ (島) 予復修課題: 講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
プリント配布					15		
参考書					講義の振り返り、まとめテスト (島) 予復修課題: テストに備えて今までの総復修を行う		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		数的処理 Logical inferences & Mathematical inferences		単位数	授業内容*	
担当者		松ヶ下 剛士 (MATSUGASHITA Tsuyoshi)		1	1 ガイダンス 予復修課題：公務員試験制度やSPI3試験について調べる	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EEN1103・ERN1103・SSN1103	2 判断推理 論理分野 「対応関係」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部	3 判断推理 論理分野 「対応関係」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
配当年次	1年生	開講学期	前期		スポーツ学部	4 判断推理 論理分野 「順序関係」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
授業概要	公務員採用試験での「判断推理」「数的推理」「資料解釈」と言った科目や、民間企業採用試験でのSPI3試験の「非言語分野」などで必要となる数的処理能力の向上を目指し講義を行う。この講義では特に基礎的な内容を重視し、多くの問題に触れながら解法のポイントを紹介し、課題を論理的に解決する方法を学ぶ。また、問題解決で必要になる連立方程式や図形の法則などの数学に関する知識に関しても中学校、高等学校の復習を行い、基礎的な数学力を身につける。					
	授業到達目標 ・判断推理、数的推理、資料解釈の基本的な解法を理解し、問題を解くことができる。 ・公務員試験やSPI3試験では「速く正確に解く」ことが求められるので、試験時間を意識しながら問題演習を行うことができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。				8 中間の振り返り、テスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う		
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。				9 数的推理 導入 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し		
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。				10 数的推理 方程式と不等式 「濃度」「平均」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し		
成績評価の方法		履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		得点力向上のためには、多くの問題を解くことがカギになります。講義中に多くの解法を紹介しますので、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取り、繰り返し問題を解くようにしてください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		また、毎回の授業終了時にミニッツペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。				
1. 小テスト、感想文など 20 %		アクティブ・ラーニング ・実践学習[第2~7、9~14回] ・ミニッツペーパー[第2~7、9~14回] ・中間テスト[第8回]				
2. 中間テスト 20 %						
3. 課題レポートなどの提出物 %						
4. 授業中の発表、討論 %						
5. 授業への参加意欲 30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価						
1. まとめのテスト 30 %						
2. 論文、まとめのレポートなど %						
3. %						
再評価の実施	する	しない				
教科書	(株)麻生キャリアサポート編『判断推理テキスト編』『数的推理テキスト編』2020年					
参考書	予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		数的処理 Logical inferences & Mathematical inferences			単位数	授業内容*	
担当者		松ヶ下 剛士 (MATSUGASHITA Tsuyoshi)			1	1 ガイダンス 予復修課題：公務員試験制度やSPI3試験について調べる	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEN1202・ERN1202・SSN1202	2 判断推理 論理分野 「論理」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3 判断推理 論理分野 「論理」「集合」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
配当年次	1年生	開講学期	後期	4 判断推理 論理分野 「位置・方位」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し			
授業概要	公務員採用試験での「判断推理」「数的推理」「資料解釈」と言った科目や、民間企業採用試験でのSPI3試験の「非言語分野」などで必要となる数的処理能力の向上を目指し講義を行う。この講義では数的処理で学習した内容をもとに、さらに多くの問題に触れながら応用問題、発展問題の解法について学習を行う。また、数的処理では学習しなかったパターンの問題の解法などについても学習し、数的処理能力を向上させ、より多くの課題を解決できる力を身につける。						
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 判断推理、数的推理、資料解釈の基本的な解法を理解し、問題を解くことができる。 公務員試験やSPI3試験では「速く正確に解く」ことが求められるので、試験時間を意識しながら問題演習を行うことができる。 					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。					8 中間の振り返り、テスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う		
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。					9 数的推理 方程式と不等式 「速さ」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し		
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。					10 数的推理 方程式と不等式 「旅人算」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し		
成績評価の方法		履修における留意事項					
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		得点力向上のためには、多くの問題を解くことがカギになります。講義中に多くの解法を紹介しますので、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取り、繰り返し問題を解くようにしてください。また、毎回の授業終了時にミニッツペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		アクティブ・ラーニング					
1. 小テスト、感想文など	20%	・実践学習[第2~7、9~14回]					
2. 中間テスト	20%	・ミニッツペーパー[第2~7、9~14回]					
3. 課題レポートなどの提出物	%	・中間テスト[第8回]					
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	30%						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト	30%						
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない					
教科書	(株)麻生キャリアサポート編『判断推理テキスト編』『数的推理テキスト編』2020年						
参考書	15 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	数的処理 Logical inferences & Mathematical inferences				単位数	授業内容*	
担当者	松ヶ下 剛士 (MATSUGASHITA Tsuyoshi)				1	1	ガイダンス 予復修課題：公務員試験制度やSPI3試験について調べる
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEN2101・ERN2101・SSN2101	2	判断推理 論理分野 「手順」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3	判断推理 論理分野 「数量」「その他の問題」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
配当年次	2年生	開講学期	前期			4	判断推理 図形分野 「平面図形」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
授業概要	公務員採用試験での「判断推理」「数的推理」「資料解釈」などの科目で必要となる数的処理能力の向上を目指し講義を行う。この講義では数的処理、数的処理で学習した内容をもとに、実際の公務員試験の問題にも触れながら問題の解法について学習を行う。また、数的処理、数的処理では学習しなかったパターンの問題の解法などについても学習し、採用試験に向けて、より実戦的な力を身につけ得点力向上、解題解決能力の向上を目指す。					5	判断推理 図形分野 「立体図形」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
	授業到達目標 ・判断推理、数的推理、資料解釈の解法を理解し、問題を解くことができる。 ・公務員試験では「速く正確に解く」ことが求められるので、試験時間を意識しながら問題演習を行うことができる。					6	判断推理 図形分野 「立体図形」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						7	資料解釈 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。						8	中間の振り返り、テスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						9	数的推理 数の性質と計算 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。						10	数的推理 数の性質と計算 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
成績評価の方法			履修における留意事項			11	数的推理 数の性質と計算 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			得点力向上のためには、多くの問題を解くことがカギになります。講義中に多くの解法を紹介しますので、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取り、繰り返し問題を解くようにしてください。			12	数的推理 場合の数と確率 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
1) 授業到達目標への到達努力の評価			また、毎回の授業終了時にミニッツペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。			13	数的推理 場合の数と確率 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
1. 小テスト、感想文など 20%			アクティブ・ラーニング ・実践学習[第2~7、9~14回] ・ミニッツペーパー[第2~7、9~14回] ・中間テスト[第8回]			14	数的推理 図形分野「立体」 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
2. 中間テスト 20%						15	講義の振り返り、まとめのテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30%							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト 30%							
2. 論文、まとめのレポートなど %							
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	(株)麻生キャリアサポート編『判断推理テキスト編』『数的推理テキスト編』2020年						
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	社会科学【応用】 Social Science (Advanced)			単位数	授業内容*		
担当者	前田 恵美 (MAEDA Emi)			1	1	ガイダンス 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEN2102・ERN2102・SSN2102	2	第1章 法律 第1章-1 法学 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3	第1章-2 憲法の基本原理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	前期			4	第1章-2 憲法の基本原理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業概要	社会科学分野について、「社会科学(基礎)」の内容をもとに、より応用的、発展的な内容を学習する。この講義では社会科学の中でも特に政治・法律分野の学習を中心にを行い、高等学校で学習する政治経済分野の内容だけでなく、専門科目の憲法や政治学の基礎的な内容まで学習する。					5	第1章-3 人権 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
	授業到達目標 ・社会科学の応用的、発展的な内容について理解し、問題を解くことができる。 ・法律や政治学などの専門科目の基礎的な内容について理解し、専門科目の学習の準備を進めることができる。					6	第1章-3 人権 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点を身につける。					8	第1章-4 統治機構 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う	
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。					9	第1章-4 統治機構、第1章-5 その他の法律 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。					10	第2章 政治 第2章-1 政治とは何か、第2章-2 民主政治の成立と発展 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
成績評価の方法			履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回の授業終了時にミニツッパーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。				
1. 小テスト、感想文など 20%			アクティブ・ラーニング ・ミニツッパーパー[第1~6、8~14回] ・中間テスト[第7回]				
2. 中間テスト 20%							
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30%							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト 30%							
2. 論文、まとめのレポートなど %							
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	TAC株式会社(公務員講座)編『公務員試験 過去問攻略Vテキスト19 社会科学』TAC出版 2019年					15	講義の振り返り、まとめのテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	社会科学【応用】 Social Science (Advanced)				単位数	授業内容*	
担当者	前田 恵美 (MAEDA Emi)				非常勤 講師	1	第3章 経済 第3章 - 1 ミクロ経済学 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEN2201・ERN2201・SSN2201	2	第3章 - 1 ミクロ経済学 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3	第3章 - 1 ミクロ経済学 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	後期			4	第3章 - 2 マクロ経済学 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業概要	社会科学分野について、「社会科学(基礎)」の内容をもとに、より応用的、発展的な内容を学習する。この講義では社会科学の中でも特に経済分野の学習を中心に行い、高等学校で学習する政治経済分野の内容だけでなく、専門科目のミクロ経済学やマクロ経済学、経済史、金融政策などの基礎的な内容まで学習する。						5
	・社会科学の応用的、発展的な内容について理解し、問題を解くことができる。 ・ミクロ経済学などの専門科目の基礎的な内容について理解し、専門科目の学習の準備を進めることができる。						6
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						7
	1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点を身につける。 2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。 3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。						8
成績評価の方法		履修における留意事項				9	第3章 - 3 財政学 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		毎回の授業終了時にミニツッペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。				10	第3章 - 4 戦後経済史 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1) 授業到達目標への到達努力の評価		知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。				11	第3章 - 5 その他の論点 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1. 小テスト、感想文など 20 %						12	第4章 社会 第4章 - 1 社会保障 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
2. 中間テスト 20 %						13	第4章 - 2 労働問題 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
3. 課題レポートなどの提出物 %						14	第4章 - 3 現代社会の諸問題 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
4. 授業中の発表、討論 %						15	講義の振り返り、まとめのテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
5. 授業への参加意欲 30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめテスト 30 %		・ミニツッペーパー[第1~6、8~14回]					
2. 論文、まとめのレポートなど %		・中間テスト[第7回]					
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	TAC株式会社(公務員講座)編『公務員試験 過去問攻略Vテキスト19 社会科学』TAC出版 2019年						
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教養基礎答練 Liberal arts basic answering practice			単位数	授業内容*	
担当者		松ヶ下 剛士 (MATSUGASHITA Tsuyoshi)			1	1 ガイダンス 物理分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング			EEN2103・ERN2103・SSN2103	2 物理分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3 物理分野・まとめテスト 化学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
配当年次	2年生	開講学期	前期	4 化学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し			
授業概要	公務員採用試験や教員採用試験で実施される一般教養試験対策として、講義および問題演習を行う。この講義では一般教養科目の中でも特に自然科学分野に関する講義を行う。自然科学分野については1年生の時の「人文・自然科学」の講義でも学習したが、この講義では、「人文・自然科学」では講義しなかった内容や発展的な内容について取り扱う。また、実際の公務員試験の問題にも触れ、学習した内容が試験でどのように取り扱われるのかについても学習する。						5 化学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
	授業到達目標						6 化学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						7 化学分野・まとめテスト 生物分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点を身につける。						8 生物分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						9 生物分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。						10 生物分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
成績評価の方法			履修における留意事項			11 生物分野・まとめテスト 地学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回の授業終了時にミニツッペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。			12 地学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
1) 授業到達目標への到達努力の評価			知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。			13 地学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
1. 小テスト、感想文など 10 %			アクティブ・ラーニング ・ミニツッペーパー[第1~14回]			14 地学分野 予復修課題：授業中に解説した問題の解き直し	
2. 中間テスト %						15 地学分野・まとめテスト 予復修課題：実戦力を確認し、弱点を克服する	
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト 60 %							
2. 論文、まとめのレポートなど %							
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリント配布						
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教養基礎答練 Liberal arts basic answering practice				単位数	授業内容*	
担当者	田上 義修 (TANOUE Yoshinobu)				1	1	ガイダンス、地理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
実務経験のある教員による授業	ナンパリング				EEN2202・ERN2202・SSN2202	2	地理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3	地理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	後期			4	地理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業概要	公務員採用試験、教員採用試験で実施される教養試験対策として講義および問題演習を行う。この講義では教養科目の中でも特に知識分野(人文科学)について、基礎的、基本的な事項に関する講義を行い、さらに問題演習を行うことで、重要事項の確認、基礎的知識の定着を図ることを目的とする。さらに、実際の採用試験での頻出分野を理解することで、これからの受験勉強の準備を行う。						5
	・人文科学の就職試験での頻出事項や基本的事項について理解し、問題を解くことができる。 ・今後の就職試験に向けて、各科目の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。 ・問題演習を繰り返すことで、速く正確に解くことができる。						6
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						7
	1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。						8
	2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						9
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。						10	
成績評価の方法			履修における留意事項			11	予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回の授業終了時にミニツッパーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。			12	予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1) 授業到達目標への到達努力の評価			知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。			13	予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1. 小テスト、感想文など 10 %						14	予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
2. 中間テスト 40 %						15	予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト 20 %			・ミニツッパーパー[第1~14回]				
2. 論文、まとめのレポートなど %			・中間テスト[第6、11回]				
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	プリント配布						
参考書							
						15	予復修課題：テストに備えて今までの復修を行う

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP) 憲法演習 (K-CIP) Constitution practice			単位数	授業内容*	
担当者	河野 雄一 (KAWANO Yuuichi)			1	1 ガイダンス、憲法総論、統治 その他の問題 憲法の基本原理、憲法の分類、天皇、前文・平和主義・憲法保障 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEN2104・ERN2104		
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	2 基本的人権 総論 基本的人権の原理、基本的人権の限界 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
配当年次	2年生	開講学期	前期	経済学部	3 基本的人権 総則的権利 生命・自由・幸福追求の権利、法の下での平等 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業概要	公務員採用試験の専門試験において出題される憲法について講義を行う。法律は全ての法律の 抛り所となる存在で他の法律と比較すると条文は多くないが、数多くの法律の中でも重要な役 割を担っている。「総論」「人権」「統治機構」が主な内容であり、この講義ではこれらの内 容について条文の理解や重要な判例の学習を行う。この講義では各論点について公務員試験で 出題される実際の試験問題にも触れ、学習した内容が試験においてどのように問われるのかに ついて学び、より理解を深める。					
	授業到達目標 ・公務員試験における憲法の重要論点を理解し、問題を解くことができる。 ・今後の公務員試験の受験に向けて、憲法の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めるこ とができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。						
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を 育成する。						
成績評価の方法			履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回の授業終了時にミニツッパーパーを書いて もらいますので、疑問点などがあれば、積極的 に質問するようにしてください。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価			知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は 復修の時間を取るようにしてください。			
1. 小テスト、感想文など 30 %						
2. 中間テスト 20 %						
3. 課題レポートなどの提出物 %						
4. 授業中の発表、討論 %						
5. 授業への参加意欲 %						
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト 50 %			・ミニツッパーパー[第1~15回]			
2. 論文、まとめのレポートなど %			・中間テスト[第8回]			
3. %						
再評価の実施	する	しない				
教科書	TAC株式会社(公務員講座) 編著 『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 3 憲法』TAC出版 2019					
参考書	15 講義の振り返り、まとめのテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP)民法(総則、物権)演習 (K-CIP) Civil Law (General Provisions and Property Law)			単位数	授業内容*		
担当者	前田 恵美 (MAEDA Emi)			1	1	ガイダンス、第1章 - 1 民法の全体 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEN2105・ERN2105・SSN2105	2	第1章 - 2 権利の主体 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3	第1章 - 3 法律行為(1) 法律行為と意思表示 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	前期			4	第1章 - 4 法律行為(2) その他の問題 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業概要	公務員採用試験の専門試験において出題される民法について講義を行う。民法は身近なことに 関する法律ではあるが、条文の数や論点が多く、学習する内容は膨大である。この講義では、 民法の中でも「総則」「物権」の内容について、特に公務員試験で重要になる条文の理解や 重要な判例の学習を行う。また、この講義では各論点について公務員採用試験で出題される 実際の試験問題にも触れ、学習した内容が試験においてどのように問われるのかについても 学び、より理解を深める。						
	授業到達目標 ・公務員試験における民法の重要論点を理解し、問題を解くことができる。 ・今後の公務員試験の受験に向けて、民法の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進める ことができる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。					8		
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。					9		
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を 育成する。					10		
成績評価の方法			履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			毎回の授業終了時にミニツッパーパーを書いて もらいますので、疑問点などがあれば、積極的 に質問するようにしてください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は 復修の時間を取るようにしてください。				
1. 小テスト、感想文など 20 %			アクティブ・ラーニング ・ミニツッパーパー[第1~6、8~14] ・中間テスト[第7回]				
2. 中間テスト 20 %							
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30 %							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価			予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える				
1. まとめのテスト 30 %			11				
2. 論文、まとめのレポートなど %			12				
3. %			13				
再評価の実施			する しない				
教科書	TAC株式会社(公務員講座)編著『公務員試験 過去問攻略Vテキスト1 民法(上)』(2019年)						
参考書	予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP)民法(債権、親族・相続)演習 (K-CIP)Civil Law (Law of Obligations and Relatives・Inheritance)				単位数	授業内容*
担当者	前田 恵美 (MAEDA Emi)				1	1 第4章 債権総論 第4章 - 1 債務不履行 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEN2203・ERN2203・SSN2203				2	2 第4章 - 2 債務者の責任財産の維持 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部 スポーツ学部	3 第4章 - 3 債権の消滅 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	後期			4 第4章 - 4 多数当事者の債権関係 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業概要	公務員採用試験の専門試験において出題される民法について講義を行う。民法は身近なことに 関する法律ではあるが、条文の数や論点が多く、学習する内容は膨大である。この講義では、 民法の中でも「債権」「親族・相続」の内容について、特に公務員試験で重要になる条文の理 解や重要な判例の学習を行う。また、この講義では各論点について公務員採用試験で出題され る実際の試験問題にも触れ、学習した内容が試験においてどのように問われるのかについても 学び、より理解を深める。					
	授業到達目標 ・公務員試験における民法の重要論点を理解し、問題を解くことができる。 ・今後の公務員試験の受験に向けて、民法の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進める ことができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点を身につける。					8	5 第4章 - 5 債権譲渡・債務引受 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						6 第5章 債権各論 第5章 - 1 債権総論 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を 育成する。						7 中間のまとめ、テスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
成績評価の方法						8 第5章 - 2 契約各論(1) 売買 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
履修における留意事項						9 第5章 - 3 契約各論(2) 賃貸借 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。						10 第5章 - 4 契約各論(3) その他の契約・事務管理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1) 授業到達目標への到達努力の評価						11 第5章 - 5 不当利得・不法行為 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1. 小テスト、感想文など 20 %						12 第6章 親族・相続 第6章 - 1 婚姻 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
2. 中間テスト 20 %						
3. 課題レポートなどの提出物 %						
4. 授業中の発表、討論 %						
5. 授業への参加意欲 30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価						13 第6章 - 2 親子 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
1. まとめのテスト 30 %						14 第6章 - 3 相続 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
2. 論文、まとめのレポートなど %						
3. %						
再評価の実施	する	しない				15 講義の振り返り、まとめテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
教科書	TAC株式会社(公務員講座)編著『公務員試験 過去問攻略Vテキスト2 民法(下)』(2019年)					
参考書						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		(K-CIP) 行政法演習 (K-CIP) Administrative Law practice			単位数	授業内容*		
担当者	河野 雄一 (KAWANO Yuuichi)			非常勤講師	1	ガイダンス、行政法の基本原理 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
実務経験のある教員による授業	ナンバリング			EEN2204・ERN2204	2	行政行為 行政行為の意義と諸効力、行政行為の分類(1)、(2) 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部			
配当年次	2年生	開講学期	後期					
授業概要	公務員採用試験の専門試験において出題される行政法について講義を行う。行政法や他の民法や商法のように単独の法典は存在せず、行政に関連する法律の総称であるため、全体像が見えにくく学習を進めにくい科目であるが、公務員として働く上で行政に関する法律の知識は必須である。この講義では、地方自治法や行政手続法、国家賠償法などの行政法について、特に公務員採用試験で重要になる条文の理解や重要な判例の学習を行う。また、この講義では各論点について公務員採用試験で出題される実際の問題にも触れ、学習した内容が試験においてどのように問われるのかについても学び、より理解を深める。						3	行政行為の附款、行政行為の分類(3)、行政行為の取消しと撤回 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
	授業到達目標	・公務員試験における行政法の重要論点を理解し、問題を解くことができる。 ・今後の公務員試験の受験に向けて、行政法の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。						4
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						5	行政上の強制手段 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。						6	行政のその他の活動形式 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						7	国家補償 国家補償、国家賠償法1条論 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。						8	国家補償 国家賠償法2条論、損失補償 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
成績評価の方法						9	中間テスト、行政事件訴訟法 行政事件訴訟法の全体像 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行い、重要用語などを覚える	
履修における留意事項						10	行政事件訴訟法 取消訴訟の訴訟要件 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。						11	行政事件訴訟法 取消訴訟の審理手続、訴訟の終了、主観訴訟、客観訴訟 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
1) 授業到達目標への到達努力の評価						12	行政上の不服申立て 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
1. 小テスト、感想文など 30 %						アクティブ・ラーニング ・ミニッツペーパー[第1~15回] ・中間テスト[第9回]	13	行政機関情報公開法 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
2. 中間テスト 20 %							14	行政の仕組み 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
3. 課題レポートなどの提出物 %							15	講義の振り返り、まとめのテスト 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う
4. 授業中の発表、討論 %								
5. 授業への参加意欲 %								
6. 自主的学習(予習・復習など) %								
7. %								
2) 最終到達度の評価								
1. まとめのテスト 50 %								
2. 論文、まとめのレポートなど %								
3. %								
再評価の実施	する	しない						
教科書	TAC株式会社(公務員講座) 編著『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 4 行政法』TAC出版 2019							
参考書								

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP) ミクロ経済学演習 (K-CIP) Micro Economics practice			単位数	授業内容*		
担当者	柏木 士郎 (KASIWAGI Shirou)			1	1	費用関数について学ぶ。短期の費用関数から、平均費用、平均可変費用、限界費用の導出についても学びます。ここで簡単な微分の練習をします。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEN2106・ERN2106			非常勤講師	2	長期の費用関数とコブ=ダグラス型生産関数について学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部	3	消費者理論。消費者の効用最大化について、学びます。無差別曲線、限界代替率といった専門用語も出てくるので、しっかり理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	前期			4	消費者理論。所得の変化が予算線にどのような変化をもたらすのかという、需要の所得弾力性や代替効果、所得効果について学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
授業概要	公務員採用試験の専門試験において出題される経済原論のうち、ミクロ経済学の分野について講義を行う。経済学の中でもミクロ経済学は特に消費者や企業の行動に着目し価格の決まり方などについて学習する。また、科目の性質上、微分などの数学的な必要となるが、初学者でも理解できるように講義を進めていく。この講義では、特に公務員採用試験で重要になる論点の学習を行うが、同時に実際に試験問題にも触れることで、学習した内容が試験においてどのように問われるのかについても学び、より理解を深める。					5	消費者理論。需要の価格弾力性と需要の交差弾力性について学びます。特に、需要の価格弾力性の意味や需要曲線の傾きなどについて理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験におけるミクロ経済学の重要論点を理解し、問題を解くことができる。 ・ミクロ経済学の問題を解くために必要な微分などの数学的スキルを習得し、計算することができる。 ・今後の公務員試験の受験に向けて、ミクロ経済学の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。 					6
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					7	市場の均衡と余剰分析。ワルラス的均衡、マーシャル的均衡、消費者余剰、生産者余剰などについて理解を深めましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。					8	中間のまとめ、テスト これまでの内容についての中間テストを実施します。 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う	
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。					9	パレート最適、エッジワースのボックスダイアグラムについて学びます。 パレート最適とはどういう状態なのかを学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。					10	不完全競争市場、独占市場と差別独占。独占市場での利潤最大化がどのようにしてなされるのかを理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
成績評価の方法		履修における留意事項			11	不完全競争市場、複占市場のクールノー均衡について学びます。クールノー均衡とはどういう状態なのかを学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		毎回の授業終了時にミニツペーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。			12	不完全競争市場、複占市場のシュタッケルベルグ均衡について学びます。シュタッケルベルグ均衡とクールノー均衡の違いについて理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。			13	ゲーム理論について学びます。純粋戦略のマキシミン戦略、ナッシュ均衡について学習します。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
1. 小テスト、感想文など					14	市場の失敗について。公共財の最適供給と外部性について学びます。公共財とは何なのか外部性とはどういう状況で生じるのか、概念をしっかりと押さえましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
2. 中間テスト		25 %			15	講義の振り返り、まとめのテスト これまで学習した内容について、振り返ります。 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う	
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		50 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		25 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する しない					
教科書	TAC株式会社(公務員講座)編『公務員試験 過去問攻略Vテキスト8 ミクロ経済学』TAC出版 2019年						
参考書							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		(K-CIP) マクロ経済学演習 (K-CIP) Macro Economics practice		単位数	授業内容*	
担当者	柏木 士郎 (KASIWAGI Shirou)			1	1 財市場の分析 GDPについて、その定義や式を理解し、計算できるようにしましょう。また、物価指数と産業連関表についても学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング EEN2205・ERN2205			2	2 財市場の分析 45度線分析、乗数理論。インフレギャップとは何か、デフレギャップとは何かをしっかりと理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部	3 財市場の分析 の続き。45度線分析、乗数理論。インフレギャップとは何かデフレギャップとは何かをしっかりと理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える
配当年次	2年生	開講学期	後期	4 財市場の分析 ISバランスアプローチ、IS曲線の導出。IS曲線上では財市場が均衡していることを学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
授業概要	公務員採用試験の専門試験において出題される経済原論のうち、マクロ経済学の分野について講義を行う。経済学の中でもマクロ経済学は国家や市場といった大きな視点から経済のメカニズムについて学習する。また、科目の性質上、微分などの数学的な必要となるが、初学者でも理解できるように講義を進めていく。この講義では、特に公務員採用試験で重要になる論点の学習を行うが、同時に実際に試験問題にも触れることで、学習した内容が試験においてどのように問われるのかについても学び、より理解を深める。					
	5 貨幣市場の分析 貨幣需要と貨幣供給について学びます。特に貨幣需要はそれぞれ何に依存しているのかを理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える					
授業到達目標	・公務員試験におけるミクロ経済学の重要論点を理解し、問題を解くことができる。 ・マクロ経済学の問題を解くために必要な微分などの数学的スキルを習得し、計算することができる。 ・今後の公務員試験の受験に向けて、マクロ経済学の勉強の仕方を理解し、受験勉強の準備を進めることができる。					
	6 IS-LM分析 財市場と貨幣市場が均衡しているとき、財政政策や金融政策を行うとどのような効果が見られるのかを学びます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)				7 IS-LM分析 IS曲線やLM曲線が特殊な形状をしているときの財政政策、金融政策の有効性について学びます。また、この分野の計算問題も解いて理解を深めます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。				8 中間のまとめ、テスト これまでの内容についてテストを実施します。 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う		
2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。				9 労働市場の分析 労働市場の均衡について、ケインズ派と古典派(新古典派)の主張の違いについて学びます。また、失業の種類もしっかり理解しましょう。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。				10 労働市場の分析 9回目の授業に基づいて、AD-AS分析を学びます。ここでもケインズ派古典派の主張の違いについて理解しましょう。計算問題も解きます。 予復修課題：講義内容をしっかりと復修し、重要用語などを覚える		
成績評価の方法		履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		毎回の授業終了時にミニツッパーパーを書いてもらいますので、疑問点などがあれば、積極的に質問するようにしてください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		知識の定着のために、毎回の授業後に1時間は復修の時間を取るようにしてください。				
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		25 %				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		50 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		25 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	TAC株式会社(公務員講座)編『公務員試験 過去問攻略Vテキスト8 ミクロ経済学』TAC出版 2019年					
参考書	15 これまでに勉強した内容について再度振り返り、マクロ経済学の全体像をつかむ。 予復修課題：テストに備えて今までの総復修を行う					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP) 教職教養 (教育原理・教育心理) Preparation for Teaching Staff Examination (Principle of Edu.)			単位数	授業内容*		
担当者	山内 絵美理 (YAMAUCHI Emiri)	ほか		1	1	オリエンテーション・学修の心構え 授業の概要、教員採用試験に向けた学修の心構え等を解説する (TAC講師) 予復修課題: 自身の志望する自治体の採用試験について調べ、学修計画を立てる (2時間)	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		EEN2107	非常勤講師	2	教育原理 教育の意義 / 教授・学習の理論 (山内) 予復修課題: 1章第1節・2節の見直しと誤答の確認 (4時間)	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目 (K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部	3	教育原理 学習指導の形態 / 教育課程の概念 / 教育課程の類型 (山内) 予復修課題: 第1章第3節、第2章第1・2節の見直しと誤答の確認 (4時間)
配当年次	2年生	開講学期	前期			4	教育原理 生徒指導の意義と課題 / 生徒指導の方法 (山内) 予復修課題: 第7章第1・2節の見直しと誤答の確認 (4時間)
授業概要	教員採用試験において出題される教職教養科目の教育原理、教育心理について学修する。教員免許取得のために必要な「教育原論」「教育心理学」の講義とは異なり、採用試験対策を重視し採用試験での頻出事項や、各科目の重要論点について知識を整理し、教員採用試験合格に向けて必要な知識を身につける。また、実際の教員採用試験問題にも触れることで、学習した内容が試験においてどのように問われるのかについても学び、より理解を深める。免許法科目の「教育原論」「教育心理学」の成績にかかわらず履修は可能である。ただし、未修得の内容は自主学習で補うこと。本授業の単位は免許状申請には使用できない。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育原理・教育心理に関する基礎知識や解答技術を修得し、正答を導くことができる。 ・教育原理・教育心理に関して得た知識を、様々な場面において生かすことができる。 						
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
	1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。						
	2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。						
3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。							
成績評価の方法			履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する (全体で100%)。			・知識の定着のために予復修が欠かせません。授業外の学修機会も活用しながら、積極的に取り組んでください。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価			・教科書・参考書が必須です。入手方法は初回の授業の際に連絡するので、期間内に必ず購入してください。本授業の教材は後期の「教職基礎演習」やその後の授業でも使用することがあります。				
1. 小テスト、感想文など 35 %							
2. 中間テスト %							
3. 課題レポートなどの提出物 %							
4. 授業中の発表、討論 %							
5. 授業への参加意欲 30 %							
6. 自主的学習 (予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト 35 %							
2. 論文、まとめのレポートなど %							
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	教職教養『教育原理』トレーニング、2019年・『教育心理』トレーニング、2019年 (TAC)						
参考書	教職教養『教育原理』テキスト、2019年・『教育心理』テキスト、2019年 (TAC)						
15	学修のまとめ、試験動向の最新情報 試験の最新動向を学ぶとともに、今後の学修を考える (TAC講師) 予復修課題: 夏期休業期間や後期に向けての学修計画を立てる (4時間)						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP) 社会科 Preparation for Teaching Staff Examination (Social Studies)			単位数	授業内容*	
担当者	前田 武男 (MAEDA Takeo)			1	専任	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			EEN2108		
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部	
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	<p>教員採用試験において出題される専門教養(社会科、地理歴史科、公民科)について学修する。採用試験対策を重視し、頻出事項や重要論点について知識を整理し、採用試験合格に向けて必要な知識を身につける。講師の実務経験を活かしながら、実際の採用試験問題や現場の課題にも触れることで、学修した内容が試験や実務においてどのように問われるかについても学び、より理解を深める。</p> <p>免許法科目の成績等にかかわらず履修は可能である。ただし、未修得の内容は自主学修で補うこと。本授業の単位は免許状申請には使用できない。</p>					
	<p>・専門教養試験の出題内容に対する知識や解答技術を修得し、問題を解くことができる。</p> <p>・本授業から得た知識や技術を、様々な場面において生かすことができる。</p>					
授業到達目標	<p>授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)</p>					
	<p>1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。</p>					
	<p>2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。</p>					
<p>3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。</p>						
成績評価の方法			履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			・知識の定着のために予復修が欠かせません。授業外の学修機会も活用しながら、積極的に取り組んでください。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価						
1. 小テスト、感想文など 35 %						
2. 中間テスト %						
3. 課題レポートなどの提出物 %						
4. 授業中の発表、討論 %						
5. 授業への参加意欲 30 %						
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト 35 %						
2. 論文、まとめのレポートなど %						
3. %						
再評価の実施	する	しない				
教科書	授業プリントを配布する					
参考書						
1	オリエンテーション・学修の心構え 授業の概要、教員採用試験に向けた学修の心構え等を解説する 予復修課題：自身の志望する自治体の採用試験について、調べ学習計画を立てる(4時間)					
2	世界史問題演習 世界史へのまなざし、諸地域の歴史的特質の形成(古代～中世)の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
3	世界史問題演習 諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容(近世～近代)の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
4	世界史問題演習 諸地域の結合・変容(近代～第二次世界大戦)の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
5	世界史問題演習 地球世界の課題(現代)の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
6	世界史問題演習 論述問題に取り組み、基本的テクニック及びポイントを解説する 予復修課題：授業のポイントをもとに論述問題に取り組み、内容を推敲する(4時間)					
7	日本史問題演習 原始・古代の日本と東アジア、中世の日本と世界のの問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
8	日本史問題演習 近世の日本と世界の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
9	日本史問題演習 近現代の地域・日本と世界(～第二次世界大戦)の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
10	日本史問題演習 近現代の地域・日本と世界(第二次世界大戦後～現代)の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
11	日本史問題演習 論述問題に取り組み、基本的テクニック及びポイントを解説する 予復修課題：授業のポイントをもとに論述問題に取り組み、内容を推敲する(4時間)					
12	倫理問題演習 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
13	倫理問題演習 現代の諸課題と倫理の問題の解法を解説する 予復修課題：誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)					
14	倫理問題演習 論述問題に取り組み、基本的テクニック及びポイントを解説する 予復修課題：授業のポイントをもとに論述問題に取り組み、内容を推敲する(4時間)					
15	学修のまとめのテスト、教員採用試験動向の最新情報 教員採用試験の最新動向を学ぶとともに、今後の学修を考える 予復修課題：春季休業期間や3年生に向けての学修計画を立てる(4時間)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	(K-CIP) 教職基礎演習 Preparation for Teaching Staff Examination (Oral Exam & Essay)				単位数	授業内容*	
担当者	山内 絵美理 (YAMAUCHI Emiri)		ほか		1	オリエンテーション 1 授業の概要を解説するとともに、前期修得内容を振り返る(山内) 予復修課題: 自身の状況に基づき学修計画を立てる(2時間)	
実務経験のある教員による授業			ナンパリング		EEN2206		
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(K-CIP関連科目)	履修学部	経済学部		
配当年次	2年生	開講学期	後期				
授業概要	<p>教員採用試験を受験する際に必要となる願書(自己PR文)や論作文の書き方の基礎を学ぶ。また、模擬授業・面接などに向けた基礎的な力を養う。問題演習を行うことで論述力の向上を図るとともに、演習の中から体験的に自身の課題を発見し、今後の学習計画に生かす。</p> <p>免許法科目及び前期開講の「教職教養(教育原理・教育心理)」の修得状況にかかわらず履修は可能である。ただし、未修得の内容は自主学習で補うこと。 本授業の単位は免許状申請には使用できない。</p>				<p>2 人物試験のポイント、志望動機・自己PR等の書き方 出願書類や人物試験に対応するための基本的な技術を確認する(TAC講師) 予復修課題: 自己分析を行い、想定問答を作る(4時間)</p> <p>3 志望動機・自己PR 志望自治体の願書を書いたり、模擬面接を行ったりして、グループで交流する(山内) 予復修課題: 自身の志望動機等を推敲する(4時間)</p> <p>4 志望動機・自己PR 志望自治体の願書を書いたり、模擬面接を行ったりして、グループで交流する(山内) 予復修課題: 自身の志望動機等を推敲する(4時間)</p> <p>5 論作文対策の方法 論作文対策の進め方と評価の観点、基礎的テクニック等を解説する(TAC講師) 予復修課題: 論作文課題に取り組む(4時間)</p>		
	授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人物試験、論作文試験等への対応力を高め、自信をもって取り組むことができる。 ・教職教養試験の出題内容に対する知識をさらに深め、解答に生かすことができる。 ・本授業から得た知識や技術を、様々な場面において生かすことができる。 				<p>6 論作文 論作文問題に取り組み、ポイントを解説する(山内) 予復修課題: 論作文を推敲する(4時間)</p> <p>7 論作文 論作文問題に取り組み、ポイントを解説する(山内) 予復修課題: 論作文を推敲する(4時間)</p>	
<p>授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)</p> <p>1) 公務員、教員、民間企業などの就職試験において、合格できる得点力を身につける。</p> <p>2) 社会で活躍する人材になるために幅広い知識・教養を身につける。</p> <p>3) 問題の趣旨を正確に理解し、論理的に考え、正解を導くことができる課題解決能力を育成する。</p>							
成績評価の方法				履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。				・知識の定着のために予復修が欠かせません。授業外の学修機会も活用しながら、積極的に取り組んでください。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価				・講師のスケジュールにより、授業内容を入れ替えたり、変更することがあります。 ・教科書・参考書が必須です。入手方法は初回の授業の際に連絡するので、期間内に必ず購入してください。			
1. 小テスト、感想文など	35 %			<p style="text-align: center;">アクティブ・ラーニング</p>			
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	35 %						
4. 授業中の発表、討論	15 %						
5. 授業への参加意欲	15 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト	%			10 実際に集団討論を行ったり、他の受講者の討論を題材に相互に学ぶ(山内) 予復修課題: 授業のポイントをもとに自分なりに解答を構想する(4時間)			
2. 論文、まとめのレポートなど	%			11 実際に集団討論を行ったり、他の受講者の討論を題材に相互に学ぶ(山内) 予復修課題: 授業のポイントをもとに自分なりに解答を構想する(4時間)			
3.	%			12 教職教養の基礎知識 教育原理・教育心理の未修得部分をさらに深める(山内) 予復修課題: 誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)			
再評価の実施	する	しない		13 教職教養の基礎知識 教育原理・教育心理の未修得部分をさらに深める(山内) 予復修課題: 誤答部分を中心に自身の解答を見直す(4時間)			
教科書	教員採用試験『面接対策』2019年(TAC)			14 教職教養の基礎知識・小テスト 教育原理・教育心理領域を中心に、これまでの学修を再確認する(山内) 予復修課題: これまでの授業内容を振り返る(4時間)			
参考書	教職教養テキスト・トレーニング『教育原理』『教育心理』テキスト、2019年(TAC)			15 学修のまとめ、試験動向の最新情報 人物試験に向けた教職教養の学習方法を学び、今後の学修を考える(TAC講師) 予復修課題: 春期休業期間や3年生に向けての学修計画を立てる(4時間)			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		生涯学習と社会教育 Lifelong Learning and Social Education		単位数	授業内容*			
担当者		山田 明 (YAMADA Akira)		2	1 ガイダンス 我が国の生涯学習の現状と課題 予復修課題： シラバスの確認、生涯学習の現状と課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 我が国の教育基本法から生涯学習の考え方を学ぶ 予復修課題： 教育基本法の精読、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。			
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(社会教育主事関連科目)	履修 学部	経済学部	3 第3期教育振興基本計画による生涯学習社会の構築 予復修課題： 教育振興基本計画、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。		
配当年次	3年生	開講学期	後期	学部	スポーツ学部	4 生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育、企業内教育等の関係性 予復修課題： 生涯学習と社会教育の関係、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。		
授業概要	生涯学習と社会教育の意義を理解しながら、学習者の特性と学習の継続発展について考察する。さらに生涯学習と家庭教育・学校教育・社会教育の関係について講義する。特に、生涯学習社会における社会教育と社会教育行政、一般行政と社会教育行政の関係など各教育機能相互の連携と体系化について学習するとともに、地方公共団体の予算編成及び執行等について講義する。							
	授業到達目標 教育基本法・教育振興基本計画について理解し説明できる。 生涯学習と社会教育の意義を説明できる。 生涯学習と家庭教育・学校教育・社会教育の関係性について説明できる。 社会教育と社会教育行政、一般行政と社会教育行政の関係など各教育機能相互の連携と体系化などを説明できる。 地方公共団体の予算等を説明できる。							
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)								
1) 生涯学習および社会教育の本質や学習者の特性・教育相互の連携についての理解を図る。				8 生涯学習関連施策の動向 ～第6期中央教育審議会生涯学習分委会「議論の整理」の検討～ 予復修課題： 「議論の整理」の動向、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
2) 社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。				9 生涯学習関連施策の動向 ～青少年教育支援施策～ 予復修課題： 青少年教育施策、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
3) 専門的な知識と実践的な能力向上および学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。				10 生涯学習関連施策の動向 ～家庭教育支援施策～ 予復修課題： 家庭教育支援施策、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
4) 社会教育主事としての幅広い視野と社会的関心を持ち、専門的内容の理解を図る。				11 生涯学習関連施策の動向 ～成人教育支援施策～ 予復修課題： 成人教育支援施策、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
成績評価の方法		履修における留意事項						
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)		毎回授業で10分課題(授業で提示)を実施。評価は課題・出席(意欲)・まとめのテストにおける総合評価とする。						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		アクティブ・ラーニング 授業中に実施する10分間の課題(新聞を読んでコメントを書く)を活用して受講生の意見を共有する。【第1回～第14回】						
1. 小テスト、感想文など							%	
2. 中間テスト							%	
3. 課題レポートなどの提出物							20 %	
4. 授業中の発表、討論							%	
5. 授業への参加意欲							30 %	
6. 自主的学習(予習・復習など)							%	
7.		%						
2) 最終到達度の評価								
1. まとめテスト		50 %		12 生涯学習関連施策の動向 ～高齢者教育支援施策～ 予復修課題： 高齢者教育支援施策、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%		13 学習成果の活用とボランティアの養成及び活用 予復修課題： 学習成果の活用、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
3.		%		14 諸外国における地域づくりと生涯学習 予復修課題： 諸外国の生涯学習、授業中課題を調べ(予修2時間)、講義後ノートに整理し深める(復修2時間)。				
再評価の実施	する	しない		15 講義の総括・まとめのテスト 予復修課題： 講義を振り返り(予修2時間)、生涯学習・社会教育について考えを深める(復修2時間)。				
教科書	教科書は使用せず、適宜、参考資料を配布する。							
参考書	西岡正子『成長と変容の生涯学習』ミネルヴァ書房、2014。							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	生涯学習・社会教育の指導者 Leader of Lifelong-learning and Social Education				単位数	授業内容*	
担当者	田代 利恵 (TASHIRO Rie)				専任		1 オリエンテーション 授業の進め方、評価の方法 予復修課題：シラバスの確認
実務経験のある教員による授業	ナンパリング						2 生涯学習と社会教育の定義・理念 予復修課題：生涯学習と社会教育についてこれまで学んだ内容を確認する
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(社会教育主事関連科目)	履修 学部	経済学部		3 生涯学習と社会教育の指導者 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと
配当年次	3年生	開講学期	前期		スポーツ学部		4 指導者の役割と専門性 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと
授業概要	生涯学習・社会教育の指導者は、生涯学習ならびに社会教育活動を支援したり、活性化させたりする役割を担います。学習者を直接的に支援する「講師」や「先生」だけではなく、学習支援に関わる人も指導者ととらえ、その役割を理解し、適切な支援の方法について講義します。 地方公共団体おける経験を踏まえ、具体事例を取り入れた授業を展開します。						
	5 社会的課題と生涯学習・社会教育 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと						
授業到達目標	生涯学習・社会教育の基礎的な事項について説明できる。 生涯学習・社会教育の指導者の役割と求められる能力について理解し、説明することができる。 社会的課題と生涯学習・社会教育の関連について考え、的課題と解決方法を考えることができる。						
	6 地域・学校との連携 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 生涯学習および社会教育の本質や学習者の特性・教育相互の連携についての理解を図る。							7 コーディネートの手法 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと
2) 社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。							8 問題解決型学習の手法 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと
3) 専門的な知識と実践的な能力向上および学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。							9 問題解決型学習の手法 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと
4) 社会教育主事としての幅広い視野と社会的関心を持ち、専門的内容の理解を図る。							10 リーダーとフォロワーシップ 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと
成績評価の方法				履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)				課題の提出があります 授業では、講義だけでなく討議を行うため、事前・事後の準備が必要となります			
1) 授業到達目標への到達努力の評価							
1. 小テスト、感想文など %							
2. 中間テスト %							
3. 課題レポートなどの提出物 30 %							
4. 授業中の発表、討論 20 %							
5. 授業への参加意欲 20 %							
6. 自主的学習(予習・復習など) %							
7. %							
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト 30 %				グループワーク(第10~13講)			
2. 論文、まとめのレポートなど %				プレゼンテーション(第14講)			
3. %							
再評価の実施	する	しない					
教科書	適宜、資料を配布します						
参考書							
							15 予復修課題：授業(教材含む)の予復修を120分程度おこなうこと

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	社会教育計画の立案 Planning of Social Education Programs			単位数	授業内容*	
担当者	永瀧 美法 (NAGAFUCHI Minori)			2	1 オリエンテーション：生涯学習社会における社会教育の意義・役割および社会教育行政の構造と課題について説明し、概論の授業で学んだであろう基礎知識を確認する。 予復修課題：概論で学んだことの復修。教科書第1章を復修として読んでおく(15分)。	
実務経験のある教員による授業	ナンパリング			非常勤講師	2 社会教育計画の基本1：急激な社会変化の起きている現代において、社会の問題・課題について理解を深め、それらを解決するための社会教育計画策定の実際を示す。 予復修課題：教科書第2章-1を読み、重要と思うところにアンダーラインを引く(30分)。	
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(社会教育主事関連科目)	履修学部	経済学部	3 社会教育計画の基本2：地域総合計画・生涯学習推進計画と社会教育計画の関係性とその作成プロセスを紹介する。また、一般行政と教育行政の現状と課題、違いも紹介する。 予復修課題：教科書第2章-2,3を読んでおく。自治体の総合計画を調べてみる(30分)。
配当年次	3年生	開講学期	後期	学部	スポーツ学部	4 社会のニーズに対応する視点1：地域再生と「生涯学習のためのまちづくり」から「生涯によるまちづくり」への変遷とその中核をなす人材養成とネットワーク作りの意義を学ぶ 予復修課題：教科書第3章-1,2を読み、重要なところにアンダーラインを引く(30分)。
授業概要	生涯学習の意味と社会教育の役割を理解した上で、社会のニーズに対応する社会教育計画を立案するための基礎知識と企画立案の方法を伝える。 まず社会教育計画とは何かという基本的な知識について説明する。その上で社会的ニーズの内容とそのニーズに対応するための4つの視点および社会的課題について解説する。 理解を深めるために、自治体の社会教育計画や社会教育事業の事例を具体的に紹介する。それらの事例を参考にしながら、実際に計画を企画・立案する方法について講義する。グループでの話し合いやワークも取り入れる予定である。					
	生涯学習と社会教育の意義と役割を理解した上で、以下のことができるようになることを目指す。 社会教育計画の行政上の位置づけと意義について説明することができる。 社会教育計画を企画立案する際に重要ないくつかの社会的要請課題について説明できる。 社会教育計画立案の手順についてポイントを記述することができる。 実際の個別事業計画を参考にして、自分が関心あるテーマの事業計画を作成できる。 グループワーク・討議や発表を通して、地域課題について問題意識を持つことができる。					
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
	1) 生涯学習および社会教育の本質や学習者の特性・教育相互の連携についての理解を図る。			8 社会教育調査：学習ニーズ把握のための調査方法・分析方法について概要を示す。その後アンケート及びグループインタビューの実際をロールプレイで体験する。 予復修課題：教科書第4章を読み、プリントの穴埋めをしておく(30分)。		
	2) 社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。			9 社会教育事業計画：地域の問題課題を解決するためには、中長期的な視点が必要である。その事業計画の種類と内容、年間事業計画立案の手順と評価を事例を用いて説明する。 予復修課題：教科書第5章を読み、指定された方法でアンダーラインを引く(30分)。		
	3) 専門的な知識と実践的な能力向上および学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。			10 青少年・高齢者対象の事業事例を素材として、学習プログラム編成の手順、事業の目的と内容・方法、事業の構成要素、学習方法・形態・PDCAサイクルについて概要を説明する。 予復修課題：教科書第6章を読み、プリントの穴埋めをしておく(30分)。		
4) 社会教育主事としての幅広い視野と社会的関心を持ち、専門的内容の理解を図る。			11 前半、事業の構成要素、学習の方法・形態を具体的に紹介し、後半、2～3人の小グループで問題解決型の個別事業計画を立案する。地域の問題の本質を探り、文章にする。 予復修課題：自治体の事業計画から興味・関心あるテーマの学習プログラムを調べる(60分)。			
成績評価の方法			履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)			「社会教育主事」任用資格取得希望者で、授業「生涯学習と社会教育」の受講修了者が望ましい。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価			ミニッツ・ペーパー・課題レポートだけでなく授業中の発言、討論への積極的な参加・発言を希望します。			
1. 小テスト、感想文など 20 %			アクティブ・ラーニング ミニッツ・ペーパー [第2,4,5,6,7回] グループワーク [第11回～第14回] プレゼンテーション [第14,15回]			
2. 中間テスト %						
3. 課題レポートなどの提出物 30 %						
4. 授業中の発表、討論 10 %						
5. 授業への参加意欲 20 %						
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価			12 前週に引き続き、個別事業計画の立案を続ける。地域の問題を解決するヒント事例を探しその事例を複数の視点に沿ってまとめ、理解を深める。 予復修課題：教科書第9～10章を読んでおく。関心のあるテーマを絞り込んでおく(30分)。			
1. まとめのテスト %			13 学習プログラムの編成：2～3人のグループで、KJ法を用いながら、ヒント事例を地域の实情にあったものにアイデアを発展させ、その後、プログラムとして文字化していく。 予復修課題：個別事業計画プログラムを仕上げておく(60～90分)。			
2. 論文、まとめのレポートなど 20 %			14 学習プログラムの編成：作成した個別事業計画プログラムを2つのグループ間で発表し相互フィードバックを行う。その結果及び教員の指摘を元に最終仕上げをする。 予復修課題：個別事業計画プログラムの最終仕上げをし、最終発表の準備をしておく(30分)。			
3. %			15 先週選ばれた事業計画書を全員の前でプレゼンテーションし、示された指標に沿って評価を行い、成果と課題を確認する。その後、講評を行い、各自最終修正案を作成する。 予復修課題：グループごとに最終発表準備しておく(30分)。			
再評価の実施	する	しない				
教科書	山本恒夫・浅井経子・山本和人編「社会教育計画」文憲堂、2007年					
参考書						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会教育施設の経営 Management of Social Educational Institutions		単位数	授業内容*			
担当者		山田 明 (YAMADA Akira)		2	1 ガイダンス、「社会教育施設の必要性」 社会教育の基本的な性格とその活動基盤である社会教育施設を概観する。 予復修課題：シラバスを熟読し内容を理解する(予修)、講義後に内容を深める(復修)。			
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 「社会教育施設の必要性」 生涯学習時代における生涯学習の進展と社会教育施設へのニーズを検討する。 予復修課題：生涯学習の進展と社会教育施設を調べ、講義後に内容を深める。			
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(社会教育主事関連科目)	履修 学部	経済学部			
配当年次	3年生	開講学期	後期	学部	スポーツ学部			
授業概要	現代社会における急激な変化の中、今、社会教育施設の経営にはどのようなニーズがあり、そのニーズを満たす未来志向的な経営とは何かという課題が問われている。本授業では、生涯学習を支援する各社会教育施設の沿革、種類、期待される役割、さらに経営の課題等について、具体的な実践例を基にケーススタディも取り入れて実施する。							
	授業到達目標	(1)生涯学習を支援するツールとして、社会教育施設が必要であることを理解できる。 (2)多様な社会教育施設の経営を学ぶことで、自らの生涯学習の振興に寄与できる。 (3)社会教育施設で実施されている教育方法を具体的に学ぶことで、日常的な教育活動や他者との関係づくりに役立てることができる。 (4)社会教育施設経営のマネジメントを、一般的な経営活動にも生かすことができる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)								
1)生涯学習および社会教育の本質や学習者の特性・教育相互の連携についての理解を図る。		8 「指定管理者制度」 社会教育施設の経営の多様化と指定管理者制度位の関係性を検討する。 予復修課題：指定管理者制度を調べ、講義後に内容を深める。						
2)社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。		9 「社会教育施設の社会教育主事」 社会教育主事に求められるプログラム作成能力及び養成について検討する。 予復修課題：社会教育主事に求められる能力について調べ、講義後に内容を深める。						
3)専門的な知識と実践的な能力向上および学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。		10 「社会教育施設による広報活動」 社会教育プログラムを効果的に周知するための広報戦略について検討する。 予復修課題：社会教育施設による広報活動について調べ、講義後に内容を深める。						
4)社会教育主事としての幅広い視野と社会的関心を持ち、専門的内容の理解を図る。		11 「青少年が抱える課題と青少年教育施設」 課題を抱えた青少年を支える青少年教育施設の在り方を検討する。 予復修課題：青少年教育施設について調べ、講義後に内容を深める。						
成績評価の方法		履修における留意事項						
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)		成績評価は、出席状況、授業中の課題提出、まとめのテストの総合評価とする。 本授業は、社会教育主事任用資格関連の科目であり、主体的な受講態度が望まれる。 各回の予修及び復修について予修(2時間)、復修(2時間)とする。						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		アクティブ・ラーニング 社会教育施設の経営における現代的な諸課題に関して、プレゼンテーションや討論を通じ内容を深めていく。 プレゼン【第15回】、討論【第1回～第12回】						
1. 小テスト、感想文など							%	
2. 中間テスト							%	
3. 課題レポートなどの提出物							20 %	
4. 授業中の発表、討論							%	
5. 授業への参加意欲							30 %	
6. 自主的学習(予習・復習など)							%	
7.		%						
2) 最終到達度の評価		50 %		12 「生涯スポーツと体育・スポーツ施設の役割」 すべての世代が楽しむことができるスポーツ施設の在り方を検討する。 予復修課題：生涯スポーツと体育・スポーツ施設について調べ、講義後に内容を深める。				
1. まとめテスト		%		13 「ワークショップ」 本授業で興味を持ったテーマについて、レポートにまとめプレゼンの準備をする。 予復修課題：レポート・プレゼンの準備(予修)、演習後内容を深める(復修)。				
2. 論文、まとめレポートなど		%		14 「ワークショップ」 本授業で興味を持ったテーマについて、レポートにまとめプレゼンの準備をする。 予復修課題：レポート・プレゼンの準備(予修)、演習後内容を深める(復修)。				
3.		%		15 総括とまとめのテスト レポートのプレゼン(代表者)、レポートの提出(全員)、まとめのテスト。 予復修課題：レポート・プレゼンの完成(予修)、まとめのテスト後内容を深める(復修)。				
再評価の実施	する	しない						
教科書	適宜、資料を配布する。							
参考書	改訂『社会教育法解説』(井内慶次郎ほか)、財団法人 全日本社会教育連合会							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会教育実習 Practical Training of Social Education		単位数	授業内容*	
担当者		山田 明 (YAMADA Akira)		2	1 事前研修 ～社会教育実習の説明・留意事項・心構え等のガイダンス及び履歴書作成～ 予復修課題： シラバスを確認し、社会教育実習内容を調べ(予修2時間)、研修後留意事項を確認する(復修2時間)。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		専任	2 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。	
授業形式	実習	科目区分	自由選択科目(社会教育主事関連科目)	履修 学部	経済学部	3 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
配当年次	3-4年生	開講学期	後期集中		スポーツ学部	4 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
授業概要	講義・演習で学んだ知識を社会教育の現場で理解を深めるとともに、学習活動に参加することにより、教室では得ることのできない体験の機会を持つことがねらいである。 実習先は、教育委員会、自治体及び民間の社会教育施設等とし実習期間は、2週間(80時間)とする。					5 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
	地域の人々とコミュニケーションを図ることができる。 履歴書・エントリーシート等実習先への提出に必要な書類を作成できる。 実習を希望する施設と交渉し、承諾を取ることができる。 実習先の指示に従いながら現場で実習することができる。 実習日誌を通して自分の体験したことを文章にまとめ、報告することができる。 実習内容をプレゼンテーションすることができる。					6 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					7 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
	1) 生涯学習および社会教育の本質や学習者の特性・教育相互の連携についての理解を図る。					8 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
	2) 社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。					9 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
	3) 専門的な知識と実践的な能力向上および学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。					10 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
4) 社会教育主事としての幅広い視野と社会的関心を持ち、専門的内容の理解を図る。					11 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。	
成績評価の方法			履修における留意事項			12 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)			自治体等の施設での2週間の実習とする。 事前指導、現場実習、事後指導を必須とする。			13 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
1) 授業到達目標への到達努力の評価						14 実習先(社会教育関連機関)での実習 予復修課題： 翌日の実習準備(予修2時間)、実習日誌の作成及び明日の準備(復修2時間)。
1. 小テスト、感想文など			%			15 事後研修 予復修課題： 活動報告・実習レポート作成、プレゼン準備(予修2時間)、総括し振り返る(復修2時間)。
2. 中間テスト			%			
3. 課題レポートなどの提出物			20 %			
4. 授業中の発表、討論			%			
5. 授業への参加意欲			30 %			
6. 自主的学習(予習・復習など)			%			
7.			%			
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト			%			
2. 論文、まとめのレポートなど			50 %			
3.			%			
再評価の実施	する	しない		【すべての回で実施】		
教科書	教科書は使用せず、適宜、参考資料を配布する。					
参考書						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会教育演習 Seminar on Social Education		単位数	授業内容*	
担当者		山田 明 (YAMADA Akira)		2	1 授業ガイダンス・授業ルール確認・演習の概要・グループ編成・役割分担の確認等 予復修課題： シラバスの確認、社会教育主事の職務を調べ(予修2時間)、演習後内容を深める(復修2時間)。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		専任	2 演習モデル市町村の設定 ~各自がモデルとして関わる市町村を決定~ 予復修課題： モデルとしたい市町村を調べ(予修2時間)、演習後決定したモデル市町村の資料収集をする(復修2時)。	
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(社会教育主事関連科目)	履修 学部	経済学部	3 モデル市町村の概要把握 予復修課題： モデルとする市町村の概要を調べ(予修2時間)、演習後確認・補足する(復修2時間)。
配当年次	4年生	開講学期	前期	スポーツ学部		4 モデル市町村の現行施策等の現状分析及び把握 予復修課題： モデル市町村の施策等の現状を調べ(予修2時間)、演習後確認・補足する(復修2時間)。
授業概要	社会教育主事任用資格単位取得科目である。我が国の市町村段階における概要把握方法、市町村の資料を収集し、年間事業計画・個別事業計画等の企画立案をする。 演習を通して、社会教育の現場を把握する手順・手法を学び、社会教育主事としての現場力・実践力を身に付けることを目標とする。					
	社会教育主事に必要な現場実践力を身に付けることができる。 市町村の概要を把握し、必要な資料収集ができる。 収集した資料に基づき、年間計画を立てることができる。 個別事業計画を立てることができる。 社会教育事業のPRのため、事業のチラシ(パンフレット)が作成できる。					
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
	1) 生涯学習および社会教育の本質や学習者の特性・教育相互の連携についての理解を図る。 2) 社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。 3) 専門的な知識と実践的な能力向上および学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。 4) 社会教育主事としての幅広い視野と社会的関心を持ち、専門的内容の理解を図る。					
成績評価の方法			履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)			社会教育主事任用資格取得の必須科目であり、社会教育主事関連科目の総括の科目でもある。よって関連科目の「生涯学習と社会教育」・「社会教育の指導者」・「社会教育施設の経営」・「社会教育計画の立案」を履修していることを受講の前提とする。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価			10 予復修課題： 個別事業計画に活用する資料を調べ(予修2時間)、演習後確認・補足する(復修2時間)。			
1. 小テスト、感想文など %			11 各自のモデル市町村の個別事業計画の作成 予復修課題： 個別事業計画に活用する資料を調べ(予修2時間)、演習後確認・補足する(復修2時間)。			
2. 中間テスト %			12 各自のモデル市町村の個別事業計画の作成 ~スポーツ事業・イベントプログラム~ 予復修課題： 個別事業計画に活用する資料を調べ(予修2時間)、演習後確認・補足する(復修2時間)。			
3. 課題レポートなどの提出物 50 %			13 スポーツ事業計画の評価票の作成 予復修課題： 評価票を作成するための資料を調べ(予修2時間)、演習後確認・補足する(復修2時間)。			
4. 授業中の発表、討論 20 %			14 スポーツ事業計画におけるPRチラシの作成 予復修課題： チラシの作成のための準備(予修2時間)、演習後手直しをして完成させる(復修2時間)。			
5. 授業への参加意欲 30 %			15 演習課題の報告と提出(評価) モデル市町村の現状診断、年間事業計画、個別事業計画、評価票、PRチラシ等の提出 予復修課題： 提出物の最終確認(予修2時間)、本演習を総括し振り返る(復修2時間)。			
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト %			モデル市町村における社会教育計画の立案過程で、現状診断やその解決への処方箋を考へることで、社会教育の本質を理解する。 【すべての回で実施】			
2. 論文、まとめのレポートなど %						
3. %						
再評価の実施	する	しない				
教科書	教科書は使用せず、適宜、参考資料を配布する。					
参考書						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教育史 History of Education		単位数	授業内容*	
担当者		草野 舞 (KUSANO Mai)		2	1 オリエンテーション 本講義全体の概要や今後の授業計画等について説明を行う。 予復修課題：講義中の不明な用語等について調べる。	
教員の免許状取得のための選択科目		科目	教育の基礎理論に関する科目			2 近代以前の生活世界と子ども 近代以前の人々の生活やそこでの成長のプロセスについて理解を深める。 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTを活用し、授業の予復修を40分程度行うこと。
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				
授業形式	講義	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	経済学部	
配当年次	3年生	開講学期	前期	・学科	経済・経営学科	
授業概要	「子どもは保護されるべき存在である」「親は子どもを育てるべきである」「子どもは学校に通うべきである」ということを「当たり前」と考える人は多いでしょう。しかし、そのような「子どもの保護」や「子育て」、「学校」の仕組みはいつから・どのような理由で始まったのでしょうか。本講義では、学校の成立やイギリスを中心とした児童保護策の展開・それに関連する法制度などについて解説を行っていきます。					
	教育をめぐるこれまでの法制度やそこでの子ども・家族の考えられ方について説明できる。教育についての「当たり前」の元になっているものについて考えることができる。現代の「教育課題」とされる事象について、客観的に思考することができる。					
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
	1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。 2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。 3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。 4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。 5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。					
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	UNIVERSAL PASSPORTに関連資料を掲載します。授業の予復修を約1時間おこなうとより一層理解が深まります。			
1. 小テスト、感想文など		15 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		10 %				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		5 %				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		60 %	・グループワーク(第4回、第5回など)			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	・ミニツッパパー(第1回~第12回)			
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書	P.アリエス(1980)『<子供>の誕生』みすず書房、H.カニンガム(2013)『概説 子ども観の社会史』新曜社					
15		これまでの講義の総括と、講義全体をふまえたまとめのテストを行う。 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTを活用し、授業の予復修を40分程度行うこと。				
3		ルソーが『エミール』で述べた教育(子育て)のあり方について理解を深める。 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTを活用し、授業の予復修を40分程度行うこと。				
4		「子ども」は存在しなかった? 『<子供>の誕生』のインパクトとは 中世~現代にかけての子ども観の変遷について理解を深める。 予復修課題：授業で扱った教材以外にも、子ども観の変遷をたどる手がかりになりそうなもの考えること。				
5		近代学校の成立 学校はいつごろ成立し、どのような形式をたどってきたのかについて理解を深める。 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTを活用し、授業の予復修を40分程度行うこと。				
6		学校のメカニズム 学校の中での「訓練」や学校システムによる「規律」について理解を深める。 予復修課題：現在の学校のメカニズムについて、自身の経験を振り返って考えたことをノートにまとめること。				
7		子どもの保護と教育の展開 労働から教育へ 児童労働問題の展開 イギリスにおいて児童労働問題が注目され、その解決が目指されるプロセスを整理する。 予復修課題：講義中の不明な用語等について調べ、ノートにまとめること。				
8		子どもの保護と教育の展開 19世紀の児童保護立法とその特徴 19世紀のイギリスで「子どもの保護」に関する政策が展開していくプロセスを整理する。 予復修課題：講義中の不明な用語等について調べ、ノートにまとめること。				
9		子どもの保護と教育の展開 イギリス児童虐待防止法にみる「家屋」のあり方 「子どもを虐待してはいけない」ということが「当たり前」になる契機を理解する。 予復修課題：講義中の不明な用語等について調べ、ノートにまとめること。				
10		子どもの保護と教育の展開 優生学の誕生 「健康な子ども」の重要性が主張され理解されていくプロセスについて理解を深める。 予復修課題：身の回りに存在する「優生思想」を探し、ノートにまとめること。				
11		子どもの保護と教育の展開 学校給食の成立 学校給食が成立するときの議論の内容やその展開について理解を深める。 予復修課題：講義中の不明な用語等について調べ、ノートにまとめること。				
12		子どもの保護と教育の展開 健康診断の成立 学校での健康診断が始まるきっかけについて理解を深める。 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTを活用し、授業の予復修を40分程度行うこと。				
13		『オリバー・ツイスト』にみる19世紀イギリスの社会福祉 映画『オリバー・ツイスト』の内容を踏まえ、当時の子どもたちの状況を理解する。 予復修課題：『オリバー・ツイスト』の展開や登場人物、これまでのあらすじについて整理を行うこと。				
14		『オリバー・ツイスト』にみる19世紀イギリスの社会福祉 映画『オリバー・ツイスト』の内容を踏まえ、当時のイギリス社会福祉を考える。 予復修課題：『オリバー・ツイスト』の内容やイギリス救貧法との関連について整理を行うこと。				
15		まとめのテスト、講義の総括 これまでの講義の総括と、講義全体をふまえたまとめのテストを行う。 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTを活用し、授業の予復修を40分程度行うこと。				

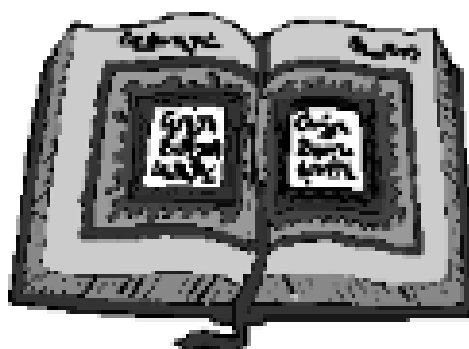
* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教職発展ゼミナール Advanced Seminar in Teaching Profession			単位数	授業内容*				
担当者	重枝 武司 (SHIGEEDA Takeshi)			2	専任				
実務経験のある教員による授業	ナンパリング								
授業形式	演習	科目区分	自由選択科目(教職課程関連科目)	履修学部	経済学部				
配当年次	3-4年生	開講学期	前期/後期	・学科	経済・経営学科				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場が抱える諸問題については、いじめ、不登校、体罰、学級崩壊など様々な教育課題が指摘されている。そのような中、これからの教師には何が求められているのだろうか。教育現場での実務経験を活かし、本授業において、学生が実際に学校現場での実習を通し、現在の子どもたちの状況を体験的に学ぶとともに現役教師の指導を観察・補助し、教師としての資質と能力を高めることを目指す。 ・学校現場での体験(授業・給食指導・クラス運営等に係る先生方の補助)が中心になるため学生には、自己管理とともに教師になるための高い意識と自己研鑽の態度での受講を求める。 								
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な視野で学校現場における教職員の業務や取組について把握・説明できる。 ・学校現場が抱える課題について体験的に理解し、その指導や対応について説明できる。 ・先生方の指導の下、児童との関わりをとおして、教育の魅力(喜びや難しさ)を体感する。 ・問題意識をもって実習に取り組み、個に応じた対応を自ら考え実践できる。 ・児童や教職員などとの、TPOに応じた適切なコミュニケーションができる。 ・自分の意見や考えをまとめ、それらを分かりやすくプレゼンすることができる。 								
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な視野で学校現場における教職員の業務や取組について把握・説明できる。 ・学校現場が抱える課題について体験的に理解し、その指導や対応について説明できる。 ・先生方の指導の下、児童との関わりをとおして、教育の魅力(喜びや難しさ)を体感する。 ・問題意識をもって実習に取り組み、個に応じた対応を自ら考え実践できる。 ・児童や教職員などとの、TPOに応じた適切なコミュニケーションができる。 ・自分の意見や考えをまとめ、それらを分かりやすくプレゼンすることができる。 								
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な視野で学校現場における教職員の業務や取組について把握・説明できる。 ・学校現場が抱える課題について体験的に理解し、その指導や対応について説明できる。 ・先生方の指導の下、児童との関わりをとおして、教育の魅力(喜びや難しさ)を体感する。 ・問題意識をもって実習に取り組み、個に応じた対応を自ら考え実践できる。 ・児童や教職員などとの、TPOに応じた適切なコミュニケーションができる。 ・自分の意見や考えをまとめ、それらを分かりやすくプレゼンすることができる。 								
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)									
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。									
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。									
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。									
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。									
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。									
成績評価の方法				履修における留意事項					
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。				<ul style="list-style-type: none"> ・実際には、近隣の指定の小中学校で、週1日(原則、定例の曜日、終日)で実習を行います。 ・教職員の方々や児童とともに活動を行いますので安全の確保に努めるとともに教員になる意識を十分に持って自己研鑽に努めてください。 ・大学での授業では、意見交換を重視します。 ・小中学校での活動時はもちろんのこと、自身の登下校中も安全の確保に十分努めてください。 					
1) 授業到達目標への到達努力の評価				<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション[第1、2、3回] ・体験活動[第4~7、9~14回] ・プレゼンテーション[第8回、15回] 					
1. 小テスト、感想文など									
2. 中間テスト									
3. 課題レポートなどの提出物							20%		
4. 授業中の発表、討論							20%		
5. 授業への参加意欲							20%		
6. 自主的学習(予習・復習など)							20%		
7.				%					
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト				%					
2. 論文、まとめのレポートなど				20%					
3.				%					
再評価の実施	する	しない							
教科書	特定のテキストは用いず、必要に応じて資料を配布する。								
参考書									
1	ガイダンス 学校現場が抱える諸問題について 学校現場が取り組んでいる諸問題について解説するとともにディスカッションする。 予復修課題: 予:教師になる意味を考える(120分)復:学校の問題についてまとめる(120分)								
2	コンプライアンス 学校現場に入るための基礎知識(留意事項やマナー等を含む)を解説及び確認する。 予復修課題: 予:コンプライアンスについて考える(120分)復:学校現場の基礎知識についてまとめる(120分)								
3	配慮の必要な児童生徒への対応について 障がいのある児童生徒や不登校児童生徒への対応について解説しディスカッションする。 予復修課題: 予:特別な配慮について調べる(120分)復:特別な配慮についてまとめる(120分)								
4	学校現場での取り組み 実際に学校に出向き、児童生徒の様子を観察するとともに、今後の詳細を打合せする。 予復修課題: 予:児童の観察ポイントを考える(120分)復:児童を観察した結果をまとめる(120分)								
5	学校現場体験(1) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:自己紹介の練習をする(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
6	学校現場体験(2) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
7	学校現場体験(3) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
8	学校現場での体験 中間まとめ 学校現場体験をまとめ、それぞれ発表する。適宜教員から助言を行う。 予復修課題: 予:これまでの活動内容をまとめる(120分)復:これからの活動プランを立てる(120分)								
9	学校現場体験(4) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
10	学校現場体験(5) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
11	学校現場体験(6) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
12	学校現場体験(7) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
13	教職員ミーティング 学校現場体験における学生の活動について学校側からフィードバックをいただく。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
14	学校現場体験(8) 実際に学校に出向き、教員の指示に従い授業の補助をする。 予復修課題: 予:今回の活動プランを立てる(120分)復:今日の活動内容をまとめる(120分)								
15	総括 これまでの活動を振り返り、それぞれ発表(プレゼンテーション)する。 予復修課題: 予:これまでの活動内容をまとめる(120分)復:総括で話し合った結果を振り返る(120分)。								

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

自由科目

自由科目の単位は卒業単位に含まれません。



シラバス一覧 H 《自由科目》

(要卒単位に含まれない科目)

経済・経営学科

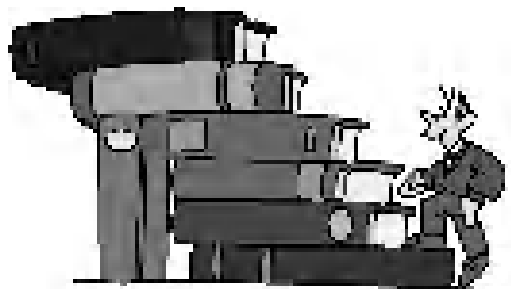
科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載 ページ
教科に関する専門教育科目	日本史	1	後	578
	西洋史	1	前	579
	東洋史	1	前	580
	自然地理学概論	2	前	581
	地誌学	3	前	582
	人文地理学概論	2	後	583
	法律学概論(国際法を含む。)	2	前	584
	哲学概論	2	前	585
	倫理学概論	2	後	586
	職業指導	3	前	587-588
	情報社会及び情報倫理	閉	講	
	情報と職業	閉	講	
	情報処理学	閉	講	

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載 ページ
教職に関する専門教育科目	教育課程論	2	後	589
	道德教育指導法	2	前	590
	教育方法論	3	前	591
	教育方法論(総合的な学習の時間の指導法を含む。)	3	前	
	特別活動指導法	2	後	592
	生徒・進路指導論	2	後	593
	教育相談	2	前	594
	商業科教育法	3	前	595-596
	社会科・地理歴史科教育法	3	前	597-598
	社会科・公民科教育法	3	後	599-600
	情報科教育法	閉	講	
	総合演習【2009年度入学生まで】	閉	講	
	教育実習	4	前集中	601
	教育実習	4	前集中	602
	事前事後指導	4	通年	603
教職実践演習(中・高)	4	後	604	

【2019年度以降入学生対象科目】

地域創造学科

科目区分・科目名		配当年次・学期		掲載 ページ
キャリアコンサルタント養成関連科目	キャリアコンサルティング	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング演習	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング演習	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング演習	3・4	集中	
	キャリアコンサルティング演習	3・4	集中	



授業科目名 (Subject)		日本史 Japanese History		単位数	授業内容*		
担当者		加藤 僚 (KATO Ryo)		2	1 ガイダンス 講義の進め方・受け方、評価方法、中学校・高等学校の日本史について 予復修課題： 中学校・高等学校の教科書を一通り目を通しておく。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EE00201	2 古代国家の特徴について 奈良時代から平安時代までの歴史を概観する。 予復修課題： 時代ごとの特徴をノートに整理しておく。		
授業形式	講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種 社会	高一種 地理歴史	3 中世国家の特徴について 鎌倉時代から室町時代までの歴史を概観する。 予復修課題： 荘園制についてノートに整理しておく。
配当年次	1年生	開講学期	後期				4 小テスト、近世国家(1) 17世紀までの江戸幕府の諸政策の特徴をおさえる。 予復修課題： 近世国家の特徴についてノートにまとめてくる。
授業概要	本講義では、中学校・高等学校の地歴科の教員免許を取得する上で、日本史の基礎知識および教授法を習得することを目標とする。 教育現場では、専門的な知識は勿論であるが、歴史の流れを生徒の目線でわかりやすく伝えていく能力が求められている。そのため、歴史の流れを政治・外交と経済との関連に留意しながら理解していくとともに、それを生徒に伝えていくための説明方法を受講者と共に学ぶ。						5 近世国家(2) 18世紀から19世紀までの江戸幕府及び諸藩の諸政策の特徴をおさえる。 予復修課題： ノートを見直しておくこと。
	授業到達目標 日本史の基本的な用語・知識を理解し、習得する。 時代区分の考え方を理解し、原始から現代の各時代の特徴を説明できるようになる。 日本史の基本的な用語を中学生・高校生に説明できるようになる。 日本史が国際的な環境の変化に影響をうけながらなりたっていることを理解する。						6 近代国家の幕開け ペリー来航が江戸幕府の政治・経済・社会に与えた影響を学ぶ。 予復修課題： ペリー来航の歴史的意義をノートにまとめておく。
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法				履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。				授業には集中して取り組み、疑問点などをノートに記録しておくこと。 小テストの内容は復修しておくこと。 予復修取組時間：1時間程度			
1) 授業到達目標への到達努力の評価				アクティブ・ラーニング 調査学習 小テスト(4回、7回、10回)			
1. 小テスト、感想文など		30 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		20 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7. %							
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		20 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
				15 復修のポイントの解説とまとめテスト 予復修課題： ノートおよび配布資料を見直しておくこと。			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		西洋史 Western History		単位数	授業内容*	
担当者		高津 智子 (TAKATSU Tomoko)		2	1 オリエンテーション：講義の目的と進め方、成績評価についての説明 予復修課題： 配付する参考文献リストの中から本を読む。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EE00101	2 「西洋史」とは何か？ 予復修課題： 配付する参考文献リストの中から本を読む。	
授業形式	講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種 社会	高一種 地理歴史
配当年次	1年生	開講学期	前期			
授業概要	なぜ外国の歴史を学ぶ必要があるのでしょうか？本講義では歴史教育の必要性や歴史認識問題に焦点を当てながら、地歴の教員に必須の西欧現代史に関する基礎知識の習得を目的としています。本講義を通じて近現代の世界の成り立ちを理解し、どのような過去から現代社会が成り立っているのかを理解できるようになりましょう。					
	授業到達目標 西欧現代史の基礎的な知識を習得する。 過去と現在との連続性・非連続性の視点から、今日の社会や国際関係がどのような歴史の積み重ねによって成り立っているのかを理解し、客観的に説明できる。 歴史教育の必要性や歴史認識の社会的重要性を理解できる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法		履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		高校までの世界史の学習内容に不安がある場合は、教科書を再読するなど各自で基礎知識を得ておくこと。予復修取組時間は毎回1時間程度とする				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		毎回講義終了時に講義の内容の要約とそれに対するコメントを記入して提出するミニッツペーパーと、映像鑑賞に関する感想文が成績評価の一部となる(50点)。				
1. 小テスト、感想文など		50 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		50 %				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	教科書は使用しない					
参考書	講義の際に毎回参考文献リストを配布する					
		10 冷戦 冷戦のはじまり 予復修課題： 配付する参考文献リストの中から本を読む。				
		11 冷戦 アメリカにおけるマッカーシズム 予復修課題： 配付する参考文献リストの中から本を読む。				
		12 冷戦 東西プロバガンダ合戦 予復修課題： 配付する参考文献リストの中から本を読む。				
		13 20世紀における文化と政治 ロック音楽 予復修課題： 配付する参考文献リストの中から本を読む。				
		14 20世紀における文化と政治 若者文化と1968年 予復修課題： まとめのテストに向けて復修する。				
		15 まとめのテストの実施とその解説 予復修課題： これまでの講義内容の総括を各自で行うこと。				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		東洋史 Oriental History		単位数	授業内容*		
担当者		大和 裕美子 (YAMATO Yumiko)		2	1 ガイダンス 講義の進め方、予修・復修のしかた、評価方法、提出物等について説明。 予復修課題： シラバスを読み、高校までに学んだ内容を振り返っておく(予復修の目安時間:2時間)		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		専任	2 古代・中世の朝鮮半島 古朝鮮、高句麗建国、三国時代、統一新羅、後三国時代、高麗建国、高麗の文化 予復修課題： 古代・中世の朝鮮王朝について調べる(予復修の目安時間:2時間)		
授業形式	講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種	高一種	
配当年次	1年生	開講学期	前期		社会	地理歴史	
授業概要	本講義では古代から現代に至る朝鮮(韓)半島の歴史を中心に東アジアの歴史に関する知識を習得しながら、歴史的なものの見方・考え方を養い、一國史的な歴史観ではなく、東アジアを含めた世界的な視野・枠組みで歴史を考える力を身につけることを目標とする。 前半では古代から近世までの朝鮮半島の歴史と文化について、後半では近現代に焦点を当て、冷戦構造の中の朝鮮半島、開発独裁体制における経済発展と人びとの暮らしを学び、人権問題やいまもなお残る日韓における問題について考える。						3 中世・近世の朝鮮半島 高麗の滅亡と朝鮮王朝の建国 予復修課題： 朝鮮王朝の建国について調べる(予復修の目安時間:2時間)
	授業到達目標	1)朝鮮半島の歴史の知識を深めることができる。 2)世界的な視野・枠組みで歴史を考える力を身につけることができる。 3)現在の自己と社会に対する主体的な視点を持つことができる 4)自己の考えを文章で表現することができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)				5 近世の朝鮮半島(2) 訓民正音(ハングル)、春香伝とパンソリ 予復修課題： ハングル、春香伝とパンソリについて調べる(予復修の目安時間:2時間)			
1)免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。				6 近世の朝鮮半島(3) 朝鮮出兵(壬辰倭乱)と朝鮮陶工、朝鮮通信使 予復修課題： 沈壽官について調べる(予復修の目安時間:2時間)			
2)教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。				7 近現代の朝鮮半島(1) 朝鮮王朝の滅亡と日本統治時代 予復修課題： 朝鮮王朝の滅亡と日本統治時代について調べる(予復修の目安時間:2時間)			
3)免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。				8 近現代の朝鮮半島(2) 大韓民国の樹立 予復修課題： 大韓民国樹立に関わった人物について調べる(予復修の目安時間:2時間)			
4)生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。				9 近現代の朝鮮半島(3) 朝鮮戦争の勃発 予復修課題： 朝鮮戦争について調べる(予復修の目安時間:2時間)			
5)教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。				10 近現代の朝鮮半島(4) 朝鮮戦争の停戦と南北分断 予復修課題： 南北分断について調べる(予復修の目安時間:2時間)			
成績評価の方法		履修における留意事項					
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		1)予修・復修を行ない、積極的に授業に参加すること。授業中に予修・復修のための資料や方法について指示する。					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		2)授業では、適宜映像を視聴し理解を深める。					
1. 小テスト、感想文など		3)ミニッツペーパーを提出する。					
2. 中間テスト							
3. 課題レポートなどの提出物							
4. 授業中の発表、討論							
5. 授業への参加意欲		40 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		1)予修・復修テスト(2~14回)					
2. 論文、まとめのレポートなど		2)ミニッツペーパー(7,14回)					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	とくに指定しない。レジュメを配布する。						
参考書	李鐘元他『戦後日韓関係史』有斐閣、2017年。木村幹『日韓歴史認識問題とは何か』ミネルヴァ書房、2014年。						
				15 まとめのテスト、解説 予復修課題： 講義内容全体を振り返る(予復修の目安時間:2時間)			

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		自然地理学概論 Physical Geography		単位数	授業内容*	
担当者		黒田 圭介 (KURODA Keisuke)		2	1 講義の説明 ケッペンの気候区分とは 予復修課題： 特に無し	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 ケッペンの気候記号を理解する 予復修課題： ケッペンの気候記号を覚える	
授業形式		講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種 高一種
配当年次		2年生	開講学期	前期	区分	社会 地理歴史
授業概要	本講義では、中学校社会科、高校地理における自然地理のテーマを一通り学ぶことで、社会科教員として持っているべき知識、技術を修得することを目標とする。自然地理は理系の内容を含むことが多いので、文系の学生諸君には敬遠されがちであるが、地理学を学ぶ上で地球上の諸自然現象を理解しておくことは必須であろう。そこで本講義では、難しい内容でも平易かつ理解しやすいように講義を進めて行くことを心がける。本講義では、高校地理Bの教科書における自然地理学的内容のうち、主に地形と気候を中心に取り上げる。					
	授業の到達目標 様々な地図(地形図等)を正しく読める。 地形の形成を総合的に解釈できる。 人為的・自然的な環境変化について理解できる。 ある事象について地理学的な視点を持って調査・解析・考察し、報告できる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法		履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		* 正当な欠席については、欠席届を出すこと。 * 毎時必ず教科書を持参すること * 講義終了後、次回内容について伝えるので、30分程度予修すること。分からない用語は図書館やインターネットで調べておくことと理解が進むので積極的に取り組むこと。				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		10 予復修課題： 世界地図を眺める				
1. 小テスト、感想文など 10 %		11 小地形1～沖積平野のでき方 予復修課題： 気候変動について理解する				
2. 中間テスト 10 %		12 小地形2～河岸段丘のでき方 予復修課題： 侵食基準面について理解する				
3. 課題レポートなどの提出物 10 %		13 大地形1～プレートテクトニクス 予復修課題： プレート境界の種類を理解する				
4. 授業中の発表、討論 10 %		14 大地形2～安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯の分布 予復修課題： 環太平洋造山帯とアルプス＝ヒマラヤ造山帯を理解する				
5. 授業への参加意欲 10 %		15 小地形3～侵食平野のでき方 予復修課題： バリ盆地について理解する				
6. 自主的学習(予習・復習など) 10 %						
7. %						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト %		調査学習〔第2回、第6回〕				
2. 論文、まとめのレポートなど 40 %		小テスト〔第10回〕				
3. %		ミニツッパーパー〔第15回〕				
再評価の実施		する しない				
教科書		二宮書店編集部 『基本白地図』二宮書店 発行日：2013年5月1日				
参考書		特に無し				

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	地誌学 Regional Geography		単位数	授業内容*	
担当者	黒田 圭介(KURODA Keisuke)		2	1	講義説明, レジメ配布, 地誌学とはどのような学問なのか 予復修課題: 講義中に指示する
実務経験のある教員による授業	ナンパリング		EE00203	2	高校地理における地誌学の内容概観 予復修課題: レジメを読む。初めて聞く用語は調べておく。
授業形式	講義	科目区分	教科に関する科目	免許区分	中一種 高一種
配当年次	3年生	開講学期	前期		社会 地理歴史
授業概要	本講義では、中学校社会科、高校地理における地誌学のテーマを学ぶことで、社会科教員として持っていかねばならないべき知識、技術を修得することを目標とする。地理学は地球上のあらゆるものを俯瞰する学問で、様々な分野の内容を包括しながら考える必要がある。そのため、地理学を学ぶということは、諸現象を多方向・角度から見ることができる目、すなわち「地理学的な視点」を養成することに意義がある。本講義では世界地誌の内容を例として、「地理学的な視点を修得」することを目標テーマとする。				
	授業の到達目標 高校地理A・Bの教科書における世界地誌の内容を理解し説明できる。 人間活動と自然環境の関連性を理解し、説明できる。 様々な地域の文化を多角的に俯瞰できる地理学的な視点を身につける。				
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。					
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。					
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。					
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。					
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。					
成績評価の方法			履修における留意事項		
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			* 正当な欠席については、欠席届を出すこと。 * まとめレポートのほかに、 講義中に小レポート課題を課す。 * 毎回教科書を必ず持参すること。 * 講義終了後、次回内容について伝える ので、30分程度予修すること。分からない 用語は図書館やインターネットで調べて おく理解が進むので積極的に取り組むこと。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価					
1. 小テスト、感想文など 10 %					
2. 中間テスト 10 %					
3. 課題レポートなどの提出物 30 %					
4. 授業中の発表、討論 10 %					
5. 授業への参加意欲 10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など) 10 %					
7. %					
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング		
1. まとめのテスト %			調査学習〔第4回, 第6回, 第12回〕		
2. 論文、まとめのレポートなど 20 %			小テスト〔第8回〕		
3. %			ミニッツペーパー〔第15回〕		
再評価の実施	する	しない			
教科書	なし。レジメを配布する。				
参考書	特に無し				
				8	中間テスト 予復修課題: 講義中に指示する
				9	ロシア地誌1～自然環境と人々の生活 予復修課題: ロシアの大地をgoogle mapで確認する
				10	ロシア地誌2～鉱産資源 予復修課題: ロシアにおける主な鉱産資源の統計を理解する
				11	ブラジルコーヒー～ブラジルの産業変化 予復修課題: レジメを読む。初めて聞く用語は調べておく。
				12	大韓民国2～日本との相違点 予復修課題: レジメを読む。初めて聞く用語は調べておく。
				13	ポルトガルの地誌学～特に農業と観光を中心に 予復修課題: ポルトガル南北における農地の違いをgoogle mapで確認する
				14	イギリスの自然環境と大ロンドン計画 予復修課題: 日本とイギリスのニュータウンをgoogle mapで確認する
				15	まとめ、予備日 予復修課題: 今までの授業を復修する

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		人文地理学概論 Human Geogrpahy		単位数	授業内容*															
担当者		近藤 祐磨 (KONDOH Yuma)		2	1 オリエンテーション 地理学とは何か この講義の趣旨を知り、高校までの地理と地理学との違いを理解する。 予復修課題： 学問としての地理学に関する図書を読む。															
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00103	2 地図から見える世界 1 地図の役割を知り、地図の有用性を具体的に理解する。 予復修課題： 身近な地図を探し、作成主体と目的、利点と欠点を整理する。															
授業形式	講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種	高一種														
配当年次	2年生	開講学期	後期	区分	社会	地理歴史														
授業概要	人間が地域や空間をどのようにとらえ、どのように利用してきたのかを解説する。とりわけ、都市や、農業・工業・商業といった産業を主軸として、地理学の基礎的な理論について身近な事例を用いながら解説する。さらに、教員独自の研究成果を活かして、地域教材を知的好奇心を刺激するような教材に昇華させ、地理学の奥深さを実感できるような実践の場も設ける。																			
授業到達目標	人文地理学的事象に関して、背景と仕組み、複数の学説を理解し、説明できるようになる。地図の読図能力を身につけ、自由自在に使いこなせるようになる。本講義以外の学びや日常生活において、地理学的な好奇心・行動力・考察力を発揮できるようになる。中学社会や高校地歴を教授する際の学問的背景を習得し、授業づくりに活かすことができるようになる。																			
授業が重視する教育目標【◎特に重視 ○重視】																				
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。				◎																
2) 教育の基礎理論（教育心理学、教育思想、教育制度等）に関する知識を習得する。																				
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。				○																
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。																				
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。																				
成績評価の方法		履修における留意事項																		
成績は以下の項目・基準で評価する（全体で100%）。		中学・高校での地理の得意・不得意は問いません。暗記科目のイメージをこの講義でなくしてください。講義では、多くの発問を行うので、ただ出席するだけでなく、頭を動かして考えてください。また、この講義はあらゆる回が相互に関連しているので、特に復修を重視します。「好奇心・行動力・考察力」の3つを大切にしてください。																		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		<table border="1"> <tr> <td>1. 小テスト、感想文など</td> <td>15 %</td> </tr> <tr> <td>2. 中間テスト</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポートなどの提出物</td> <td>20 %</td> </tr> <tr> <td>4. 授業中の発表、討論</td> <td>15 %</td> </tr> <tr> <td>5. 授業への参加意欲</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>6. 自主的学習(予習・復習など)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>%</td> </tr> </table>					1. 小テスト、感想文など	15 %	2. 中間テスト	%	3. 課題レポートなどの提出物	20 %	4. 授業中の発表、討論	15 %	5. 授業への参加意欲	%	6. 自主的学習(予習・復習など)	%	7.	%
1. 小テスト、感想文など	15 %																			
2. 中間テスト	%																			
3. 課題レポートなどの提出物	20 %																			
4. 授業中の発表、討論	15 %																			
5. 授業への参加意欲	%																			
6. 自主的学習(予習・復習など)	%																			
7.	%																			
2) 最終到達度の評価																				
1. まとめのテスト		50 %																		
2. 論文、まとめのレポートなど		%																		
3.		%																		
再評価の実施		する	しない	○																
教科書	指定しない																			
参考書	竹中克行編著『人文地理学への招待』ミネルヴァ書房、2015.																			
13 海岸マツ林の地理学 1		予復修課題： 日本国内の海岸マツ林の分布を調べ、その特徴を考察する。																		
14 マツ林の事例から地域の環境をめぐる複雑で多様な価値観の違いを整理する。		予復修課題： 多様な価値観の違いがみられる環境の例を探し、調べる。																		
15 講義の総括とまとめのテスト		予復修課題： これまでの学習内容を復修して臨むとともに、テストでできなかった点を各自復修する。																		

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)	法律学概論 (国際法を含む。)						単位数	授業内容*	
	Introduction to Jurisprudence						2	1	公法・私法・社会法について。法の分類と特徴。
担当者	大谷 美咲 (OTANI Misaki)						専任		予復修課題：ノートを中心として復修する。
実務経験のある教員による授業	ナンバリング						EE00104	2	新しい人権について。特にプライバシーの権利について。
授業形式	講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種	高一種		予復修課題：プライバシーの権利侵害が問題となる事例を調べる。	
配当年次	2年生	開講学期	前期		社会	公民		平等とは何か？	
授業概要	現代社会で生活を営んでいく上で必要とされる法律上の知識を習得し、さらに、教員として知っておくべき法的諸問題について取り上げ、各テーマについての解説を行う。自分の見解を論理的に説明できる力を身に付け、論理的思考力を養っていく。								
	憲法を中心として、重要論点に関し説明・解説できること。 教育現場で起こりうる法律問題について一通りの知識を習得し問題に対処できること。 様々な法律問題に対し、論理的に解決の道筋をたどっていく力、 論理的思考力を養成すること。								
授業到達目標	<p>1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。</p> <p>2) 教育の基礎理論 (教育心理学、教育思想、教育制度等) に関する知識を習得する。</p> <p>3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。</p> <p>4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。</p> <p>5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。</p>								
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)									
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。									
2) 教育の基礎理論 (教育心理学、教育思想、教育制度等) に関する知識を習得する。									
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。									
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。									
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。									
成績評価の方法					履修における留意事項				
成績は以下の項目・基準で評価する (全体で100%)。									
1) 授業到達目標への到達努力の評価			授業への積極的な参加が不可欠です。発言するためにも、予修は必要と なってきますので意識的に行うこと。						
1.	小テスト、感想文など	%	予修復修時間は、各回1時間程度とする						
2.	中間テスト	%							
3.	課題レポートなどの提出物	25 %							
4.	授業中の発表、討論	25 %							
5.	授業への参加意欲	25 %							
6.	自主的学習 (予習・復習など)	25 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング						
1.	まとめのテスト	%	討論・発表を行う。						
2.	論文、まとめのレポートなど	%	レジュメの作成・小論文の作成を行う。						
3.		%	ミニッツペーパー提出。						
再評価の実施	する	しない							
教科書	指定しない								
参考書	指定しない								
							10	生命倫理と法。 自己決定権と尊厳死 予復修課題：ノートを中心として復修する。	
							11	生命倫理と法。 生む・生まないは女性の自己決定権の問題か？ 出生前診断 予復修課題：ノートを中心として復修する。	
							12	課題レポートの作成 予復修課題：指定した判例を読み、わかりやすいレジュメを作り、提出する。	
							13	家庭生活と法。 婚姻は契約か？婚姻と離婚 予復修課題：ノートを中心として復修する。	
							14	家庭生活と法。 遺言と相続 予復修課題：有責配偶者からの裁判離婚が認められるかについて考えてみる。	
							15	労働と法。 労働基準法分野について 予復修課題：ノートを中心として復修する。	
							16	国際法と国内法。 国際社会の諸問題と国内法 予復修課題：ノートを中心として復修する。	
							17	まとめのテストおよび解説 予復修課題：指定したテーマについて各自自分の意見を展開できるようにすること。	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		哲学概論 Introduction to Philosophy		単位数	授業内容*	
担当者		野見山 待子(NOMIYAMA Machiko)		2	1 哲学とは何かについて理解する。 哲学とは何か？ 予復修課題：ギリシア神話について調べてみよう。	
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EE00105	2 紀元前6世紀ごろのギリシアにおける哲学の始まりを理解する。 ピラミッドの高さをどうやってはかるか？ 予復修課題：自筆の講義ノートの作成と整理(分からないところを調べたり、質問を考えたりも含め120分)	
授業形式	講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種 社会	高一種 公民
配当年次	2年生	開講学期	前期			
授業概要	英語のフィロソフィーの意味は元来「知を愛すること」、つまり物事を深く知ろうということである。本講義では、過去の哲学者が何について深く知ろうとしていたのかを学習する。そして、その学習を通して見えてくる各哲学者の抱く「なぜ」という問いを、現代に生きる私たち自らの問題として引き受け、深く考えることができる姿勢を獲得する。					
	第一に、各哲学者の思想が生まれた社会背景や、各思想の通史的関連と展開を理解し、それを自分の言葉で説明することができる。 第二に、各哲学者が使用する言葉を理解し、その言葉を使って世界を説明することができる。 第三に、各哲学者の「問い」を理解し、その問を現代に生きる自らの問題として引き受け、深く考えることができ、また、哲学の授業ができる力を身につけることができる。					
授業到達目標	授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)					
	1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。					
	2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。					
	3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。					
	4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。					
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法			履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。			自筆の講義ノートを作り上げること。 毎講義時にショートライティング(講義内容の振り返りなど)を提出すること。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価						
1. 小テスト、感想文など 30 %						
2. 中間テスト %						
3. 課題レポートなどの提出物 %						
4. 授業中の発表、討論 %						
5. 授業への参加意欲 10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など) %						
7. %						
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト 60 %			シンク・ペア・シェア(講義内容の質問に対し個人で考え回答した後、ペアもしくは少人数で議論し、さらにクラスで共有する)毎講義			
2. 論文、まとめのレポートなど %						
3. %						
再評価の実施	する	しない				
教科書	使用しない。					
参考書	授業中に適宜紹介する。					
						3 「知っている」ということと「信じている」ということは同じか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(120分)
						4 プラトンにおける「想起説」について理解する。 「完全な三角形」が描けるか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「想起」について)(120分)
						5 プラトンの現代思想への影響について理解する。 理性と感覚の関係は？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「二世界説」について)(120分)
						6 デカルトの「方法的懐疑」について理解する。 夢と現実をどう区別するか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「第一原理」について)(120分)
						7 デカルトの「合理論と数学的世界観」について理解する。 「人間はいずれ死ぬ。私は人間だ。私はいずれ死ぬ。」は正しいか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「主観/客観」について)(120分)
						8 ヒュームにおける「因果関係」について理解する。 なぜあなたは火が熱いと知っているのか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「心理的習慣」について)(120分)
						9 ヒュームにおける「経験論」について理解する。 過去の私は私か？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「理性の役割」について)(120分)
						10 「経験論と合理論の問題点」について理解する。 確かな知識は存在するのか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「懐疑と独断」について)(120分)
						11 カントにおける「コペルニクス的転回」について理解する。 人間と異星人は世界について同じ認識するのか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「立法する意志」について)(120分)
						12 カントにおける「知覚の世界」について理解する。 私たちは世界をあるがままに認識しているのか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「主観・客観」について)(120分)
						13 心の哲学における、還元主義について理解する。 心はどこにあるのか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「心とモノ」について)(120分)
						14 心の哲学における、「自由意志」の問題について理解する。 自由意志は存在するか？ 予復修課題：前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「人間は自由か？」について)(120分)
						15 講義の振り返りおよびまとめテストを実施する。 予復修課題：自筆の講義ノートの見直し(120分)

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		倫理学概論 Introduction to Ethics		単位数	授業内容*		
担当者		野見山 待子(NOMIYAMA Machiko)		2	1 倫理とは何かについて理解する。 なぜ人を傷つけてはならないのか？ 予復修課題： 事前に、なぜ「人を傷つけてはいけない」のか考えてみよう。		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		非常勤講師	2 事実を知ることによって「すべきこと」や「してはならないこと」が分かるのか考える。 事実を知ればすべきことが分かるのか？ 予復修課題： 自筆の講義ノートの作成と整理(分からないところを調べたり、質問を考えたりも含め120分)		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング		EE00204	3 「事実と価値」についてのヒュームの思想を理解する。 大人と子どもの線引きはどこですか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(120分)		
授業形式		講義	科目区分	教科に関する専門的事項	免許区分	中一種	高一種
配当年次		2年生	開講学期	後期	区分	社会	公民
授業概要		たとえば、「人を傷つけてはいけない」というけれど、私たちは「人を傷つけること」がなぜしてはならないことなのかを語ることができるだろうか。本講義では、従来倫理学が探求してきた「人間の生き方」についての思想を学習し、その知識を踏まえうえて現代を生きる私たち自身の「生き方」を見つける姿勢を獲得する。					
授業到達目標		第一に、各思想家が探求した「人間の生き方」について理解し、説明することができる。 第二に、各思想家が探求した「人間の生き方」を、自分たちの生き方の問題として引き受け、考えることができる。 第三に、現代社会における「生き方」の具体的諸問題を、習得した知識をもとに考えることができ、また、倫理学の授業ができる力を身につけることができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法				履修における留意事項			
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。				自筆の講義ノートを作り上げること。 毎講義時にショートライティング(講義内容の振り返りなど)を提出すること。			
1) 授業到達目標への到達努力の評価							
1. 小テスト、感想文など		30 %					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価							
1. まとめのテスト		60 %					
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施		する	しない				
教科書		使用しない。					
参考書		授業中に適宜紹介する。					
						10 外国人参政権について考える。 自分たちのことを自分たちが決めるとき、自分たちの中に外国人が含まれてもよいのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(予習)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「意志主義」について)(120分)	
						11 貧困にたいする責任の範囲について考える。 他人の貧困に私は責任があるのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「義務論と功利主義」について)(120分)	
						12 過去の歴史に対する責任の範囲について考える。 過去の世代のしたことの責任が今世代にあるのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「個人と全体」について)(120分)	
						13 未来の環境に対する責任の範囲について考える。 未来世代に対する今世代の責任はあるのか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「世代間倫理」について)(120分)	
						14 自由と責任について考える。 自己責任とはどういうものか？ 予復修課題： 前回の講義の確認(10分)、今回の講義ノートの作成と整理(特に「自己責任」について)(120分)	
						15 講義の振り返りおよびまとめテストを実施する。 予復修課題： 自筆の講義ノートの見直し(120分)	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業指導【前半15回分】 Vocational Guidance				単位数	授業内容*	
担当者		渡邊 和明 (WATANABE Kazuaki)				4	1 -オリエンテーション- 授業の目的と諸注意 予復修課題： シラバスを確認し、質問等を整理しておく	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング				EE00106	2 米国におけるF・パーソンズの取組みについて 予復修課題： 職業教育の歴史に関する文献講読	
授業形式	講義	科目区分	教科に関する科目	免許区分	高一種 商業	3 ドイツと日本における職業教育のモデル 予復修課題： ドイツのデュアルシステムに関する文献講読		
配当年次	3年生	開講学期	前期			4 ゲストスピーカー：私のキャリア形成 予復修課題： 質問項目等の準備		
授業概要	本講義の対象者は3年生ということで、みなさん自身が、就職や進路、もう少し広くキャリア形成について思い悩む時期ではないでしょうか。本講義では、職業指導の歴史的遷をとおして、その時代における課題について理解し、あらためて現代の職業指導の問題について検討します。また、グループワークをとおして、コミュニケーション力を高め、自分の考えを発信する能力を育む内容となっています。さらに、ゲストスピーカーとして企業人の方の講話を予定しています。						5 戦前・戦間期の職業指導の背景と目的 予復修課題： 1回から4回までの講義内容を確認・整理する	
	授業到達目標 ・職業指導の意義と目的を説明できるとともに、生徒の進路相談に対応する基本的な技術を身につけ、模擬授業において実践できる。 ・職業指導・キャリア教育の課題点についてレポートにて整理・記述でき、さらに、分かりやすく発表することができる。						6 職業指導から進路指導へ、さらにキャリア教育への展開 予復修課題： キャリア教育に関する文献講読	
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						7 専門高校における職業指導の現状と課題 予復修課題： 専門高校の職業教育の現状について整理しておく		
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						8 就職に関する採用企業と生徒の視点 予復修課題： いくつかの企業の経営方針・理念について調べておく		
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						9 模擬授業：なぜ学ぶの?(1) 予復修課題： 高校生の進路選択の目的等について調べておく 模擬授業の振り返り		
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						10 模擬授業：なぜ学ぶの?(2) 予復修課題： 模擬授業の準備と振り返り		
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						11 日本の就職システムの課題について 予復修課題： 日本の新卒一括採用システムについて調べておく		
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						12 職業指導・進路指導・キャリア教育における各自の問題意識について 予復修課題： 職業指導・進路指導・キャリア教育における各自の問題意識について整理しておく		
成績評価の方法						13 レポート発表と議論へ(1) 予復修課題： レポート作成と発表準備		
履修における留意事項						14 レポート発表と議論へ(2) 予復修課題： レポート作成と発表準備		
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。						15 レポート発表と議論へ(3) まとめ 予復修課題： レポート作成と発表準備及びこれまでの振り返り		
1) 授業到達目標への到達努力の評価								
1. 小テスト、感想文など %								
2. 中間テスト %								
3. 課題レポートなどの提出物 20 %								
4. 授業中の発表、討論 20 %								
5. 授業への参加意欲 %								
6. 自主的学習(予習・復習など) %								
2) 最終到達度の評価								
1. まとめのテスト %								
2. 論文、まとめのレポートなど 30 %								
3. 模擬授業 30 %								
再評価の実施								
する								
しない								
教科書 適宜、資料を配付します。								
参考書 適宜、紹介します。								

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		職業指導【後半15回分】 Vocational Guidance				単位数	授業内容*		
担当者		渡邊 和明 (WATANABE Kazuaki)				4	1 前期授業の振り返り 予復修課題： 前期授業での疑問点や質問事項を整理しておく		
実務経験のある教員による授業		ナンパリング				EE00106	2 職業指導・進路指導・キャリア教育とは? 予復修課題： 職業指導・進路指導・キャリア教育の定義について調べておく		
授業形式		講義	科目区分	教科に関する科目	免許区分	高一種 商業	3 理論的変遷の背景(1)-諸外国の変遷 予復修課題： 諸外国における職業教育について調べておく		
配当年次		3年生		開講学期	前期		4 理論的変遷の背景(2)-国内の理論的変遷の背景 予復修課題： 諸外国における職業教育について調べておく		
授業概要	職業指導【前半15回分】の授業を踏まえ、職業指導・進路指導・キャリア教育の理論的変遷とその実践について学びます。実践方法では、進路指導・キャリア教育の計画と面接指導について学びます。また、模擬授業をとおして進路指導・キャリア教育の方法論を身に着けるとともに、各自の問題意識を明らかにし、議論に繋げていきます。							5 キャリアプランニングと自己理解(1) 予復修課題： キャリア教育に関する資料の収集	
	授業到達目標 ・職業指導・進路指導・キャリア教育における理論的変遷と背景を理解し、現在の高等学校における進路指導・キャリア教育の授業計画書が作成できる。 ・目的に沿った模擬授業を実践できる。							6 キャリア教育の実践方法(1)-面接の実践 予復修課題： 就職面談での質問項目を整理し、対応について整理しておく	
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)								7 キャリア教育の実践方法(2)-面接の実践 予復修課題： 就職面談での質問項目を整理し、対応について整理しておく	
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。								8 キャリアプランニングと自己理解(2) 予復修課題： プランニングシートの完成	
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。								9 キャリア形成とインターンシップ 予復修課題： 高等学校におけるインターンシップ実践事例について調べておく	
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。								10 キャリア教育の実践方法(3)-年間計画 予復修課題： 高校のキャリア教育の実践について調べておく	
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。								11 社会保障と企業の役割 予復修課題： 企業における社会保障の役割について7、具体的に調べておく	
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。								12 企業におけるグローバル化の現状 予復修課題： 企業が抱える多様な課題について整理しておく	
成績評価の方法		履修における留意事項						13 模擬授業(1) 予復修課題： 模擬授業の準備	
成績は以下の項目・基準で評価する(全体で100%)。		議論への積極的な参加、建設的意見を期待します。また、レポート作成においては、図書館等を積極的に活用してください。(予復修取組時間：2時間程度)						14 模擬授業(2) 予復修課題： 模擬授業の準備	
1) 授業到達目標への到達努力の評価		キャリア教育の課題や問題点についての質問を皆さんに投げかけます。勿論、ひとつの正解があるわけではありません。積極的に議論に参加し、理解を深めてください。						15 模擬授業(3) まとめ 予復修課題： 模擬授業の準備、及び、これまでの振り返り	
1. 小テスト、感想文など								%	
2. 中間テスト								%	
3. 課題レポートなどの提出物								20 %	
4. 授業中の発表、討論								20 %	
5. 授業への参加意欲								%	
6. 自主的学習(予習・復習など)		%							
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング 模擬授業 [第13回～第15回]							
1. まとめのテスト		%							
2. 論文、まとめのレポートなど		30 %							
3. 模擬授業		30 %							
再評価の実施		する		しない					
教科書		適宜、資料を配付します。							
参考書		適宜、紹介します。							

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教育課程論 Curriculum Development		単位数	授業内容*		
担当者	木村 菜太 (KIMURA Kanta)		2	専任		
教員の免許状取得のための必修科目		科目	教育の基礎理論に関する科目			
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00205		
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	本講義は、教育職員免許法施行規則に規定する「教育課程及び指導法に関する科目」における「教育課程の意義及び編成の方法」に関する科目として開設している科目であり、教員免許状取得に必須の科目である。					
	本科目での学習内容は、教育課程とは何か、教育改革と教育課程の変遷過程、教育課程の編成・実施・評価である。					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の「教育課程」について説明し、計画を作成することができる。 ・自身の社会性を育むとともに、生徒の社会性を育むための活動を計画・実践できる。 ・学生間で協力して教育課程の作成、授業活動の実践ができる。 					
	<p style="text-align: center;">授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。 2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。 3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。 4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。 5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。 					
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合					
	1. 小テスト、感想文など	%				
	2. 中間テスト	%				
	3. 課題レポートなどの提出物	10 %				
	4. 授業中の発表、討論	10 %				
	5. 授業への参加意欲	%				
	6. 自主的学習(予習・復習など)	20 %				
7.	%					
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング					
	1. まとめのテスト	60 %				
	2. 論文、まとめのレポートなど	%				
	3.	%				
再評価の実施	する	しない				
教科書	九州大学大学院教育法制研究室『教育法規エッセンス』花書院、2018年(新訂版)					
参考書	「学習指導要領」(各年度版) 「学習指導要領解説 総則編」(2017年・2018年)					
1	教育課程とは何か 教育課程について解説する他、本科履修に当たり必要な知識を確認する。 予復修課題：(予修)自身が受けた小・中・高の教育経験を振り返る。(4時間)					
2	教育課程と教育法 教育の法体系を理解し、教育法と教育課程・学習指導要領の関係について学ぶ。 予復修課題：(復修)教育法と教育課程の関係を再確認する。(4時間)					
3	教育課程と学習指導要領 (昭和20年代) 学校で学ぶ教育内容はどのように変わってきているのか、変遷について学ぶ。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
4	教育課程と学習指導要領 (昭和30年代) 前時に引き続き、学習指導要領の変遷とその背景・学校現場における対応について学ぶ。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
5	教育課程と学習指導要領 (昭和40年代) 前時に引き続き、学習指導要領の変遷とその背景・学校現場における対応について学ぶ。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
6	小括～昭和時代の学習指導要領 昭和時代の学習指導要領の特徴と重要ポイントについて確認を行う。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
7	教育課程と学習指導要領 (平成元年版) 平成元年版学習指導要領の内容とその時代背景について学習する。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
8	教育課程と学習指導要領 (平成10年版)～ゆとり教育と学校完全週五日制 平成10年版学習指導要領の内容とその時代背景について学習する。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
9	教育課程と学習指導要領 (平成15年一部改訂版)～国際学力調査結果と指導要領 確かな学力が登場した背景を理解し、どのように教育課程に組み込まれたかを学ぶ。 予復修課題：(予修)自分が小学校～高校まで社会がどのように変化してきたかまとめる。(4時間)					
10	教育課程と学習指導要領 (平成20年版) 平成20年版学習指導要領の内容とその時代背景について学習する。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
11	教育課程と学習指導要領 (平成29年版) 新指導要領において重視されているポイントを理解する。 予復修課題：(復修)学習指導要領の変化と社会情勢の関係を再確認する。(4時間)					
12	教育課程の編成・実施・評価(各教科)のポイント～カリキュラム・マネジメントとは 現行学習指導要領における教育課程の編成・実施・評価のポイントを理解する。 予復修課題：(復修)模擬的に教育課程を編成し評価計画を作成する。(4時間)					
13	教育課程の編成・実施・評価(教科外教育)のポイント 現行学習指導要領における教育課程の編成・実施・評価のポイントを理解する。 予復修課題：(復修)模擬的に教育課程を編成し評価計画を作成する。(4時間)					
14	教育課程の編成・実施・評価のポイント～カリキュラム・マネジメントの実践 現行学習指導要領における教育課程の編成・実施・評価のポイントを理解する。 予復修課題：(復修)模擬的に教育課程を編成し評価計画を作成する。(4時間)					
15	講義の総括 前時までの学習の総括を行う。 予復修課題：(予修)教育課程の意義を整理する。(4時間)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		道徳教育指導法 Teaching Method on Moral Education		単位数	授業内容*	
担当者	舩原 将太 (FUNAHARA Shota)			非常勤講師	1 オリエンテーション 現行の「特別の教科」道徳の意義について確認する。 予復修課題：自身の経験に基づき、自分なりに道徳教育の意義を明確にすること。	
教員の免許状取得のための必修科目		科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			2 道徳教育の歴史 日本における道徳教育の歴史を、教育制度史を補助線にし概観する。 予復修課題：他の教職課程の講義内容をもとに、教育史をおさらいしておくこと。
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		道徳の理論及び指導法				3 道徳に関する理論の検討 功利主義・義務論の立場を検討することで、社会における正しさの基準を確認する。 予復修課題：日常的にどのような価値基準を用いて善悪を捉えているか思い返してこ
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00107		4 「特別の教科」道徳について 「特別の教科」道徳に、何が求められているのかを解説していく。 予復修課題：「道徳教育」に与えられた社会的な期待についてペーパーにまとめてこ
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	5 道徳教育の目的と方法 著名な道徳教育の教材を読解することで、道徳教育の目的と方法を確認していく。 予復修課題：学習指導要領を精読してこ
配当年次	2年生	開講学期	前期			
授業概要	学校における「道徳教育」は学習指導要領に明記されているように、「学校の教育課程全体を通じて行うもの」とされている。ゆえに教師を目指す人々は広く、道徳教育に携わる心構えを持たねばならない。同時に私たちの生きる現代社会とは、無数のシステムが連関した複雑な様相を示すために本講義では、道徳教育の方法のみならず、この複雑な社会において私たち一人ひとりが、どのような価値基準に基づいて善悪を判断するべきか、までも含めて受講者とともに吟味する事となるだろう。					
授業到達目標	1. 道徳教育とは何かについて、自分なりに説明できること。 2. 道徳教育が扱う様々な内容について、多面的に考えることができること。 3. 指導案を書き、授業をすることができること。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	本講義では、受講生間はもとより、受講生・担当教員間での対話・議論を重視する。そのため、講義のテーマによっては事前に小レポートを作成してもらうこともある。評価時には、小レポートの作成及びそれに基づく議論への参加態度なども考慮することになるであろう。				
1. 小テスト、感想文など	10 %	事前に1時間程度の予修をした上で臨むこと。				
2. 中間テスト	%					
3. 課題レポートなどの提出物	20 %					
4. 授業中の発表、討論	20 %					
5. 授業への参加意欲	10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)	%					
7.	%					
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト	%	毎回の講義終了時に感想・質問などを提出し翌講義開始時にそれらを共有・議論する時間を設けることで、主体的・対話的で深い学びにつながるものとした。				
2. 論文、まとめのレポートなど	40 %					
3.	%					
再評価の実施	する	しない				
教科書	講義時に配布した資料を用いる					
参考書	中学校学習指導要領解説					
				15 現代社会と道徳 講義全体をもとにしながら、現代社会における道徳教育の持つ意義を解説する。 予復修課題：講義内容をもとに、自身の道徳観を小レポートにまとめてこ		

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)	教育方法論 Educational Method		単位数	授業内容*		
担当者	金子 研太 (KANEKO Kenta)		2	専任		
教員の免許状取得のための必修科目		科目	教育課程及び指導法に関する科目			
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00108		
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種
配当年次	3年生	開講学期	前期			
授業概要	本講義は、教育職員免許法施行規則に規定する「教育の方法及び技術に関する科目」として大学が開設している科目であり、教員免許状取得に必須の科目である。 本科目の学習内容は、カリキュラム構造及び編成過程、効果的授業・学級経営の実践的方法、総合的な学習に関する基礎知識に区分することができる。これらの内容は教育実習に直結するものであり、実習を睨んだ構成となっている。 本科目で取得した単位は、読替により新免許状対応課程においても有効である。					
	教育実践に必要な教育方法に関する基礎知識を獲得する。 教育内容及び教育方法を決定できる。 総合的な学習の時間の具体的な計画を作成できる。					
授業到達目標	教育実践に必要な教育方法に関する基礎知識を獲得する。 教育内容及び教育方法を決定できる。 総合的な学習の時間の具体的な計画を作成できる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	UNIVERSAL PASSPORTに配布資料・関連資料を掲載しています。予復修に活用してください。各自所有のICT機器を使う場合があります。情報機器の活用の回など、内容により教室を変更する場合があります。			
1. 小テスト、感想文など		%				
2. 中間テスト		35 %				
3. 課題レポートなどの提出物		30 %				
4. 授業中の発表、討論		35 %				
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価			アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%	ミニッツペーパー [第1回~第8回]			
2. 論文、まとめのレポートなど		%	グループワーク [第10回~第14回]			
3.		%	プレゼンテーション [第15回]			
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書	北海道大学オープン・コースウェア「学びのユニバーサル・デザイン入門(2015)」 「学習指導要領」各年度版					
1	教育方法の理論 既習科目との関係性を確認し、既履修科目の理解度の確認を行う。 予復修課題：予修 これまでの教職課程科目の内容の確認(2時間) 復修 誤答ノートの作成(2時間)					
2	学習指導要領と教育方法 教育方法と教職科目や学習指導要領との関連性を具体的に考察する。 予復修課題：予修 学習指導要領(総則)及び指導要領解説を読み込んでおくこと。(2時間~4時間)					
3	教育方法の歴史 時代に応じて求められる教育方法 時代背景や子どもたちの状況を踏まえつつ、教育方法の歴史を概観する。 予復修課題：予修 重要人物と関連事項をまとめる 復修 オープンコースウェアの残りの部分を閲覧する(4時間)					
4	教育方法の歴史 平成29年版指導要領において求められる教育方法 学習指導及び生徒指導場面で実践されている効果的な教育方法を紹介し考察する。 予復修課題：これまで受けた授業の中で最も効果的と感じる方法をまとめておこう。(4時間)					
5	教育方法と学習評価 平成29年版指導要領において示されている教育方法とその評価方法について学習する。 予復修課題：講義の内容を踏まえ指導構想を練っておこう。(4時間)					
6	教材開発と情報機器 情報機器を活用した教育方法 効果的な情報機器の使用方法について検討する。情報モラルについても考察する。 予復修課題：ICT機器を導入している学校を調べ効果的使用方法について考えよう。(4時間)					
7	国際化への対応と教育方法 国際化への対応と求められる教育方法について、国際到達度調査などから読み解く。 予復修課題：授業を踏まえて、今後の自分の課題を文章化しておこう。(4時間)					
8	諸外国における教育方法の実践事例 前回の内容に関連付けた事例や教材を素材として、比較分析を行う。 予復修課題：ビデオの内容に関して日本との共通点・相違点について振り返る。(2時間)					
9	中間まとめ これまで取り扱った内容についての理解度、習得度を確認する。 予復修課題：これまでのポイントを全て確認しておくこと。(4時間)					
10	総合的な学習の時間とは 総合的な学習の時間創設の背景・目的を確認し、プランを作成する。 予復修課題：自分自身が受けた総合的な学習の時間について思い出してみよう。(4時間)					
11	指導案作成と指導技法 グループに分かれ、年間指導計画をもとにディスカッションを行う。 予復修課題：次回までに自分の担当分の計画を作成しておくこと。(4時間)					
12	総合的な学習の時間の計画を作ろう グループに分かれ、総合的な学習の時間の計画を練る。 予復修課題：自分の担当分について確認しておくこと。(4時間)					
13	総合的な学習の時間の計画を作ろう グループごとに、計画のプレゼンテーションに必要な準備を行う。 予復修課題：グループの中の自分の役割等について確認し作業を進めておくこと。(4時間)					
14	総合的な学習の時間の計画を作ろう 最終週の発表会に向け最終準備を行う。 予復修課題：グループの中の自分の役割等について確認しておくこと。(4時間)					
15	発表会 成果物の発表と相互評価を通し、総合的な学習の時間について考察する。 予復修課題：本講義を通して身に着けたスキルと今後の課題を確認しておこう。(4時間)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		特別活動指導法 Teaching Special Activities		単位数	授業内容*	
担当者		木村 葉太 (KIMURA Kanta)		2	1 特別活動とは何か 特別活動について解説する他、本科目履修にあたり必要な知識を確認する。 予復修課題： テキストの目次に目を通し、学習事項を大まかに理解しておくこと。	
教員の免許状取得のための必修科目		科目		専任	2 教育課程における特別活動の位置づけ 教育課程における特別活動の位置づけについて学ぶ。 予復修課題： 特別活動と教科の違いについて考えておくこと。	
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		特別活動の指導法			3 特別活動の歴史 教育課程の歴史上特別活動がどのように変化してきたのか理解する。 予復修課題： 特別活動の必要性について考えておくこと。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00206	4 特別活動と生徒指導 近年学校において起きている生徒指導上の問題と特別活動の課題について確認する。 予復修課題： 特別活動と生徒指導の関わりについて考えておくこと。	
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種
配当年次	2年生	開講学期	後期			
授業概要	本講義は、教育職員免許法施行規則に規定する「 道徳、総合的な学習の時間等の指導法 」及び「 教育課程の意義及び編成の方法 」及び「 特別活動の指導法 」に関する科目として大学が開設している科目であり、教員免許状取得に必須の科目である。 本科目においては、特別活動について学ぶとともに、これまで教職課程で学習した理論や実践を関連させながら計画・実践・評価できる能力を養うことを目的とする。					
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別活動」について説明し、計画を作成することができる。 ・自身の社会性を育むとともに、生徒の社会性を育むための活動を計画・実践ができる。 ・学生間で協力して教育課程の作成、授業活動の実践ができるようになる。 					
授業が重視する教育目標【◎特に重視 ○重視】						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。				○		
2) 教育の基礎理論（教育心理学、教育思想、教育制度等）に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。				○		
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。				◎		
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	予復修課題の取組時間：約0.5～1.0時間程度			
1. 小テスト、感想文など		30 %				
2. 中間テスト		%				
3. 課題レポートなどの提出物		%				
4. 授業中の発表、討論		%				
5. 授業への参加意欲		10 %				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		60 %	各講義の最後に授業の振り返りと質問を考え、提出する。質問には次の講義で適宜回答するなかで授業内容に関する対話を深める。			
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない	○			
教科書	九州大学大学院教育法制研究室『特別活動エッセンス』花書院、2013年					
参考書						
		15 講義の総括 前時までの学習の総括を行う。 予復修課題： 既習事項を復習しておくこと。				

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		生徒・進路指導論 Youth Education & Career Counseling			単位数	授業内容*	
担当者	重枝 武司 (SHIGEEDA Takeshi)				2	専任	
教員の免許状取得のための必修科目		科目			道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法					
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			EE00207		
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種	
配当年次	2年生		開講学期	後期			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒理解（児童・生徒等との信頼関係）に基づいた生徒指導・進路指導の知識や指導の方法を身につけ、新しい時代に必要となる資質・能力を持った人材の育成を担うことができる教員の養成を目指す。生徒指導主事や管理職としての自身の経験を活かした授業を展開する。 ・生徒指導提要（文科省）の内容を中心にしながら学校教育現場における事例を交え、ICTを用いて説明するとともに、ペアやグループによるディスカッションやワークなどのアクティブ・ラーニングの学習法を取り入れ、学生の主体的な学びを推進する。 						
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を育成する生徒指導、及び児童生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成するキャリア教育（進路指導）に関する知識を身につけるとともに活用できる。 ・生徒指導や進路指導に欠かせない児童生徒理解のための取組（教育相談・保護者や地域との連携・チーム学校など）について主体的に学び、教育実習や現場で実践できるようになる。 ・これからの教員として求められる資質・能力を身につけ、将来、学校教育に寄与できる。 						
授業が重視する教育目標（特に重視 重視）							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論（教育心理学、教育思想、教育制度等）に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業後の小レポートを提出物として評価します。資料の丸写しではなく重要と思う内容を自分なりにまとめて記述してください。 ・アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業の際には、より主体的・対話的な姿勢で、積極的に取り組んでください。 ・中間テスト及びまとめのテストについては、事前の授業の際に詳細を説明します。 				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		20 %					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめテスト		50 %	・小レポート(ミニツツペーパー) [全回]				
2. 論文、まとめレポートなど		%	・ペアやグループ等によるディスカッションやワーク [全回]				
3.		%	・ジグソー法 [第5回]				
再評価の実施	する	しない					
教科書	『生徒指導提要』文部科学省、平成22年3月						
参考書	適宜、資料を配付する。						
1	ガイダンスの後、これからの時代や社会が求める資質・能力について考える。 生徒指導とは何か。生徒指導の定義と基本的な枠組みを知る。 予復修課題：予：生徒指導提要第1章第1節を読み、まとめる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
2	生徒指導の機能 生徒指導と教育課程、教育相談、進路指導との関係について知る。 予復修課題：予：生徒指導第2章第2節を読み、まとめる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
3	児童生徒理解 児童生徒理解についての多面的・多角的視点の重要性を知る。 予復修課題：予：児童生徒理解の情報収集の方法について調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
4	発達段階の特性とその課題(児童期まで)児童期までの発達課題に合った対応を考える。 予復修課題：予：小1プロブレムについて調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
5	発達段階の特性とその課題(青年期)青年期の発達課題に合った対応を考える。 小1・中1・高1における課題について、ジグソー法を用いて討論・発表し理解を深める。 予復修課題：中1ギャップ、高1クライシスについて調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
6	生徒指導の方法 集団指導・個別指導の方法原理を知り、具体的な方法を考える。 予復修課題：予：生徒指導提要第1章第4節を読み、まとめる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
7	問題行動への対応(1) 非行、喫煙、飲酒、薬物などへの生徒指導的対応を考える。 予復修課題：予：生徒指導提要第2章の第3節を読み、まとめる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
8	問題行動への対応(2) いじめ、暴力行為などへの生徒指導的対応を考える。 予復修課題：予：最新のいじめの認知件数について調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
9	問題行動への対応(3) 不登校、途中退学などへの生徒指導的対応を考える。 予復修課題：予：最新の不登校の報告件数について調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
10	中間テスト(前半部分の理解度の確認) 生徒指導に関わる法的制度 校則、懲戒や体罰についての法的見解について知る。 予復修課題：予：体罰に関するニュースについて調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
11	中間テストの返却、テストの解説、及び各自の振り返り 問題行動の予防(1) 積極的生徒指導の意義と取り組みについて理解する。 予復修課題：生徒指導提要第6章の第4節を読み、まとめる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
12	問題行動の予防(2) 学内外の資源との連携について考える。 予復修課題：予：生徒指導提要第8章の第2節を読み、まとめる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
13	進路指導・キャリア教育の意義と理論 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解する。 予復修課題：予：キャリア教育について調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
14	進路指導・キャリア教育の指導方法 進路指導・キャリア教育の集団・個人指導方法を 知る。 予復修課題：予：進路指導の具体的方法について調べる(120分)復：本時の内容を要約する(120分)						
15	まとめテスト及び振り返り(テストの解説及び講義の総括) 予復修課題：予：全講義を振り返りまとめる(120分)復：理解できていなかった部分を調べなおす(120分)。						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教育相談 School Counseling			単位数	授業内容*	
担当者		清永 裕子 (KIYONAGA Yuko)			2	専任	
教員の免許状取得のための必修科目		科目			道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育相談(カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
実務経験のある教員による授業		ナンバリング			EE00109		
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種	
配当年次	2年生	開講学期	前期				
授業概要	学校教育における教育相談の意義と位置づけを理解し、幼児児童生徒理解のために必要となる基礎的な心理的理論やカウンセリングに関する基礎的・技術をについて学ぶ。さらに、具体的な援助場面における教育相談的取り組みや学校における教育相談体制について知る。						
	1) 幼児児童生徒の発達の状況に即して、個々の心理的特質や教育的課題を考えることができる 2) 幼児児童生徒への教育や支援に必要な心理学の基礎的な理論・概念を理解できる 3) カウンセリングの意義、理論や基本的な技法について理解できる。 4) 教育相談の組織的な取り組みやチームづくりについて考えることができる。						
授業到達目標	1) 幼児児童生徒の発達の状況に即して、個々の心理的特質や教育的課題を考えることができる 2) 幼児児童生徒への教育や支援に必要な心理学の基礎的な理論・概念を理解できる 3) カウンセリングの意義、理論や基本的な技法について理解できる。 4) 教育相談の組織的な取り組みやチームづくりについて考えることができる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	毎回の復修小テストや授業後の小レポートを提出物として評価します。				
1. 小テスト、感想文など		20 %	小レポートについては、その書き方から参加意欲も把握するので、しっかり書き込んでください。				
2. 中間テスト		%	まとめのテストについては、時期が近付いたら授業の際に詳細を説明します。				
3. 課題レポートなどの提出物		%					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめテスト		70 %	小レポート(全回)				
2. 論文、まとめレポートなど		%	復修小テスト(第2回~第14回)				
3.		%	ロールプレイ(第10回)				
再評価の実施	する	しない					
教科書	生徒指導提要(平成22年3月 文部科学省)						
参考書	適宜、資料を配付する。						
1	教育相談の意義と位置づけ 学校教育における教育相談の意義と位置づけについて知る。 予復修課題: 予:教育相談について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
2	子ども理解1 学習,対人関係,生活環境,発達課題など多面的理解の重要性を考える。 予復修課題: 予:児童期から青年期の発達課題と学校適応について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
3	子ども理解2 発達課題について確認し,発達段階に応じた対応について考える。 予復修課題: 予:教育現場における問題にはどのようなものがあるのか調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
4	子ども理解3 発達障害を中心に,特別なニーズをもつ子どもへの対応について考える。 予復修課題: 予:子どもの精神疾患について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
5	学校適応 学校適応を把握するための方法と心理教育的援助サービスについて知る。 予復修課題: 予:不登校児童生徒数やその対応法を調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
6	心理検査法 代表的な心理検査法を確認するとともに,心理的支援の専門家について知る。 予復修課題: 予:学校教育で活用される心理検査法を調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
7	学校教育とカウンセリング カウンセリングの代表的な技法を確認するとともに,教育相談とカウンセリングの位置づけについて知る。 予復修課題: 予:いじめ,不登校,学級崩壊の事例について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
8	カウンセリングマインド カウンセリングマインドとは何かを知り,教員がカウンセリング能力を生かす場面について確認する。 予復修課題: 予:カウンセリングマインドについて調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
9	カウンセリングの理論 ロジャースの来談者中心療法を中心にカウンセリングの理論を知る。 予復修課題: 予:来談者中心療法について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
10	カウンセリングの技法 傾聴とそれに必要な技法の一部を体験し,学ぶ。 予復修課題: 予:会話の技法について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
11	予防的介入 問題を未然に防ぐ介入の視点とソーシャルスキルトレーニングなど子どものスキルを向上させるための技法を知る。 予復修課題: 保護者の立場について考える(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
12	危機対応 危機対応についての基礎的手順を知るとともに,いじめなどが生じた場合に学校でどのように連携して対応するかについて考える。 予復修課題: 予:校内の組織について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
13	学内の教育相談資源 すべての教員の教育相談への関わり方を校務分掌をふまえて考える。 予復修課題: 予:教員が直面する問題や解決方法について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
14	学外の教育相談資源 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー,学外の施設との連携について考える。 予復修課題: 予:連携機関について調べる(120分)復:本時の内容を要約する(120分)						
15	まとめのテストと振り返り 予復修課題: 予:全講義を振り返りまとめる(120分)復:理解できていなかった部分を調べなおす(120分)。						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		商業科教育法【前半15回分】 Teaching Method for Commerce			単位数	授業内容*	
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)			4	1 ガイダンス 商業教育の学問的位置づけ 予復修課題: シラバスを熟読する。	
教員の免許状取得のための必修科目		科目 教育課程及び指導法に関する科目			専任	2 商業科の教育課程の変遷 予復修課題: 予修:教科書p.1-13を読む。復修:改訂の趣旨についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		各教科の指導法(商業)				3 平成30年版学習指導要領の概要とポイント 平成20年版指導要領との違いを確認する。 予復修課題: 予修:教科書p.1-13を読む。復修:改訂の趣旨についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング EE00110				4 商業科の科目編成 各科目の構成等、教科書を用いて確認する。 予復修課題: 予修:教科書p.14-18を読む。復修:科目の目標についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	高一種 商業	5 商業科の教育課程(年間指導計画・単元計画・単位時間計画) 予復修課題: 予修:教科書p.14-18を読む。復修:科目の目標についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
配当年次	3年生	開講学期	前期			6 商業科の学習指導案の書き方と評価の視点 指導案を作成するうえで生徒理解や教材研究が重要であることを理解する。 予復修課題: 教材研究を行い、指導案を作成する。予復修の目安時間:各120分	
授業概要	我が国の商業教育の変遷をたどった後、高等学校学習指導要領に沿って、教科「商業」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。次に、教材研究の進め方、教材・教具の活用、効果的な指導法、評価の在り方などについて学びます。その後、基礎科目の単元を選んで学習指導案を作成し、それを基に模擬授業を行い受講者間で相互評価を行います。						7 商業科の教育方法と実践事例 (ICT機器を活用した教育方法を含む) 予復修課題: 教材研究を行い、指導案を作成する。予復修の目安時間:各120分
	授業到達目標	1.商業教科の構成及び各科目の内容・評価の在り方が理解できる。 2.教材研究を効果的に行い、学習指導案作成に結びつけることができる。 3.模擬授業を通して、基礎的な教授方法を身につけることができる。 4.教師として望ましい心構えや理念を身につけることができる。 5.インターネットを活用した情報収集やクラウドサービスによる教材の整理・活用ができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では、商業科の各科目の内容についてその概要を理解していることを前提とする。また、本授業では毎回、学生同士による小テストを実施することで、習熟度の向上を図る。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		30 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		30 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	本授業では、ラーニングセルを取り入れる。具体的には予修として他の学生に対する質問を考え、または小テストを作成し、それを授業時に、お互いに行うことで学びを深めていく。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版)						
参考書	日本商業教育学会編『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』実教出版、2011年						
						15 予復修課題: 予修:教科書p.68-75を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		商業科教育法【後半15回分】 Teaching Method for Commerce			単位数	授業内容*	
担当者		梅田 勝利 (UMEDA Katsutoshi)			4	16 商業科の科目内容と実践事例 (グローバル経済/ビジネス法規) 予復修課題: 予修:教科書p.76-88を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
教員の免許状取得のための必修科目		科目 教育課程及び指導法に関する科目			専任	17 商業科の科目内容と実践事例 (簿記) 予復修課題: 予修:教科書p.89-95を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
施行規則に定める科目区分又は科目に含まれることが必要な事項		各教科の指導法(商業)				18 商業科の科目内容と実践事例 (財務会計 /) 予復修課題: 予修:教科書p.96-109を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング EE00110				19 商業科の科目内容と実践事例 (原価計算/管理会計) 予復修課題: 予修:教科書p.110-123を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	高一種	20 商業科の科目内容と実践事例 (情報処理/ソフトウェア活用) 予復修課題: 予修:教科書p.124-138を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
配当年次	3年生	開講学期	前期		商業	21 商業科の科目内容と実践事例 (プログラミング) 予復修課題: 予修:教科書p.139-145を読む。復修:科目の目標と内容についてまとめる。予復修の目安時間:各120分	
授業概要	我が国の商業教育の変遷をたどった後、高等学校学習指導要領に沿って、教科「商業」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。次に、教材研究の進め方、教材・教具の活用、効果的な指導法、評価の在り方などについて学びます。その後、基礎科目の単元を選んで学習指導案を作成し、それを基に模擬授業を行い受講者間で相互評価を行います。						
	1.商業教科の構成及び各科目の内容・評価の在り方が理解できる。 2.教材研究を効果的に行い、学習指導案作成に結びつけることができる。 3.模擬授業を通して、基礎的な教授方法を身につけることができる。 4.教師として望ましい心構えや理念を身につけることができる。 5.インターネットを活用した情報収集やクラウドサービスによる教材の整理・活用ができる。						
授業到達目標	1.商業教科の構成及び各科目の内容・評価の在り方が理解できる。 2.教材研究を効果的に行い、学習指導案作成に結びつけることができる。 3.模擬授業を通して、基礎的な教授方法を身につけることができる。 4.教師として望ましい心構えや理念を身につけることができる。 5.インターネットを活用した情報収集やクラウドサービスによる教材の整理・活用ができる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	本授業では、商業科の各科目の内容についてその概要を理解していることを前提とする。また、本授業では毎回、学生同士による小テストを実施することで、習熟度の向上を図る。				
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		30 %					
4. 授業中の発表、討論		30 %					
5. 授業への参加意欲		10 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		30 %					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	本授業では模擬授業に力点を置き実施する。具体的には、年間指導計画および学習指導案を作成し、本授業担当者からの課題を取り入れて実施することとする。				
2. 論文、まとめのレポートなど		%					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書	文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版)						
参考書	日本商業教育学会『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』実教出版、2011年						
30 期待される教師像と商業科教員としての心構え						予復修課題: 受講しての感想をまとめる。予復修の目安時間:各120分	

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT

で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会科・地理歴史科教育法【前半15回分】					単位数		授業内容*	
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo)					4		1	
教員の免許状取得のための必修科目		科目 教育課程及び指導法に関する科目					専任		2	
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		各教科の指導法(社会・地理歴史)							3	
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング		EE00111		4		
授業形式		講義		科目区分		教職に関する科目		5		
配当年次		3年生		開講学期		前期		6		
免許区分		中一種		高一種		社会		7		
授業概要		社会科・地理歴史科(指導)の関心は、現代社会そのものへの理解、把握を究極の目標に置くとともに、そのあるべき方向性をデザインする力を養うために、時間的及び空間的なアイデンティティを獲得しようとするところにある。 自己を取り囲む時代や人間を、空間との関わりから抽象化したものが地理で、時間性から取り込んだものが歴史である。教科指導法の場合、これらに「子ども理解」を加えて、有効な教育方法(指導方法)を選択するのである。教員としての経験を活かし、授業を展開する。							8	
授業到達目標		学習指導案が書け、授業を実践的に展開できる。 自己の社会観、教育観、生徒観が記述できる。 主題(単元)を設定でき、それに迫るに有効な教材を選択できる。 指導方法の多様を知り、主題を満たすに相応しい指導観を構成できる。							9	
授業が重視する教育目標【◎特に重視 ○重視】										
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							◎		10	
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							○		11	
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							◎		12	
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							○		13	
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							◎		14	
成績評価の方法(全体で100%)										
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		履修における留意事項						
1. 小テスト、感想文など		%		「課題レポートなど」には、授業中に書いた感想文等の提出を含む。						
2. 中間テスト		%		「授業への参加意欲」には、「授業中の発表、討論」等を含む。						
3. 課題レポートなどの提出物		20 %		「自主的学習」には、「予復修課題」の他、授業中に指示した課題作成及び「予復修課題」であるUNIVERSAL PASSPORTの記述内容に関する自己学習作業等も高く評価する。						
4. 授業中の発表、討論		%								
5. 授業への参加意欲		10 %								
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %								
7.		%								
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		60 %		1 班協議：①社会観について						
2. 論文、まとめのレポートなど		%		②生徒観について						
3.		%		2 演習(記述)：「私の教育観」						
再評価の実施		する		しない		○				
教科書		なし								
参考書		中学校学習指導要領解説 社会編、高等学校学習指導要領解説 地歴編 文部科学省(最新版)								
予復修課題		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。								
1		社会科という教科について・・・その成立の歴史から社会科の特質を考えよう								
2		予復修課題：シラバスの「授業概観」部分を書き写し、学習指導要領を読む。180分の学習時間を予定。 教科・科目の特質・・・地理について(地誌学等)、歴史について(歴史観の様々)								
3		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と民主主義①・・・民主主義の構造的な理解								
4		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と民主主義②・・・人間の尊厳性に関する理解								
5		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と社会観①・・・様々な社会観を知ろう								
6		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と社会観②・・・社会観について考えよう → 演習(班協議)								
7		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と教育観①・・・様々な教育観について知ろう								
8		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と教育観②・・・演習：「私の教育観」を記述しよう								
9		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と教材観①・・・単元学習について学ぼう								
10		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と教材観②・・・演習：「単元名」を作ろう								
11		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と生徒観①・・・生徒観について学ぼう								
12		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と生徒観②・・・自分たちの生徒観について話し合おう → 演習(班協議)								
13		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と指導観①・・・指導観とは何か								
14		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 社会科と指導観②・・・様々な指導観を知ろう。特に情報機器の活用を意識しよう								
15		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写し、関連の学習をする。学習時間は180分を予定。 前半部分の総括								

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会科・地理歴史科教育法【後半15回分】 Teaching Methods in Geo., His. and Social Studies					単位数	授業内容*	
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo)					4	16 学習指導の展開①：「導入」の意義、方法の多様さ 予復修課題：シラバスの「授業概要」を書き写し、関連して学習指導要領を読んでいただくこと。学習時間は180分を予定。	
教員の免許状取得のための必修科目		科目 教育課程及び指導法に関する科目						17 学習指導の展開②：「展開」の多様さ 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		各教科の指導法（社会・地理歴史）						18 学習指導の展開③：「まとめ」の在り方 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング		EE00111		19 学習指導の展開④：「評価」の多様さ 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
授業形式		講義		科目区分		教職に関する科目		20 学習指導案の書き方について 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
配当年次		3年生		開講学期		前期		21 学習指導案の具体例①：中学社会 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
免許区分		中一種		高一種		社会		22 学習指導案の具体例②：高校地歴 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
授業概要		社会科・地理歴史科（指導）の関心は、現代社会そのものへの理解、把握を究極の目標に置くとともに、そのあるべき方向性をデザインする力を養うために、時間的及び空間的なアイデンティティを獲得しようとするところにある。 自己を取り囲む時代や人間を、空間との関わりから抽象化したものが地理で、時間性から取り込んだものが歴史である。教科指導法の場合、これらに「子ども理解」を加えて、有効な教育方法（指導方法）を選択するのである。教員としての経験を活かし、授業を展開する。					23 学習指導案検索①：各県教育センターのホームページから優れた学習指導案を検索 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
授業到達目標		学習指導案が書け、授業を実践的に展開できる。 自己の社会観、教育観、生徒観が記述できる。 主題（単元）を設定でき、それに迫るに有効な教材を選択できる。 指導方法の多様を知り、主題を満たすに相応しい指導観を構成できる。					24 学習指導案検索②：ネットで、各県教育センター以外の優れた学習指導案を検索 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
授業が重視する教育目標【◎特に重視 ○重視】							25 学習指導案検索③：各自が一つ、優れた学習指導案を持ち寄ろう・・・発表 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							◎		
2) 教育の基礎理論（教育心理学、教育思想、教育制度等）に関する知識を習得する。							○		
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							◎		
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							○		
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							◎		
成績評価の方法（全体で100%）		履修における留意事項					26 指導案を作ろう①：日本史 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		「課題レポートなど」には、授業中に書いた感想文等の提出を含む。			27 指導案を作ろう②：世界史 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
1. 小テスト、感想文など		%		「授業への参加意欲」には、「授業中の発表、討論」等を含む。			28 指導案を作ろう③：地理 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
2. 中間テスト		%		「自主的学習」には、「予復修課題」の他、授業中に指示した課題作成及び「予復修課題」であるUNIVERSAL PASSPORTの記述内容に関する自己学習作業等も高く評価する。			29 作った指導案を持ち寄ろう：発表 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					30 総括 予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
4. 授業中の発表、討論		%							
5. 授業への参加意欲		10 %							
6. 自主的学習（予習・復習など）		10 %							
7.		%							
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		60 %		1 発表：優れた学習指導案を検索し、持ち寄る					
2. 論文、まとめのレポートなど		%		2 発表：学習指導案を作り、持ち寄る					
3.		%							
再評価の実施		する		しない		○			
教科書		なし							
参考書		中学校学習指導要領解説 社会編、高等学校学習指導要領解説 地歴編 文部科学省（最新版）							

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会科・公民科教育法【前半15回分】 Teaching Methods in Human and Social Studies				単位数	授業内容*	
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo)				4	専任	
教員の免許状取得のための必修科目		科目		教育課程及び指導法に関する科目				
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		各教科の指導法 (社会・公民)						
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング		EE00208		
授業形式		講義		科目区分		教職に関する科目		
配当年次		3年生		開講学期		後期		
免許区分		中一種		高一種		社会 公民		
授業概要		社会科・公民科 (指導) の関心事は、流動してやむことのない現代社会そのものにある。同時に、そのなかで今を生き、将来を選択する自分自身のことに関心を置く。そこで、これらをどう把握し、それ故に教育はどう為されなければならないか。さらに、その課題を受けて、どのような主題 (単元) を組み、どんな教材を用意し、指導法はどうすると良いのか等を学習することが肝要になってくる。教科指導法の場合、これらに「子ども理解」を加えて、有効な教育方法 (指導方法) を選択するのである。教員としての経験を活かし、授業を展開する。						
授業到達目標		学習指導案が書け、授業を実践的に展開できる。 自己の社会観、教育観、生徒観が記述できる。 主題 (単元) を設定でき、それに迫るに有効な教材を選択できる。 指導方法の多様を知り、主題を満たすに相応しい指導観を構成できる。						
授業が重視する教育目標【◎特に重視 ○重視】								
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。		◎						
2) 教育の基礎理論 (教育心理学、教育思想、教育制度等) に関する知識を習得する。		○						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。		◎						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。		○						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。		◎						
成績評価の方法 (全体で100%)								
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		履修における留意事項				
1. 小テスト、感想文など		%		「課題レポートなど」には、授業中に書いた感想文等の提出を含む。				
2. 中間テスト		%		「授業への参加意欲」には、「授業中の発表、討論」等を含む。				
3. 課題レポートなどの提出物		20 %		「自主的学習」には、「予復修課題」の他、授業中に指示した課題作成及び「予復修課題」であるUNIVERSAL PASSPORTの記述内容に関する自己学習作業等も高く評価する。				
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習 (予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		60 %		演習：学習指導案の作成				
2. 論文、まとめのレポートなど		%		発表：学習指導案を基にした模擬授業				
3.		%		講評：模擬授業の講評				
再評価の実施		する		しない ○				
教科書								
参考書		中学校学習指導要領解説 社会編、高等学校学習指導要領 (文部科学省 最新版)						
1		ガイダンス：教育課程における社会科 (公民的分野)、公民科の位置付け 予復修課題：シラバスの「授業概要」を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導案の書き方①：学習指導案の構成						
2		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導案の書き方②：観点別評価						
3		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導案の書き方③：事例 (現代社会、倫理、政治経済)						
4		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導の仕方①：「教科書の行間を読む」①・・・演習「教科書記述を例に」						
5		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導の仕方②：「教科書の行間を読む」②・・・演習「教科書記述を例に」						
6		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導案を作ろう①：教科書を選ぼう						
7		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導案を作ろう②：作業						
8		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 学習指導案を作ろう③：作業						
9		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 模擬授業をしよう①、講評しよう①						
10		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 模擬授業をしよう②、講評しよう②						
11		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 模擬授業をしよう③、講評しよう③						
12		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 模擬授業をしよう④、講評しよう④						
13		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 模擬授業をしよう⑤、講評しよう⑤						
14		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。 前半の総括						
15		予復修課題：UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。						

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		社会科・公民科教育法【後半15回分】 Teaching Methods in Human and Social Studies				単位数	授業内容*	
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo)				4	16 公民科の授業準備①：ものの見方・考え方を磨こう 予復修課題： シラバスの「授業概要」を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
教員の免許状取得のための必修科目		科目 教育課程及び指導法に関する科目					17 公民科の授業準備②：ものの見方・考え方を磨こう 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		各教科の指導法（社会・公民）					18 公民科の授業準備③：ものの見方・考え方を磨こう 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
実務経験のある教員による授業		○		ナンバリング EE00208			19 学習指導案を作ろう④：作業 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種 高一種		20 学習指導案を作ろう⑤：作業 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
配当年次	3年生	開講学期	後期		社会 公民		21 模擬授業をしよう⑥、講評しよう⑥ 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。	
授業概要	社会科・公民科（指導）の関心事は、流動してやむことのない現代社会そのものにある。同時に、そのなかで今を生き、将来を選択する自分自身のことに関心を置く。そこで、これらをどう把握し、それ故に教育はどう為されなければならないか。さらに、その課題を受けて、どういう主題（単元）を組み、どんな教材を用意し、指導法はどうすると良いのか等を学習することが肝要になってくる。教科指導法の場合、これらに「子ども理解」を加えて、有効な教育方法（指導方法）を選択するのである。教員としての経験を活かし、授業を展開する。							
授業到達目標	学習指導案が書け、授業を実践的に展開できる。 自己の社会観、教育観、生徒観が記述できる。 主題（単元）を設定でき、それに迫るに有効な教材を選択できる。 指導方法の多様を知り、主題を満たすに相応しい指導観を構成できる。							
授業が重視する教育目標【◎特に重視 ○重視】								
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						◎		
2) 教育の基礎理論（教育心理学、教育思想、教育制度等）に関する知識を習得する。						○		
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						◎		
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						○		
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						◎		
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	「課題レポートなど」には、授業中に書いた感想文等の提出を含む。					
1. 小テスト、感想文など		%	「授業への参加意欲」には、「授業中の発表、討論」等を含む。					
2. 中間テスト		%	「自主的学習」には、「予復修課題」の他、授業中に指示した課題作成及び「予復修課題」であるUNIVERSAL PASSPORTの記述内容に関する自己学習作業等も高く評価する。					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %						
4. 授業中の発表、討論		%						
5. 授業への参加意欲		10 %						
6. 自主的学習(予習・復習など)		10 %						
7.		%						
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト		%	演習：学習指導案の作成					
2. 論文、まとめのレポートなど		60 %	発表：学習指導案を基にした模擬授業					
3.		%	講評：模擬授業の講評					
再評価の実施	する	しない	○					
教科書								
参考書	中学校学習指導要領解説 社会編、高等学校学習指導要領（文部科学省 最新版）							
						26 高校教科書、教師用指導書読解① 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
						27 高校教科書、教師用指導書読解② 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
						28 高校教科書、教師用指導書読解③ 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
						29 学習指導案事例から学ぶ 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
						30 総括 予復修課題： UNIVERSAL PASSPORTの記述を書き写していただくこと。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		

*授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教育実習 Teaching Practice		単位数	授業内容*	
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo) 金子 研太 (KANEKO Kenta) 木村 稔太 (KIMURA Kanta)		2	専任	
教員の免許状取得のための必修科目		科目		教育実習		
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育実習				
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00112		
授業形式	実習	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種
配当年次	4年生	開講学期	前期集中			
授業概要	教育実習校では、教科指導のみならず学級経営など学校教育のすべてにわたり指導を受ける。大学で学んだ、教科や教職についての理論を体験的に実践するとともに、深化させ、教師としての総合的な教育指導力を身につけるべく、教育実習校と本学との相互連携において指導がおこなわれる。					
授業到達目標	教科・科目、道徳教育等の領域、総合的な学習の時間、さらに部活動等、教育実践を通して教職の基盤を確立するとともに、将来への課題を自覚することができる。					
	教育者としての愛情や使命感を向上させて組織の一員としての認識を持つことができる。教育実習を通して、自己の人格形成に生かすことができる。					
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)						
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。						
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。						
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。						
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。						
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。						
成績評価の方法(全体で100%)						
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合	履修における留意事項			
1. 小テスト、感想文など		%	評価は、実習校からの評価表に拠る。			
2. 中間テスト		%	高校免許の取得には教育実習 の履修が必要。			
3. 課題レポートなどの提出物		%	教育実習履修要件を満たさなければ履修できない。			
4. 授業中の発表、討論		%	予復修時間は、1時間の授業に2時間程は必要。			
5. 授業への参加意欲		%				
6. 自主的学習(予習・復習など)		%				
7.		%				
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング				
1. まとめのテスト		%				
2. 論文、まとめのレポートなど		%				
3.		%				
再評価の実施	する	しない				
教科書						
参考書	『高等学校学習指導要領』文部科学省(最新版)					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教育実習 Teaching Practice		単位数	授業内容*		
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo) 木村 稔太 (KIMURA Kanta)	金子 研太 (KANEKO Kenta)	2	専任	1	
教員の免許状取得のための必修科目		科目		教育実習			2
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育実習					3
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00113			4
授業形式	実習	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種		5
配当年次	4年生	開講学期	前期集中				6
授業概要	教育実習校では、教科指導のみならず学級経営など学校教育のすべてにわたり指導を受ける。大学で学んだ、教科や教職についての理論を体験的に実践するとともに、深化させ、教師としての総合的な教育指導力を身につけるべく、教育実習校と本学との相互連携において指導がおこなわれる。						
	授業到達目標 教科・科目、道徳教育等の領域、総合的な学習の時間、さらに部活動等、教育実践を通して教職の基盤を確立するとともに、将来への課題を自覚することができる。 教育者としての愛情や使命感を向上させて組織の一員としての認識を持つことができる。 教育実習を通して、自己の人格形成に生かすことができる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
10							
成績評価の方法(全体で100%)			履修における留意事項				
1) 授業到達目標への到達努力の評価	評価割合	評価は、実習校からの評価表に拠る。					
1. 小テスト、感想文など	%	高校免許の取得には教育実習 の履修が必要。 教育実習履修要件を満たさなければ履修できない。 予復修時間は、1時間の授業に2時間程は必要。					
2. 中間テスト	%						
3. 課題レポートなどの提出物	%						
4. 授業中の発表、討論	%						
5. 授業への参加意欲	%						
6. 自主的学習(予習・復習など)	%						
7.	%						
2) 最終到達度の評価	アクティブ・ラーニング						
1. まとめのテスト	%	14					
2. 論文、まとめのレポートなど	%						
3.	%						
再評価の実施	する	しない	15				
教科書							
参考書	『中学校学習指導要領』文部科学省(最新版)						

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		事前事後指導 Guidance for Teaching Practice		単位数	授業内容*		
				1	オリエンテーション(教育実習全般について) 1 教育実習までの具体的予定を確認する。 予復修課題: 履修カルテを記入し、関連した学習をしてくる。学習時間は180分を予定。		
担当者		前田 武男 (MAEDA Takeo)	清永 裕子 (KIYONAGA Yuko)	専任	教育実習の意義と心構え、その目標 2 教育実習に臨む心構えを問い直し、教師として生きていく自分を見つめ直す。 予復修課題: レポートに自分の考えをまとめ提出する。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
		金子 研太 (KANEKO Kenta)	木村 栞太 (KIMURA Kanta)		教育実習における作法、礼儀、マナー 3 教育実習にどのような取り組みのか、具体的なマナーや作法を確認する。 予復修課題: 配付資料を完成させること。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。		
教員の免許状取得のための必修科目		科目		教育実習			
施行規則に定める科目区分又は科目に含めることが必要な事項		教育実習					
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE00114			
授業形式	講義	科目区分	教職に関する科目	免許区分	中一種	高一種	
配当年次	4年生	開講学期	通年				
授業概要	1) 事前指導: 教育実習の意義を理解し、教育実習に必要な知識を習得する。 教育実習生としてのマナーを確認して、これまでの教職課程で学んだことを総括する。						
	2) 事後指導: 教育実習での活動を振り返り、レポートを作成する。教育実習の成果をこれからの自己形成、進路にどう活かすのか考察する。						
授業到達目標	1) 事前指導: これまで教職課程で学んだことを整理し、理解したうえで実践できる。						
	2) 事後指導: 実習を終えて、自己の課題を明確に整理し、表現できる。						
授業が重視する教育目標 (特に重視 重視)							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法(全体で100%)		履修における留意事項					
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合					
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		%					
5. 授業への参加意欲		30 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価		アクティブ・ラーニング					
1. まとめのテスト		%	第10~12回 模擬授業				
2. 論文、まとめのレポートなど		50 %					
3.		%					
再評価の実施	する	しない					
教科書							
参考書							
		15 人権について再度考え、教育実習に向かう総仕上げとする。 予復修課題: 全講義をよく振り返り、仲間と共有すること。さらに関連した学習をすること。学習時間は180分を予定。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。

授業科目名 (Subject)		教職実践演習(中・高)			単位数	授業内容*	
担当者		前田 武男(MAEDA Takeo) 金子 研太(KANEKO Kenta)		木村 稔太(KIMURA Kanta)		専任	
教職実践演習		科目		教職実践演習		1 教職実践演習とは オリエンテーション これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。 予復修課題：履修カルテを完成させた上で参加すること。	
施行規則に定める科目区分又は科目に含まれることが必要な事項		科目		教職実践演習		2 教職課程の総復習 教科指導に関して 教材研究および板書指導について総復修する。 予復修課題：各自の課題を意識し、レポートにまとめること。	
実務経験のある教員による授業		ナンバリング		EE002009		3 教職課程の総復習 特別活動に関して 教育実習を振り返り、学級経営の方法等について再度学ぶ。 予復修課題：教育実習振り返りレポートを持参すること。	
授業形式		科目区分		免許区分		4 教職課程の総復習 教員の服務・コンプライアンス 教育公務員としての含むとコンプライアンスについて再度学ぶ。 予復修課題：配付資料をよく読み、考えをまとめること。	
配当年次		開講学期		中一種		高一種	
授業概要		<p>本科目は近年の教員制度改革の一つとして新規創設された教職課程における必修の科目である。</p> <p>本科目最大の狙いは、「教職課程の総仕上げ」である。これまで履修した科目の理解度を確認する。教育実習を経て成長した部分や残された課題を自分自身で把握し、主体的に取り組むことにより卒業までの期間、教員志望者としてより一層の成長を遂げて欲しい。</p>					
授業到達目標		<p>自分自身の教師としての資質能力を把握し、課題を見出すことができる。</p> <p>教職課程の総復習および実践的な演習を通して教師の役割と職務に関して理解を深める。</p>					
授業が重視する教育目標〔特に重視 重視〕							
1) 免許取得予定の教科・科目、領域および総合的な学習の時間についての専門知識を深める。							
2) 教育の基礎理論(教育心理学、教育思想、教育制度等)に関する知識を習得する。							
3) 免許取得予定の教科・科目等の学習指導案を作成し、授業ができる力を身につける。							
4) 生徒指導や教育相談、教育課程編成、学級経営等の教育業務にかかわる力量を高める。							
5) 教師としての使命感や責任感、マナーを体得し、教育的愛情の本質を深く理解する。							
成績評価の方法(全体で100%)				履修における留意事項			
1) 授業到達目標への到達努力の評価		評価割合		教育実習履修要件を満たさなければ履修できない。 *各授業の予復修課題に必要な時間は平均4時間程度です。			
1. 小テスト、感想文など		%					
2. 中間テスト		%					
3. 課題レポートなどの提出物		20 %					
4. 授業中の発表、討論		40 %					
5. 授業への参加意欲		20 %					
6. 自主的学習(予習・復習など)		%					
7.		%					
2) 最終到達度の評価				アクティブ・ラーニング			
1. まとめのテスト		%		第5回～第7回 模擬授業			
2. 論文、まとめのレポートなど		20 %		第14回 グループワーク			
3.		%					
再評価の実施		する		しない		10 学校現場体験 研究発表会に参加し授業参観する。 予復修課題：自身の課題をレポートにまとめること。	
教科書		11 学校現場体験 研究発表会に参加し授業参観する。 予復修課題：自身の課題をレポートにまとめること。					
参考書		12 学校現場体験 研究発表会に参加し授業参観する。 予復修課題：自身の課題をレポートにまとめること。					
		13 学校現場体験 研究発表会に参加し授業参観する。 予復修課題：自身の課題をレポートにまとめること。					
		14 プレゼンテーション 教職で学んだことを振り返り、互いに共有する。 予復修課題：これまでの活動をまとめた上で参加すること。					
		15 総括 教職課程で学んだことを振り返り、教師としての自分になることを再度意識する。 予復修課題：全講義をよく振り返り、仲間と共有すること。					

* 授業内容は授業の進行状況により変わることがあるので、授業の前後に必ず UNIVERSAL PASSPORT で確認してください。